

令和2年度（2020年度）
磐田市市民意識調査

調査結果報告書

令和3年3月

磐 田 市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果 ～ 回答者の基本属性 ～	5
III	調査の結果 ～ 磐田市のまちづくりについて ～	
	1. 磐田市の取組みについて	10
	2. まちへの想いについて	76
	3. 産業（商業・工業・農林水産業）について	108
	4. コミュニティについて	118
	5. 福祉について	158
	6. 子育て・教育について	168
	7. 広報・広聴について	192
	8. 行政運営について	216
	9. SDGsの取組みについて	232
	10. 市政への市民参画について	246
	11. 新型コロナウイルス感染症について	262
IV	調査の結果 ～ 共生社会について ～	
	1. 男女共同参画社会について	276
	2. 多文化共生社会について	296
	3. セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について	318
V	調査の結果 ～ 磐田市のまちづくりについて（自由意見）～	323
VI	調査票	353

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和4年度から8年度までのまちづくりの指針となる「第2次磐田市総合計画（後期基本計画）」を策定するにあたり、市民の目線に立って検討を行うために、これまで市で実施してきた取組みに対する市民の評価と、今後の取組みについて何う市民意識調査を実施した。

2. 調査の内容

- ◎回答者の基本属性
- ◎磐田市のまちづくりについて
- ◎共生社会について

3. 調査方法

対象者：市内に在住の18歳以上の市民
標本数：3,000人（無作為抽出）
調査方法：郵送配布一郵送回収
調査期間：令和2年7月22日～8月11日

4. 回収結果

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000人	1,346人	1,343人	44.8%

※有効回収数は、回収数のうち無効票を除いた数。

5. 調査の信頼性

本調査は、対象となる母集団から、無作為に抽出した一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」となっている。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に生じる誤差（標本誤差）を伴う。本調査における標本誤差は以下の式で近似できる。

$$\varepsilon = \pm 2 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 N : 母集団数
 n : 比率算出の基数
 P : 回答比率

回答者総数（1,343人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（18歳以上の磐田市民全体）の回答比率は47.3%～52.7%の間であると推定される。

【本調査結果の標本誤差（信頼係数95%）】

回答比率	標本誤差
50%	±2.7%
60%または40%	±2.7%
70%または30%	±2.5%
80%または20%	±2.2%
90%または10%	±1.6%

6. 注意事項

- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合がある。
- ・複数回答可の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ中の「n（Number of caseの略）」は基数で、その質問に回答すべき人数を表している。
- ・本文中に「前回調査」とあるものは、平成27年度調査を指している。
- ・性別・年代・居住地区を分析軸として、それぞれの上位5位を示した集計表は、「その他」・「特にない」・「わからない」の回答および無回答を除いた順位である。

このページは白紙です

Ⅱ 調査の結果

～ 回答者の基本属性 ～

1. 回答者自身について

(1) 性別

No.	問 42 性別<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	男性	639	47.6
2	女性	683	50.9
	無回答	21	1.6
合計		1,343	100.0

(2) 年齢

No.	問 43 年齢<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	30歳未満	77	5.7
2	30～39歳	125	9.3
3	40～49歳	177	13.2
4	50～59歳	235	17.5
5	60～69歳	285	21.2
6	70～79歳	369	27.5
7	80歳以上	53	3.9
	無回答	22	1.6
合計		1,343	100.0

(3) 職業

No.	問 44 職業<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	勤め人 (会社員・公務員・団体職員)	505	37.6
2	会社・団体の役員	30	2.2
3	農林漁業の自営業	17	1.3
4	商・工・サービス業等の自営業	59	4.4
5	自由業・専門的職業 (開業医、弁護士、芸術家等)	29	2.2
6	パート・アルバイト	170	12.7
7	学生	3	0.2
8	専業主婦 (夫)	143	10.6
9	無職	349	26.0
10	その他	11	0.8
	無回答	27	2.0
合計		1,343	100.0

(4) 主な通勤・通学先

No.	問 45 主な通勤・通学先<○印を1つ>	人数(人)	割合(%)
1	自宅	82	6.1
2	磐田市内(自宅以外)	484	36.0
3	浜松市	122	9.1
4	袋井市	83	6.2
5	森町	7	0.5
6	掛川市	25	1.9
7	その他	30	2.2
8	通勤・通学していない	385	28.7
	無回答	125	9.3
合計		1,343	100.0

(5) 家族構成

No.	問 46 家族構成<○印を1つ>	人数(人)	割合(%)
1	単身(ひとり暮らし)	508	37.8
2	一世代(夫婦のみ)	301	22.4
3	二世世代(親と子)	377	28.1
4	三世世代(親と子と孫)	103	7.7
5	兄弟姉妹	10	0.7
6	その他	21	1.6
	無回答	23	1.7
合計		1,343	100.0

(6) 同居している中学生以下の者

((5) 家族構成で「二世世代(親と子)」～「その他」と回答した方のみ)

No.	問 47 同居している中学生以下の者 <該当するものすべてに○印>	人数(人)	割合(%)
1	未就学児	79	15.5
2	小学生	117	22.9
3	中学生	73	14.3
4	中学生以下の者はいない	239	46.8
	無回答	67	13.1
合計		511	100.0

(7) 居住地区

No.	問 48 居住地区<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	見付地区	193	14.4
2	中泉・今之浦地区	226	16.8
3	岩田・大藤・向笠地区	78	5.8
4	西貝・御厨・南御厨・田原地区	141	10.5
5	天竜・長野・於保地区	115	8.6
6	福田地区	124	9.2
7	竜洋地区	134	10.0
8	富岡・豊田東・池田地区 (豊田中学校区)	101	7.5
9	井通地区・青城地区 (豊田南中学校区)	118	8.8
10	豊岡地区	80	6.0
11	わからない	5	0.4
	無回答	28	2.1
合計		1,343	100.0

(8) 住居形態

No.	問 49 住居形態<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	持家	982	73.1
2	借家・借間	289	21.5
3	社宅・官舎・寮など	38	2.8
4	その他	10	0.7
	無回答	24	1.8
合計		1,343	100.0

(9) 磐田市での居住年数

No.	問 50 磐田市での居住年数<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	2年未満	56	4.2
2	2年以上5年未満	74	5.5
3	5年以上10年未満	89	6.6
4	10年以上20年未満	127	9.5
5	20年以上	972	72.4
	無回答	25	1.9
合計		1,343	100.0

Ⅲ 調査の結果

～ 磐田市のまちづくりについて ～

1. 磐田市の取組みについて

(1) 市政全般の満足度

問1 市政全般についてどの程度満足していますか？ <○印を1つ>

市政全般について、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が7割以上

■前回調査との比較

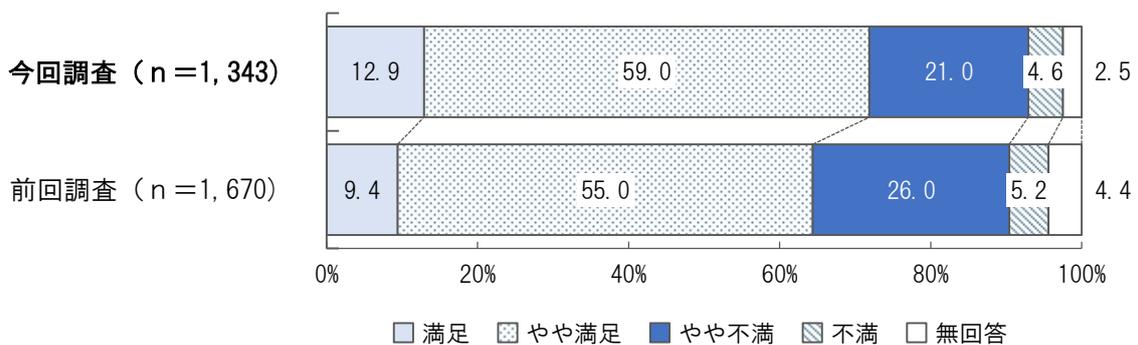
『満足』が7.5ポイント増加し、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が5.6ポイント減少している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】すべての年代で『満足』が6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『満足』が6割を超えている



■今回調査の結果

・『満足』（「満足」＋「やや満足」）は71.9%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は25.6%となっている。

■前回調査との比較

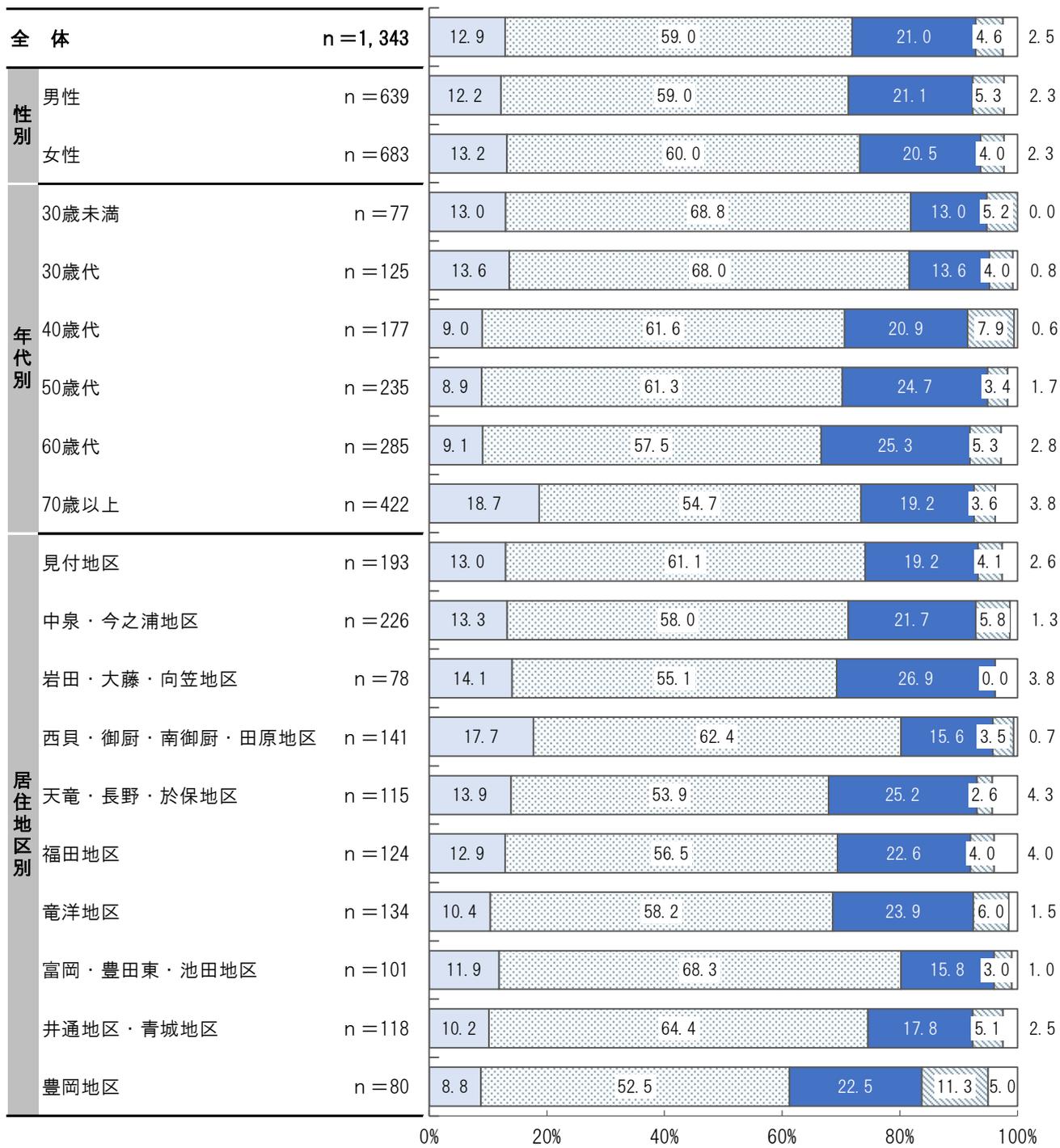
・『満足』が7.5ポイント増加している。
・『不満』が5.6ポイント減少している。

■傾 向

【性 別】
・性別に大きな差はない。
・『満足』が男性では71.2%、女性では73.2%となっている。

【年 代 別】
・すべての年代で『満足』が6割を超えている。
・『満足』は30歳未満（81.8%）が最も多く、次いで30歳代（81.6%）、70歳以上（73.4%）となっている。
・『不満』は60歳代（30.6%）が最も多く、次いで40歳代（28.8%）、50歳代（28.1%）となっている。

【居住地区別】
・すべての居住地区で『満足』が6割を超えている。
・『満足』は、富岡・豊田東・池田地区（80.2%）が最も多く、次いで西貝・御厨・南御厨・田原地区（80.1%）、井通地区・青城地区（74.6%）となっている。



(2) 市役所の仕事ぶりの満足度

問2 市役所の仕事ぶりについてどの程度満足していますか？ <○印を1つ>

市役所の仕事ぶりについて、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が7割以上

■前回調査との比較

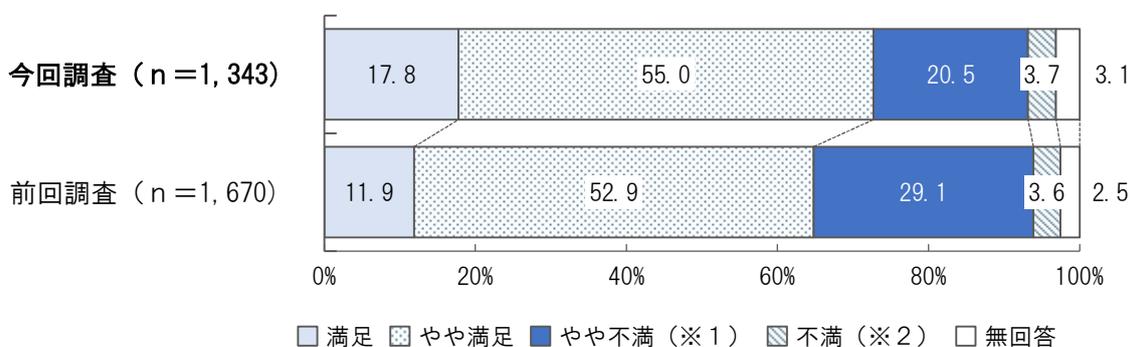
『満足』が8.0ポイント増加し、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が8.5ポイント減少している

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『満足』が6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『満足』が6割を超えている



※1：前回調査の選択肢は、「改善すべき点がある」であった。

※2：前回調査の選択肢は、「思い切った改革をすべきである」であった。

■今回調査の結果

・『満足』（「満足」＋「やや満足」）は72.8%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は24.2%となっている。

■前回調査との比較

・『満足』が8.0ポイント増加している。

・『不満』が8.5ポイント減少している。

■傾向

【性別】

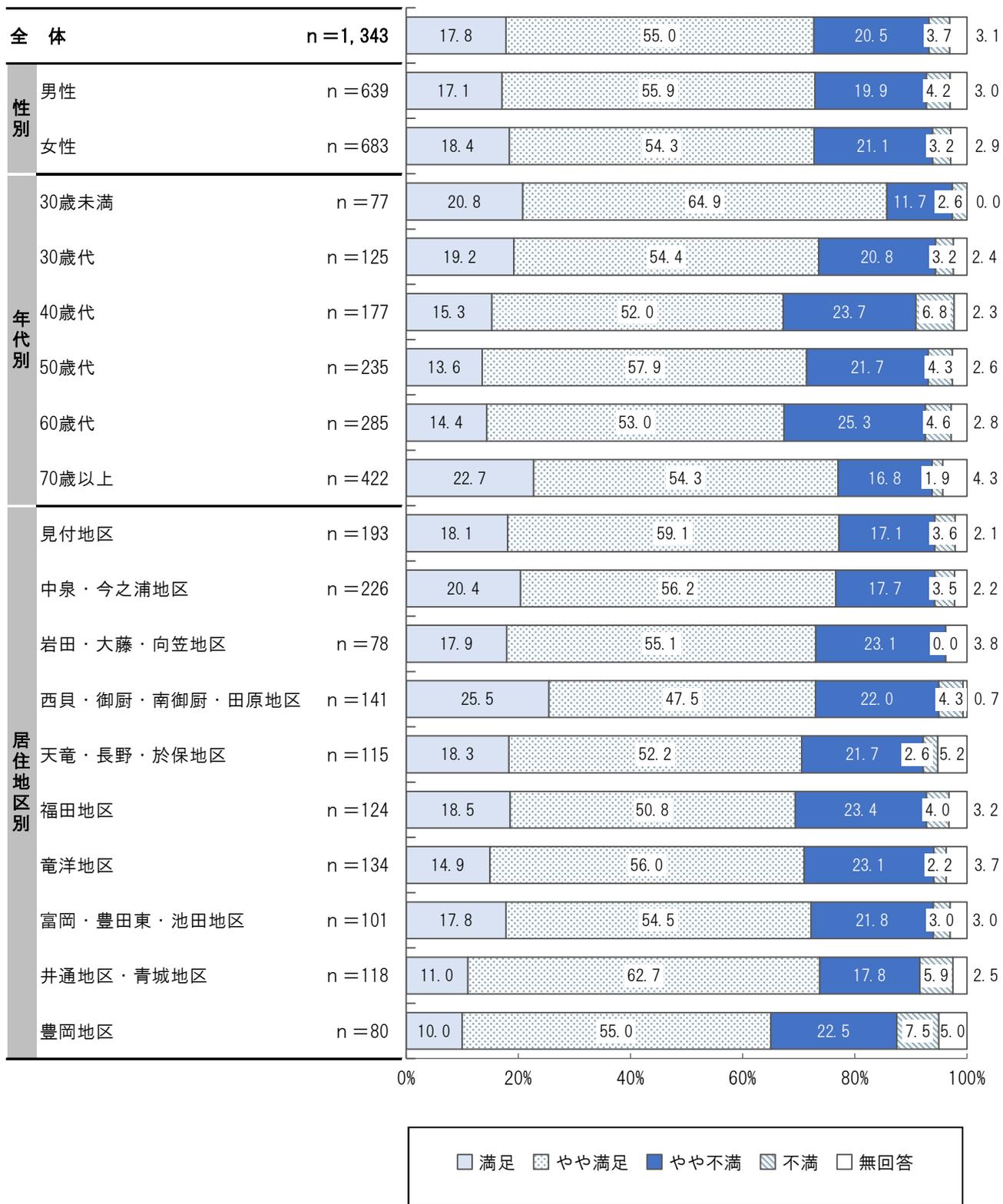
- ・性別に大きな差はない。
- ・『満足』が、男性では73.0%、女性では72.7%となっている。

【年代別】

- ・すべての年代で『満足』が6割を超えている。
- ・『満足』は、30歳未満(85.7%)が最も多く、次いで70歳以上(77.0%)、30歳代(73.6%)となっている。
- ・『不満』は、40歳代(30.5%)が最も多く、次いで60歳代(29.9%)となっている。

【居住地区別】

- ・すべての居住地区で『満足』が6割を超えている。
- ・『満足』は、見付地区(77.2%)が最も多く、次いで中泉・今之浦地区(76.6%)、井通地区・青城地区(73.7%)、西貝・御厨・南御厨・田原地区(73.0%)となっている。



(3) 市役所の仕事ぶりを不満に思う一番の理由

(問2で「やや不満」又は「不満」と回答した方のみ)
 問3 その一番の理由は何ですか? <○印を1つ>

不満に思う一番の理由は、「利用時間が不便である」

■前回調査との比較

「職員の対応や態度が悪い」は4.9ポイント減少している

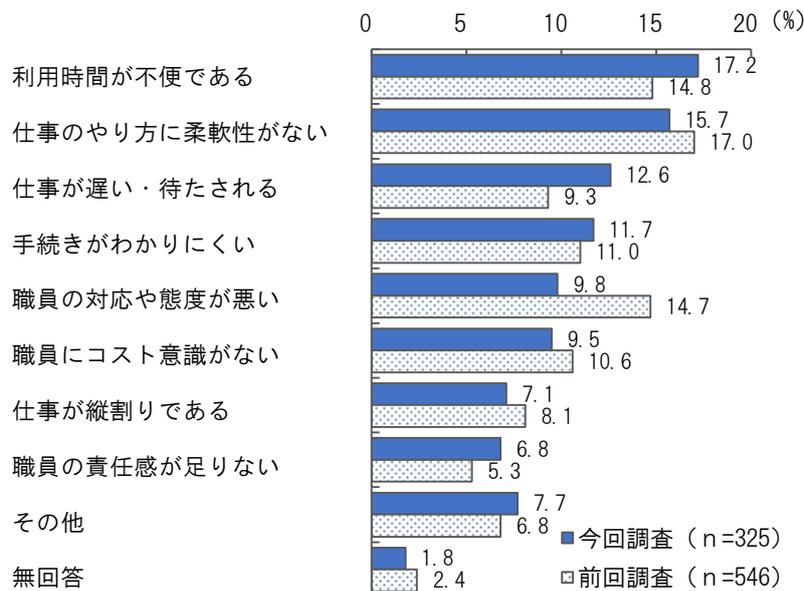
■傾向

【性別】男性では「利用時間が不便である」、女性では「仕事のやり方に柔軟性がない」が最も多い

【年代別】複数の年代で最多となっている理由は「利用時間が不便である」

【居住地区別】複数の地区で最多となっている理由は以下のとおり

- ・「利用時間が不便である」
- ・「仕事のやり方に柔軟性がない」
- ・「手続きがわかりにくい」
- ・「職員の対応や態度が悪い」
- ・「職員にコスト意識がない」



■今回調査の結果

- ・「利用時間が不便である」(17.2%) が最も多く、次いで「仕事のやり方に柔軟性がない」(15.7%)、「仕事が遅い・待たされる」(12.6%) となっている。

■前回調査との比較

- ・増加している項目は、「仕事が遅い・待たされる」(3.3ポイント)、「利用時間が不便である」(2.4ポイント)、「職員の責任感が足りない」(1.5ポイント)、「手続きがわかりにくい」(0.7ポイント) となっている。
- ・減少している項目は、「職員の対応や態度が悪い」(4.9ポイント)、「仕事のやり方に柔軟性がない」(1.3ポイント)、「職員にコスト意識がない」(1.1ポイント)、「仕事が縦割りである」(1.0ポイント) となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「利用時間が不便である」(20.1%) が最も多く、次いで「仕事のやり方に柔軟性がない」(13.6%)、「仕事が遅い・待たされる」(13.0%) となっている。
 - ・女性では「仕事のやり方に柔軟性がない」(18.1%) が最も多く、次いで「利用時間が不便である」(14.5%)、「職員の対応や態度が悪い」(12.0%) となっている。

- 【年代別】**
- ・30歳未満、40歳代、50歳代では「利用時間が不便である」が最も多い。
 - ・30歳代では「職員の対応や態度が悪い」(23.3%) 最も多い。
 - ・60歳代では「仕事が遅い・待たされる」「利用時間が不便である」「仕事のやり方に柔軟性がない」がそれぞれ15.3%と最も多い。
 - ・70歳以上では「手続きがわかりにくい」(17.7%) が最も多い。

- 【居住地区別】** 複数の地区で最多となっている理由は以下のとおり。
- ・「利用時間が不便である」:
中泉・今之浦地区(29.2%)、西貝・御厨・南御厨・田原地区(24.3%)、竜洋地区(17.6%)
 - ・「仕事のやり方に柔軟性がない」:
岩田・大藤・向笠地区(22.2%)、福田地区(17.6%)、井通地区・青城地区(28.6%)
 - ・「手続きがわかりにくい」:
岩田・大藤・向笠地区(22.2%)、竜洋地区(17.6%)、富岡・豊田東・池田地区(20.0%)
 - ・「職員の対応や態度が悪い」:
天竜・長野・於保地区(21.4%)、福田地区(17.6%)
 - ・「職員にコスト意識がない」:
富岡・豊田東・池田地区(20.0%)、豊岡地区(20.8%)

【属性別】

性別：上位5位のみ

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	利用時間が不便である	仕事のやり方に柔軟性がない	仕事が遅い・待たされる	手続きがわかりにくい	職員にコスト意識がない
	人数	31人	21人	20人	18人	17人
	割合	20.1%	13.6%	13.0%	11.7%	11.0%
女性	理由	仕事のやり方に柔軟性がない	利用時間が不便である	職員の対応や態度が悪い	・仕事が遅い・待たされる ・手続きがわかりにくい	
	人数	30人	24人	20人	19人	
	割合	18.1%	14.5%	12.0%	11.4%	

年代別：上位5位のみ

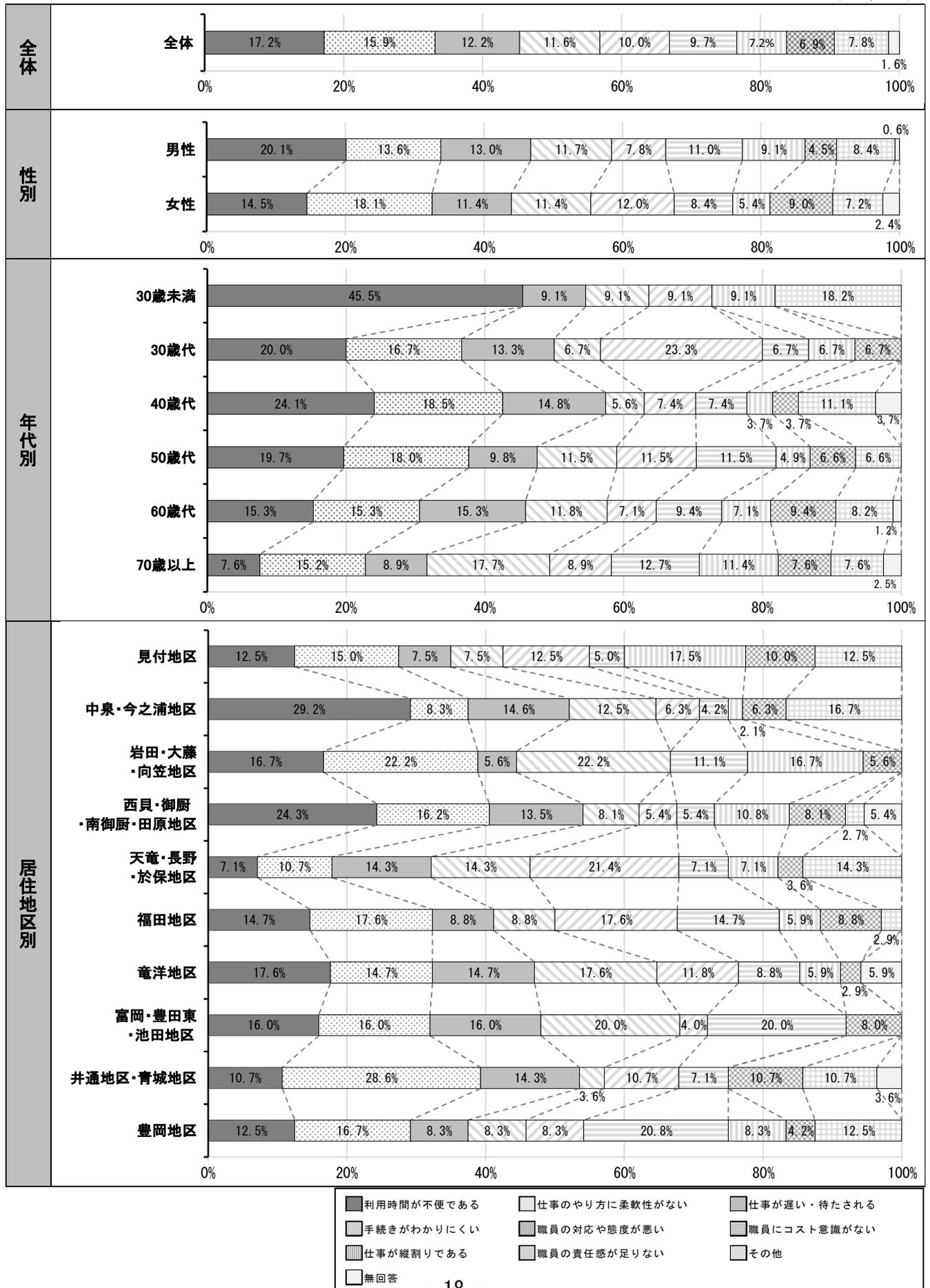
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	利用時間が不便である	・職員の対応や態度が悪い ・仕事が遅い・待たされる ・仕事が縦割りである ・手続きがわかりにくい			
	人数	5人				1人
	割合	45.5%				9.1%
30歳代	理由	職員の対応や態度が悪い	利用時間が不便である	仕事のやり方に柔軟性がない	仕事が遅い・待たされる	・仕事が縦割りである ・手続きがわかりにくい ・職員にコスト意識がない
	人数	7人	6人	5人	4人	2人
	割合	23.3%	20.0%	16.7%	13.3%	6.7%
40歳代	理由	利用時間が不便である	仕事のやり方に柔軟性がない	仕事が遅い・待たされる	・職員の対応や態度が悪い ・職員にコスト意識がない	
	人数	13人	10人	8人	4人	
	割合	24.1%	18.5%	14.8%	7.4%	
50歳代	理由	利用時間が不便である	仕事のやり方に柔軟性がない	・職員の対応や態度が悪い ・職員にコスト意識がない		・手続きがわかりにくい
	人数	12人	11人			7人
	割合	19.7%	18.0%			11.5%
60歳代	理由	・仕事が遅い・待たされる ・利用時間が不便である ・仕事のやり方に柔軟性がない		手続きがわかりにくい	・職員にコスト意識がない ・職員の責任感が足りない	
	人数			13人	10人	8人
	割合			15.3%	11.8%	9.4%
70歳以上	理由	手続きがわかりにくい	仕事のやり方に柔軟性がない	職員にコスト意識がない	仕事が縦割りである	・職員の対応や態度が悪い ・仕事が遅い・待たされる
	人数	14人	12人	10人	9人	7人
	割合	17.7%	15.2%	12.7%	11.4%	8.9%

居住地区別：上位5位のみ

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	仕事が縦割りである	仕事のやり方に柔軟性がない	・職員の対応や態度が悪い ・利用時間が不便である		職員の責任感が足りない
	人数 割合	7人 17.5%	6人 15.0%	5人 12.5%		4人 10.0%
中泉・ 今之浦地区	理由	利用時間が不便である	仕事が遅い・待たされる	手続きがわかりにくい	仕事のやり方に柔軟性がない	・職員の対応や態度が悪い ・職員の責任感が足りない
	人数 割合	14人 29.2%	7人 14.6%	6人 12.5%	4人 8.3%	3人 6.3%
岩田・ 大藤・ 向笠地区	理由	・手続きがわかりにくい ・仕事のやり方に柔軟性がない		・利用時間が不便である ・仕事が縦割りである		職員にコスト意識がない
	人数 割合	4人 22.2%		3人 16.7%		2人 11.1%
西貝・ 御厨・ 南御厨・ 田原地区	理由	利用時間が不便である	仕事のやり方に柔軟性がない	仕事が遅い・待たされる	仕事が縦割りである	・手続きがわかりにくい ・職員の責任感が足りない
	人数 割合	9人 24.3%	6人 16.2%	5人 13.5%	4人 10.8%	3人 8.1%
天竜・ 長野・ 於保地区	理由	職員の対応や態度が悪い	・仕事が遅い・待たされる ・手続きがわかりにくい		仕事のやり方に柔軟性がない	・利用時間が不便である ・仕事が縦割りである ・職員にコスト意識がない
	人数 割合	6人 21.4%	4人 14.3%		3人 10.7%	2人 7.1%
福田地区	理由	・職員の対応や態度が悪い ・仕事のやり方に柔軟性がない		・利用時間が不便である ・職員にコスト意識がない		・仕事が遅い・待たされる ・手続きがわかりにくい ・職員の責任感が足りない
	人数 割合	6人 17.6%		5人 14.7%		3人 8.8%
竜洋地区	理由	・利用時間が不便である ・手続きがわかりにくい		・仕事のやり方に柔軟性がない ・仕事が遅い・待たされる		職員の対応や態度が悪い
	人数 割合	6人 17.6%		5人 14.7%		4人 11.8%
富岡・ 豊田東・ 池田地区	理由	・手続きがわかりにくい ・職員にコスト意識がない		・仕事が遅い・待たされる ・利用時間が不便である ・仕事のやり方に柔軟性がない		
	人数 割合	5人 20.0%		4人 16.0%		
井通地区・ 青城地区	理由	仕事のやり方に柔軟性がない	仕事が遅い・待たされる	・職員の対応や態度が悪い ・利用時間が不便である ・職員の責任感が足りない		
	人数 割合	8人 28.6%	4人 14.3%	3人 10.7%		
豊岡地区	理由	職員にコスト意識がない	仕事のやり方に柔軟性がない	利用時間が不便である	・職員の対応や態度が悪い ・仕事が遅い・待たされる ・仕事が縦割りである ・手続きがわかりにくい	
	人数 割合	5人 20.8%	4人 16.7%	3人 12.5%	2人 8.3%	

【属性別】

(n=1,343)



このページは白紙です

(4) 総合計画の基本施策の取組みの満足度

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？ <○印をそれぞれ1つ>

満足度指数が高い基本施策は、

- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」
- ・「消防・救急体制の充実」
- ・「スポーツの振興」

満足度指数が低い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「計画的な土地利用の推進」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

■前回調査との比較

満足度指数の上昇幅が大きい基本施策は、

- ・「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- ・「共生社会の確立」
- ・「コミュニティと市民活動の活性化」

満足度指数が減少した基本施策は、

- ・「特色ある教育の推進」
- ・「快適な生活環境の確保」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「効率的・効果的な行政運営の推進」

■傾 向

【性別】 大きな差はない

【年代別】 複数の年代で満足度指数が高い施策は、

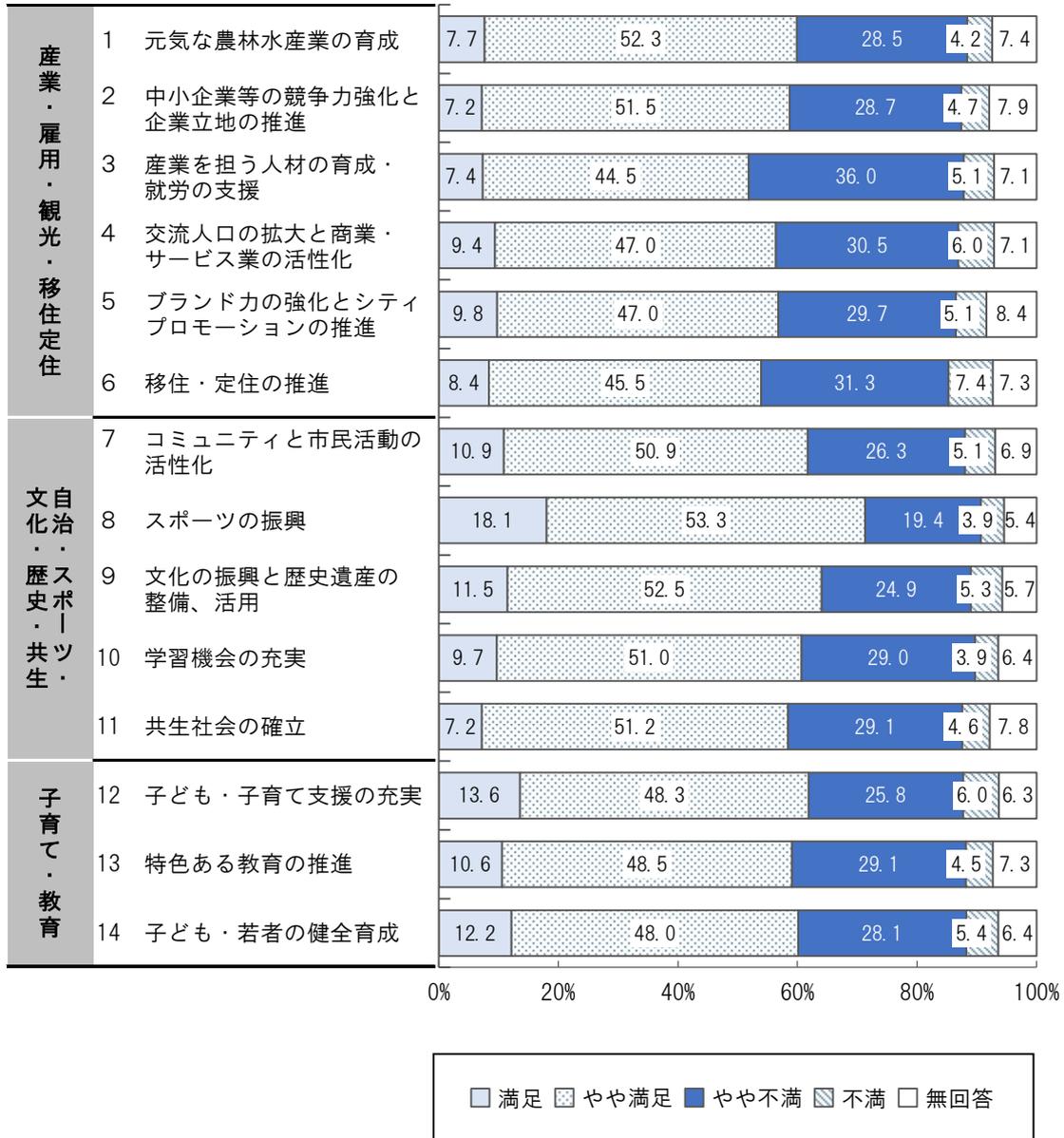
- ・「スポーツの振興」
- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」

【居住地区別】 複数の居住地区で満足度指数が高い施策は、

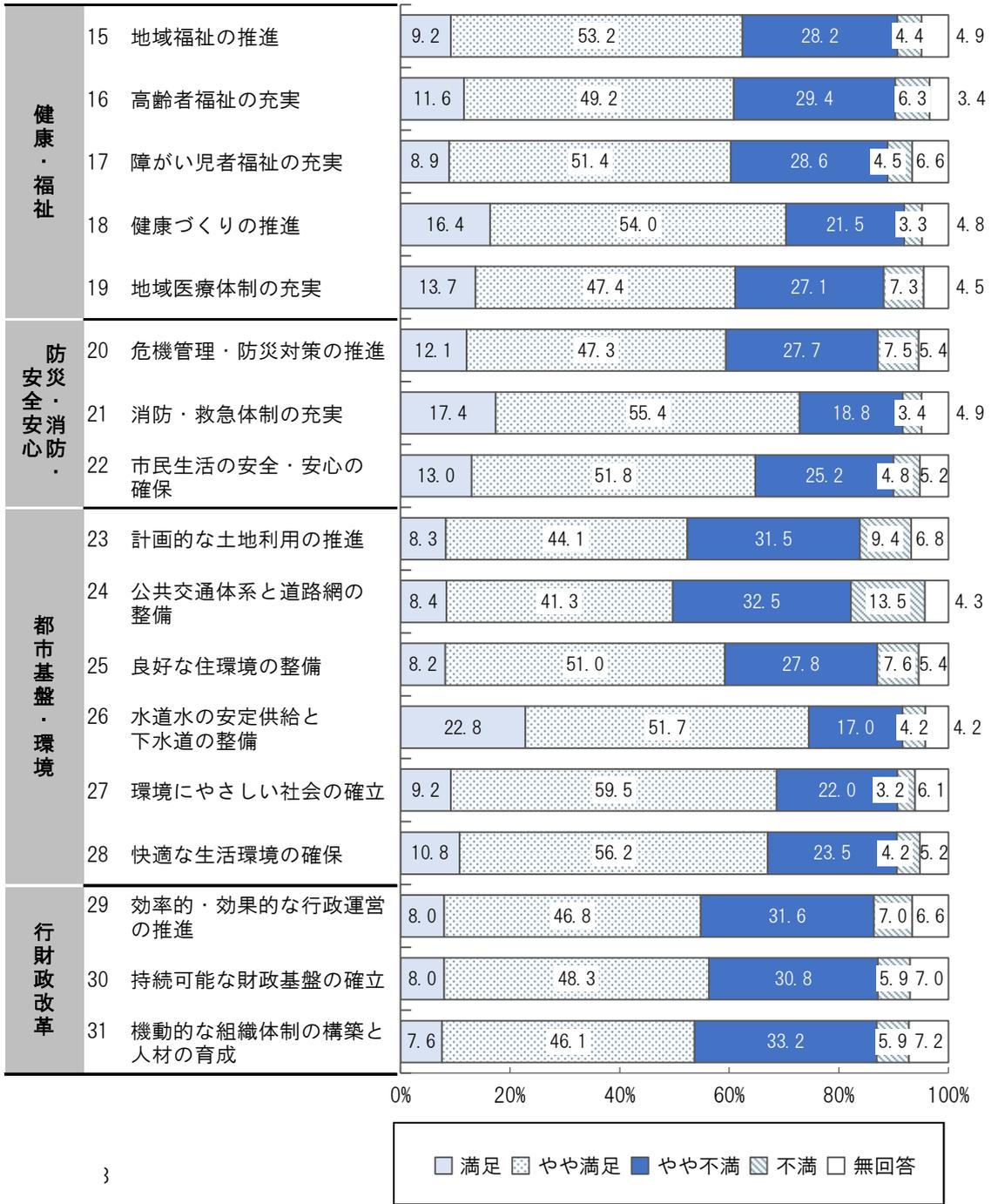
- ・「スポーツの振興」
- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」

■満足度

n = 1,343



n = 1,343



■今回調査の結果

- ・『満足』（「満足」＋「やや満足」）が多い上位5項目は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（74.5%）、「消防・救急体制の充実」（72.8%）、「スポーツの振興」（71.4%）、「健康づくりの推進」（70.4%）、「環境にやさしい社会の確立」（68.7%）となっている。
- ・『不満』（「やや不満」＋「不満」）が多い上位5項目は、「公共交通体系と道路網の整備」（46.0%）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（41.1%）、「計画的な土地利用の推進」（40.9%）、「機動的な組織体制の構築と人材の育成」（39.1%）、「移住・定住の推進」（38.7%）となっている。
- ・満足度指数が高い上位5項目は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（2.97）、「消防・救急体制の充実」（2.91）、「スポーツの振興」（2.90）、「健康づくりの推進」（2.88）、「環境にやさしい社会の確立」（2.79）となっている。
- ・満足度指数が低い上位5項目は、「公共交通体系と道路網の整備」（2.47）、「計画的な土地利用の推進」（2.55）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（2.58）、「移住・定住の推進」（2.59）、「機動的な組織体制の構築と人材の育成」（2.60）となっている。

■前回調査との比較

- ・満足度指数が増加している基本施策は、「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」（0.20ポイント）が最も大きく、次いで「コミュニティと市民活動の活性化」（0.17ポイント）、「共生社会の確立」（0.16ポイント）となっている。
- ・満足度指数が減少している基本施策は、「特色ある教育の推進」（0.05ポイント）、「快適な生活環境の確保」（0.05ポイント）、「公共交通体系と道路網の整備」（0.04ポイント）、「効率的・効果的な行政運営の推進」（0.02ポイント）、となっている。

■傾向

- 【性別】**
 - ・性別に大きな差はない。
 - ・男性の満足度指数は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（2.95）が最も高く、次いで「スポーツの振興」（2.88）、「消防・救急体制の充実」（2.86）となっている。
 - ・女性の満足度指数は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（3.00）が最も高く、次いで「消防・救急体制の充実」（2.96）、「健康づくりの推進」（2.96）となっている。
 - ・男性、女性ともに、「公共交通体系と道路網の整備」の満足度指数が最も低く、次いで「計画的な土地利用の推進」となっている。
- 【年代別】**
 - ・30歳未満、30歳代の満足度指数は、「スポーツの振興」が最も高く、次いで「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の満足度指数は「水道水の安定供給と下水道の整備」が最も高くなっている。
 - ・40歳代の満足度指数は「計画的な土地利用の推進」が最も低く、40歳代以外の年代では「公共交通体系と道路網の整備」が最も低い。
- 【居住地区別】**
 - ・満足度指数は、岩田・大藤・向笠地区は「消防・救急体制の充実」、天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区は「スポーツの振興」、それ以外の居住地区は、「水道水の安定供給と下水道の整備」が最も高くなっている。
 - ・中泉・今之浦地区、豊岡地区は「計画的な土地利用の推進」、福田地区は「移住・定住の推進」、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区は「産業を担う人材の育成・就労の支援」、それ以外の地区は「公共交通体系と道路網の整備」が最も低い。

満足度指数の算出

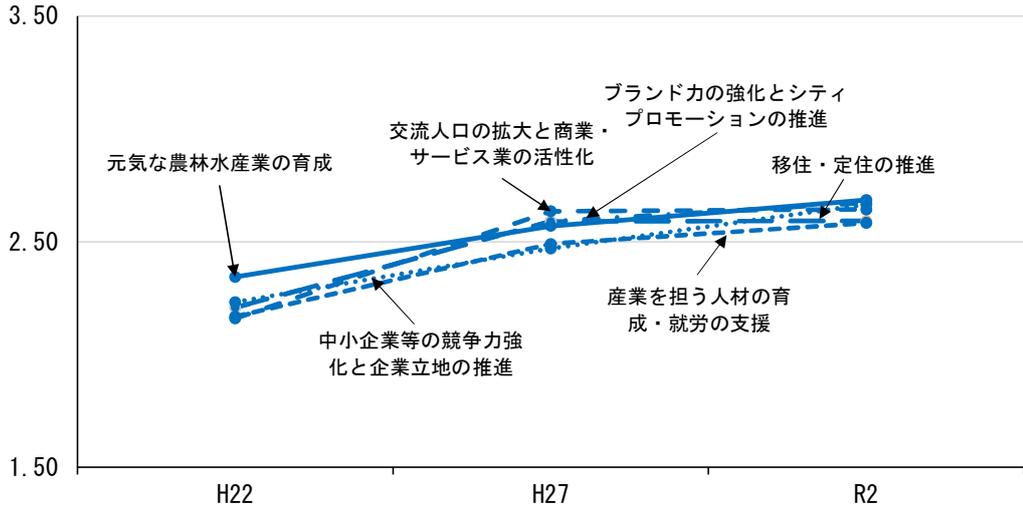
満足度指数	満足度指数とは、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点を加算し、回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもので、4に近いほど満足で、1に近いほど不満であることを示している。
-------	---

■満足度指数順位表

順位	分野	基本施策	満足度指数
1	都市基盤・環境	水道水の安定供給と下水道の整備	2.97
2	防災・消防・安全安心	消防・救急体制の充実	2.91
3	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツの振興	2.90
4	健康・福祉	健康づくりの推進	2.88
5	都市基盤・環境	環境にやさしい社会の確立	2.79
6	都市基盤・環境	快適な生活環境の確保	2.78
7	防災・消防・安全安心	市民生活の安全・安心の確保	2.77
8	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.75
9	子育て・教育	子ども・子育て支援の充実	2.74
10	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	2.72
11	子育て・教育	子ども・若者の健全育成	2.72
12	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	学習機会の充実	2.71
13	健康・福祉	地域福祉の推進	2.71
14	健康・福祉	地域医療体制の充実	2.71
15	子育て・教育	特色ある教育の推進	2.70
16	健康・福祉	障がい児者福祉の充実	2.69
17	産業・雇用・観光・移住定住	元気な農林水産業の育成	2.68
18	健康・福祉	高齢者福祉の充実	2.68
19	防災・消防・安全安心	危機管理・防災対策の推進	2.68
20	産業・雇用・観光・移住定住	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.67
21	産業・雇用・観光・移住定住	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	2.67
22	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	共生社会の確立	2.66
23	産業・雇用・観光・移住定住	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	2.64
24	都市基盤・環境	良好な住環境の整備	2.63
25	行財政改革	持続可能な財政基盤の確立	2.63
26	行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	2.60
27	行財政改革	機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.60
28	産業・雇用・観光・移住定住	移住・定住の推進	2.59
29	産業・雇用・観光・移住定住	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.58
30	都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	2.55
31	都市基盤・環境	公共交通体系と道路網の整備	2.47

■満足度指数の推移

産業・雇用・観光・移住・移住定住



元気な農林水産業の育成

年度	H22	H27	R2
満足度	2.34	2.57	2.68

中小企業等の競争力強化と企業立地の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.23	2.47	2.67

産業を担う人材の育成・就労の支援

年度	H22	H27	R2
満足度	2.17	2.49	2.58

交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化

年度	H22	H27	R2
満足度	2.16	2.64	2.64

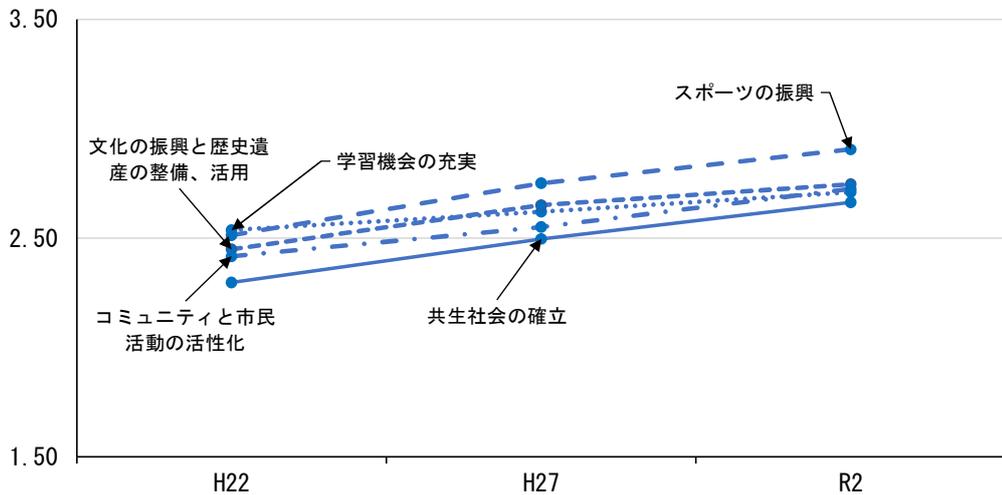
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.21	2.59	2.67

移住・定住の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.21	2.59	2.59

自治・スポーツ・文化・歴史・共生



コミュニティと市民活動の活性化

年度	H22	H27	R2
満足度	2.42	2.55	2.72

スポーツの振興

年度	H22	H27	R2
満足度	2.51	2.75	2.90

文化の振興と歴史遺産の整備、活用

年度	H22	H27	R2
満足度	2.45	2.65	2.75

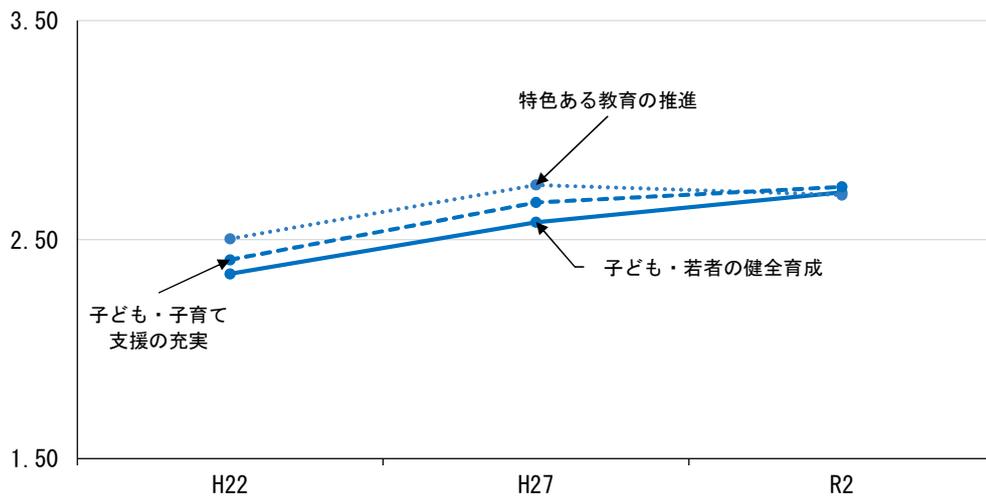
学習機会の充実

年度	H22	H27	R2
満足度	2.54	2.62	2.71

共生社会の確立

年度	H22	H27	R2
満足度	2.30	2.50	2.66

子育て・教育



子ども・子育て支援の充実化

年度	H22	H27	R2
満足度	2.41	2.67	2.74

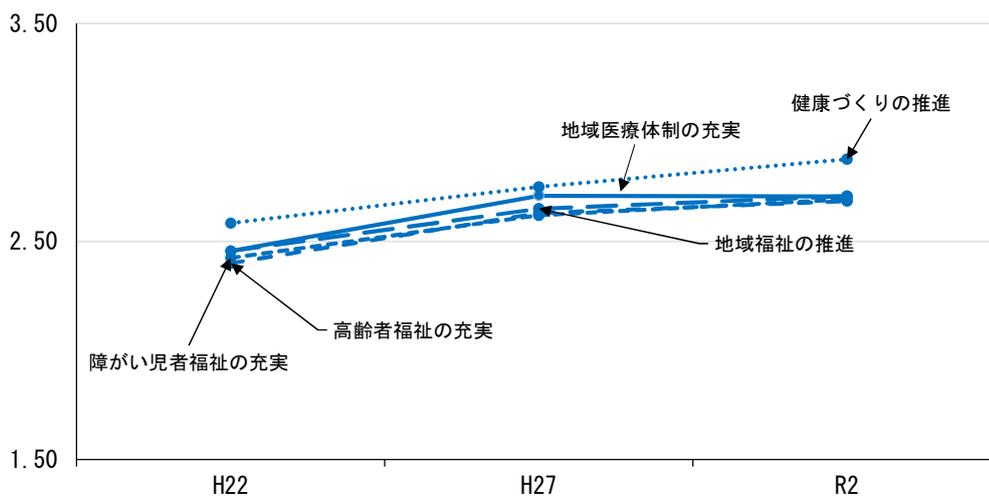
特色ある教育の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.50	2.75	2.70

子ども・若者の健全育成

年度	H22	H27	R2
満足度	2.34	2.58	2.72

健康・福祉



地域福祉の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.46	2.65	2.71

高齢者福祉の充実

年度	H22	H27	R2
満足度	2.40	2.63	2.68

障がい児者福祉の充実

年度	H22	H27	R2
満足度	2.42	2.62	2.69

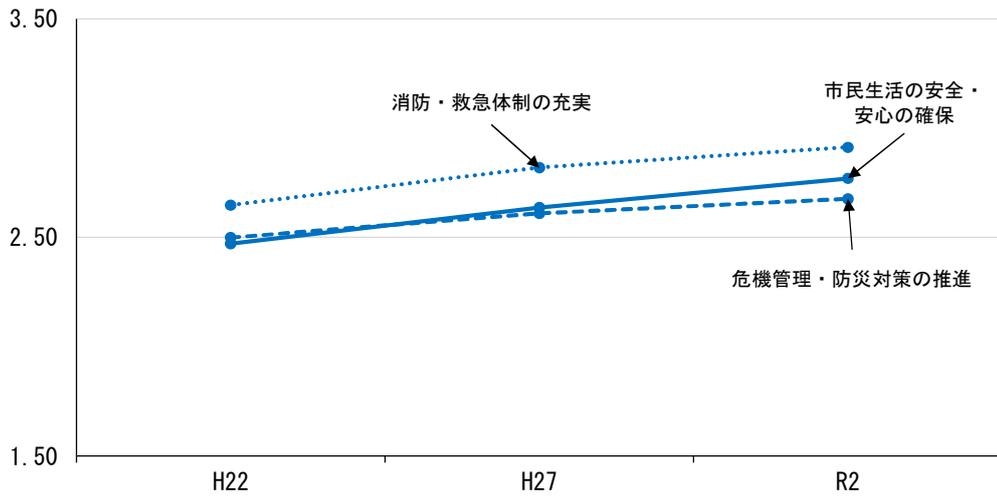
健康づくりの推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.58	2.75	2.88

地域医療体制の充実

年度	H22	H27	R2
満足度	2.46	2.71	2.71

防災・消防・安全安心



危機管理・防災対策の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.50	2.61	2.68

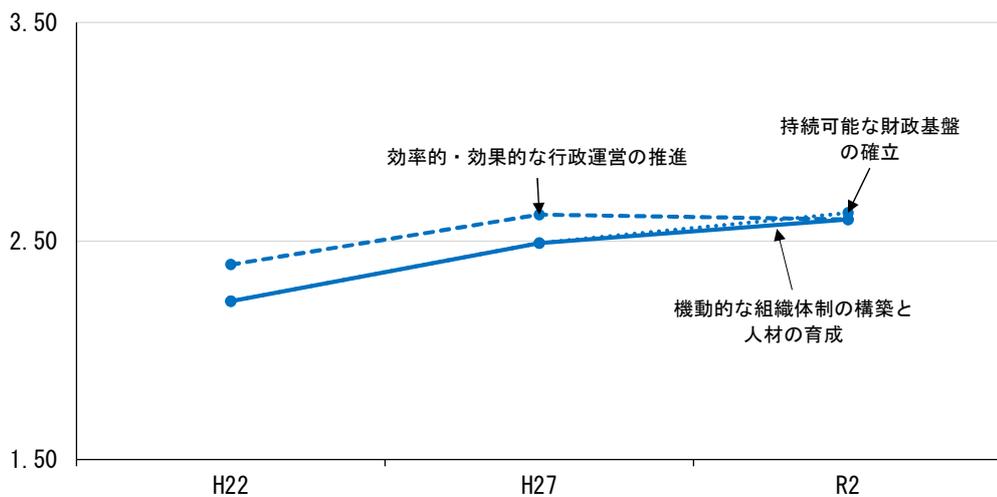
消防・救急体制の充実

年度	H22	H27	R2
満足度	2.65	2.82	2.91

市民生活の安全・安心の確保

年度	H22	H27	R2
満足度	2.47	2.64	2.77

都市基盤・環境



計画的な土地利用の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.27	2.51	2.55

公共交通体系と道路網の整備

年度	H22	H27	R2
満足度	2.27	2.51	2.47

良好な住環境の整備

年度	H22	H27	R2
満足度	2.31	2.54	2.63

水道水の安定供給と下水道の整備

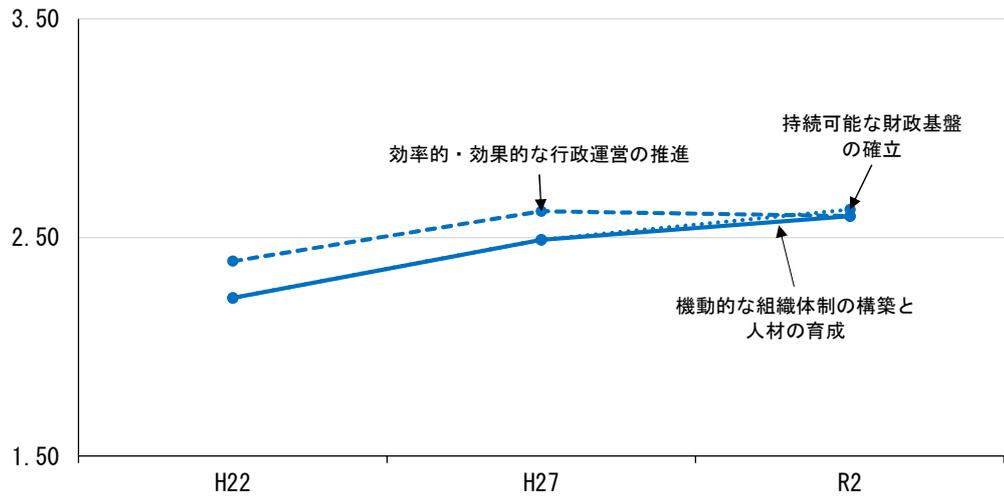
年度	H22	H27	R2
満足度	2.69	2.87	2.97

環境にやさしい社会の確立

年度	H22	H27	R2
満足度	2.40	2.72	2.79

快適な生活環境の確保

年度	H22	H27	R2
満足度	2.56	2.83	2.78



効率的・効果的な行政運営の推進

年度	H22	H27	R2
満足度	2.39	2.62	2.60

持続可能な財政基盤の確立

年度	H22	H27	R2
満足度	2.22	2.49	2.63

機動的な組織体制の構築と人材の育成

年度	H22	H27	R2
満足度	2.22	2.49	2.60

■満足度指数順位表（属性別）（上位・下位5位のみ）

【男性】

順位	基本施策	満足度指数
1	水道水の安定供給と下水道の整備	2.95
2	スポーツの振興	2.88
3	消防・救急体制の充実	2.86
4	健康づくりの推進	2.80
5	環境にやさしい社会の確立	2.77
27	効率的・効果的な行政運営の推進	2.54
28	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.52
29	移住・定住の推進	2.51
30	計画的な土地利用の推進	2.51
31	公共交通体系と道路網の整備	2.42

【女性】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.00
消防・救急体制の充実	2.96
健康づくりの推進	2.96
スポーツの振興	2.93
子ども・子育て支援の充実	2.82
産業を担う人材の育成・就労の支援	2.64
良好な住環境の整備	2.64
機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.62
計画的な土地利用の推進	2.58
公共交通体系と道路網の整備	2.52

【30歳未満】

順位	基本施策	満足度指数
1	スポーツの振興	3.13
2	水道水の安定供給と下水道の整備	3.05
3	環境にやさしい社会の確立	3.01
4	消防・救急体制の充実	2.97
5	市民生活の安全・安心の確保	2.95
27	特色ある教育の推進	2.74
28	子ども・若者の健全育成	2.72
29	計画的な土地利用の推進	2.71
30	効率的・効果的な行政運営の推進	2.68
31	公共交通体系と道路網の整備	2.45

【30歳代】

基本施策	満足度指数
スポーツの振興	2.90
水道水の安定供給と下水道の整備	2.88
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.85
快適な生活環境の確保	2.83
健康づくりの推進	2.82
移住・定住の推進	2.59
計画的な土地利用の推進	2.57
機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.57
持続可能な財政基盤の確立	2.56
公共交通体系と道路網の整備	2.38

【40歳代】

順位	基本施策	満足度指数
1	水道水の安定供給と下水道の整備	2.90
2	消防・救急体制の充実	2.86
3	スポーツの振興	2.86
4	健康づくりの推進	2.82
5	快適な生活環境の確保	2.78
27	機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.54
28	移住・定住の推進	2.53
29	公共交通体系と道路網の整備	2.51
30	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.49
31	計画的な土地利用の推進	2.47

【50歳代】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	2.90
スポーツの振興	2.84
消防・救急体制の充実	2.81
健康づくりの推進	2.80
快適な生活環境の確保	2.74
危機管理・防災対策の推進	2.49
持続可能な財政基盤の確立	2.48
機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.48
効率的・効果的な行政運営の推進	2.46
公共交通体系と道路網の整備	2.45

【60 歳代】

順位	基本施策	満足度指数
1	水道水の安定供給と下水道の整備	2.99
2	消防・救急体制の充実	2.88
3	健康づくりの推進	2.86
4	スポーツの振興	2.85
5	環境にやさしい社会の確立	2.78
27	効率的・効果的な行政運営の推進	2.55
28	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.51
29	計画的な土地利用の推進	2.49
30	移住・定住の推進	2.49
31	公共交通体系と道路網の整備	2.42

【70 歳以上】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.05
消防・救急体制の充実	3.04
健康づくりの推進	2.98
スポーツの振興	2.96
子ども・子育て支援の充実	2.91
良好な住環境の整備	2.65
交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	2.63
産業を担う人材の育成・就労の支援	2.62
計画的な土地利用の推進	2.59
公共交通体系と道路網の整備	2.52

【見付地区】

順位	基本施策	満足度指数
1	水道水の安定供給と下水道の整備	3.01
2	スポーツの振興	2.92
3	消防・救急体制の充実	2.89
4	健康づくりの推進	2.89
5	市民生活の安全・安心の確保	2.82
27	持続可能な財政基盤の確立	2.65
28	効率的・効果的な行政運営の推進	2.65
29	計画的な土地利用の推進	2.63
30	機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.57
31	公共交通体系と道路網の整備	2.52

【中泉・今之浦地区】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	2.98
消防・救急体制の充実	2.91
健康づくりの推進	2.89
スポーツの振興	2.82
快適な生活環境の確保	2.77
移住・定住の推進	2.63
効率的・効果的な行政運営の推進	2.59
機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.57
公共交通体系と道路網の整備	2.54
計画的な土地利用の推進	2.46

【岩田・大藤・向笠地区】

順位	基本施策	満足度指数
1	消防・救急体制の充実	3.05
2	健康づくりの推進	3.03
3	スポーツの振興	2.99
4	環境にやさしい社会の確立	2.89
5	危機管理・防災対策の推進	2.88
27	元気な農林水産業の育成	2.63
28	良好な住環境の整備	2.63
29	計画的な土地利用の推進	2.58
30	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.57
31	公共交通体系と道路網の整備	2.56

【西貝・御厨・南御厨・田原地区】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.05
消防・救急体制の充実	3.04
スポーツの振興	2.99
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.89
健康づくりの推進	2.87
産業を担う人材の育成・就労の支援	2.65
子ども・若者の健全育成	2.64
良好な住環境の整備	2.59
効率的・効果的な行政運営の推進	2.58
公共交通体系と道路網の整備	2.40

【天竜・長野・於保地区】

順位	基本施策	満足度指数
1	スポーツの振興	2.97
2	消防・救急体制の充実	2.83
3	健康づくりの推進	2.83
4	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.82
5	コミュニティと市民活動の活性化	2.75
27	持続可能な財政基盤の確立	2.54
28	計画的な土地利用の推進	2.50
29	移住・定住の推進	2.49
30	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.45
31	公共交通体系と道路網の整備	2.20

【福田地区】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.12
消防・救急体制の充実	2.92
スポーツの振興	2.89
健康づくりの推進	2.89
環境にやさしい社会の確立	2.80
中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	2.54
計画的な土地利用の推進	2.51
産業を担う人材の育成・就労の支援	2.49
公共交通体系と道路網の整備	2.44
移住・定住の推進	2.38

【竜洋地区】

順位	基本施策	満足度指数
1	水道水の安定供給と下水道の整備	3.02
2	健康づくりの推進	2.93
3	快適な生活環境の確保	2.83
4	環境にやさしい社会の確立	2.82
5	消防・救急体制の充実	2.81
27	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	2.56
28	公共交通体系と道路網の整備	2.55
29	移住・定住の推進	2.52
30	計画的な土地利用の推進	2.52
31	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.49

【富岡・豊田東・池田地区】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.07
消防・救急体制の充実	2.97
スポーツの振興	2.91
環境にやさしい社会の確立	2.90
快適な生活環境の確保	2.81
持続可能な財政基盤の確立	2.55
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.55
公共交通体系と道路網の整備	2.54
移住・定住の推進	2.51
産業を担う人材の育成・就労の支援	2.50

【井通地区・青城地区】

順位	基本施策	満足度指数
1	スポーツの振興	2.96
2	水道水の安定供給と下水道の整備	2.93
3	健康づくりの推進	2.87
4	消防・救急体制の充実	2.84
5	快適な生活環境の確保	2.80
27	障がい児者福祉の充実	2.60
28	効率的・効果的な行政運営の推進	2.60
29	持続可能な財政基盤の確立	2.58
30	計画的な土地利用の推進	2.51
31	公共交通体系と道路網の整備	2.42

【豊岡地区】

基本施策	満足度指数
水道水の安定供給と下水道の整備	3.00
消防・救急体制の充実	2.91
健康づくりの推進	2.87
スポーツの振興	2.85
中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	2.83
共生社会の確立	2.53
効率的・効果的な行政運営の推進	2.50
機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.49
公共交通体系と道路網の整備	2.43
計画的な土地利用の推進	2.41

(5) 総合計画の基本施策の取組みの重要度

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？ <○印をそれぞれ1つ>

重要度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」
- ・「消防・救急体制の充実」

重要度指数が低い基本施策は、

- ・「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」
- ・「スポーツの振興」
- ・「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」

■前回調査との比較

重要度指数の上昇幅が大きい基本施策は、

- ・「共生社会の確立」
- ・「良好な住環境の整備」
- ・「学習機会の充実」

■傾 向

【性 別】 大きな差はない

【年 代 別】 複数の年代で重要度指数が高い基本施策は、

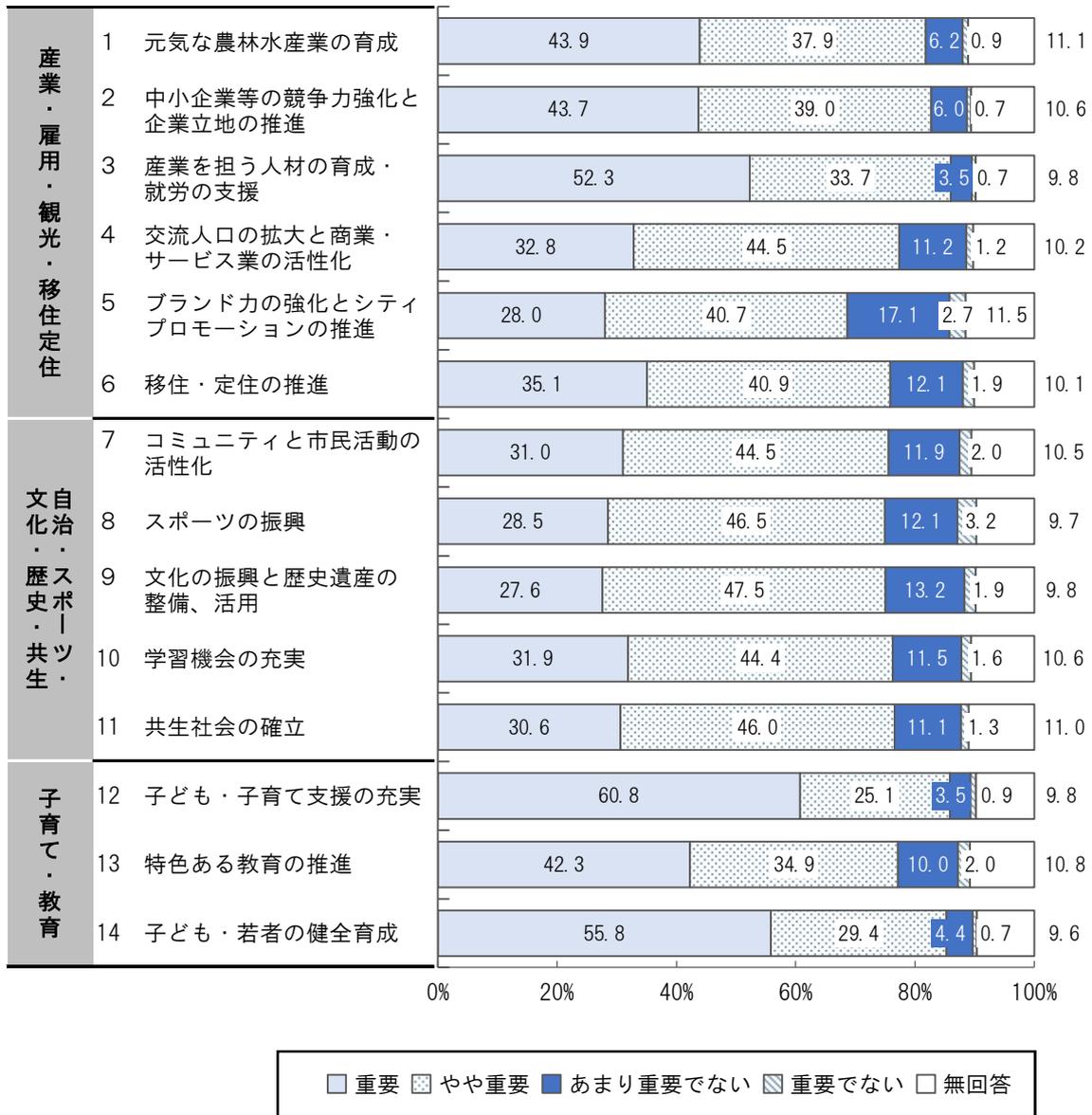
- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」

【居住地区別】 複数の居住地区で満足度指数が高い基本施策は、

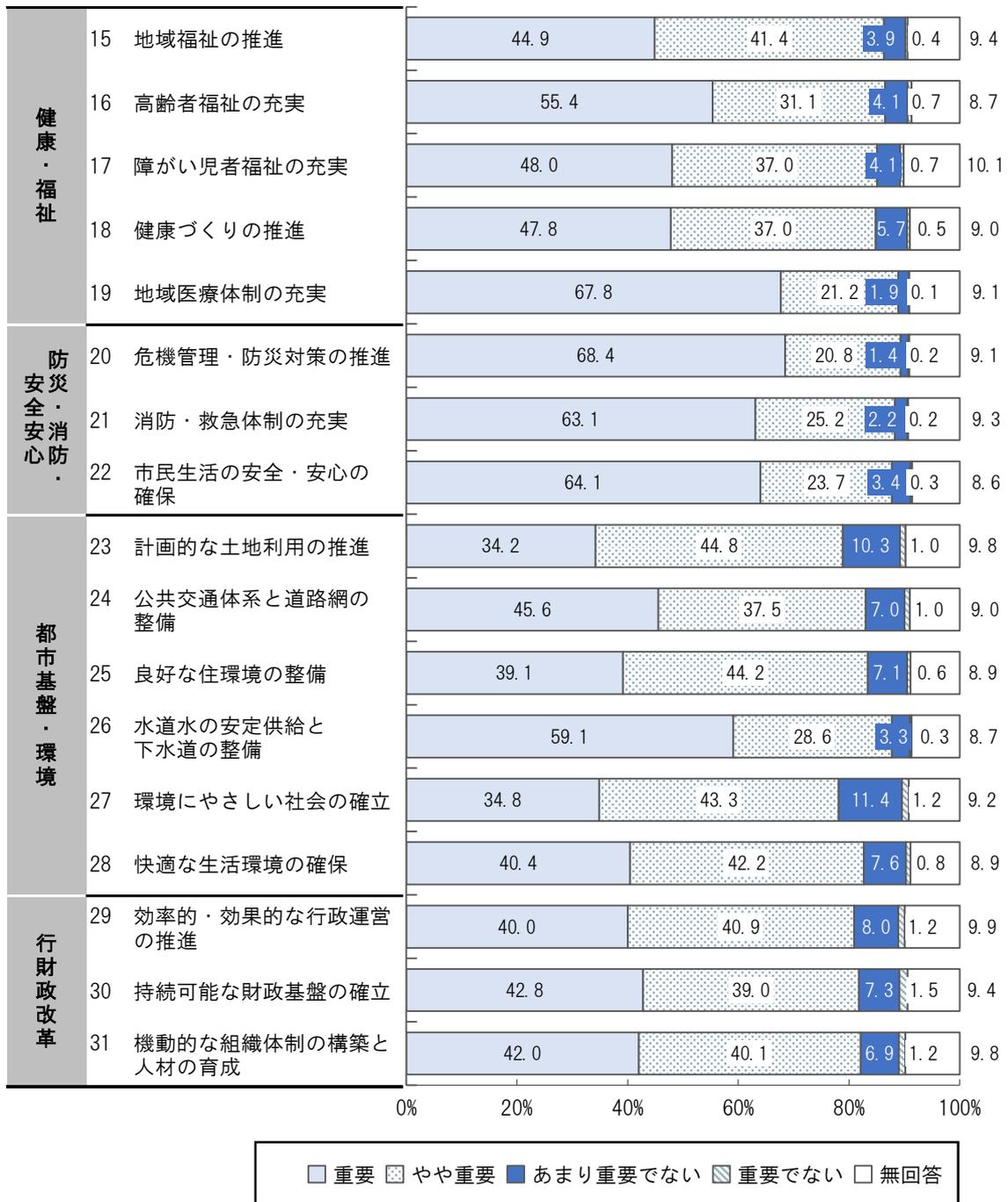
- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」

■重要度

n = 1,343



n = 1,343



■今回調査の結果

- ・『重要』（「重要」＋「やや重要」）が多い上位5項目は、「危機管理・防災対策の推進」（89.2%）、「地域医療体制の充実」（89.0%）、「消防・救急体制の充実」（88.3%）、「市民生活の安全・安心の確保」（87.8%）、「水道水の安定供給と下水道の整備」（87.8%）となっている。
- ・『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が多い上位5項目は、「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」（19.8%）、「スポーツの振興」（15.3%）、「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」（15.1%）、「移住・定住の推進」（14.0%）「コミュニティと市民活動の活性化」（13.9%）となっている。
- ・重要度指数が高い上位5項目は、「危機管理・防災対策の推進」（3.73）、「地域医療体制の充実」（3.72）、「消防・救急体制の充実」（3.67）、「市民生活の安全・安心の確保」（3.66）、「子ども・子育て支援の充実」（3.61）となっている。
- ・重要度指数が低い下位5項目は、「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」（3.06）、「スポーツの振興」（3.11）、「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」（3.12）、「コミュニティと市民活動の活性化」（3.17）、「共生社会の確立」（3.19）となっている。

■前回調査との比較

- ・すべての基本施策で上昇している。
- ・重要度指数が増加している基本施策は、「共生社会の確立」（0.44ポイント）が最も大きく、次いで「学習機会の充実」（0.42ポイント）、「良好な住環境の整備」（0.42ポイント）となっている。

■傾向

【性別】

- ・性別に大きな差はない。
- ・男性の重要度指数は、「危機管理・防災対策の推進」（3.69）が最も高く、次いで「地域医療体制の充実」（3.64）、「市民生活の安全・安心の確保」（3.60）となっている。
- ・女性の重要度指数は、「地域医療体制の充実」（3.81）が最も高く、次いで「危機管理・防災対策の推進」（3.78）、「消防・救急体制の充実」（3.73）となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、30歳代、40歳代の重要度指数は、「危機管理・防災対策の推進」が最も高くなっている。
- ・50歳代、60歳代、70歳以上の重要度指数は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。
- ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代の重要度指数が高い5施策と、60歳代、70歳以上の重要度指数が高い4施策は、順位の違いはあるが同じ施策となっている。

【居住地区別】

- ・すべての居住地区で、重要度指数は「危機管理・防災対策の推進」又は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。

重要度指数の算出

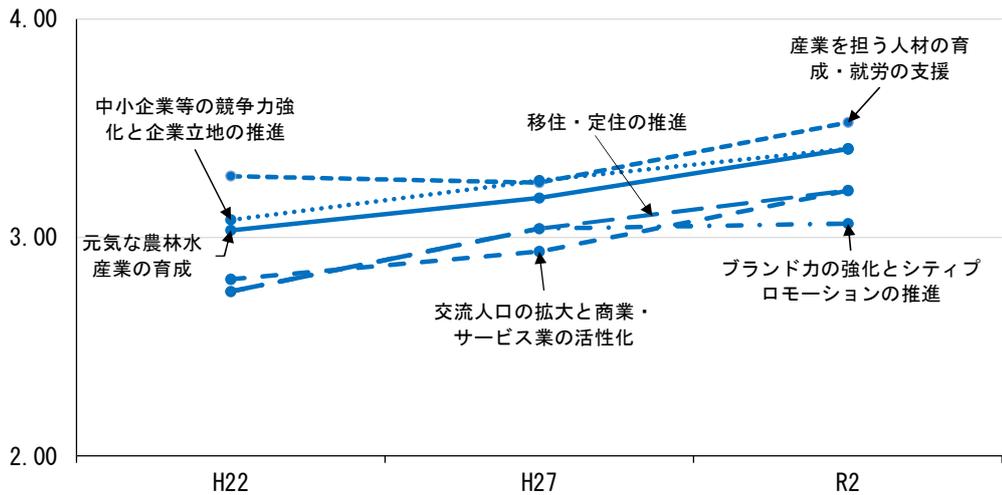
重要度指数	重要度指数とは、「重要」に4点、「やや重要」に3点、「あまり重要でない」に2点、「重要でない」に1点を加点し、回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもので、4に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示している。
-------	--

■重要度指数順位表

順位	分野	基本施策	重要度指数
1	防災・消防・安全安心	危機管理・防災対策の推進	3.73
2	健康・福祉	地域医療体制の充実	3.72
3	防災・消防・安全安心	消防・救急体制の充実	3.67
4	防災・消防・安全安心	市民生活の安全・安心の確保	3.66
5	子育て・教育	子ども・子育て支援の充実	3.61
6	都市基盤・環境	水道水の安定供給と下水道の整備	3.61
7	子育て・教育	子ども・若者の健全育成	3.55
8	健康・福祉	高齢者福祉の充実	3.55
9	産業・雇用・観光・移住定住	産業を担う人材の育成・就労の支援	3.53
10	健康・福祉	障がい児者福祉の充実	3.47
11	健康・福祉	健康づくりの推進	3.45
12	健康・福祉	地域福祉の推進	3.44
13	産業・雇用・観光・移住定住	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	3.41
14	産業・雇用・観光・移住定住	元気な農林水産業の育成	3.40
15	都市基盤・環境	公共交通体系と道路網の整備	3.40
16	行財政改革	機動的な組織体制の構築と人材の育成	3.36
17	行財政改革	持続可能な財政基盤の確立	3.36
18	都市基盤・環境	快適な生活環境の確保	3.34
19	都市基盤・環境	良好な住環境の整備	3.34
20	行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	3.33
21	子育て・教育	特色ある教育の推進	3.32
22	都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	3.24
23	都市基盤・環境	環境にやさしい社会の確立	3.23
24	産業・雇用・観光・移住定住	移住・定住の推進	3.21
25	産業・雇用・観光・移住定住	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	3.21
26	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	学習機会の充実	3.19
27	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	共生社会の確立	3.19
28	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	3.17
29	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.12
30	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツの振興	3.11
31	産業・雇用・観光・移住定住	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.06

重要度指数の推移

産業・雇用・観光・移住定住



元気な農林水産業の育成

年度	H22	H27	R2
重要度	3.03	3.18	3.40

中小企業等の競争力強化と企業立地の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	3.08	3.26	3.41

産業を担う人材の育成・就労の支援

年度	H22	H27	R2
重要度	3.28	3.25	3.53

交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化

年度	H22	H27	R2
重要度	2.81	2.94	3.21

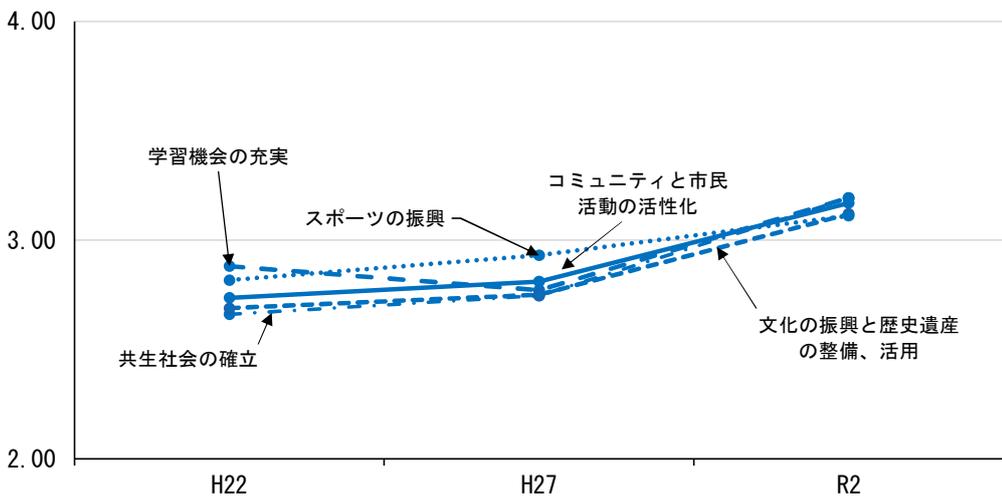
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進

年度	H22	H27	R2
重要度	2.75	3.04	3.06

移住・定住の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	2.75	3.04	3.21

自治・スポーツ・文化・歴史・共生



コミュニティと市民活動の活性化

年度	H22	H27	R2
重要度	2.74	2.81	3.17

スポーツの振興

年度	H22	H27	R2
重要度	2.82	2.93	3.11

文化の振興と歴史遺産の整備、活用

年度	H22	H27	R2
重要度	2.69	2.75	3.12

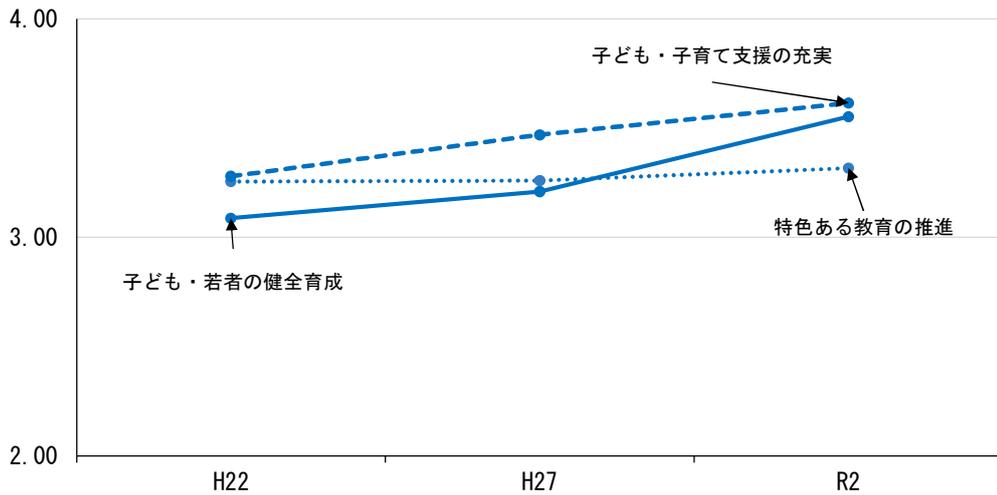
学習機会の充実

年度	H22	H27	R2
重要度	2.88	2.77	3.19

共生社会の確立

年度	H22	H27	R2
重要度	2.66	2.75	3.19

子育て・教育



子ども・子育て支援の充実化

年度	H22	H27	R2
重要度	3.28	3.47	3.61

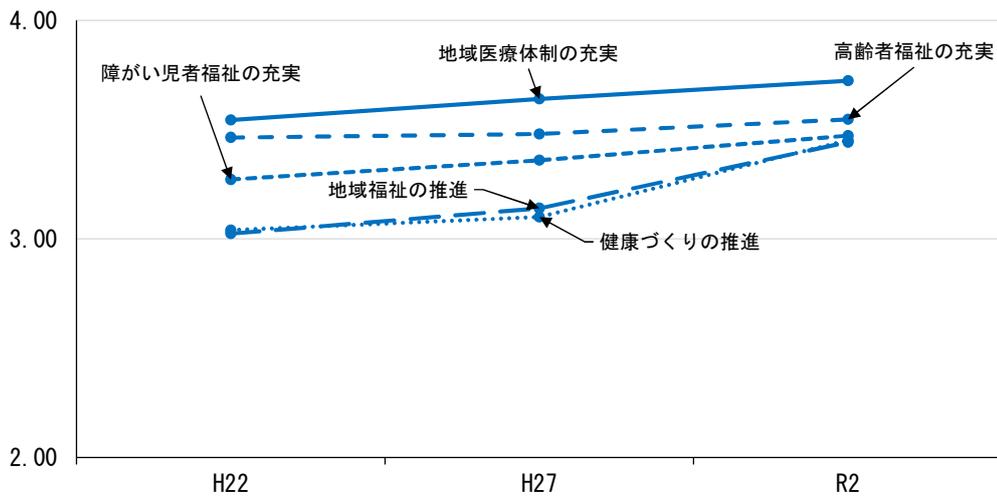
特色ある教育の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	3.26	3.26	3.32

子ども・若者の健全育成

年度	H22	H27	R2
重要度	3.09	3.21	3.55

健康・福祉



地域福祉の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	3.02	3.14	3.44

高齢者福祉の充実

年度	H22	H27	R2
重要度	3.46	3.48	3.55

障がい児者福祉の充実

年度	H22	H27	R2
重要度	3.27	3.36	3.47

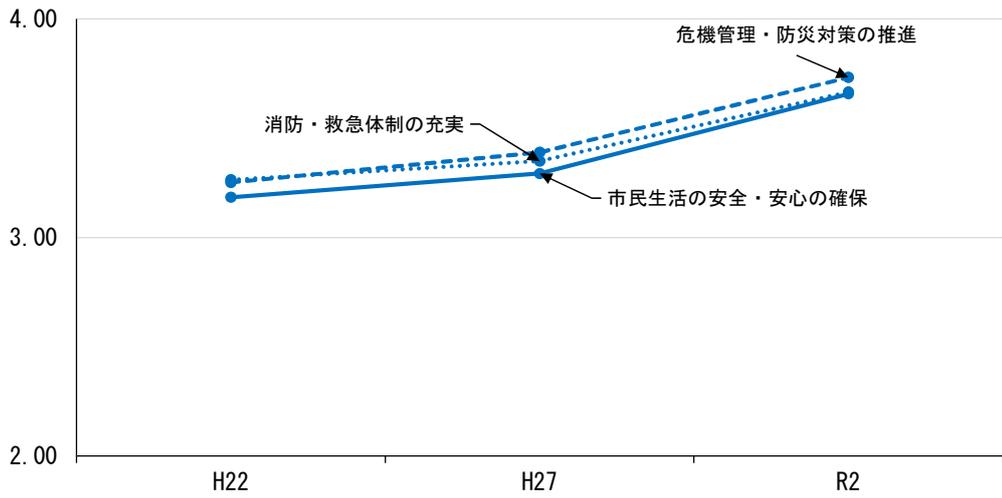
健康づくりの推進

年度	H22	H27	R2
重要度	3.04	3.10	3.45

地域医療体制の充実

年度	H22	H27	R2
重要度	3.54	3.64	3.72

防災・消防・安全安心



危機管理・防災対策の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	3.25	3.39	3.73

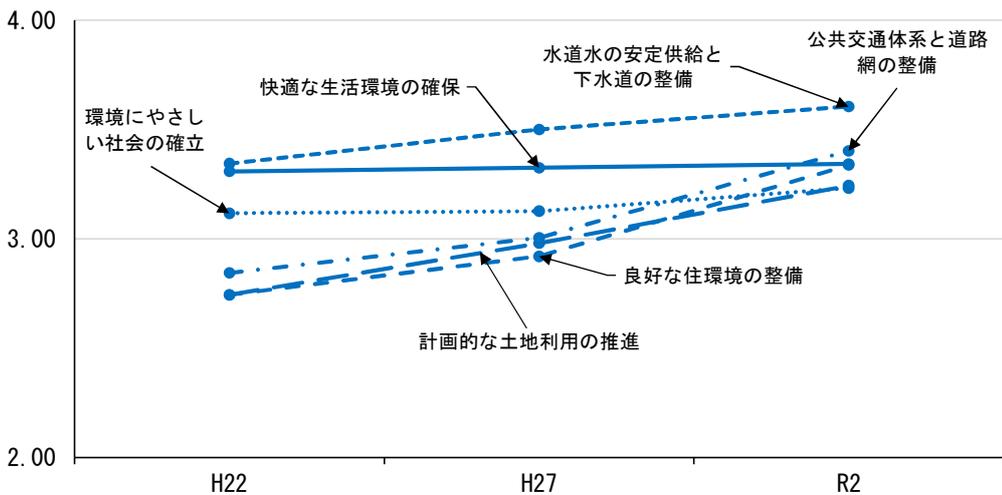
消防・救急体制の充実

年度	H22	H27	R2
重要度	3.26	3.35	3.67

市民生活の安全・安心の確保

年度	H22	H27	R2
重要度	3.18	3.29	3.66

都市基盤・環境



計画的な土地利用の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	2.74	2.98	3.24

公共交通体系と道路網の整備

年度	H22	H27	R2
重要度	2.84	3.01	3.40

良好な住環境の整備

年度	H22	H27	R2
重要度	2.74	2.92	3.34

水道水の安定供給と下水道の整備

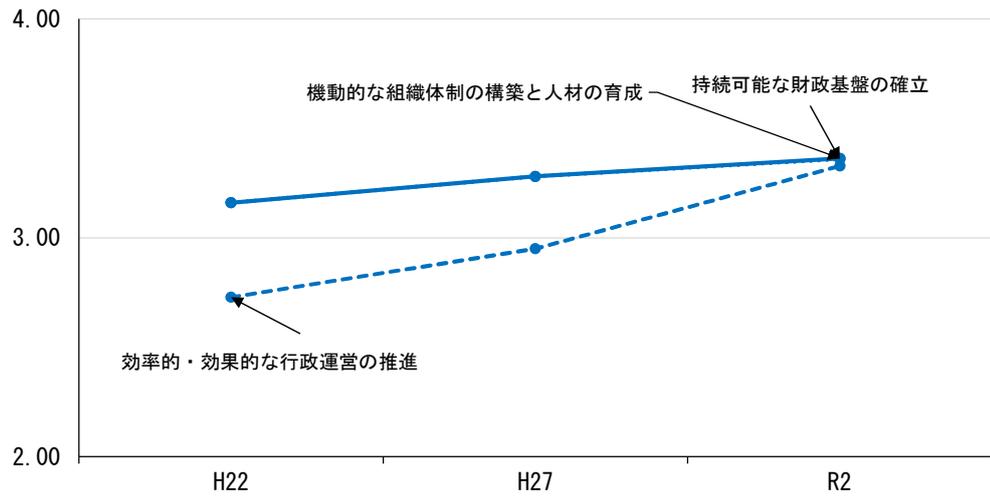
年度	H22	H27	R2
重要度	3.34	3.50	3.61

環境にやさしい社会の確立

年度	H22	H27	R2
重要度	3.12	3.13	3.23

快適な生活環境の確保

年度	H22	H27	R2
重要度	3.31	3.33	3.34



効率的・効果的な行政運営の推進

年度	H22	H27	R2
重要度	2.73	2.95	3.33

持続可能な財政基盤の確立

年度	H22	H27	R2
重要度	3.16	3.28	3.36

機動的な組織体制の構築と人材の育成

年度	H22	H27	R2
重要度	3.16	3.28	3.36

※「持続可能な財政基盤の確立」「機動的な組織体制の構築と人材の育成」は、H22・27・R2 すべて同値

■重要度指数順位表（属性別）（上位・下位5位のみ）

【男性】

順位	基本施策	重要度指数
1	危機管理・防災対策の推進	3.69
2	地域医療体制の充実	3.64
3	市民生活の安全・安心の確保	3.60
4	消防・救急体制の充実	3.60
5	子ども・子育て支援の充実	3.57
27	共生社会の確立	3.09
28	コミュニティと市民活動の活性化	3.08
29	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.08
30	スポーツの振興	3.04
31	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.99

【女性】

基本施策	重要度指数
地域医療体制の充実	3.81
危機管理・防災対策の推進	3.78
消防・救急体制の充実	3.73
市民生活の安全・安心の確保	3.71
水道水の安定供給と下水道の整備	3.67
コミュニティと市民活動の活性化	3.25
学習機会の充実	3.25
スポーツの振興	3.19
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.17
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.14

【30歳未満】

順位	基本施策	重要度指数
1	危機管理・防災対策の推進	3.74
2	子ども・子育て支援の充実	3.73
3	地域医療体制の充実	3.68
4	消防・救急体制の充実	3.64
5	市民生活の安全・安心の確保	3.64
27	スポーツの振興	3.07
28	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.04
29	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.01
30	コミュニティと市民活動の活性化	2.95
31	環境にやさしい社会の確立	2.93

【30歳代】

基本施策	重要度指数
危機管理・防災対策の推進	3.78
子ども・子育て支援の充実	3.72
地域医療体制の充実	3.68
市民生活の安全・安心の確保	3.64
消防・救急体制の充実	3.61
共生社会の確立	3.16
コミュニティと市民活動の活性化	3.09
移住・定住の推進	3.08
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.07
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.94

【40歳代】

順位	基本施策	重要度指数
1	危機管理・防災対策の推進	3.72
2	地域医療体制の充実	3.71
3	市民生活の安全・安心の確保	3.68
4	消防・救急体制の充実	3.66
5	子ども・子育て支援の充実	3.57
27	移住・定住の推進	3.06
28	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.05
29	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.03
30	コミュニティと市民活動の活性化	2.93
31	スポーツの振興	2.89

【50歳代】

基本施策	重要度指数
地域医療体制の充実	3.77
危機管理・防災対策の推進	3.75
消防・救急体制の充実	3.69
子ども・子育て支援の充実	3.65
市民生活の安全・安心の確保	3.63
環境にやさしい社会の確立	3.12
コミュニティと市民活動の活性化	3.08
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.08
スポーツの振興	3.02
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.01

【60 歳代】

順位	基本施策	重要度指数
1	地域医療体制の充実	3.73
2	危機管理・防災対策の推進	3.72
3	市民生活の安全・安心の確保	3.68
4	消防・救急体制の充実	3.66
5	水道水の安定供給と下水道の整備	3.65
27	共生社会の確立	3.17
28	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.14
29	スポーツの振興	3.13
30	学習機会の充実	3.12
31	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.07

【70 歳以上】

基本施策	重要度指数
地域医療体制の充実	3.72
危機管理・防災対策の推進	3.72
消防・救急体制の充実	3.68
市民生活の安全・安心の確保	3.66
水道水の安定供給と下水道の整備	3.65
学習機会の充実	3.27
スポーツの振興	3.26
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.26
共生社会の確立	3.19
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.11

【見付地区】

順位	基本施策	重要度指数
1	危機管理・防災対策の推進	3.72
2	地域医療体制の充実	3.70
3	消防・救急体制の充実	3.64
4	市民生活の安全・安心の確保	3.58
5	子ども・子育て支援の充実	3.57
27	共生社会の確立	3.18
28	環境にやさしい社会の確立	3.17
29	移住・定住の推進	3.17
30	スポーツの振興	3.16
31	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.15

【中泉・今之浦地区】

基本施策	重要度指数
地域医療体制の充実	3.78
危機管理・防災対策の推進	3.75
市民生活の安全・安心の確保	3.72
消防・救急体制の充実	3.68
水道水の安定供給と下水道の整備	3.64
移住・定住の推進	3.17
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.14
スポーツの振興	3.11
コミュニティと市民活動の活性化	3.08
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.98

【岩田・大藤・向笠地区】

順位	基本施策	重要度指数
1	地域医療体制の充実	3.77
2	危機管理・防災対策の推進	3.76
3	市民生活の安全・安心の確保	3.71
4	消防・救急体制の充実	3.68
5	水道水の安定供給と下水道の整備	3.65
27	共生社会の確立	3.16
28	コミュニティと市民活動の活性化	3.14
29	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	3.12
30	学習機会の充実	3.12
31	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.07

【西貝・御厨・南御厨・田原地区】

基本施策	重要度指数
危機管理・防災対策の推進	3.79
地域医療体制の充実	3.77
子ども・子育て支援の充実	3.76
消防・救急体制の充実	3.74
水道水の安定供給と下水道の整備	3.69
コミュニティと市民活動の活性化	3.19
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.18
計画的な土地利用の推進	3.16
スポーツの振興	3.14
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.13

【天竜・長野・於保地区】

順位	基本施策	重要度指数
1	危機管理・防災対策の推進	3.79
2	消防・救急体制の充実	3.68
3	地域医療体制の充実	3.66
4	子ども・子育て支援の充実	3.65
5	市民生活の安全・安心の確保	3.63
27	学習機会の充実	3.10
28	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.09
29	環境にやさしい社会の確立	3.06
30	スポーツの振興	3.05
31	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.04

【福田地区】

基本施策	重要度指数
危機管理・防災対策の推進	3.77
市民生活の安全・安心の確保	3.74
地域医療体制の充実	3.68
消防・救急体制の充実	3.66
子ども・子育て支援の充実	3.66
計画的な土地利用の推進	3.17
共生社会の確立	3.14
スポーツの振興	3.14
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.09
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.04

【竜洋地区】

順位	基本施策	重要度指数
1	地域医療体制の充実	3.73
2	消防・救急体制の充実	3.69
3	危機管理・防災対策の推進	3.65
4	水道水の安定供給と下水道の整備	3.63
5	市民生活の安全・安心の確保	3.61
27	コミュニティと市民活動の活性化	3.10
28	共生社会の確立	3.06
29	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.02
30	スポーツの振興	2.96
31	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.90

【富岡・豊田東・池田地区】

基本施策	重要度指数
危機管理・防災対策の推進	3.67
地域医療体制の充実	3.66
子ども・若者の健全育成	3.64
消防・救急体制の充実	3.64
水道水の安定供給と下水道の整備	3.64
コミュニティと市民活動の活性化	3.18
共生社会の確立	3.18
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.17
スポーツの振興	3.09
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.06

【井通地区・青城地区】

順位	基本施策	重要度指数
1	地域医療体制の充実	3.70
2	危機管理・防災対策の推進	3.69
3	市民生活の安全・安心の確保	3.67
4	消防・救急体制の充実	3.63
5	子ども・子育て支援の充実	3.57
27	学習機会の充実	3.22
28	コミュニティと市民活動の活性化	3.21
29	スポーツの振興	3.21
30	移住・定住の推進	3.16
31	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.15

【豊岡地区】

基本施策	重要度指数
地域医療体制の充実	3.79
危機管理・防災対策の推進	3.71
市民生活の安全・安心の確保	3.64
子ども・子育て支援の充実	3.62
消防・救急体制の充実	3.61
共生社会の確立	3.16
学習機会の充実	3.09
スポーツの振興	3.06
文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.97
ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	2.97

重要度が高く、満足度が低い「重点課題施策」は、

- ・「元気な農林水産業の育成」 ・「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」 ・「高齢者福祉の充実」
- ・「障がい児者福祉の充実」 ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」

■傾 向

【性 別】男女ともに「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

【年 代 別】ほとんどの世代で「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

【居住地区別】すべての居住地区で「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

31の基本施策の満足度指数と重要度指数をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度をおき、その分布状況を、散布図として整理した。

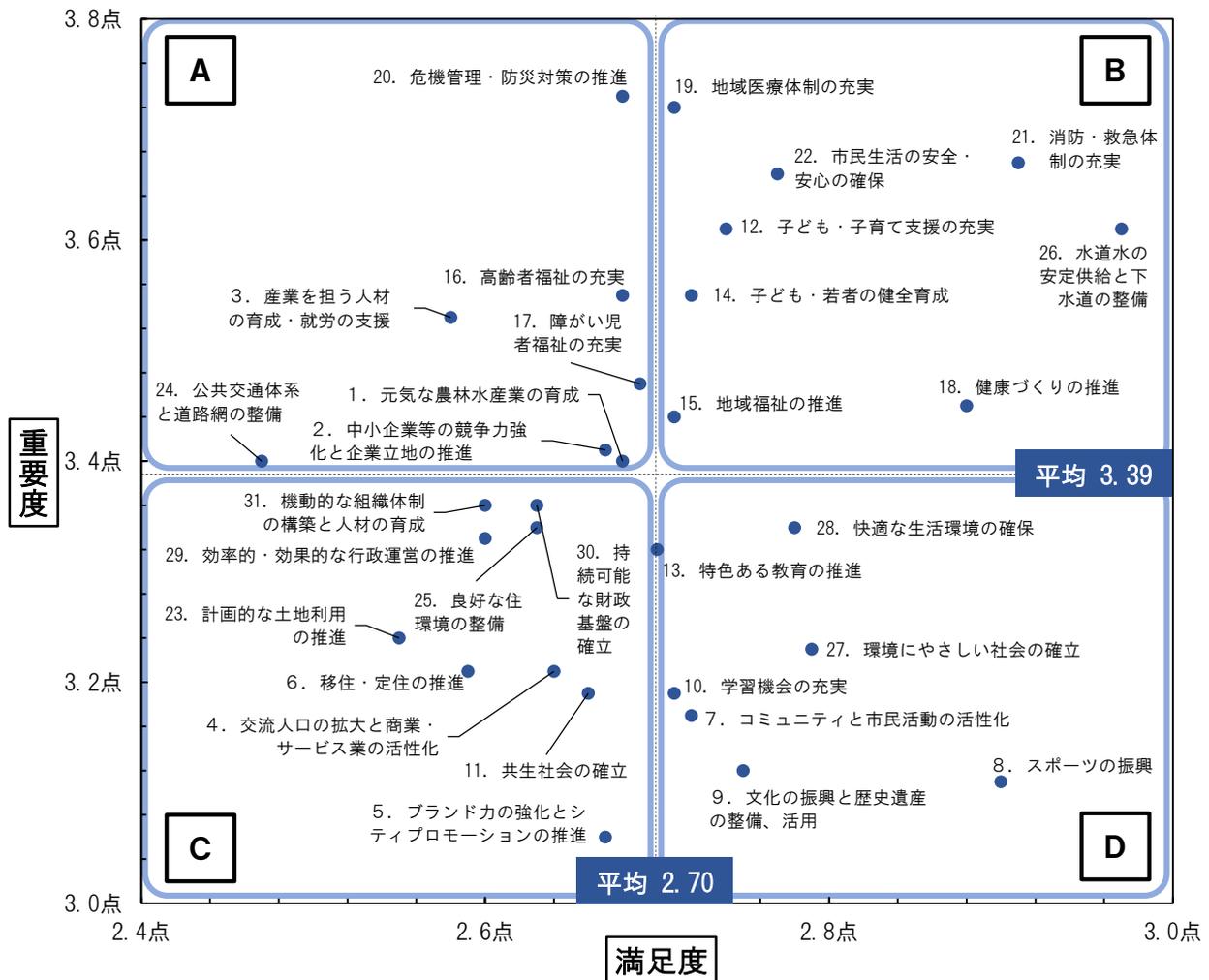
散布図は、各平均値（満足度：2.70、重要度：3.39）を基準（境）とした下記の4つの領域に分類し、満足度と重要度の関係を示している。

なお、A～Dの領域分類は、あくまで優先度および重要度の中間値で総体的に分類したものであり、各施策を明確に区分するものではない。

（4つの領域）

区分	領域名	満足度	重要度	内容
A	重点課題施策	低い	高い	これまでの取組みを重点的に検証していく必要のある施策
B	継続維持施策	高い	高い	現在の水準を継続維持するため、今後とも着実に取り組む必要のある施策
C	検討課題施策	低い	低い	これまでの取組みを検証するとともに、施策の重要性を市民に広めていく必要のある施策
D	成果検証施策	高い	低い	これまでの取組みを検証するとともに、事業のあり方を精査する必要のある施策

■ 散布図（全体）



■ 今回調査の結果

・「重点課題施策」は、以下の7施策となっている。

- 「元気な農林水産業の育成」 「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- 「産業を担う人材の育成・就労の支援」 「高齢者福祉の充実」
- 「障がい児者福祉の充実」 「危機管理・防災対策の推進」
- 「公共交通体系と道路網の整備」

■ 傾向

- 【性別】**
- ・男女ともに「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・男女ともに「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」「市民生活の安全・安心の確保」「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満以外のすべての世代で「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・すべての年代で「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
- 【居住地区別】**
- ・すべての居住地区で「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・すべての居住地区で「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」となっている。

【属性別（性別）】

	基本施策	男性	女性
・ 産業・雇用・観光 ・ 移住・定住	元気な農林水産業の育成	C	B
	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	A	B
	産業を担う人材の育成・就労の支援	A	A
	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	C	D
	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	C	D
	移住・定住の推進	C	C
・ 自治・スポーツ ・ 文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	C	D
	スポーツの振興	D	D
	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	C	D
	学習機会の充実	C	D
	共生社会の確立	C	C
・ 子育て ・ 教育	子ども・子育て支援の充実	A	B
	特色ある教育の推進	C	B
	子ども・若者の健全育成	A	B
健康・福祉	地域福祉の推進	C	B
	高齢者福祉の充実	A	B
	障がい児者福祉の充実	C	B
	健康づくりの推進	D	B
	地域医療体制の充実	A	B
・ 防災 ・ 安全安心	危機管理・防災対策の推進	A	B
	消防・救急体制の充実	B	B
	市民生活の安全・安心の確保	B	B
都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	C	C
	公共交通体系と道路網の整備	C	A
	良好な住環境の整備	C	C
	水道水の安定供給と下水道の整備	B	B
	環境にやさしい社会の確立	D	D
	快適な生活環境の確保	D	B
行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	C	C
	持続可能な財政基盤の確立	C	C
	機動的な組織体制の構築と人材の育成	C	A

※アルファベットは領域を示す。

【属性別（年代別）】

		30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
・産業・雇用・観光 ・移住・定住	元気な農林水産業の育成	D	D	C	A	A	B
	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	D	C	C	A	C	B
	産業を担う人材の育成・就労の支援	B	A	A	A	A	A
	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	D	C	C	C	C	C
	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	D	D	C	C	C	C
	移住・定住の推進	D	C	C	C	C	C
・自治・スポーツ ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	D	D	C	C	C	D
	スポーツの振興	D	D	D	D	D	D
	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	D	D	D	C	C	D
	学習機会の充実	D	C	C	C	D	D
	共生社会の確立	D	D	C	C	C	D
・子育て ・教育	子ども・子育て支援の充実	B	B	A	A	A	B
	特色ある教育の推進	D	D	C	C	C	D
	子ども・若者の健全育成	B	B	A	A	A	B
健康・福祉	地域福祉の推進	B	C	A	A	A	B
	高齢者福祉の充実	D	B	A	A	A	B
	障がい児者福祉の充実	B	B	A	A	A	B
	健康づくりの推進	B	B	D	D	B	B
	地域医療体制の充実	B	A	A	A	B	B
・防災 ・安全安心	危機管理・防災対策の推進	B	A	A	A	B	B
	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B	B
	市民生活の安全・安心の確保	B	B	A	A	B	B
都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	D	C	C	C	C	C
	公共交通体系と道路網の整備	C	A	C	C	C	A
	良好な住環境の整備	D	C	C	C	C	A
	水道水の安定供給と下水道の整備	B	B	B	B	B	B
	環境にやさしい社会の確立	D	D	D	D	D	D
	快適な生活環境の確保	D	D	D	D	D	D
行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	C	C	C	C	C	B
	持続可能な財政基盤の確立	D	C	C	C	C	B
	機動的な組織体制の構築と人材の育成	D	C	C	C	C	A

※アルファベットは領域を示す。

【属性別（居住地区別）】

		見付地区	中泉・今之浦地区	岩田・大藤・向笠地区	西貝・御厨・南御厨・田原地区	天竜・長野・於保地区
・産業・雇用・観光 ・移住・定住	元気な農林水産業の育成	B	B	A	D	C
	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	B	A	A	B	C
	産業を担う人材の育成・就労の支援	A	A	A	A	A
	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	C	C	D	C	C
	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	C	C	D	D	C
	移住・定住の推進	C	C	C	C	C
・自治・スポーツ ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	D	C	D	D	D
	スポーツの振興	D	D	D	D	D
	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	C	C	D	D	D
	学習機会の充実	D	D	D	D	C
	共生社会の確立	D	C	C	D	C
・子育て ・教育	子ども・子育て支援の充実	B	B	B	A	B
	特色ある教育の推進	C	D	D	A	D
	子ども・若者の健全育成	B	B	B	A	A
健康・福祉	地域福祉の推進	D	C	B	B	A
	高齢者福祉の充実	B	A	B	B	A
	障がい児者福祉の充実	B	B	B	B	A
	健康づくりの推進	B	B	B	B	D
	地域医療体制の充実	B	A	B	A	A
・防災 ・安全安心	危機管理・防災対策の推進	B	A	B	B	A
	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B
	市民生活の安全・安心の確保	B	B	B	B	A
都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	C	C	C	C	C
	公共交通体系と道路網の整備	A	C	C	A	A
	良好な住環境の整備	C	C	C	C	C
	水道水の安定供給と下水道の整備	B	B	B	B	A
	環境にやさしい社会の確立	D	D	D	D	C
	快適な生活環境の確保	D	D	D	D	C
行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	C	A	D	C	C
	持続可能な財政基盤の確立	C	A	C	D	C
	機動的な組織体制の構築と人材の育成	C	A	C	A	C

※アルファベットは領域を示す。

		福田地区	竜洋地区	富岡・ 豊田東・ 池田地区	井通地区 ・ 青城 地区	豊岡地区
・ 産業・ 移住・ 定住 ・ 雇用・ 観光	元気な農林水産業の育成	C	D	A	A	A
	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	C	C	A	D	B
	産業を担う人材の育成・就労の支援	A	A	A	A	A
	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	C	C	C	C	C
	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	C	C	C	C	C
	移住・定住の推進	C	C	C	C	C
・ 自治・ 文化・ スポーツ ・ 歴史・ 共生	コミュニティと市民活動の活性化	C	D	D	D	C
	スポーツの振興	D	D	D	D	D
	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	D	D	C	D	C
	学習機会の充実	C	C	C	D	C
	共生社会の確立	C	C	C	D	C
・ 子育て ・ 教育	子ども・子育て支援の充実	B	B	B	B	A
	特色ある教育の推進	C	C	B	C	C
	子ども・若者の健全育成	B	A	B	B	A
健康・ 福祉	地域福祉の推進	A	A	A	A	B
	高齢者福祉の充実	A	A	A	A	B
	障がい児者福祉の充実	A	C	A	A	A
	健康づくりの推進	B	D	B	B	B
	地域医療体制の充実	A	A	B	B	B
・ 防災 ・ 安全 ・ 安心	危機管理・防災対策の推進	A	A	A	A	A
	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B
	市民生活の安全・安心の確保	B	A	B	B	B
都市基盤・ 環境	計画的な土地利用の推進	C	C	C	C	C
	公共交通体系と道路網の整備	C	C	A	A	A
	良好な住環境の整備	C	C	C	C	C
	水道水の安定供給と下水道の整備	B	B	B	B	B
	環境にやさしい社会の確立	D	D	D	D	D
	快適な生活環境の確保	B	D	D	D	A
行財政 改革	効率的・効果的な行政運営の推進	C	C	C	C	C
	持続可能な財政基盤の確立	A	C	C	C	C
	機動的な組織体制の構築と人材の育成	C	C	C	C	A

※アルファベットは領域を示す。

要望度による分析

要望度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「地域医療体制の充実」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も指数が高い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「危機管理・防災対策の推進」

【居住地区別】複数の居住地区で最も指数が高い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」
- ・「危機管理・防災対策の推進」

施策の重要度が高く、かつ満足度が低いほど、市民の要望が高い施策と考えられることから、ここでは、31の基本施策の満足度指数と重要度指数をもとに、要望度指数を算出し、整理、分析を行った。

要望度指数は、下記のとおり算出し、重要度が高く、満足度が低いほど、その点数が高くなる指標となっている。

なお、要望度指数は、今後の行政サービス向上、効率的・効果的施策を展開していくための指標として、定義し、点数化したものであり、要望度指数の順位がそのまま施策の優先度等を示すものではない。

$$\text{要望度指数} = \text{重要度指数} \times (5 - \text{満足度指数})$$

■要望度順位表

順位	分野	基本施策	要望度指数
1	防災・消防・安全安心	危機管理・防災対策の推進	8.67
2	都市基盤・環境	公共交通体系と道路網の整備	8.62
3	健康・福祉	地域医療体制の充実	8.54
4	産業・雇用・観光・移住定住	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.52
5	健康・福祉	高齢者福祉の充実	8.21
6	子育て・教育	子ども・子育て支援の充実	8.16
7	防災・消防・安全安心	市民生活の安全・安心の確保	8.16
8	子育て・教育	子ども・若者の健全育成	8.11
9	行財政改革	機動的な組織体制の構築と人材の育成	8.08
10	健康・福祉	障がい児者福祉の充実	8.01
11	行財政改革	効率的・効果的な行政運営の推進	7.99
12	行財政改革	持続可能な財政基盤の確立	7.97
13	産業・雇用・観光・移住定住	中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	7.95
14	都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	7.95
15	都市基盤・環境	良好な住環境の整備	7.90
16	健康・福祉	地域福祉の推進	7.89
17	産業・雇用・観光・移住定住	元気な農林水産業の育成	7.88
18	産業・雇用・観光・移住定住	移住・定住の推進	7.74
19	防災・消防・安全安心	消防・救急体制の充実	7.65
20	子育て・教育	特色ある教育の推進	7.61
21	産業・雇用・観光・移住定住	交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	7.57
22	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	共生社会の確立	7.46
23	都市基盤・環境	快適な生活環境の確保	7.43
24	健康・福祉	健康づくりの推進	7.33
25	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	学習機会の充実	7.31
26	都市基盤・環境	水道水の安定供給と下水道の整備	7.31
27	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	7.21
28	産業・雇用・観光・移住定住	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	7.13
29	都市基盤・環境	環境にやさしい社会の確立	7.13
30	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	7.03
31	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツの振興	6.52

■今回調査の結果

- ・分野別にみると、要望度の高い基本施策（上位 10 項目）の中に、「健康・福祉」の基本施策が 3 つ（「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の充実」、「障がい児者福祉の充実」）入っており、健康・福祉に係る施策に対する要望が高くなっている。また、「防災・消防・安全安心」と「子育て・教育」に係る基本施策も 2 つずつ入っている。
- ・基本施策別にみると、特に要望度が高い基本施策は「危機管理・防災対策の推進」（8.67）、「公共交通体系と道路網の整備」（8.62）、「地域医療体制の充実」（8.54）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（8.52）、「高齢者福祉の充実」（8.21）となっている。

■傾向

- 【性別】** ・それぞれの上位 4 項目までの基本施策は、順位の違いはあるが同じ施策となっている。
- 【年代別】** ・30 歳未満、60 歳代、70 歳以上は「公共交通体系と道路網の整備」が最も高くなっている。
・30 歳代、50 歳代は「危機管理・防災対策の推進」、40 歳代は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。
- 【居住地区別】** ・見付地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区、豊岡地区は、「公共交通体系と道路網の整備」が最も高くなっている。
・岩田・大藤・向笠地区、富岡・豊田東・池田地区は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」が最も高くなっている。
・福田地区、竜洋地区は、「危機管理・防災対策の推進」が最も高くなっている。

■要望度順位表（属性別）（上位5項目のみ）

【男性】

順位	基本施策	要望度指数
1	危機管理・防災対策の推進	8.71
2	公共交通体系と道路網の整備	8.61
3	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.55
4	地域医療体制の充実	8.46
5	子ども・子育て支援の充実	8.37

【30歳未満】

順位	基本施策	要望度指数
1	公共交通体系と道路網の整備	8.66
2	子ども・子育て支援の充実	8.45
3	子ども・若者の健全育成	8.19
4	危機管理・防災対策の推進	8.18
5	地域医療体制の充実	8.13

【40歳代】

順位	基本施策	要望度指数
1	地域医療体制の充実	8.95
2	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.77
3	危機管理・防災対策の推進	8.73
4	子ども・子育て支援の充実	8.63
5	市民生活の安全・安心の確保	8.46

【60歳代】

順位	基本施策	要望度指数
1	公共交通体系と道路網の整備	8.74
2	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.70
3	地域医療体制の充実	8.57
4	危機管理・防災対策の推進	8.54
5	計画的な土地利用の推進	8.40

【女性】

基本施策	要望度指数
地域医療体制の充実	8.62
危機管理・防災対策の推進	8.62
公共交通体系と道路網の整備	8.62
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.48
高齢者福祉の充実	8.25

【30歳代】

基本施策	要望度指数
危機管理・防災対策の推進	9.05
公共交通体系と道路網の整備	8.94
地域医療体制の充実	8.71
持続可能な財政基盤の確立	8.24
子ども・子育て支援の充実	8.22

【50歳代】

基本施策	要望度指数
危機管理・防災対策の推進	9.41
地域医療体制の充実	8.95
高齢者福祉の充実	8.81
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.72
子ども・子育て支援の充実	8.59

【70歳以上】

基本施策	要望度指数
公共交通体系と道路網の整備	8.63
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.52
危機管理・防災対策の推進	8.27
地域医療体制の充実	8.16
高齢者福祉の充実	8.14

【見付地区】

順位	基本施策	要望度指数
1	公共交通体系と道路網の整備	8.51
2	危機管理・防災対策の推進	8.48
3	地域医療体制の充実	8.29
4	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.24
5	子ども・子育て支援の充実	8.05

【中泉・今之浦地区】

基本施策	要望度指数
地域医療体制の充実	8.82
危機管理・防災対策の推進	8.66
市民生活の安全・安心の確保	8.44
機動的な組織体制の構築と人材の育成	8.39
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.28

【岩田・大藤・向笠地区】

順位	基本施策	要望度指数
1	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.72
2	元気な農林水産業の育成	8.25
3	公共交通体系と道路網の整備	8.14
4	子ども・子育て支援の充実	8.06
5	地域医療体制の充実	8.05

【西貝・御厨・南御厨・田原地区】

基本施策	要望度指数
公共交通体系と道路網の整備	8.86
子ども・子育て支援の充実	8.75
地域医療体制の充実	8.74
子ども・若者の健全育成	8.64
危機管理・防災対策の推進	8.61

【天竜・長野・於保地区】

順位	基本施策	要望度指数
1	公共交通体系と道路網の整備	9.64
2	危機管理・防災対策の推進	9.23
3	産業を担う人材の育成・就労の支援	9.07
4	地域医療体制の充実	8.54
5	高齢者福祉の充実	8.45

【福田地区】

基本施策	要望度指数
危機管理・防災対策の推進	9.05
移住・定住の推進	8.68
地域医療体制の充実	8.67
公共交通体系と道路網の整備	8.65
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.63

【竜洋地区】

順位	基本施策	要望度指数
1	危機管理・防災対策の推進	8.81
2	地域医療体制の充実	8.80
3	高齢者福祉の充実	8.65
4	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.60
5	市民生活の安全・安心の確保	8.37

【富岡・豊田東・池田地区】

基本施策	要望度指数
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.89
公共交通体系と道路網の整備	8.58
危機管理・防災対策の推進	8.50
中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	8.40
高齢者福祉の充実	8.33

【井通地区・青城地区】

順位	基本施策	要望度指数
1	公共交通体系と道路網の整備	8.78
2	危機管理・防災対策の推進	8.63
3	地域医療体制の充実	8.48
4	高齢者福祉の充実	8.34
5	障がい児者福祉の充実	8.30

【豊岡地区】

基本施策	要望度指数
公共交通体系と道路網の整備	8.74
危機管理・防災対策の推進	8.68
産業を担う人材の育成・就労の支援	8.66
機動的な組織体制の構築と人材の育成	8.58
地域医療体制の充実	8.57

このページは白紙です

(6) 31の基本施策の取組みのうち、今後、特に重要である・優先すべきもの

問5 問4の①から⑩の取組みのうち、今後、特に重要であると思うもの、優先すべきものはどれですか？5つまで選んで、優先度の高い順にその取組みの番号を記入してください。

「特に重要・優先すべき」基本施策は、「危機管理・防災対策の推進」

■傾向

【性別】男性では「子ども・子育て支援の充実」、女性では「高齢者福祉の充実」が最も多い

【年代別】複数の年代で最も多い基本施策は、

- ・「子ども・子育て支援の充実」
- ・「危機管理・防災対策の推進」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い基本施策は、

- ・「子ども・子育て支援の充実」 ・「高齢者福祉の充実」
- ・「地域医療体制の充実」 ・「危機管理・防災対策の推進」

■今回調査の結果

- ・「危機管理・防災対策の推進」(37.2%)が最も多く、次いで「子ども・子育て支援の充実」(36.5%)、「高齢者福祉の充実」(35.9%)となっている。

■傾向

【性別】・男性では「子ども・子育て支援の充実」(39.5%)が最も多く、次いで「危機管理・防災対策の推進」(36.9%)、「高齢者福祉の充実」(33.4%)となっている。

・女性では「高齢者福祉の充実」(38.5%)と最も多く、次いで「危機管理・防災対策の推進」(37.4%)、「地域医療体制の充実」(37.2%)となっている。

【年代別】・30歳未満、30歳代では「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。

・40歳代では「地域医療体制の充実」が最も多い。

・50歳代、60歳代では「危機管理・防災対策の推進」が最も多い。

・70歳以上では「高齢者福祉の充実」が最も多い。

【居住地区別】・見付地区、天竜・長野・於保地区では「地域医療体制の充実」が最も多い。

・中泉・今之浦地区、福田地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「危機管理・防災対策の推進」が最も多い。

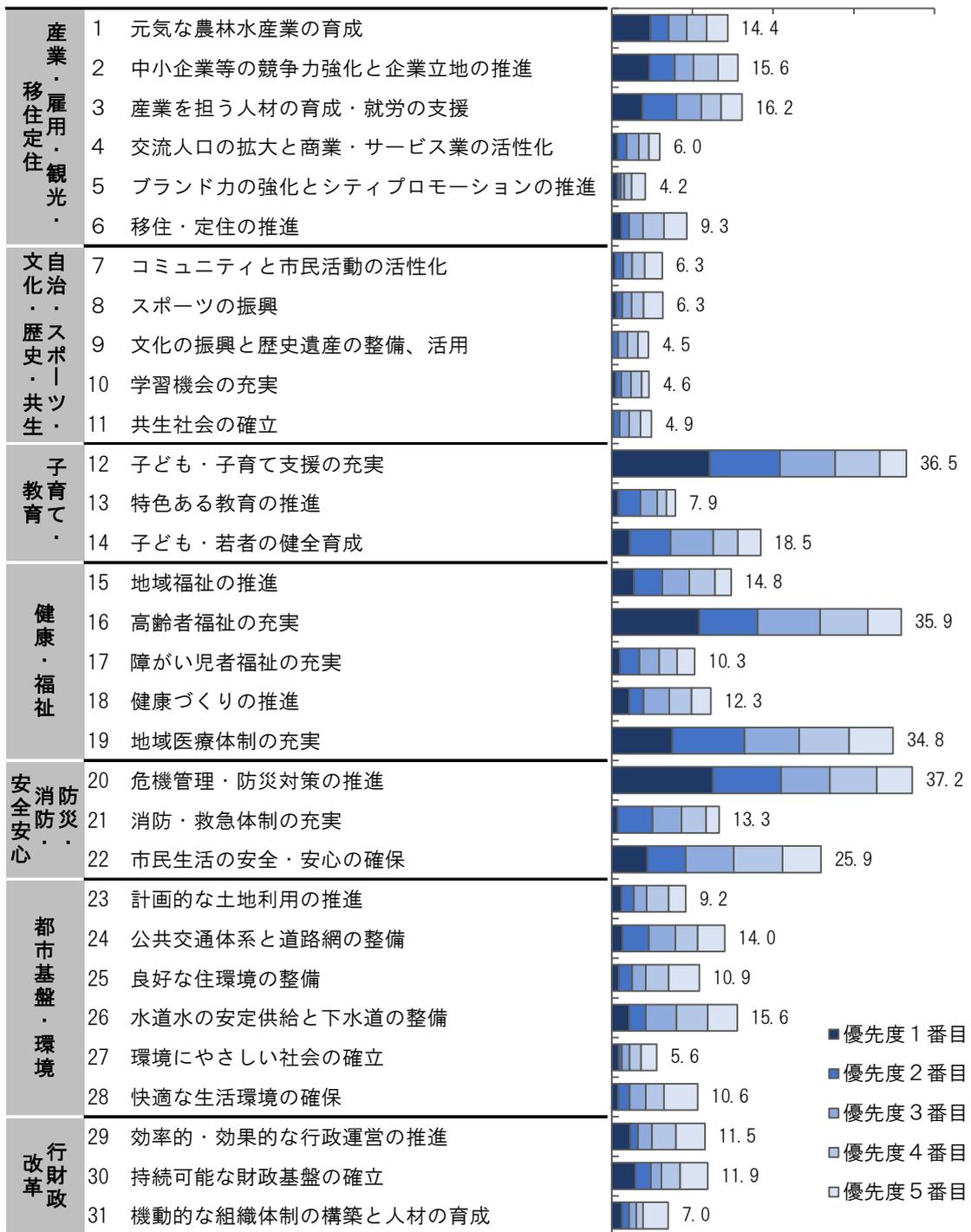
・岩田・大藤・向笠地区、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区では「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。

・西貝・御厨・南御厨・田原地区、天竜・長野・於保地区では「高齢者福祉の充実」が最も多い。

※天竜・長野・於保地区は、「地域医療体制の充実」「高齢者福祉の充実」が同率で最も多くなっている。

n = 1,343

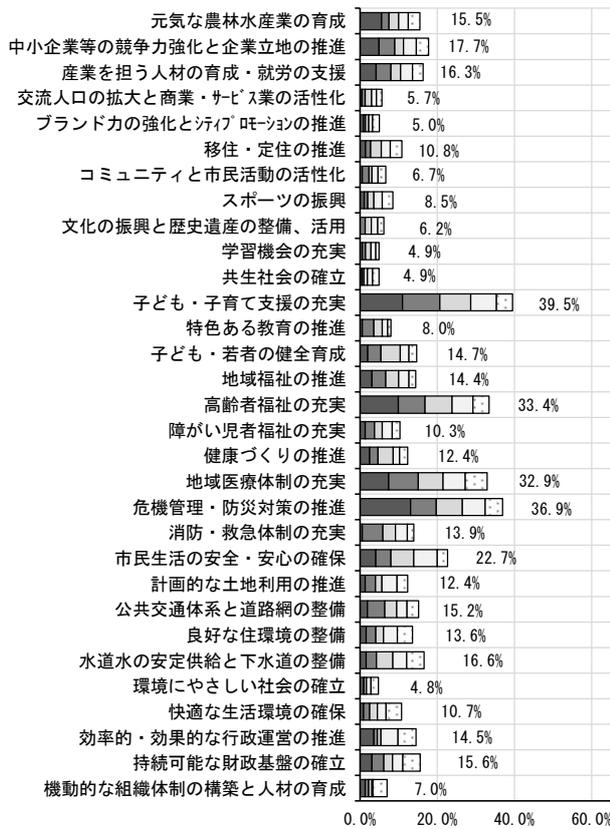
0 10 20 30 40 (%)



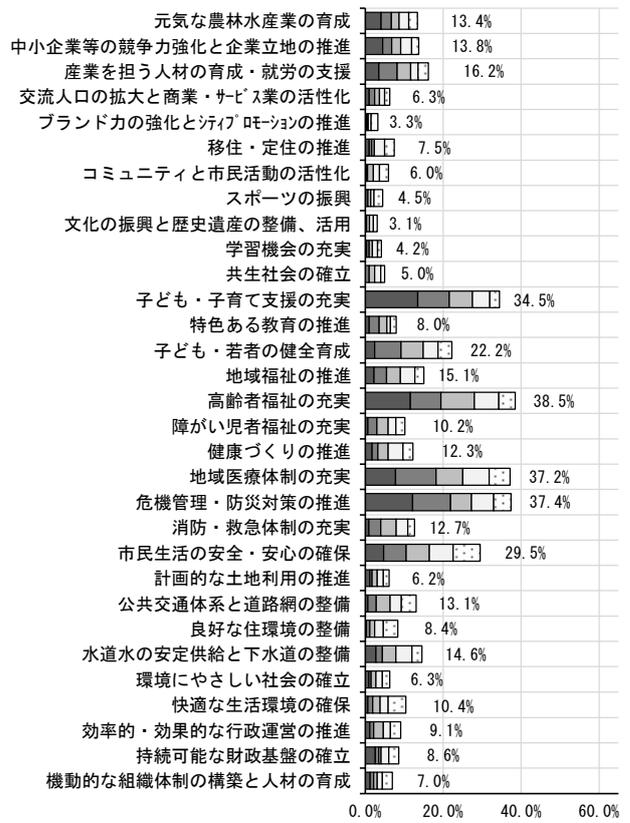
無回答を除いて掲載している。

【属性別（性別）】

<男性>



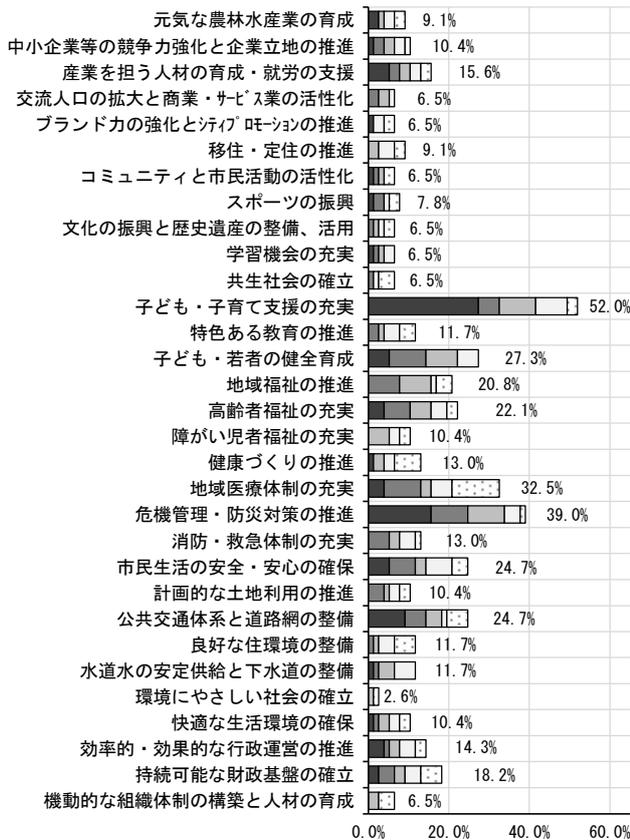
<女性>



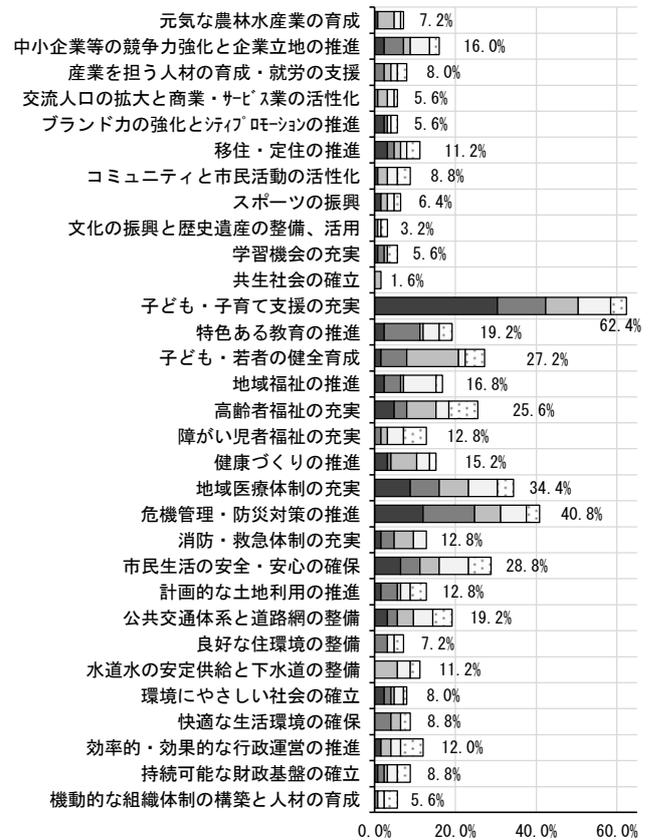
■優先度1番目 ■優先度2番目 □優先度3番目 □優先度4番目 □優先度5番目

【属性別（年代別）】

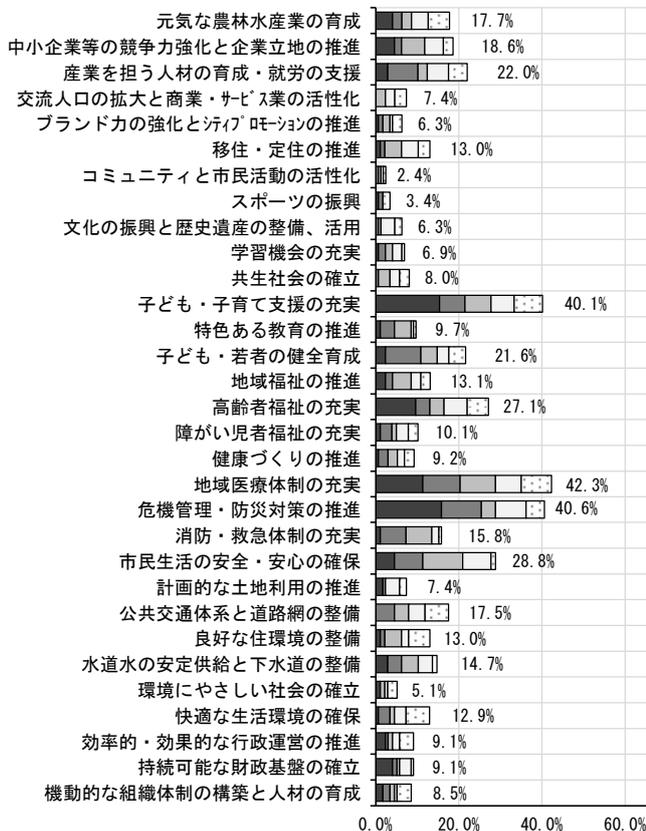
<30 歳未満>



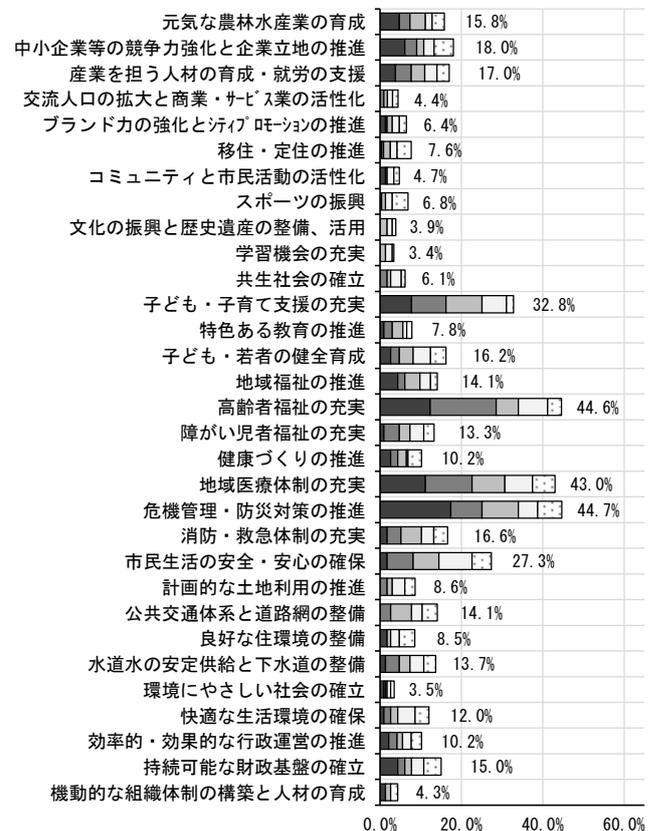
<30 歳代>



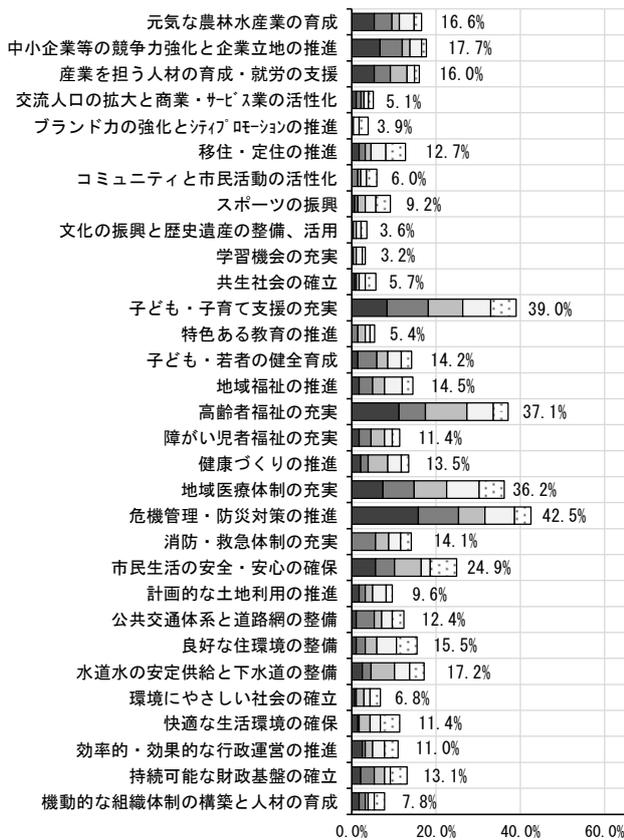
<40 歳代>



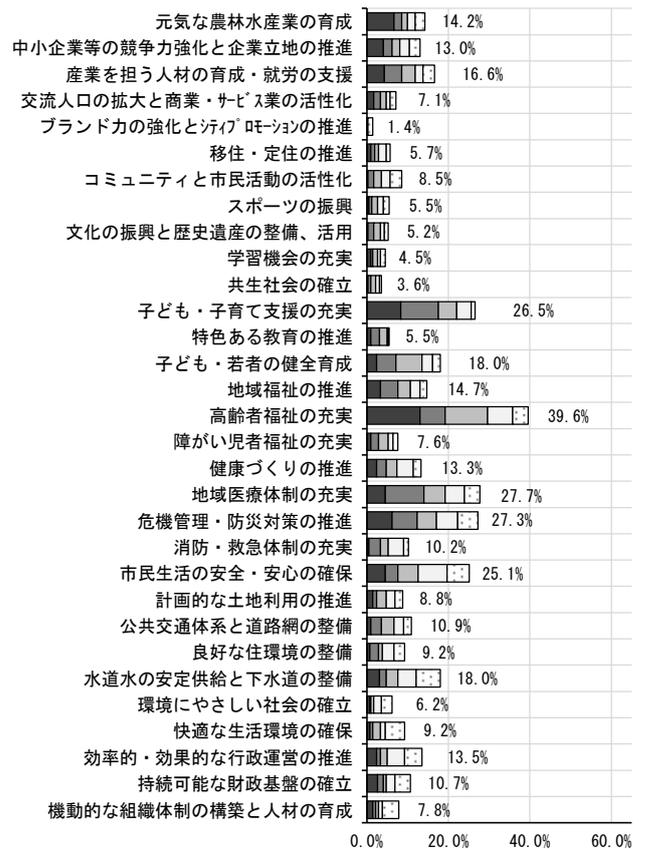
<50 歳代>



<60 歳代>



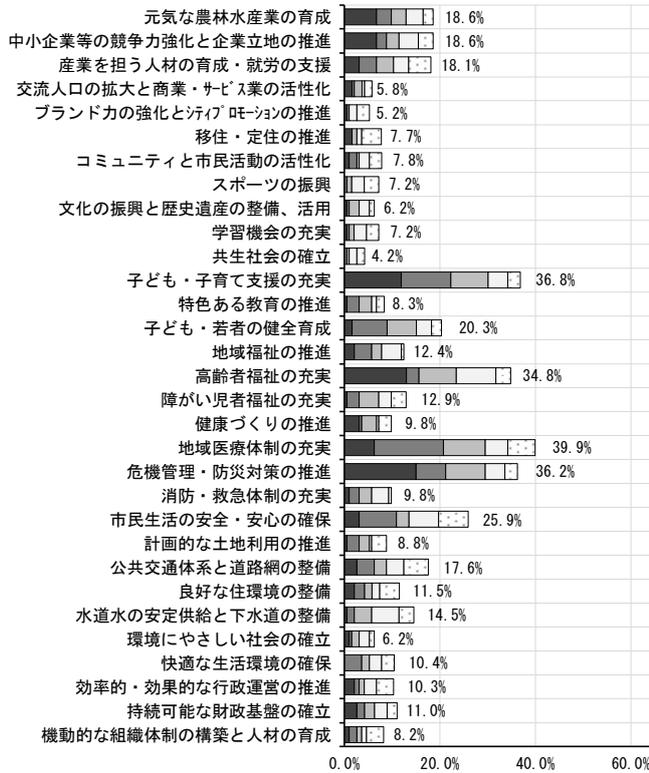
<70 歳以上>



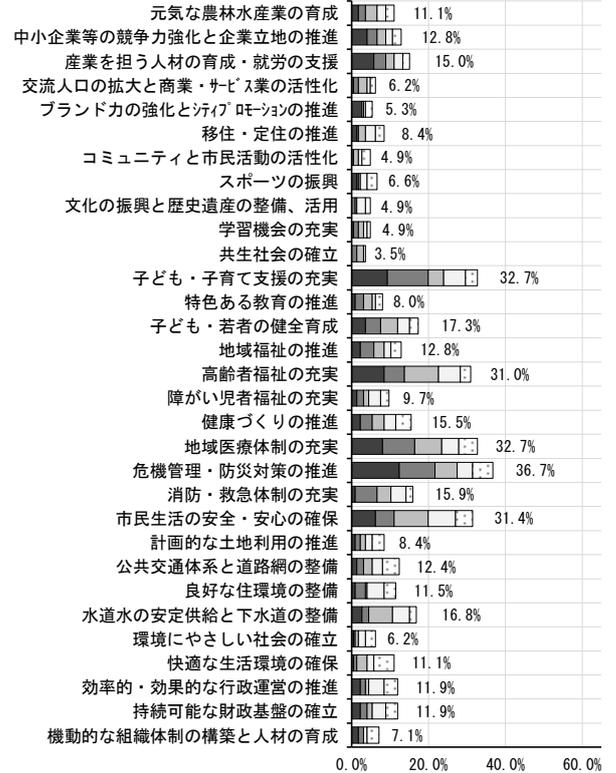
■優先度1番目 ■優先度2番目 □優先度3番目 □優先度4番目 □優先度5番目

【属性別（居住地区別）】

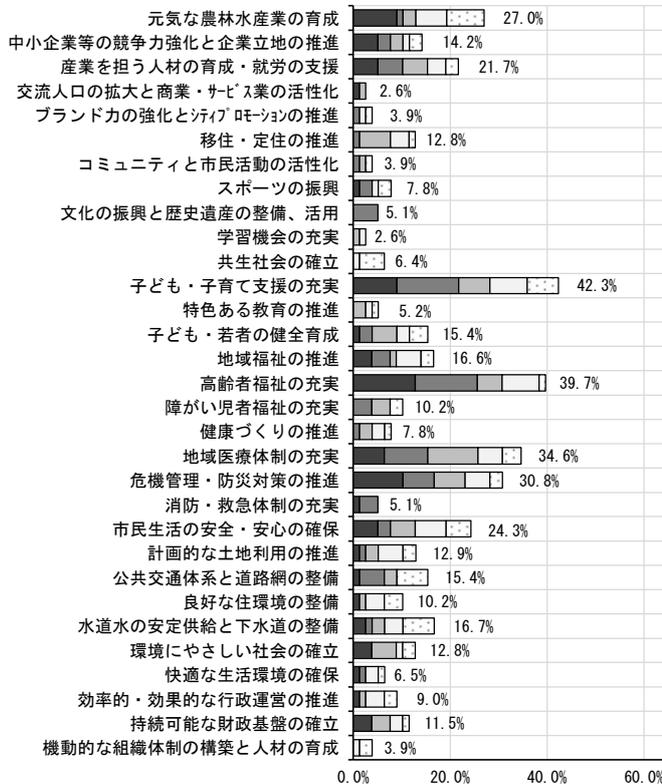
<見付地区>



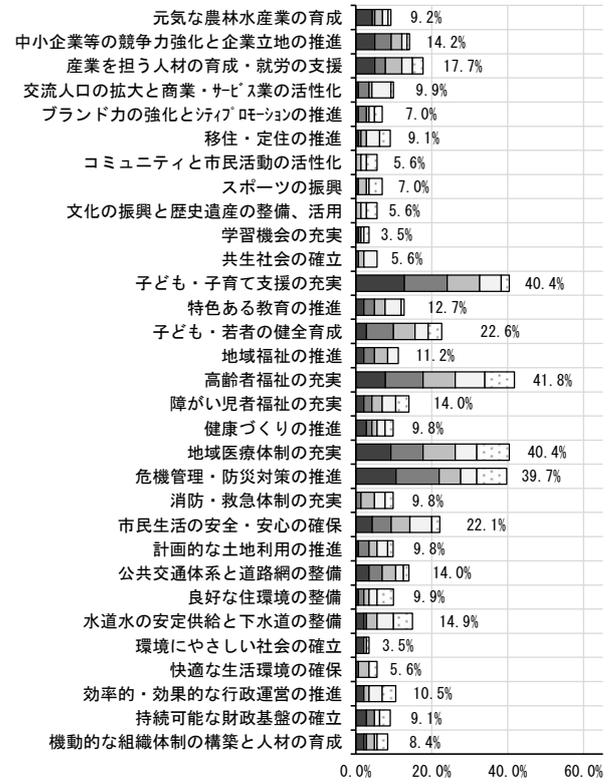
<中泉・今之浦地区>



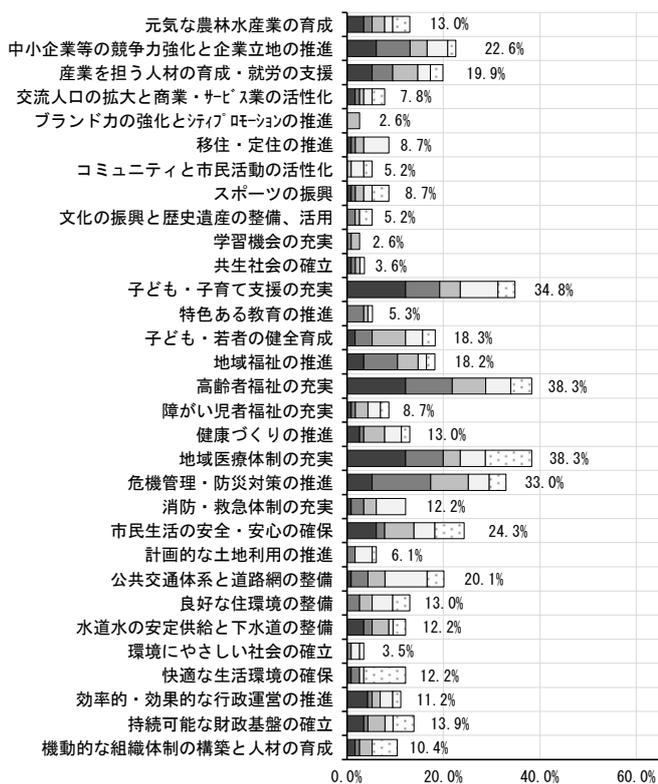
<岩田・大藤・向笠地区>



<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



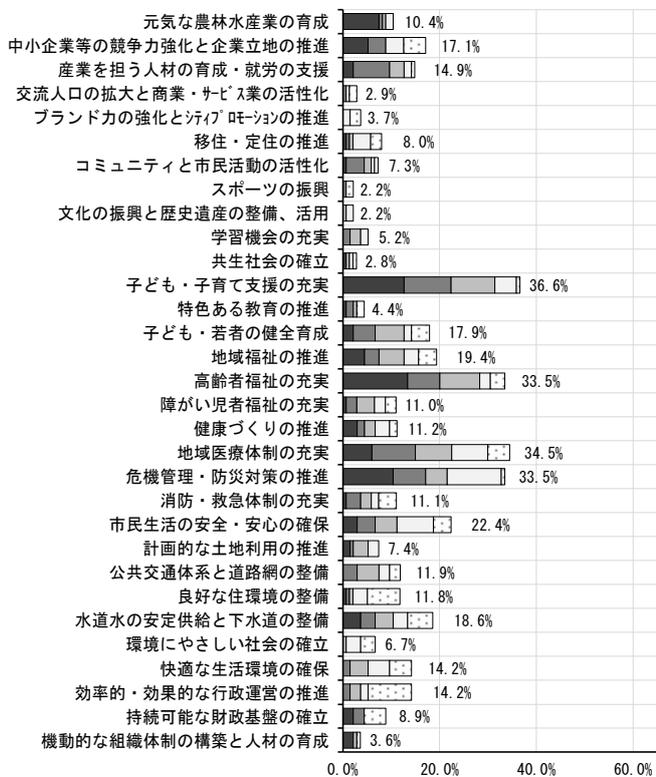
<天竜・長野・於保地区>



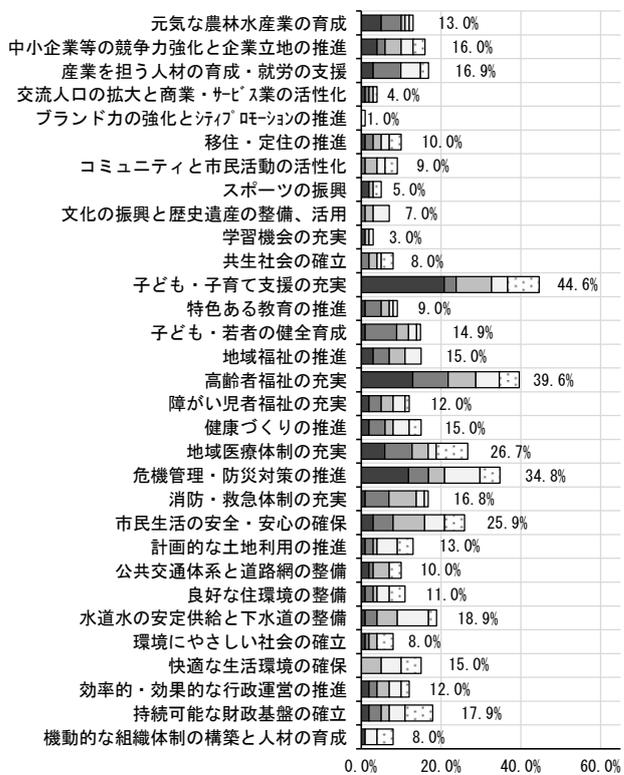
<福田地区>



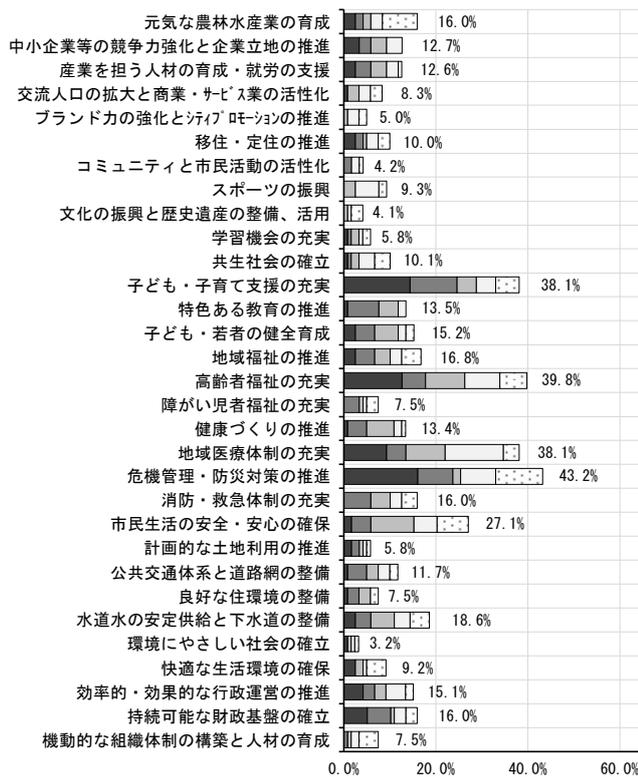
<竜洋地区>



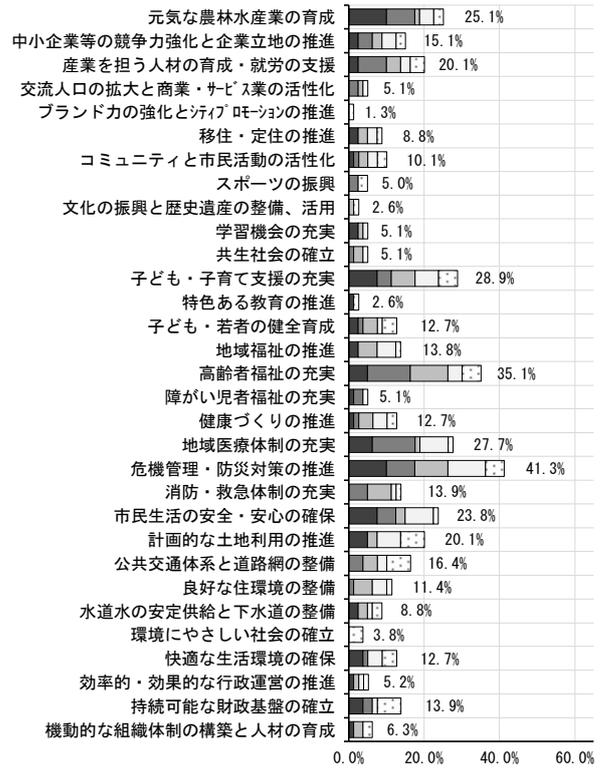
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



■優先度1番目 ■優先度2番目 □優先度3番目 □優先度4番目 □優先度5番目

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	危機管理・防災 対策の推進	高齢者福祉の充 実	地域医療体制の 充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	252人 39.4%	237人 37.1%	213人 33.3%	210人 32.9%	145人 22.7%
女性	基本 施策	高齢者福祉の充 実	危機管理・防災 対策の推進	地域医療体制の 充実	子ども・子育て 支援の充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	263人 38.5%	255人 37.3%	254人 37.2%	235人 34.4%	202人 29.6%

【年代別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	危機管理・防災 対策の推進	地域医療体制の 充実	子ども・若者の 健全育成	・市民生活の安全・安心 の確保 ・公共交通体系と道路網 の整備
	人数 割合	40人 52.0	30人 39.0%	25人 32.5%	21人 27.3%	19人 24.7%
30歳代	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	危機管理・防災 対策の推進	地域医療体制の 充実	市民生活の安 全・安心の確保	子ども・若者の 健全育成
	人数 割合	78人 62.4%	51人 40.8%	43人 34.4%	36人 28.8%	34人 27.2%
40歳代	基本 施策	地域医療体制の 充実	危機管理・防災 対策の推進	子ども・子育て 支援の充実	市民生活の安 全・安心の確保	高齢者福祉の充 実
	人数 割合	75人 42.3%	72人 40.6%	71人 40.1%	51人 28.8%	48人 27.1%
50歳代	基本 施策	・高齢者福祉の充実 ・危機管理・防災対策の推進		地域医療体制の 充実	子ども・子育て 支援の充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	105人 44.7%		101人 43.0%	77人 32.8%	64人 27.3%
60歳代	基本 施策	危機管理・防災 対策の推進	子ども・子育て 支援の充実	高齢者福祉の充 実	地域医療体制の 充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	121人 42.5%	111人 39.0%	106人 37.1%	103人 36.2%	71人 24.9%
70歳以上	基本 施策	高齢者福祉の充 実	地域医療体制の 充実	危機管理・防災 対策の推進	子ども・子育て 支援の充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	167人 39.6%	117人 27.7%	115人 27.3%	112人 26.5%	106人 25.1%

【居住地区別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	基本 施策	地域医療体制の 充実	子ども・子育て 支援の充実	危機管理・防災 対策の推進	高齢者福祉の充 実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	77人 39.9%	71人 36.8%	70人 36.3%	67人 34.7%	50人 25.9%
中泉・ 今之浦地区	基本 施策	危機管理・防災 対策の推進	・子ども・子育て支援の充実 ・地域医療体制の充実		市民生活の安 全・安心の確保	高齢者福祉の充 実
	人数 割合	83人 36.7%	74人 32.7%		71人 31.4%	70人 31.0%
岩田・ 大藤・ 向笠地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	高齢者福祉の充 実	地域医療体制の 充実	危機管理・防災 対策の推進	元気な農林水産 業の育成
	人数 割合	33人 42.3%	31人 39.7%	27人 34.6%	24人 30.8%	21人 26.9%
西貝・ 御厨・ 南御厨・ 田原地区	基本 施策	高齢者福祉の充 実	・子ども・子育て支援の充実 ・地域医療体制の充実		危機管理・防災 対策の推進	子ども・若者の 健全育成
	人数 割合	59人 41.8%	57人 40.4%		56人 39.7%	32人 22.7%
天竜・ 長野・ 於保地区	基本 施策	・高齢者福祉の充実 ・地域医療体制の充実		子ども・子育て 支援の充実	危機管理・防災 対策の推進	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	44人 38.3%		40人 34.8%	38人 33.0%	28人 24.3%
福田地区	基本 施策	危機管理・防災 対策の推進	子ども・子育て 支援の充実	高齢者福祉の充 実	地域医療体制の 充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	53人 42.7%	47人 37.9%	42人 33.9%	40人 32.3%	37人 29.8%
竜洋地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	地域医療体制の 充実	・高齢者福祉の充実 ・危機管理・防災対策の推進		市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	49人 36.6%	46人 34.3%	45人 33.6%		30人 22.4%
富岡・ 豊田東・ 池田地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	高齢者福祉の充 実	危機管理・防災 対策の推進	地域医療体制の 充実	市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	45人 44.6%	40人 39.6%	35人 34.7%	27人 26.7%	26人 25.7%
井通地区・ 青城地区	基本 施策	危機管理・防災 対策の推進	高齢者福祉の充 実	・子ども・子育て支援の充実 ・地域医療体制の充実		市民生活の安 全・安心の確保
	人数 割合	51人 43.2%	47人 39.8%	45人 38.1%		32人 27.1%
豊岡地区	基本 施策	危機管理・防災 対策の推進	高齢者福祉の充 実	子ども・子育て 支援の充実	地域医療体制の 充実	元気な農林水産 業の育成
	人数 割合	33人 41.3%	28人 35.0%	23人 28.8%	22人 27.5%	20人 25.0%

(7) 31の基本施策の取組みのうち、人口減少問題に対して特に重要だと思うもの

問6 日本全体が人口減少局面を迎えているなか、磐田市では、2060年（令和42年）に総人口13万6千人を確保することを目指しています。（※2020年3月末人口：16万9,673人）問4の①から③の取組みのうち、人口減少問題に対して特に重要だと思うものはどれですか？5つまで選んで、その取組みの番号を記入してください。

人口減少問題に対して特に重要な基本施策は、

- ・「子ども・子育て支援の充実」
- ・「移住・定住の推進」
- ・「子ども・若者の健全育成」

■傾向

【性別】性別による差はない

【年代別】すべての年代で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い

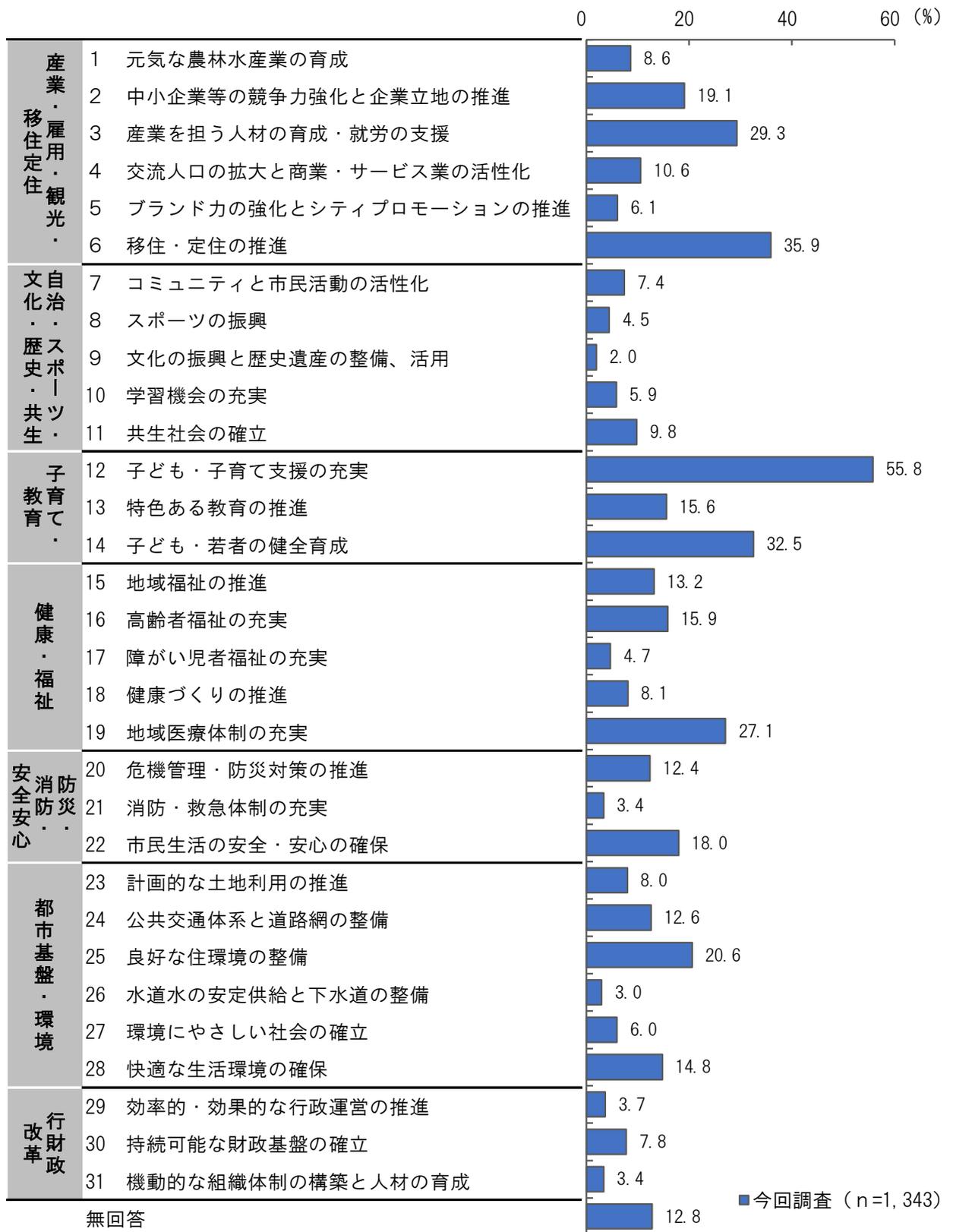
【居住地区別】すべての居住地区で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い

■今回調査の結果

- ・「子ども・子育て支援の充実」（55.8%）が最も多く、次いで「移住・定住の推進」（35.9%）、「子ども・若者の健全育成」（32.5%）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（29.3%）、「地域医療体制の充実」（27.1%）となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男女とも上位5項目が同じ基本施策となっている。
 - ・男性では「子ども・子育て支援の充実」（58.1%）が最も多く、次いで「移住・定住の推進」（35.4%）、「子ども・若者の健全育成」（32.9%）となっている。
 - ・女性では「子ども・子育て支援の充実」（54.2%）と最も多く、次いで「移住・定住の推進」（36.7%）、「子ども・若者の健全育成」（32.7%）となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・30歳未満、30歳代では「子ども・若者の健全育成」が2番目に多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「移住・定住の推進」が2番目に多い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・すべての居住地区で「子ども・若者の健全育成」又は「移住・定住の推進」が2番目に多い。

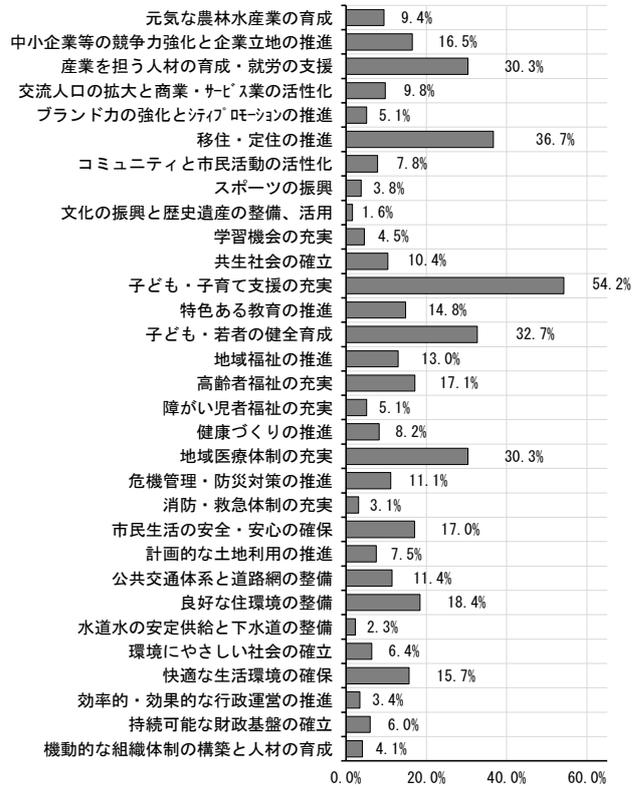


【属性別（性別）】

<男性>

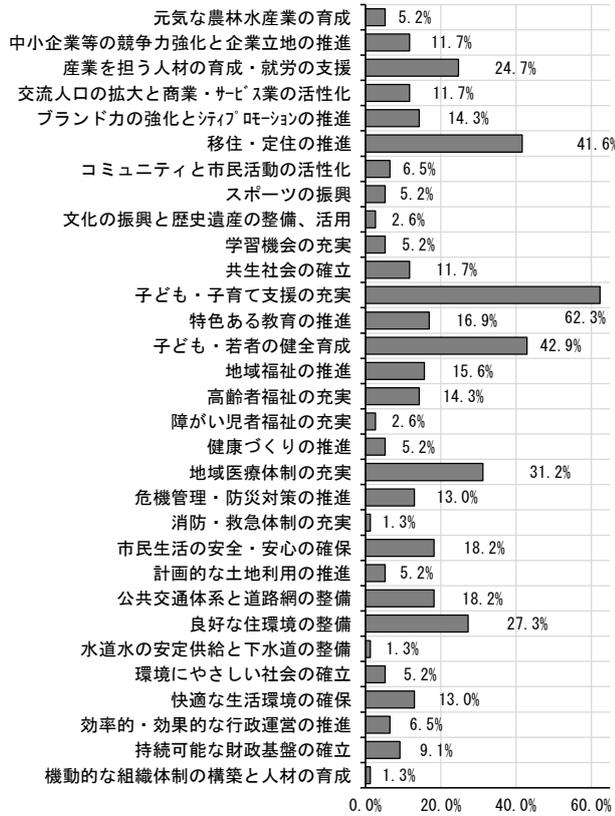


<女性>

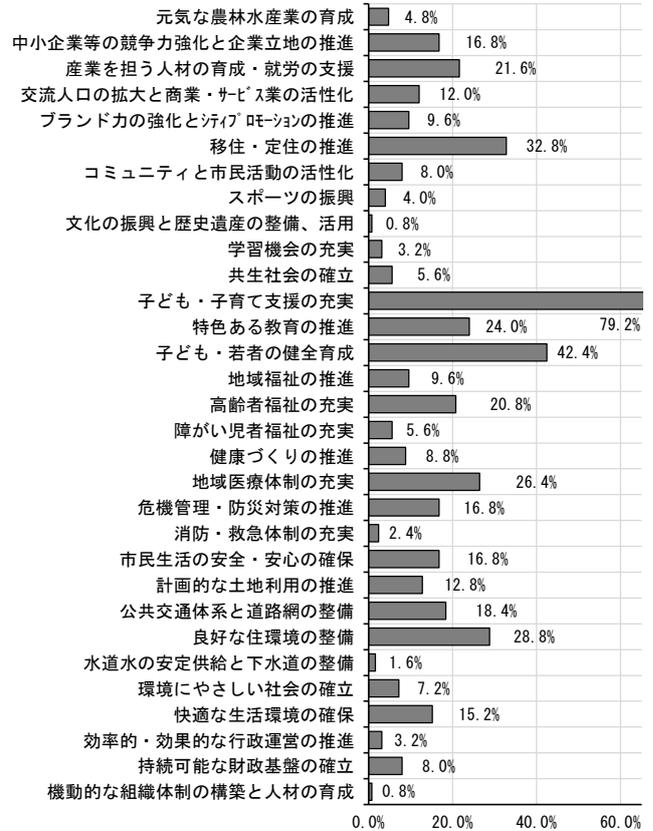


【属性別（年代別）】

<30 歳未満>



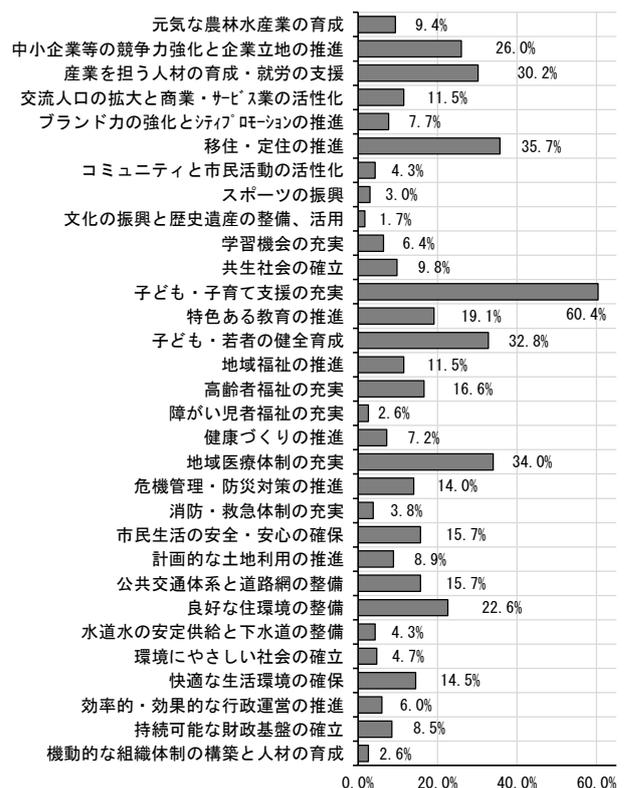
<30 歳代>



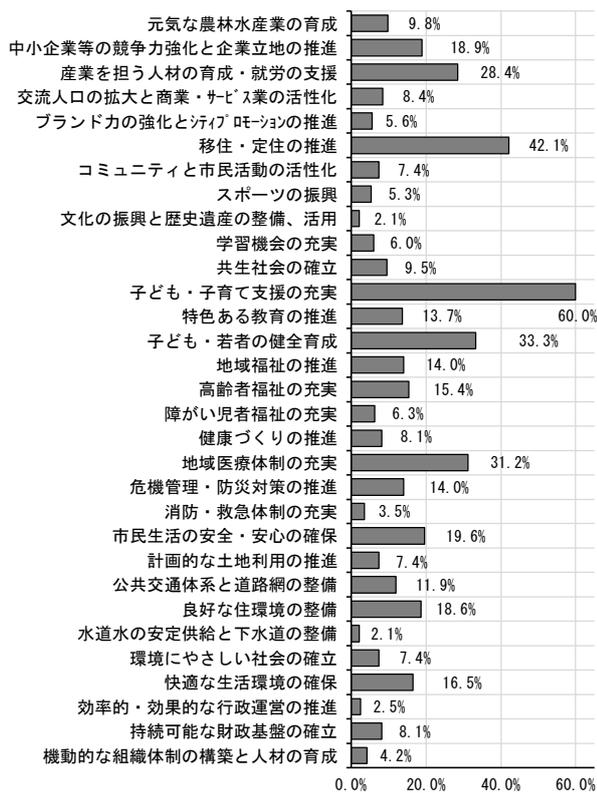
<40 歳代>



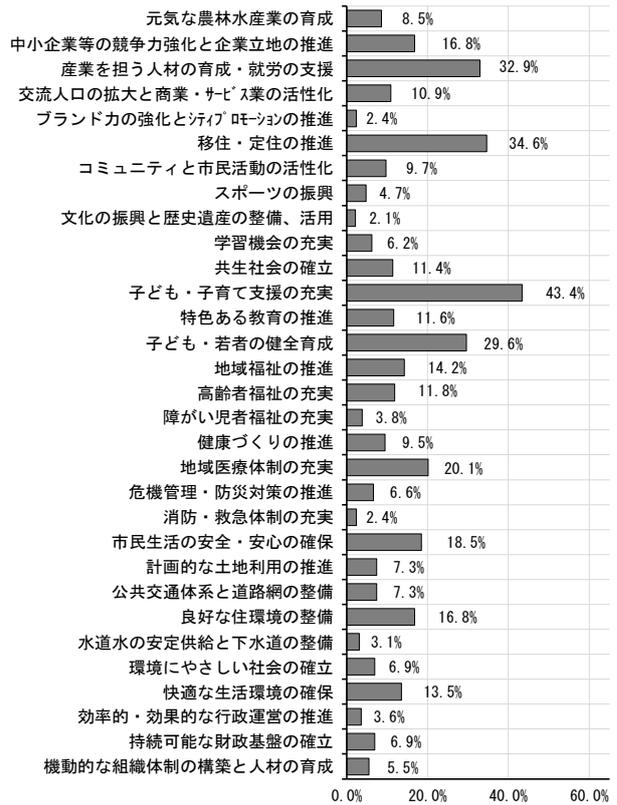
<50 歳代>



<60 歳代>

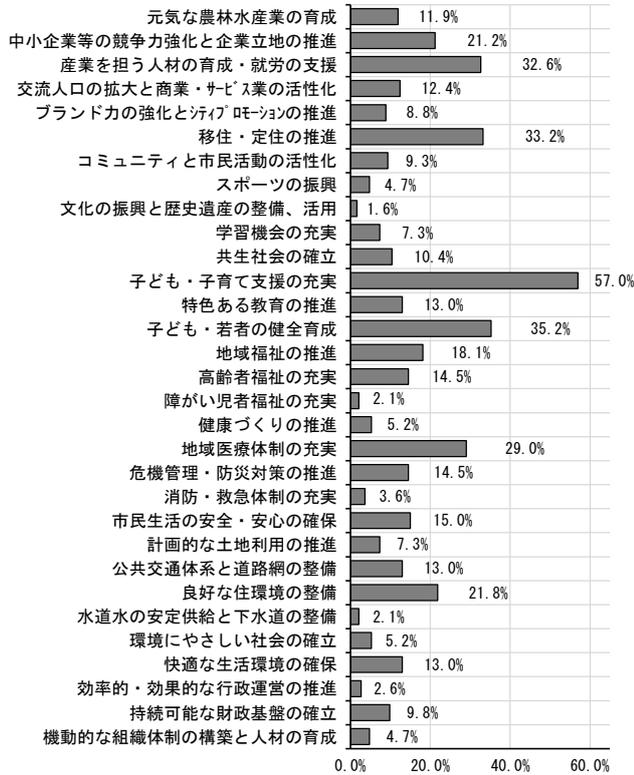


<70 歳以上>

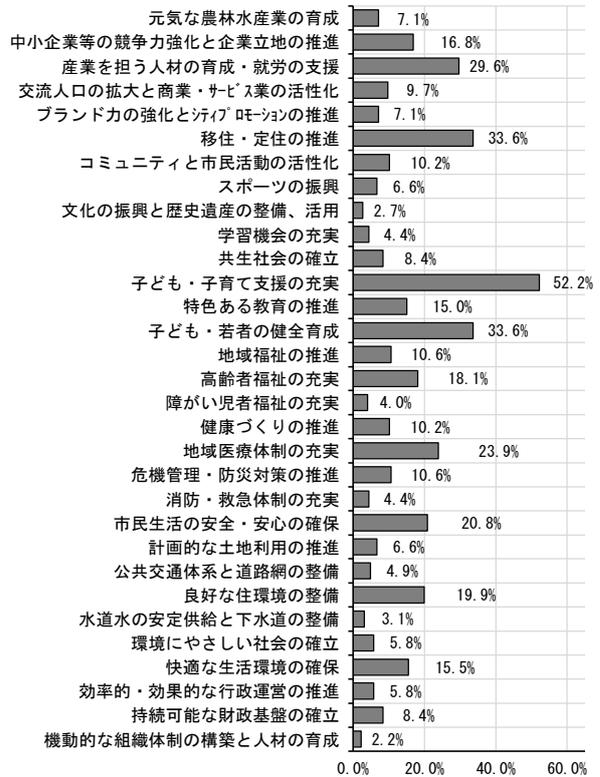


【属性別（居住地区別）】

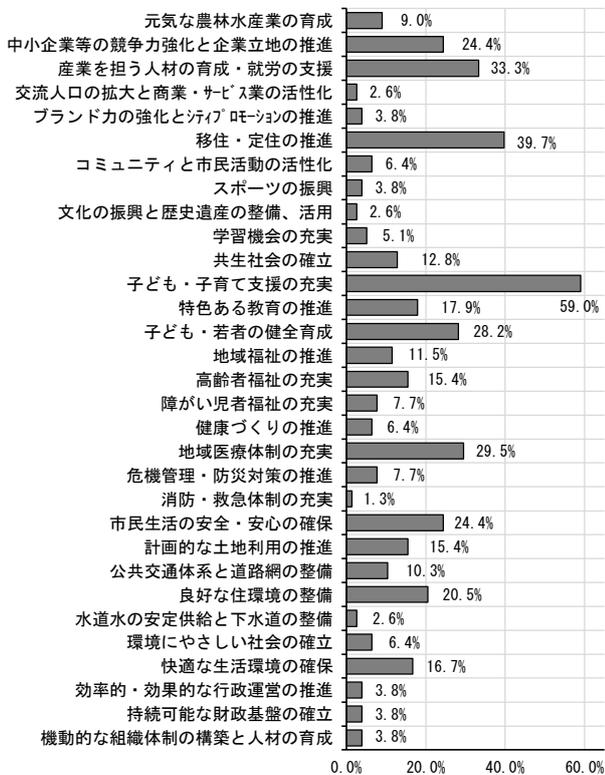
<見付地区>



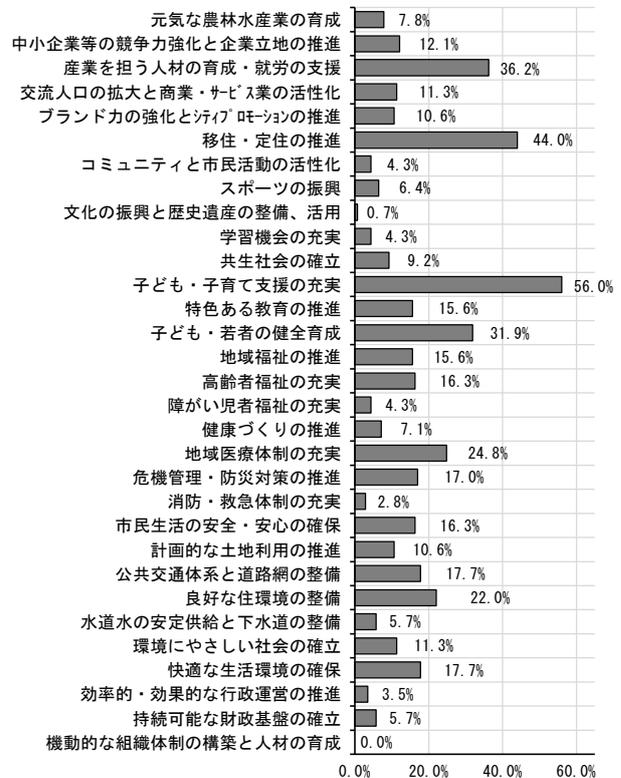
<中泉・今之浦地区>



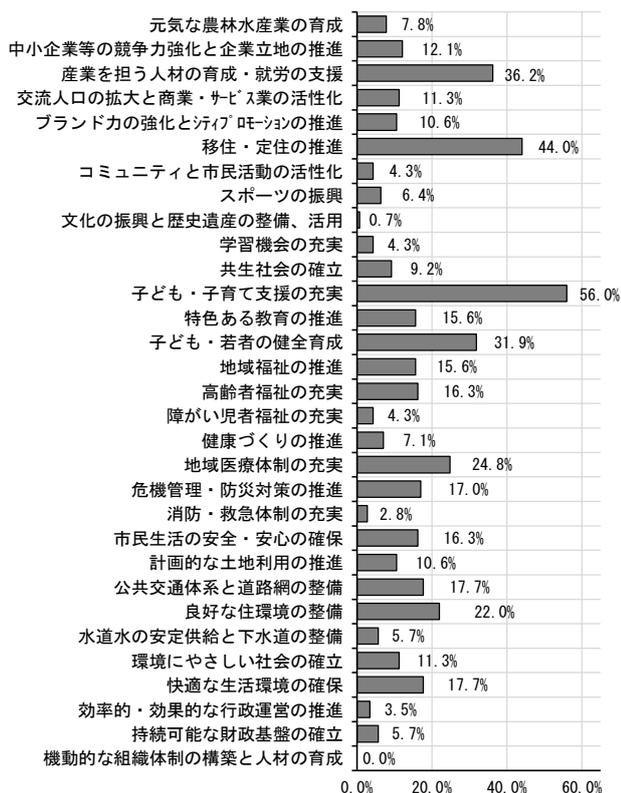
<岩田・大藤・向笠地区>



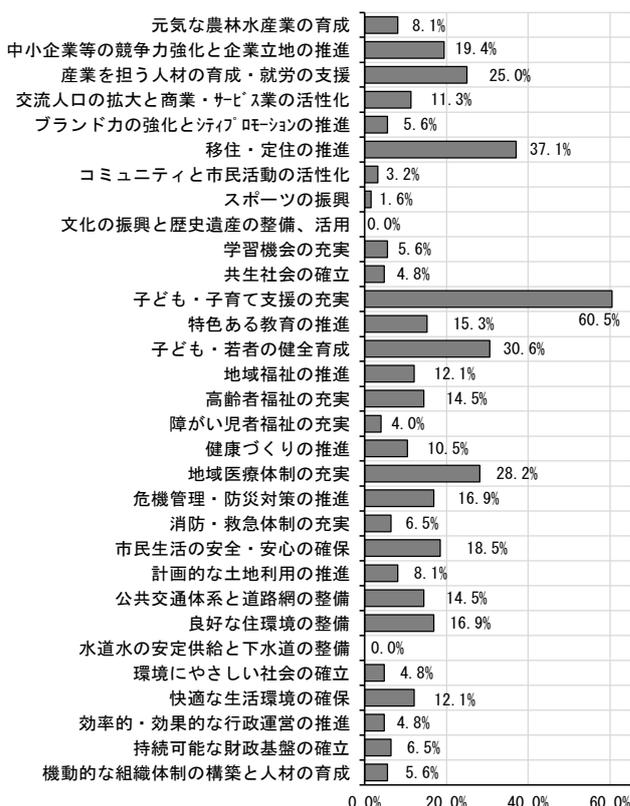
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



<天竜・長野・於保地区>



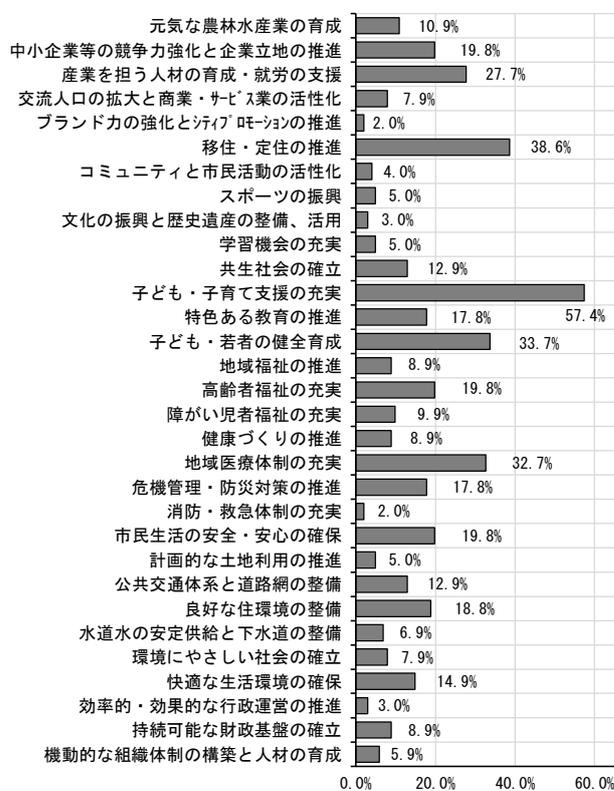
<福田地区>



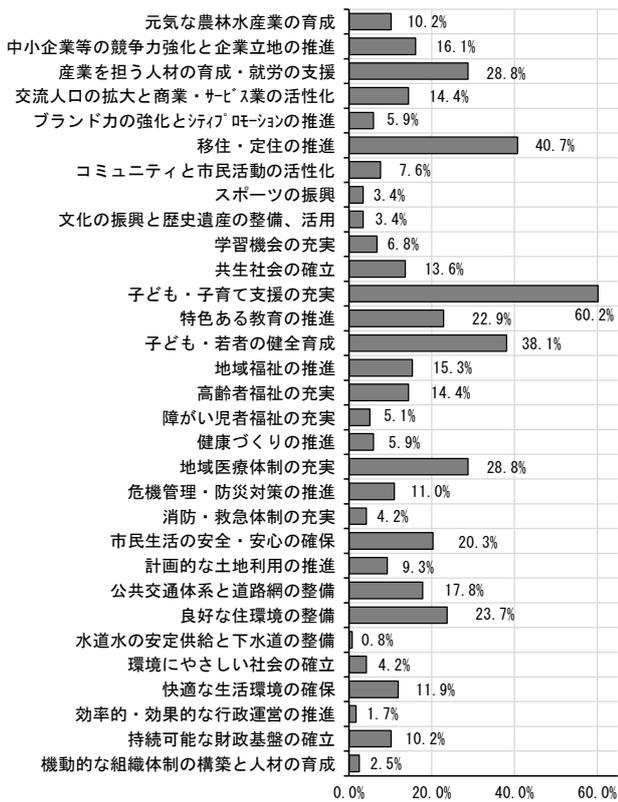
<竜洋地区>



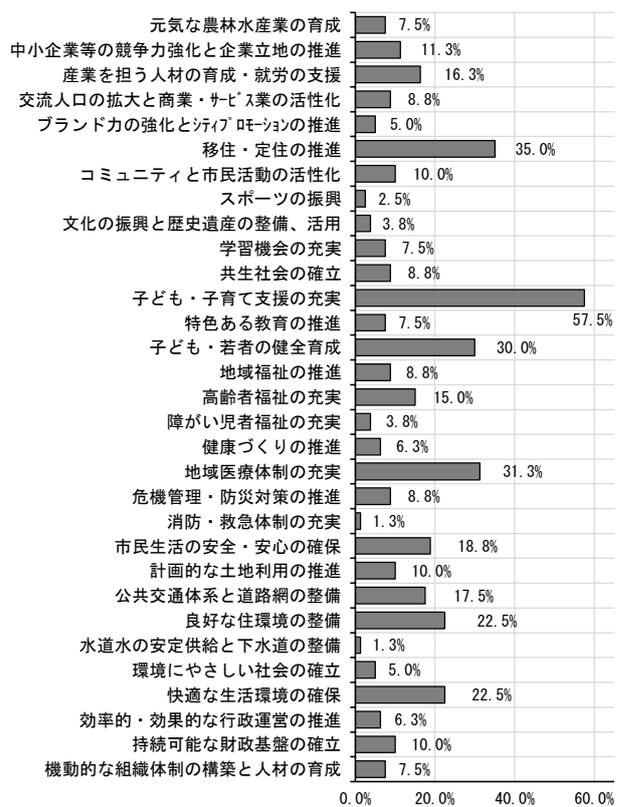
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



■優先度1番目 ■優先度2番目 □優先度3番目 □優先度4番目 □優先度5番目

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	地域医療体制の 充実
	人数	371人	226人	210人	182人	156人
	割合	58.1%	35.4%	32.9%	28.5%	24.4%
女性	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	・産業を担う人材の育成・就労の支 援 ・地域医療体制の充実	
	人数	370人	251人	223人	207人	
	割合	54.2%	36.7%	32.7%	30.3%	

【年代別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	子ども・若者の 健全育成	移住・定住の推 進	地域医療体制の 充実	良好な住環境の 整備
	人数	48人	33人	32人	24人	21人
	割合	62.3%	42.9%	41.6%	31.2%	27.3%
30歳代	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	子ども・若者の 健全育成	移住・定住の推 進	良好な住環境の 整備	地域医療体制の 充実
	人数	99人	53人	41人	36人	33人
	割合	79.2%	42.4%	32.8%	28.8%	26.4%
40歳代	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	地域医療体制の 充実	子ども・若者の 健全育成
	人数	99人	56人	53人	51人	49人
	割合	55.9%	31.6%	29.9%	28.8%	27.7%
50歳代	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	地域医療体制の 充実	子ども・若者の 健全育成	産業を担う人材 の育成・就労の 支援
	人数	142人	84人	80人	77人	71人
	割合	60.4%	35.7%	34.0%	32.8%	30.2%
60歳代	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	地域医療体制の 充実	産業を担う人材 の育成・就労の 支援
	人数	171人	120人	95人	89人	81人
	割合	60.0%	42.1%	33.3%	31.2%	28.4%
70歳以上	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	子ども・若者の 健全育成	地域医療体制の 充実
	人数	183人	149人	139人	125人	85人
	割合	43.4%	34.6%	32.9%	29.6%	20.1%

【居住地区別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	子ども・若者の 健全育成	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	地域医療体制の 充実
	人数 割合	110人 57.0%	68人 35.2%	64人 33.2%	63人 32.6%	56人 29.0%
中泉・ 今之浦地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	・移住・定住の推進 ・子ども・若者の健全育成		産業を担う人材 の育成・就労の 支援	地域医療体制の 充実
	人数 割合	118人 52.2%	76人 33.6%		67人 29.6%	54人 23.9%
岩田・ 大藤・ 向笠地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	地域医療体制の 充実	子ども・若者の 健全育成
	人数 割合	46人 59.0%	31人 39.7%	26人 33.3%	23人 29.5%	22人 28.2%
西貝・ 御厨・ 南御厨・ 田原地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	子ども・若者の 健全育成	地域医療体制の 充実
	人数 割合	79人 56.0%	62人 44.0%	51人 36.2%	45人 31.9%	35人 24.8%
天竜・ 長野・ 於保地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	地域医療体制の 充実	中小企業等の競 争力強化と企業 立地の推進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援
	人数 割合	61人 53.0%	40人 34.8%	37人 32.2%	34人 29.6%	33人 28.7%
福田地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	地域医療体制の 充実	産業を担う人材 の育成・就労の 支援
	人数 割合	75人 60.5%	46人 37.1%	38人 30.6%	35人 28.2%	31人 25.0%
竜洋地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	子ども・若者の 健全育成	移住・定住の推 進	産業を担う人材 の育成・就労の 支援	中小企業等の競 争力強化と企業 立地の推進
	人数 割合	73人 54.5%	45人 33.6%	43人 32.1%	41人 30.6%	32人 23.9%
富岡・ 豊田東・ 池田地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	地域医療体制の 充実	産業を担う人材 の育成・就労の 支援
	人数 割合	58人 57.4%	39人 38.6%	34人 33.7%	33人 32.7%	28人 27.7%
井通地区・ 青城地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	子ども・若者の 健全育成	・産業を担う人材の育成・就労の支 援 ・地域医療体制の充実	
	人数 割合	71人 60.2%	48人 40.7%	45人 38.1%	34人 28.8%	
豊岡地区	基本 施策	子ども・子育て 支援の充実	移住・定住の推 進	地域医療体制の 充実	子ども・若者の 健全育成	・良好な住環境の整備 ・快適な生活環境の確保
	人数 割合	46人 57.5%	28人 35.0%	25人 31.3%	24人 30.0%	18人 22.5%

2. まちへの想いについて

(1) 磐田市への愛着や親しみ

問7 あなたは磐田市に愛着や親しみを感じていますか？ <○印を1つ>

磐田市に愛着や親しみを『感じている』※人は8割以上

※『感じている』:「おおいに感じている」+「少し感じている」

■前回調査との比較

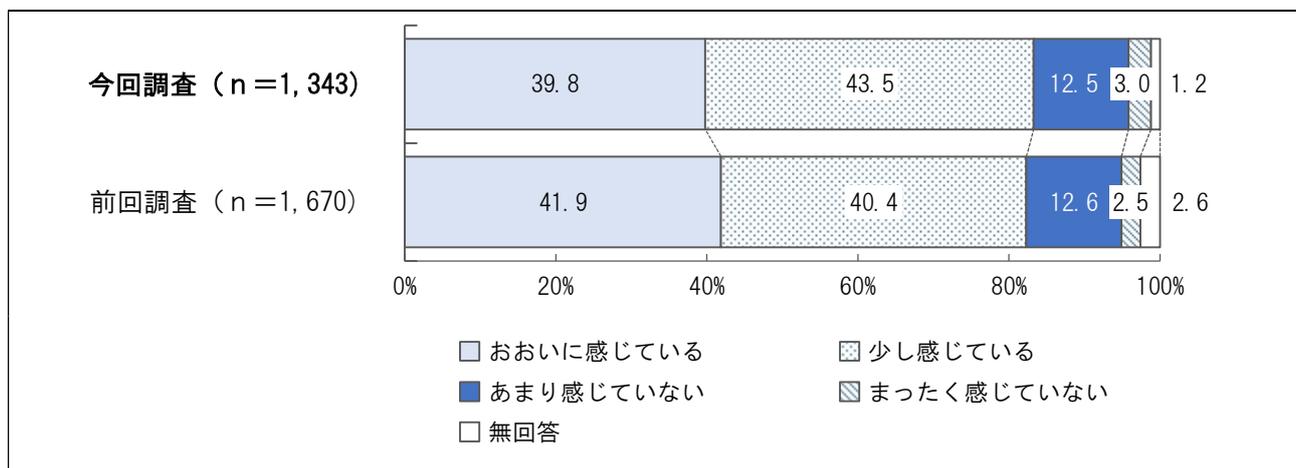
『感じている』が1.0ポイント増加している

■傾向

【性別】男女とも『感じている』が8割を超えている

【年代別】『感じている』は、60歳代が最も多く、30歳未満が最も低い

【居住地区別】すべての居住地区で『感じている』が7割を超えている



■今回調査の結果

- ・『感じている』(「おおいに感じている」+「少し感じている」)は83.3%、『感じていない』(「あまり感じていない」+「まったく感じていない」)は15.5%となっている。
- ・「少し感じている」(43.5%)が最も多く、次いで「おおいに感じている」(39.8%)、「あまり感じていない」(12.5%)となっている。

■前回調査との比較

- ・『感じている』が1.0ポイント増加し、『感じていない』が0.4ポイント増加している。

■傾向

【性別】

- ・『感じている』は、男性が81.5%、女性が84.7%となっている。
- ・「おおいに感じている」は、男性が36.3%、女性が43.0%となっている。

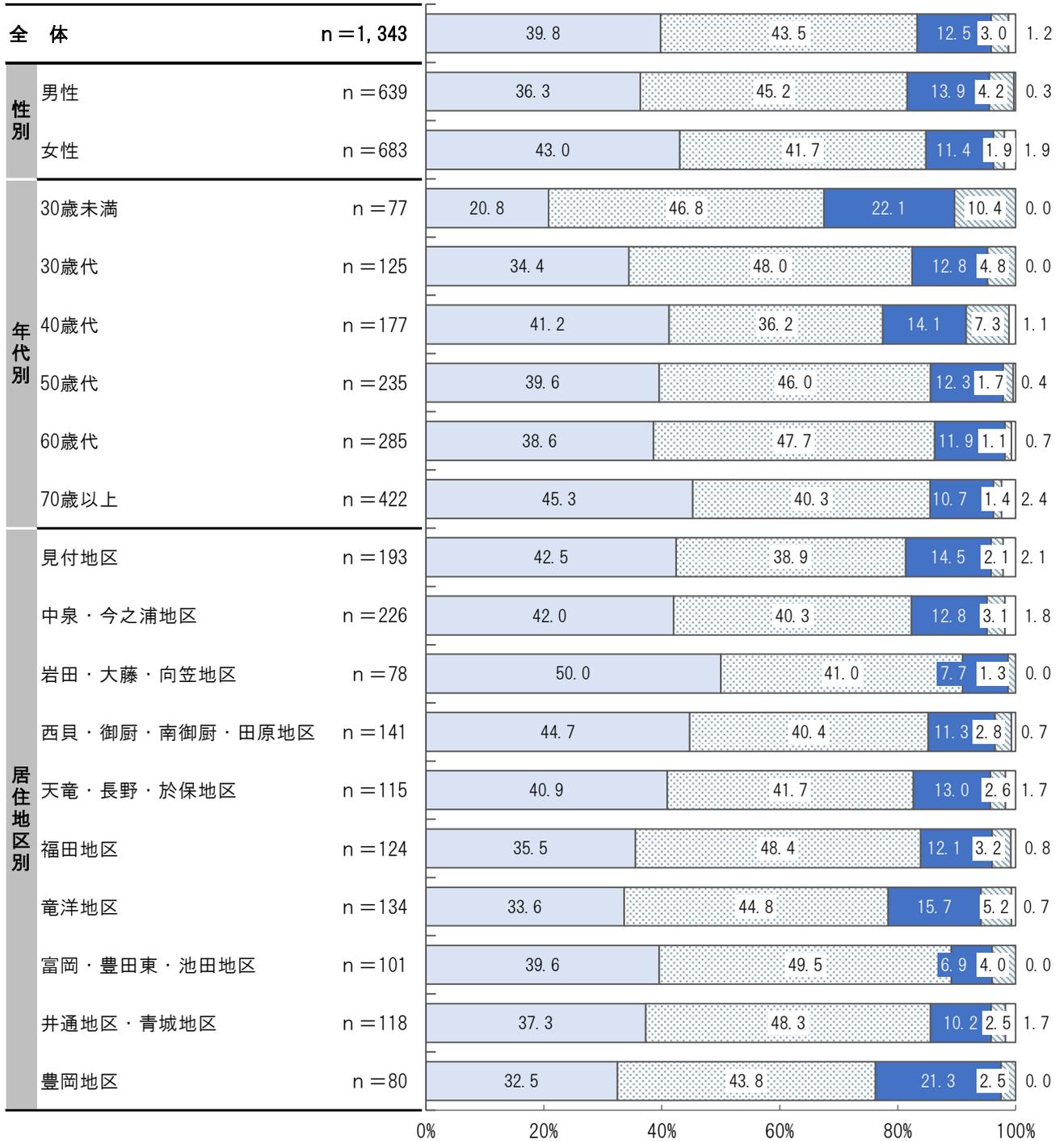
【年代別】

- ・『感じている』は、60歳代(86.3%)が最も多く、次いで、50歳代(85.6%)、70歳以上(85.6%)となっている。
- ・『感じていない』は、30歳未満(32.5%)が最も多く、次いで、40歳代(21.4%)となっている。

【居住地区別】

- ・すべての地区において、『感じている』は7割を超えている。
- ・『感じている』は、岩田・大藤・向笠地区(91.0%)が最も多く、次いで、富岡・豊田東・池田地区(89.1%)、井通地区・青城地区(85.6%)となっている。

【属性別】



おおいに感じている 少し感じている
 あまり感じていない まったく感じていない
 無回答

(2) 磐田市が最も誇れるもの、あるいは磐田市を最も象徴するもの

問8 磐田市が最も誇れるもの、あるいは磐田市を最も象徴するものは何だと思いますか？

<○印を1つ>

最も誇れるもの・象徴するものは、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」
- ・「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」
- ・「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」

■前回調査との比較

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が増加している
- ・「メロンやお茶、シラスなどの特産品」「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」が減少している。

■傾 向

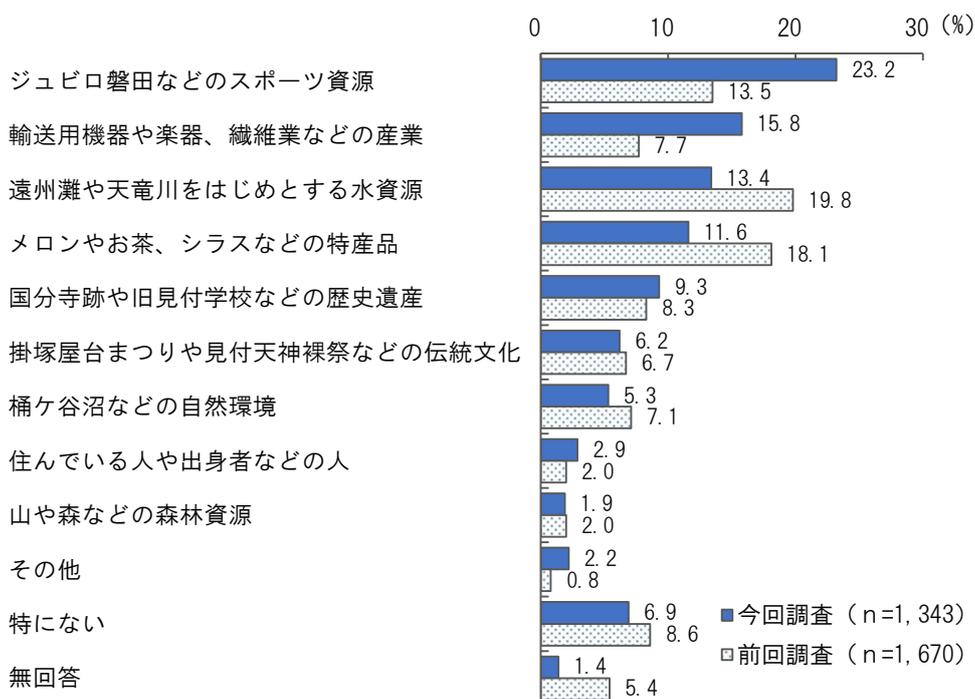
【性別】男女とも「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」
- ・「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」



■今回調査の結果

- ・「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」(23.2%)が最も多く、次いで「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(15.8%)、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(13.4%)となっている。

■前回調査との比較

- ・前回調査で4位だった「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」が9.7ポイント増加し1位に、「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が8.1ポイント増加し2位となっている。
- ・「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」は6.4ポイント、「メロンやお茶、シラスなどの特産品」は6.5ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・男女とも、「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。
 - ・男性では「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」(23.2%)が最も多く、次いで「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(19.4%)、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(15.5%)となっている。
 - ・女性では「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」(23.6%)が最も多く、次いで「メロンやお茶、シラスなどの特産品」(14.6%)、「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(12.4%)となっている。
- 【年 代 別】**
- ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。
 - ・70歳以上では「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(17.8%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・福田地区では「メロンやお茶、シラスなどの特産品」(30.6%)が最も多い。
 - ・竜洋地区では「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(25.4%)が最も多い。
 - ・富岡・豊田東・池田地区、井通地区・青城地区では「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「ジュビロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産	メロンやお茶、シラスなどの特産品
	人数 割合	148人 23.2	124人 19.4	99人 15.5	56人 8.8	51人 8.0
女性	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数 割合	161人 23.6	100人 14.6	85人 12.4	75人 11.0	68人 10.0

【年代別：上位5位のみ】

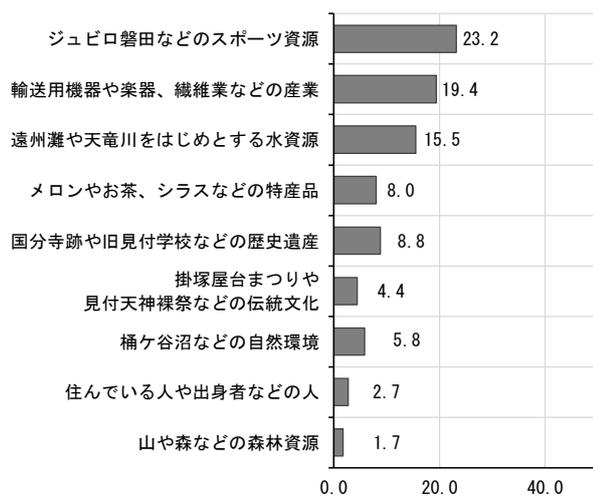
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化
	人数 割合	36人 46.8%	13人 16.9%	11人 14.3%	4人 5.2%	3人 3.9%
30歳代	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	メロンやお茶、シラスなどの特産品	掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数 割合	46人 36.8%	26人 20.8%	16人 12.8%	12人 9.6%	人 6.4%
40歳代	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	メロンやお茶、シラスなどの特産品	桶ヶ谷沼などの自然環境	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数 割合	56人 31.6%	21人 11.9%	18人 10.2%	16人 9.0%	14人 7.9%
50歳代	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数 割合	61人 26.0%	37人 15.7%	29人 12.3%	26人 11.1%	24人 10.2%
60歳代	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数 割合	51人 17.9%	49人 17.2%	46人 16.1%	38人 13.3%	27人 9.5%
70歳以上	理由	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	・国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産 ・メロンやお茶、シラスなどの特産品	
	人数 割合	75人 17.8%	64人 15.2%	59人 14.0%		50人 11.8%

【地域別：上位5位のみ】

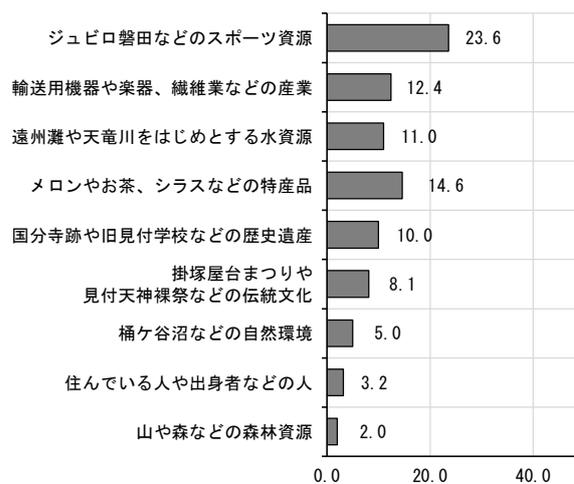
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	・国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産 ・輸送用機器や楽器、繊維業などの産業		掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源
	人数	53人		33人	17人	16人
	割合	27.5%		17.1%	8.8%	8.3%
中泉・今之浦地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	桶ヶ谷沼などの自然環境
	人数	59人	30人	28人	22人	19人
	割合	26.1%	13.3%	12.4%	9.7%	8.4%
岩田・大藤・向笠地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	桶ヶ谷沼などの自然環境	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業
	人数	19人	12人	9人	8人	7人
	割合	24.4%	15.4%	11.5%	10.3%	9.0%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	メロンやお茶、シラスなどの特産品	・遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 ・桶ヶ谷沼などの自然環境	
	人数	48人	25人	13人		10人
	割合	34.0%	17.7%	9.2%		7.1%
天竜・長野・於保地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品
	人数	28人	21人	16人	14人	10人
	割合	24.3%	18.3%	13.9%	12.2%	8.7%
福田地区	理由	メロンやお茶、シラスなどの特産品	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	・遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 ・輸送用機器や楽器、繊維業などの産業		・国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産 ・桶ヶ谷沼などの自然環境
	人数	38人	18人		15人	7人
	割合	30.6%	14.5%		12.1%	5.6%
竜洋地区	理由	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業
	人数	34人	23人	20人	17人	13人
	割合	25.4%	17.2%	14.9%	12.7%	9.7%
富岡・豊田東・池田地区	理由	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産	メロンやお茶、シラスなどの特産品
	人数	20人	18人	14人	12人	9人
	割合	19.8%	17.8%	13.9%	11.9%	8.9%
井通地区・青城地区	理由	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産
	人数	24人	23人	21人	11人	7人
	割合	20.3%	19.5%	17.8%	9.3%	5.9%
豊岡地区	理由	ジュビロ磐田などのスポーツ資源	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	メロンやお茶、シラスなどの特産品	・国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産 ・山や森などの森林資源
	人数	21人	18人	15人	12人	3人
	割合	26.3%	22.5%	18.8%	15.0%	3.8%

【属性別（性別）】

<男性>

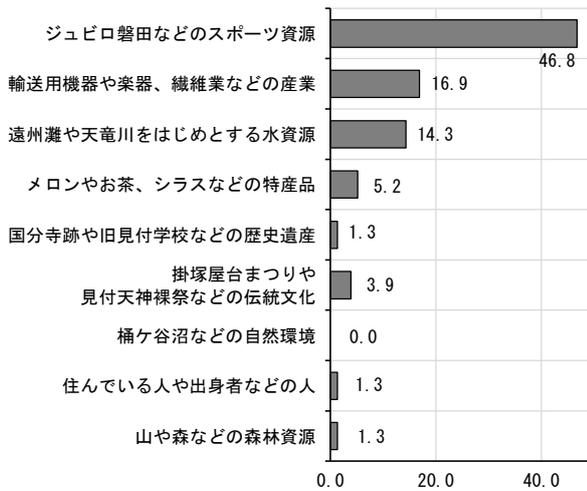


<女性>

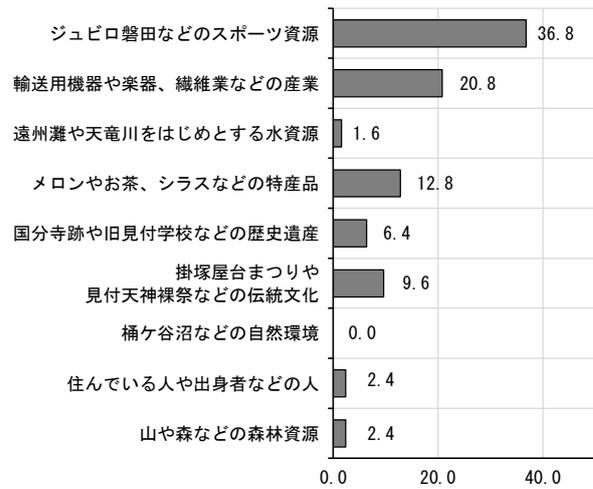


【属性別（年代別）】

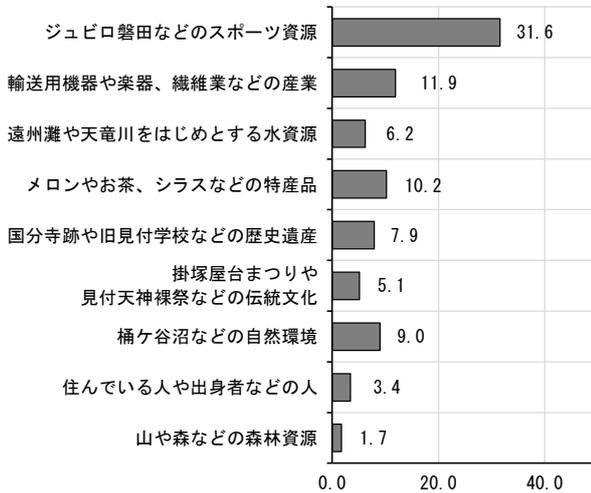
<30 歳未満>



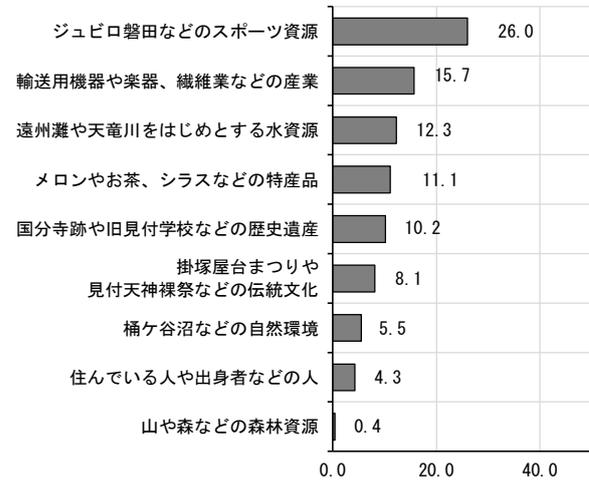
<30 歳代>



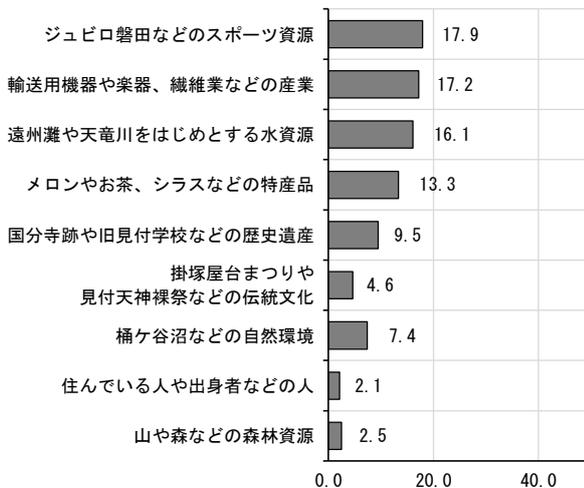
<40 歳代>



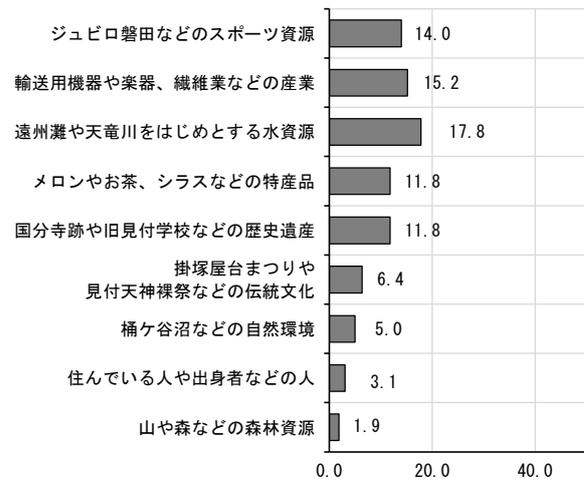
<50 歳代>



<60 歳代>

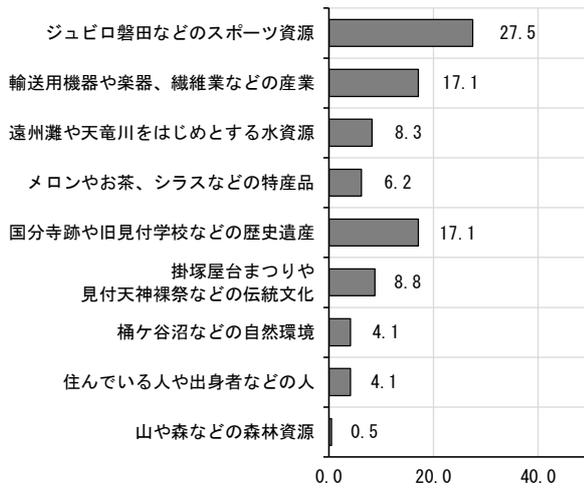


<70 歳以上>

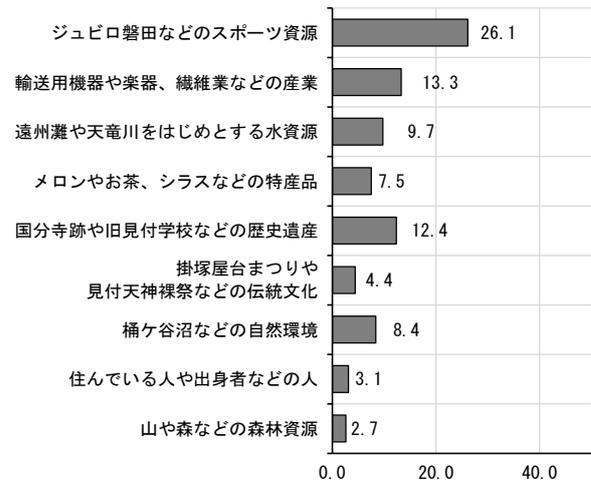


【属性別（居住地区別）】

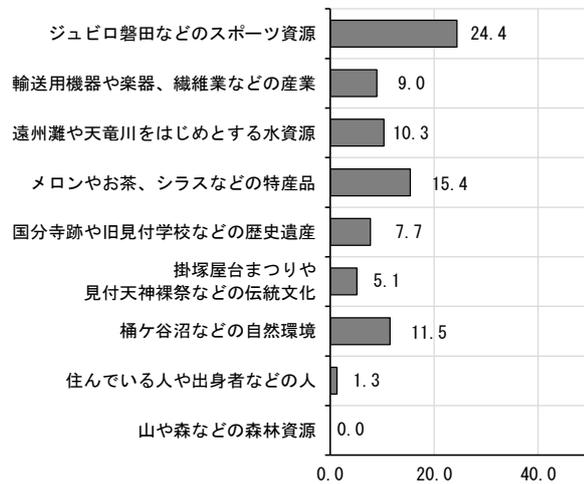
<見付地区>



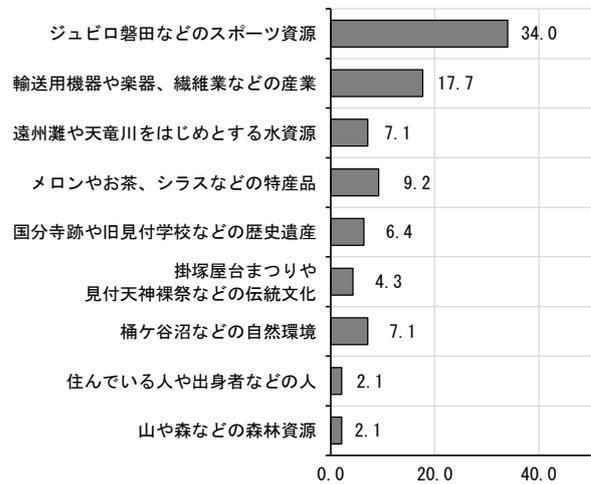
<中泉・今之浦地区>



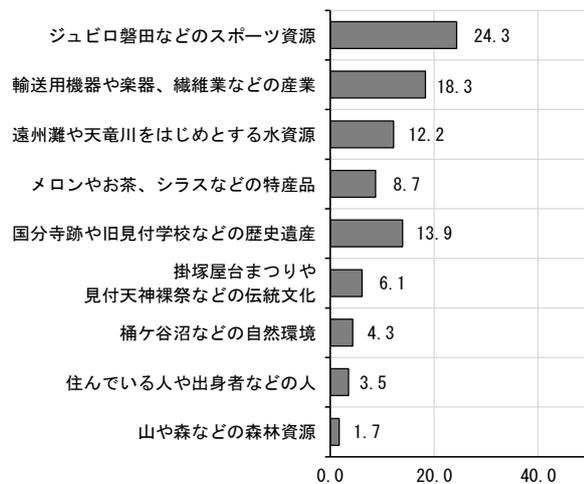
<岩田・大藤・向笠地区>



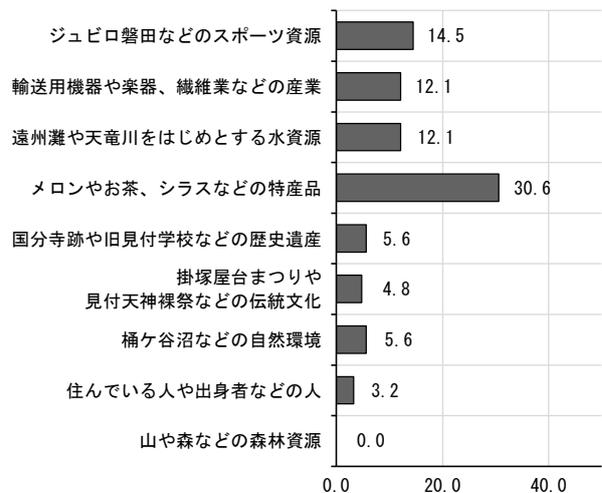
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



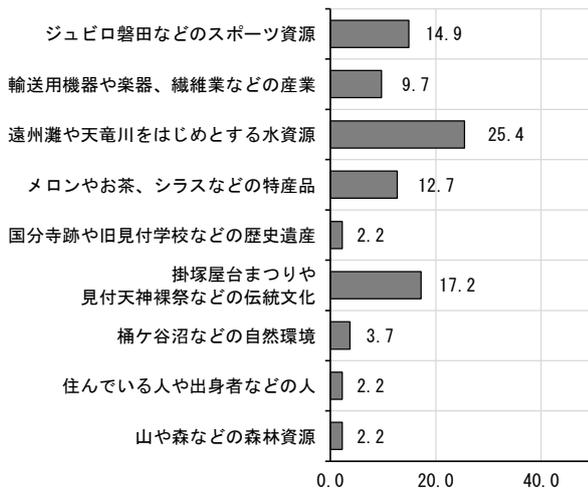
<天竜・長野・於保地区>



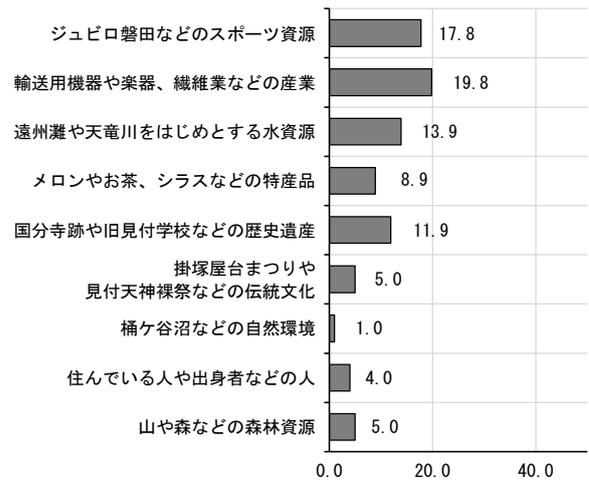
<福田地区>



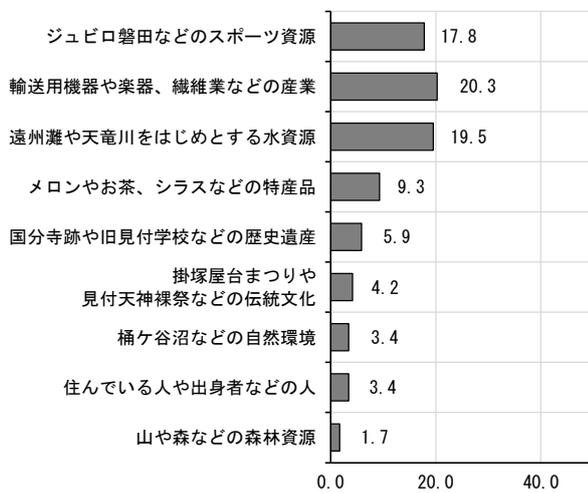
<竜洋地区>



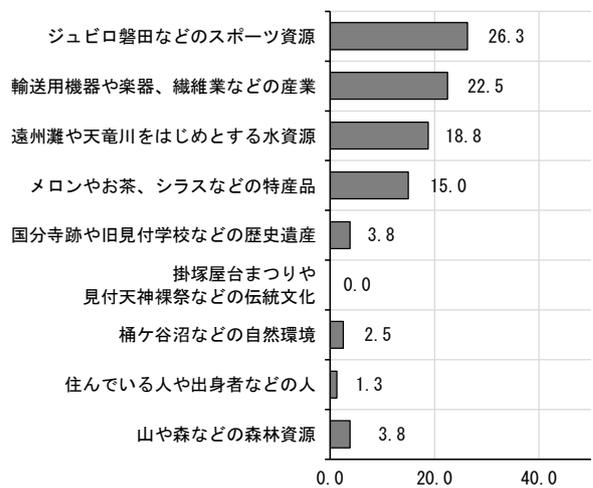
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



(3) 磐田市での居住継続意向

問9 これからも磐田市に住み続けたいと思いますか？ <○印を1つ>

磐田市に『住み続けたい』※人は9割以上

※『住み続けたい』:「ずっと住み続けたい」+「当分の間、住み続けたい」

■前回調査との比較

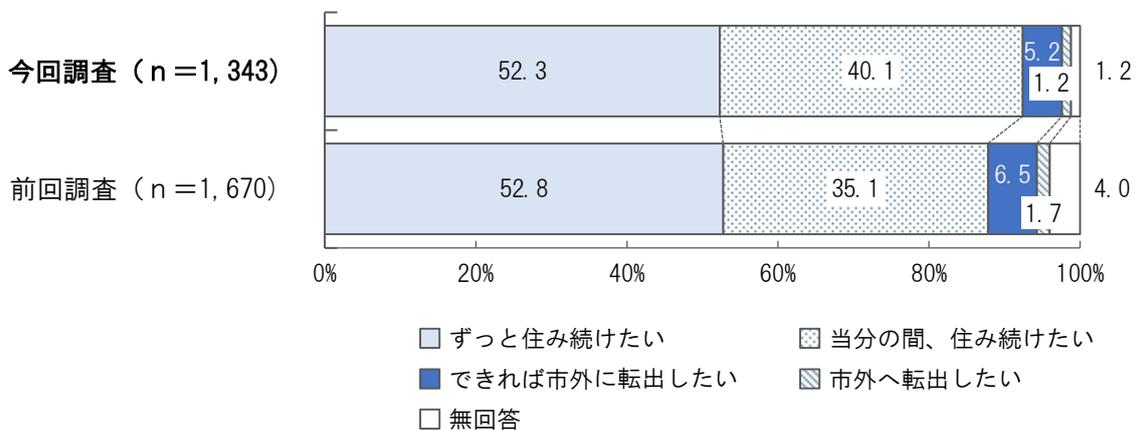
『住み続けたい』が4.5ポイント増加している

■傾向

【性別】男女とも『住み続けたい』が9割を超えている

【年代別】全ての年代において『住み続けたい』が8割を超えている

【居住地区別】全ての居住地区において『住み続けたい』が8割を超えている



■今回調査の結果

・『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」+「当分の間、住み続けたい」）は92.4%、『転出したい』（「できれば市外に転出したい」+「市外へ転出したい」）は6.4%となっている。

■前回調査との比較

・『住み続けたい』が4.5ポイント増加している。

・『転出したい』が1.8ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・男性では、『住み続けたい』は91.9%となっている。また、「ずっと住み続けたい」（49.0%）が最も多く、次いで「当分の間、住み続けたい」（42.9%）、「できれば市外に転出したい」（6.1%）となっている。
- ・女性では『住み続けたい』は92.9%となっている。また、「ずっと住み続けたい」（55.1%）と最も多く、次いで「当分の間、住み続けたい」（37.8%）、「できれば市外に転出したい」（4.4%）となっている。

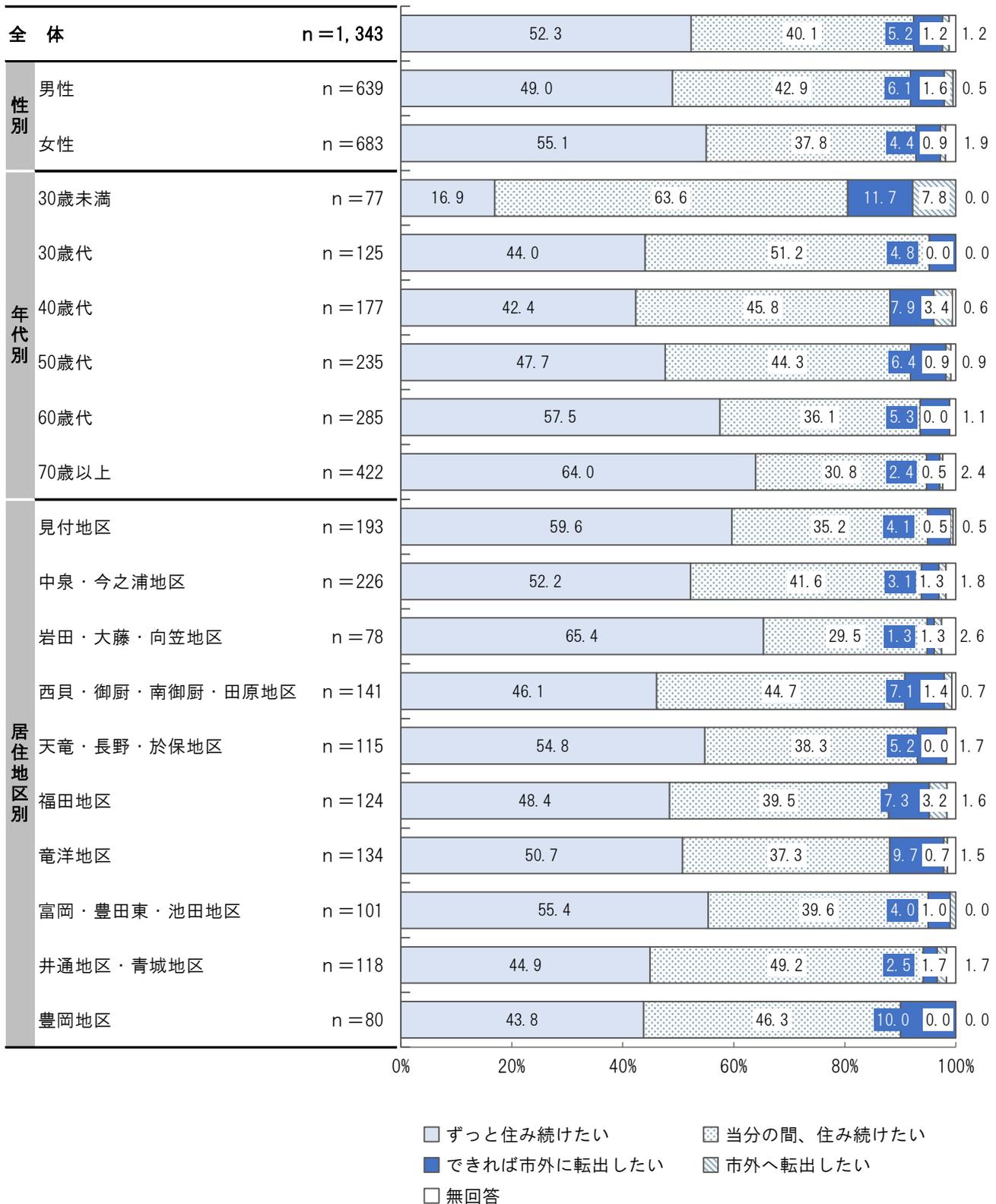
【年代別】

- ・全ての年代において、『住み続けたい』が8割を超えている。
- ・『住み続けたい』は、70歳以上（94.8%）が最も高く、30歳未満（80.5%）が最も低くなっている。

【居住地区別】

- ・全ての居住地区において、『住み続けたい』が8割を超えている。
- ・『住み続けたい』は富岡・豊田東・池田地区（95.0%）が最も高く、福田地区（87.9%）が最も低くなっている。

【属性別】



(4) 磐田市の暮らしやすさ

問10 磐田市は暮らしやすいと思いますか？ <○印を1つ>

磐田市は『暮らしやすい』※と思う人は約9割

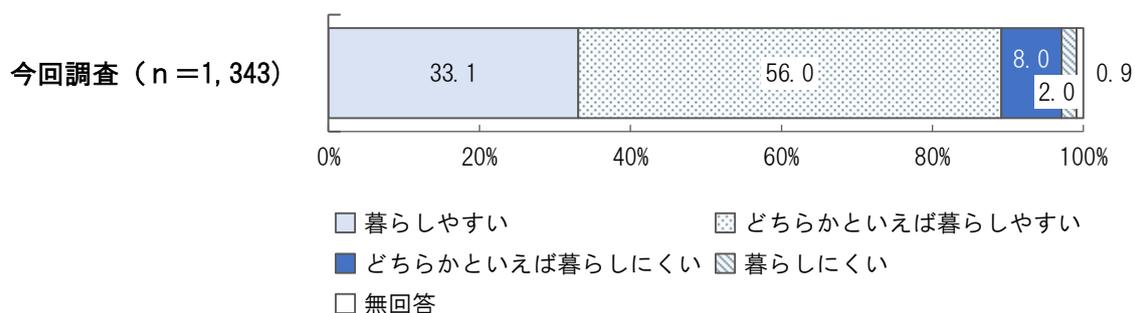
※『暮らしやすい』：(「暮らしやすい」+「どちらかといえば暮らしやすい」)

■傾向

【性別】男女とも8割を超えている

【年代別】全ての年代において『暮らしやすい』が8割を超えている

【居住地区別】全ての居住地区において『暮らしやすい』が8割を超えている



■今回調査の結果

・『暮らしやすい』(「暮らしやすい」+「どちらかといえば暮らしやすい」)は89.1%、『暮らしにくい』(「どちらかといえば暮らしにくい」+「暮らしにくい」)は10.0%となっている。

■傾向

【性別】
・男性では『暮らしやすい』は88.1%、『暮らしにくい』は11.5%となっている。また、「どちらかといえば暮らしやすい」(57.1%)が最も多く、次いで「暮らしやすい」(31.0%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(9.2%)となっている。

・女性では『暮らしやすい』は90.2%、『暮らしにくい』は8.3%となっている。また、「どちらかといえば暮らしやすい」(55.1%)が最も多く、次いで「暮らしやすい」(35.1%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(6.7%)となっている。

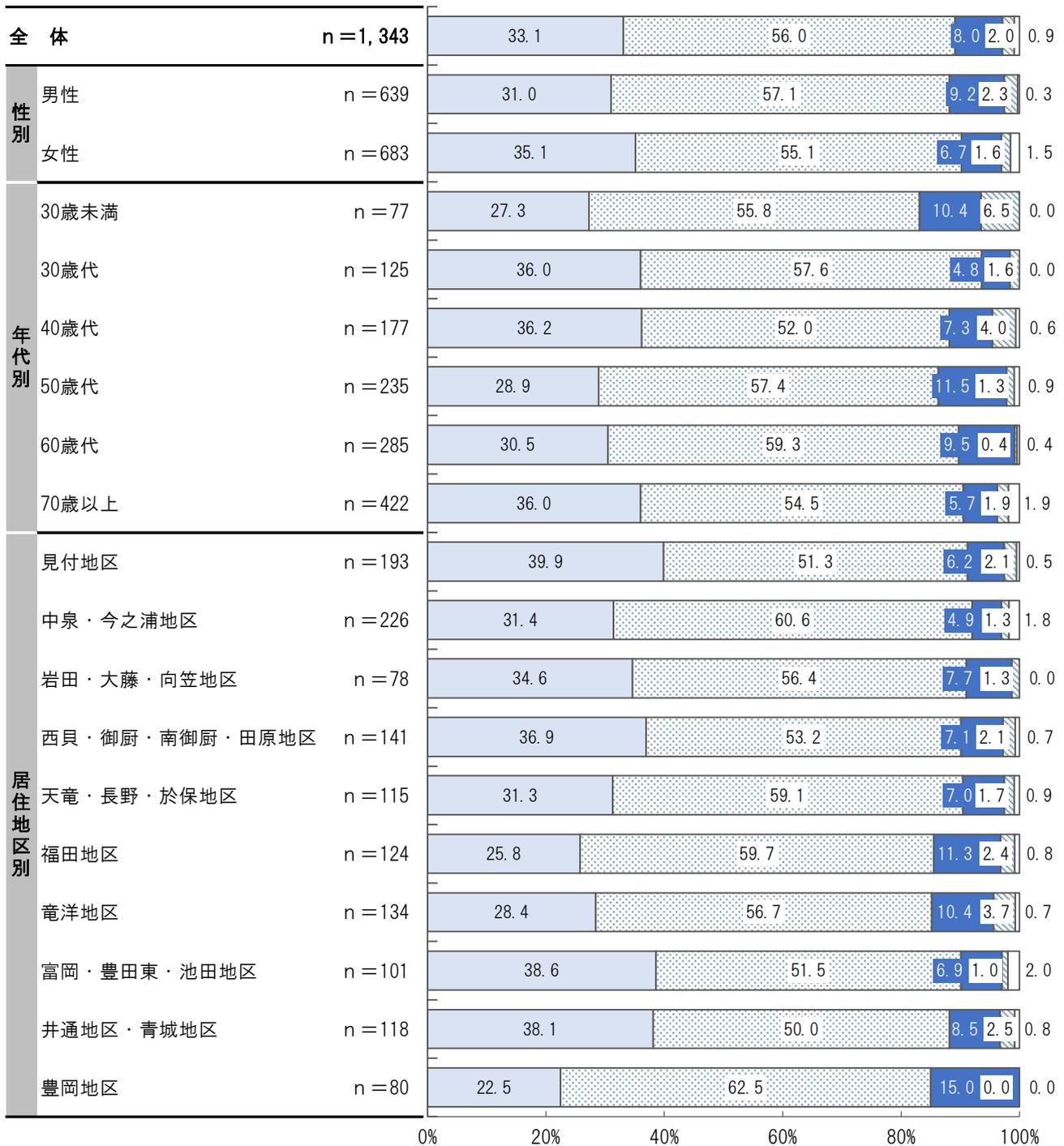
【年代別】
・全ての年代において、『暮らしやすい』が8割を超えている。

・『暮らしやすい』は、30歳代(93.6%)が最も高く、30歳未満(83.1%)が最も低くなっている。

【居住地区別】
・全ての居住地区において、『暮らしやすい』が8割を超えている。

・『暮らしやすい』は、中泉・今之浦地区(92.0%)が最も高く、豊岡地区(85.0%)が最も低くなっている。

【属性別】



暮らしやすい
 どちらかといえば暮らしやすい
 どちらかといえば暮らしにくい
 暮らしにくい
 無回答

(5) 磐田市の暮らしやすいところ

問11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？
く「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで>

磐田市の暮らしやすいところは、

- ・「災害が少ない」
- ・「住まいの環境が良好である」
- ・「公害が少ない」

■前回調査との比較

- ・「災害が少ない」「住まいの環境が良好である」「医療サービスが充実している」が増加している。
- ・「スポーツをする場が豊富である」「近隣の人々との絆が強い」「子育ての環境が整っている」が減少している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は

- ・「住まいの環境が良好である」
- ・「災害が少ない」

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い項目は

- ・「災害が少ない」

■今回調査の結果

- ・「災害が少ない」(51.7%)が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(37.2%)、「公害が少ない」(30.0%)となっている。

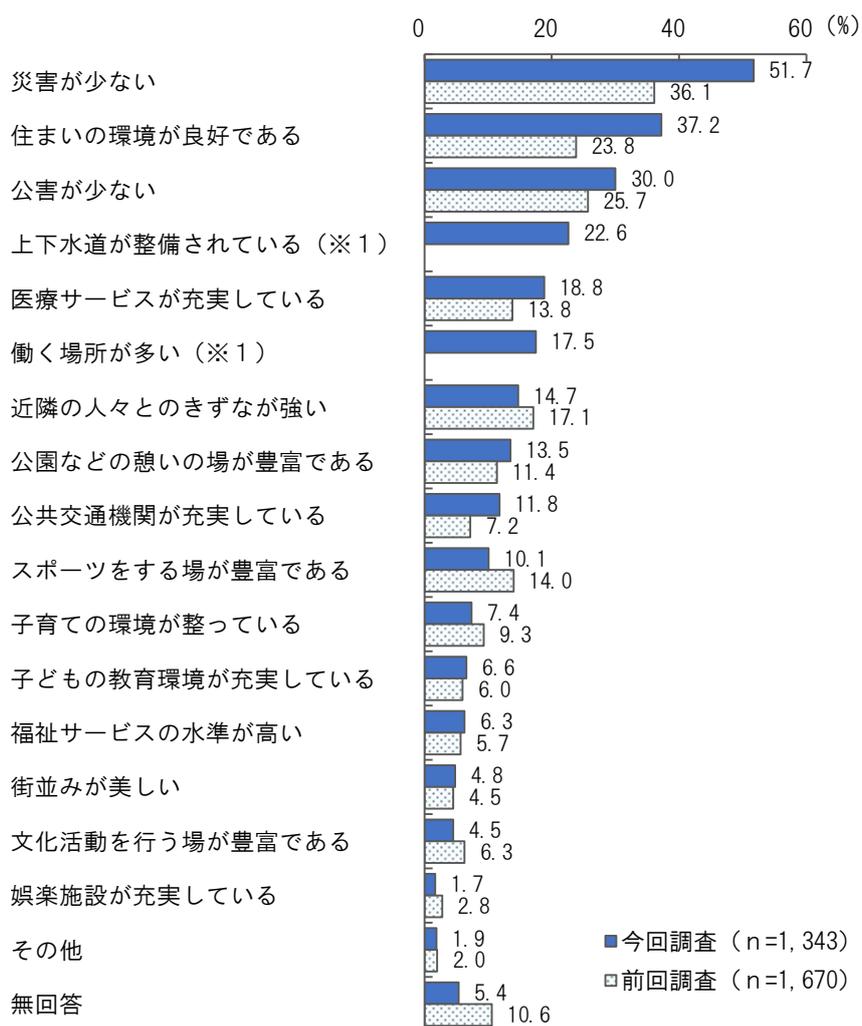
■前回調査との比較

- ・「災害が少ない」が15.6ポイント、「住まいの環境が良好である」が13.4ポイント、「医療サービスが充実している」が5.0ポイント増加している。
- ・「スポーツをする場が豊富である」が3.9ポイント、「近隣の人々との絆が強い」が2.4ポイント、「子育て環境が整っている」が1.9ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】
- ・男女とも上位4項目まで同じ項目となっている。
 - ・男性では「災害が少ない」(51.6%)が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(36.9%)、「公害が少ない」(28.0%)となっている。
 - ・女性では「災害が少ない」(52.6%)が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(38.1%)、「公害が少ない」(31.9%)となっている。
- 【年 代 別】
- ・30歳未満、30歳代では「住まいの環境が良好である」が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「災害が少ない」が最も多い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「災害が少ない」が最も多い。

■暮らしやすいところ



※1：今回調査のみの選択肢である。

<参考>

前回調査の選択肢「自然環境がよい」(40.9%)、「買い物など日常生活が便利である」(40.7%)、「道路事情がよい」(17.1%)は、今回調査にはない。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	上下水道が整備されている	働く場所が多い
	人数	330人	236人	179人	140人	130人
	割合	51.6%	36.9%	28.0%	21.9%	20.3%
女性	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	上下水道が整備されている	医療サービスが充実している
	人数	359人	260人	218人	160人	127人
	割合	52.6%	38.1%	31.9%	23.4%	18.6%

【年代別：上位5位のみ】

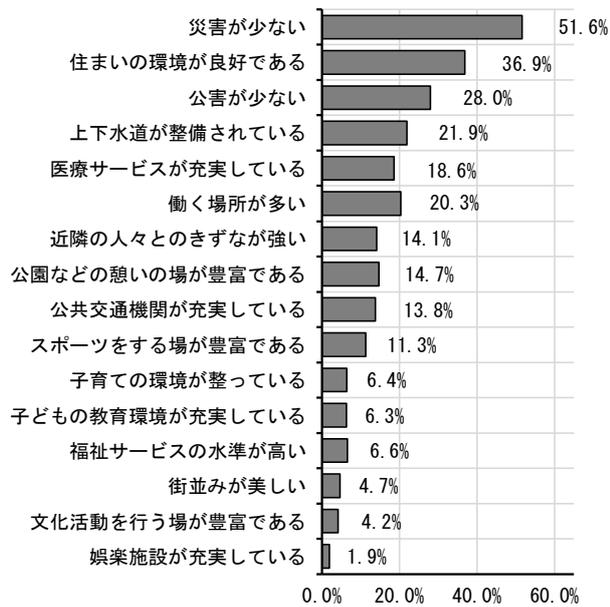
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	住まいの環境が良好である	公園などの憩いの場が豊富である	スポーツをする場が豊富である	災害が少ない	働く場所が多い
	人数	35人	23人	19人	18人	15人
	割合	45.5%	29.9%	24.7%	23.4%	19.5%
30歳代	理由	住まいの環境が良好である	災害が少ない	公園などの憩いの場が豊富である	・子育ての環境が整っている ・働く場所が多い	
	人数	51人	43人	28人	27人	
	割合	40.8%	34.4%	22.4%	21.6%	
40歳代	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	公園などの憩いの場が豊富である	スポーツをする場が豊富である
	人数	83人	81人	53人	30人	28人
	割合	46.9%	45.8%	29.9%	16.9%	15.8%
50歳代	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	働く場所が多い	上下水道が整備されている
	人数	141人	90人	70人	56人	40人
	割合	60.0%	38.3%	29.8%	23.8%	17.0%
60歳代	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	上下水道が整備されている	医療サービスが充実している
	人数	159人	110人	102人	69人	57人
	割合	55.8%	38.6%	35.8%	24.2%	20.0%
70歳以上	理由	災害が少ない	上下水道が整備されている	公害が少ない	住まいの環境が良好である	医療サービスが充実している
	人数	243人	147人	140人	129人	108人
	割合	57.6%	34.8%	33.2%	30.6%	25.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

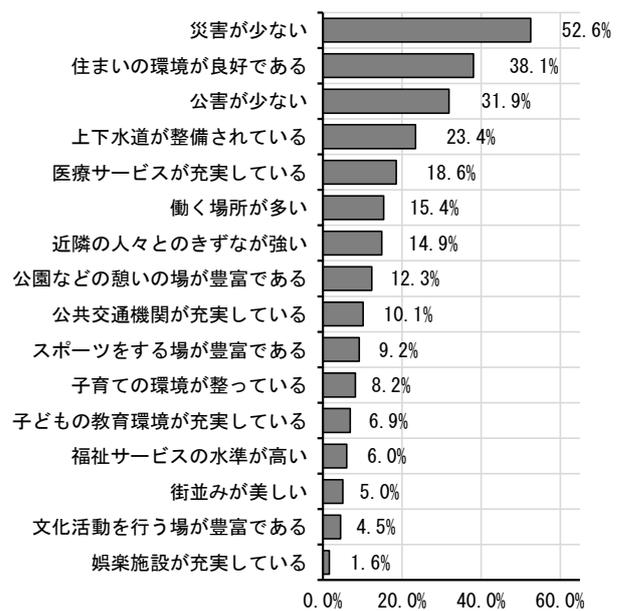
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	医療サービスが充実している	上下水道が整備されている
	人数	106人	87人	57人	40人	34人
	割合	54.9%	45.1%	29.5%	20.7%	17.6%
中泉・今之浦地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	上下水道が整備されている	公害が少ない	医療サービスが充実している
	人数	110人	89人	61人	60人	40人
	割合	48.7%	39.4%	27.0%	26.5%	17.7%
岩田・大藤・向笠地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	近隣の人々とのきずなが強い	医療サービスが充実している
	人数	44人	28人	27人	20人	18人
	割合	56.4%	35.9%	34.6%	25.6%	23.1%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	上下水道が整備されている	公害が少ない	公園などの憩いの場が豊富である
	人数	69人	66人	38人	34人	27人
	割合	48.9%	46.8%	27.0%	24.1%	19.1%
天竜・長野・於保地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	働く場所が多い	医療サービスが充実している
	人数	63人	44人	33人	30人	21人
	割合	54.8%	38.3%	28.7%	26.1%	18.3%
福田地区	理由	災害が少ない	公害が少ない	住まいの環境が良好である	上下水道が整備されている	医療サービスが充実している
	人数	64人	39人	33人	30人	28人
	割合	51.6%	31.5%	26.6%	24.2%	22.6%
竜洋地区	理由	災害が少ない	公害が少ない	上下水道が整備されている	住まいの環境が良好である	・公園などの憩いの場が豊富である ・近隣の人々とのきずなが強い
	人数	65人	44人	41人	39人	23人
	割合	48.5%	32.8%	30.6%	29.1%	17.2%
富岡・豊田東・池田地区	理由	災害が少ない	公害が少ない	住まいの環境が良好である	上下水道が整備されている	医療サービスが充実している
	人数	60人	40人	38人	30人	16人
	割合	59.4%	39.6%	37.6%	29.7%	15.8%
井通地区・青城地区	理由	災害が少ない	住まいの環境が良好である	公害が少ない	働く場所が多い	・医療サービスが充実している ・公園などの憩いの場が豊富である
	人数	66人	42人	29人	26人	23人
	割合	55.9%	35.6%	24.6%	22.0%	19.5%
豊岡地区	理由	災害が少ない	公害が少ない	住まいの環境が良好である	働く場所が多い	・近隣の人々とのきずなが強い ・上下水道が整備されている
	人数	37人	29人	28人	20人	19人
	割合	46.3%	36.3%	35.0%	25.0%	23.8%

【属性別（性別）】

<男性>

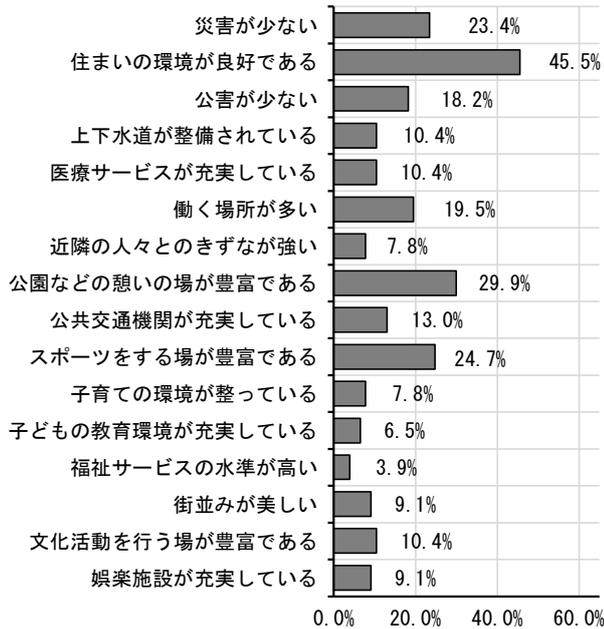


<女性>



【属性別（年代別）】

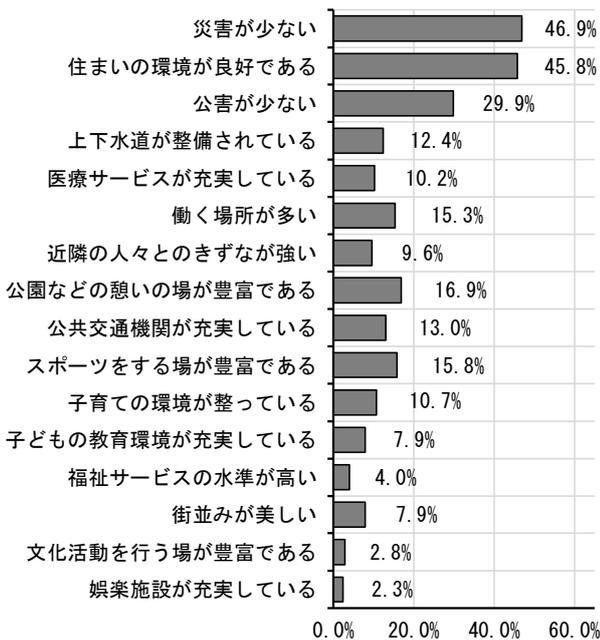
<30 歳未満>



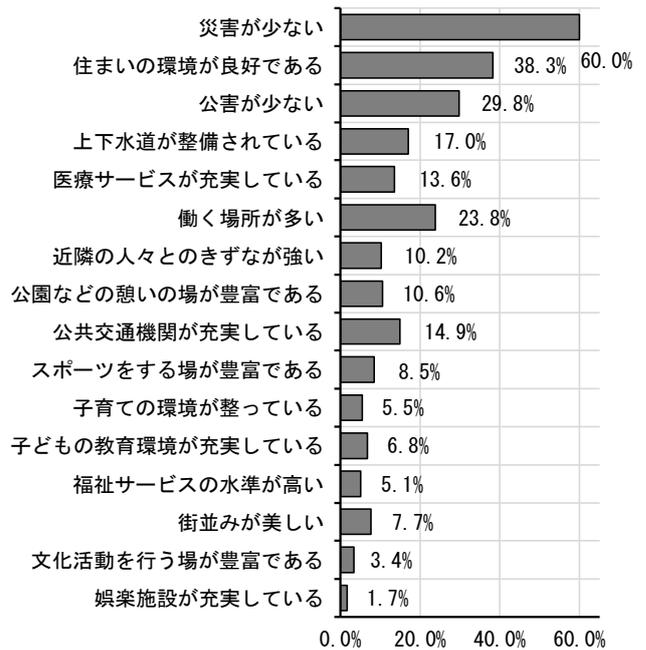
<30 歳代>



<40 歳代>



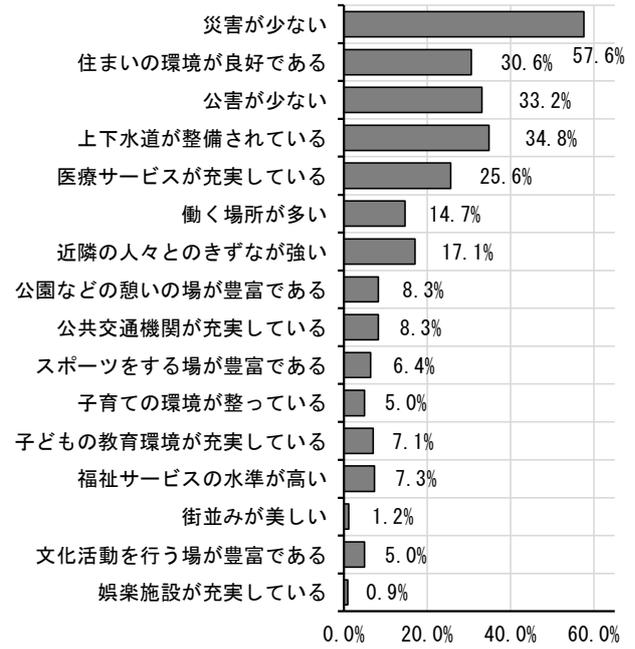
<50 歳代>



<60 歳代>

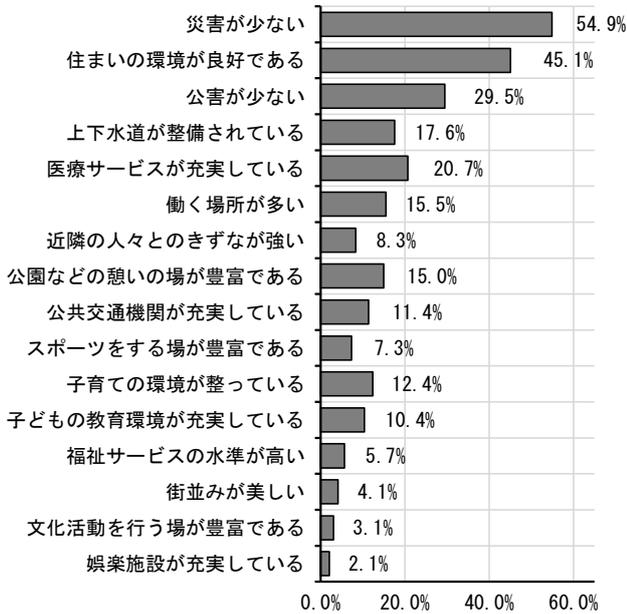


<70 歳以上>

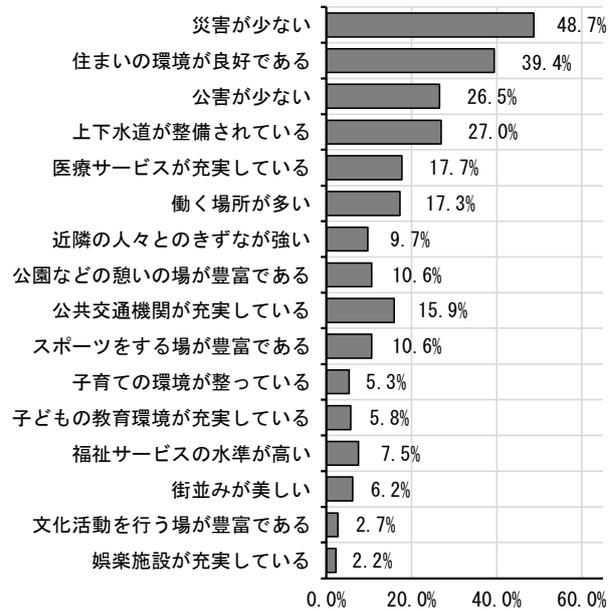


【属性別（居住地区別）】

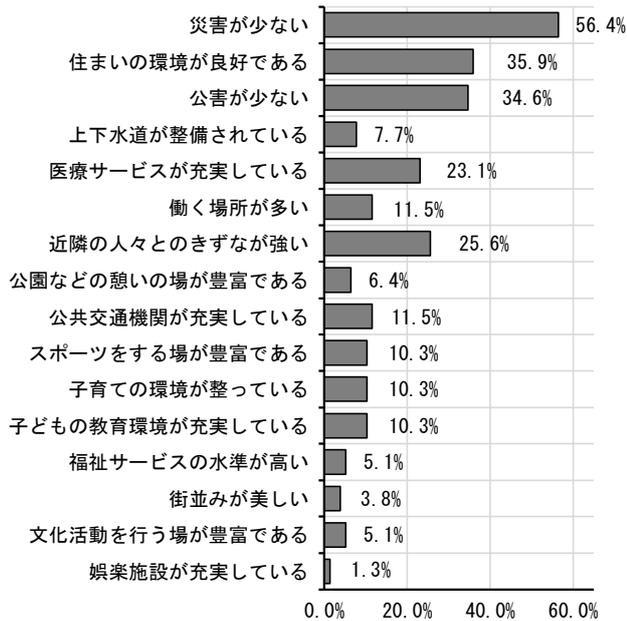
<見付地区>



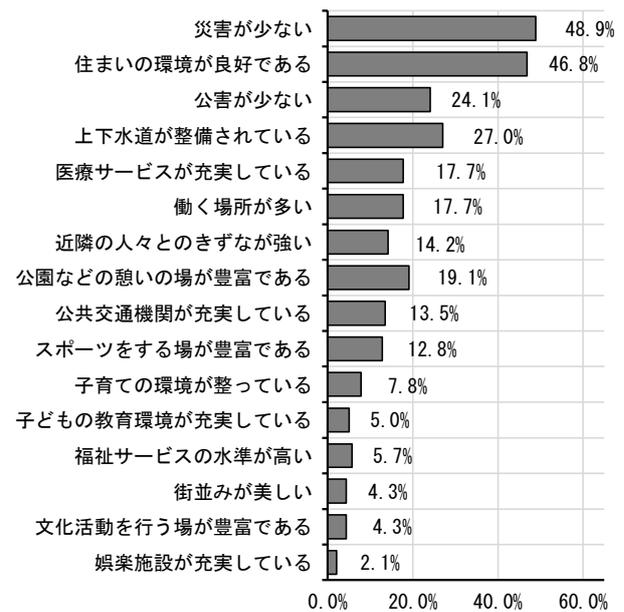
<中泉・今之浦地区>



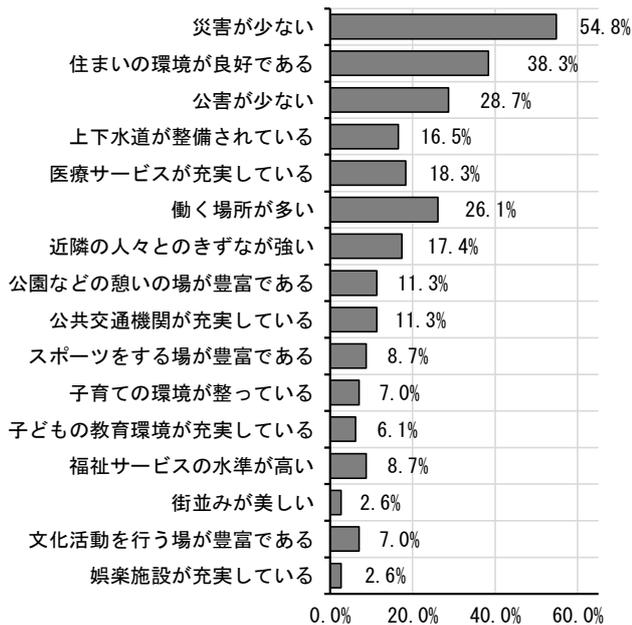
<岩田・大藤・向笠地区>



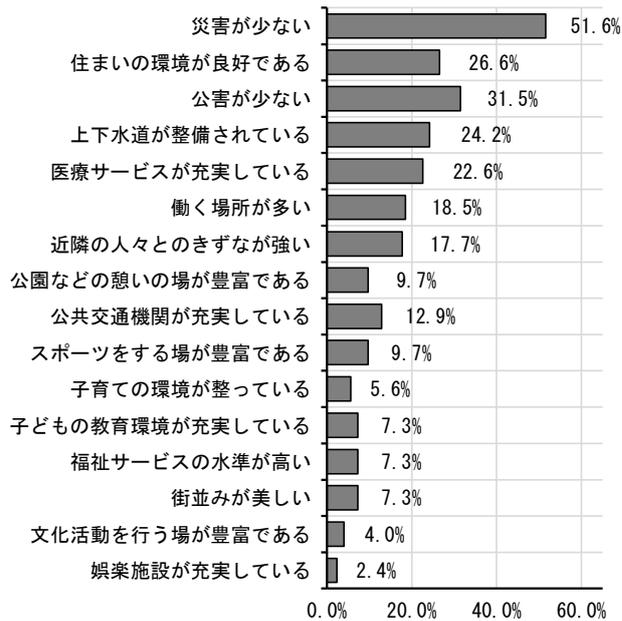
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



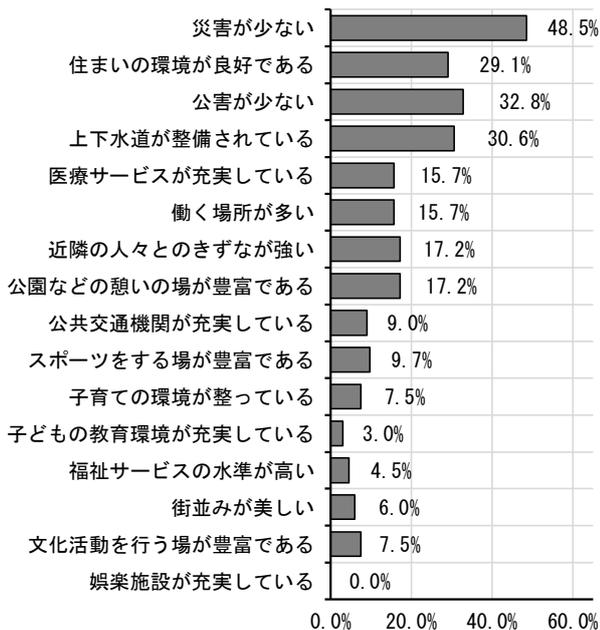
<天竜・長野・於保地区>



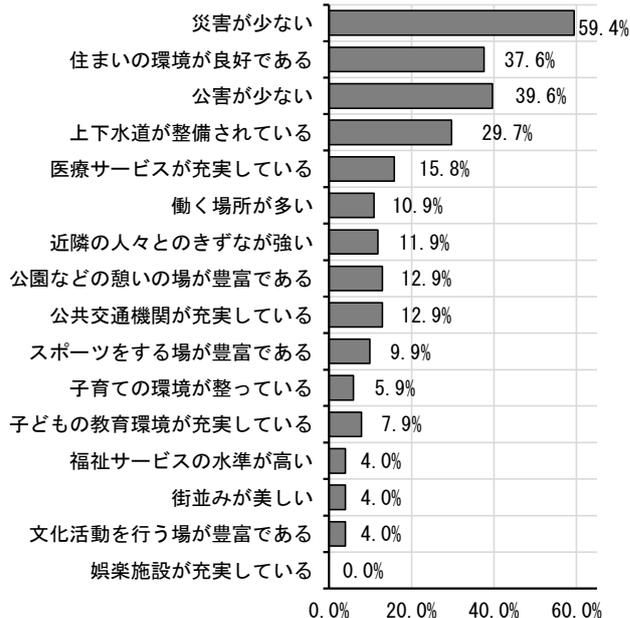
<福田地区>



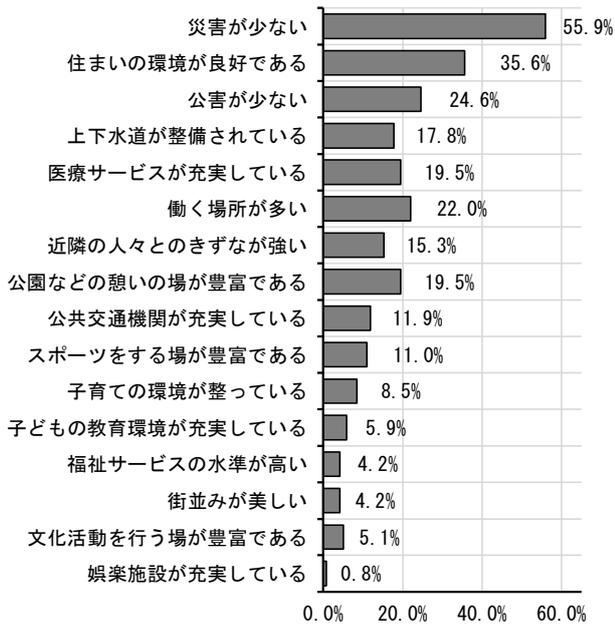
<竜洋地区>



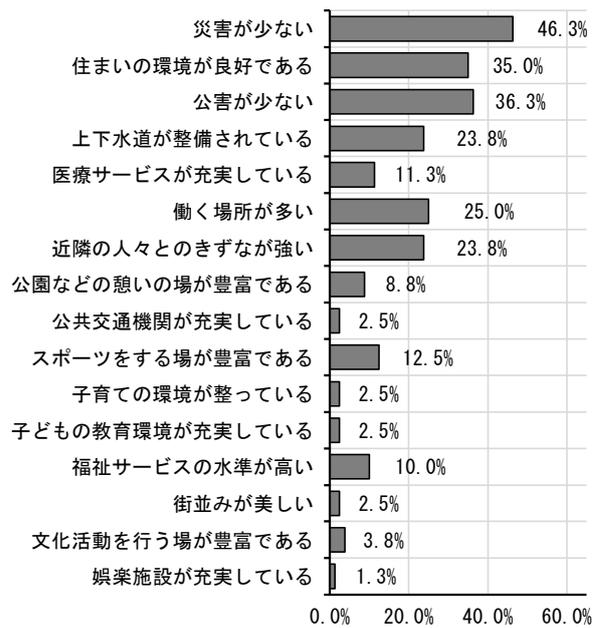
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



(6) 磐田市の暮らしにくいところ

問11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？
＜「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで＞

磐田市の暮らしにくいところは、

- ・「公共交通機関が不十分である」
- ・「娯楽施設が不十分である」
- ・「公園などの憩いの場が乏しい」

■前回調査との比較

- ・「公共交通機関が不十分である」「娯楽施設が不十分である」が増加している
- ・「医療サービスが不十分である」「スポーツをする場が乏しい」が減少している

■傾 向

【性 別】男女とも最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

【年 代 別】すべての年代で最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

■今回調査の結果

- ・「公共交通機関が不十分である」(52.2%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(28.7%)、「公園などの憩いの場が乏しい」(20.6%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「公共交通機関が不十分である」が8.6ポイント、「娯楽施設が不十分である」が3.8ポイント、「文化活動を行う場が乏しい」が3.5ポイント増加している。
- ・「医療サービスが十分である」が6.2ポイント、「スポーツをする場が乏しい」が3.4ポイント、「公園などの憩いの場が乏しい」が3.2ポイント減少している。

■傾 向

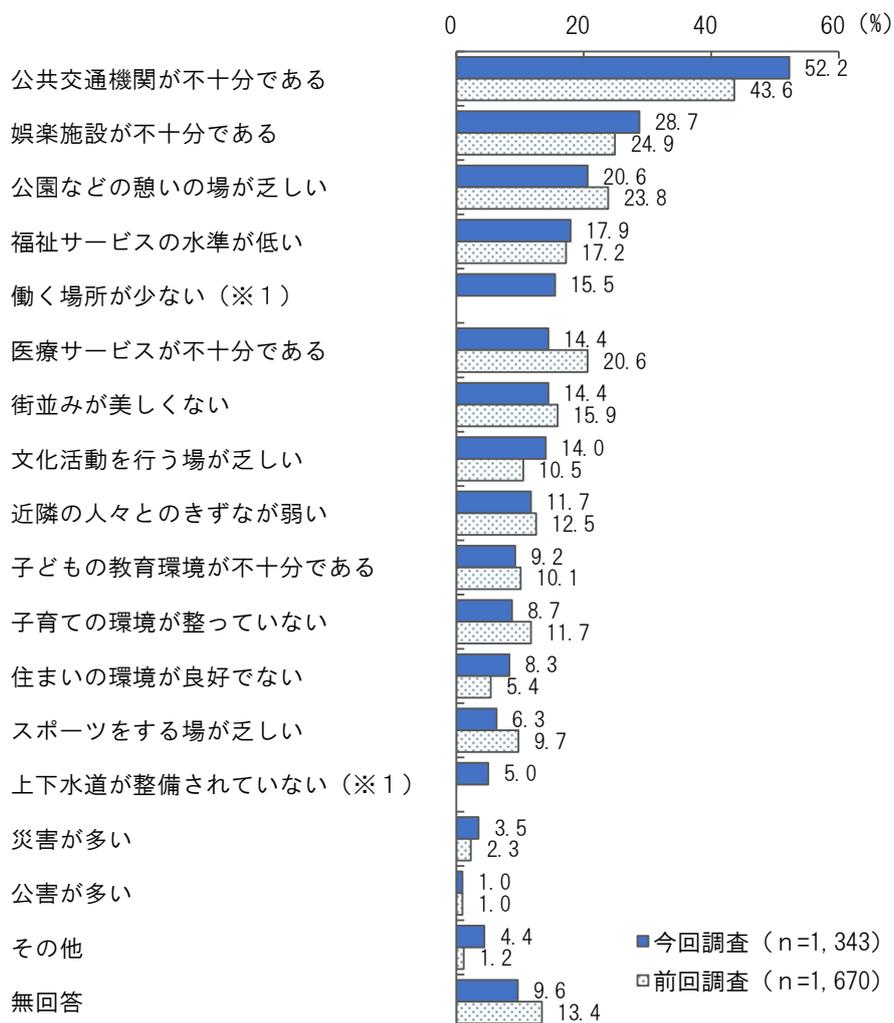
【性 別】・男性では「公共交通機関が不十分である」(49.3%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(31.8%)、「福祉サービスの水準が低い」(18.5%)となっている。

・女性では「公共交通機関が不十分である」(54.6%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(26.5%)、「公園などの憩いの場が乏しい」(24.3%)となっている。

【年 代 別】・すべての年代で「公共交通機関が不十分である」が最も多い。

【居住地区別】・すべての居住地区で「公共交通機関が不十分である」が最も多い。

■暮らしにくいところ



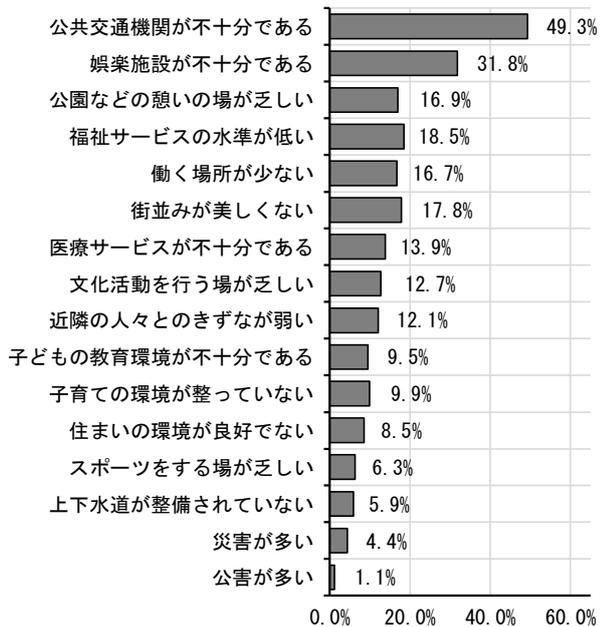
※1：今回調査のみの選択肢である。

<参考>

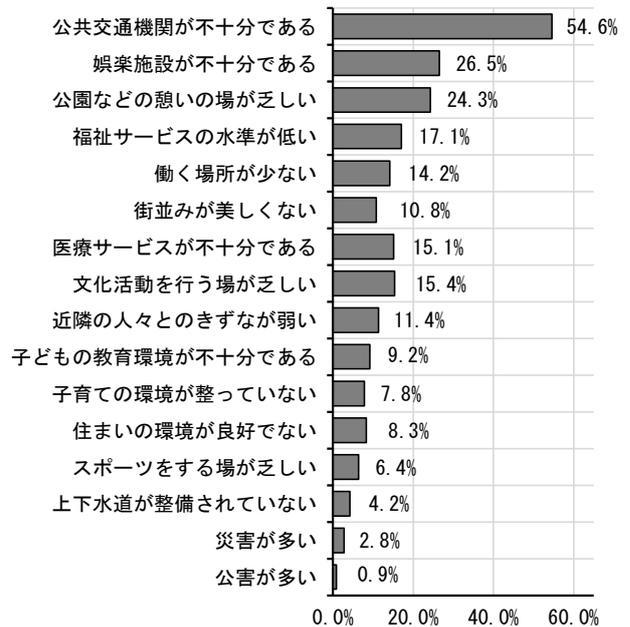
前回調査の選択肢「買い物など日常生活が不便である」(17.8%)、「道路事情が悪い」(16.5%)、「自然環境が悪い」(2.4%)は、今回調査にはない。

【属性別（性別）】

<男性>

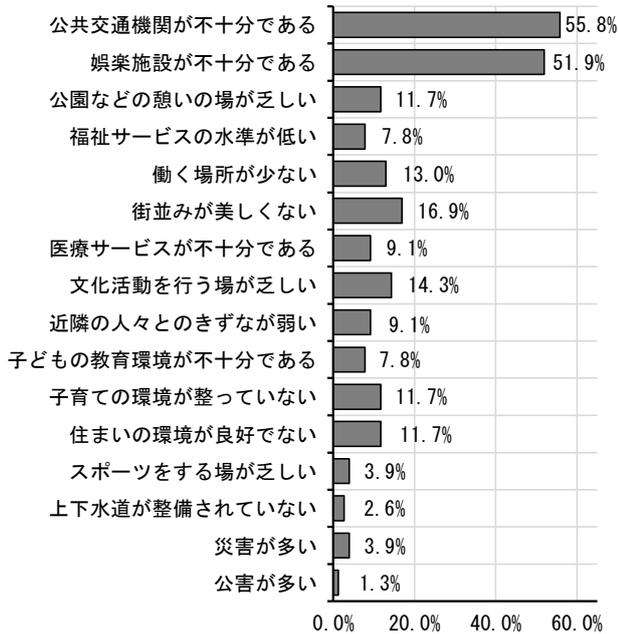


<女性>

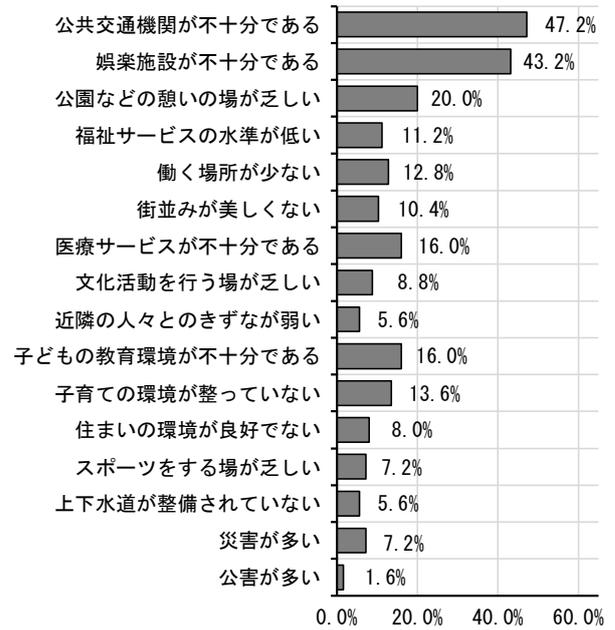


【属性別（年代別）】

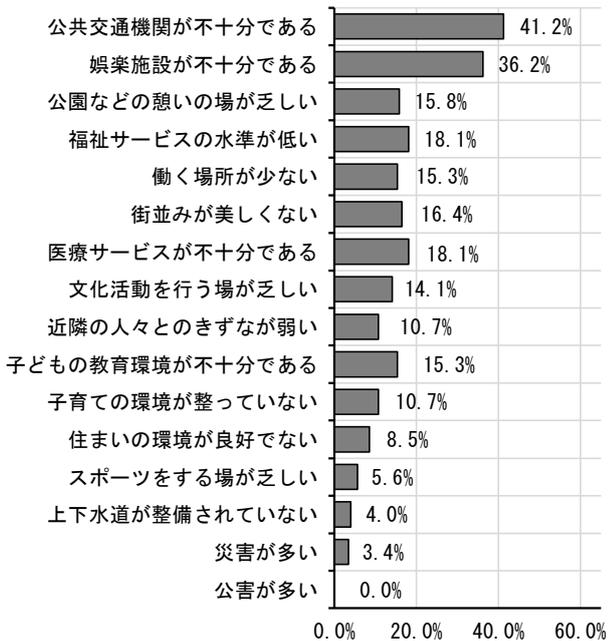
<30 歳未満>



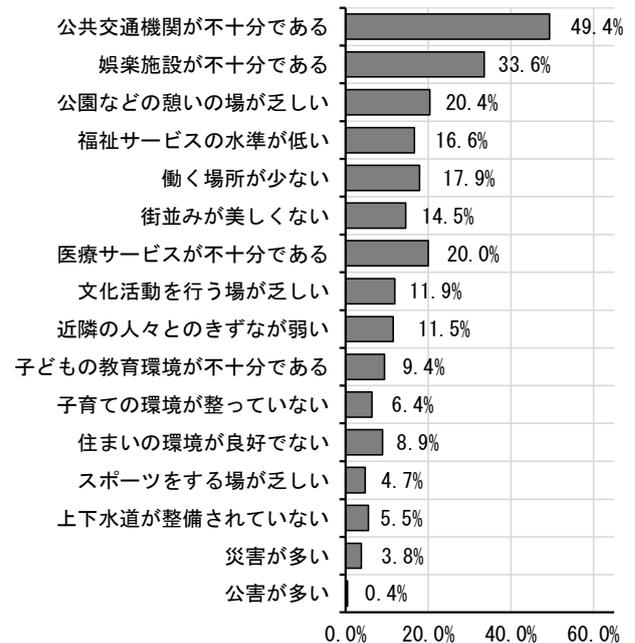
<30 歳代>



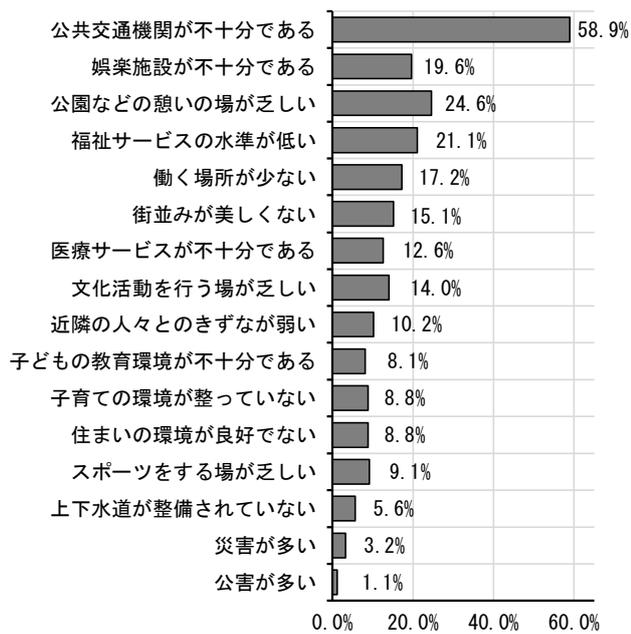
<40 歳代>



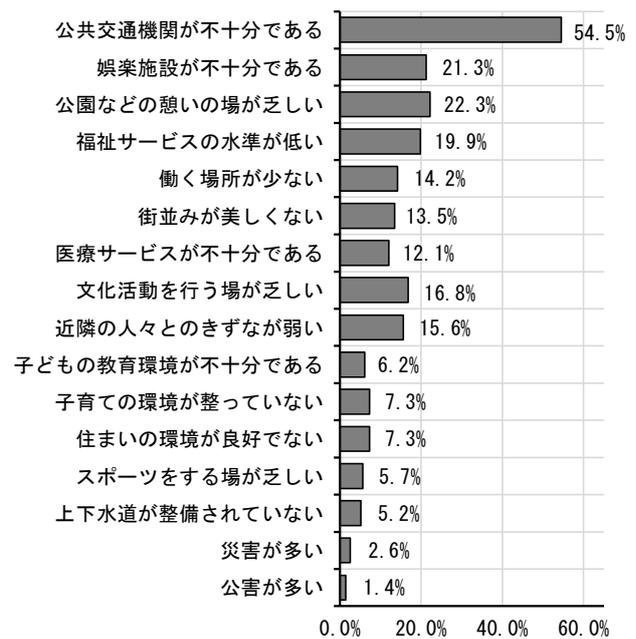
<50 歳代>



<60 歳代>

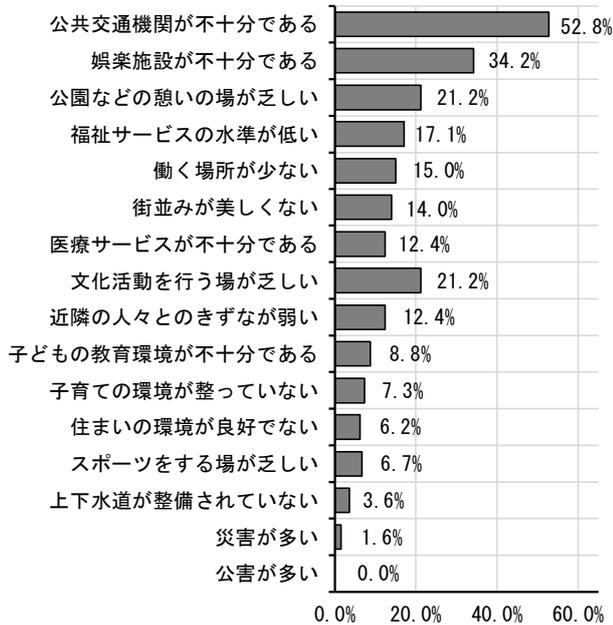


<70 歳以上>

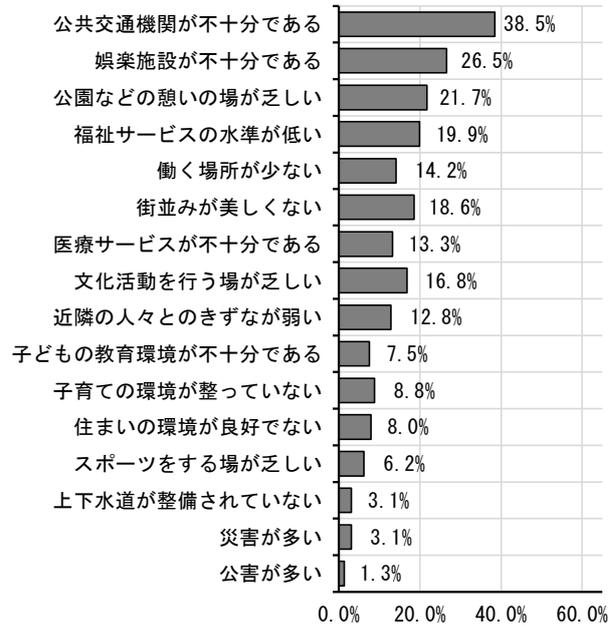


【属性別（居住地区別）】

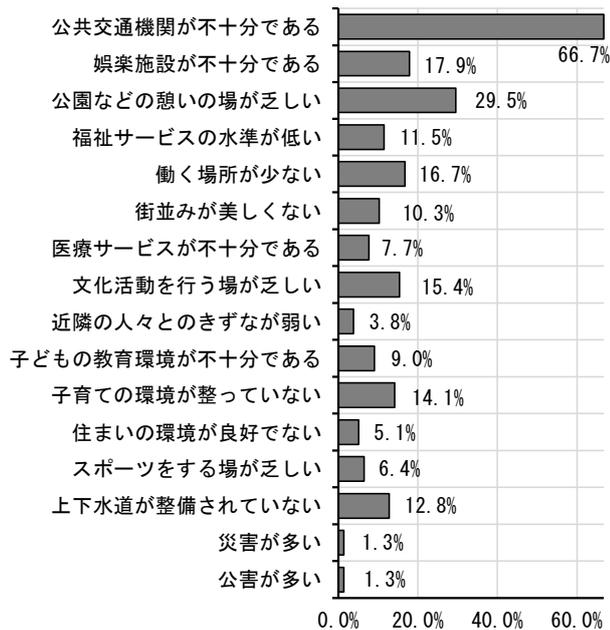
<見付地区>



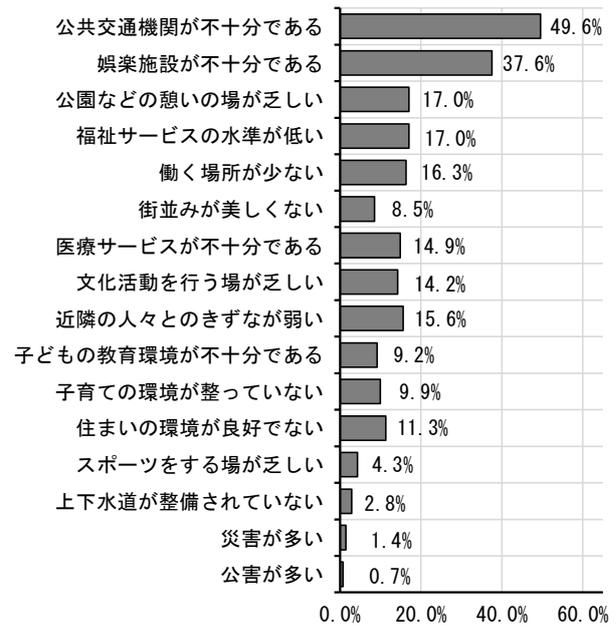
<中泉・今之浦地区>



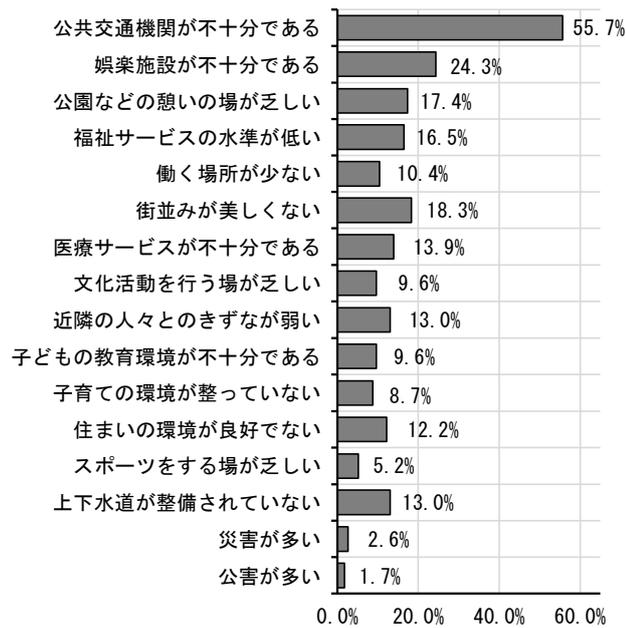
<岩田・大藤・向笠地区>



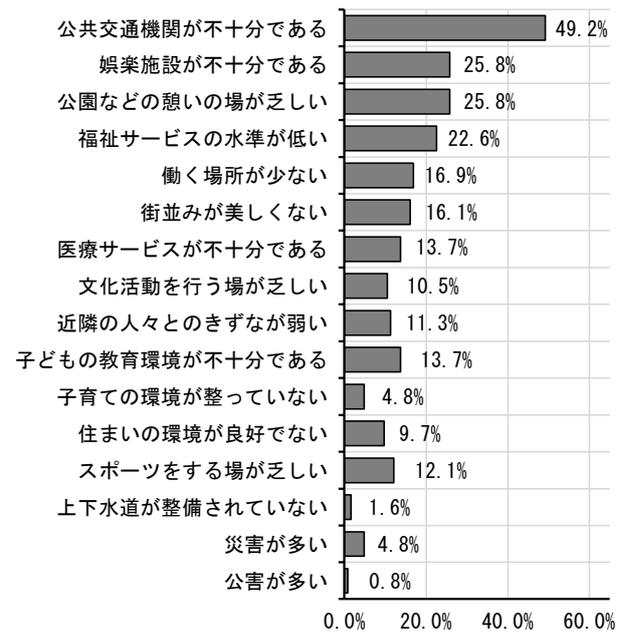
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



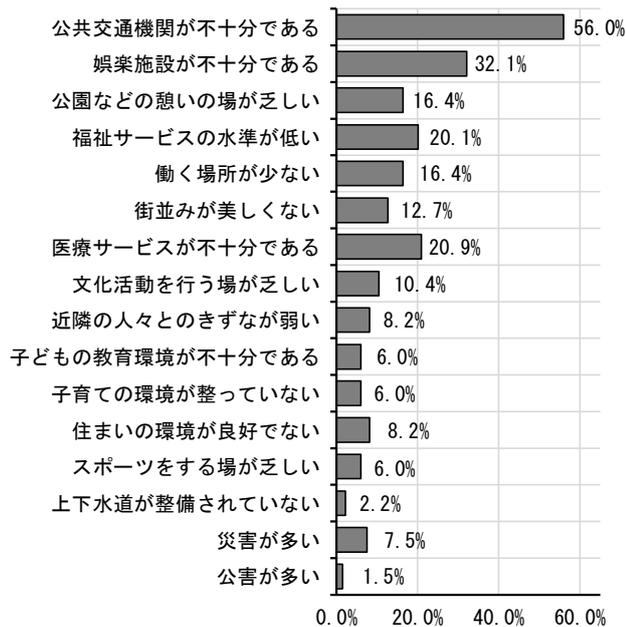
<天竜・長野・於保地区>



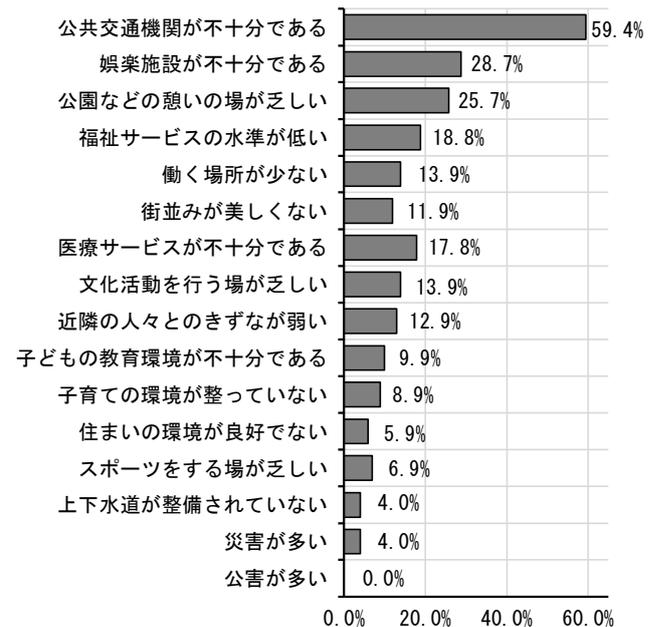
<福田地区>



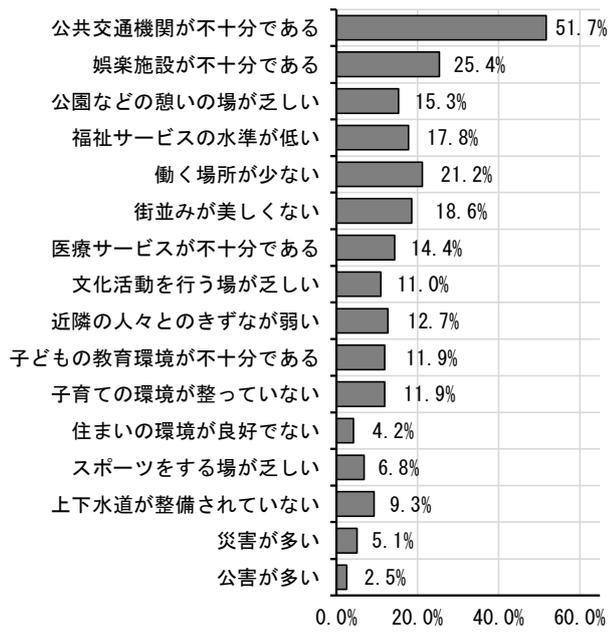
<竜洋地区>



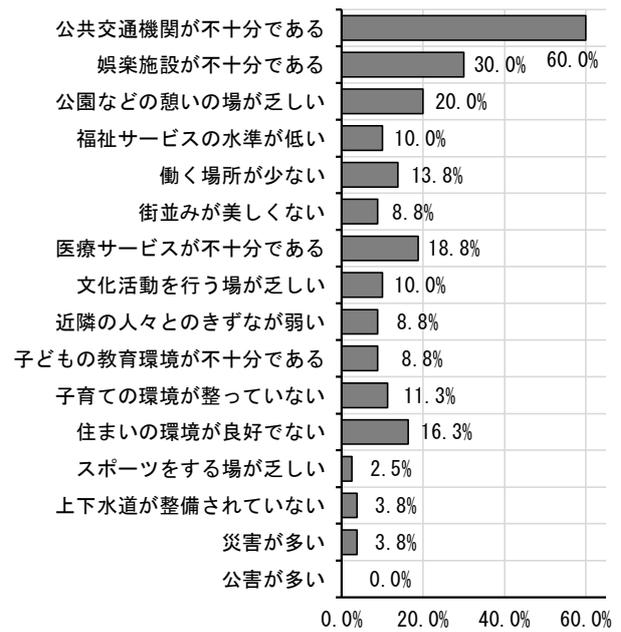
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



3. 産業（商業・工業・農林水産業）について

（1）今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきもの

問12 今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきものは何だと思いますか？
 <○印を2つまで>

市内の産業をさらに活性化するために優先すべきものは、

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」
- ・「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」

■前回調査との比較

- ・「新規創業を目指す意欲ある人への支援」が5.4ポイント増加している
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が3.7ポイント減少している

■傾向

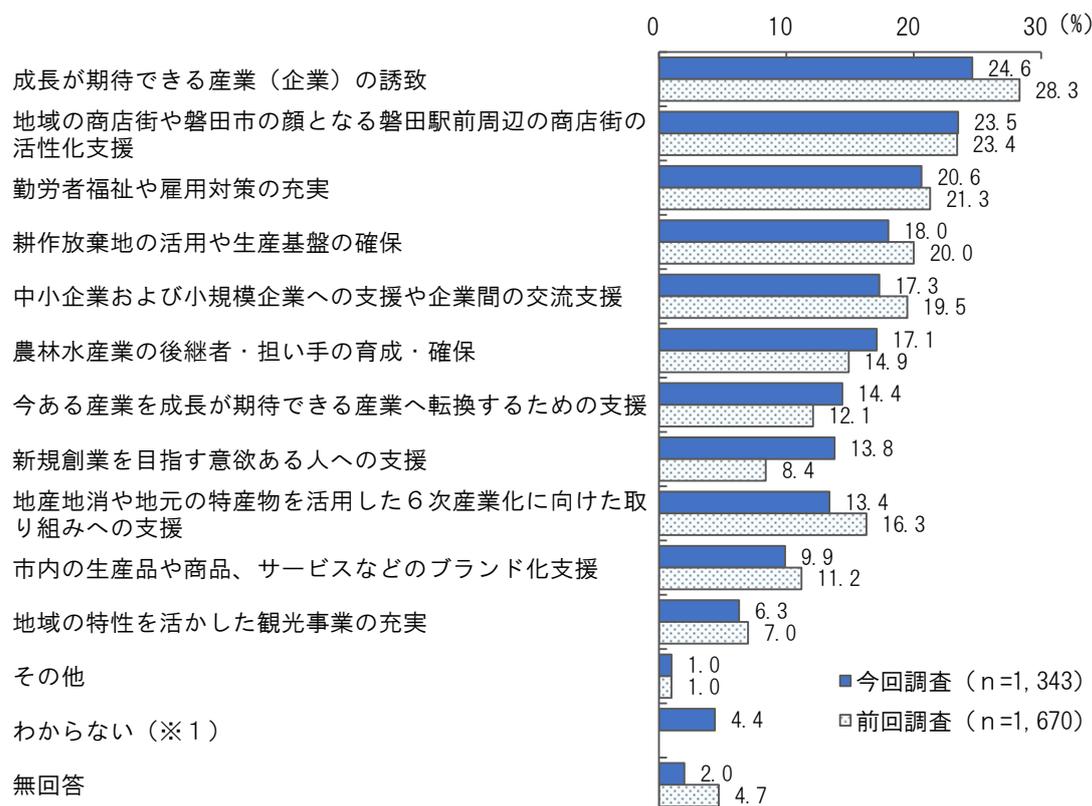
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も優先すべきものは、

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」

【居住地区別】複数の居住地区で最も優先すべきものは、

- ・「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」
- ・「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（24.6%）が最も多く、次いで「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（23.5%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（20.6%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「新規創業を目指す意欲ある人への支援」が5.4ポイント、「今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援」が2.3ポイント、「農林水産業の後継者・担い手の育成・確保」が2.2ポイント増加している。
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が3.7ポイント、「地産地消や地元の特産物を活用した6次産業化に向けた取り組みへの支援」が2.9ポイント、「中小企業及び小規模企業への支援や企業間の交流支援」が2.2ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
- ・順位の違いはあるが、上位3項目は男女とも同じ項目となっている。
 - ・男性では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（29.3%）が最も多く、次いで「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（22.4%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（21.1%）となっている。
 - ・女性では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（24.9%）が最も多く、次いで「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（20.9%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（20.6%）となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、60歳代、70歳以上では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最も多い。
 - ・30歳代では「勤労者福祉や雇用対策の充実」が最も多い。
 - ・40歳代では「中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援」が最も多い。
 - ・50歳代では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、中泉・今之浦地区、天竜・長野・於保地区では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」が最も多い。
 - ・西貝・御厨・南御厨・田原地区、福田地区、竜洋地区、井通地区・青城地区では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最も多い。
 - ・富岡・豊田東・池田地区では「農林水産業の後継者・担い手の育成・確保」が最も多い。
- ※井通地区・青城地区は、「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が同率で最も多くなっている。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
	人数 割合	187人 29.3%	143人 22.4%	135人 21.1%	116人 18.2%	112人 17.5%
女性	理由	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
	人数 割合	170人 24.9%	143人 20.9%	141人 20.6%	132人 19.3%	126人 18.4%

【年代別：上位5位のみ】

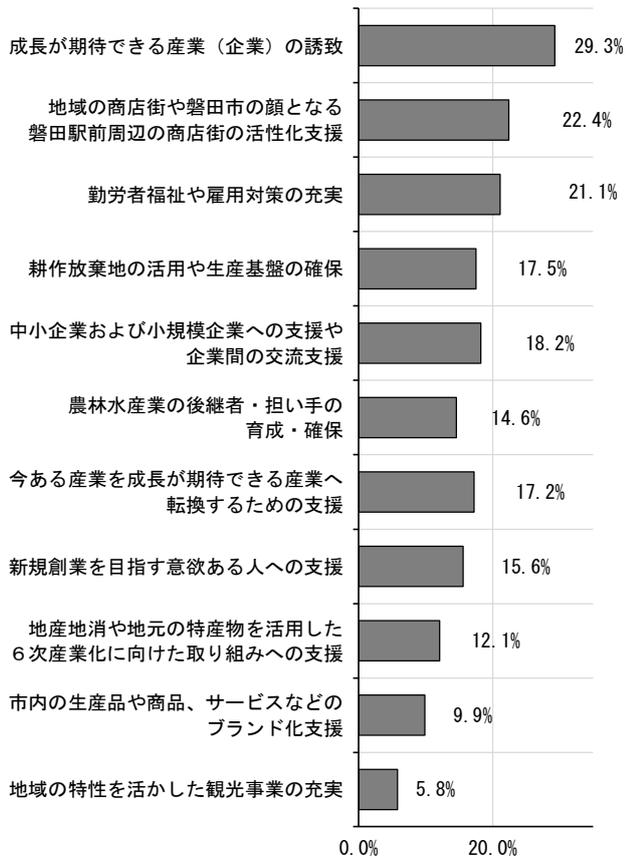
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	新規創業を目指す意欲ある人への支援	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援
	人数 割合	25人 32.5%	23人 29.9%	19人 24.7%	17人 22.1%	13人 16.9%
30歳代	理由	勤労者福祉や雇用対策の充実	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	・成長が期待できる産業（企業）の誘致 ・新規創業を目指す意欲ある人への支援
	人数 割合	37人 29.6%	29人 23.2%	26人 20.8%	24人 19.2%	22人 17.6%
40歳代	理由	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
	人数 割合	48人 27.1%	40人 22.6%	39人 22.0%	34人 19.2%	31人 17.5%
50歳代	理由	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
	人数 割合	68人 28.9%	60人 25.5%	53人 22.6%	49人 20.9%	42人 17.9%
60歳代	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	地産地消や地元の特産物を活用した6次産業化に向けた取り組みへの支援
	人数 割合	71人 24.9%	65人 22.8%	64人 22.5%	55人 19.3%	52人 18.2%
70歳以上	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	勤労者福祉や雇用対策の充実
	人数 割合	112人 26.5%	100人 23.7%	88人 20.9%	78人 18.5%	59人 14.0%

【居住地区別：上位5位のみ】

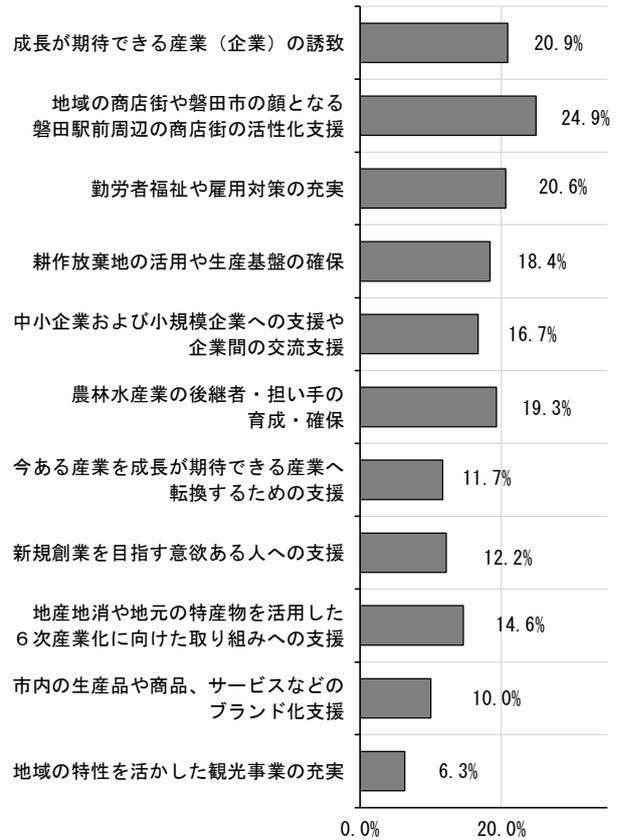
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	成長が期待できる産業（企業）の誘致	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保
	人数 割合	50人 25.9%	47人 24.4%	43人 22.3%	41人 21.2%	34人 17.6%
中泉・今之浦地区	理由	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保
	人数 割合	79人 35.0%	52人 23.0%	46人 20.4%	39人 17.3%	37人 16.4%
岩田・大藤・向笠地区	理由	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	成長が期待できる産業（企業）の誘致	・中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援 ・地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援	
	人数 割合	27人 34.6%	18人 23.1%	15人 19.2%	13人 16.7%	
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
	人数 割合	33人 23.4%	32人 22.7%	30人 21.3%	26人 18.4%	25人 17.7%
天竜・長野・於保地区	理由	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	・今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 ・勤労者福祉や雇用対策の充実	成長が期待できる産業（企業）の誘致	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	
	人数 割合	27人 23.5%	24人 20.9%	22人 19.1%	20人 17.4%	
福田地区	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	地産地消や地元の特産物を活用した6次産業化に向けた取り組みへの支援	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保
	人数 割合	36人 29.0%	34人 27.4%	30人 24.2%	22人 17.7%	20人 16.1%
竜洋地区	理由	成長が期待できる産業（企業）の誘致	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	・農林水産業の後継者・担い手の育成・確保 ・地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援
	人数 割合	41人 30.6%	33人 24.6%	30人 22.4%	28人 20.9%	25人 18.7%
富岡・豊田東・池田地区	理由	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	成長が期待できる産業（企業）の誘致	勤労者福祉や雇用対策の充実	・中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援 ・新規創業を目指す意欲ある人への支援	
	人数 割合	26人 25.7%	25人 24.8%	20人 19.8%	18人 17.8%	
井通地区・青城地区	理由	・成長が期待できる産業（企業）の誘致 ・耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	・今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 ・新規創業を目指す意欲ある人への支援	
	人数 割合	33人 28.0%	27人 22.9%	23人 19.5%	19人 16.1%	
豊岡地区	理由	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	成長が期待できる産業（企業）の誘致	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	勤労者福祉や雇用対策の充実	今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援
	人数 割合	24人 30.0%	20人 25.0%	19人 23.8%	17人 21.3%	14人 17.5%

【属性別（性別）】

<男性>

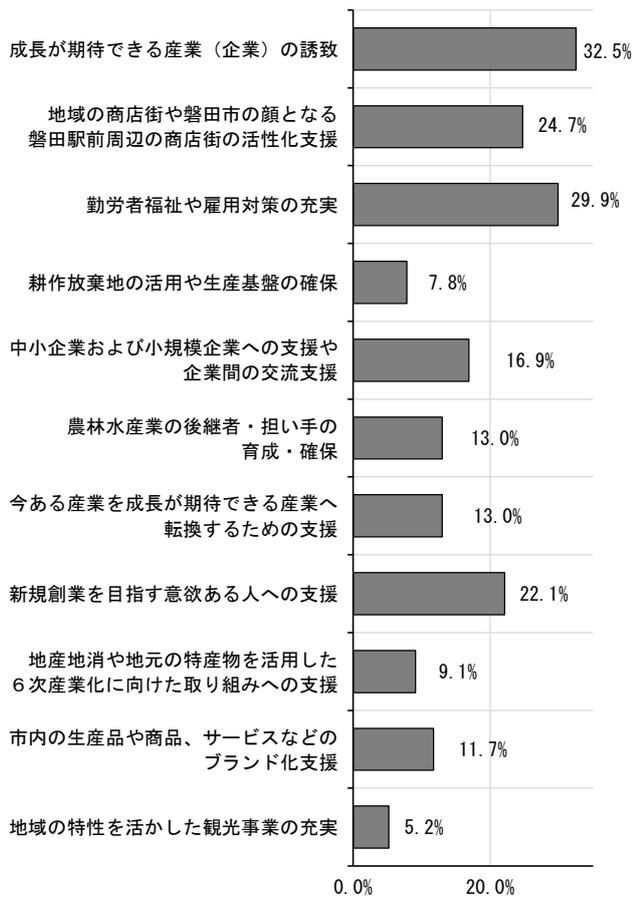


<女性>

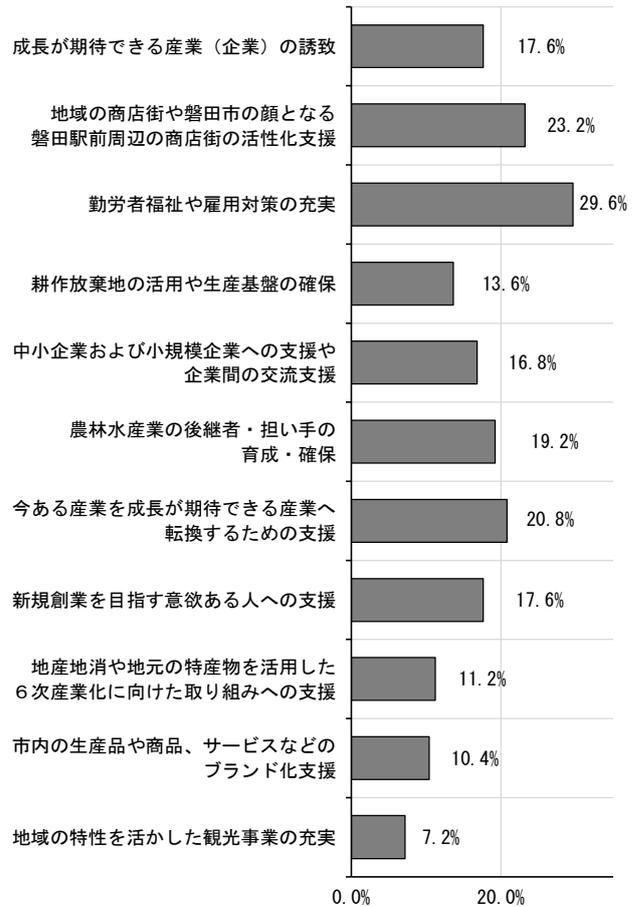


【属性別（年代別）】

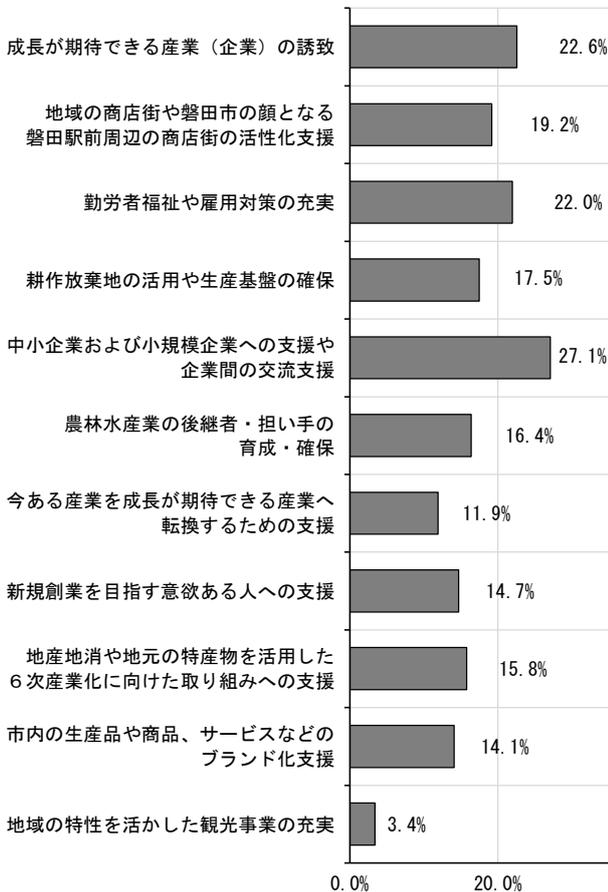
<30 歳未満>



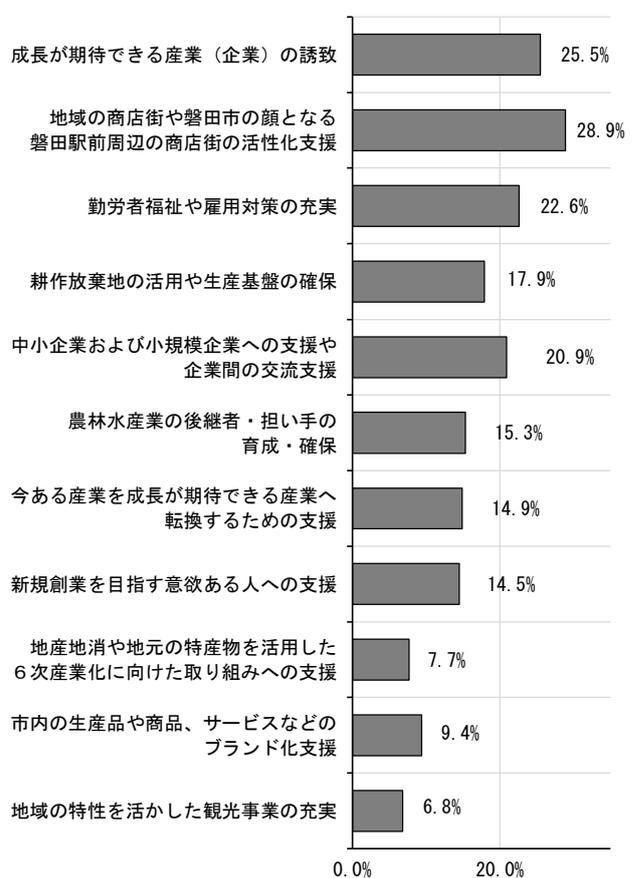
<30 歳代>



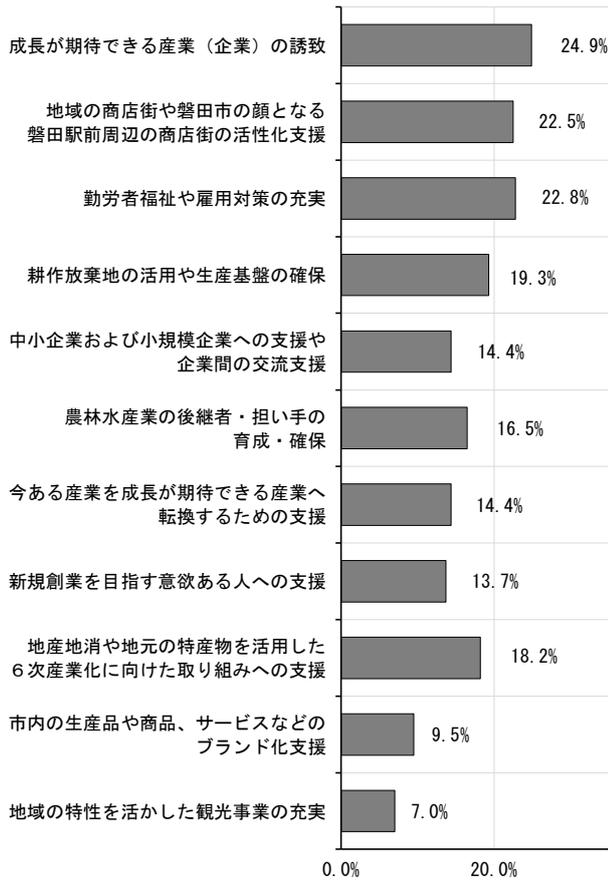
<40 歳代>



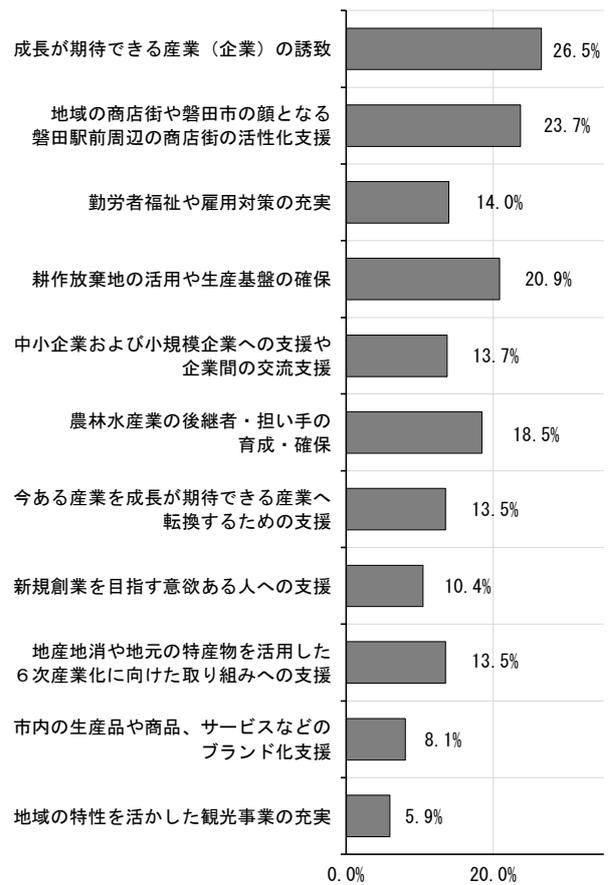
<50 歳代>



<60 歳代>

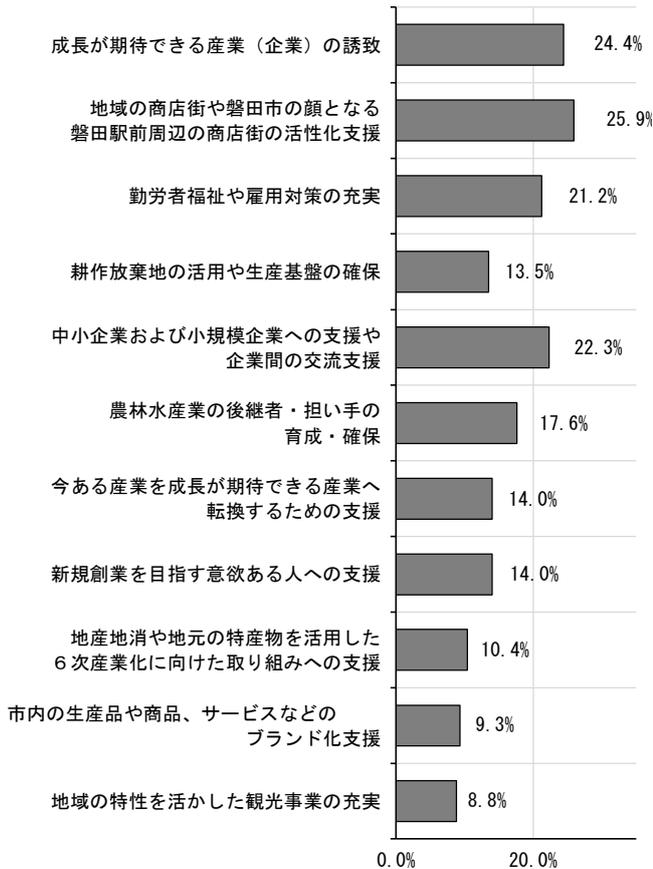


<70 歳以上>

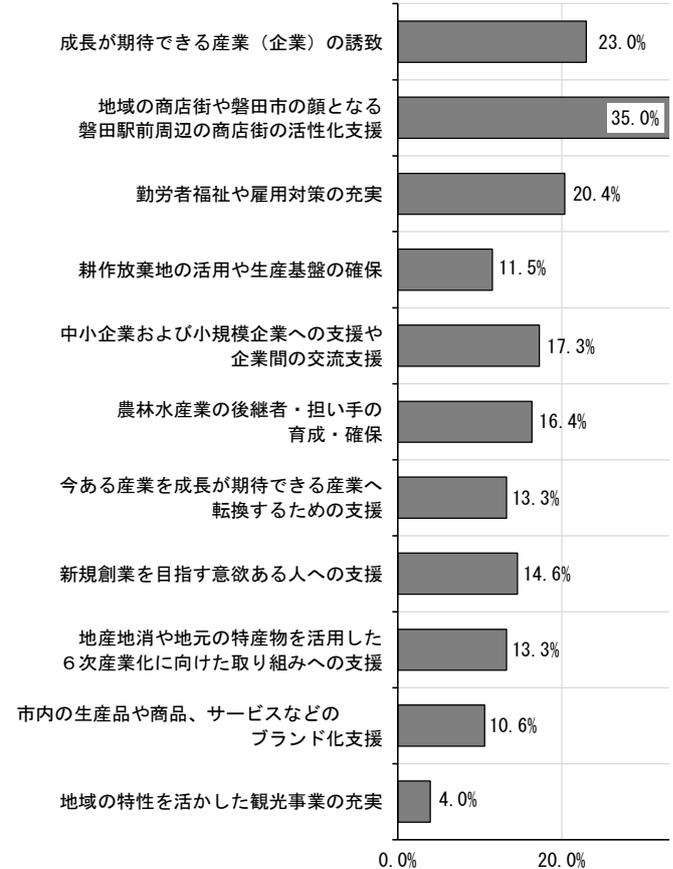


【属性別（居住地区別）】

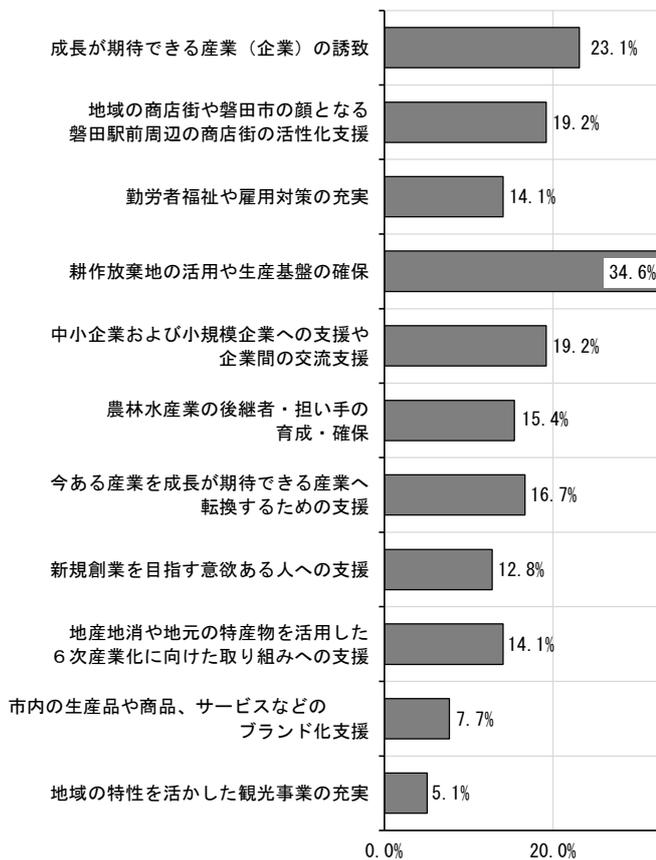
<見付地区>



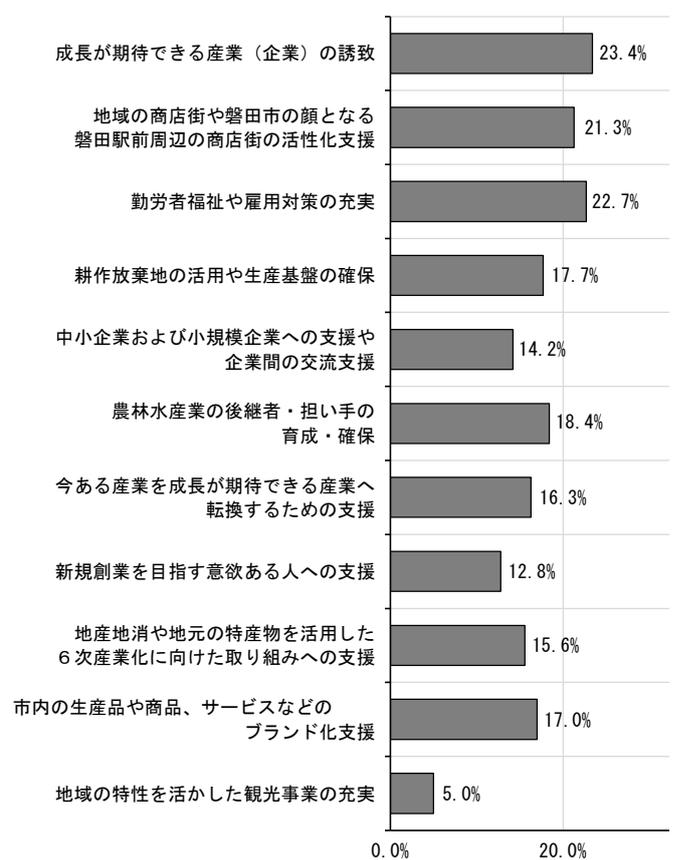
<中泉・今之浦地区>



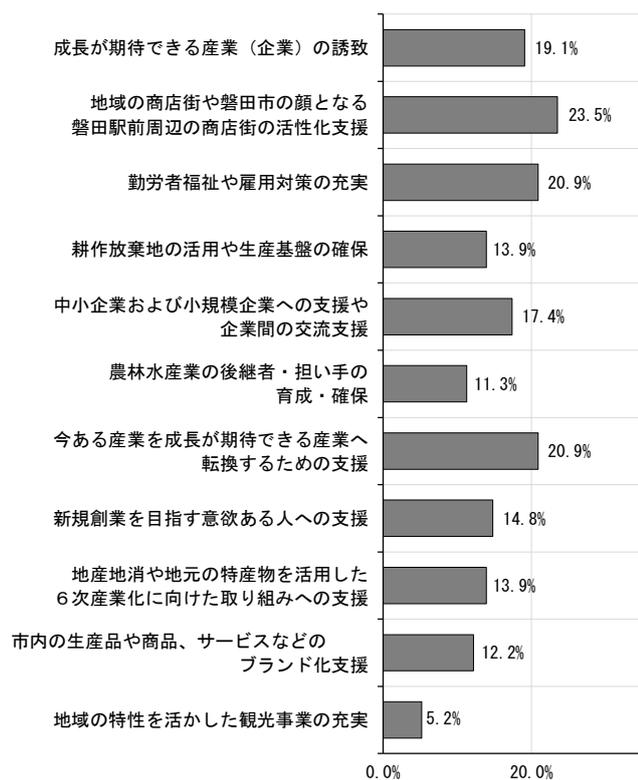
<岩田・大藤・向笠地区>



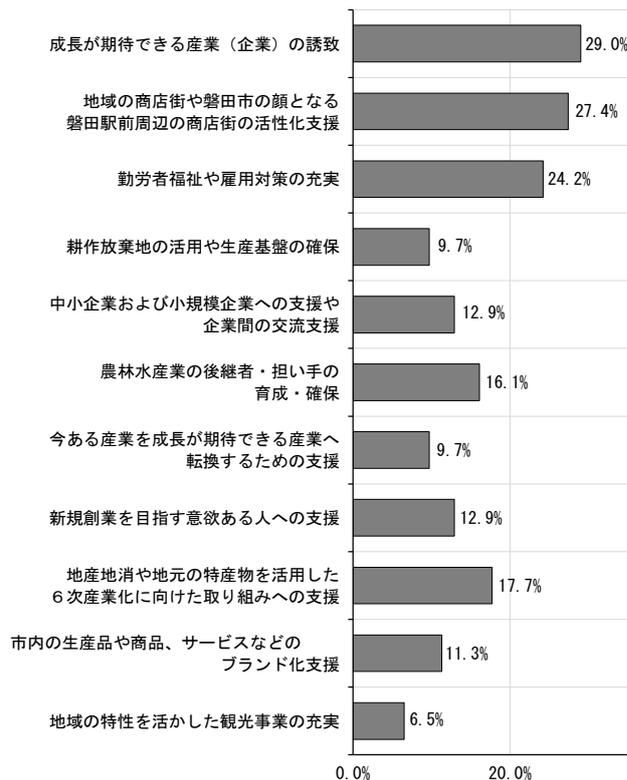
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



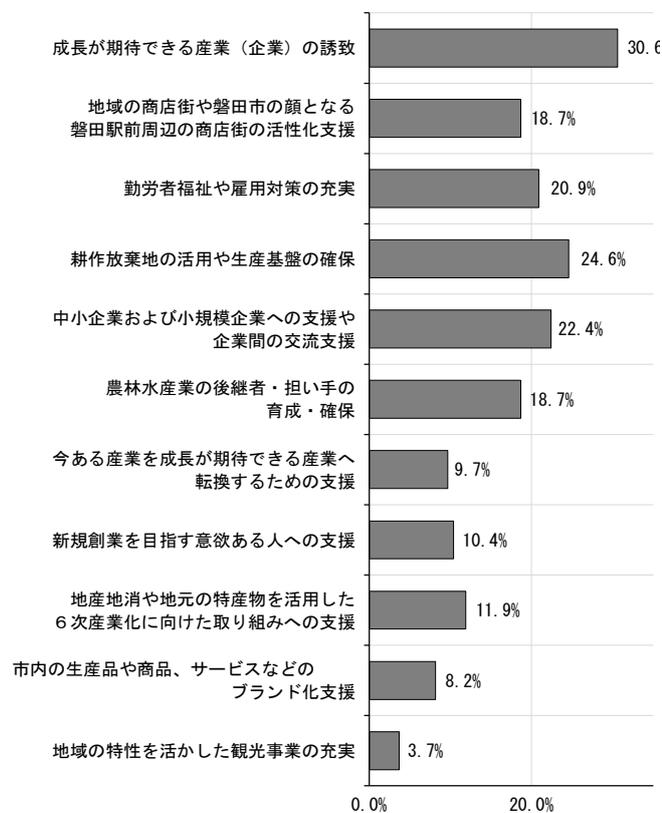
<天竜・長野・於保地区>



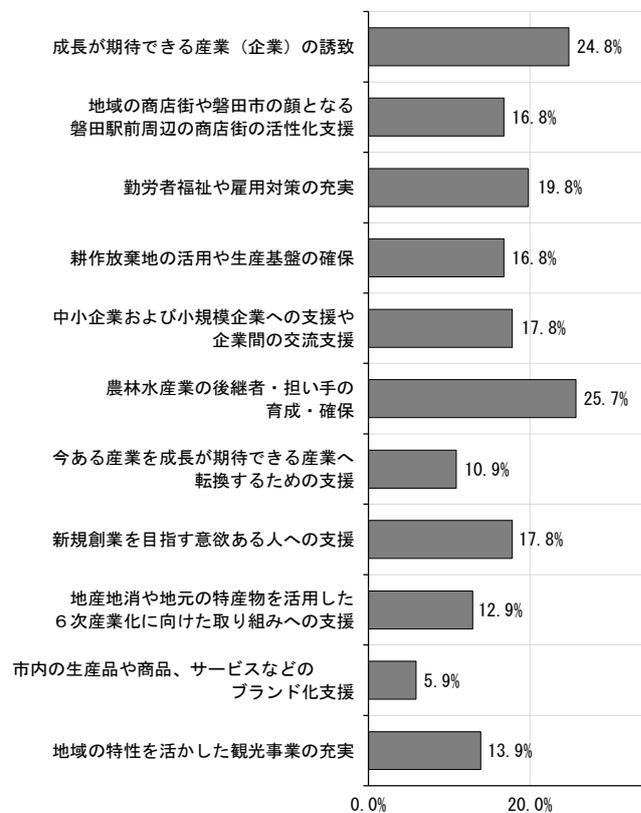
<福田地区>



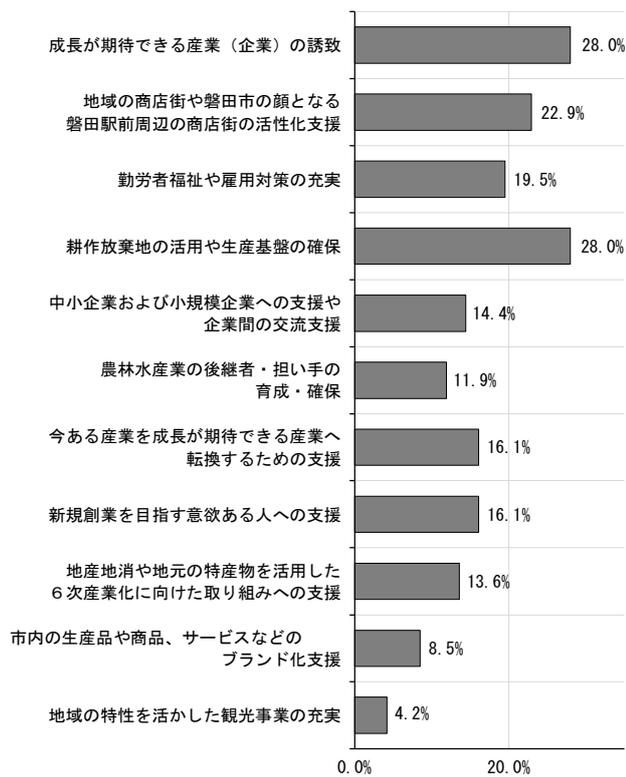
<竜洋地区>



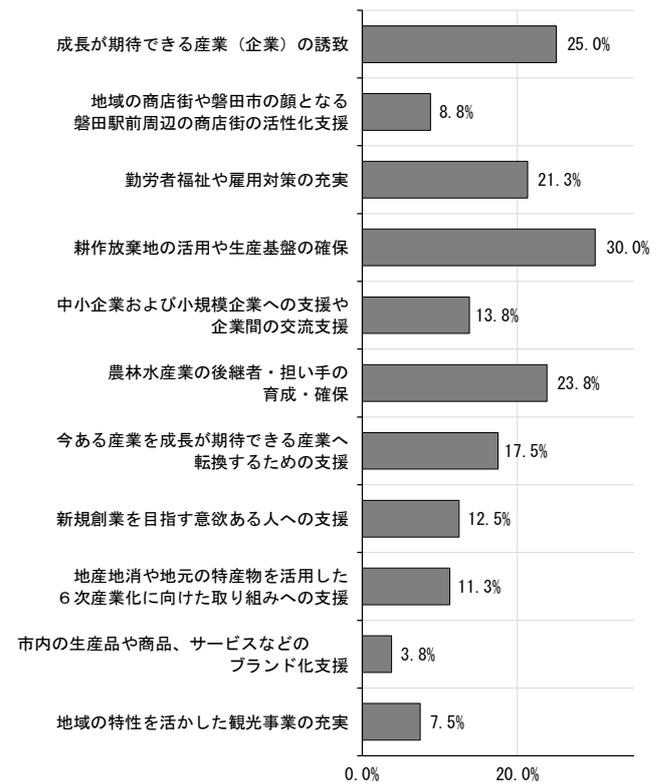
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



4. コミュニティについて

(1) 参加している地域活動

問13 あなたはどのような地域活動に参加していますか？ <該当するものすべてに○印>

何らかの地域活動に参加している人は約6割※

※「参加していない」及び「無回答」を除いた割合

■前回調査との比較

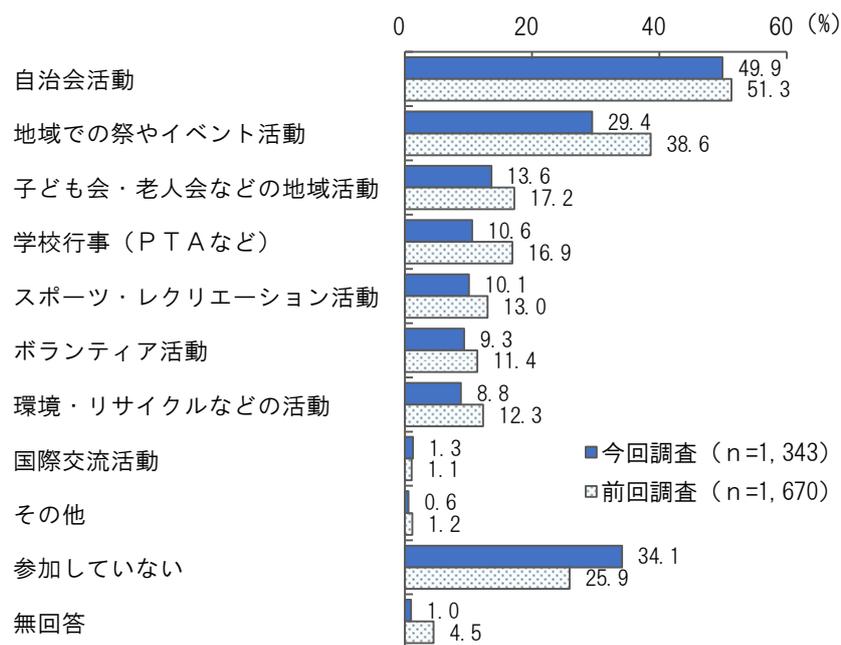
「参加していない」人が8.2ポイント増加している

■傾向

【性別】性別による差はない

【年代別】「参加している」が最も高い年代は60歳代

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い活動内容は「自治会活動」



■今回調査の結果

- ・「地域活動に参加していない」が34.1%となっており、無回答（1.0%）を除いた64.9%の人が何らかの地域活動に参加している
- ・活動内容は、「自治会活動」（49.9%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（29.4%）、「子ども会・老人会などの地域活動」（13.6%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「参加していない」が8.2ポイント増加している。
- ・すべての項目で参加している割合が減少している。
- ・「地域での祭やイベント活動」が9.2ポイント、「学校行事（PTAなど）」が6.3ポイント、「子ども会・老人会などの地域活動」が3.6ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
 - ・男女とも6割を超える人が何らかの地域活動に参加している。
 - ・男性では「自治会活動」（53.1%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（30.2%）「スポーツ・レクリエーション活動」（9.9%）となっている。
 - ・女性では「自治会活動」（47.3%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（29.1%）、「子ども会・老人会などの地域活動」（18.6%）となっている。
- 【年代別】**
 - ・「参加していない」は30歳未満（68.8%）が最も多く、60歳代（24.2%）が最も少ない。
 - ・活動内容は、30歳未満、30歳代では「地域での祭やイベント活動」が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「自治会活動」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・「参加していない」は、中泉・今之浦地区（42.0%）が最も多く、豊岡地区（22.5%）が最も少ない。
 - ・活動内容は、すべての居住地区で「自治会活動」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	スポーツ・レクリエーション活動	ボランティア活動
	人数	339人	226人	193人	63人	56人
	割合	53.1%	35.4%	30.2%	9.9%	8.8%
女性	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	子ども会・老人会などの地域活動	学校行事（PTAなど）
	人数	323人	225人	199人	127人	89人
	割合	47.3%	32.9%	29.1%	18.6%	13.0%

【年代別：上位5位のみ】

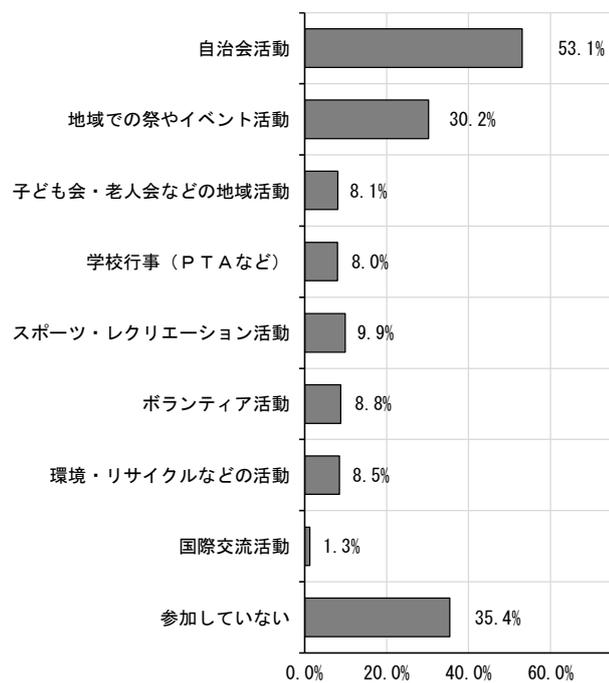
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	参加していない	地域での祭やイベント活動	学校行事（PTAなど）	自治会活動	スポーツ・レクリエーション活動
	人数	53人	10人	9人	7人	4人
	割合	68.8%	13.0%	11.7%	9.1%	5.2%
30歳代	理由	参加していない	地域での祭やイベント活動	自治会活動	学校行事（PTAなど）	子ども会・老人会などの地域活動
	人数	56人	43人	42人	35人	19人
	割合	44.8%	34.4%	33.6%	28.0%	15.2%
40歳代	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	学校行事（PTAなど）	子ども会・老人会などの地域活動
	人数	82人	67人	66人	56人	48人
	割合	46.3%	37.9%	37.3%	31.6%	27.1%
50歳代	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	環境・リサイクルなどの活動	学校行事（PTAなど）
	人数	126人	87人	56人	20人	19人
	割合	53.6%	37.0%	23.8%	8.5%	8.1%
60歳代	理由	自治会活動	地域での祭やイベント活動	参加していない	ボランティア活動	環境・リサイクルなどの活動
	人数	188人	96人	69人	33人	31人
	割合	66.0%	33.7%	24.2%	11.6%	10.9%
70歳以上	理由	自治会活動	・地域での祭やイベント活動 ・参加していない		子ども会・老人会などの地域活動	スポーツ・レクリエーション活動
	人数	215人	120人		87人	64人
	割合	50.9%	28.4%		20.6%	15.2%

【居住地区別：上位5位のみ】

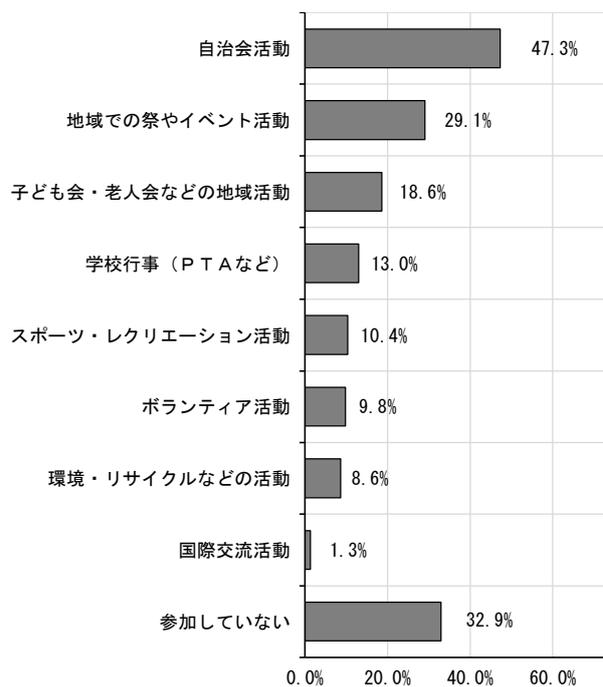
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	学校行事（PTAなど）	子ども会・老人会などの地域活動
	人数	87人	71人	51人	24人	21人
	割合	45.1%	36.8%	26.4%	12.4%	10.9%
中泉・今之浦地区	理由	参加していない	自治会活動	地域での祭やイベント活動	子ども会・老人会などの地域活動	スポーツ・レクリエーション活動
	人数	95人	89人	57人	28人	26人
	割合	42.0%	39.4%	25.2%	12.4%	11.5%
岩田・大藤・向笠地区	理由	自治会活動	地域での祭やイベント活動	参加していない	子ども会・老人会などの地域活動	ボランティア活動
	人数	42人	29人	21人	12人	11人
	割合	53.8%	37.2%	26.9%	15.4%	14.1%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	子ども会・老人会などの地域活動	環境・リサイクルなどの活動
	人数	67人	54人	43人	24人	20人
	割合	47.5%	38.3%	30.5%	17.0%	14.2%
天竜・長野・於保地区	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	・子ども会・老人会などの地域活動 ・環境・リサイクルなどの活動	
	人数	62人	36人	30人	15人	
	割合	53.9%	31.3%	26.1%	13.0%	
福田地区	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	スポーツ・レクリエーション活動	子ども会・老人会などの地域活動
	人数	66人	45人	35人	18人	17人
	割合	53.2%	36.3%	28.2%	14.5%	13.7%
竜洋地区	理由	自治会活動	地域での祭やイベント活動	参加していない	子ども会・老人会などの地域活動	学校行事（PTAなど）
	人数	79人	46人	35人	20人	15人
	割合	59.0%	34.3%	26.1%	14.9%	11.2%
富岡・豊田東・池田地区	理由	自治会活動	参加していない	地域での祭やイベント活動	子ども会・老人会などの地域活動	学校行事（PTAなど）
	人数	48人	40人	30人	15人	12人
	割合	47.5%	39.6%	29.7%	14.9%	11.9%
井通地区・青城地区	理由	自治会活動	地域での祭やイベント活動	参加していない	・子ども会・老人会などの地域活動 ・環境・リサイクルなどの活動 ・スポーツ・レクリエーション活動	
	人数	66人	39人	33人	17人	
	割合	55.9%	33.1%	28.0%	14.4%	
豊岡地区	理由	自治会活動	地域での祭やイベント活動	参加していない	ボランティア活動	環境・リサイクルなどの活動
	人数	48人	29人	18人	11人	10人
	割合	60.0%	36.3%	22.5%	13.8%	12.5%

【属性別（性別）】

<男性>

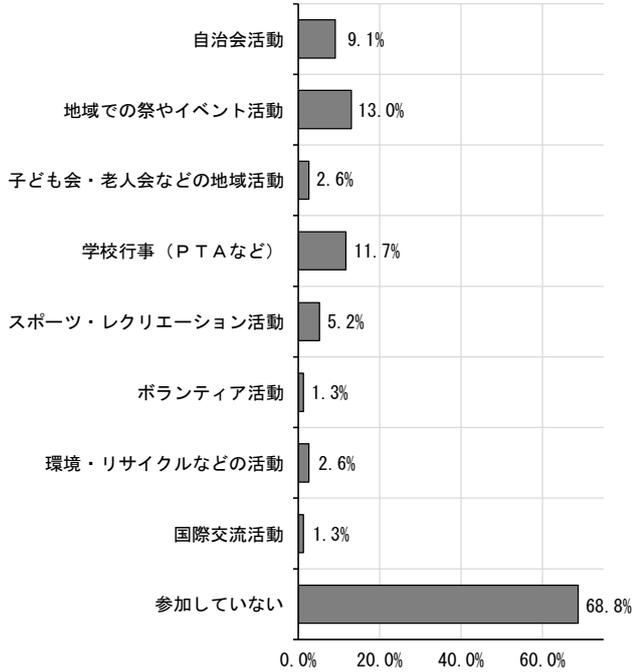


<女性>

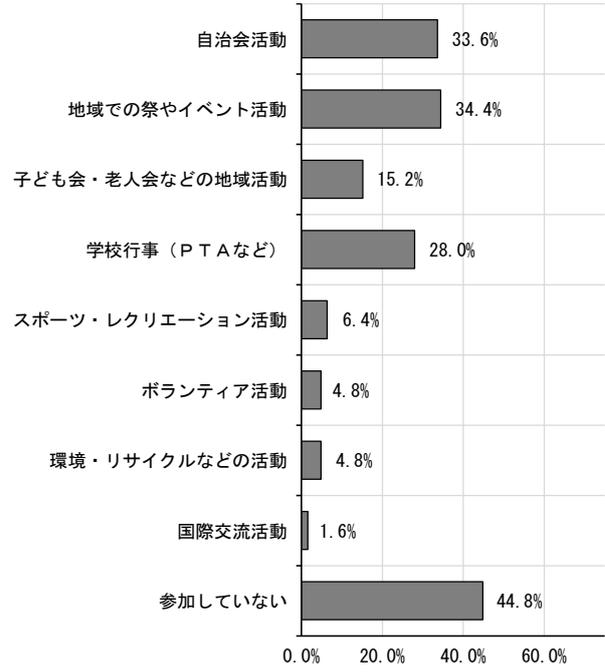


【属性別（年代別）】

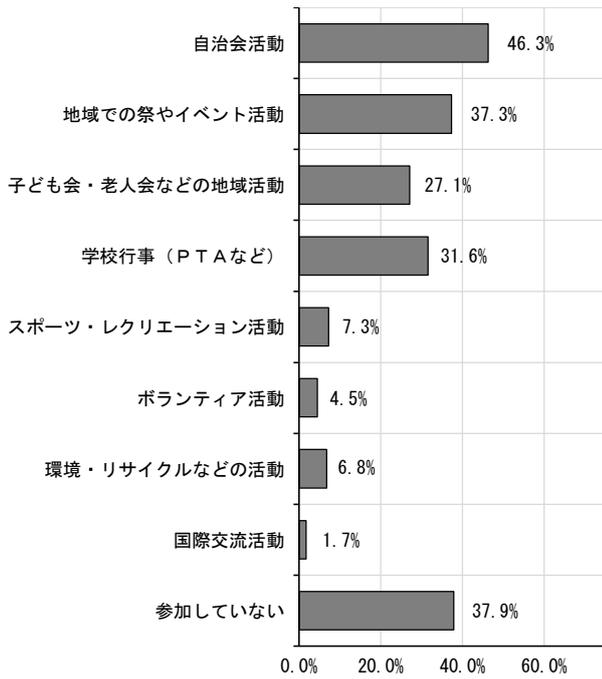
<30 歳未満>



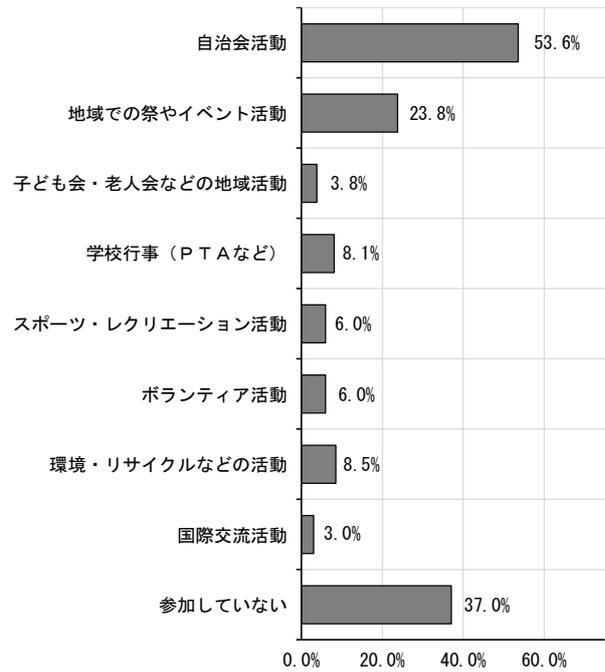
<30 歳代>



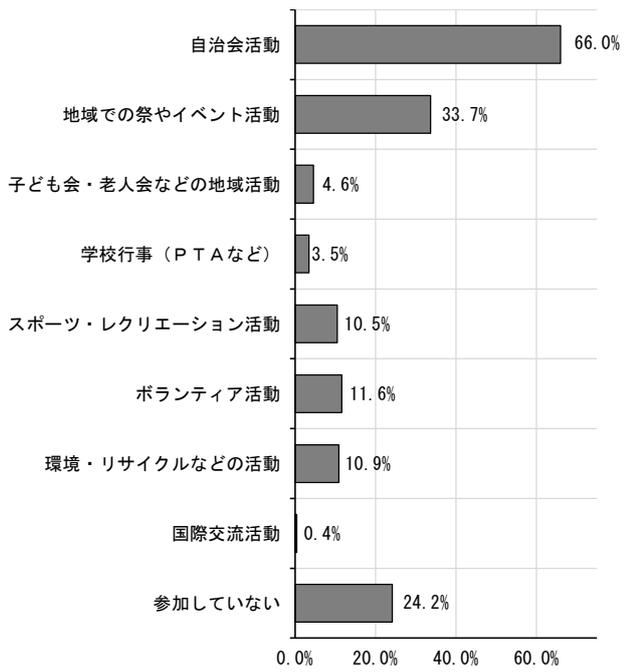
<40 歳代>



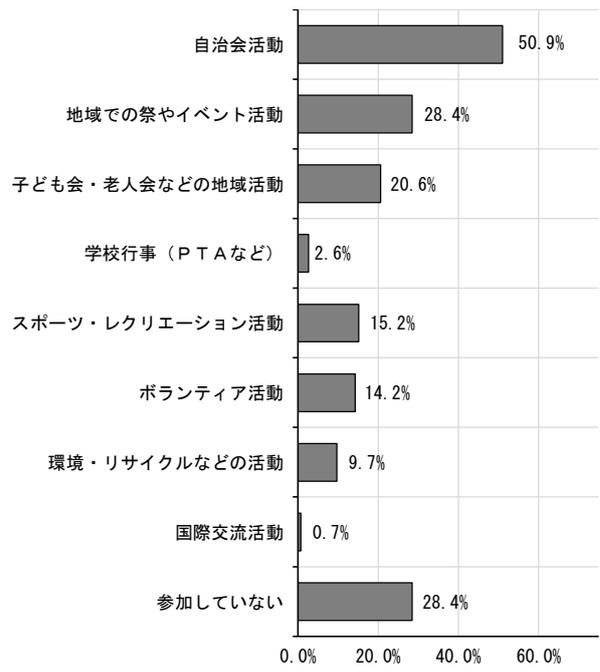
<50 歳代>



<60 歳代>

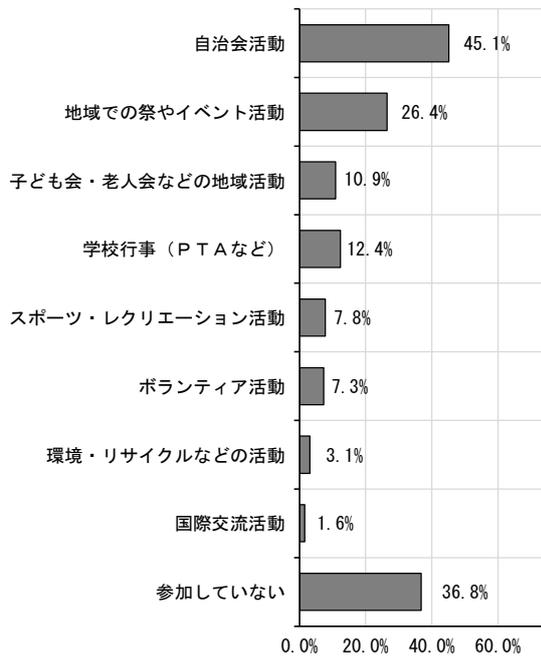


<70 歳以上>

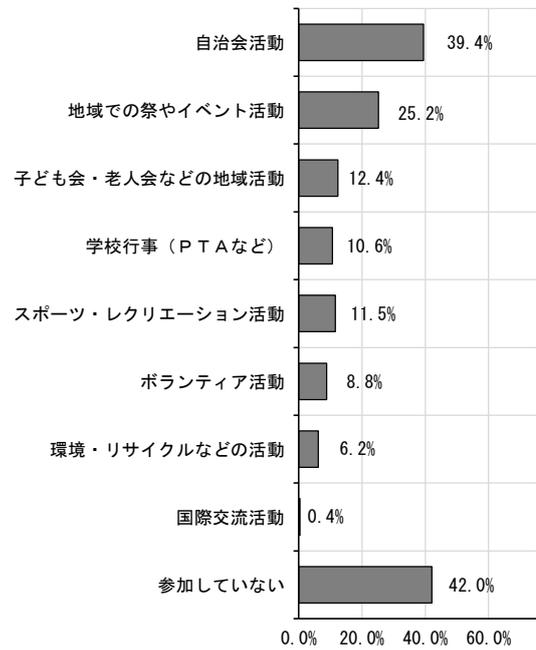


【属性別（居住地区別）】

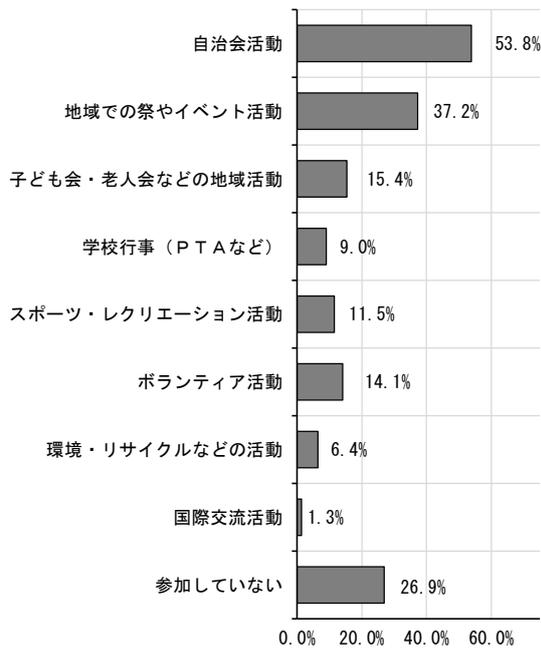
<見付地区>



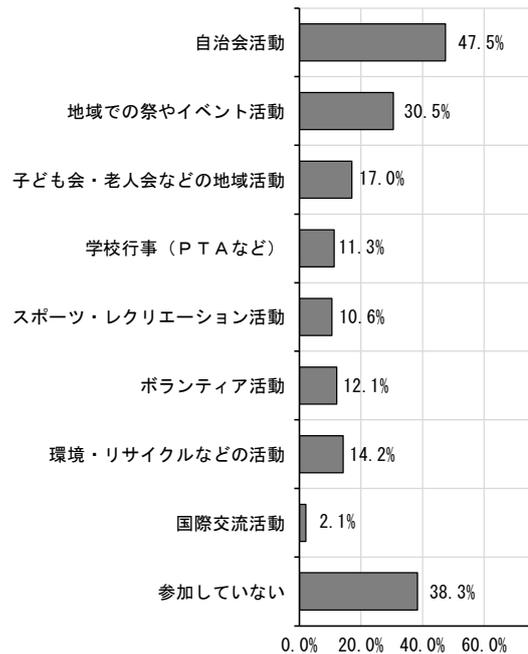
<中泉・今之浦地区>



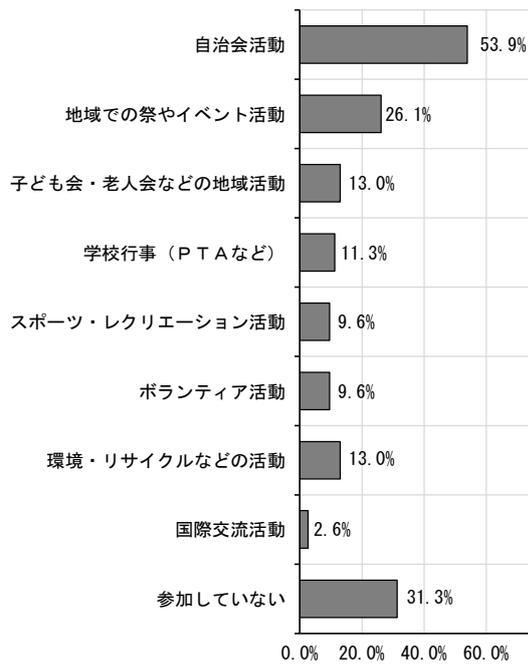
<岩田・大藤・向笠地区>



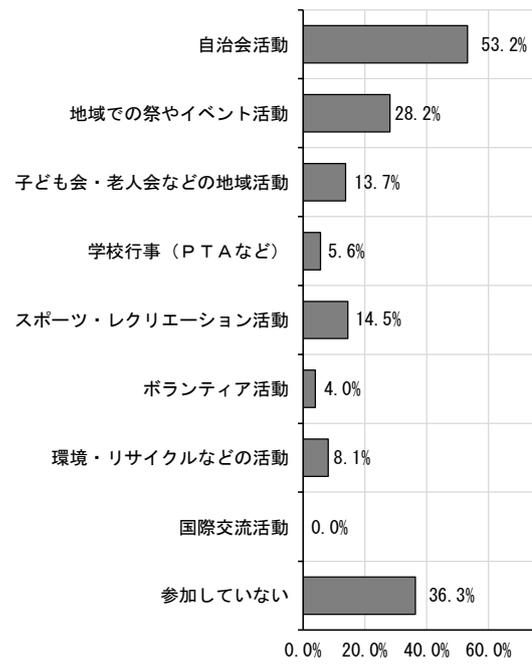
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



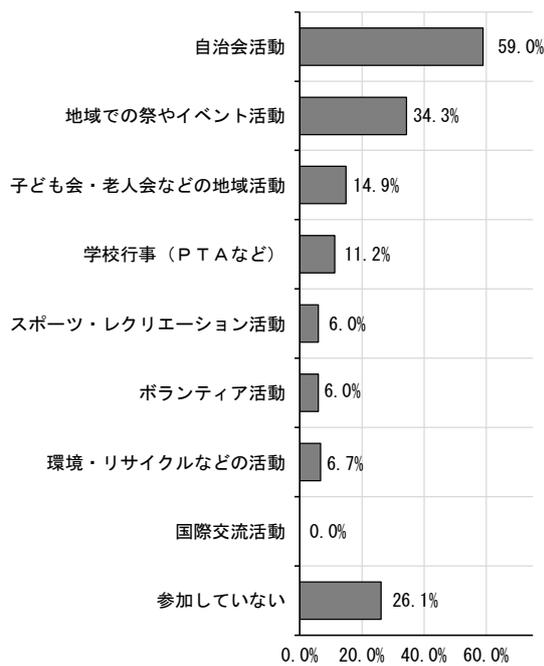
<天竜・長野・於保地区>



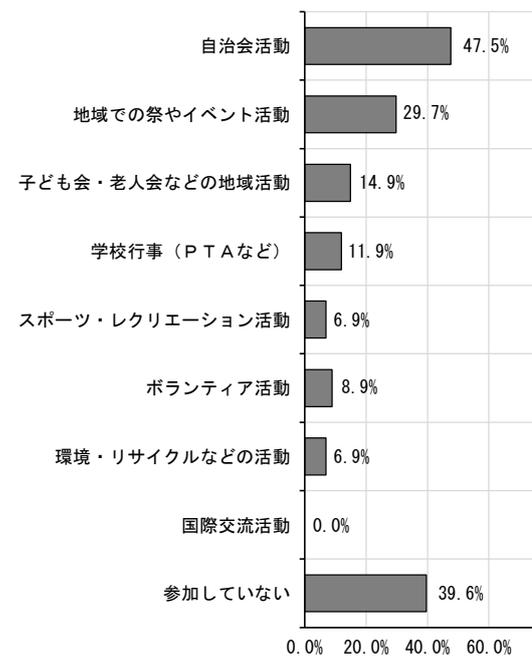
<福田地区>



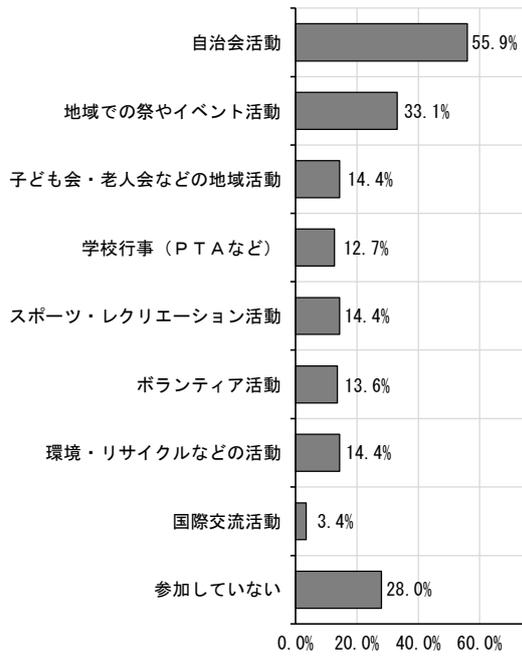
<竜洋地区>



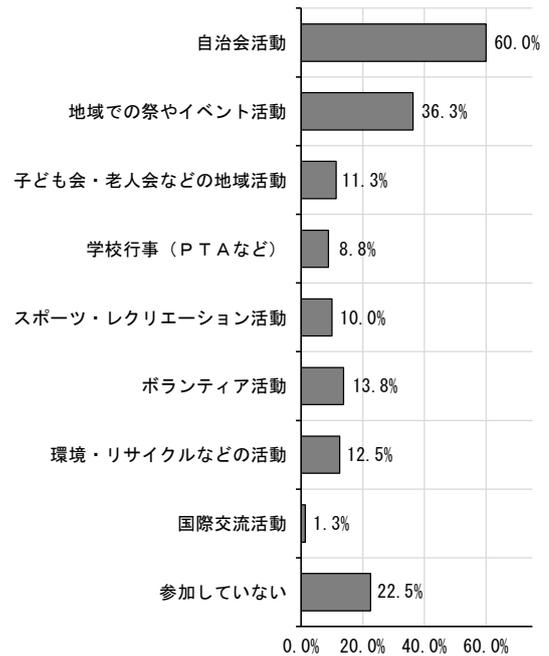
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



(2) 地域活動に参加する理由

(問13で何らかの地域活動に参加していると回答した方のみ)

問14 あなたが、地域活動に参加する理由は何ですか？ <該当するものすべてに○印>

地域活動に参加する理由は、

- ・「参加者同士の交流ができるから」
- ・「地域の様子を知ることができるから」
- ・「順番がまわってきたから」

■傾向

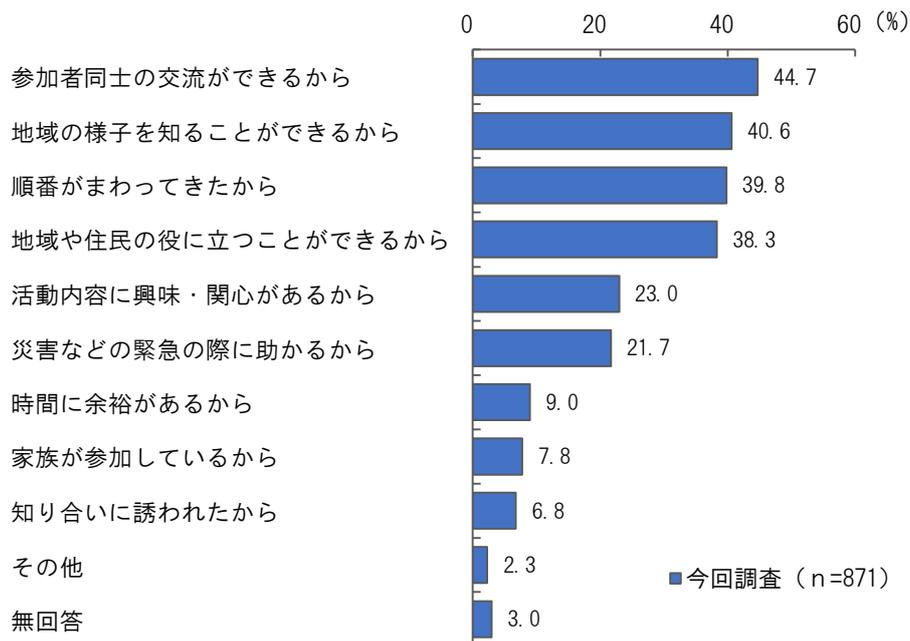
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最多となっている理由は

- ・「順番がまわってきたから」

【居住地区別】複数の居住地区で最多となっている理由は

- ・「参加者同士の交流ができるから」
- ・「順番がまわってきたから」



■今回調査の結果

- ・「参加者同士の交流ができるから」(44.7%)が最も多く、次いで「地域の様子を知ることができるから」(40.6%)、「順番がまわってきたから」(39.8%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・それぞれの上位4項目までの理由は、順位の違いはあるが同じ理由。
 - ・男性では「地域や住民の役に立つことができるから」(44.6%)が最も多く、次いで「参加者同士の交流ができるから」(41.7%)、「順番がまわってきたから」(40.4%)となっている。
 - ・女性では「参加者同士の交流ができるから」(46.9%)が最も多く、次いで「地域の様子を知ることができるから」(43.6%)、「順番がまわってきたから」(39.8%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満では「活動内容に興味・関心があるから」(41.7%)が最も多い。
 - ・30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「順番がまわってきたから」が最も多い。
 - ・70歳以上では「参加者同士の交流ができるから」(55.1%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、天竜・長野・於保地区、竜洋地区では「順番がまわってきたから」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「地域や住民の役に立つことができるから」「参加者同士の交流ができるから」(それぞれ48.2%)が最も多い。
 - ・豊岡地区では「地域の様子を知ることができるから」(50.8%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「参加者同士の交流ができるから」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	地域や住民の役に立つことができるから	参加者同士の交流ができるから	順番がまわってきたから	地域の様子を知ることができるから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	182人 44.6%	170人 41.7%	165人 40.4%	153人 37.5%	95人 23.3%
女性	理由	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	順番がまわってきたから	地域や住民の役に立つことができるから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	212人 46.9%	197人 43.6%	180人 39.8%	147人 32.5%	110人 24.3%

【年代別：上位5位のみ】

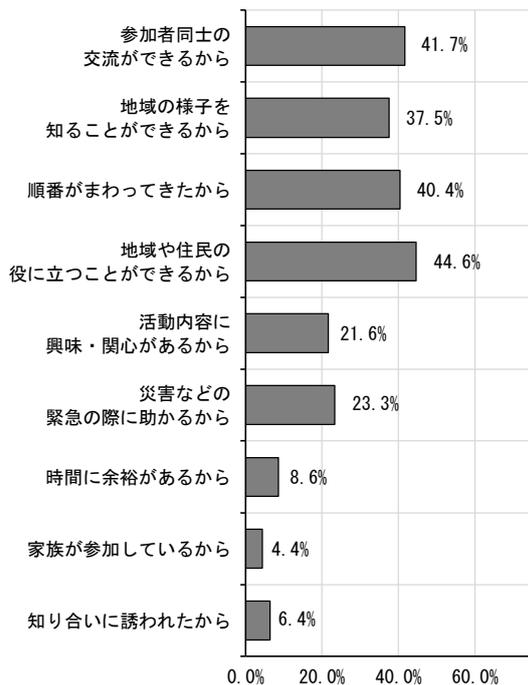
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	活動内容に興味・関心があるから	地域の様子を知ることができるから	参加者同士の交流ができるから	家族が参加しているから	知り合いに誘われたから
	人数 割合	10人 41.7%	9人 37.5%	8人 33.3%	6人 25.0%	4人 16.7%
30歳代	理由	順番がまわってきたから	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	地域や住民の役に立つことができるから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	28人 41.2%	27人 39.7%	22人 32.4%	21人 30.9%	18人 26.5%
40歳代	理由	順番がまわってきたから	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	地域や住民の役に立つことができるから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	58人 52.7%	44人 40.0%	43人 39.1%	39人 35.5%	23人 20.9%
50歳代	理由	順番がまわってきたから	地域や住民の役に立つことができるから	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	71人 48.0%	65人 43.9%	57人 38.5%	54人 36.5%	30人 20.3%
60歳代	理由	順番がまわってきたから	地域や住民の役に立つことができるから	・参加者同士の交流ができるから ・地域の様子を知ることができるから		災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	94人 43.9%	92人 43.0%	83人 38.8%		55人 25.7%
70歳以上	理由	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	地域や住民の役に立つことができるから	順番がまわってきたから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	162人 55.1%	137人 46.6%	109人 37.1%	91人 31.0%	81人 27.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

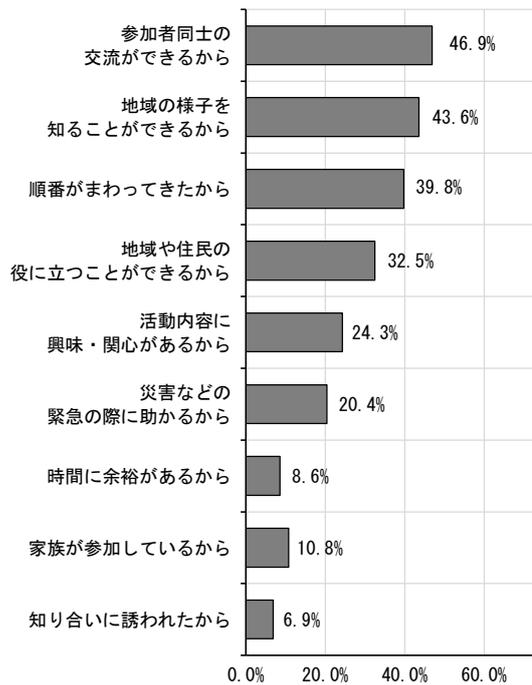
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	順番がまわってきたから	地域の様子を知ることができるから	参加者同士の交流ができるから	地域や住民の役に立つことができるから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	52人 43.0%	51人 42.1%	50人 41.3%	39人 32.2%	25人 20.7%
中泉・ 今之浦地区	理由	参加者同士の交流ができるから	順番がまわってきたから	・地域や住民の役に立つことができるから ・地域の様子を知ることができるから		活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	51人 39.5%	50人 38.8%	45人 34.9%		29人 22.5%
岩田・ 大藤・ 向笠地区	理由	・地域や住民の役に立つことができるから ・参加者同士の交流ができるから		地域の様子を知ることができるから	順番がまわってきたから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	27人 48.2%	26人 46.4%	24人 42.9%	13人 23.2%	
西貝・ 御厨・ 南御厨・ 田原地区	理由	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	地域や住民の役に立つことができるから	順番がまわってきたから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	41人 48.2%	39人 45.9%	37人 43.5%	34人 40.0%	25人 29.4%
天竜・ 長野・ 於保地区	理由	順番がまわってきたから	参加者同士の交流ができるから	地域の様子を知ることができるから	地域や住民の役に立つことができるから	活動内容に興味・関心があるから
	人数 割合	38人 50.0%	37人 48.7%	29人 38.2%	28人 36.8%	17人 22.4%
福田地区	理由	参加者同士の交流ができるから	地域や住民の役に立つことができるから	地域の様子を知ることができるから	順番がまわってきたから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	37人 46.8%	34人 43.0%	30人 38.0%	28人 35.4%	21人 26.6%
竜洋地区	理由	順番がまわってきたから	地域の様子を知ることができるから	参加者同士の交流ができるから	地域や住民の役に立つことができるから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	44人 44.9%	41人 41.8%	39人 39.8%	34人 34.7%	24人 24.5%
富岡・ 豊田東・ 池田地区	理由	参加者同士の交流ができるから	順番がまわってきたから	地域や住民の役に立つことができるから	地域の様子を知ることができるから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	27人 44.3%	25人 41.0%	22人 36.1%	21人 34.4%	19人 31.1%
井通地区・ 青城地区	理由	参加者同士の交流ができるから	地域や住民の役に立つことができるから	地域の様子を知ることができるから	活動内容に興味・関心があるから	順番がまわってきたから
	人数 割合	42人 49.4%	36人 42.4%	35人 41.2%	28人 32.9%	27人 31.8%
豊岡地区	理由	地域の様子を知ることができるから	参加者同士の交流ができるから	地域や住民の役に立つことができるから	順番がまわってきたから	災害などの緊急の際に助かるから
	人数 割合	31人 50.8%	29人 47.5%	26人 42.6%	20人 32.8%	13人 21.3%

【属性別（性別）】

<男性>

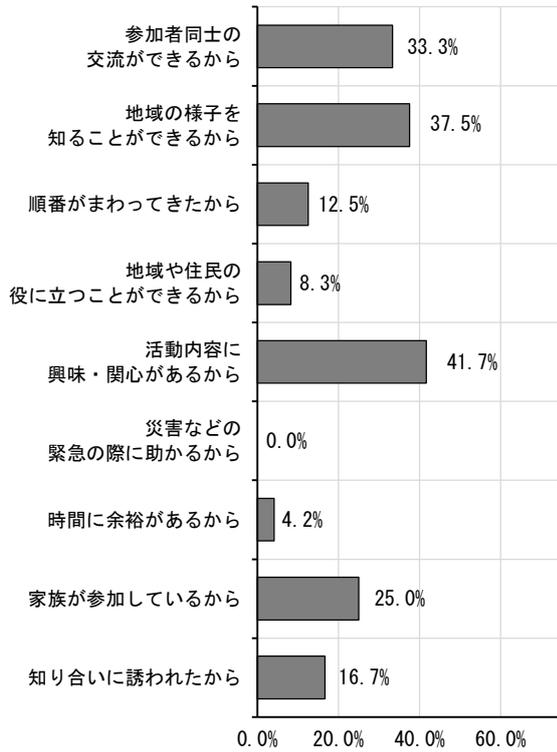


<女性>

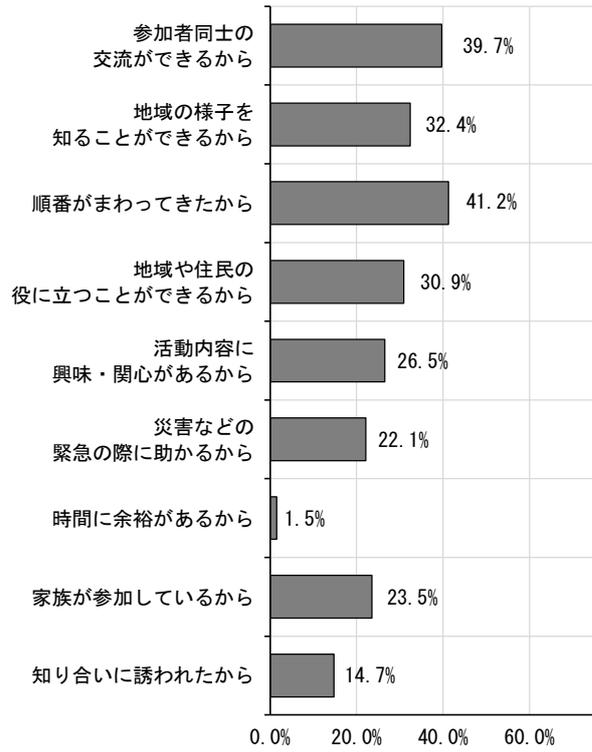


【属性別（年代別）】

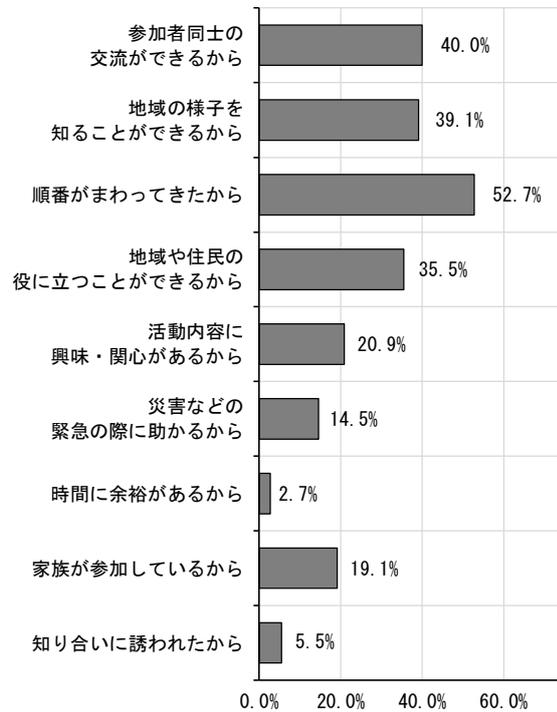
<30 歳未満>



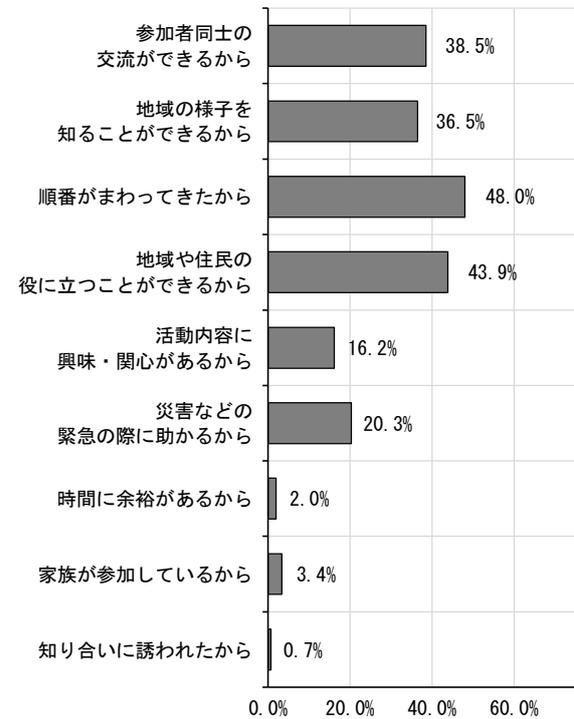
<30 歳代>



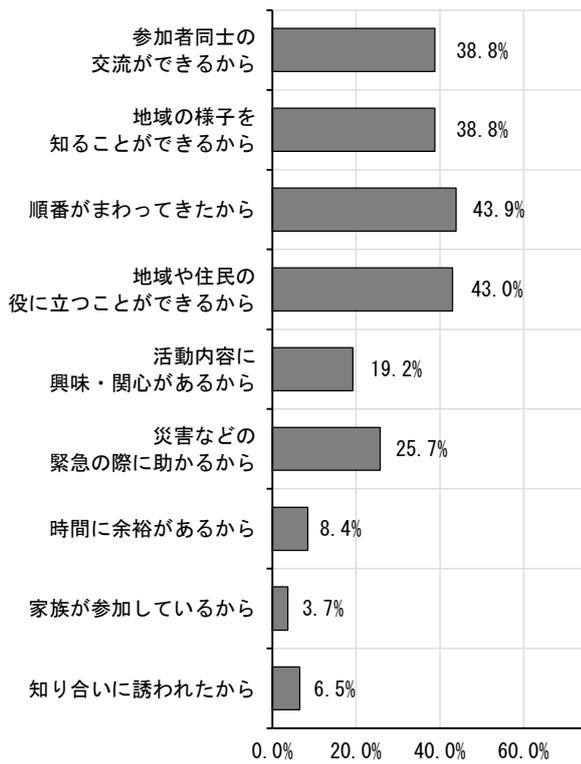
<40 歳代>



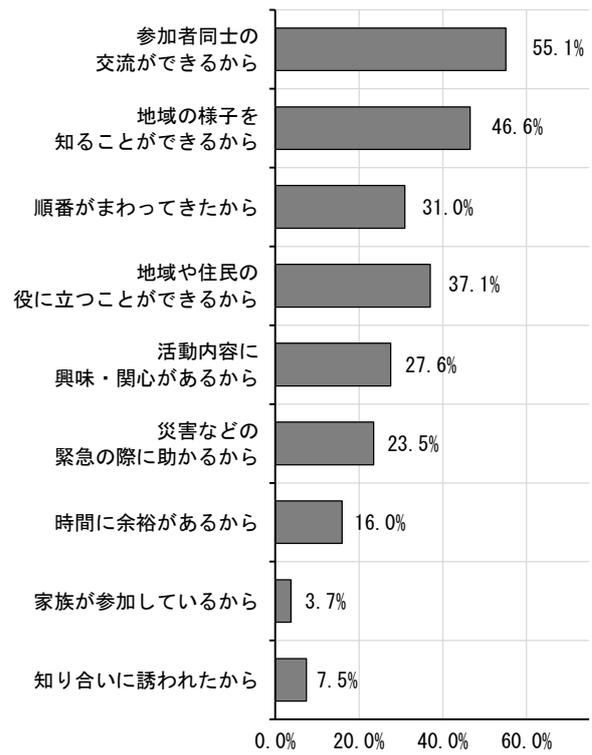
<50 歳代>



<60 歳代>

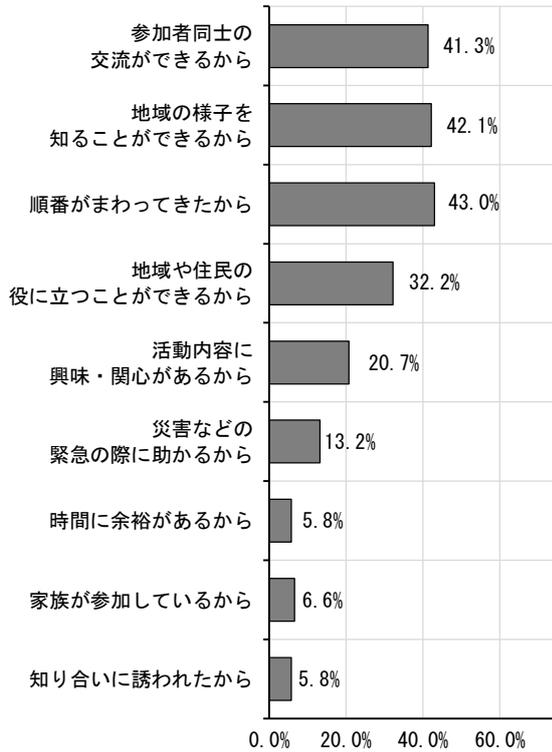


<70 歳以上>

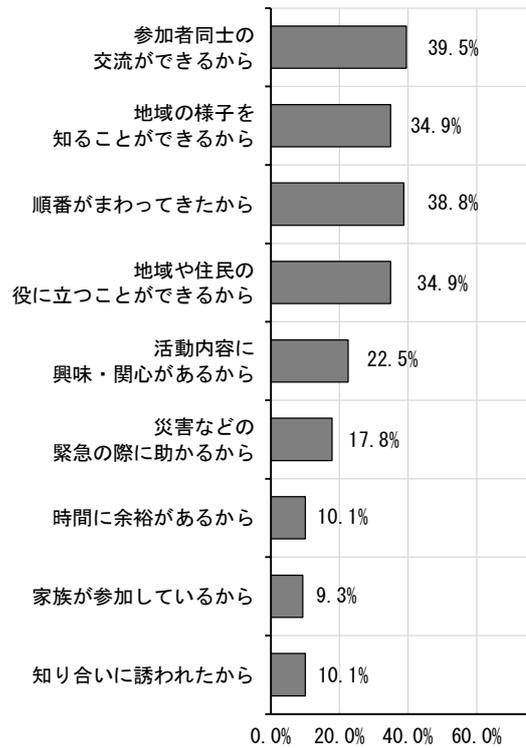


【属性別（居住地区別）】

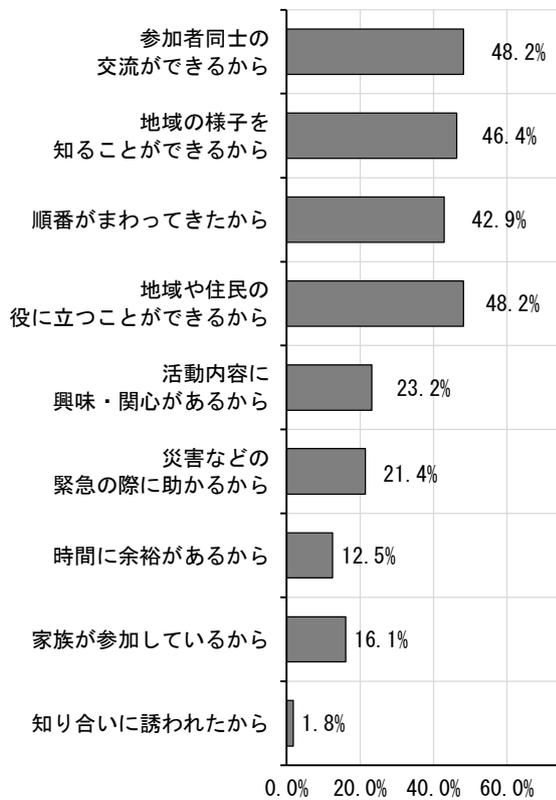
<見付地区>



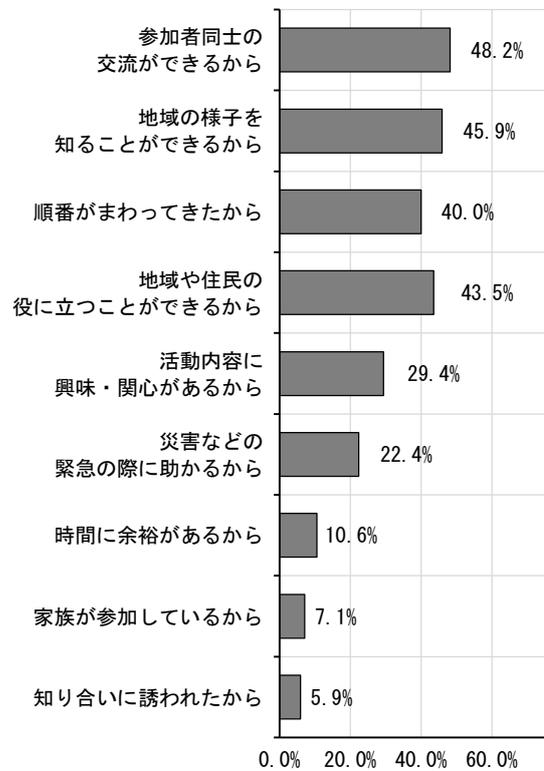
<中泉・今之浦地区>



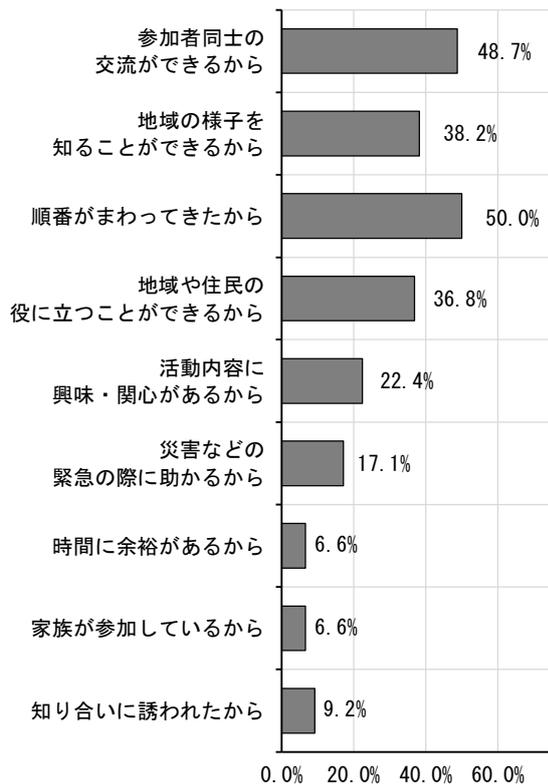
<岩田・大藤・向笠地区>



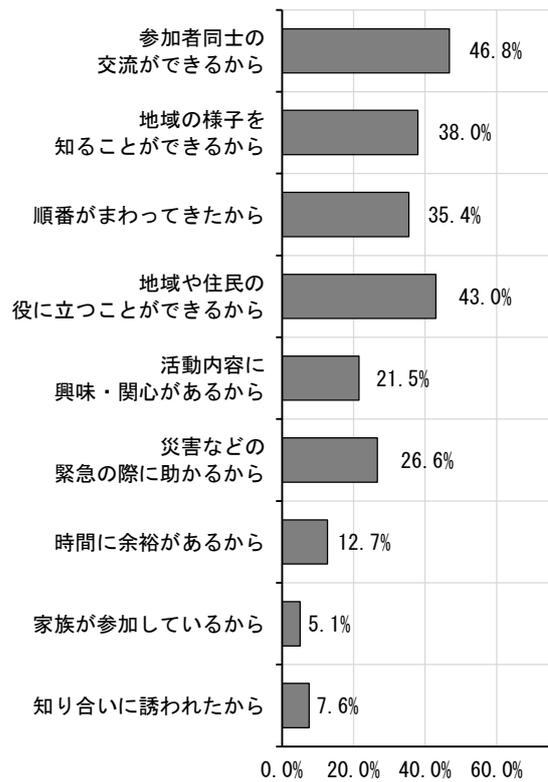
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



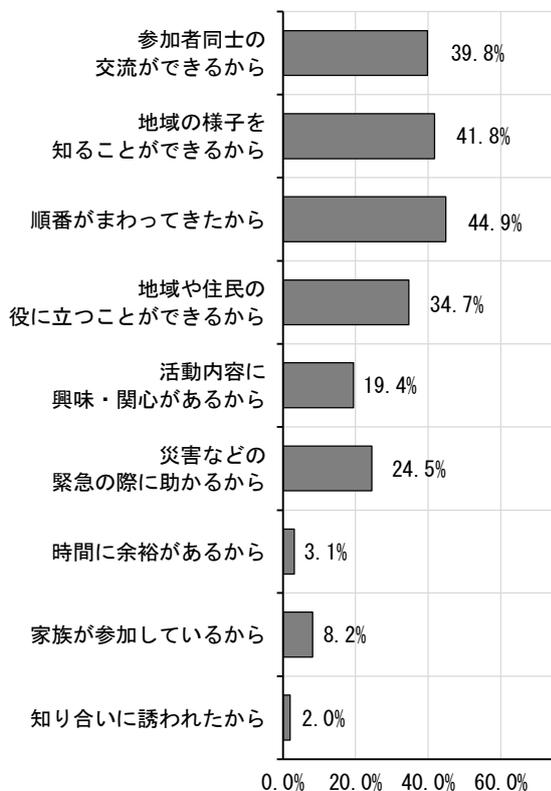
<天竜・長野・於保地区>



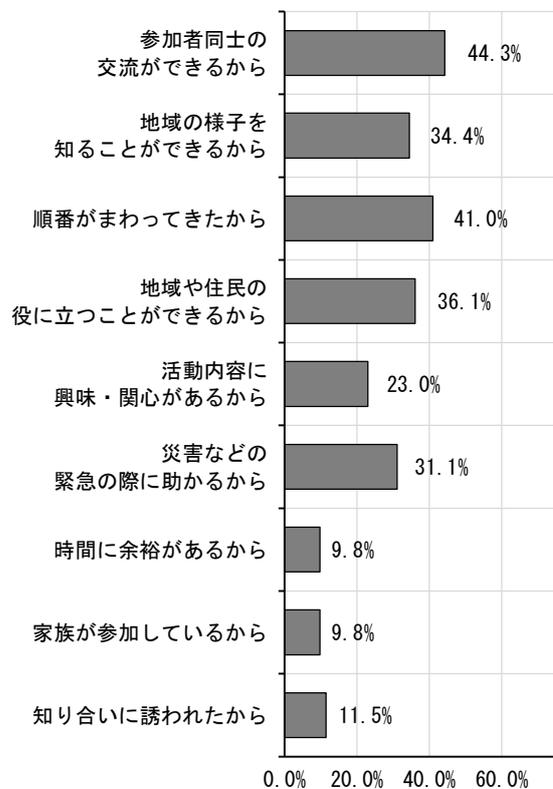
<福田地区>



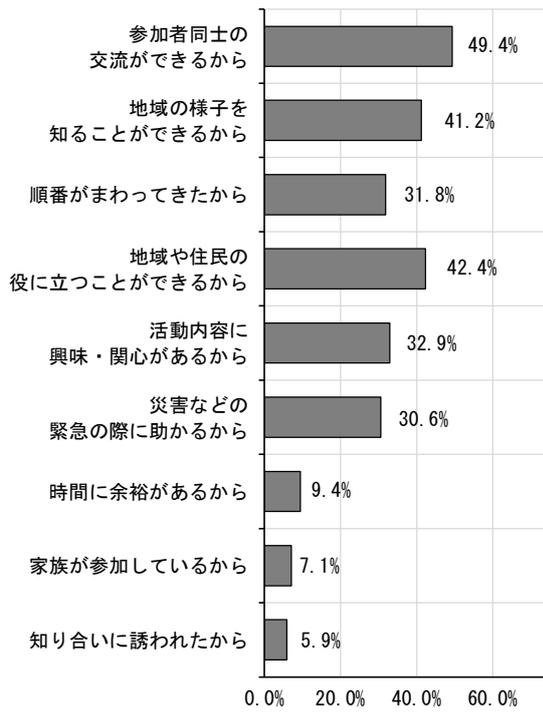
<竜洋地区>



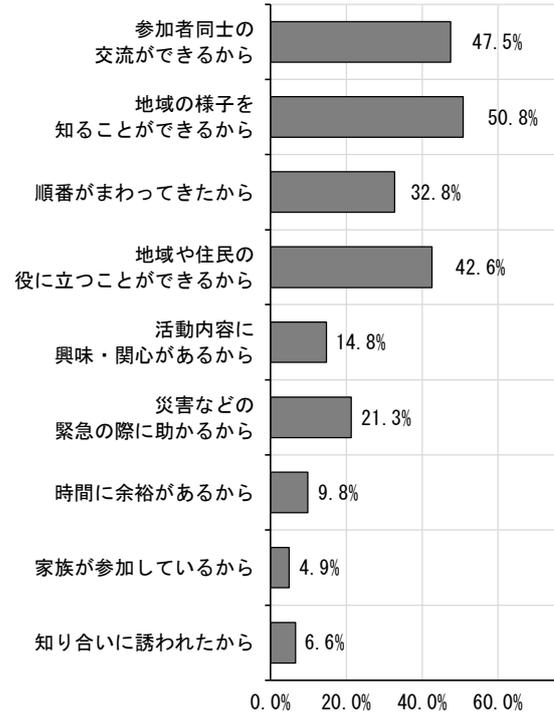
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



(3) 地域活動に参加していない主な理由

(問 13 で地域活動に「参加していない」と回答した方のみ)

問 15 あなたが、地域活動に参加していない主な理由は何ですか？ <○印を1つ>

地域活動に参加していない理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」
- ・「人間関係が面倒だから」
- ・「一人では参加しづらいから」

■傾向

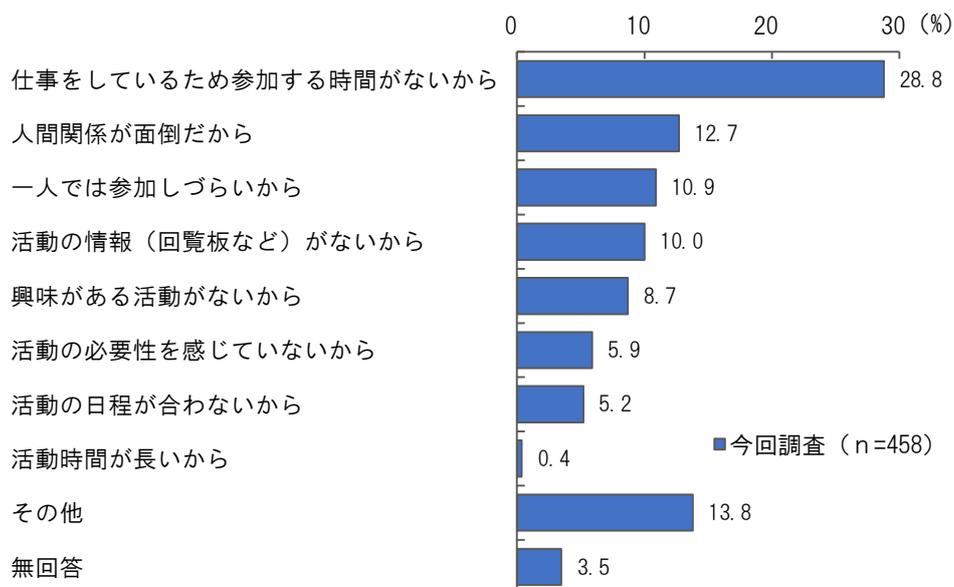
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」



■今回調査の結果

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」(28.8%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(12.7%)、「一人では参加しづらいから」(10.9%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
 - ・上位5項目は、男女とも同じ理由となっている。
 - ・男性では「仕事をしているため参加する時間がないから」(25.2%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(14.2%)、「一人では参加しづらいから」(12.4%)となっている。
 - ・女性では「仕事をしているため参加する時間がないから」(31.6%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(11.6%)、「活動の情報(回覧板など)がないから」「一人では参加しづらいから」(9.8%)となっている。
- 【年代別】**
 - ・70歳以上では「人間関係が面倒だから」(15.0%)が最も多い。
 - ・それ以外の年代では「仕事をしているため参加する時間がないから」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・西貝・御厨・南御厨・田原地区では「一人では参加しづらいから」(22.2%)が最も多い。
 - ・天竜・長野・於保地区では「活動の情報(回覧板など)がないから」「仕事をしているため参加する時間がないから」(それぞれ19.4%)が最も多い。
 - ・豊岡地区では「活動の日程が合わないから」「人間関係が面倒だから」「仕事をしているため参加する時間がないから」(それぞれ16.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「仕事をしているため参加する時間がないから」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	一人では参加しづらいから	活動の情報（回覧板など）がないから	興味がある活動がないから
	人数 割合	57人 25.2%	32人 14.2%	28人 12.4%	24人 10.6%	22人 9.7%
女性	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・一人では参加しづらいから		興味がある活動がないから
	人数 割合	71人 31.6%	26人 11.6%	22人 9.8%		17人 7.6%

【年代別：上位5位のみ】

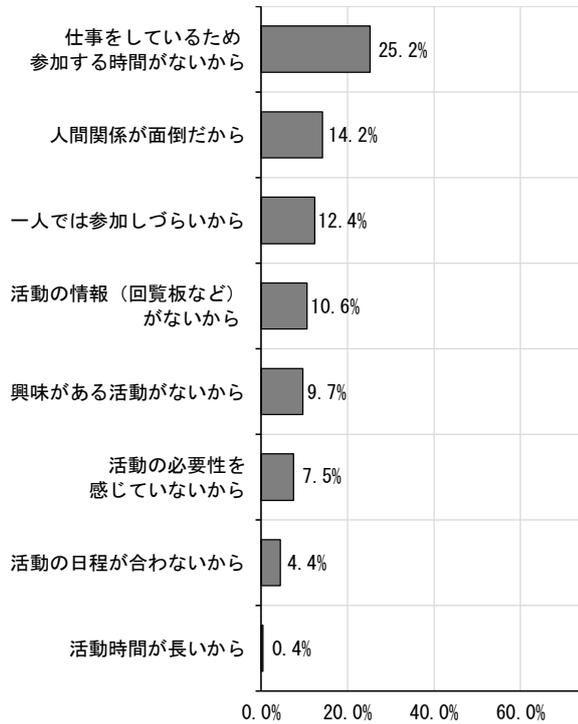
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	興味がある活動がないから	一人では参加しづらいから	人間関係が面倒だから
	人数 割合	15人 28.3%	11人 20.8%	7人 13.2%	6人 11.3%	5人 9.4%
30歳代	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	一人では参加しづらいから	人間関係が面倒だから	興味がある活動がないから
	人数 割合	18人 32.1%	9人 16.1%	8人 14.3%	6人 10.7%	5人 8.9%
40歳代	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・一人では参加しづらいから	人間関係が面倒だから	興味がある活動がないから	
	人数 割合	23人 34.3%	8人 11.9%		7人 10.4%	6人 9.0%
50歳代	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・一人では参加しづらいから ・活動の必要性を感じていないから		
	人数 割合	36人 41.4%	11人 12.6%	7人 8.0%		
60歳代	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	・活動の日程が合わないから ・一人では参加しづらいから ・興味がある活動がないから		
	人数 割合	24人 34.8%	10人 14.5%	4人 5.8%		
70歳以上	理由	人間関係が面倒だから	一人では参加しづらいから	仕事をしているため参加する時間がないから	興味がある活動がないから	活動の情報（回覧板など）がないから
	人数 割合	18人 15.0%	17人 14.2%	14人 11.7%	11人 9.2%	8人 6.7%

【居住地区別：上位5位のみ】

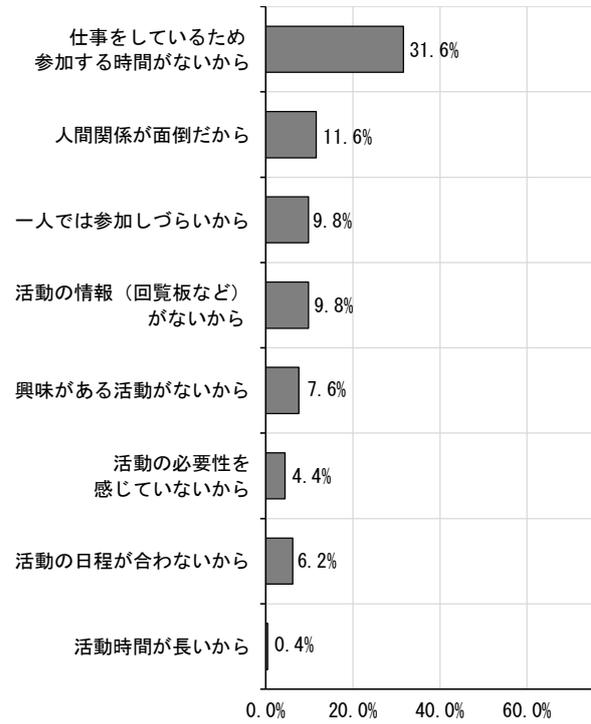
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	・一人では参加しづらいから ・興味がある活動がないから	活動の必要性を感じていないから	
	人数 割合	23人 32.4%	9人 12.7%	8人 11.3%		5人 7.0%
中泉・今之浦地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	興味がある活動がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	活動の必要性を感じていないから
	人数 割合	26人 27.4%	17人 17.9%	10人 10.5%	9人 9.5%	8人 8.4%
岩田・大藤・向笠地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	・一人では参加しづらいから ・人間関係が面倒だから		・活動の情報（回覧板など）がないから ・活動の日程が合わないから ・活動時間が長いから ・興味がある活動がないから	
	人数 割合	6人 28.6%	2人 9.5%		1人 4.8%	
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	一人では参加しづらいから	人間関係が面倒だから	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	興味がある活動がないから
	人数 割合	12人 22.2%	11人 20.4%	8人 14.8%	7人 13.0%	5人 9.3%
天竜・長野・於保地区	理由	・活動の情報（回覧板など）がないから ・仕事をしているため参加する時間がないから		人間関係が面倒だから	活動の必要性を感じていないから	一人では参加しづらいから
	人数 割合	7人 19.4%		6人 16.7%	5人 13.9%	3人 8.3%
福田地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	人間関係が面倒だから	一人では参加しづらいから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・興味がある活動がないから	
	人数 割合	16人 35.6%	7人 15.6%	6人 13.3%	3人 6.7%	
竜洋地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の情報（回覧板など）がないから	人間関係が面倒だから	・一人では参加しづらいから ・活動の必要性を感じていないから	
	人数 割合	9人 25.7%	5人 14.3%	4人 11.4%	3人 8.6%	
富岡・豊田東・池田地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	活動の日程が合わないから	一人では参加しづらいから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・興味がある活動がないから	
	人数 割合	21人 52.5%	5人 12.5%	4人 10.0%	3人 7.5%	
井通地区・青城地区	理由	仕事をしているため参加する時間がないから	一人では参加しづらいから	興味がある活動がないから	・活動の情報（回覧板など）がないから ・人間関係が面倒だから	
	人数 割合	9人 27.3%	5人 15.2%	4人 12.1%	2人 6.1%	
豊岡地区	理由	・活動の日程が合わないから ・人間関係が面倒だから ・仕事をしているため参加する時間がないから			・興味がある活動がないから ・活動の必要性を感じていないから	
	人数 割合	3人 16.7%			1人 5.6%	

【属性別（性別）】

<男性>

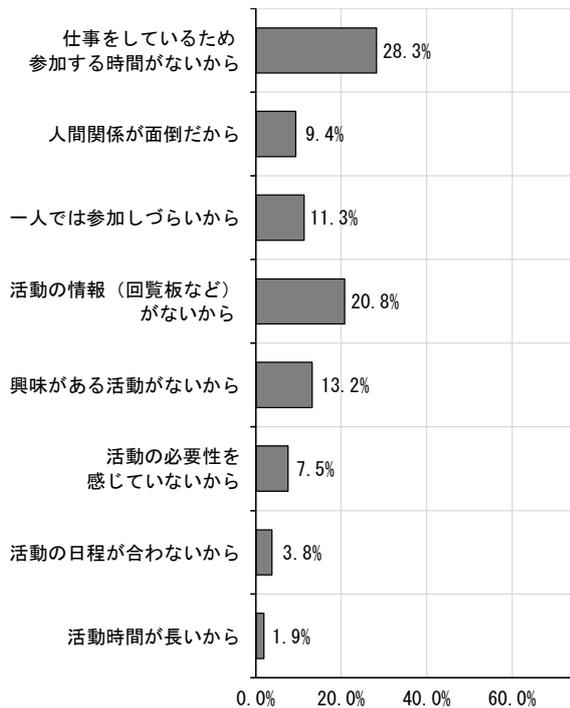


<女性>

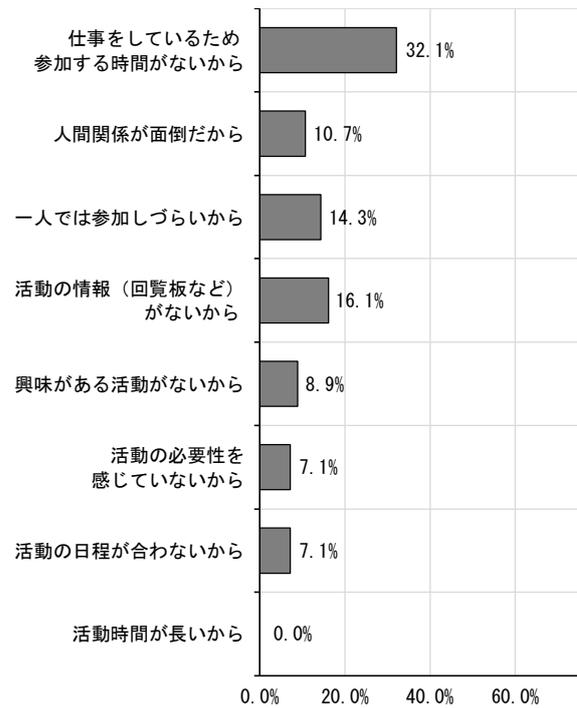


【属性別（年代別）】

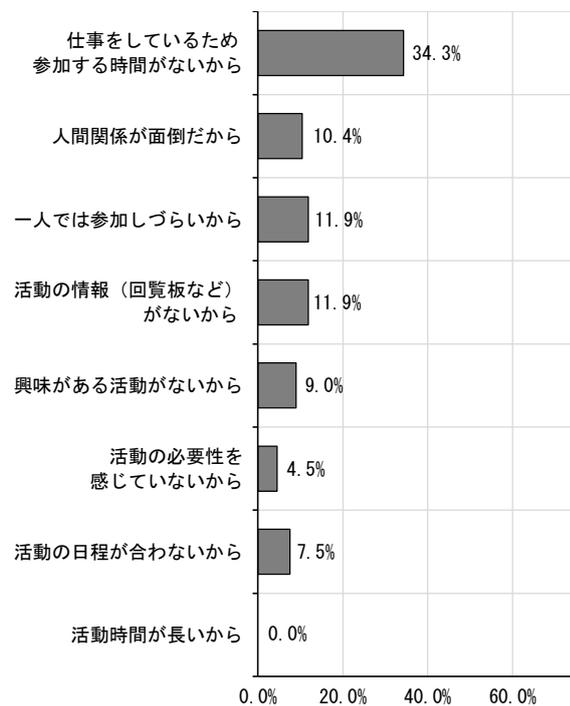
<30 歳未満>



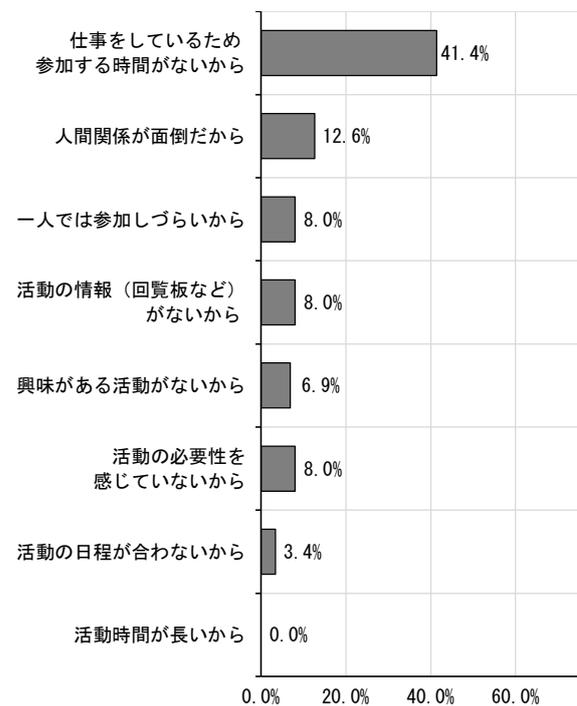
<30 歳代>



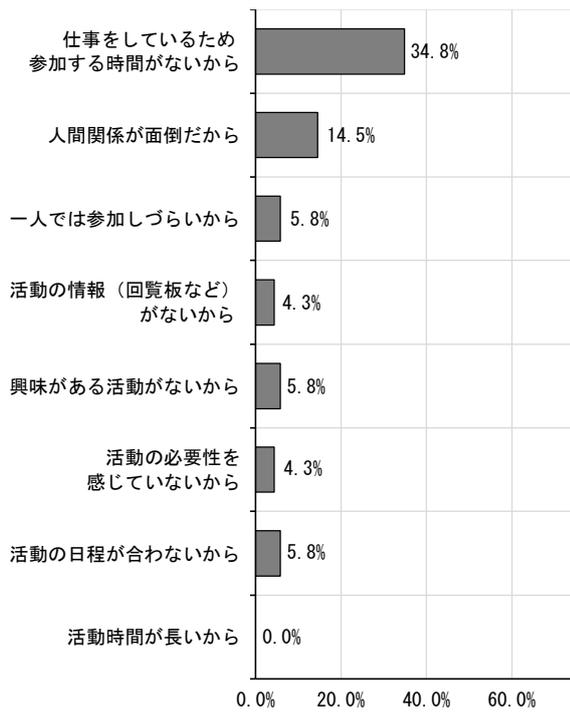
<40 歳代>



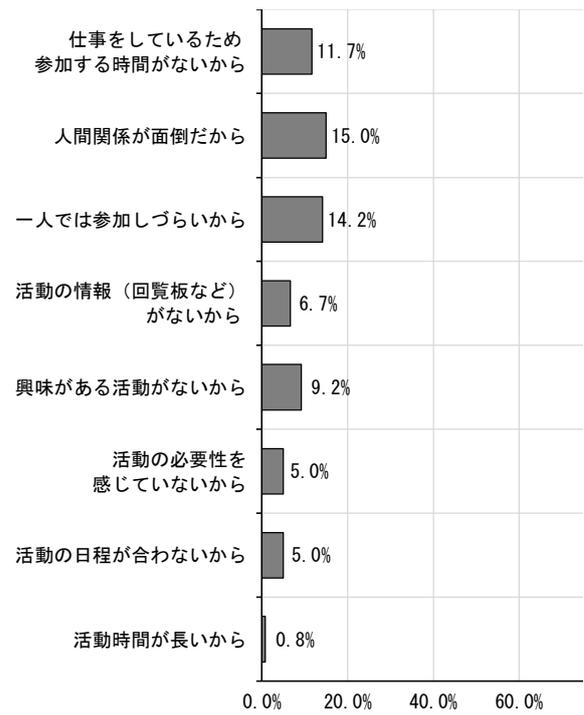
<50 歳代>



<60 歳代>

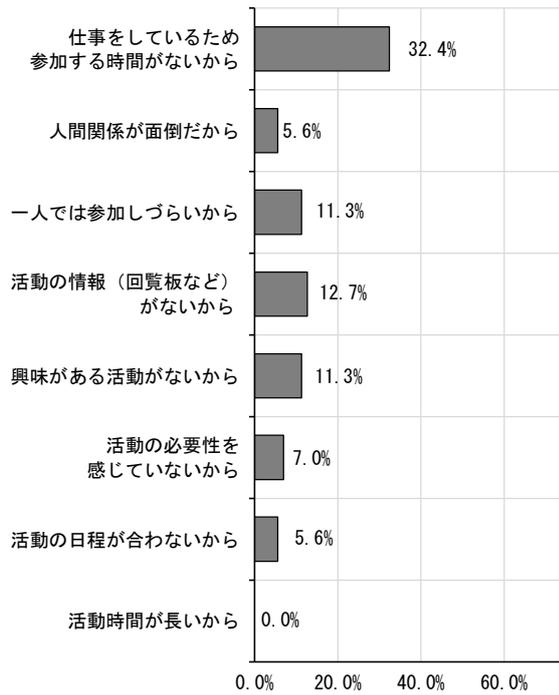


<70 歳以上>

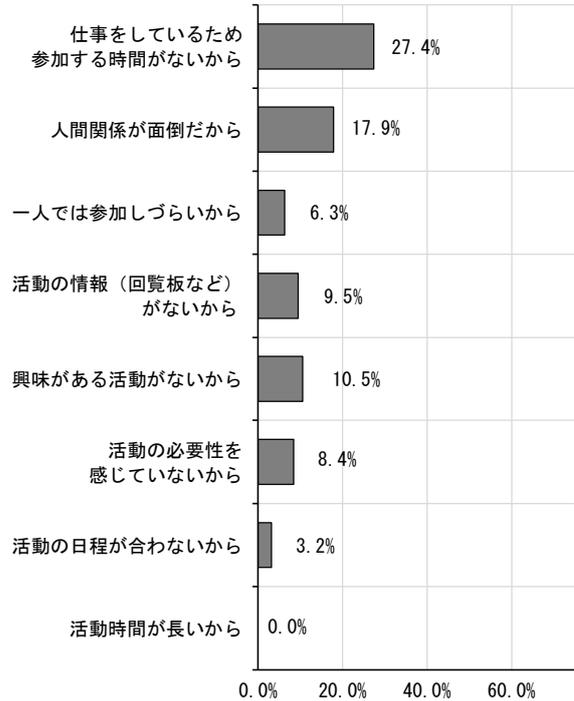


【属性別（居住地区別）】

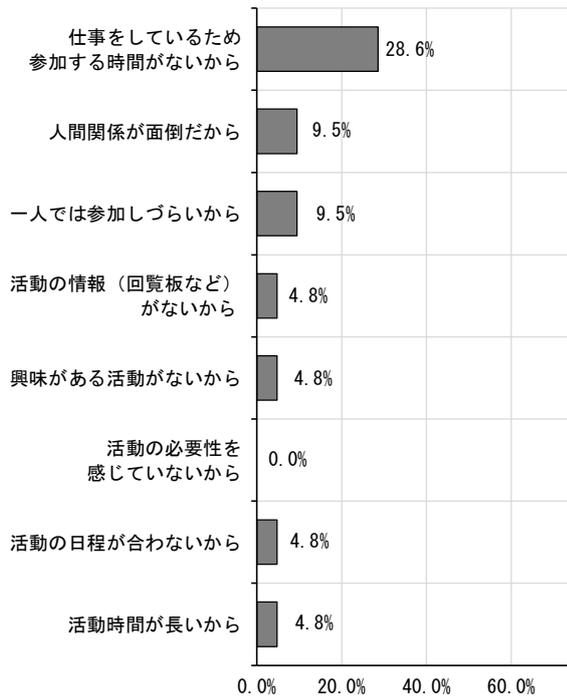
<見付地区>



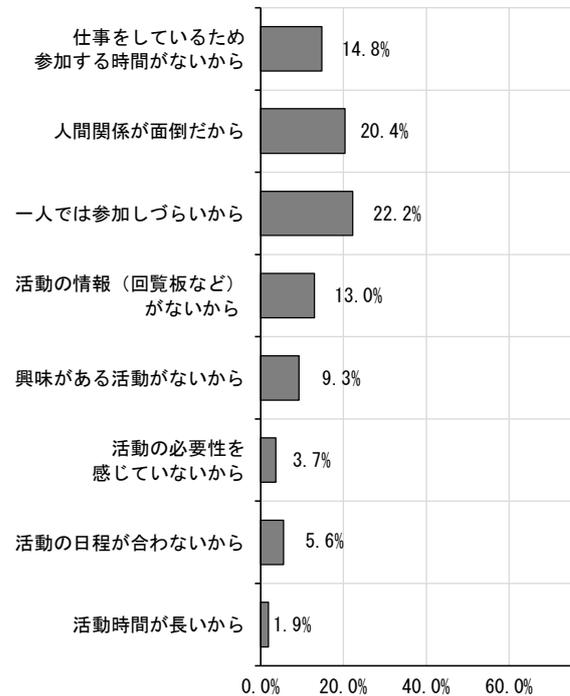
<中泉・今之浦地区>



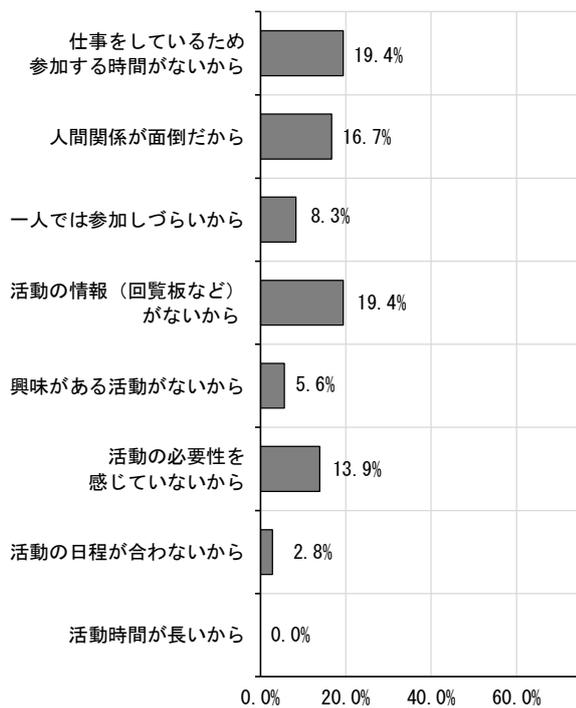
<岩田・大藤・向笠地区>



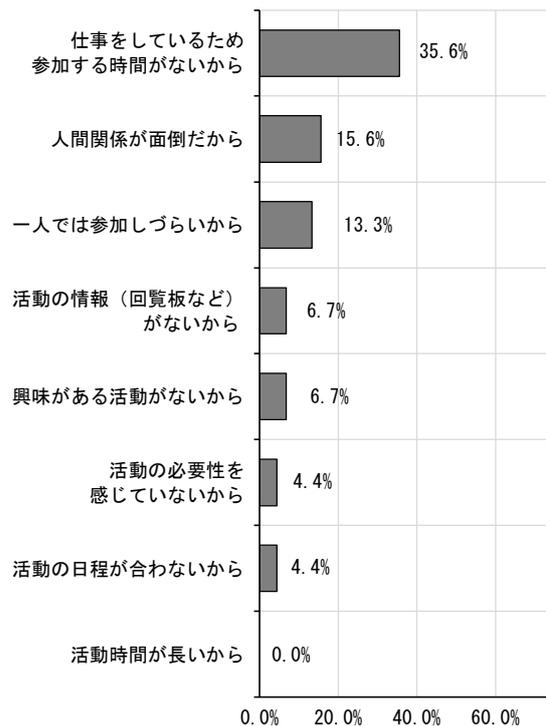
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



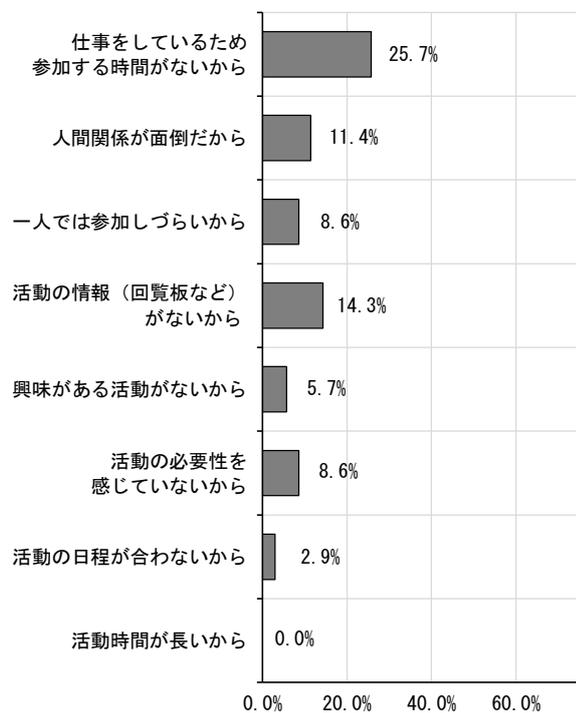
<天竜・長野・於保地区>



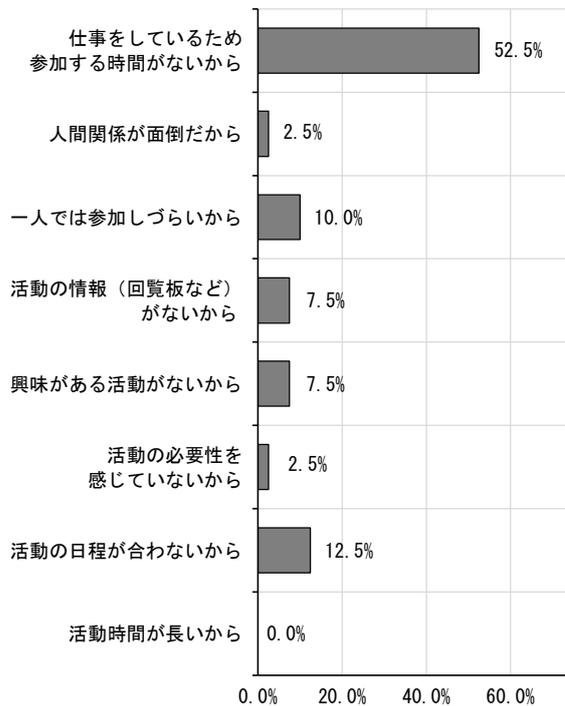
<福田地区>



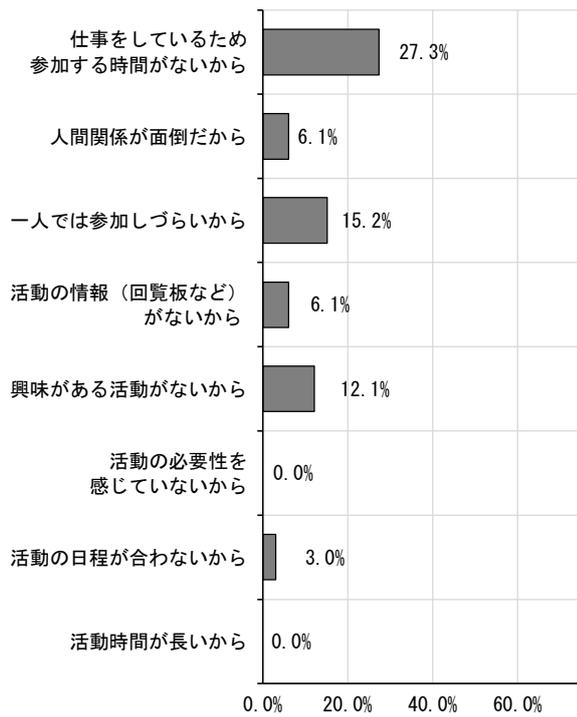
<竜洋地区>



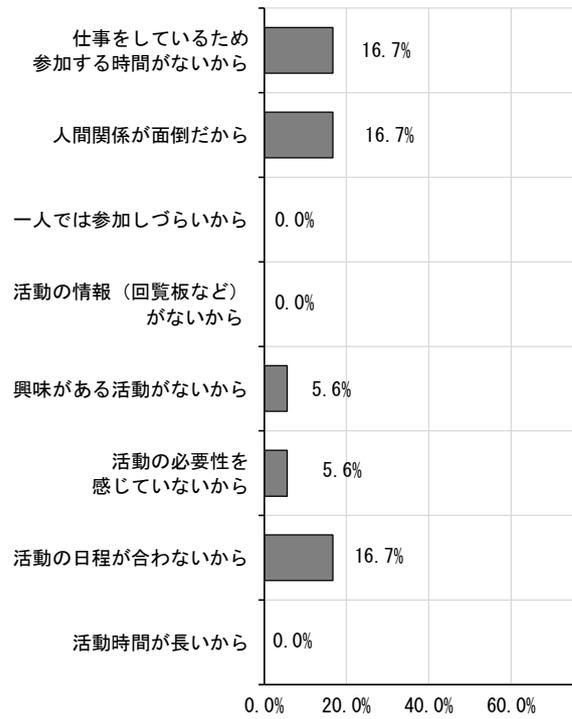
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



(4) 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきもの

問 16 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきものは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

地域活動をより活発にするための支援策は、

- ・「活動機会の情報提供」
- ・「活動に対する補助金・助成金」

■前回調査との比較

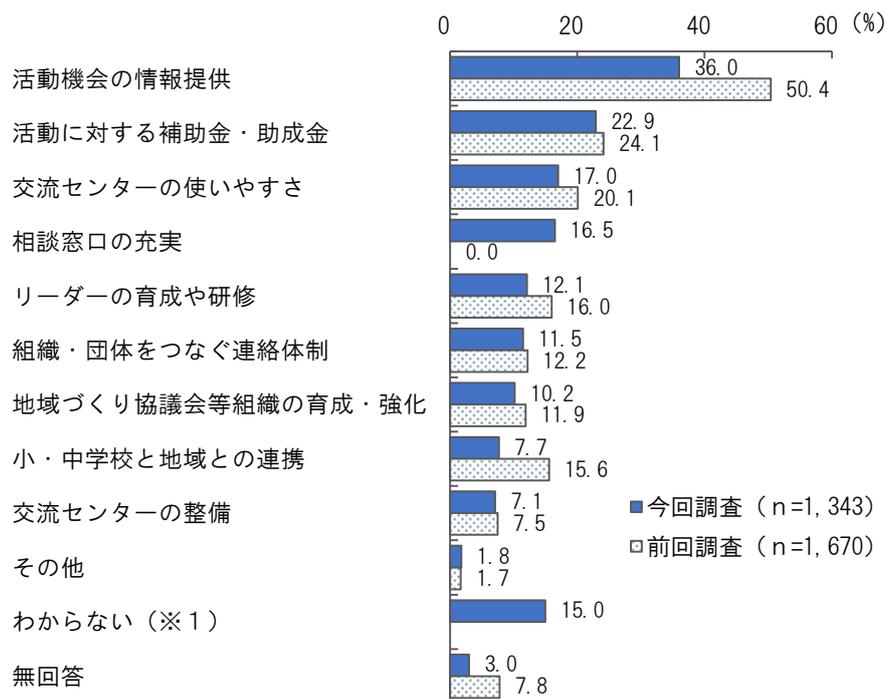
- ・「相談窓口の充実」が増加している
- ・「活動機会の情報提供」「小・中学校と地域との連携」が減少している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】すべての年代で「活動機会の情報提供」が最も多い

【居住地区別】複数の居住地区で「活動機会の情報提供」が最も多い



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「活動機会の情報提供」(36.0%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(22.9%)、「交流センターの使いやすさ」(17.0%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「相談窓口の充実」が16.5ポイント増加している。
- ・「活動機会の情報提供」が14.4ポイント、「小・中学校と地域との連携」が7.9ポイント、「リーダーの育成や研修」が3.9ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
- ・順位の差はあるが、上位4項目は男女とも同じ支援策となっている。
 - ・男性では「活動機会の情報提供」(34.3%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(25.8%)、「相談窓口の充実」(16.7%)となっている。
 - ・女性では「活動機会の情報提供」(38.2%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(20.6%)、「交流センターの使いやすさ」(19.0%)となっている。
- 【年代別】**
- ・すべての年代で「活動機会の情報提供」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・富岡・豊田東・池田地区では「活動に対する補助金・助成金」(28.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「活動機会の情報提供」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	相談窓口の充実	交流センターの使いやすさ	リーダーの育成や研修
	人数	219人	165人	107人	94人	92人
	割合	34.3%	25.8%	16.7%	14.7%	14.4%
女性	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	地域づくり協議会等組織の育成・強化
	人数	261人	141人	130人	113人	75人
	割合	38.2%	20.6%	19.0%	16.5%	11.0%

【年代別：上位5位のみ】

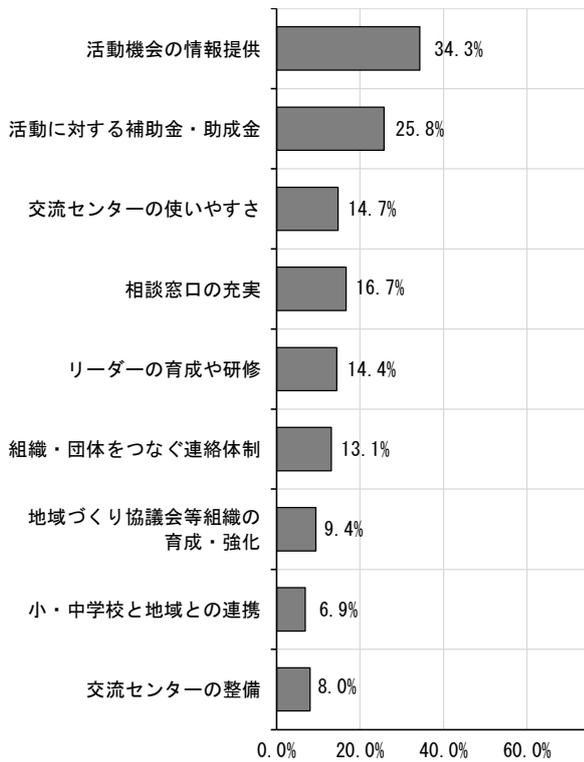
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	・小・中学校と地域との連携 ・組織・団体をつなぐ連絡体制
	人数	32人	21人	15人	12人	9人
	割合	41.6%	27.3%	19.5%	15.6%	11.7%
30歳代	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	小・中学校と地域との連携	相談窓口の充実	交流センターの使いやすさ
	人数	48人	35人	24人	20人	16人
	割合	38.4%	28.0%	19.2%	16.0%	12.8%
40歳代	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	リーダーの育成や研修
	人数	64人	48人	30人	26人	23人
	割合	36.2%	27.1%	16.9%	14.7%	13.0%
50歳代	理由	活動機会の情報提供	・相談窓口の充実 ・活動に対する補助金・助成金		組織・団体をつなぐ連絡体制	交流センターの使いやすさ
	人数	91人	49人		35人	33人
	割合	38.7%	20.9%		14.9%	14.0%
60歳代	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	地域づくり協議会等組織の育成・強化
	人数	103人	81人	49人	48人	34人
	割合	36.1%	28.4%	17.2%	16.8%	11.9%
70歳以上	理由	活動機会の情報提供	交流センターの使いやすさ	活動に対する補助金・助成金	リーダーの育成や研修	相談窓口の充実
	人数	142人	81人	73人	70人	65人
	割合	33.6%	19.2%	17.3%	16.6%	15.4%

【居住地区別：上位5位のみ】

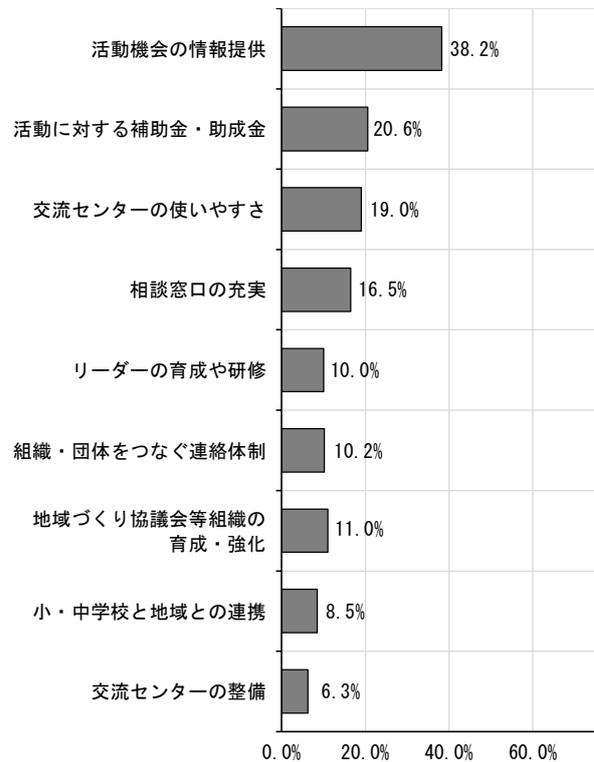
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	活動機会の情報提供	交流センターの使いやすさ	活動に対する補助金・助成金	相談窓口の充実	組織・団体をつなぐ連絡体制
	人数	74人	35人	33人	31人	27人
	割合	38.3%	18.1%	17.1%	16.1%	14.0%
中泉・今之浦地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	組織・団体をつなぐ連絡体制
	人数	76人	47人	42人	41人	25人
	割合	33.6%	20.8%	18.6%	18.1%	11.1%
岩田・大藤・向笠地区	理由	活動機会の情報提供	交流センターの使いやすさ	活動に対する補助金・助成金	リーダーの育成や研修	地域づくり協議会等組織の育成・強化
	人数	30人	16人	15人	13人	12人
	割合	38.5%	20.5%	19.2%	16.7%	15.4%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	リーダーの育成や研修
	人数	60人	31人	25人	19人	17人
	割合	42.6%	22.0%	17.7%	13.5%	12.1%
天竜・長野・於保地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	交流センターの使いやすさ	相談窓口の充実	リーダーの育成や研修
	人数	40人	30人	25人	21人	17人
	割合	34.8%	26.1%	21.7%	18.3%	14.8%
福田地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	相談窓口の充実	リーダーの育成や研修	・交流センターの使いやすさ ・地域づくり協議会等組織の育成・強化
	人数	49人	33人	27人	19人	15人
	割合	39.5%	26.6%	21.8%	15.3%	12.1%
竜洋地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	相談窓口の充実	交流センターの使いやすさ	組織・団体をつなぐ連絡体制
	人数	48人	34人	23人	21人	20人
	割合	35.8%	25.4%	17.2%	15.7%	14.9%
富岡・豊田東・池田地区	理由	活動に対する補助金・助成金	活動機会の情報提供	リーダーの育成や研修	相談窓口の充実	交流センターの使いやすさ
	人数	29人	27人	21人	18人	14人
	割合	28.7%	26.7%	20.8%	17.8%	13.9%
井通地区・青城地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	組織・団体をつなぐ連絡体制	・相談窓口の充実 ・交流センターの使いやすさ	
	人数	46人	29人	19人		18人
	割合	39.0%	24.6%	16.1%		15.3%
豊岡地区	理由	活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	相談窓口の充実	地域づくり協議会等組織の育成・強化	交流センターの使いやすさ
	人数	28人	23人	15人	11人	10人
	割合	35.0%	28.8%	18.8%	13.8%	12.5%

【属性別（性別）】

<男性>

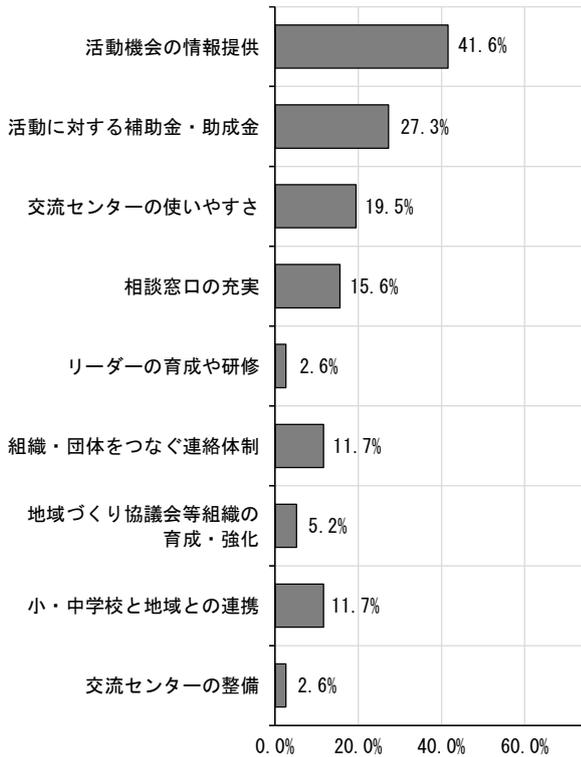


<女性>

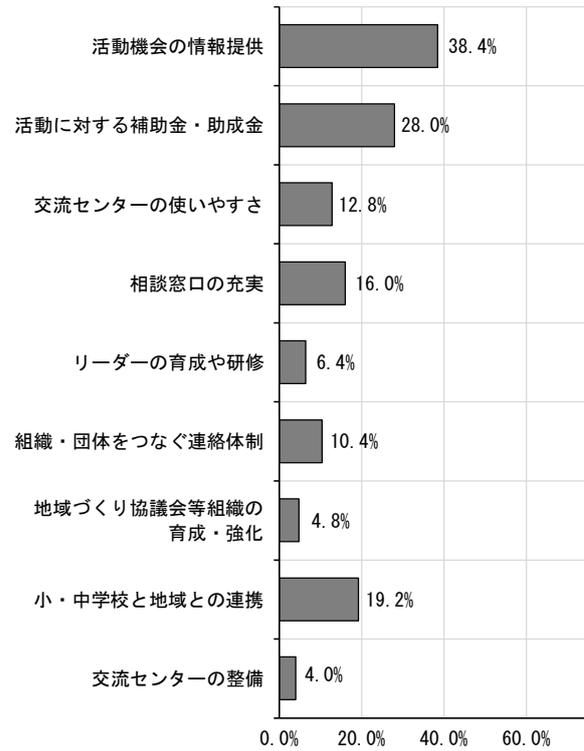


【属性別（年代別）】

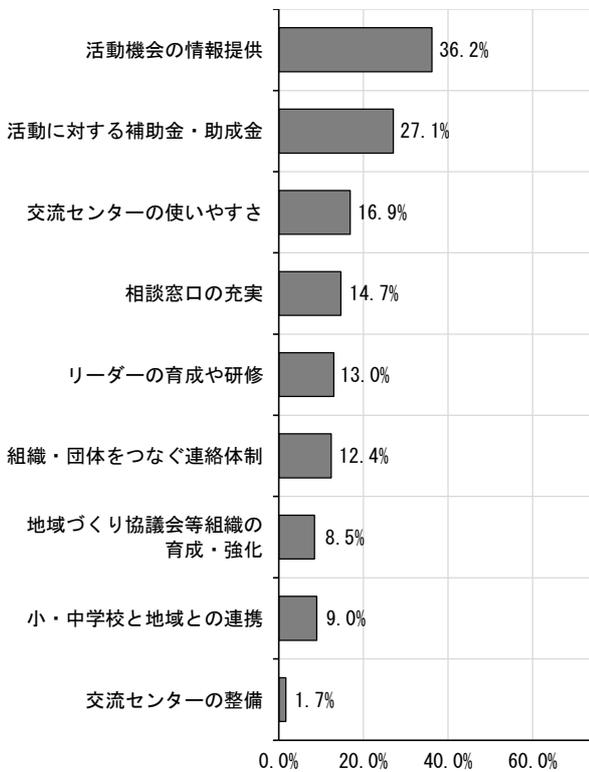
<30 歳未満>



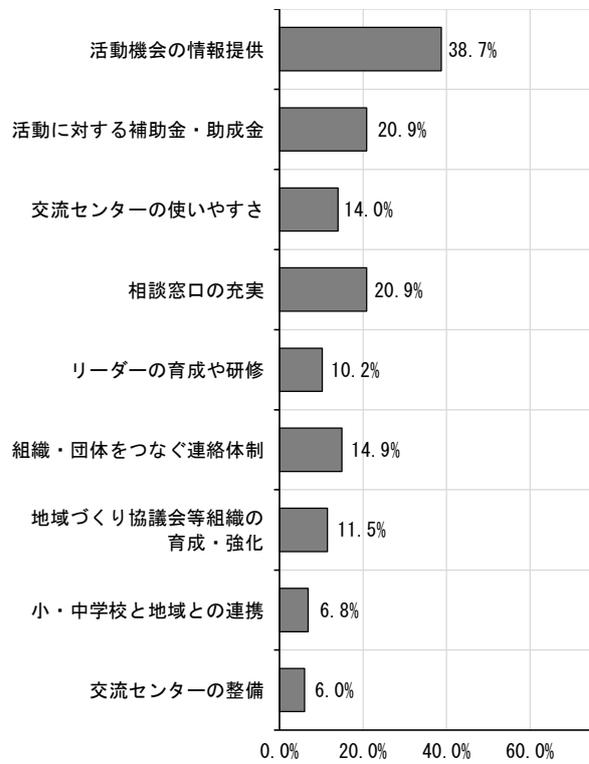
<30 歳代>



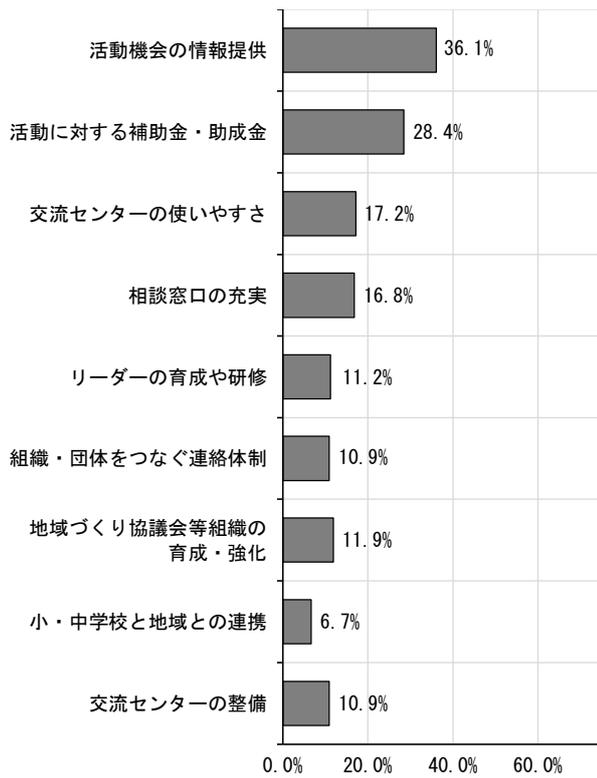
<40 歳代>



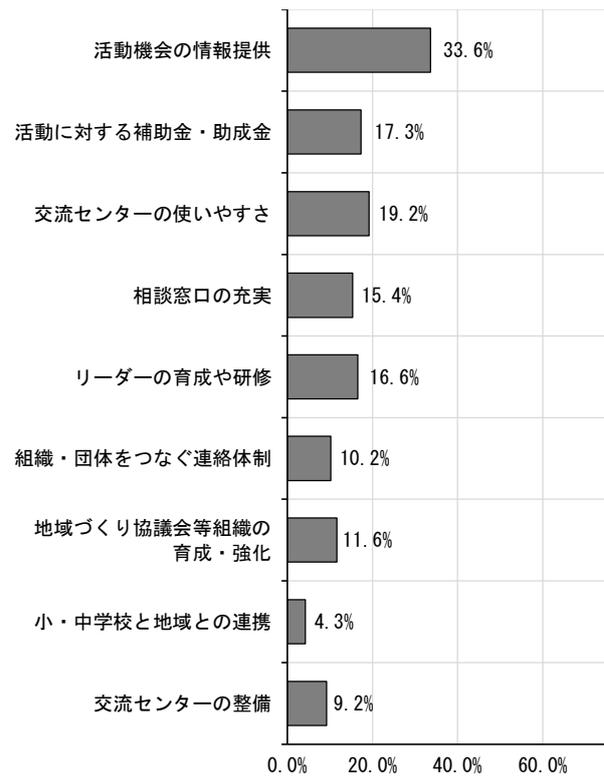
<50 歳代>



<60 歳代>

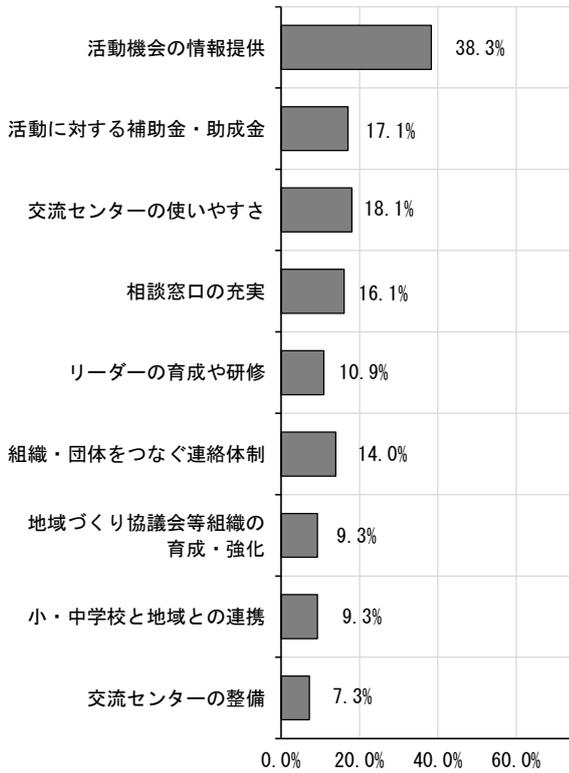


<70 歳以上>

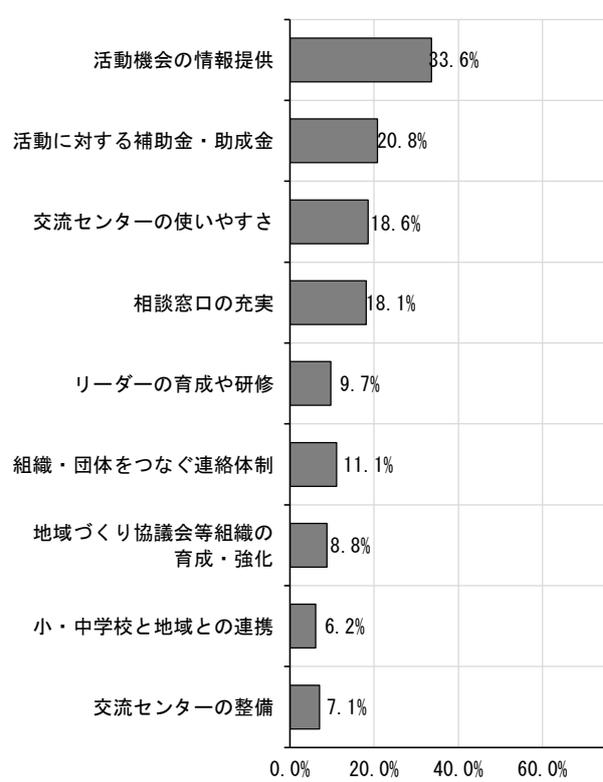


【属性別（居住地区別）】

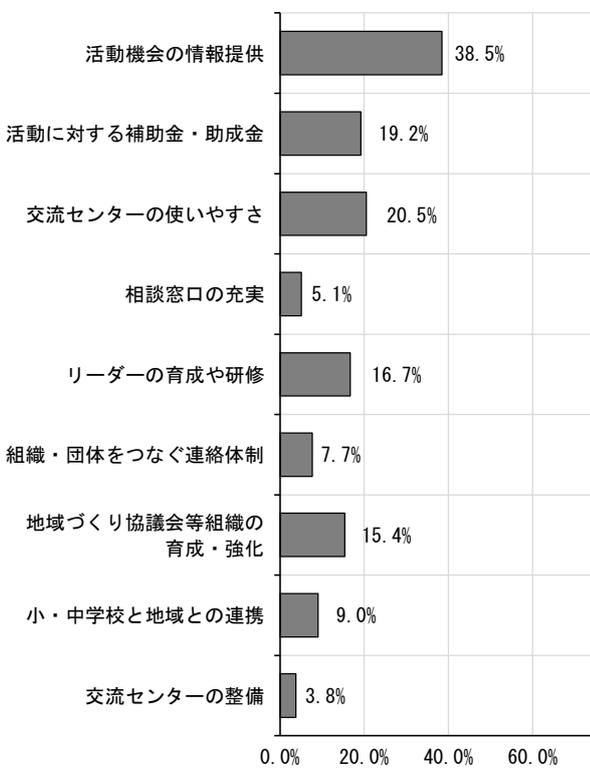
<見付地区>



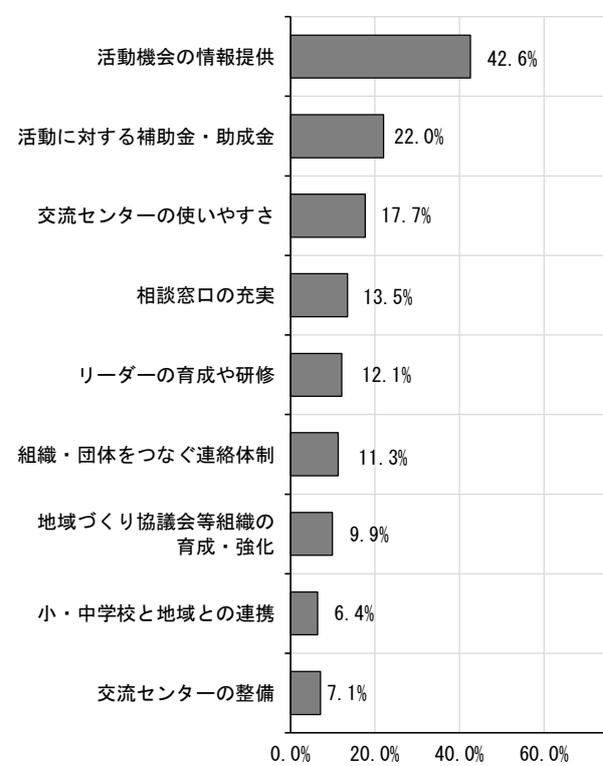
<中泉・今之浦地区>



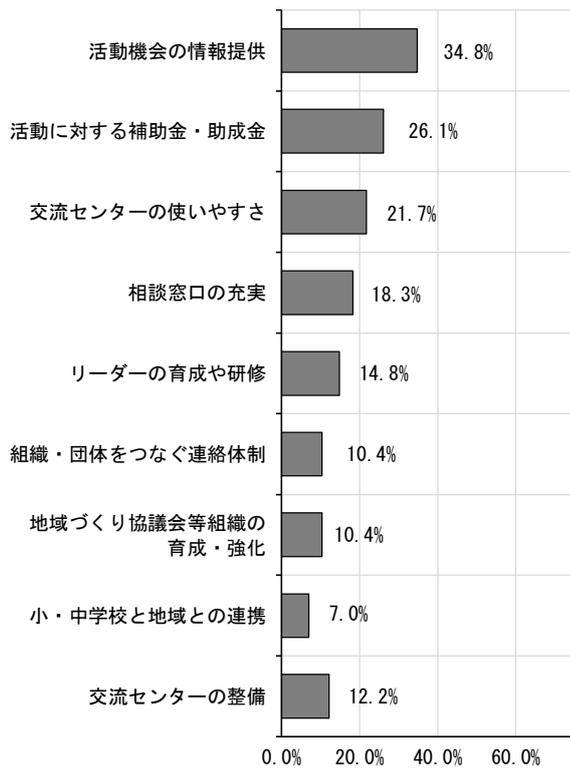
<岩田・大藤・向笠地区>



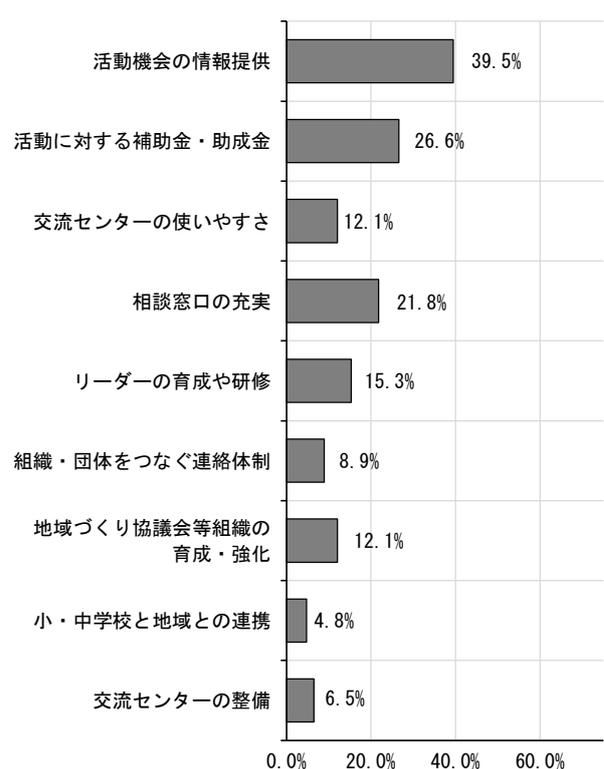
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



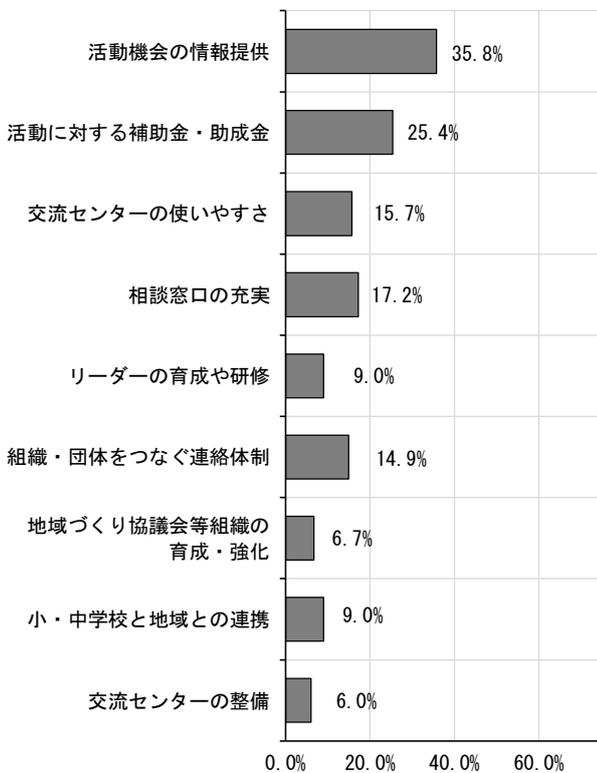
<天竜・長野・於保地区>



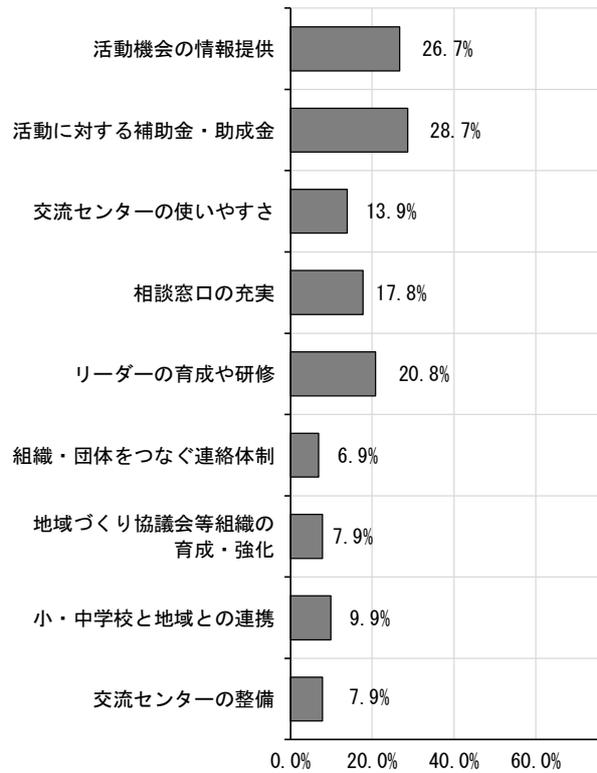
<福田地区>



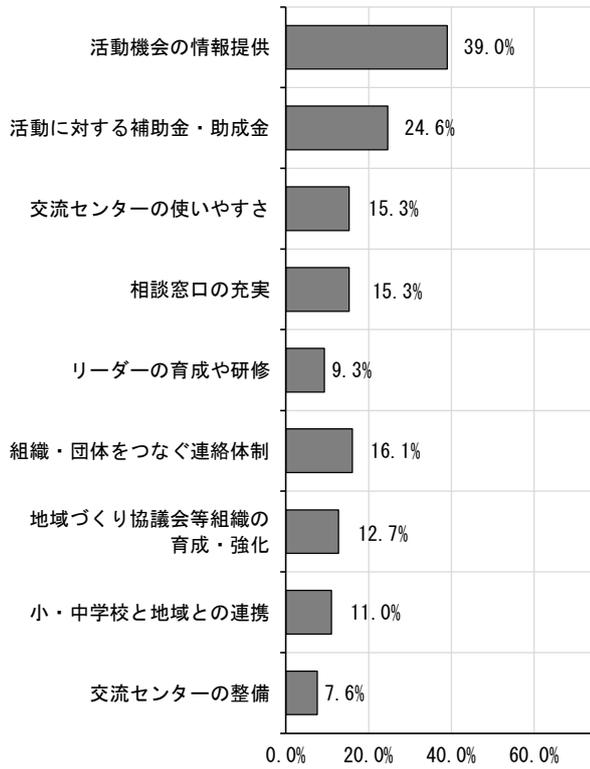
<竜洋地区>



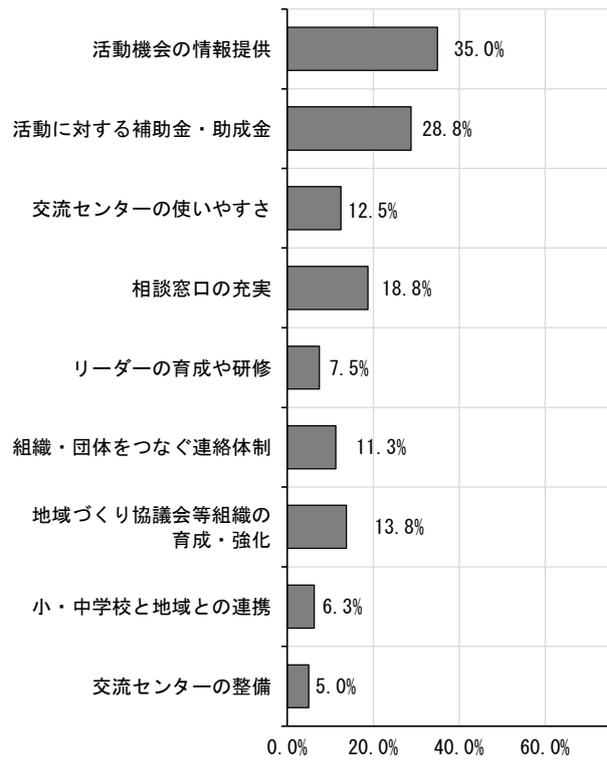
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



5. 福祉について

(1) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきもの

問 17 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきものは何だと思
いますか？ <○印を2つまで>

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために優先すべきものは、

- ・「公共交通など移動手段の確保」
- ・「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」

■前回調査との比較

- ・「公共交通など移動手段の確保」「身近なところでの相談窓口の充実」が増加している
- ・「保育サービスなどの子育て支援の充実」「高齢者の生きがいがづくり」が減少している

■傾 向

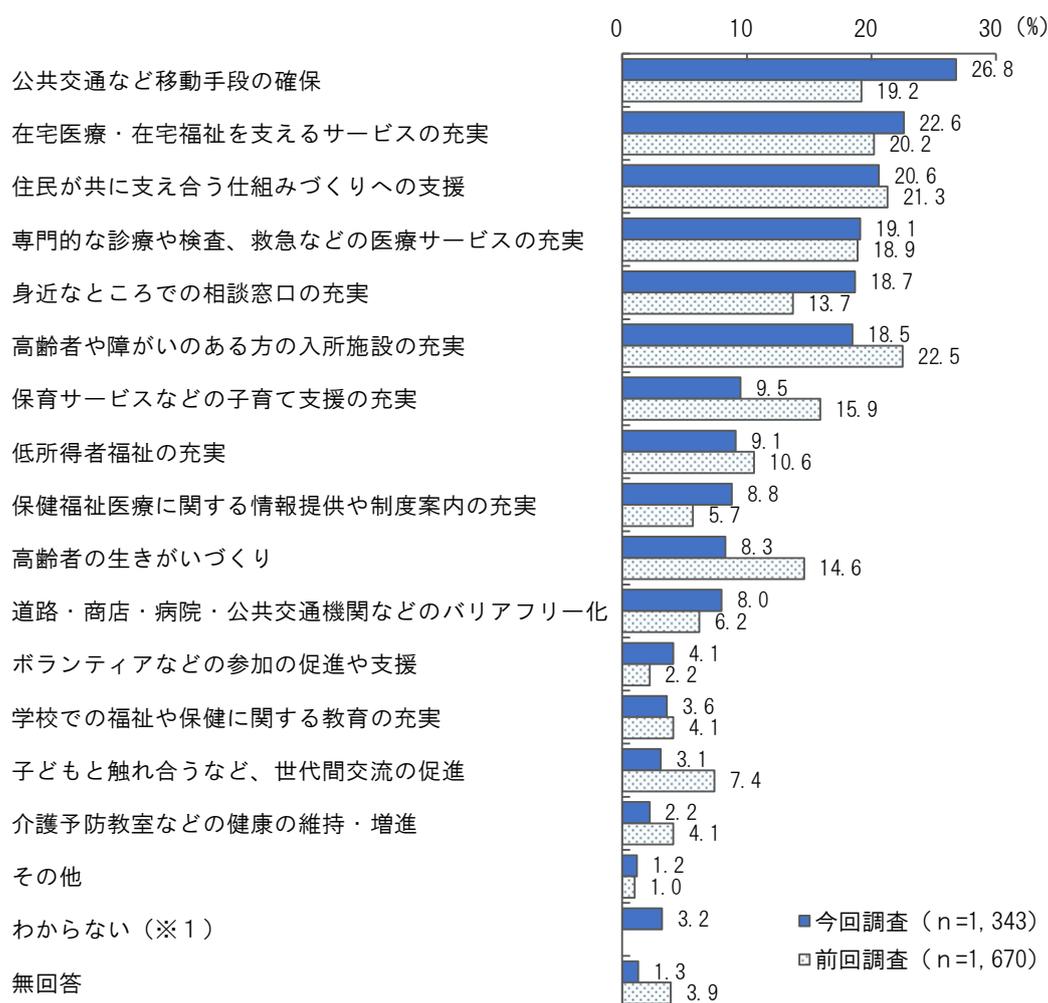
【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「公共交通など移動手段の確保」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「公共交通など移動手段の確保」
- ・「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「公共交通など移動手段の確保」(26.8%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.6%)、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(20.6%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「公共交通など移動手段の確保」が7.6ポイント、「身近なところでの相談窓口の充実」が5.0ポイント増加している。
- ・「保育サービスなどの子育て支援の充実」が6.4ポイント「高齢者の生きがいづくり」が6.3ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
- ・男性では「公共交通など移動手段の確保」(23.9%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.2%)、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(21.8%)となっている。
- ・女性では「公共交通など移動手段の確保」(29.6%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.8%)、「高齢者や障がいのある方の入所施設の充実」(20.2%)となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、40歳代、50歳代、70歳以上では「公共交通など移動手段の確保」が最も多い。
- ・30歳代では「専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実」(30.4%)が最も多い。
- ・60歳代では「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(28.1%)が最も多い。

【居住地区別】

- ・中泉・今之浦地区、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区では「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」が最も多い。
- ・岩田・大藤・向笠地区では「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」「公共交通など移動手段の確保」(それぞれ26.9%)が最も多い。
- ・それ以外の居住地区では「公共交通など移動手段の確保」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	身近なところでの相談窓口の充実	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実
	人数	153人	142人	139人	132人	128人
	割合	23.9%	22.2%	21.8%	20.7%	20.0%
女性	理由	公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実
	人数	202人	156人	138人	132人	126人
	割合	29.6%	22.8%	20.2%	19.3%	18.4%

【年代別：上位5位のみ】

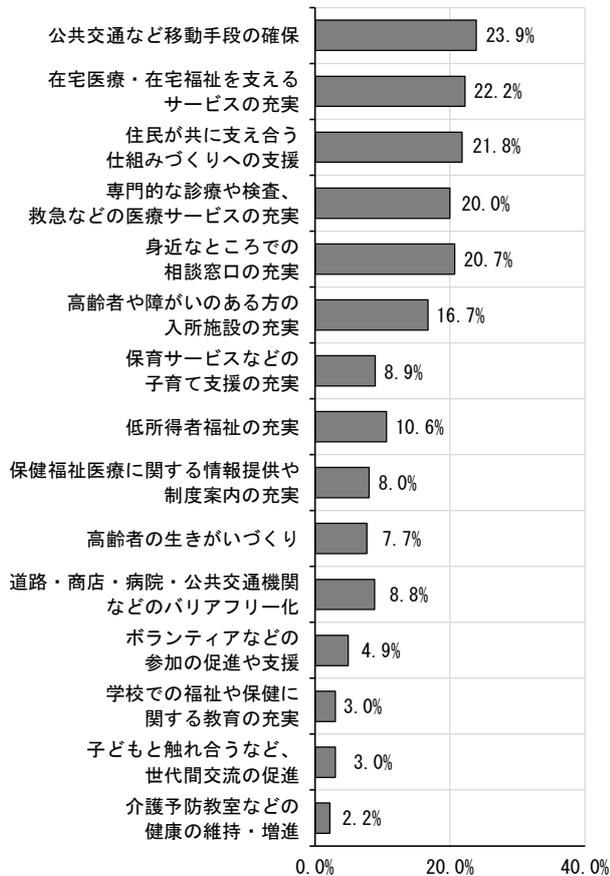
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	公共交通など移動手段の確保	身近なところでの相談窓口の充実	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	・在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実 ・保育サービスなどの子育て支援の充実	
	人数	25人	17人	15人	13人	
	割合	32.5%	22.1%	19.5%	16.9%	
30歳代	理由	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	・保育サービスなどの子育て支援の充実 ・公共交通など移動手段の確保		身近なところでの相談窓口の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援
	人数	38人	32人		24人	22人
	割合	30.4%	25.6%		19.2%	17.6%
40歳代	理由	公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援
	人数	54人	47人	40人	35人	26人
	割合	30.5%	26.6%	22.6%	19.8%	14.7%
50歳代	理由	公共交通など移動手段の確保	・身近なところでの相談窓口の充実 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実		在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実
	人数	58人	52人		48人	46人
	割合	24.7%	22.1%		20.4%	19.6%
60歳代	理由	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	公共交通など移動手段の確保	・身近なところでの相談窓口の充実 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	
	人数	80人	66人	65人	54人	
	割合	28.1%	23.2%	22.8%	18.9%	
70歳以上	理由	公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	身近なところでの相談窓口の充実
	人数	122人	102人	99人	97人	66人
	割合	28.9%	24.2%	23.5%	23.0%	15.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

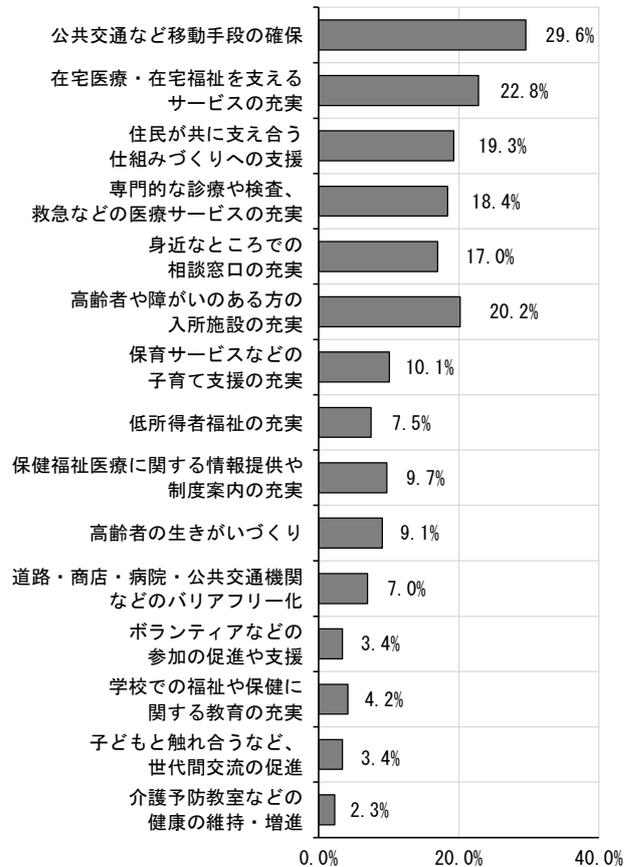
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	・身近なところでの相談窓口の充実 ・専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	
	人数	48人	44人	43人	37人	
	割合	24.9%	22.8%	22.3%	19.2%	
中泉・今之浦地区	理由	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実	・専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実 ・公共交通など移動手段の確保	・住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	
	人数	58人	52人	46人		41人
	割合	25.7%	23.0%	20.4%		18.1%
岩田・大藤・向笠地区	理由	・住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 ・公共交通など移動手段の確保	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実	・専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実 ・保育サービスなどの子育て支援の充実	
	人数	21人		17人	14人	11人
	割合	26.9%		21.8%	17.9%	14.1%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	公共交通など移動手段の確保	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実
	人数	45人	29人	26人	24人	23人
	割合	31.9%	20.6%	18.4%	17.0%	16.3%
天竜・長野・於保地区	理由	公共交通など移動手段の確保	高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	・住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 ・身近なところでの相談窓口の充実 ・専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	
	人数	38人	28人	23人	20人	
	割合	33.0%	24.3%	20.0%	17.4%	
福田地区	理由	公共交通など移動手段の確保	・住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 ・在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実 ・低所得者福祉の充実		
	人数	34人	30人			23人
	割合	27.4%	24.2%			18.5%
竜洋地区	理由	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	公共交通など移動手段の確保	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	・身近なところでの相談窓口の充実 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	
	人数	38人	34人	28人	27人	
	割合	28.4%	25.4%	20.9%	20.1%	
富岡・豊田東・池田地区	理由	在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実	公共交通など移動手段の確保	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援
	人数	29人	25人	22人	20人	19人
	割合	28.7%	24.8%	21.8%	19.8%	18.8%
井通地区・青城地区	理由	公共交通など移動手段の確保	高齢者や障がいのある方の入所施設の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実
	人数	31人	29人	26人	23人	22人
	割合	26.3%	24.6%	22.0%	19.5%	18.6%
豊岡地区	理由	公共交通など移動手段の確保	専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実	身近なところでの相談窓口の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	・在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実 ・高齢者や障がいのある方の入所施設の充実
	人数	31人	23人	17人	16人	11人
	割合	38.8%	28.8%	21.3%	20.0%	13.8%

【属性別（性別）】

<男性>

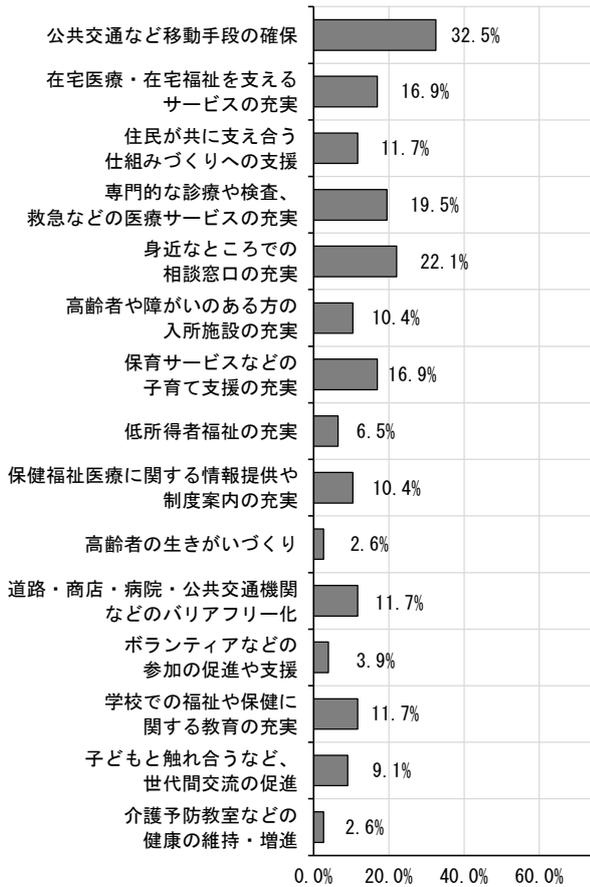


<女性>

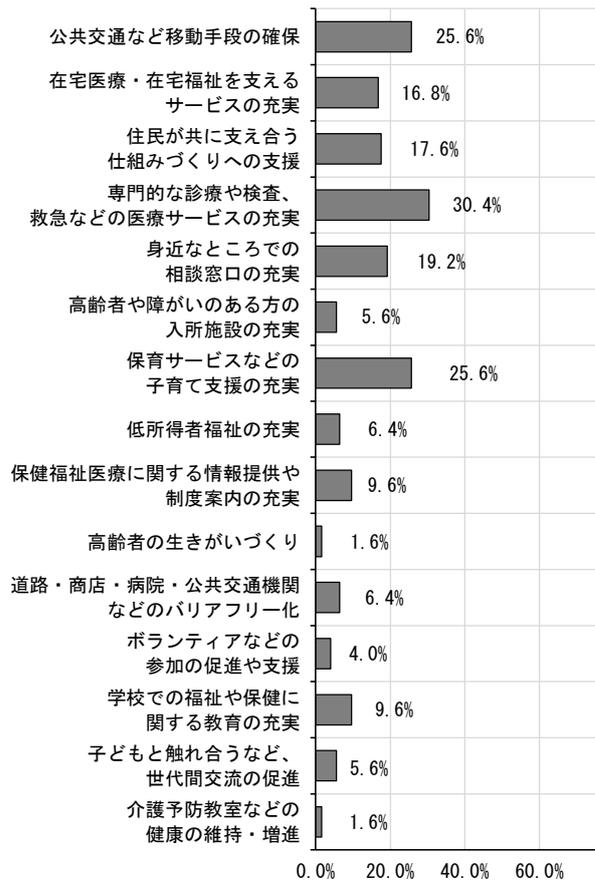


【属性別（年代別）】

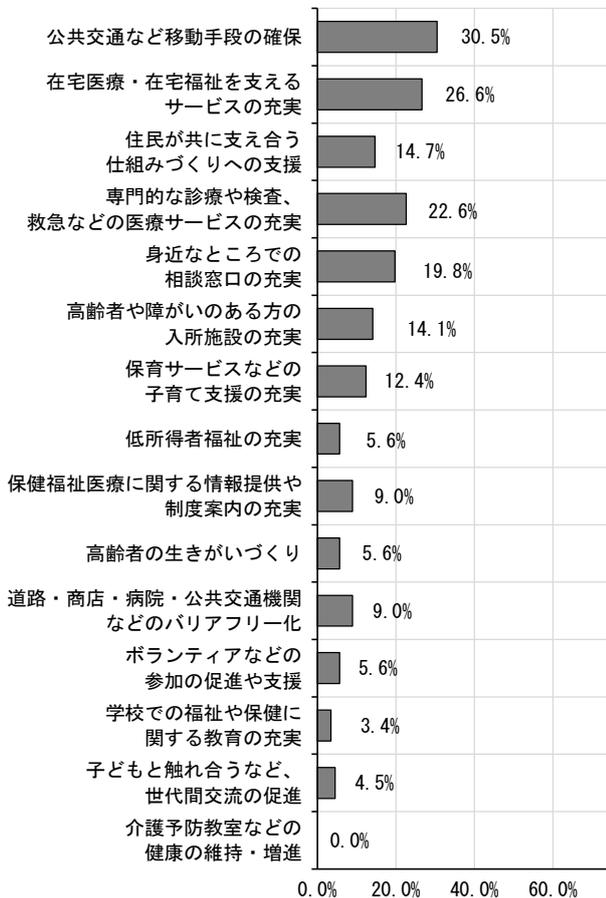
<30 歳未満>



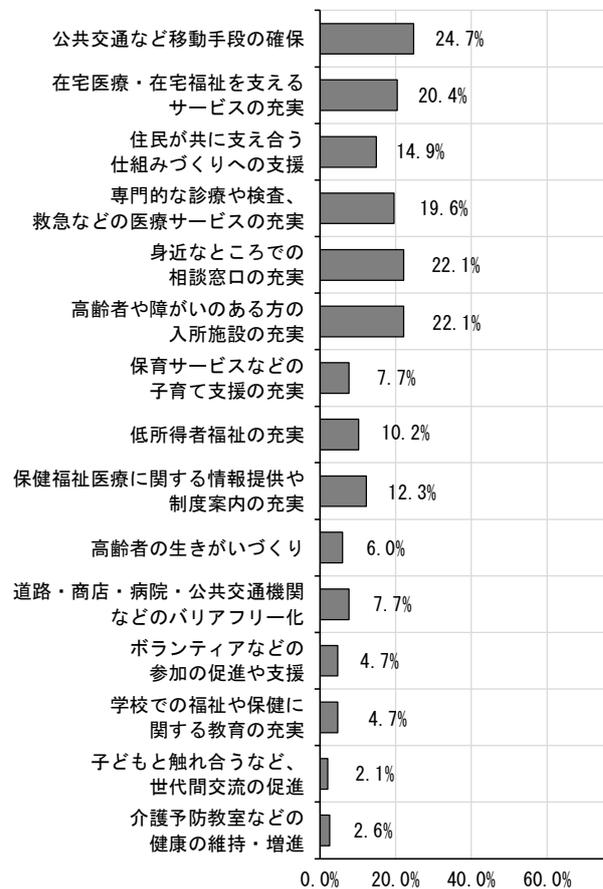
<30 歳代>



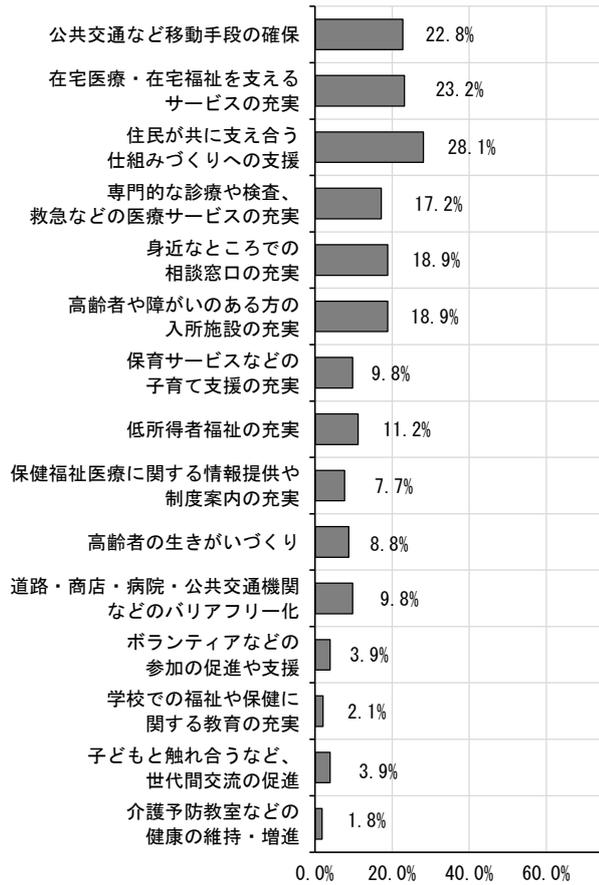
<40 歳代>



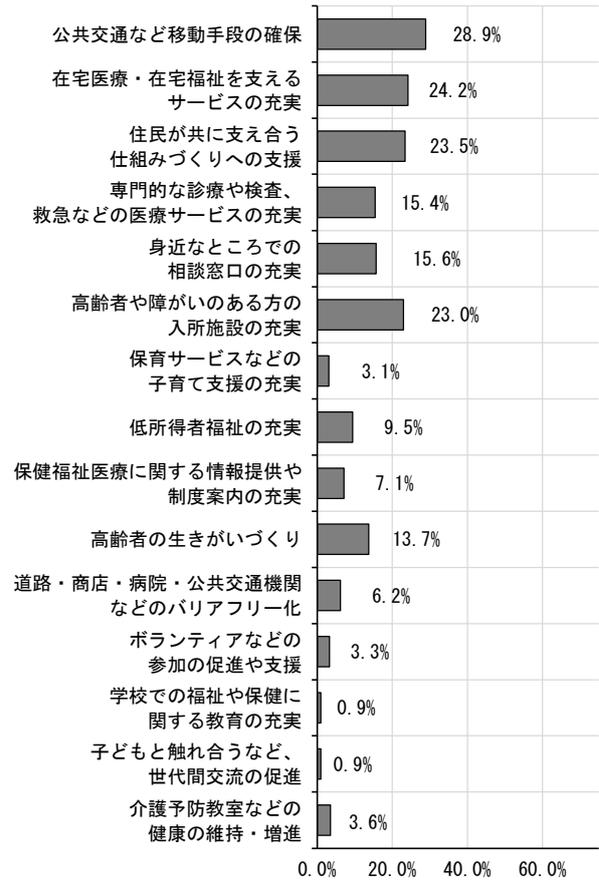
<50 歳代>



<60 歳代>

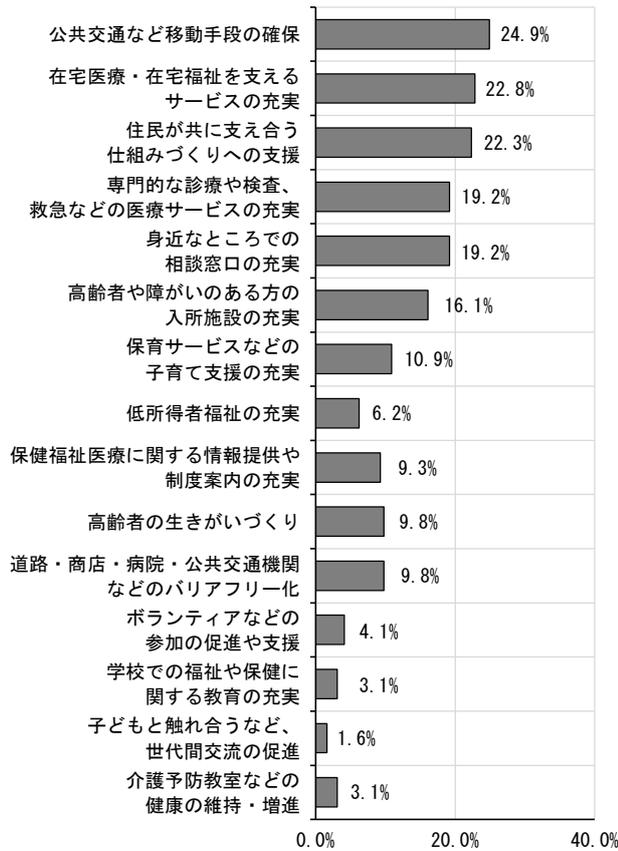


<70 歳以上>

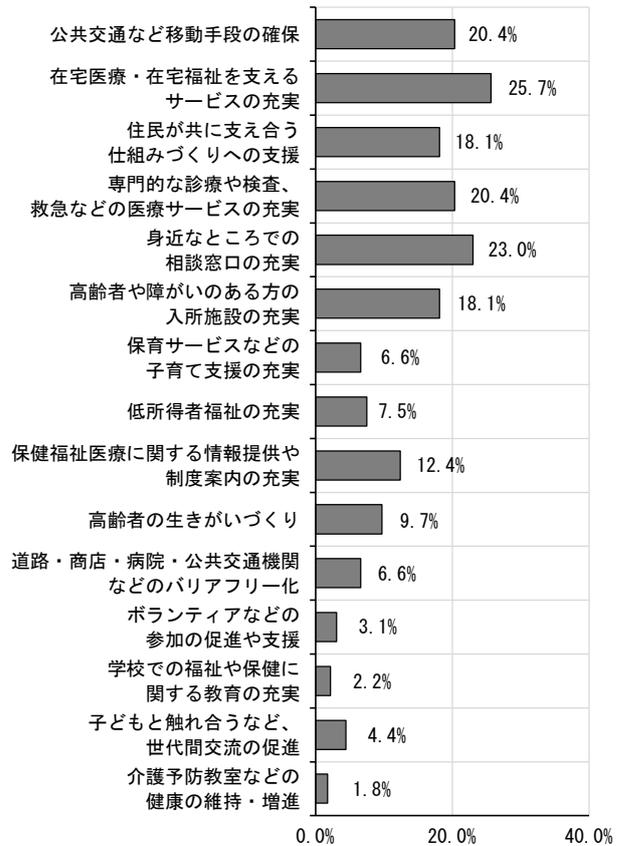


【属性別（居住地区別）】

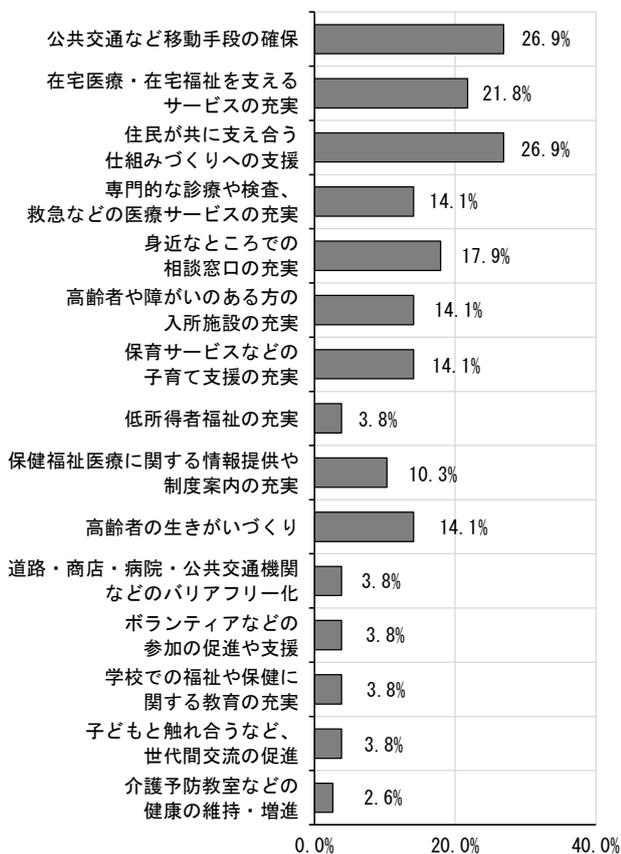
<見付地区>



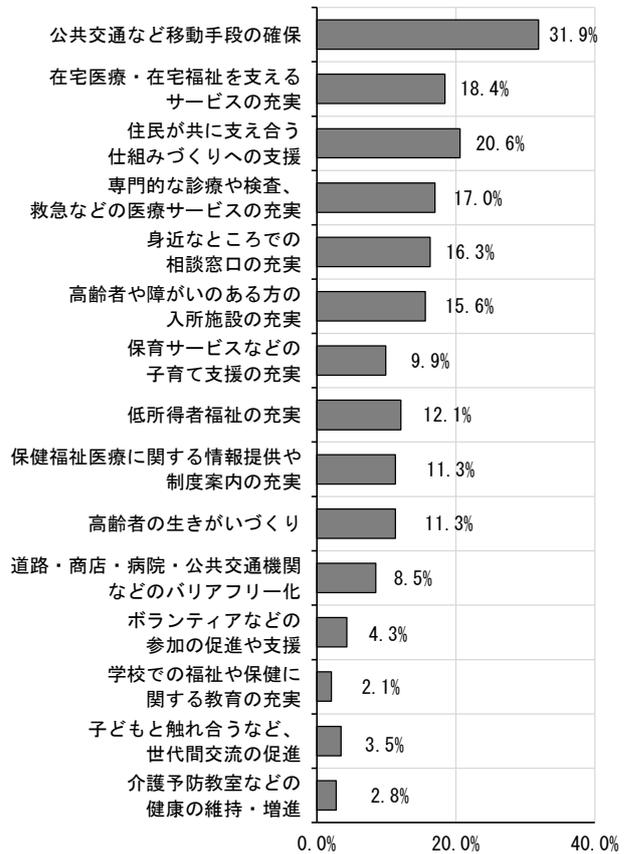
<中泉・今之浦地区>



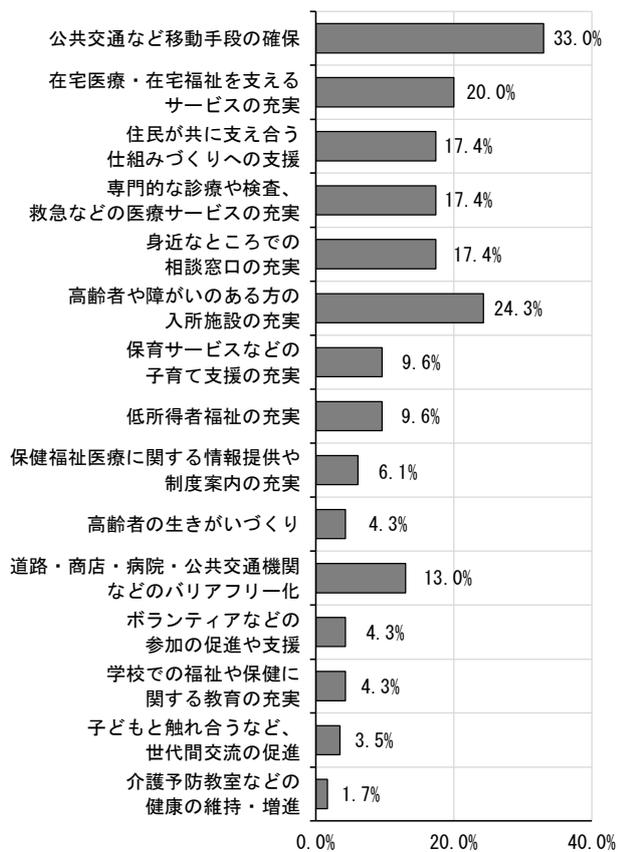
<岩田・大藤・向笠地区>



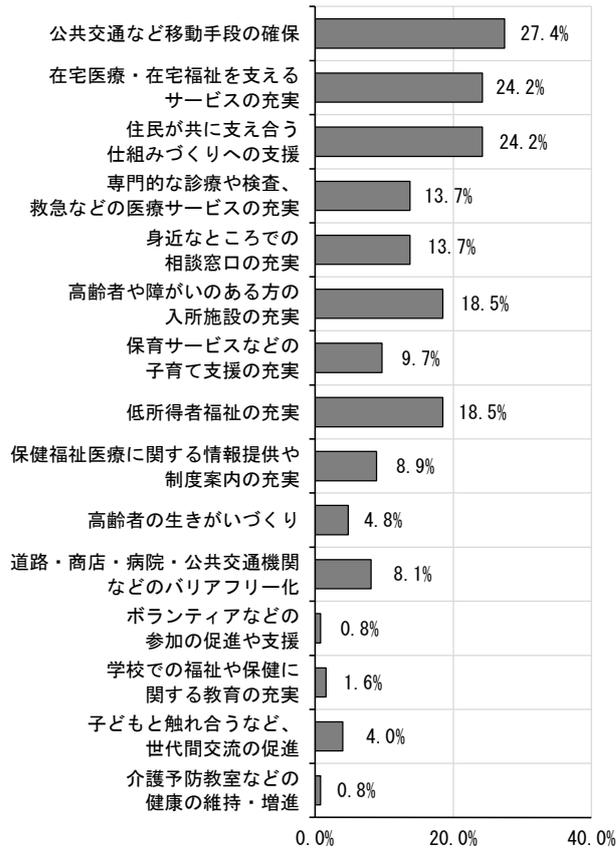
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



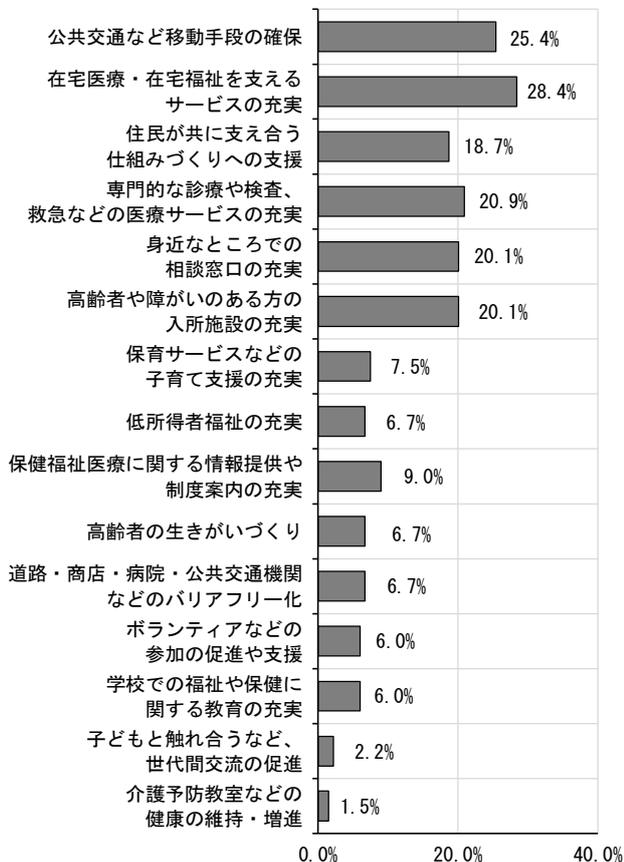
<天竜・長野・於保地区>



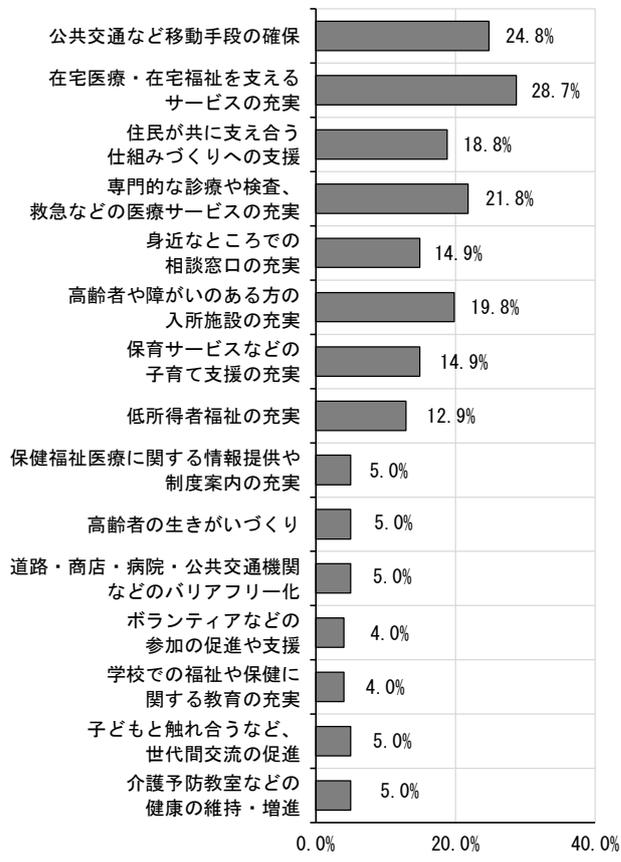
<福田地区>



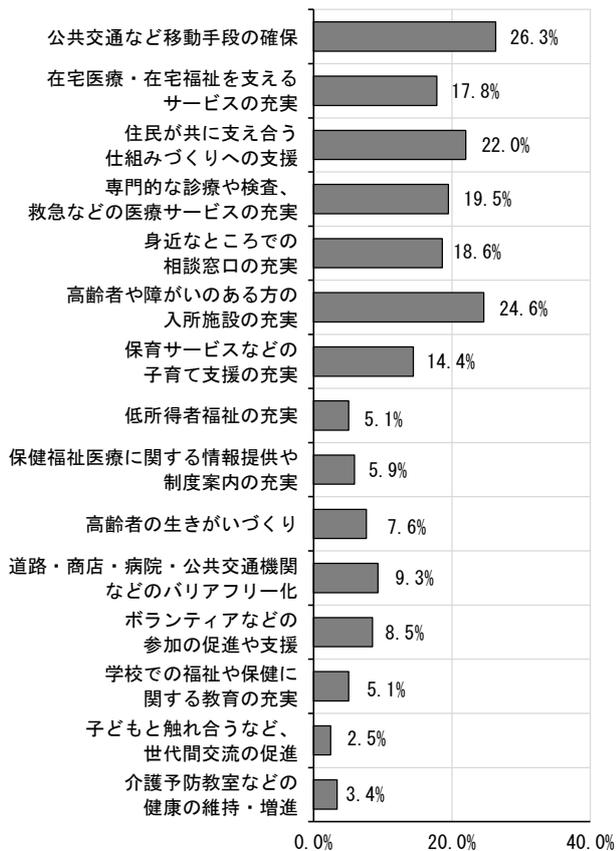
<竜洋地区>



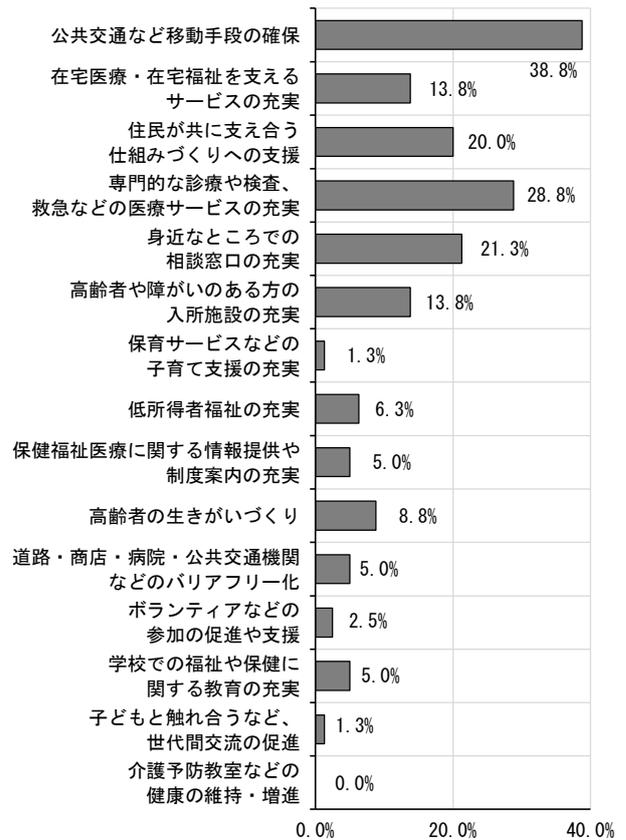
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



6. 子育て・教育について

(1) 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきもの

問18 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきものは何だと思いませんか？

<○印を2つまで>

安心して子どもを産み育てるために優先すべきものは、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」

■前回調査との比較

- ・「子育てに関する情報提供や相談体制の充実」が増加している
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」「公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備」「産科・小児科医療の充実」が減少している

■傾向

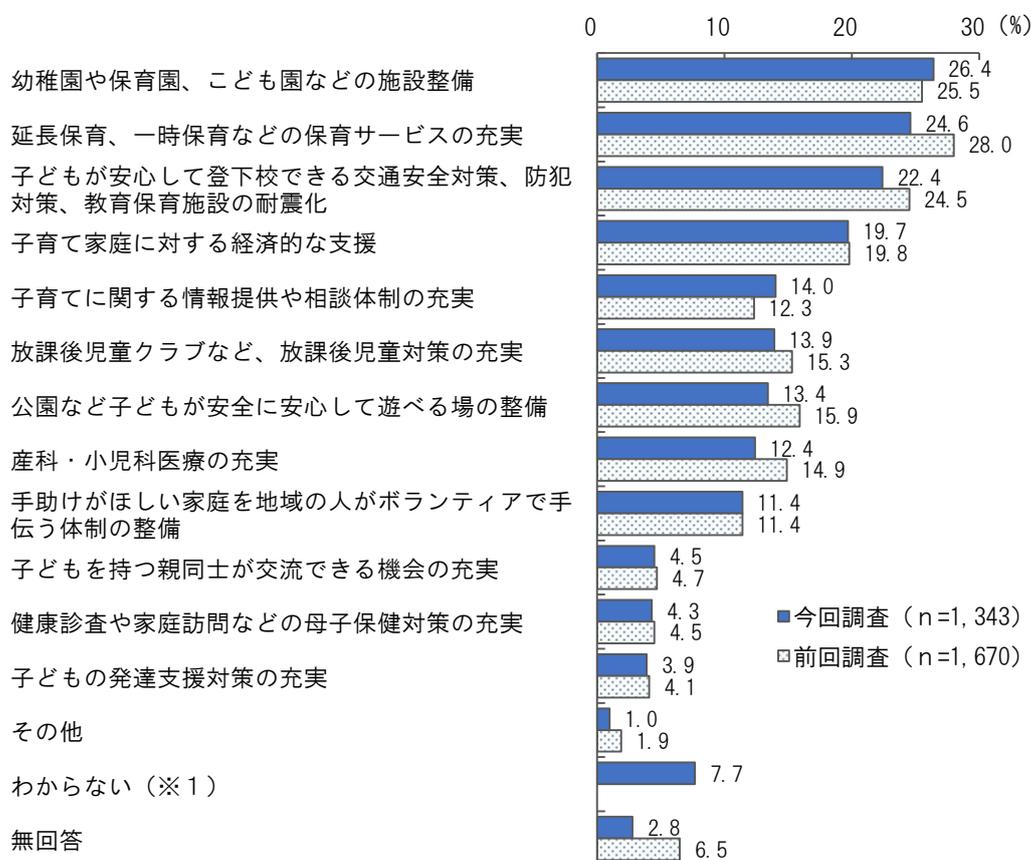
【性別】 順位の違いはあるが、上位4項目は同じ項目

【年代別】 複数の年代で最も多い項目は、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」

【居住地区別】 複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(26.4%)が最も多く、次いで「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(24.6%)、「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(22.4%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「子育てに関する情報提供や相談体制の充実」が1.7ポイント増加している。
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が3.4ポイント、「公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備」「産科・小児科医療の充実」がそれぞれ2.5ポイント減少している。

■傾 向

- 【性別】**
- ・男性では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(32.6%)が最も多く、次いで「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(25.4%)、「子育て家庭に対する経済的な支援」(23.3%)となっている。
 - ・女性では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(24.3%)が最も多く、次いで「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(23.0%)、「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(21.2%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、60歳代では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」が最も多い。
 - ・30歳代では「子育て家庭に対する経済的な支援」(36.0%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が最も多い。
 - ・70歳以上では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(25.6%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、竜洋地区では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が最も多い。
 - ・天竜・長野・於保地区では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(28.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	子育てに関する情報提供や相談体制の充実
	人数	208人	162人	149人	138人	87人
	割合	32.6%	25.4%	23.3%	21.6%	13.6%
女性	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子育て家庭に対する経済的な支援	放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
	人数	166人	157人	145人	113人	112人
	割合	24.3%	23.0%	21.2%	16.5%	16.4%

【年代別：上位5位のみ】

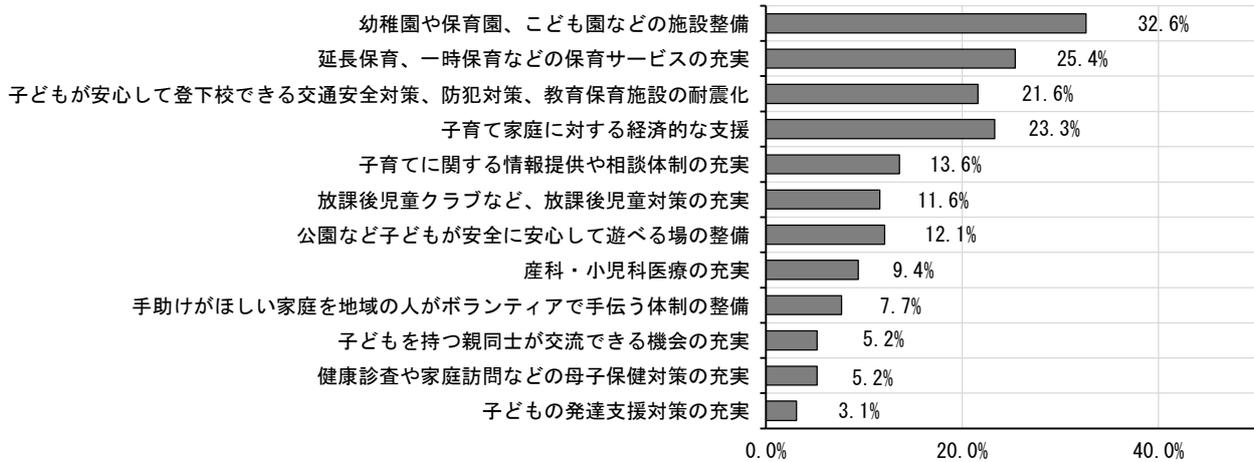
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子育て家庭に対する経済的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 ・子育てに関する情報提供や相談体制の充実 ・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 		
	人数	35人	30人	13人		
	割合	45.5%	39.0%	16.9%		
30歳代	理由	子育て家庭に対する経済的な支援	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備
	人数	45人	41人	28人	27人	25人
	割合	36.0%	32.8%	22.4%	21.6%	20.0%
40歳代	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備
	人数	49人	46人	38人	36人	29人
	割合	27.7%	26.0%	21.5%	20.3%	16.4%
50歳代	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭に対する経済的な支援 ・手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝える体制の整備 	
	人数	74人	53人	51人	39人	
	割合	31.5%	22.6%	21.7%	16.6%	
60歳代	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	子育て家庭に対する経済的な支援	子育てに関する情報提供や相談体制の充実
	人数	85人	75人	57人	56人	48人
	割合	29.8%	26.3%	20.0%	19.6%	16.8%
70歳以上	理由	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育てに関する情報提供や相談体制の充実	放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
	人数	108人	103人	90人	61人	54人
	割合	25.6%	24.4%	21.3%	14.5%	12.8%

【居住地区別：上位5位のみ】

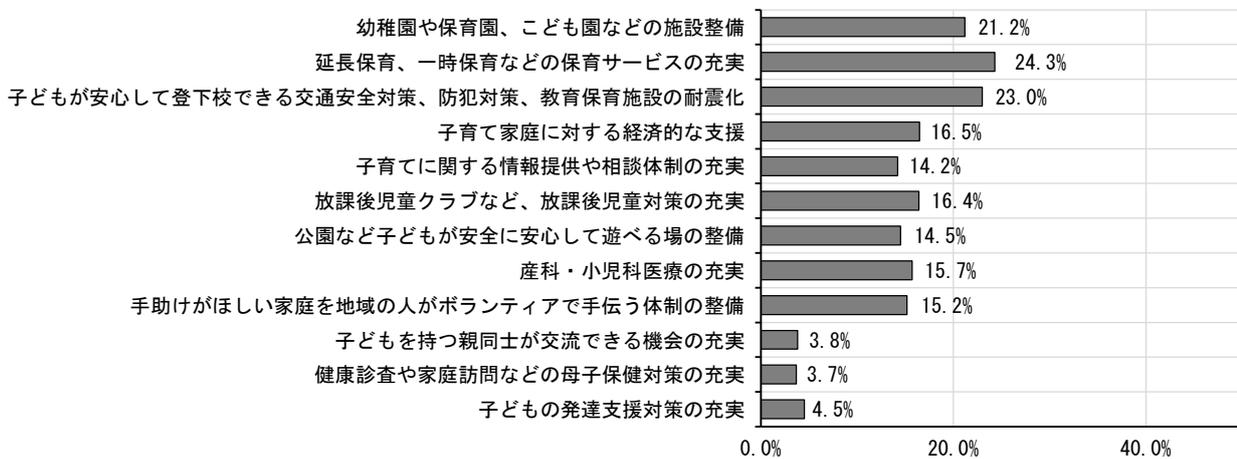
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 ・子育て家庭に対する経済的な支援		延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育てに関する情報提供や相談体制の充実
	人数 割合	57人 29.5%	42人 21.8%		36人 18.7%	33人 17.1%
中泉・今之浦地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	・延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 ・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化		子育てに関する情報提供や相談体制の充実	子育て家庭に対する経済的な支援
	人数 割合	63人 27.9%	52人 23.0%		40人 17.7%	34人 15.0%
岩田・大藤・向笠地区	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	・子育て家庭に対する経済的な支援 ・産科・小児科医療の充実	
	人数 割合	23人 29.5%	19人 24.4%	18人 23.1%	13人 16.7%	
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子育て家庭に対する経済的な支援	子育てに関する情報提供や相談体制の充実
	人数 割合	42人 29.8%	37人 26.2%	34人 24.1%	32人 22.7%	20人 14.2%
天竜・長野・於保地区	理由	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
	人数 割合	33人 28.7%	28人 24.3%	22人 19.1%	21人 18.3%	18人 15.7%
福田地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	・延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 ・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化		公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備	子育て家庭に対する経済的な支援
	人数 割合	34人 27.4%		27人 21.8%	24人 19.4%	21人 16.9%
竜洋地区	理由	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備
	人数 割合	37人 27.6%	33人 24.6%	31人 23.1%	26人 19.4%	20人 14.9%
富岡・豊田東・池田地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化
	人数 割合	31人 30.7%	29人 28.7%	22人 21.8%	20人 19.8%	19人 18.8%
井通地区・青城地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育て家庭に対する経済的な支援	・公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 ・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	
	人数 割合	37人 31.4%	30人 25.4%	25人 21.2%		20人 16.9%
豊岡地区	理由	幼稚園や保育園、こども園などの施設整備	延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	・子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 ・子育て家庭に対する経済的な支援		放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
	人数 割合	22人 27.5%	21人 26.3%		19人 23.8%	14人 17.5%

【属性別（性別）】

<男性>

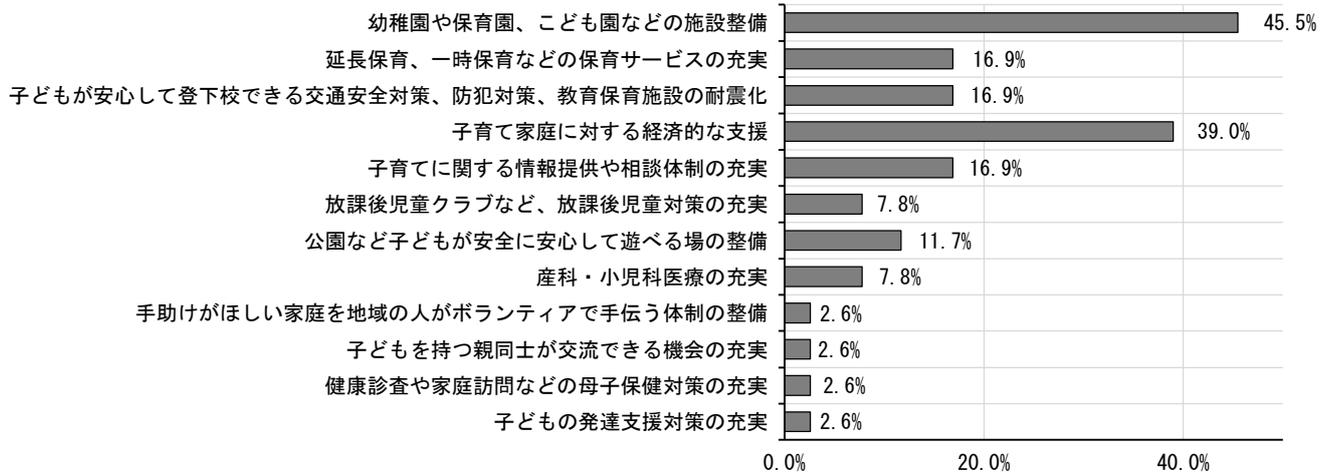


<女性>

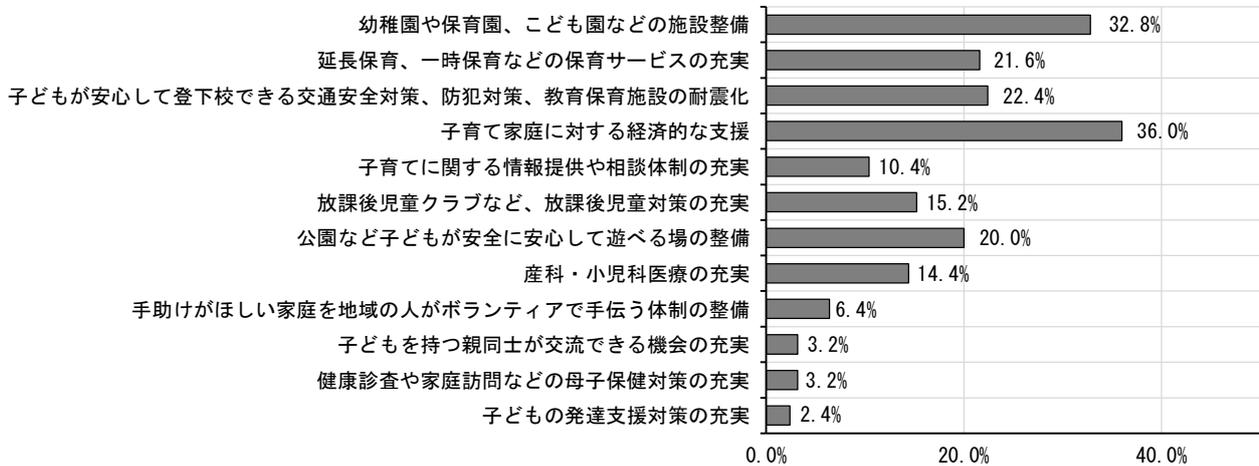


【属性別（年代別）】

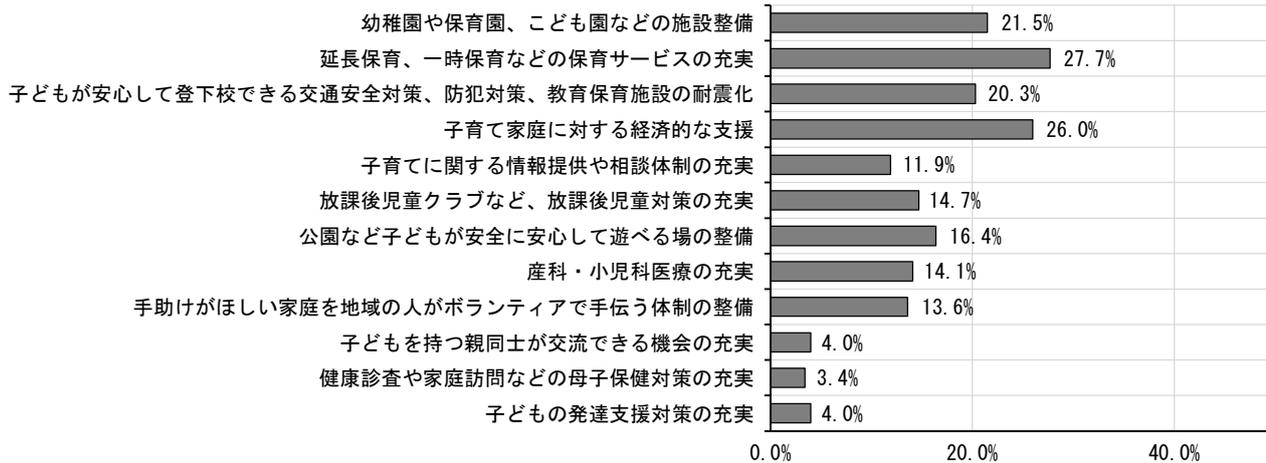
<30 歳未満>



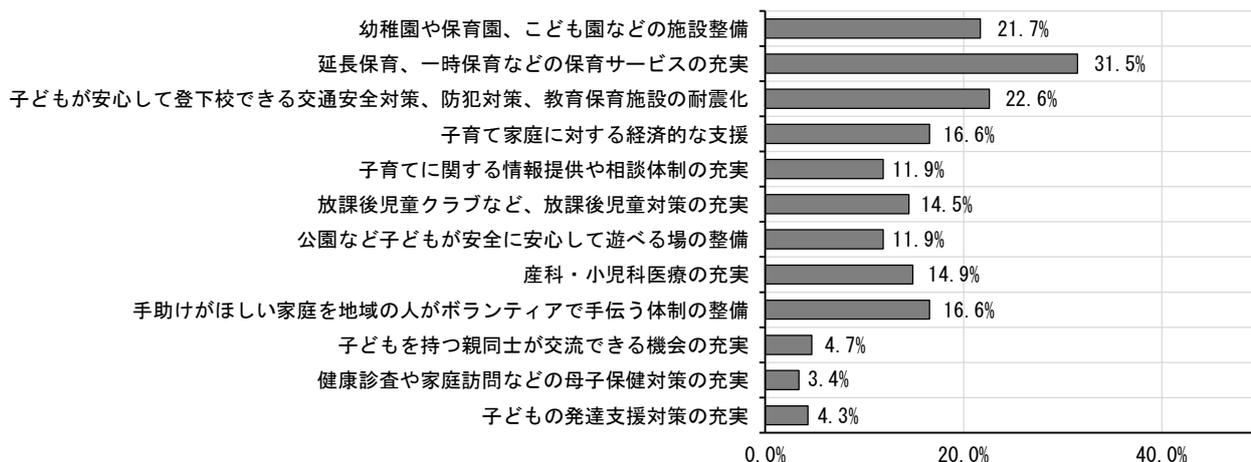
<30 歳代>



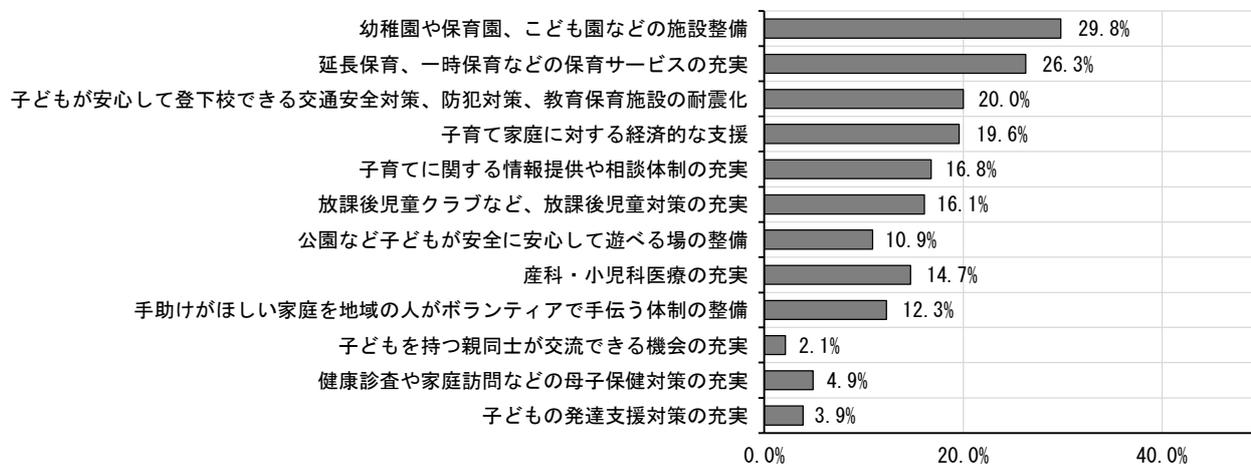
<40 歳代>



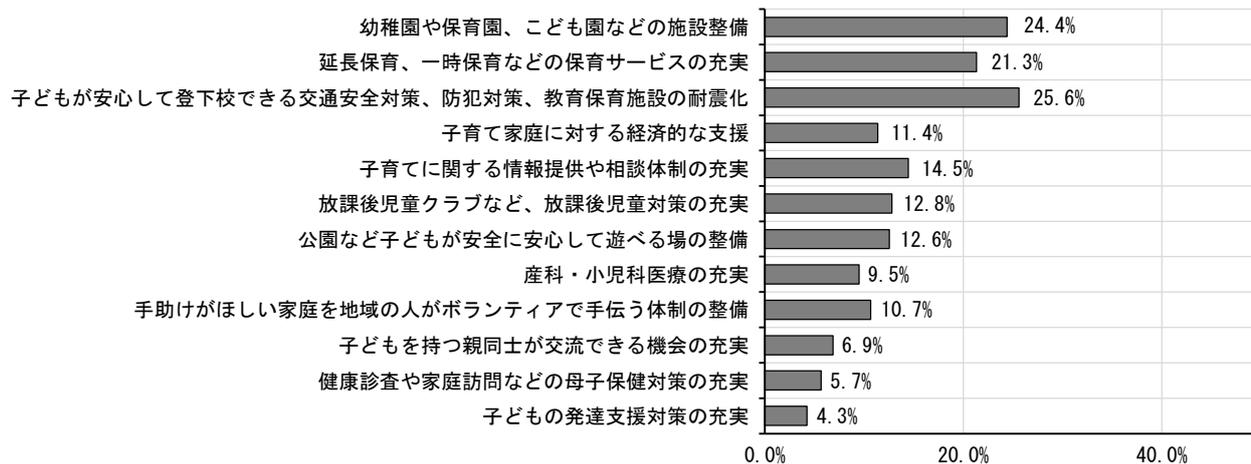
<50 歳代>



<60 歳代>

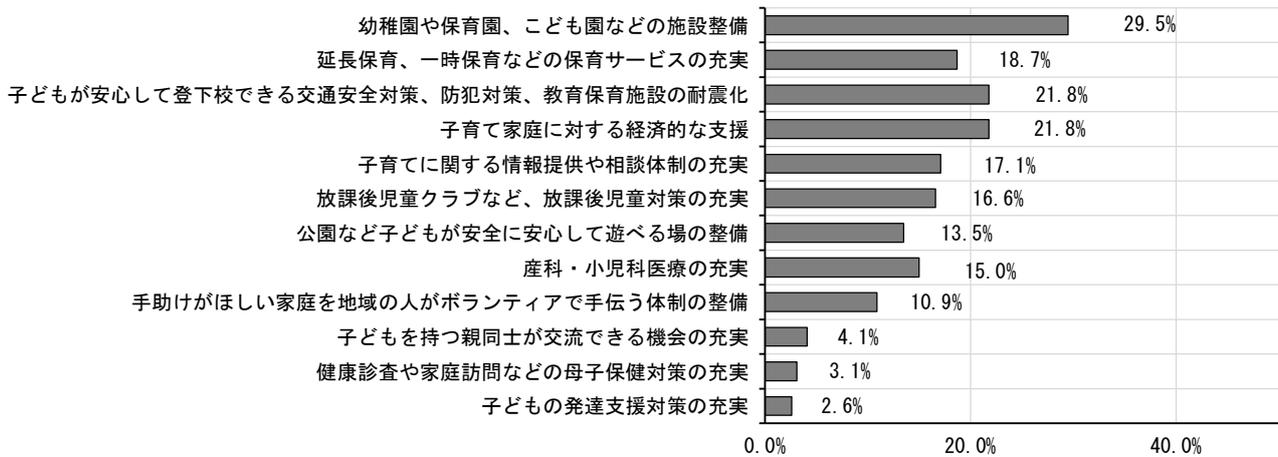


<70 歳以上>

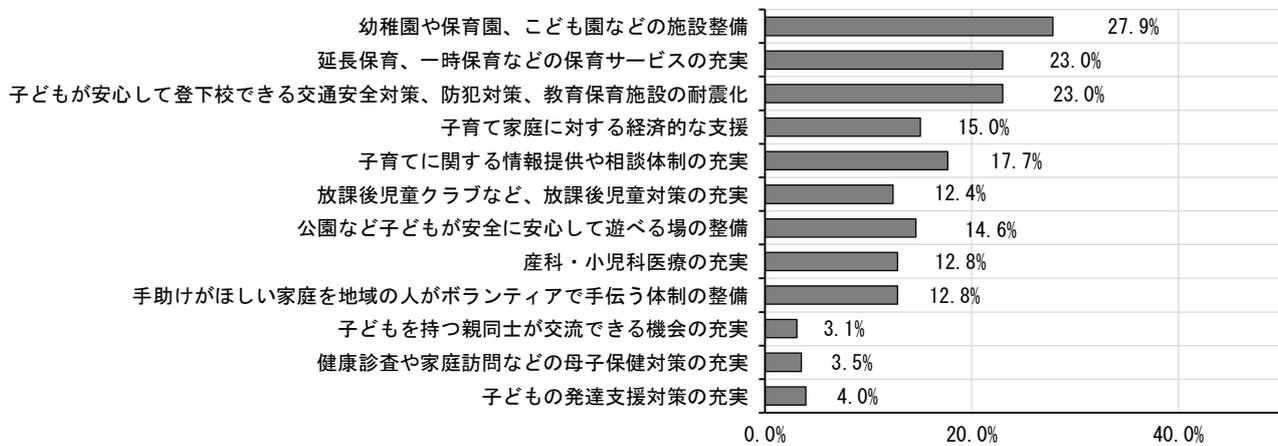


【属性別（居住地区別）】

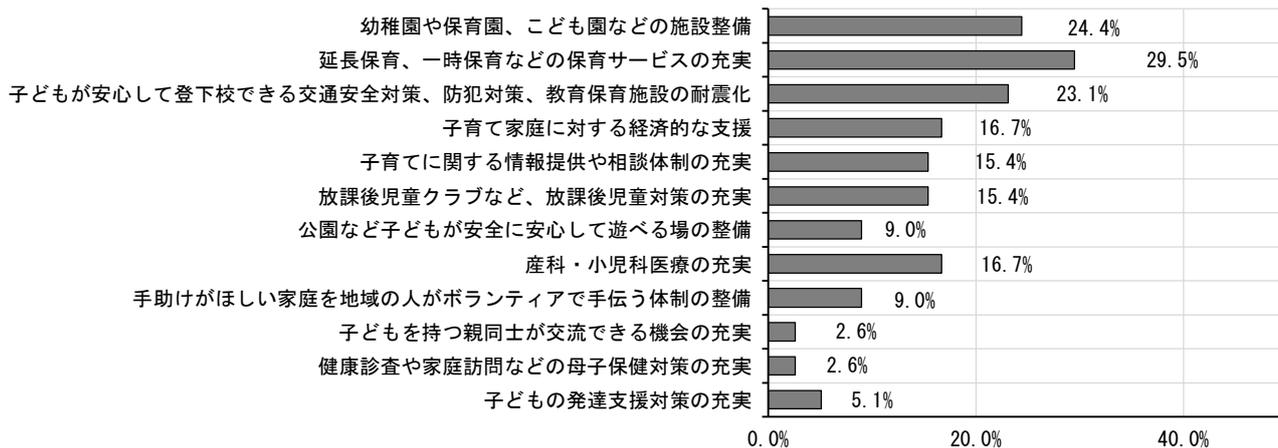
<見付地区>



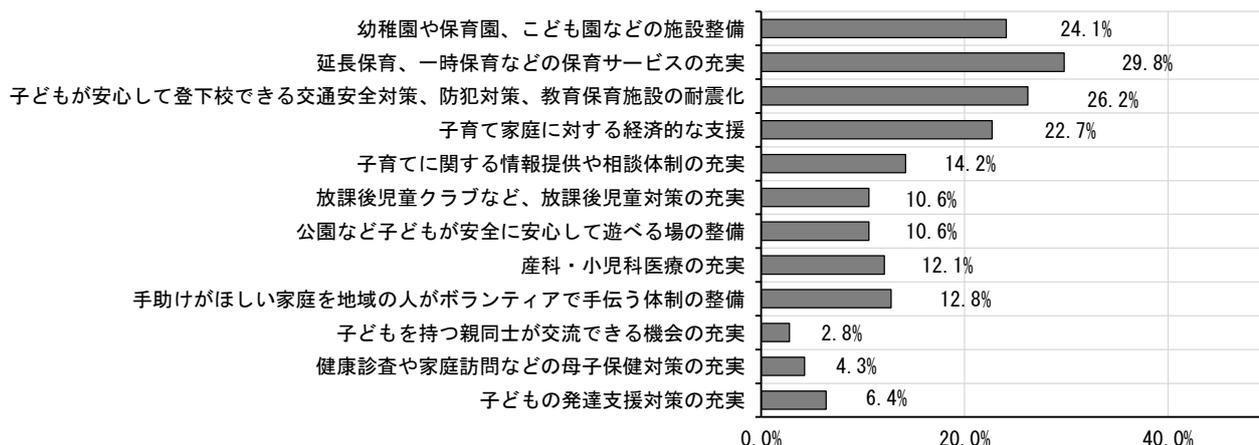
<中泉・今之浦地区>



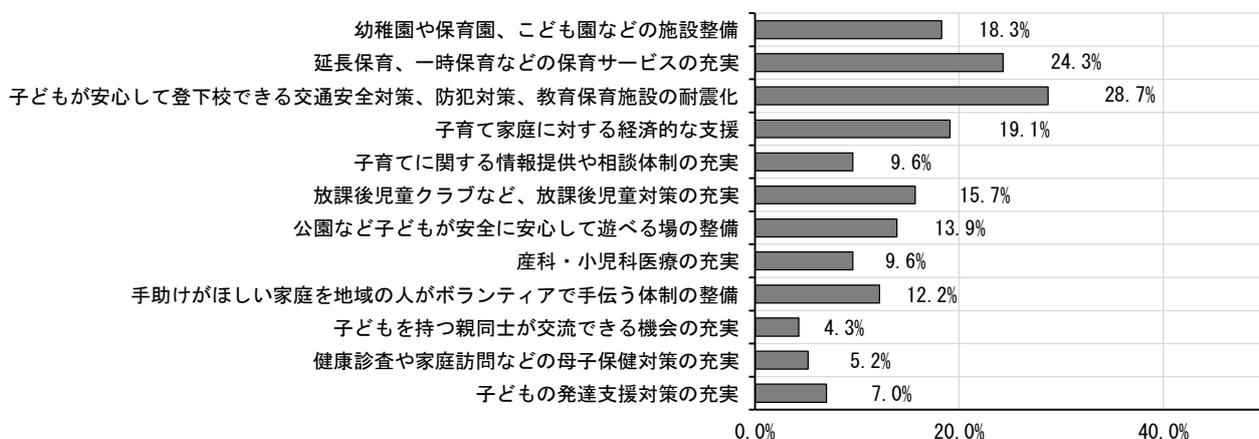
<岩田・大藤・向笠地区>



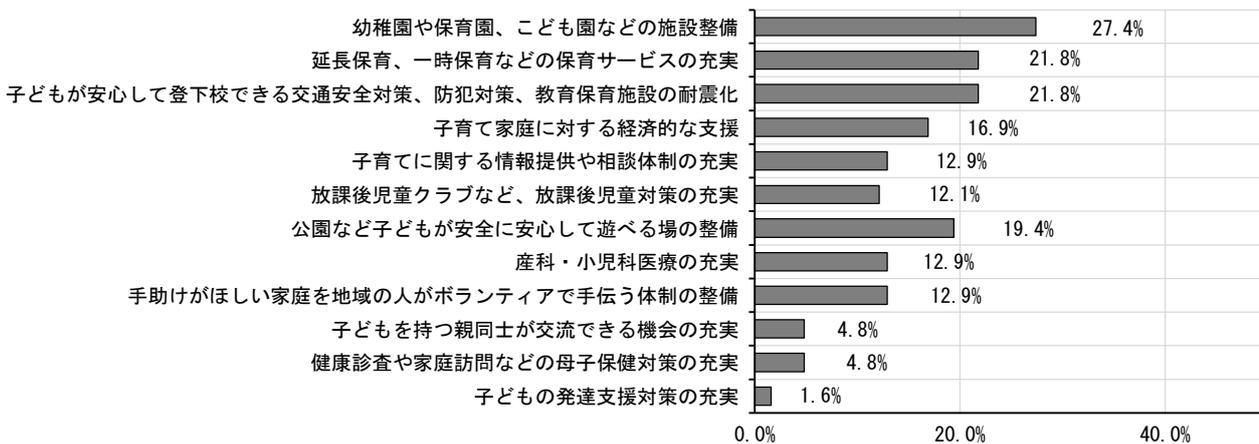
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



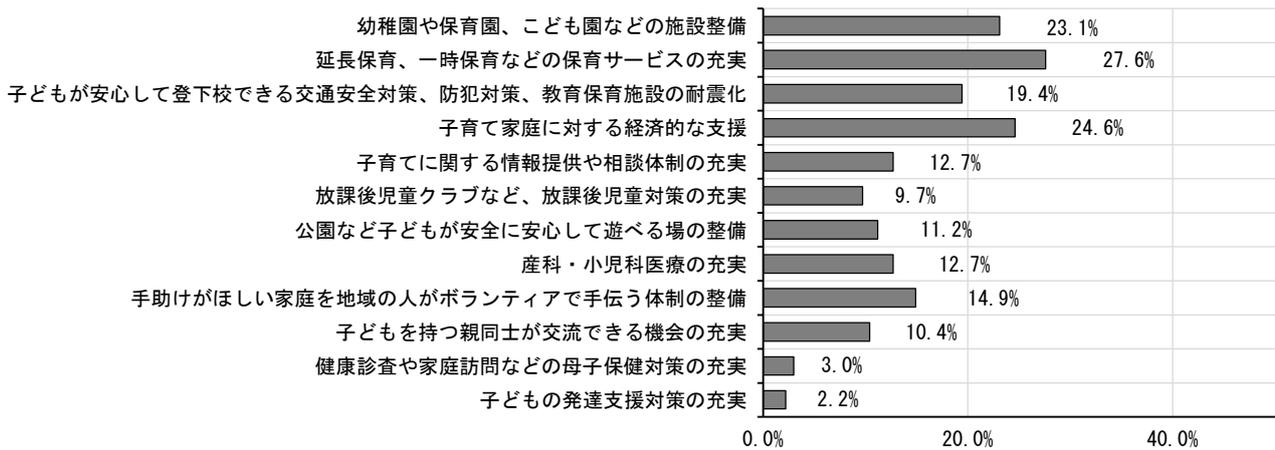
<天竜・長野・於保地区>



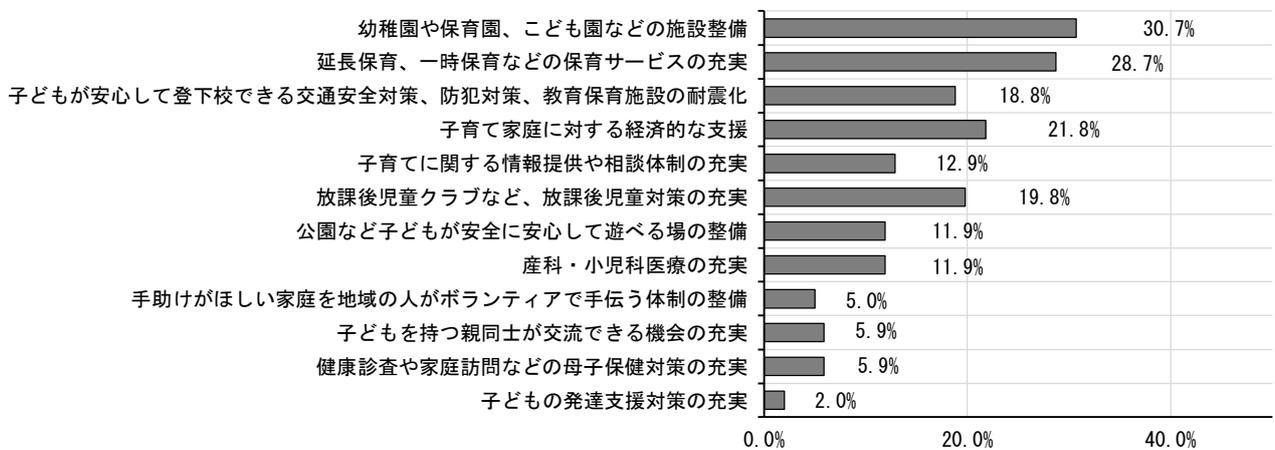
<福田地区>



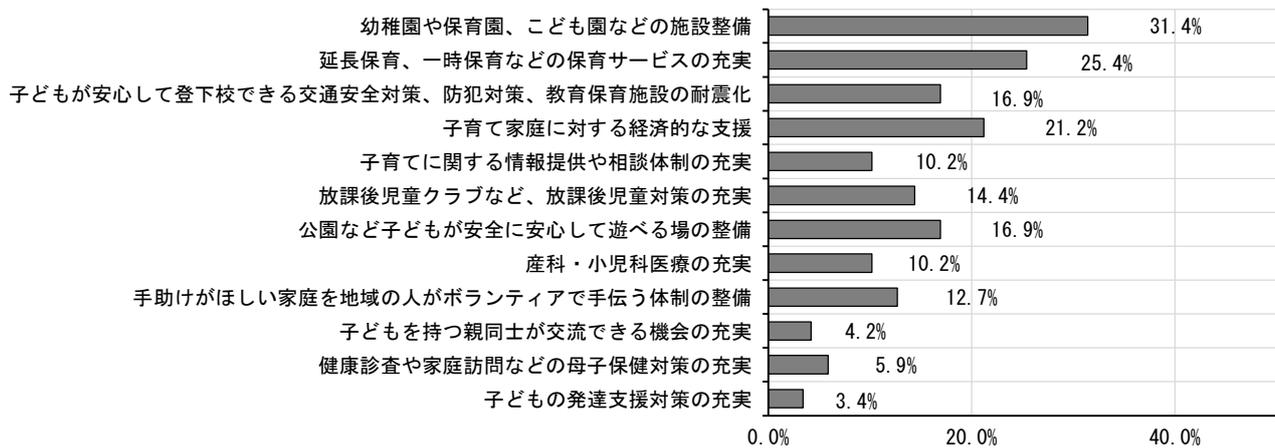
<竜洋地区>



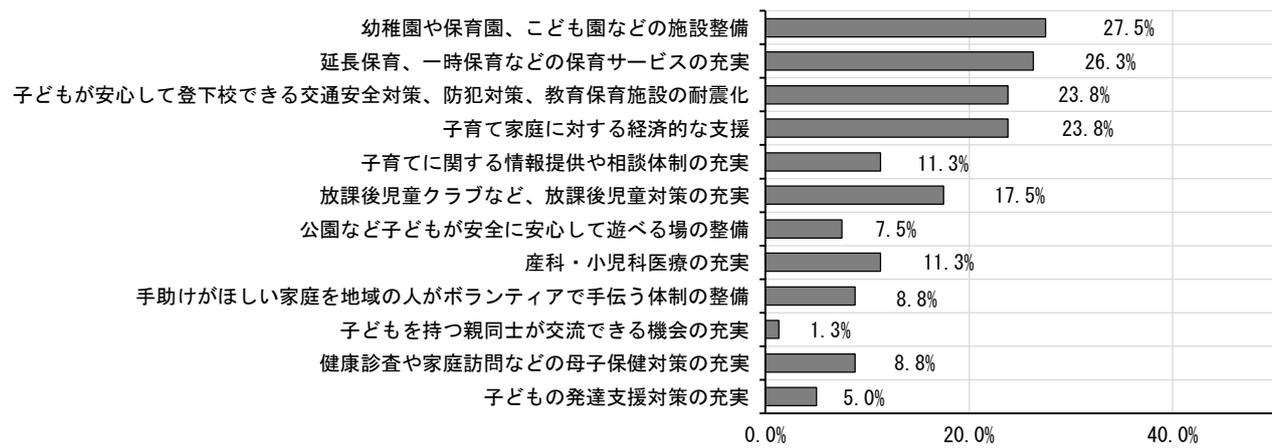
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

(2) 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきもの

問 19 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきものは何だと思えますか？
 <○印を2つまで>

子どもたちに対する教育を充実させるために優先すべきものは、

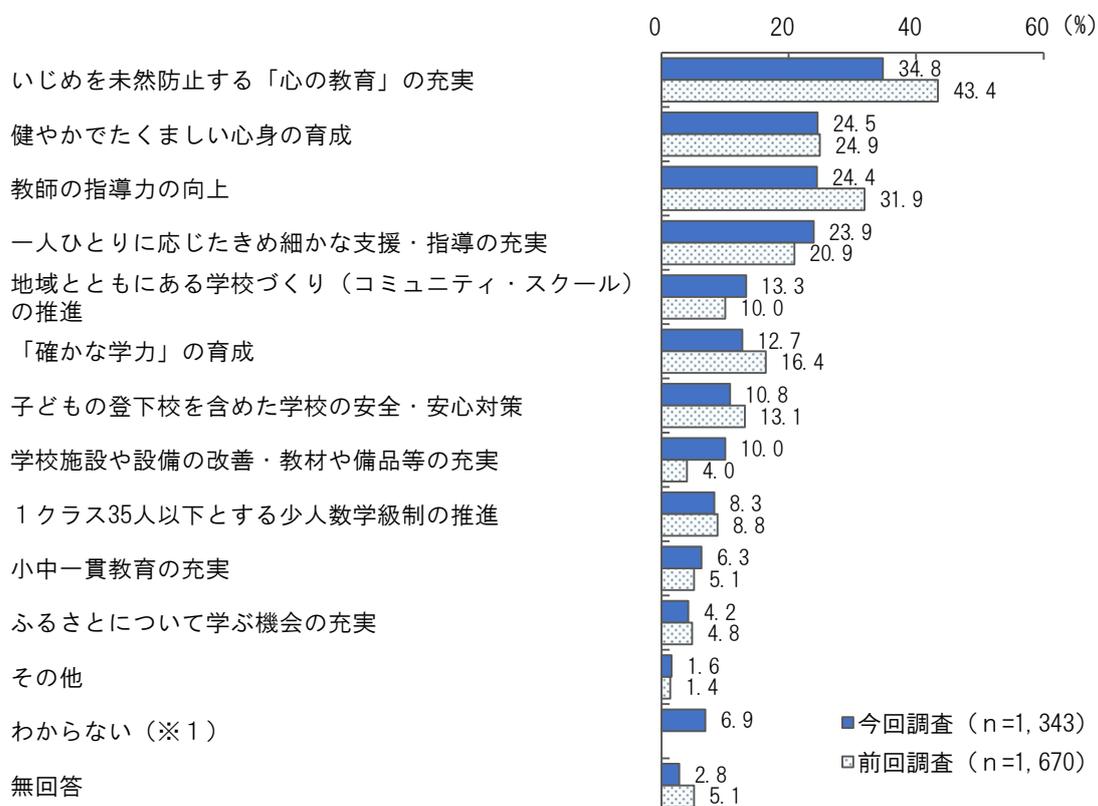
- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」
- ・「健やかでたくましい心身の育成」

■前回調査との比較

- ・「学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実」が増加している
- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が減少している

■傾 向

- 【性 別】男女とも「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い
- 【年 代 別】すべての年代で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い
- 【居住地区別】すべての居住地区で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(34.8%)が最も多く、次いで「健やかでたくましい心身の育成」(24.5%)、「教師の指導力の向上」(24.4%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実」が6.0ポイント、「地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)の推進」が3.3ポイント、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」が3.0ポイント増加している。
- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が8.6ポイント、「教師の指導力の向上」が7.5ポイント、「『確かな学力』の育成」が3.7ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・男性では「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(34.3%)が最も多く、次いで「教師の指導力の向上」(25.2%)、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」(22.7%)となっている。
 - ・女性では「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(35.6%)が最も多く、次いで「健やかでたくましい心身の育成」(28.0%)、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」(25.5%)となっている。
- 【年 代 別】**
- ・すべての年代で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・すべての居住地区で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	健やかでたくましい心身の育成	地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
	人数	219人	161人	145人	137人	95人
	割合	34.3%	25.2%	22.7%	21.4%	14.9%
女性	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	健やかでたくましい心身の育成	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	教師の指導力の向上	「確かな学力」の育成
	人数	243人	191人	174人	164人	92人
	割合	35.6%	28.0%	25.5%	24.0%	13.5%

【年代別：上位5位のみ】

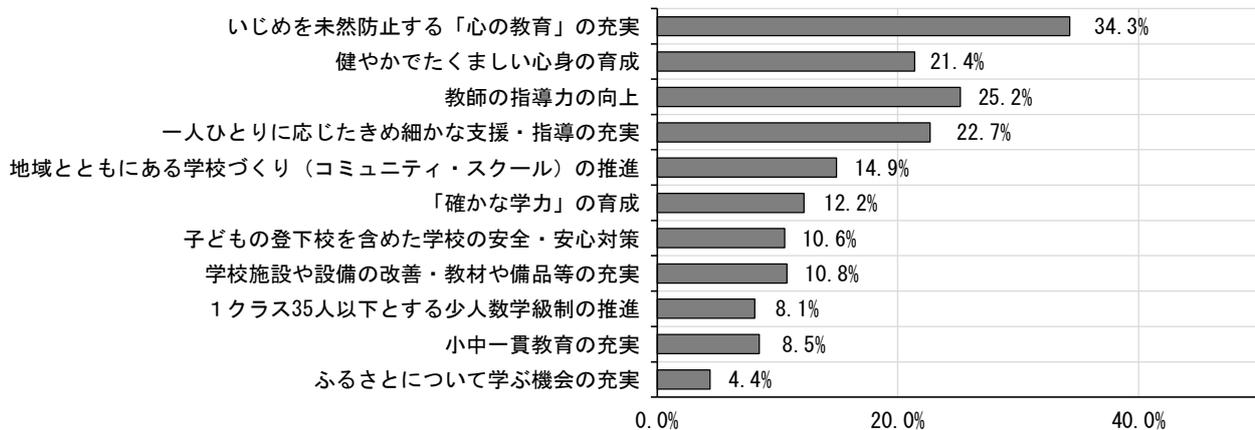
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	「確かな学力」の育成	学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実	・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進 ・健やかでたくましい心身の育成
	人数	25人	17人	15人	14人	13人
	割合	32.5%	22.1%	19.5%	18.2%	16.9%
30歳代	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	健やかでたくましい心身の育成	学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実	教師の指導力の向上
	人数	45人	30人	27人	25人	22人
	割合	36.0%	24.0%	21.6%	20.0%	17.6%
40歳代	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	健やかでたくましい心身の育成	学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実
	人数	58人	48人	47人	36人	28人
	割合	32.8%	27.1%	26.6%	20.3%	15.8%
50歳代	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	健やかでたくましい心身の育成	「確かな学力」の育成
	人数	87人	66人	56人	54人	34人
	割合	37.0%	28.1%	23.8%	23.0%	14.5%
60歳代	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	・一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実 ・教師の指導力の向上		健やかでたくましい心身の育成	地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
	人数	112人	80人		68人	42人
	割合	39.3%	28.1%		23.9%	14.7%
70歳以上	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	健やかでたくましい心身の育成	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進 ・子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
	人数	135人	130人	96人	90人	50人
	割合	32.0%	30.8%	22.7%	21.3%	11.8%

【居住地区別：上位5位のみ】

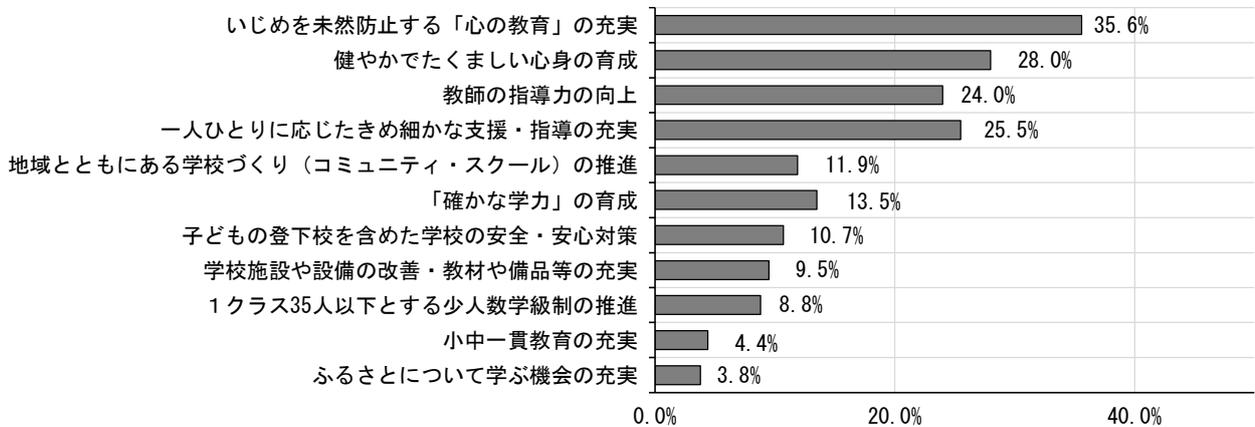
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	健やかでたくましい心身の育成	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	「確かな学力」の育成
	人数 割合	61人 31.6%	56人 29.0%	50人 25.9%	45人 23.3%	30人 15.5%
中泉・今之浦地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	教師の指導力の向上	健やかでたくましい心身の育成	・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進 ・子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
	人数 割合	77人 34.1%	56人 24.8%	54人 23.9%	50人 22.1%	30人 13.3%
岩田・大藤・向笠地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	・健やかでたくましい心身の育成 ・一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実 ・教師の指導力の向上			地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
	人数 割合	26人 33.3%	18人 23.1%			17人 21.8%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	健やかでたくましい心身の育成	教師の指導力の向上	「確かな学力」の育成
	人数 割合	51人 36.2%	46人 32.6%	35人 24.8%	32人 22.7%	23人 16.3%
天竜・長野・於保地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	教師の指導力の向上	健やかでたくましい心身の育成	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
	人数 割合	40人 34.8%	35人 30.4%	26人 22.6%	23人 20.0%	17人 14.8%
福田地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	健やかでたくましい心身の育成	教師の指導力の向上	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
	人数 割合	46人 37.1%	33人 26.6%	29人 23.4%	25人 20.2%	20人 16.1%
竜洋地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	教師の指導力の向上	健やかでたくましい心身の育成	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実
	人数 割合	48人 35.8%	41人 30.6%	33人 24.6%	25人 18.7%	20人 14.9%
富岡・豊田東・池田地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	教師の指導力の向上	健やかでたくましい心身の育成	「確かな学力」の育成
	人数 割合	38人 37.6%	25人 24.8%	24人 23.8%	22人 21.8%	15人 14.9%
井通地区・青城地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	・健やかでたくましい心身の育成 ・教師の指導力の向上		地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
	人数 割合	38人 32.2%	33人 28.0%	27人 22.9%		22人 18.6%
豊岡地区	理由	いじめを未然防止する「心の教育」の充実	健やかでたくましい心身の育成	一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実	教師の指導力の向上	「確かな学力」の育成
	人数 割合	31人 38.8%	26人 32.5%	17人 21.3%	13人 16.3%	9人 11.3%

【属性別（性別）】

<男性>

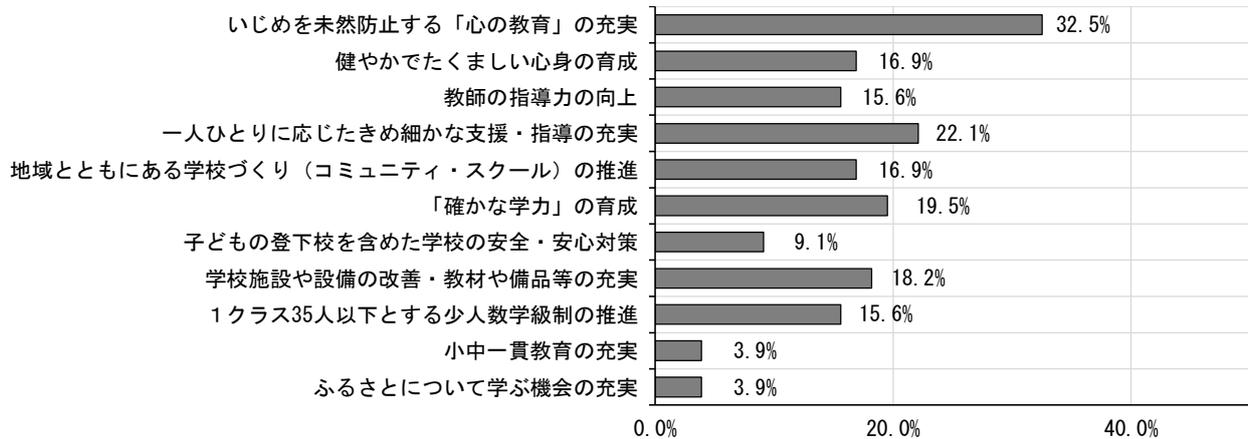


<女性>

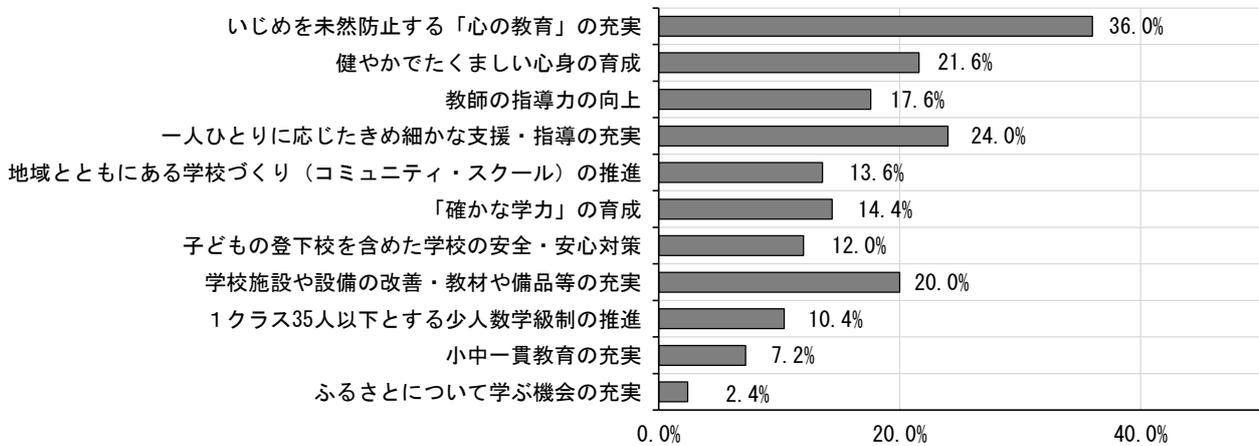


【属性別（年代別）】

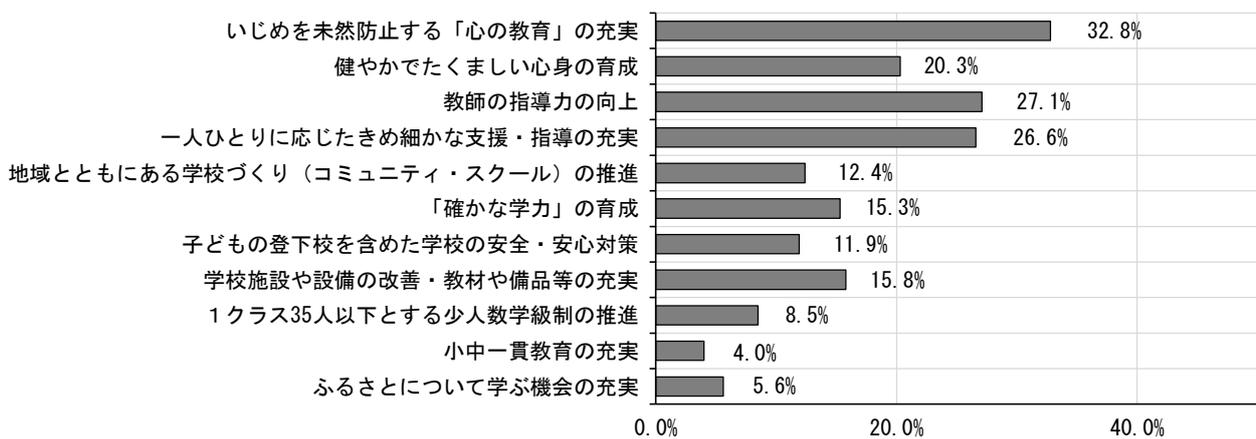
<30 歳未満>



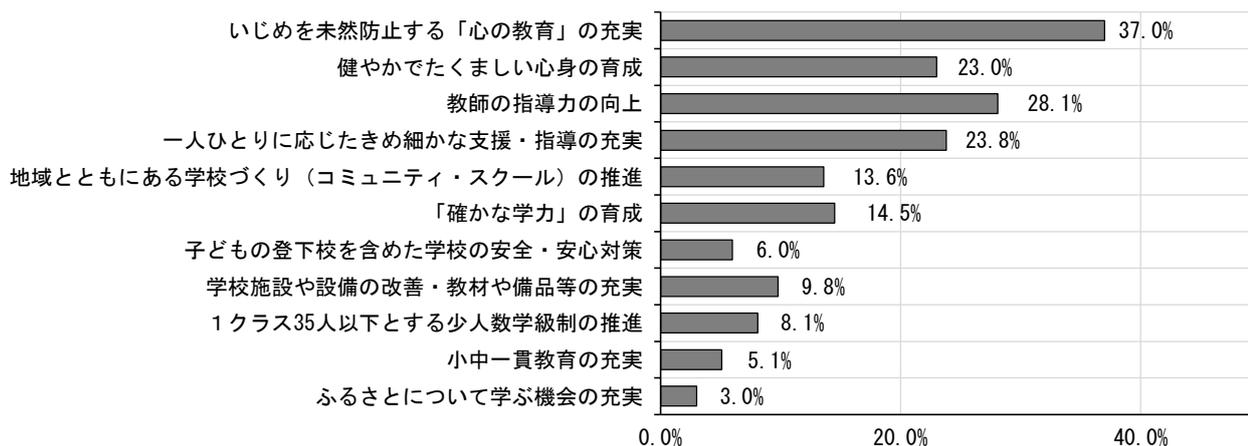
<30 歳代>



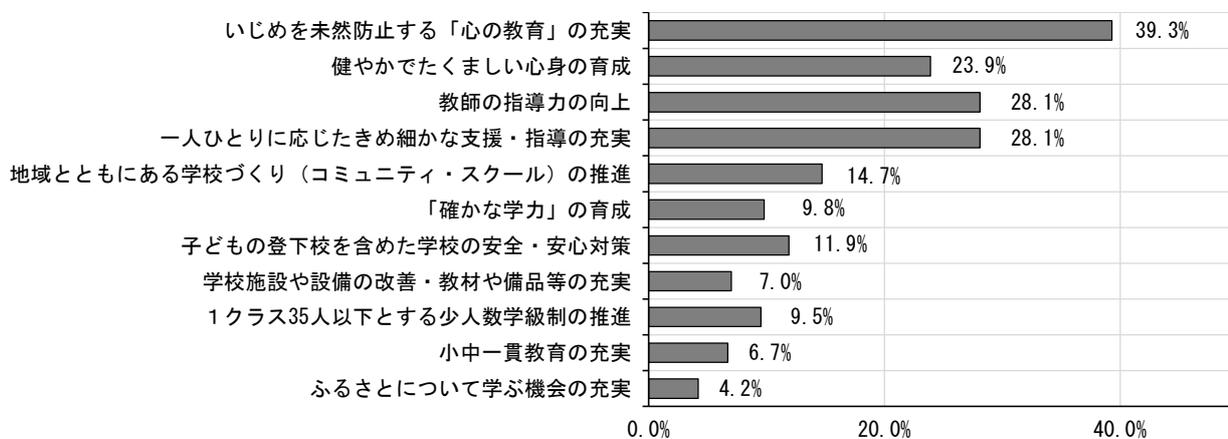
<40 歳代>



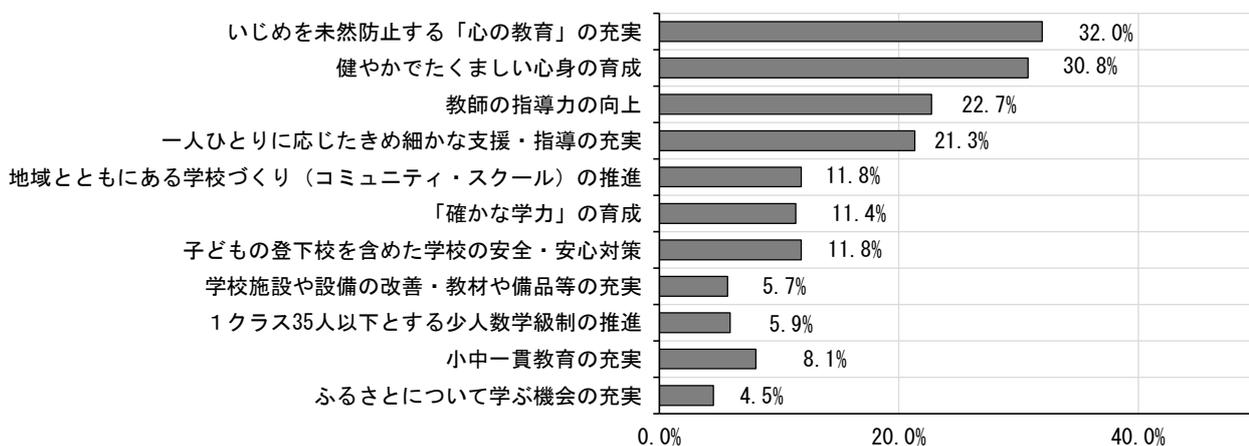
<50 歳代>



<60 歳代>

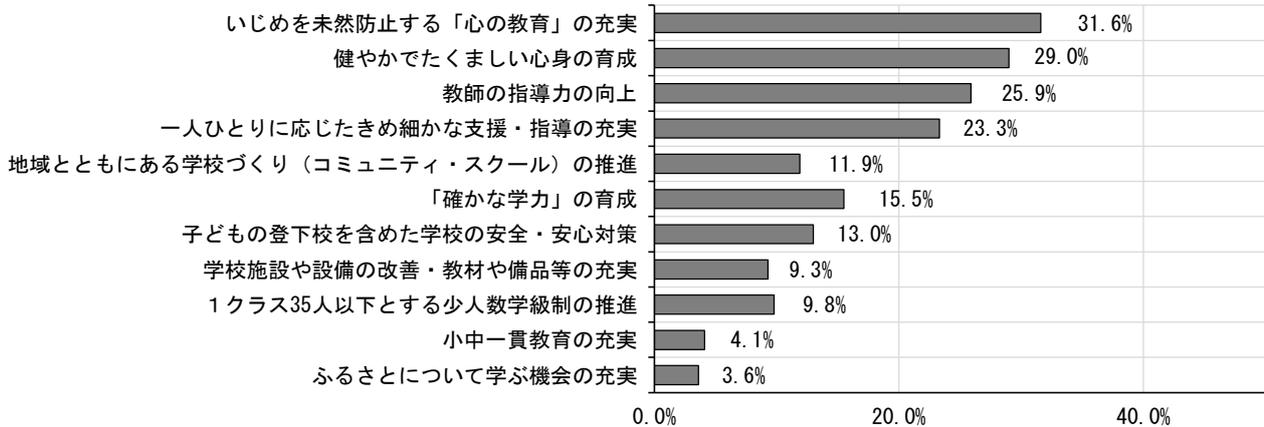


<70 歳以上>

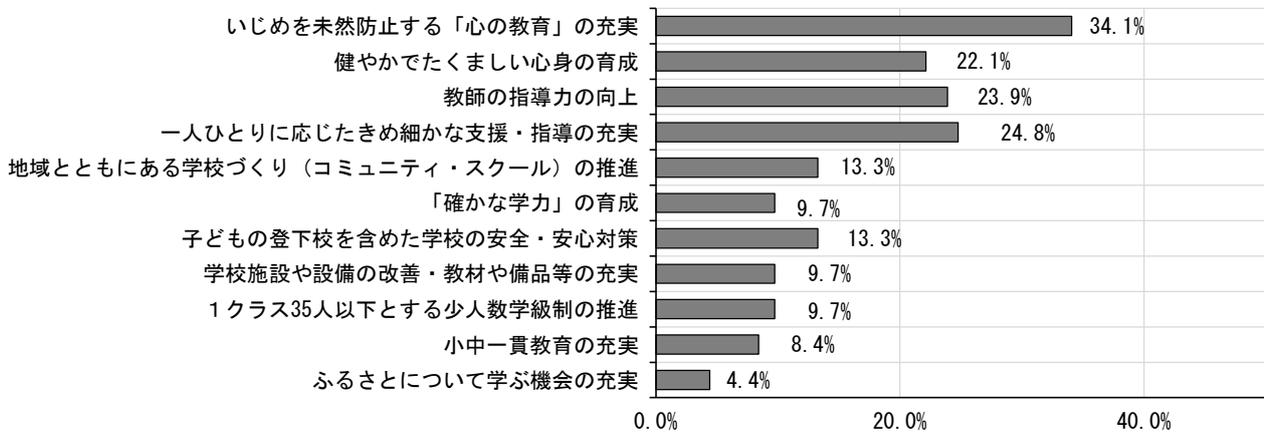


【属性別（居住地区別）】

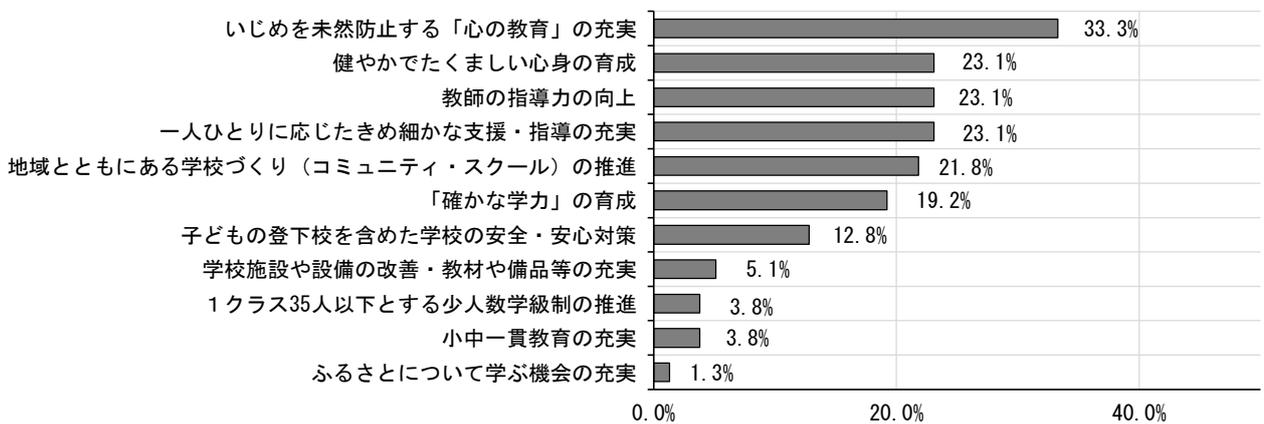
<見付地区>



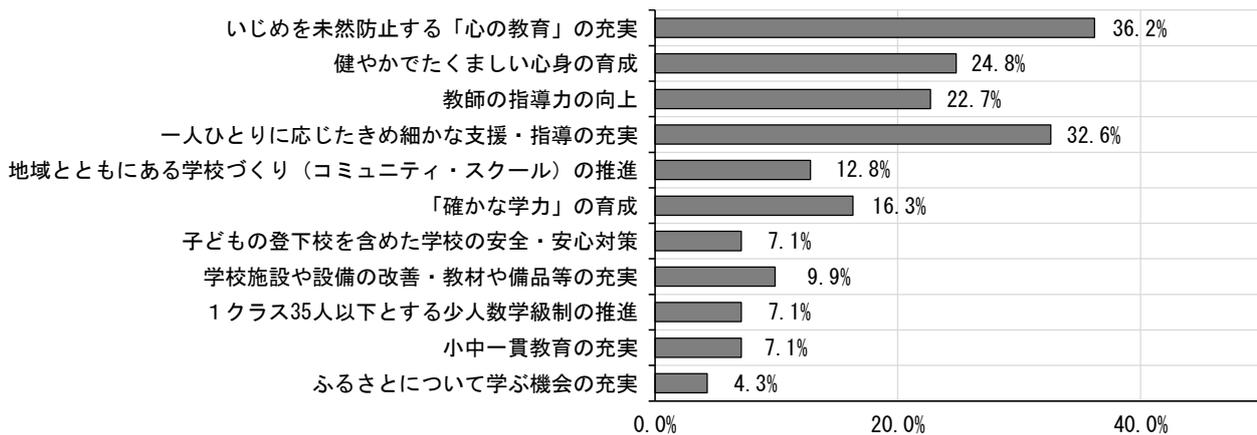
<中泉・今之浦地区>



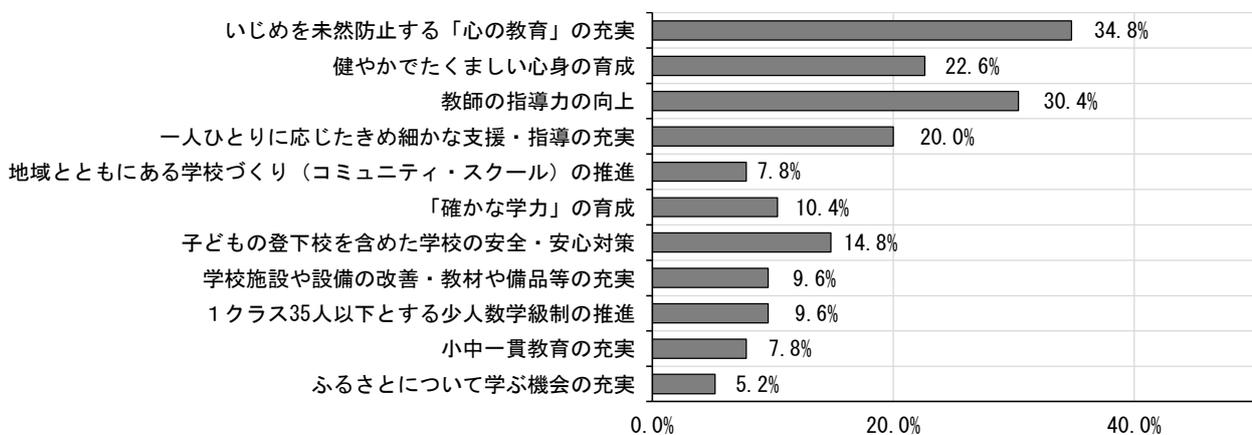
<岩田・大藤・向笠地区>



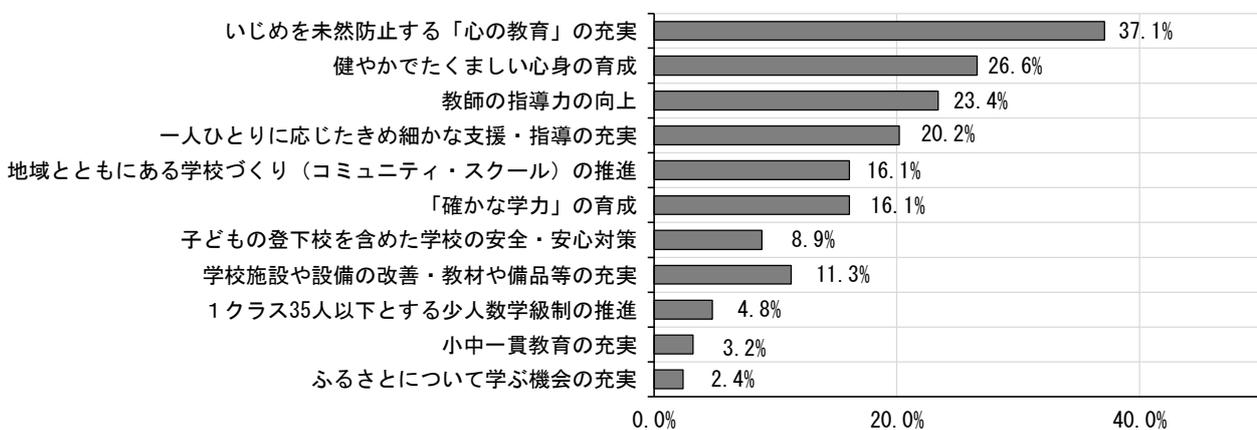
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



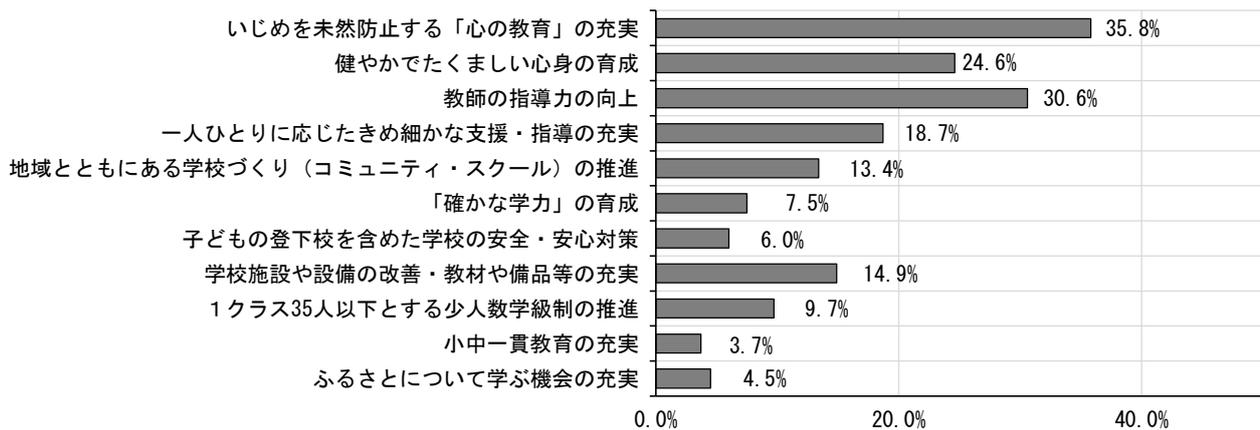
<天竜・長野・於保地区>



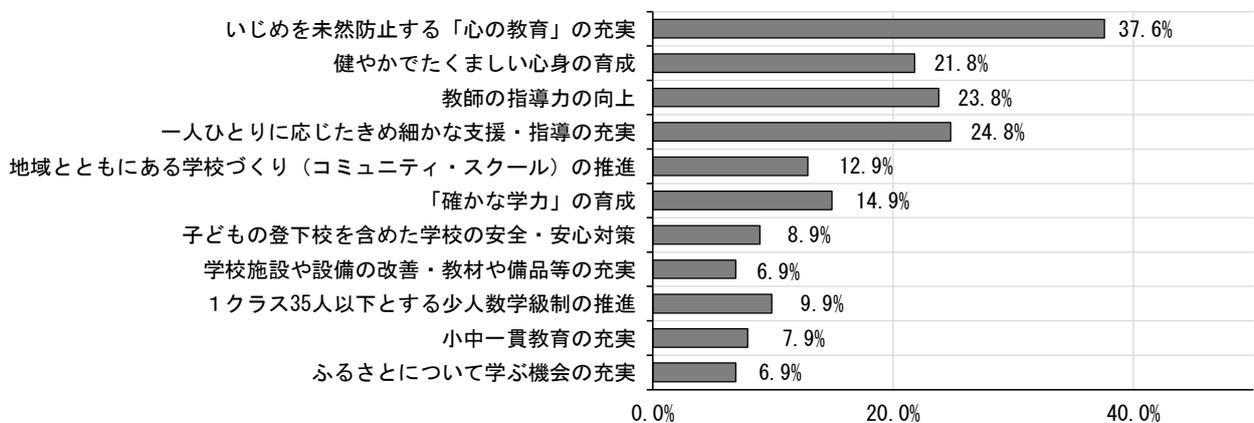
<福田地区>



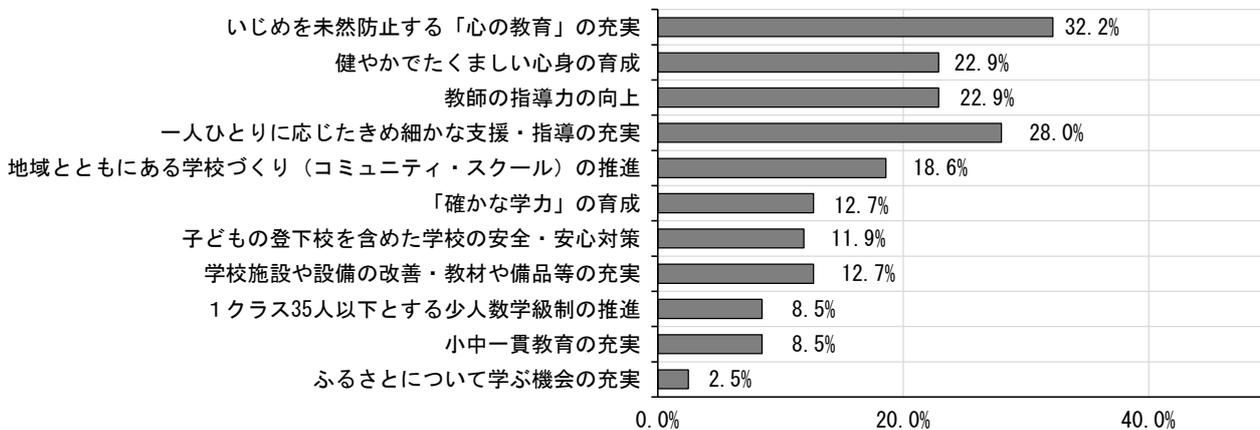
<竜洋地区>



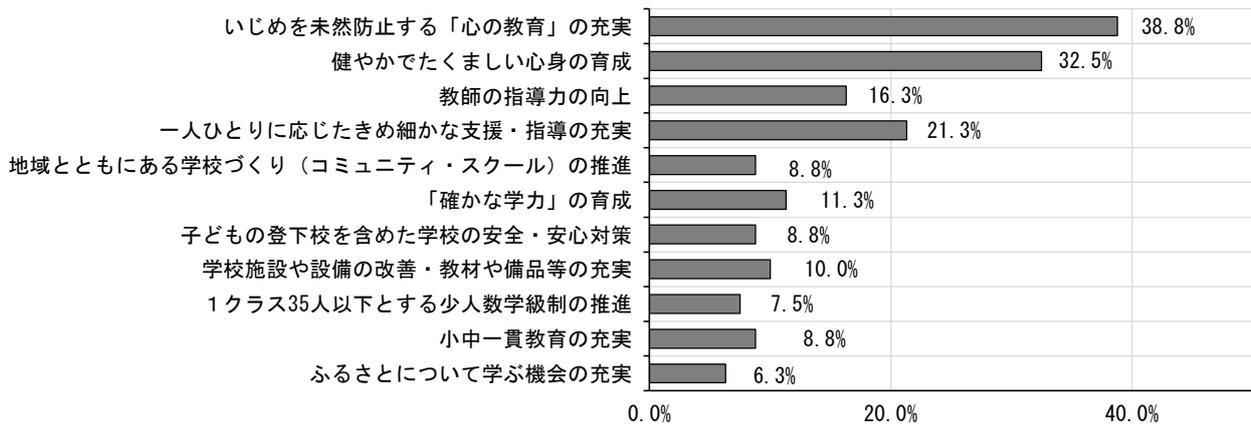
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

7. 広報・広聴について

(1) 市からの情報の入手方法

問 20 磐田市では、市の行事や行政サービスなどをお知らせするために、様々な広報活動を行っています。あなたは、普段、市からの情報を何を通じて得ていますか？

〈該当するものすべてに○印〉

市からの情報を得る手段は、「広報いわた」が8割以上

■前回調査との比較

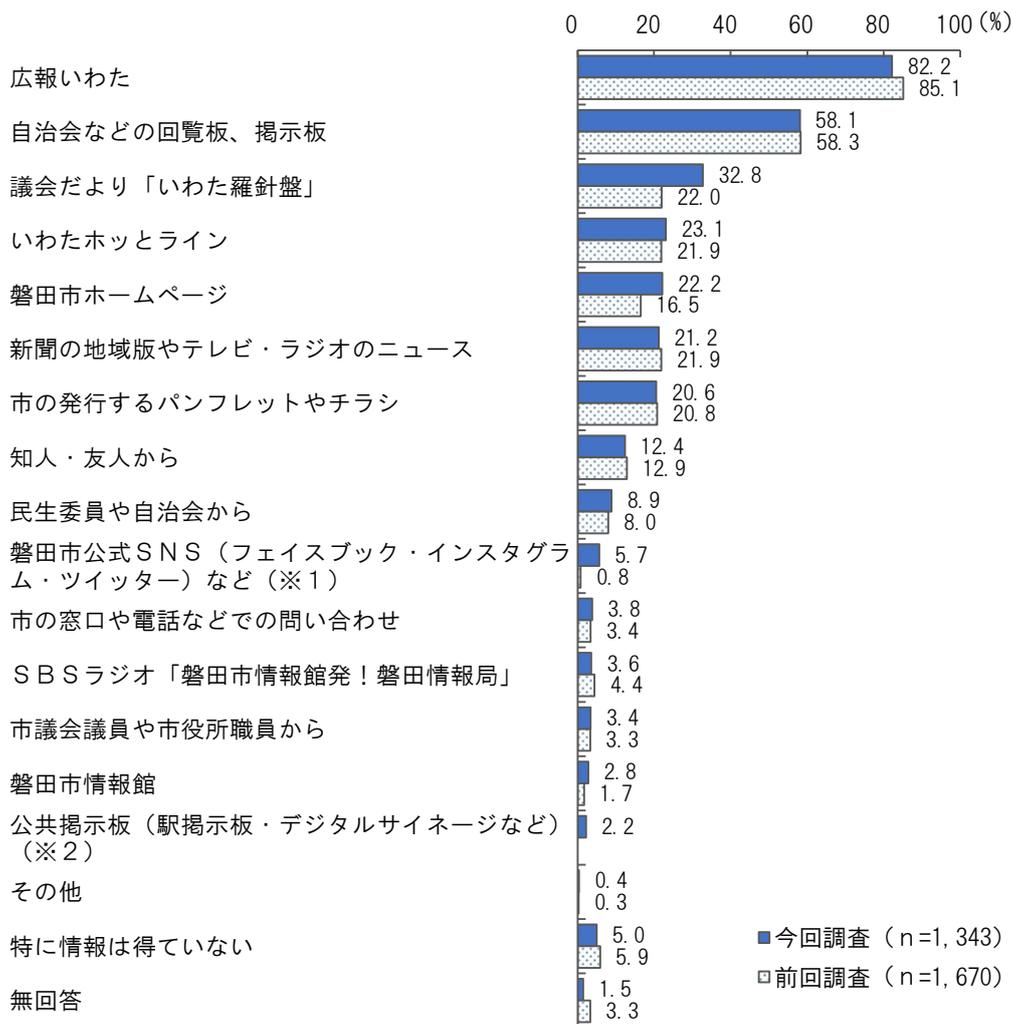
「議会だより『いわた羅針盤』」「磐田市ホームページ」「磐田市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）など」が増加している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】すべての年代で「広報いわた」最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「広報いわた」最も多い



※1：前回調査の選択肢は、「磐田市広報担当ツイッター」であった。

※2：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「広報いわた」(82.2%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(58.1%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(32.8%) となっている。

■前回調査との比較

- ・「議会だより『いわた羅針盤』」が10.8ポイント、「磐田市ホームページ」が5.7ポイント、「磐田市公式SNS（フェイブック・インスタグラム・ツイッター）など」が4.9ポイント増加している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・上位3項目は、男女とも同じ項目となっている。
 - ・男性では「広報いわた」(75.6%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(52.6%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(29.4%) となっている。
 - ・女性では「広報いわた」(88.9%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(63.8%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(36.7%) となっている。

- 【年 代 別】** ・すべての年代で「広報いわた」が最も多い。

- 【居住地区別】** ・すべての居住地区で「広報いわた」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	磐田市ホームページ	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース
	人数	483人	336人	188人	156人	124人
	割合	75.6%	52.6%	29.4%	24.4%	19.4%
女性	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	いわたホットライン	市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	607人	436人	251人	190人	163人
	割合	88.9%	63.8%	36.7%	27.8%	23.9%

【年代別：上位5位のみ】

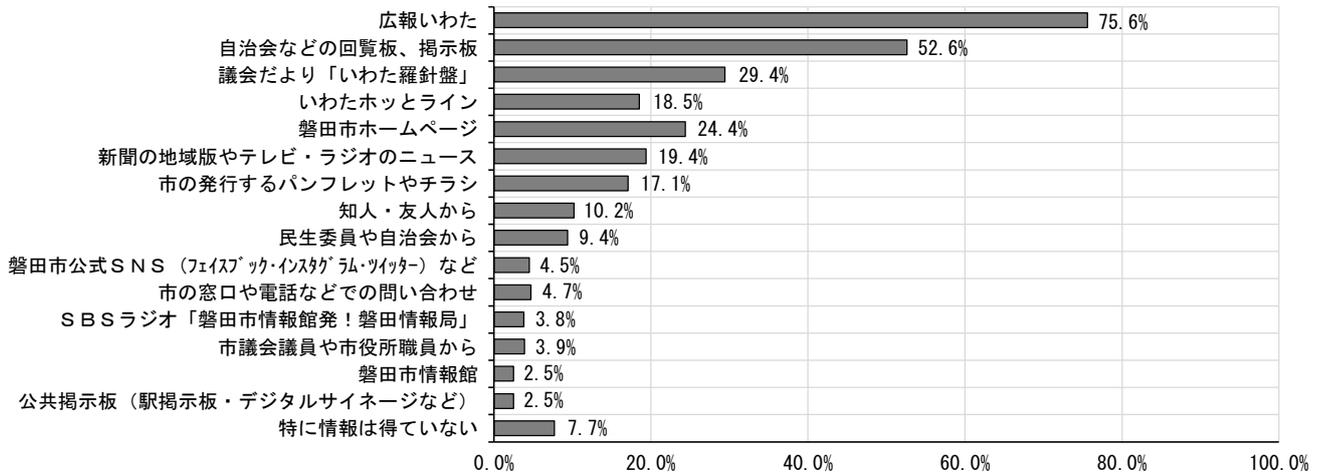
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	広報いわた	磐田市ホームページ	・磐田市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）など ・知人・友人から ・特に情報は得ていない		
	人数	36人	23人	14人		
	割合	46.8%	29.9%	18.2%		
30歳代	理由	広報いわた	いわたホットライン	自治会などの回覧板、掲示板	磐田市ホームページ	議会だより「いわた羅針盤」
	人数	95人	48人	46人	44人	24人
	割合	76.0%	38.4%	36.8%	35.2%	19.2%
40歳代	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	いわたホットライン	磐田市ホームページ	議会だより「いわた羅針盤」
	人数	136人	77人	74人	61人	50人
	割合	76.8%	43.5%	41.8%	34.5%	28.2%
50歳代	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	磐田市ホームページ	いわたホットライン
	人数	204人	136人	71人	63人	60人
	割合	86.8%	57.9%	30.2%	26.8%	25.5%
60歳代	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	市の発行するパンフレットやチラシ	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース
	人数	258人	200人	121人	84人	67人
	割合	90.5%	70.2%	42.5%	29.5%	23.5%
70歳以上	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース	市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	360人	303人	166人	134人	105人
	割合	85.3%	71.8%	39.3%	31.8%	24.9%

【居住地区別：上位5位のみ】

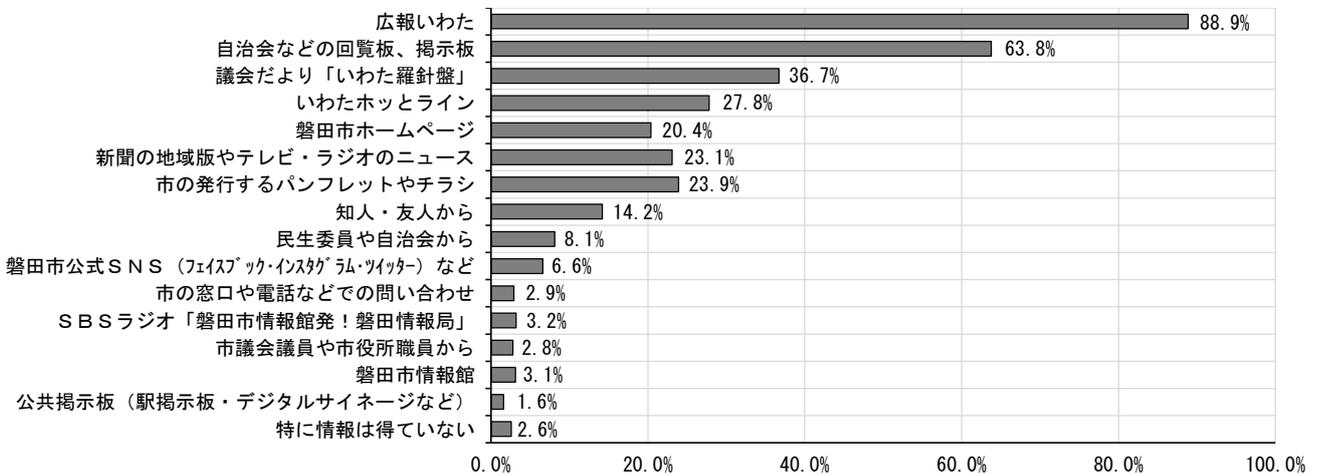
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	磐田市ホームページ	いわたホットライン
	人数	161人	120人	54人	47人	44人
	割合	83.4%	62.2%	28.0%	24.4%	22.8%
中泉・今之浦地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース	いわたホットライン
	人数	184人	114人	61人	55人	46人
	割合	81.4%	50.4%	27.0%	24.3%	20.4%
岩田・大藤・向笠地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース	市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	64人	48人	29人	22人	20人
	割合	82.1%	61.5%	37.2%	28.2%	25.6%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	磐田市ホームページ	いわたホットライン
	人数	120人	74人	52人	44人	35人
	割合	85.1%	52.5%	36.9%	31.2%	24.8%
天竜・長野・於保地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	磐田市ホームページ	いわたホットライン
	人数	93人	65人	38人	29人	27人
	割合	80.9%	56.5%	33.0%	25.2%	23.5%
福田地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	いわたホットライン	・磐田市ホームページ ・市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	106人	77人	34人	31人	27人
	割合	85.5%	62.1%	27.4%	25.0%	21.8%
竜洋地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	市の発行するパンフレットやチラシ	いわたホットライン
	人数	108人	84人	50人	36人	32人
	割合	80.6%	62.7%	37.3%	26.9%	23.9%
富岡・豊田東・池田地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	いわたホットライン	磐田市ホームページ
	人数	83人	59人	38人	24人	18人
	割合	82.2%	58.4%	37.6%	23.8%	17.8%
井通地区・青城地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	いわたホットライン	市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	97人	74人	45人	33人	32人
	割合	82.2%	62.7%	38.1%	28.0%	27.1%
豊岡地区	理由	広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより「いわた羅針盤」	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース	・いわたホットライン ・市の発行するパンフレットやチラシ
	人数	65人	53人	31人	18人	17人
	割合	81.3%	66.3%	38.8%	22.5%	21.3%

【属性別（性別）】

<男性>

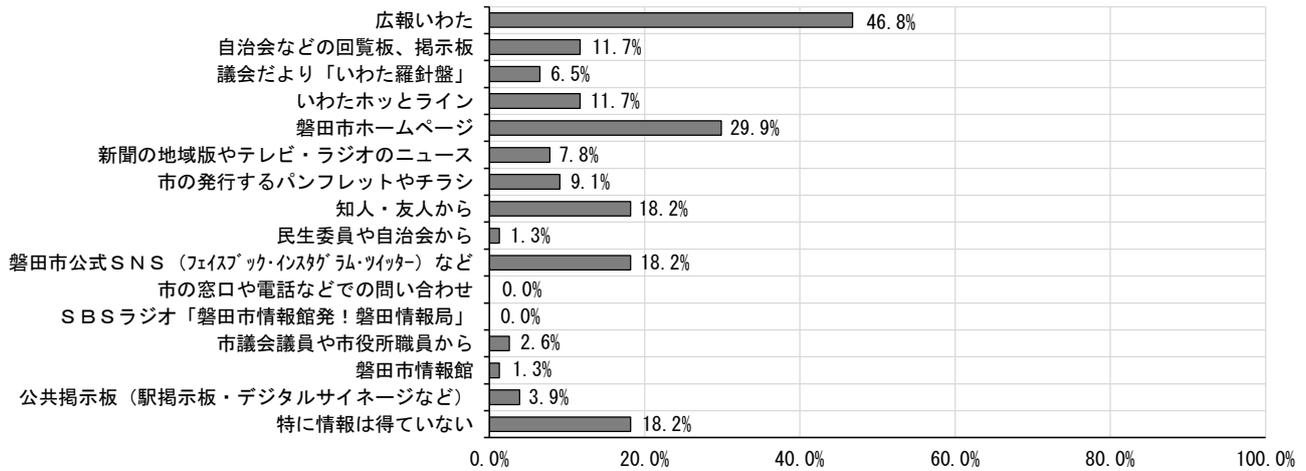


<女性>

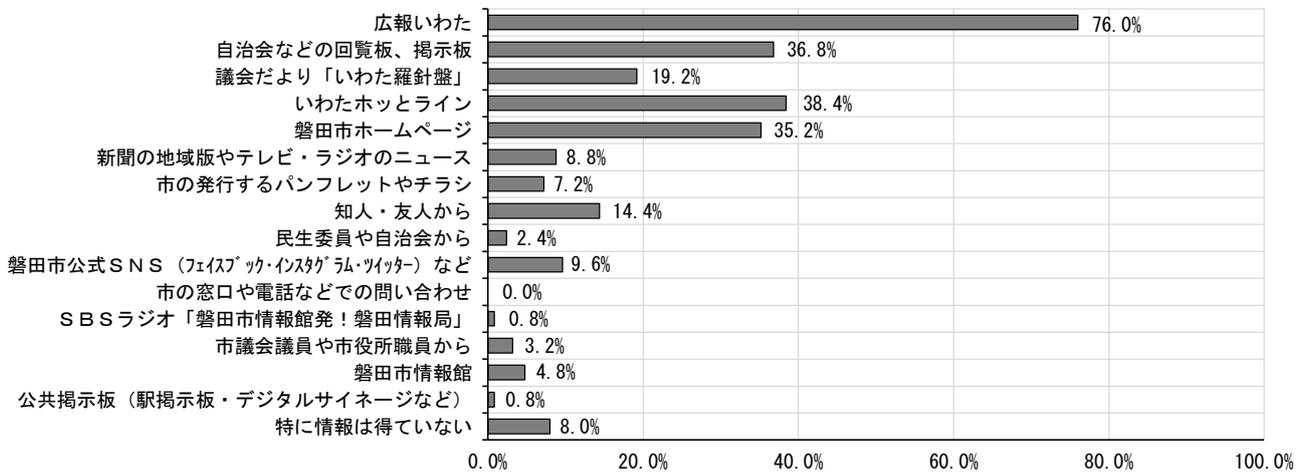


【属性別（年代別）】

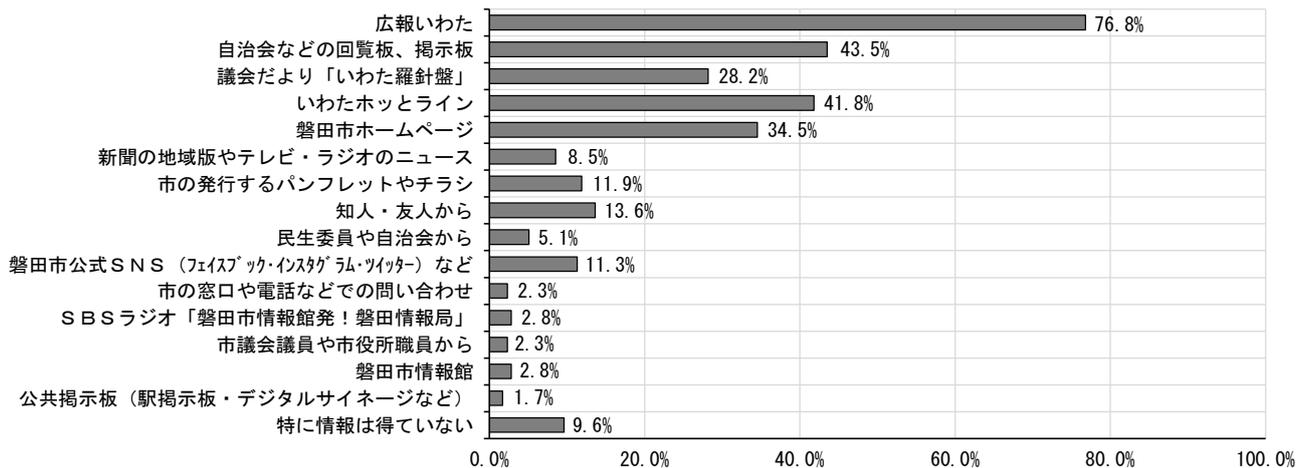
<30 歳未満>



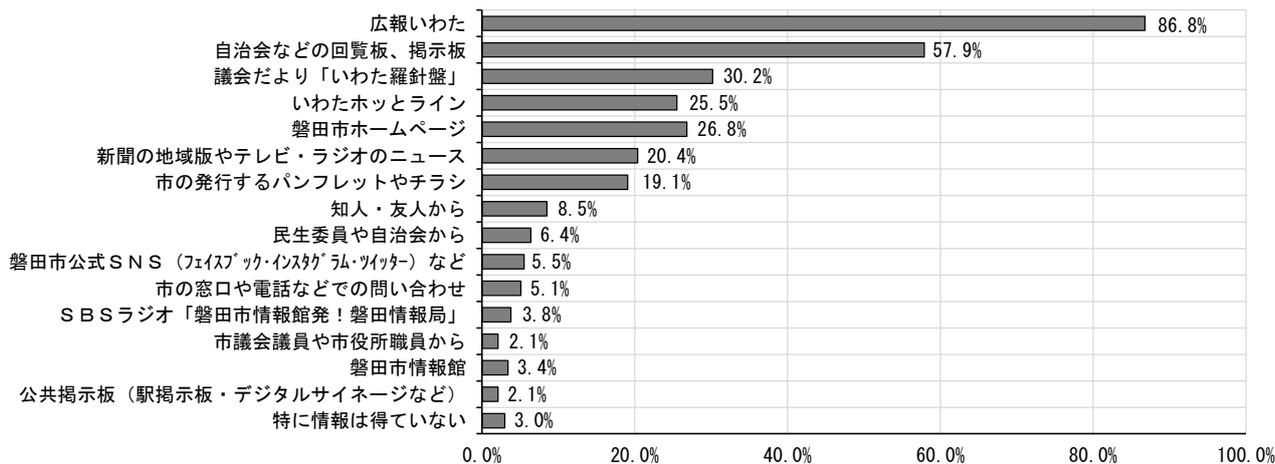
<30 歳代>



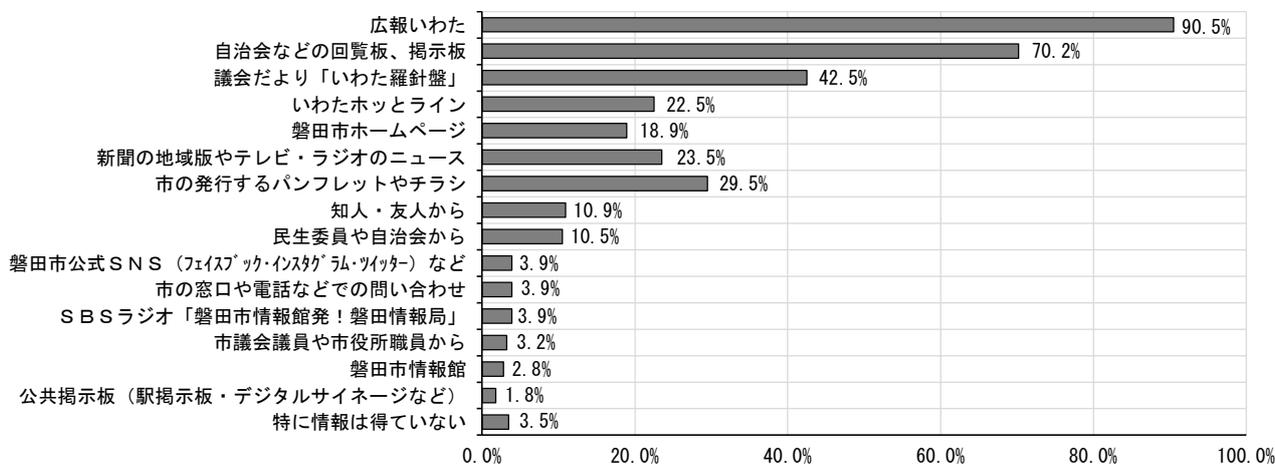
<40 歳代>



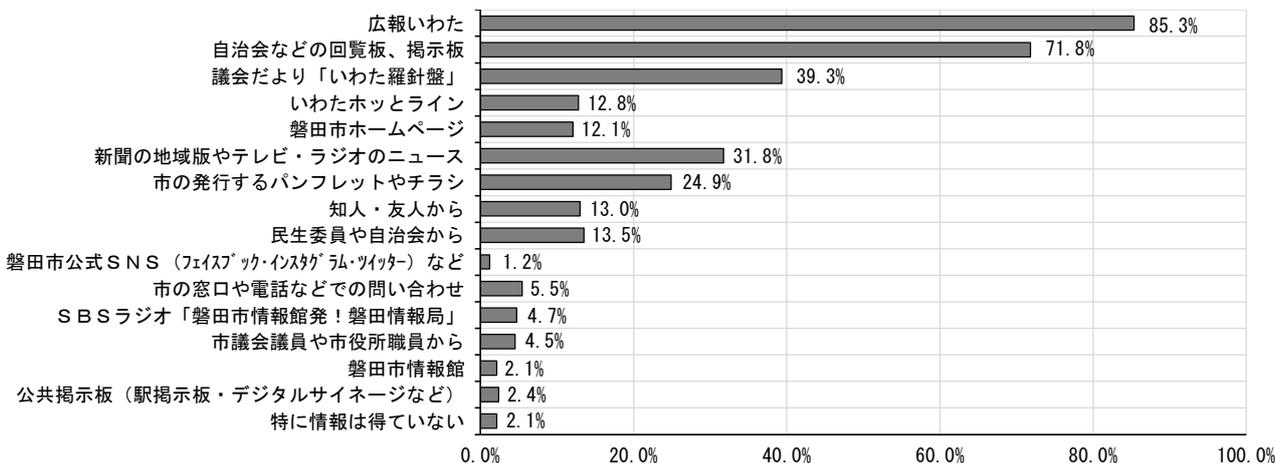
<50 歳代>



<60 歳代>

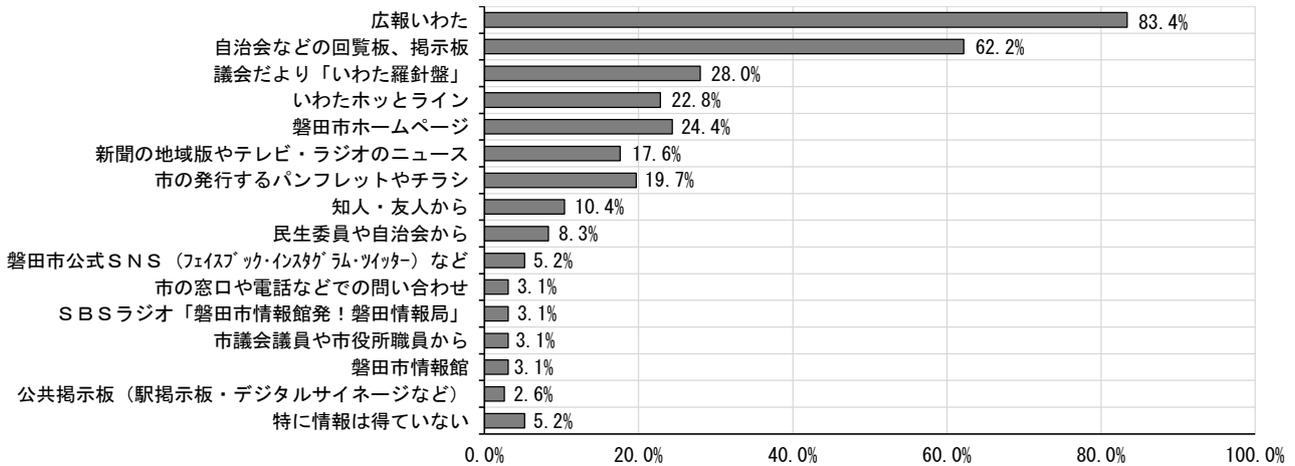


<70 歳以上>

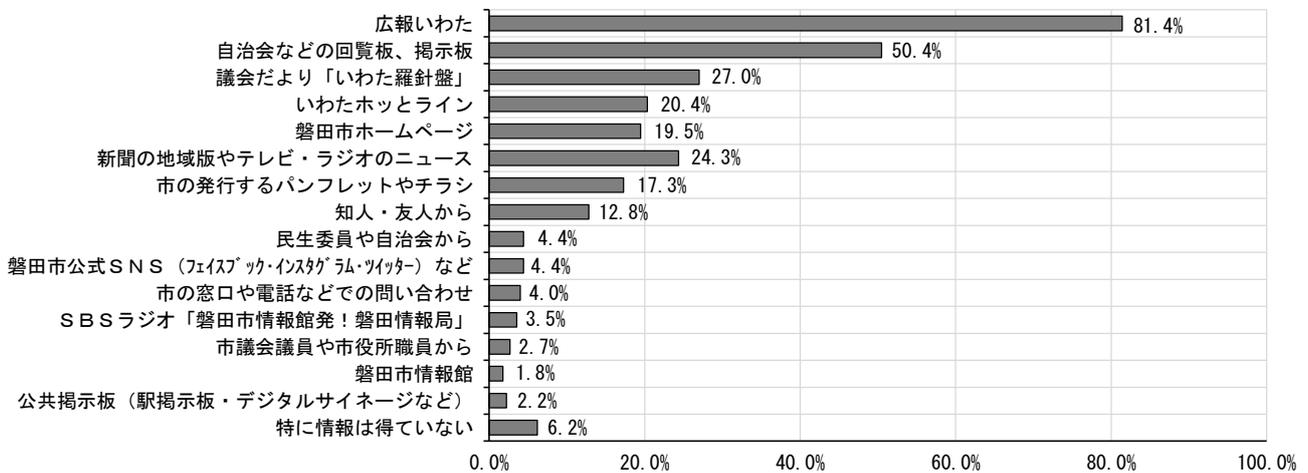


【属性別（居住地区別）】

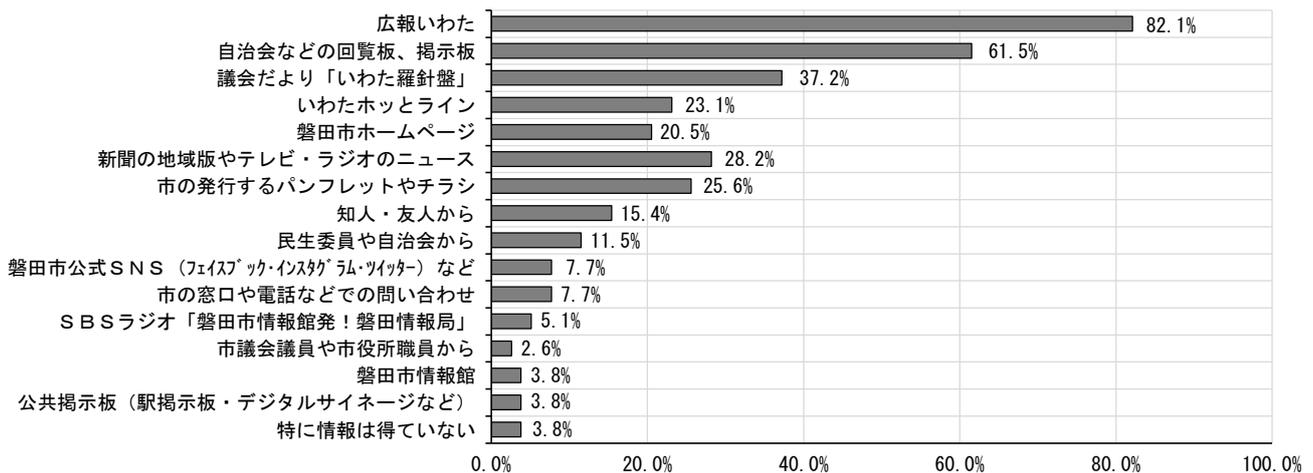
<見付地区>



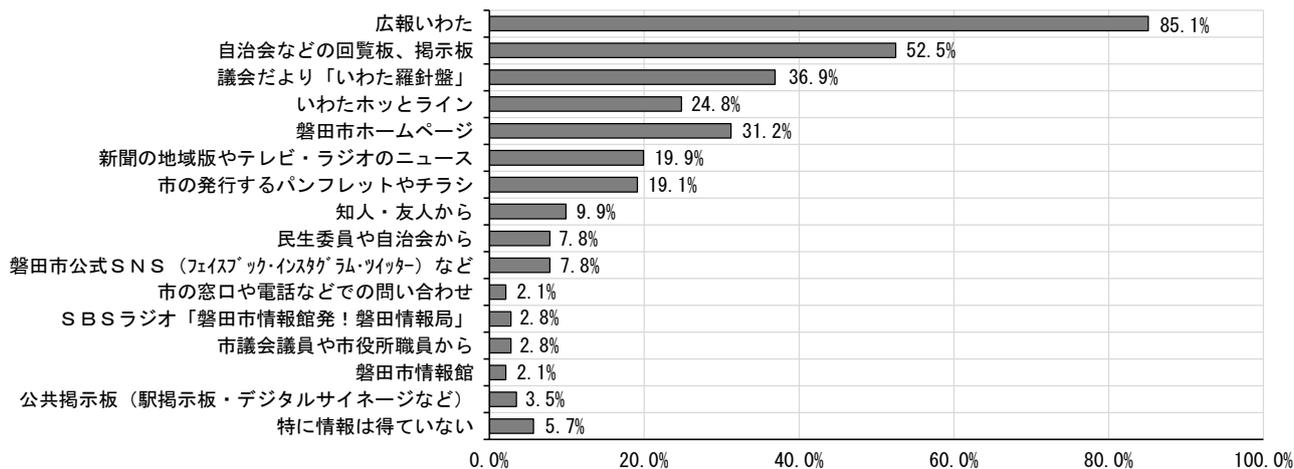
<中泉・今之浦地区>



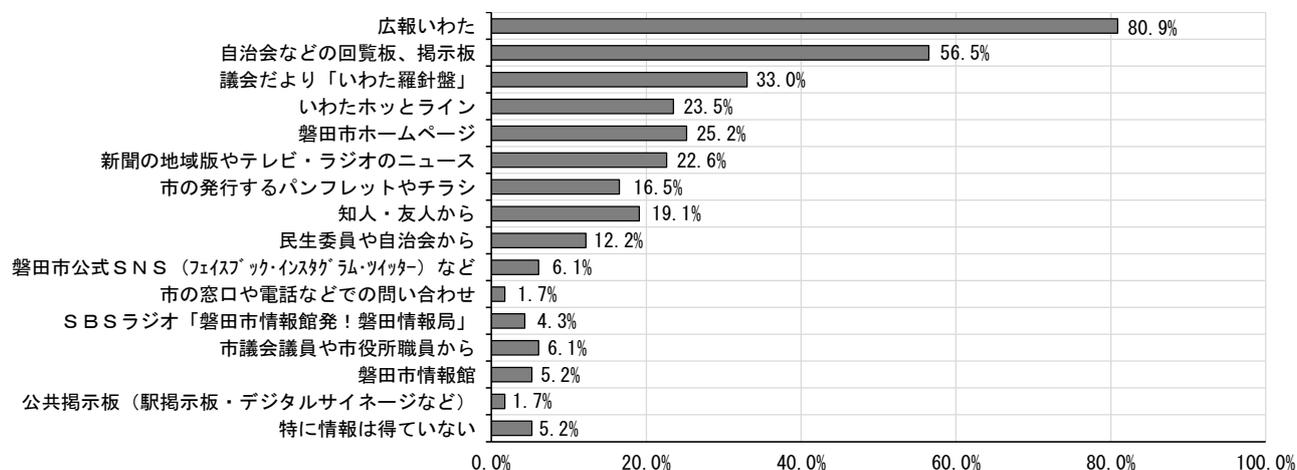
<岩田・大藤・向笠地区>



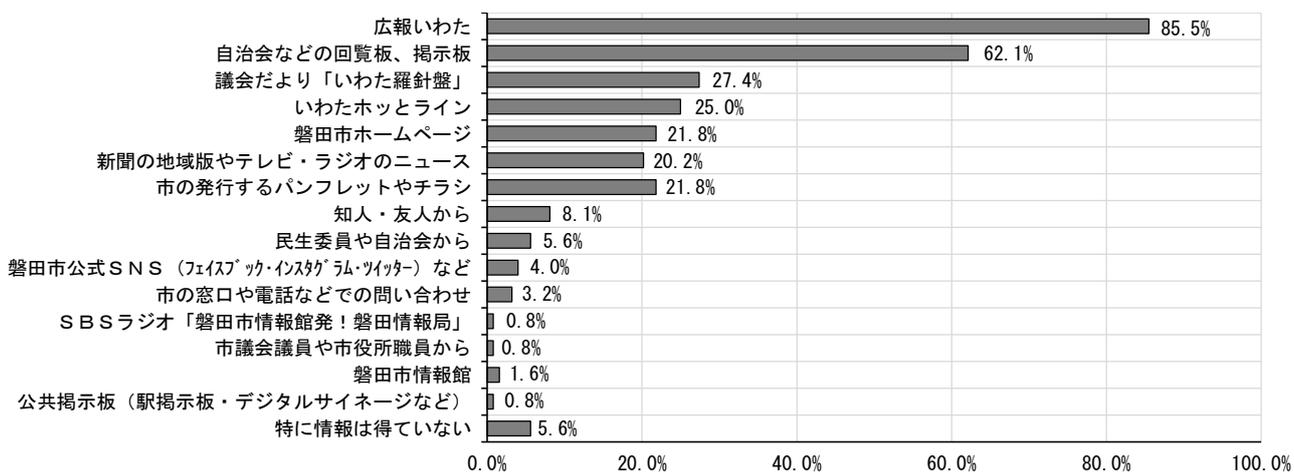
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



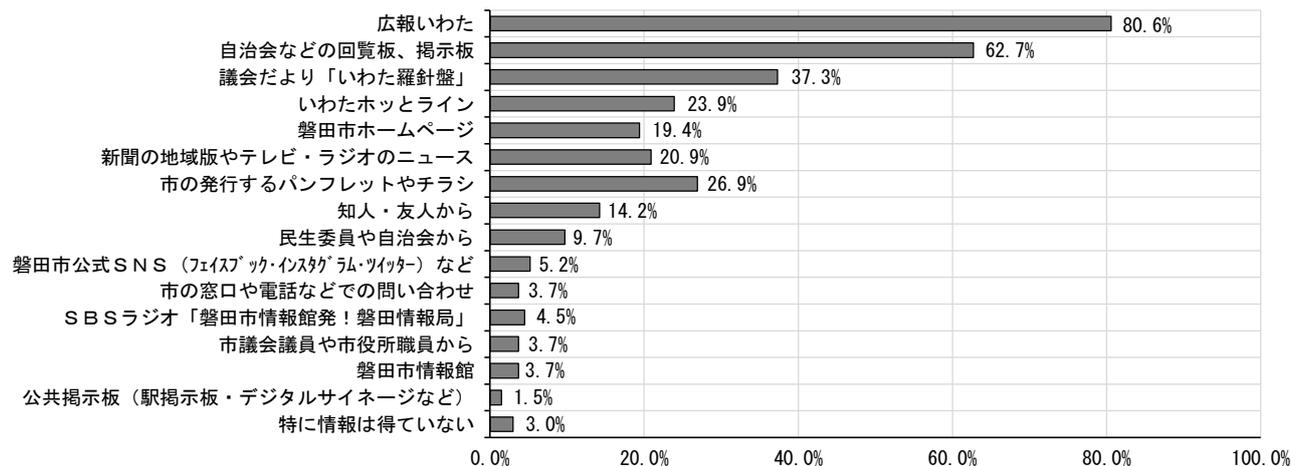
<天竜・長野・於保地区>



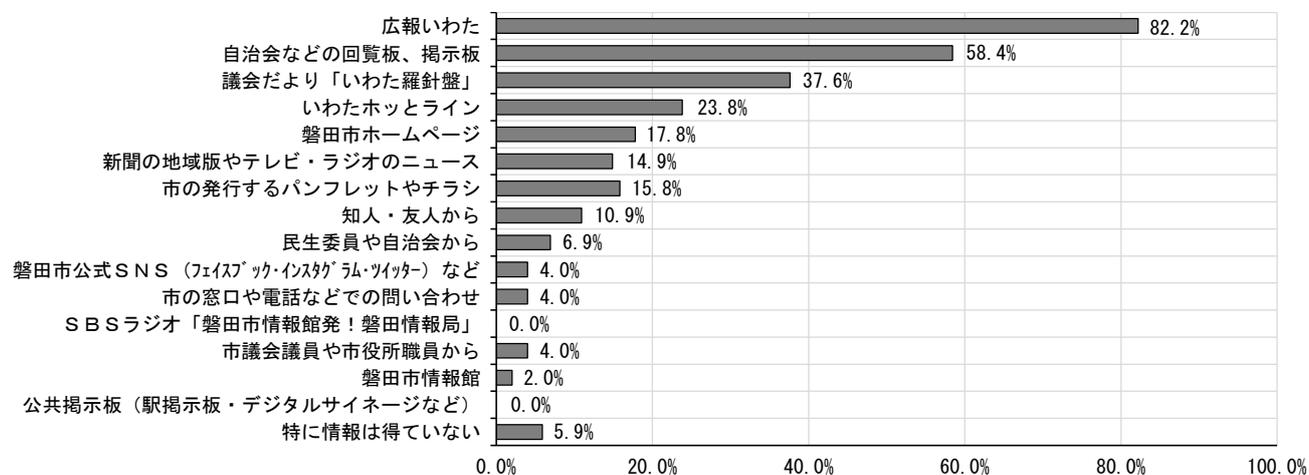
<福田地区>



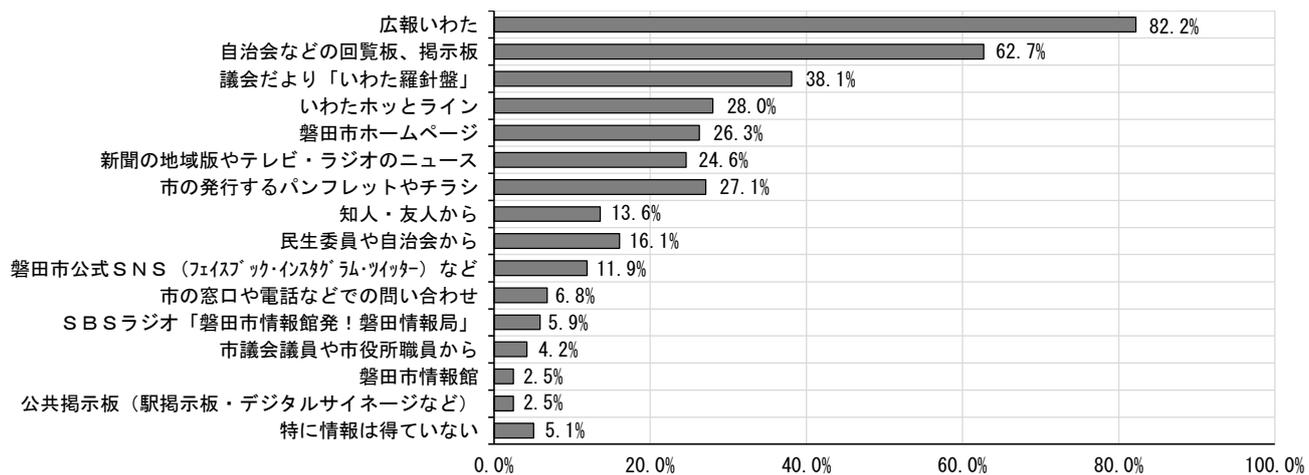
<竜洋地区>



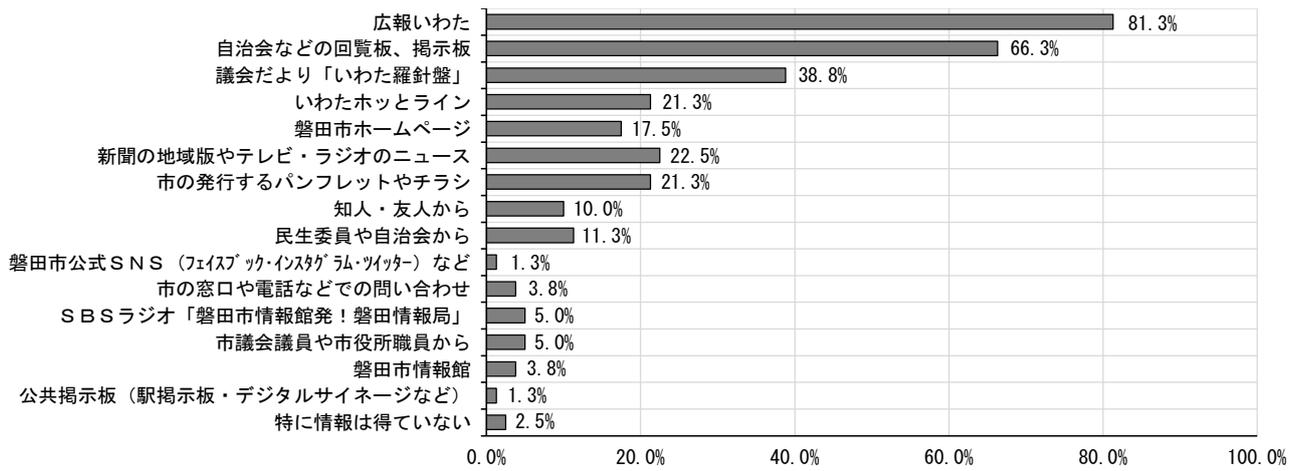
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

(2) 磐田市の魅力を全国に発信していくために、特に有効なこと

問 21 磐田市の魅力を全国に発信していくために、どのようなことが特に有効だと思いますか？
 <○印を2つまで>

磐田市の魅力を全国に発信していくために有効なことは、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」
- ・「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」

■前回調査との比較

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が増加している
- ・「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」が減少している

■傾 向

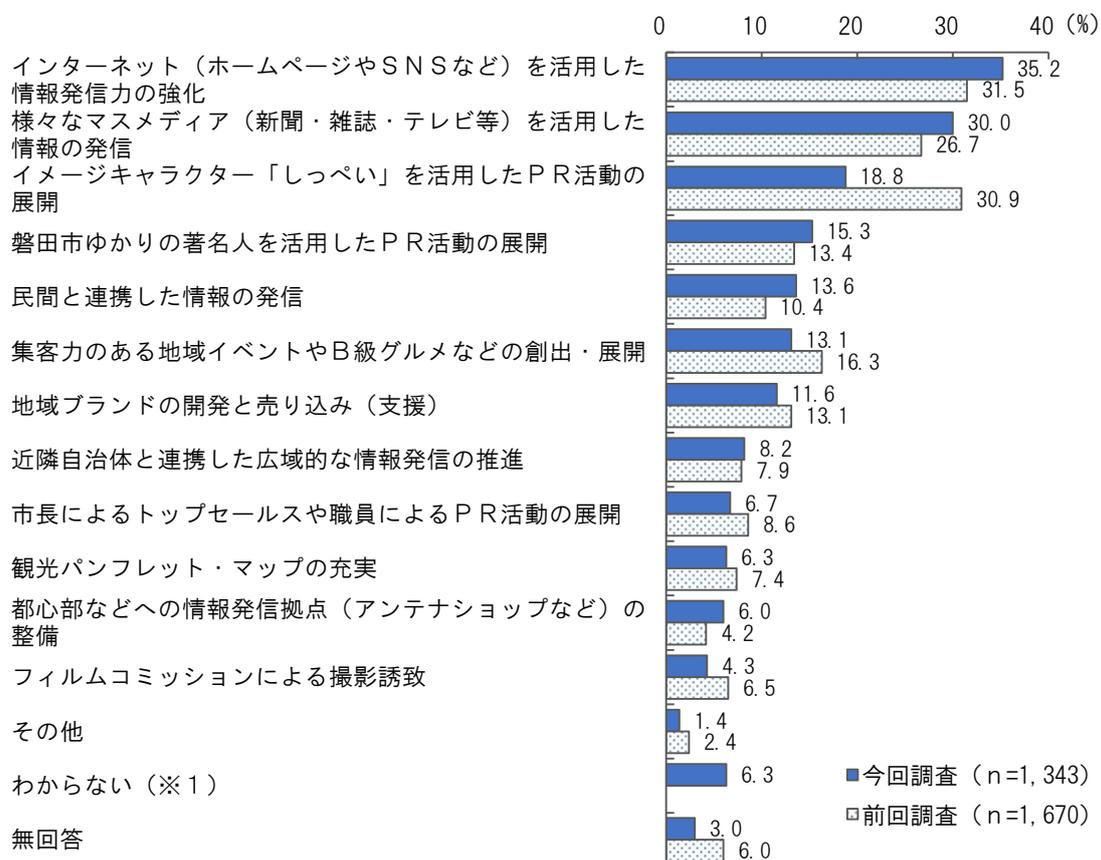
【性 別】 大きな差はない

【年 代 別】 複数の年代で最も多い項目は、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」

【居住地区別】 複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」
- ・「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（35.2%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（30.0%）、「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」（18.8%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が3.7ポイント、「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が3.3ポイント、「民間と連携した情報の発信」が3.2ポイント増加している。
- ・「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」が12.1ポイント、「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」が3.2ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
- ・男性では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（37.7%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（28.0%）、「磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開」（18.0%）となっている。
- ・女性では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（33.4%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（32.1%）、「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」（22.3%）となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が最も多い。
- ・70歳以上では「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（35.5%）が最も多い。

【居住地区別】

- ・岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が最も多い。
- ・それ以外の居住地区では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信
	人数	241人	179人	115人	98人	84人
	割合	37.7%	28.0%	18.0%	15.3%	13.1%
女性	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開
	人数	228人	219人	152人	95人	92人
	割合	33.4%	32.1%	22.3%	13.9%	13.5%

【年代別：上位5位のみ】

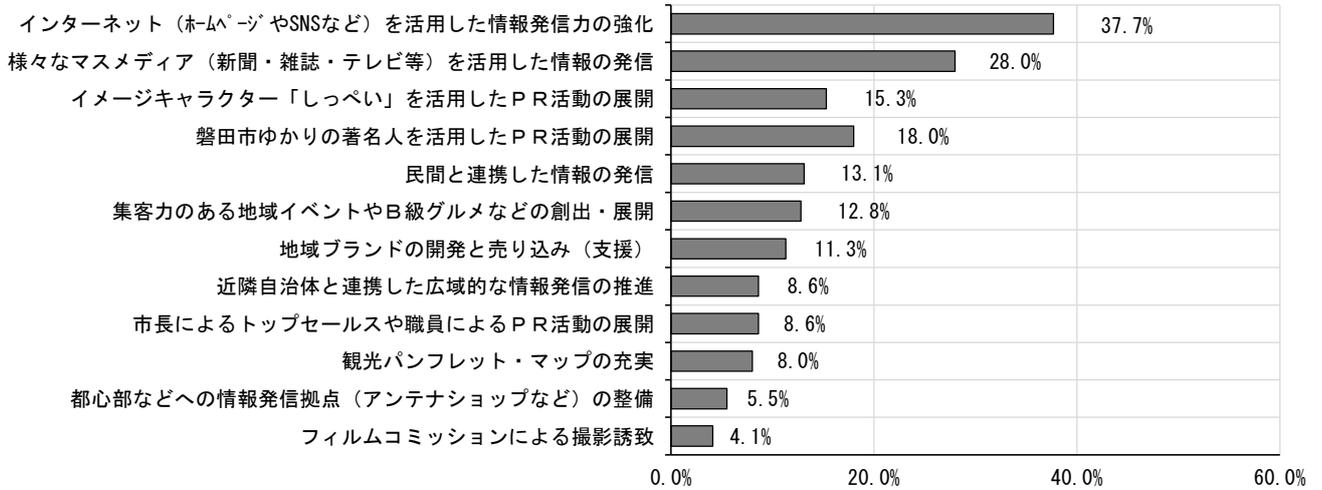
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開 ・地域ブランドの開発と売り込み（支援） ・フィルムコミッションによる撮影誘致
	人数	39人	25人	16人	15人	7人
	割合	50.6%	32.5%	20.8%	19.5%	9.1%
30歳代	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信
	人数	56人	33人	31人	26人	19人
	割合	44.8%	26.4%	24.8%	20.8%	15.2%
40歳代	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開
	人数	65人	46人	45人	32人	30人
	割合	36.7%	26.0%	25.4%	18.1%	16.9%
50歳代	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開
	人数	105人	68人	50人	44人	32人
	割合	44.7%	28.9%	21.3%	18.7%	13.6%
60歳代	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信
	人数	101人	88人	55人	48人	42人
	割合	35.4%	30.9%	19.3%	16.8%	14.7%
70歳以上	理由	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	民間と連携した情報の発信	近隣自治体と連携した広域的な情報発信の推進	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開
	人数	150人	103人	62人	56人	55人
	割合	35.5%	24.4%	14.7%	13.3%	13.0%

【居住地区別：上位5位のみ】

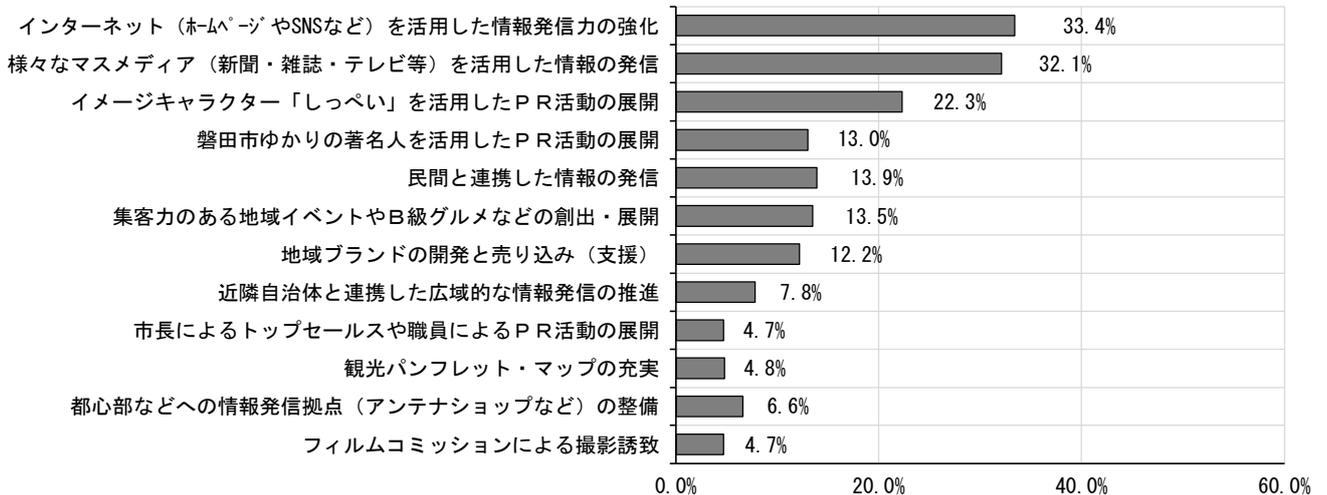
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	地域ブランドの開発と売り込み（支援）
	人数	67人	62人	50人	32人	26人
	割合	34.7%	32.1%	25.9%	16.6%	13.5%
中泉・今之浦地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	・地域ブランドの開発と売り込み（支援） ・集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	
	人数	77人	70人	37人	33人	
	割合	34.1%	31.0%	16.4%	14.6%	
岩田・大藤・向笠地区	理由	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	・磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開 ・地域ブランドの開発と売り込み（支援）	
	人数	28人	25人	18人	11人	
	割合	35.9%	32.1%	23.1%	14.1%	
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開
	人数	49人	46人	30人	26人	25人
	割合	34.8%	32.6%	21.3%	18.4%	17.7%
天竜・長野・於保地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信
	人数	42人	36人	22人	19人	17人
	割合	36.5%	31.3%	19.1%	16.5%	14.8%
福田地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開
	人数	47人	35人	28人	18人	16人
	割合	37.9%	28.2%	22.6%	14.5%	12.9%
竜洋地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	・イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開 ・集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	
	人数	44人	32人	23人	21人	
	割合	32.8%	23.9%	17.2%	15.7%	
富岡・豊田東・池田地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開
	人数	37人	22人	19人	17人	13人
	割合	36.6%	21.8%	18.8%	16.8%	12.9%
井通地区・青城地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	・磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開 ・集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開		イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開
	人数	51人	31人	24人		21人
	割合	43.2%	26.3%	20.3%		17.8%
豊岡地区	理由	インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化	様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信	磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開	民間と連携した情報の発信	・地域ブランドの開発と売り込み（支援） ・集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開
	人数	31人	29人	13人	10人	9人
	割合	38.8%	36.3%	16.3%	12.5%	11.3%

【属性別（性別）】

<男性>

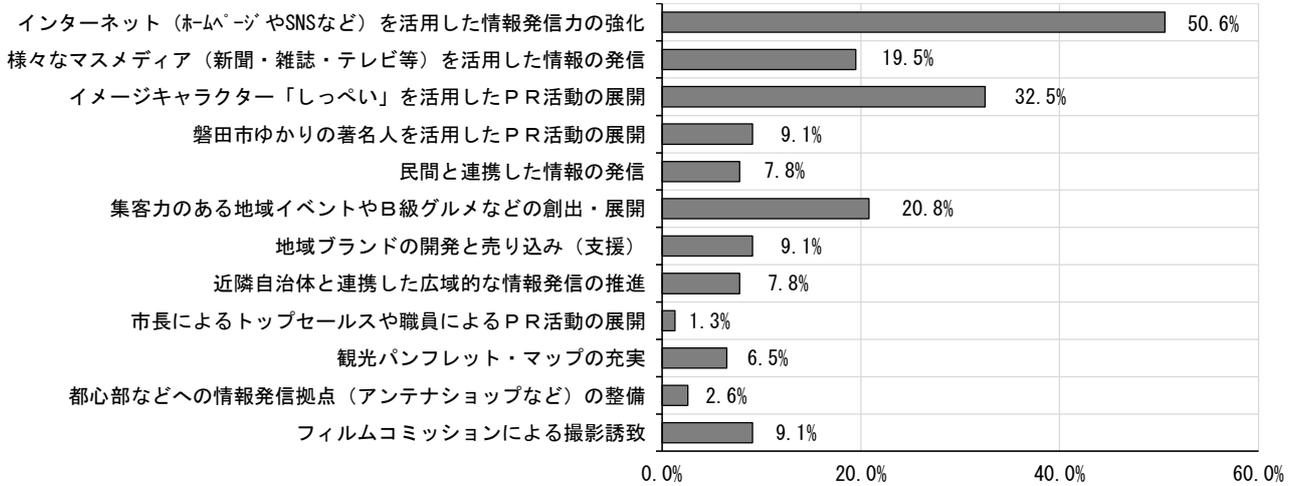


<女性>

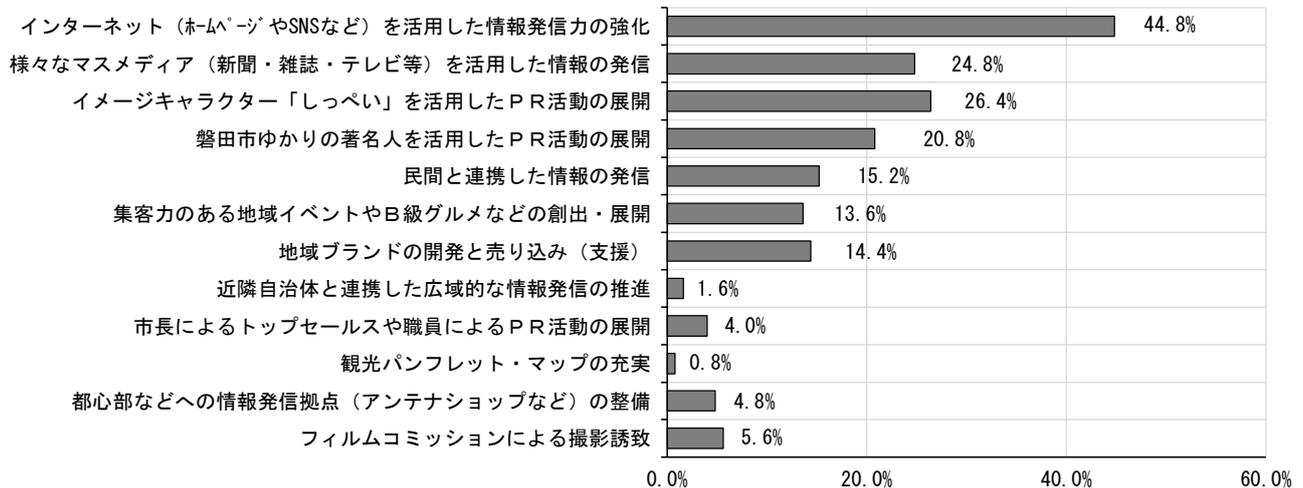


【属性別（年代別）】

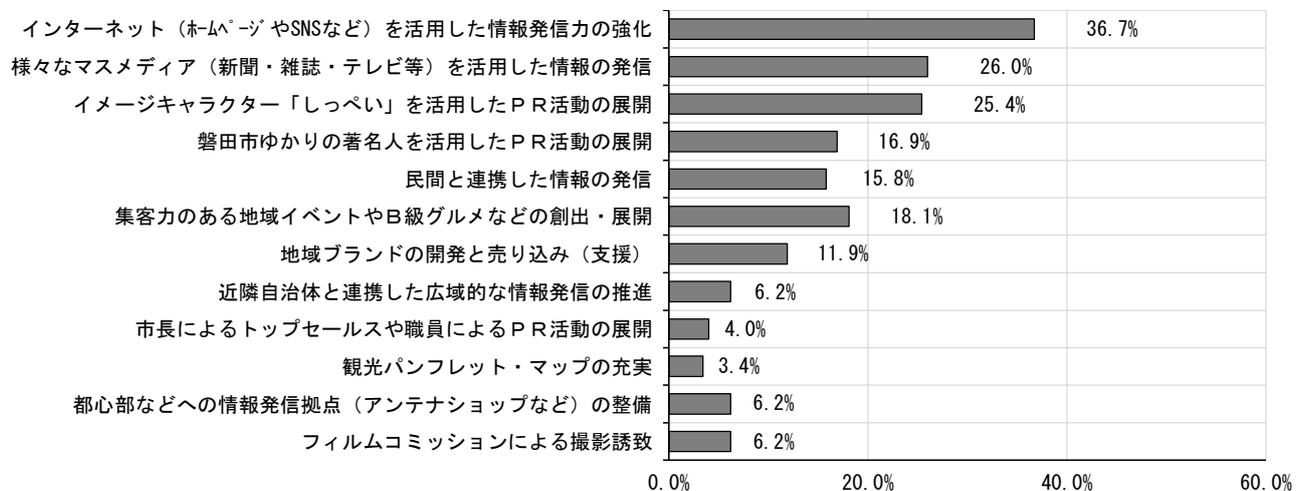
<30 歳未満>



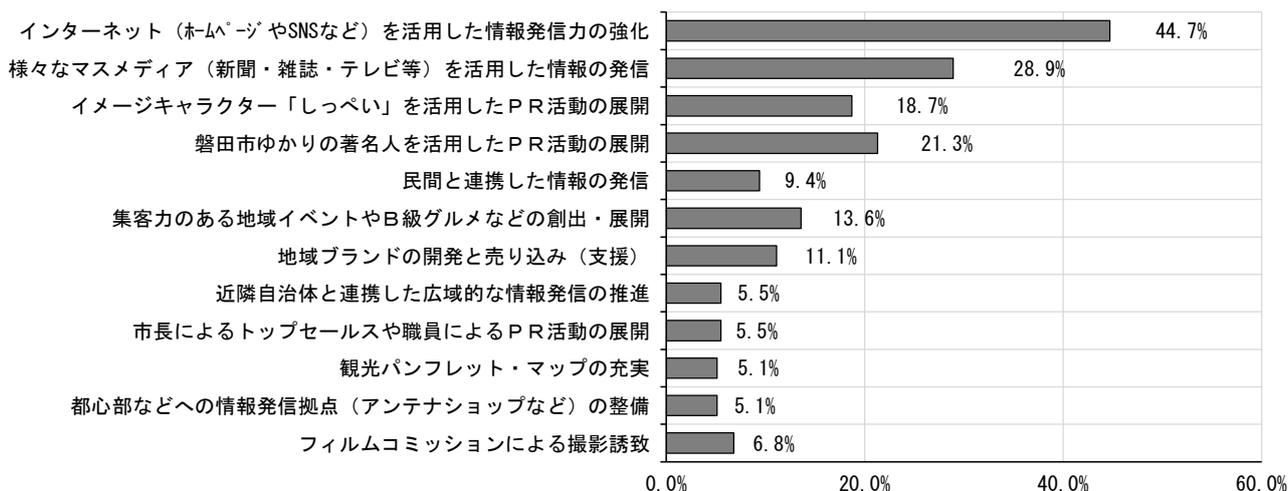
<30 歳代>



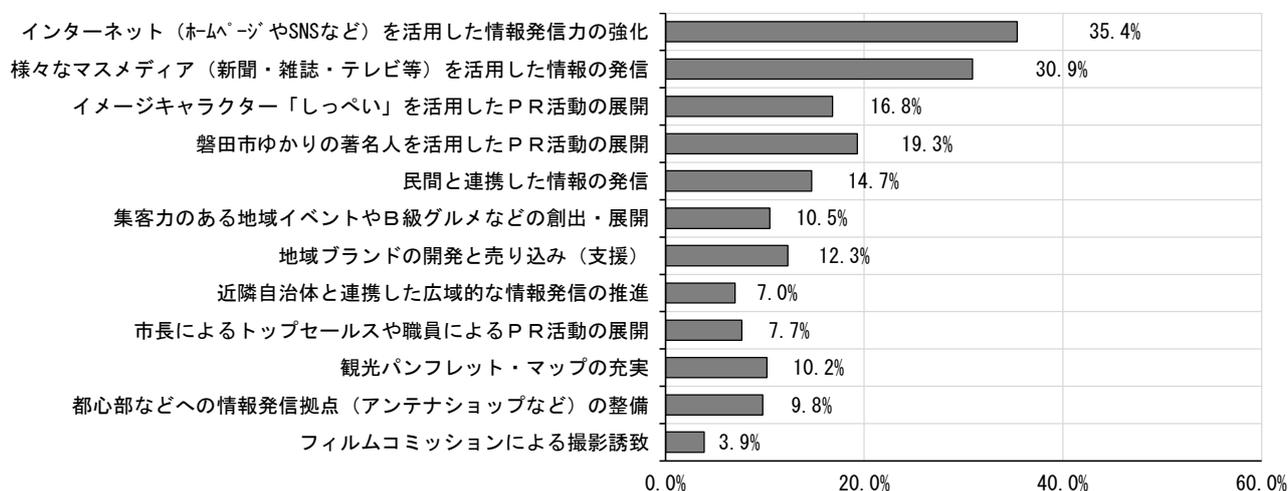
<40 歳代>



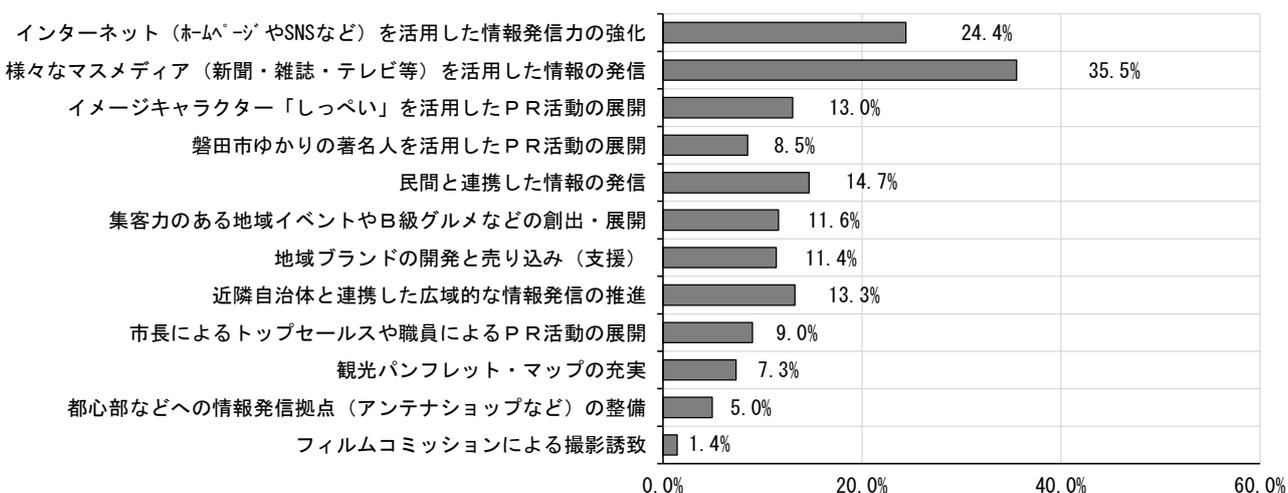
<50 歳代>



<60 歳代>

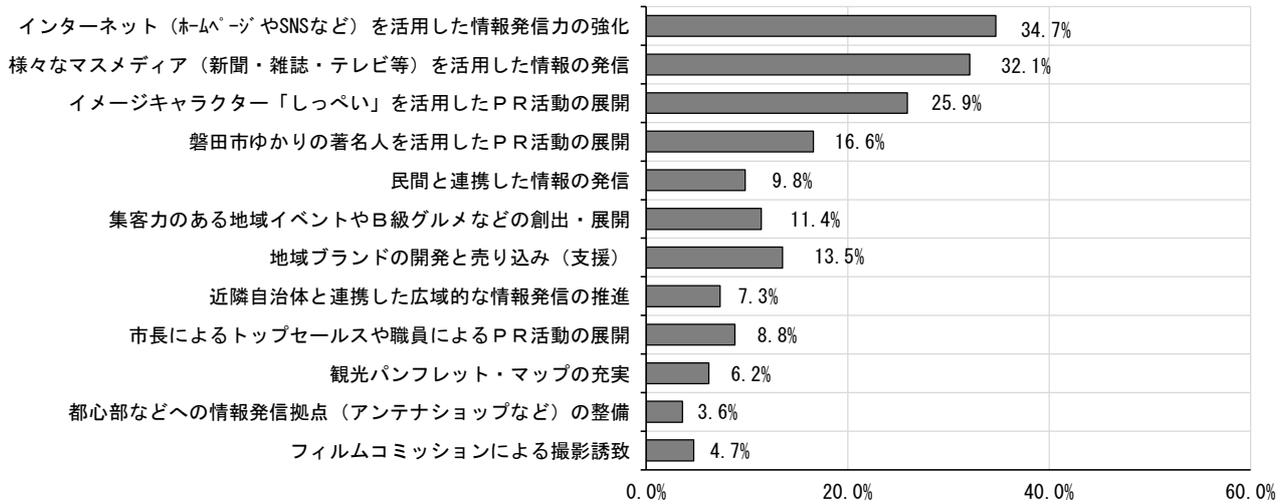


<70 歳以上>

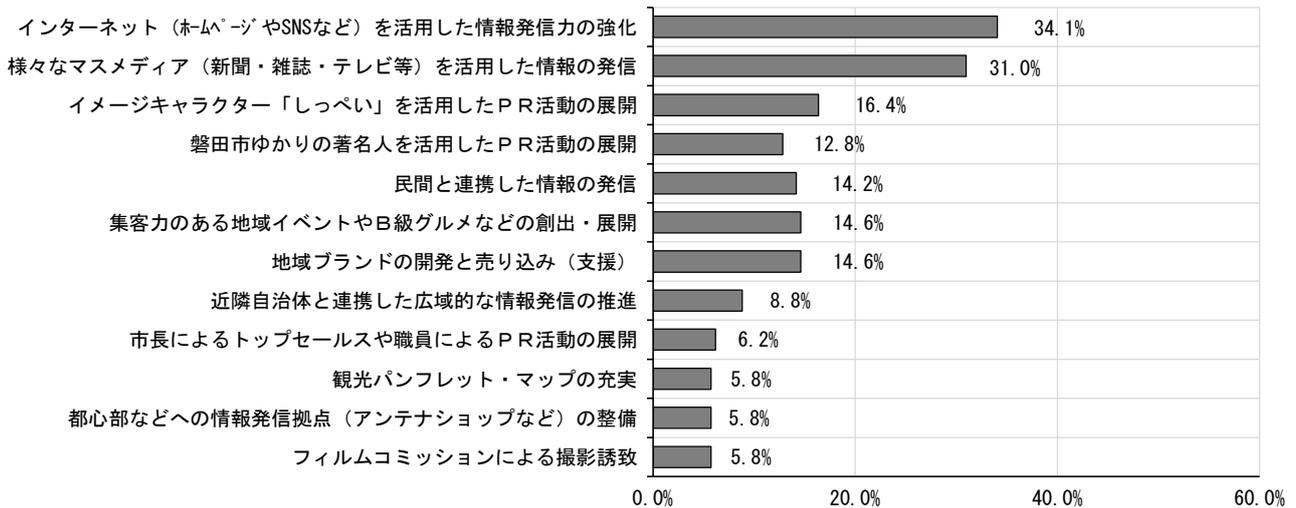


【属性別（居住地区別）】

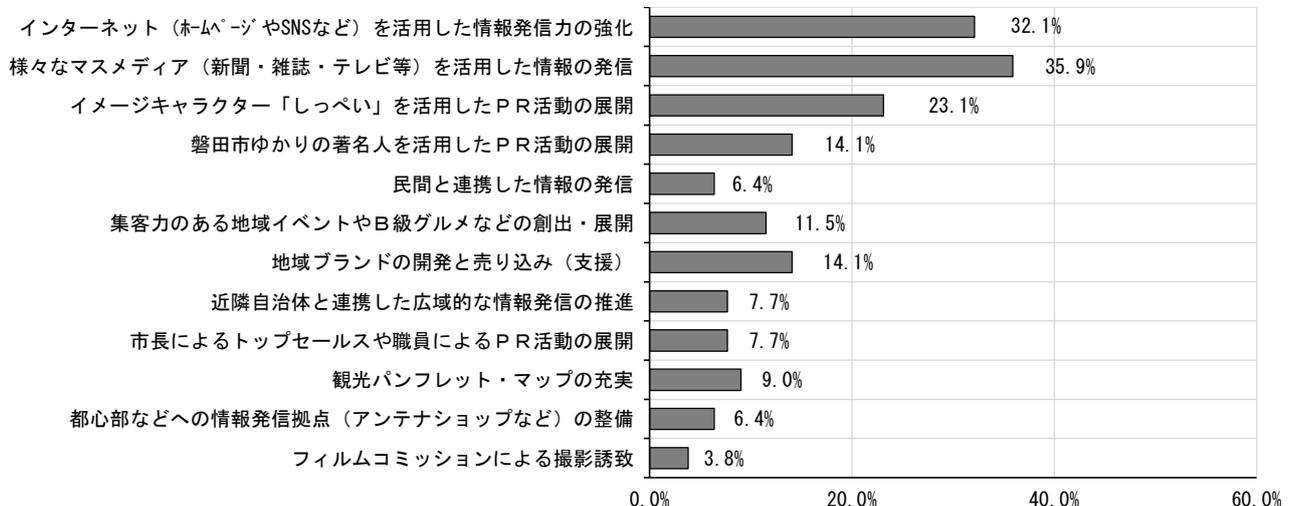
<見付地区>



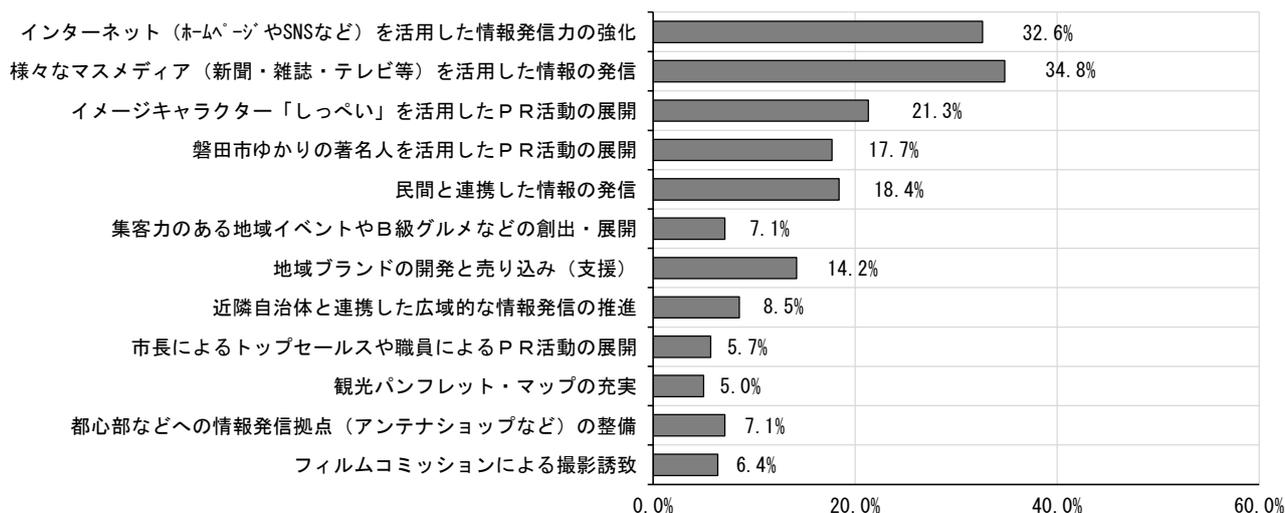
<中泉・今之浦地区>



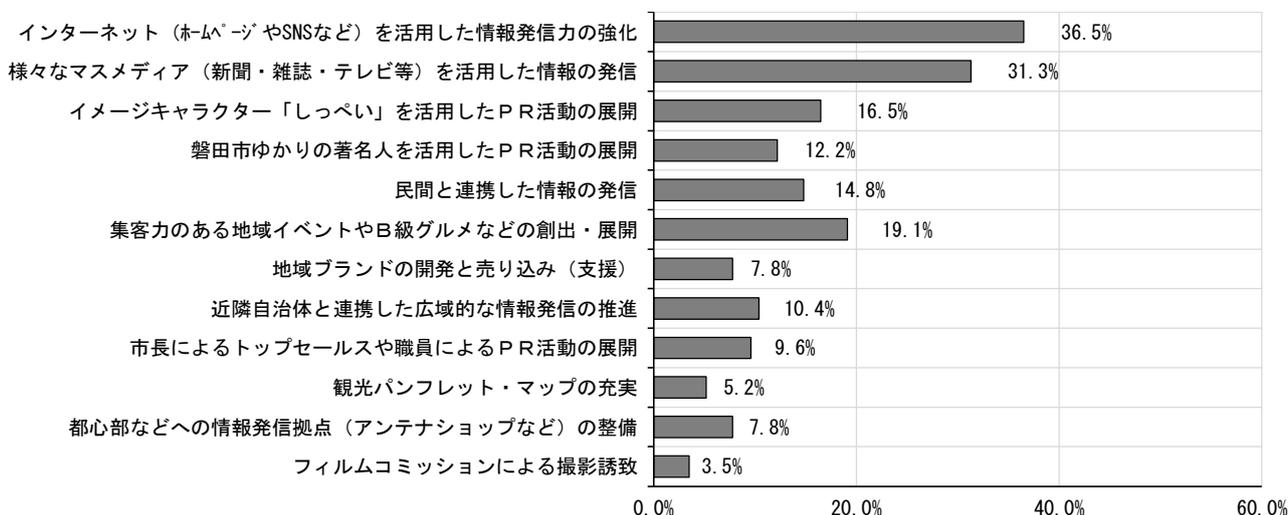
<岩田・大藤・向笠地区>



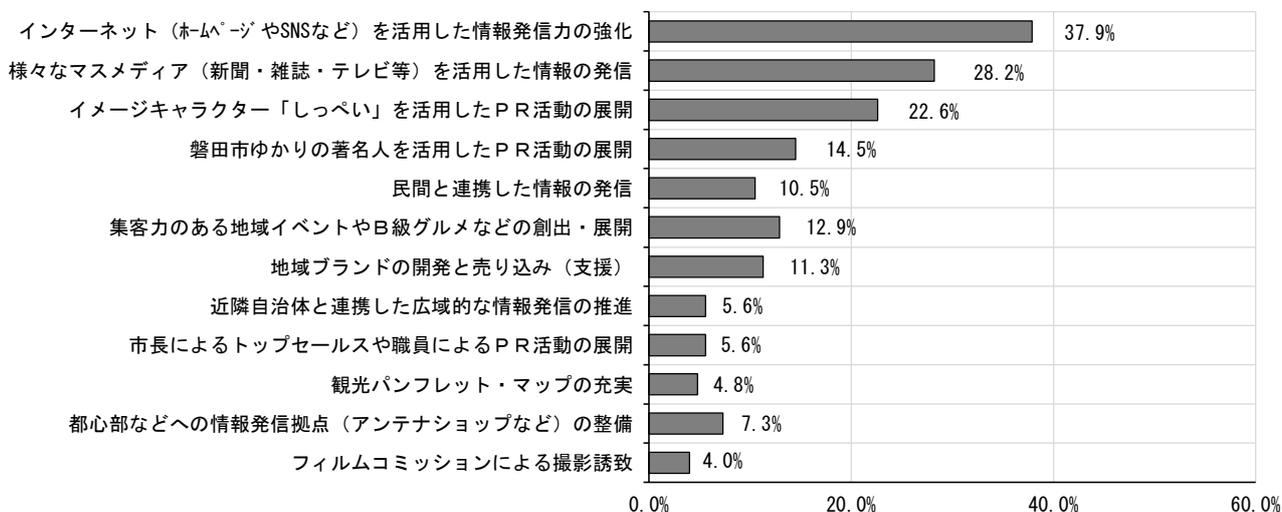
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



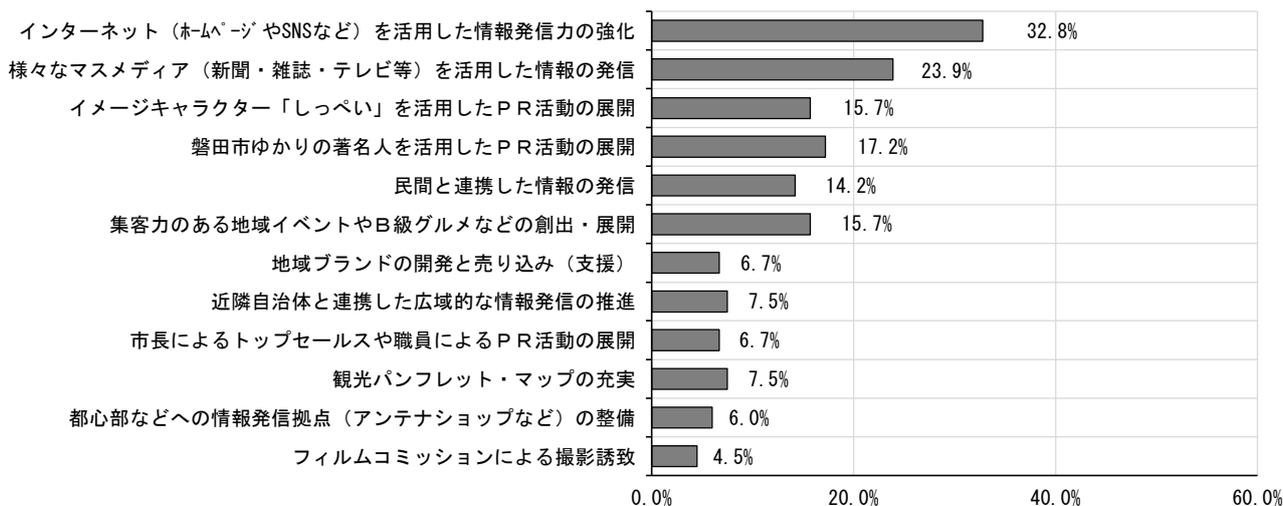
<天竜・長野・於保地区>



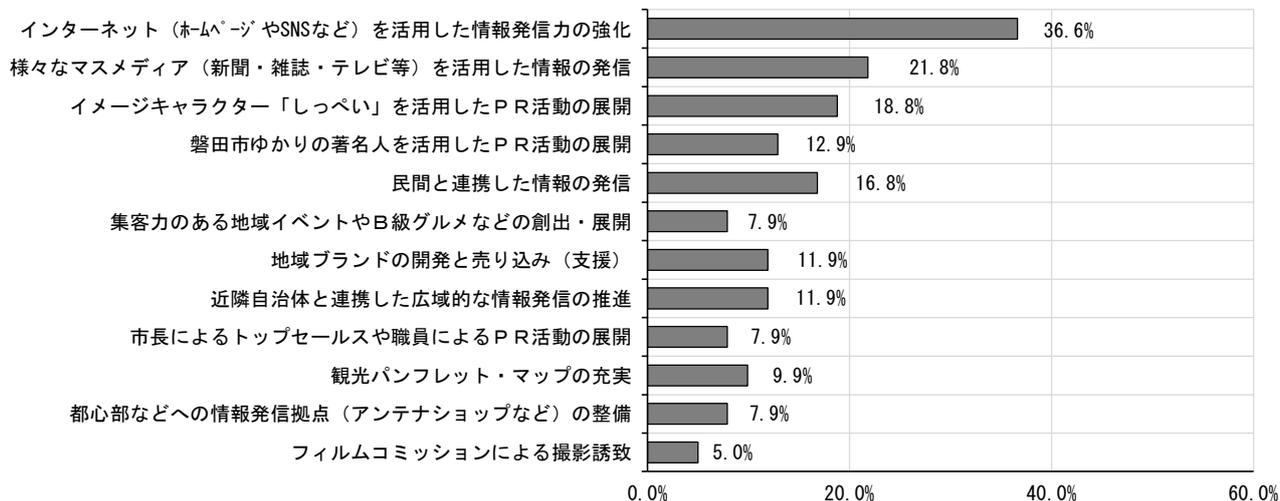
<福田地区>



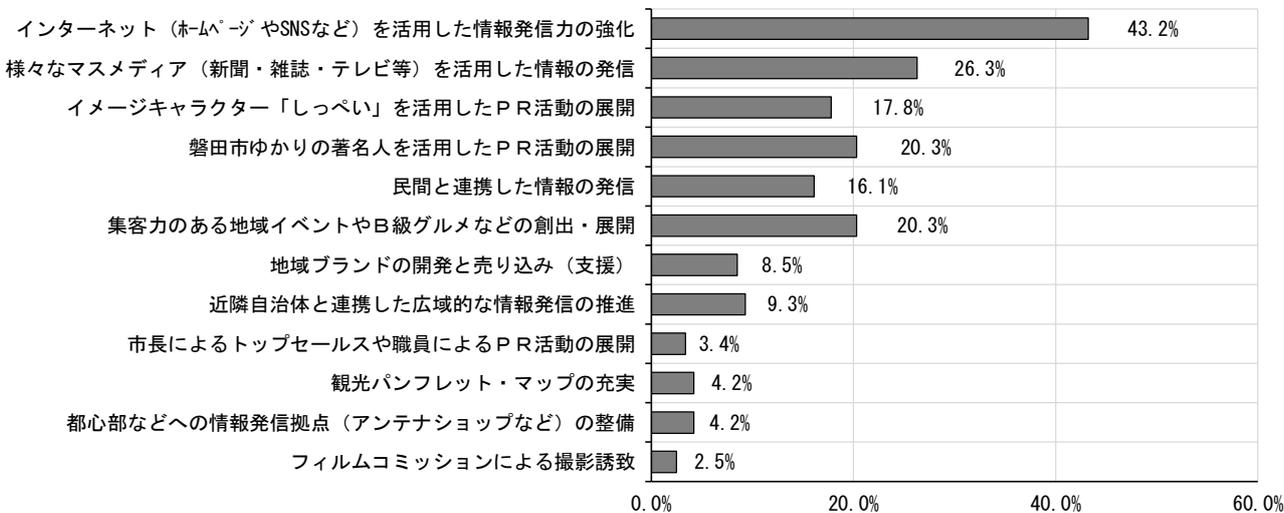
<竜洋地区>



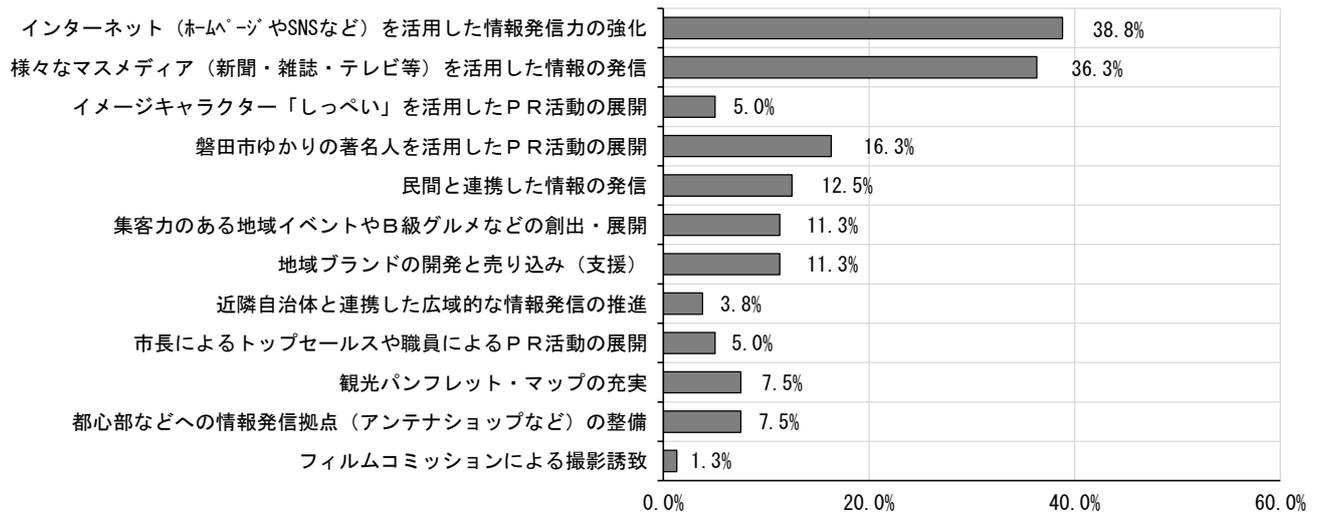
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

8. 行政運営について

(1) これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についての考え

問 22 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、今までの行政サービスをすべて同じ水準で維持することは難しい状況です。このような時代を迎え、これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についてどう思いますか？ <○印を1つ>

行政サービスの水準と市民の負担のあり方で最も多い回答は、

「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」

■前回調査との比較

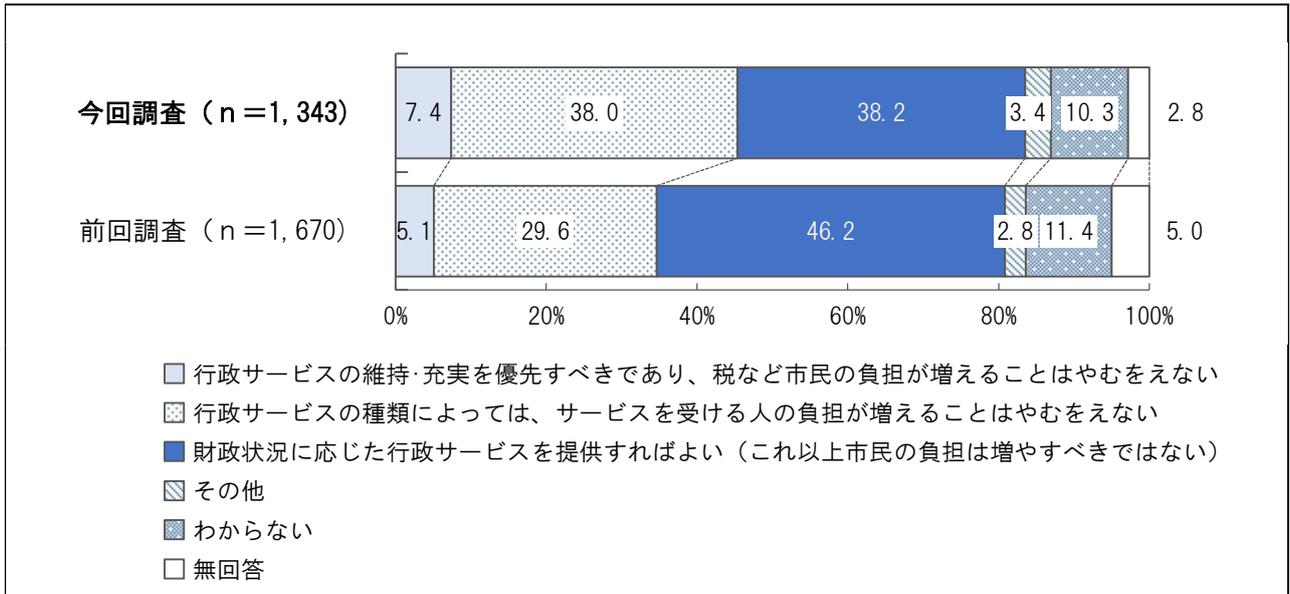
「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が増加し、「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が減少している

■傾 向

【性別】男性では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、女性では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い

【年代別】30歳未満、30歳代、50歳代、60歳代では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、40歳代、70歳以上では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い

【居住地区別】見付地区、中泉・今之浦地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、それ以外の居住地区では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い



■今回調査の結果

- ・「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」(38.2%) が最も多く、次いで「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(38.0%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(7.4%) となっている。

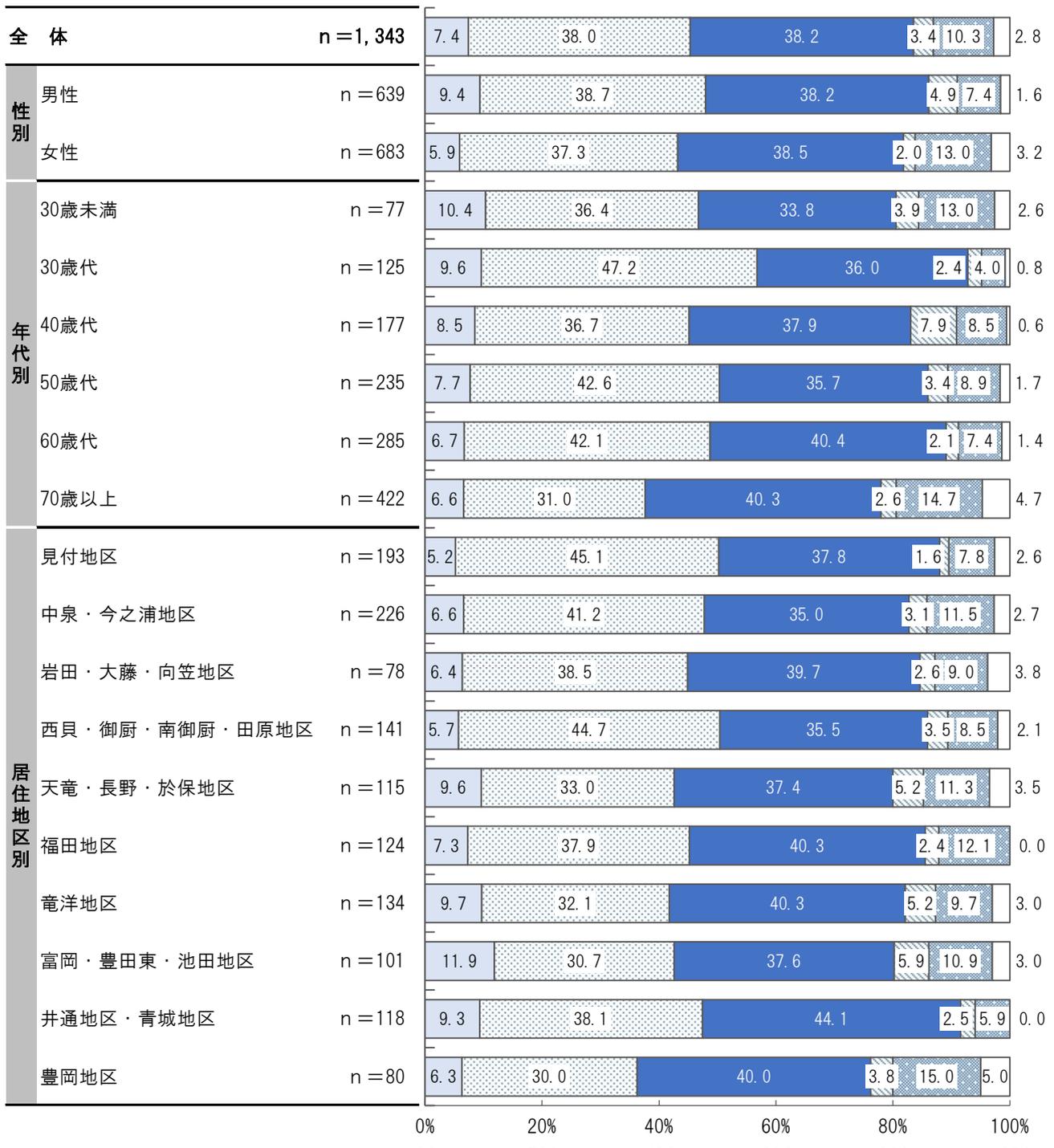
■前回調査との比較

- ・「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が 8.4 ポイント増加している。
- ・「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が 8.0 ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】
 - ・男性では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(38.7%) が最も多く、次いで「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)」(38.2%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(9.4%) となっている。
 - ・女性では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」(38.5%) が最も多く、次いで「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(37.3%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(5.9%) となっている。
- 【年代別】
 - ・30歳未満、30歳代、50歳代、60歳代では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多い。
 - ・40歳代、70歳以上では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が最も多い。
- 【居住地区別】
 - ・見付地区、中泉・今之浦地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が最も多い。

【属性別】



- 行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない
- 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない
- 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）
- その他
- わからない
- 無回答

このページは白紙です

(2) 磐田市の効率的な行政運営のために、今後さらに進めなければならないこと

問 23 磐田市においても行財政改革を推進し、効率的な行政運営に努めているところですが、今後さらに進めなければならないことは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

効率的な行政運営のために進めなければならないことは、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」

■前回調査との比較

- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が増加している
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が減少している

■傾 向

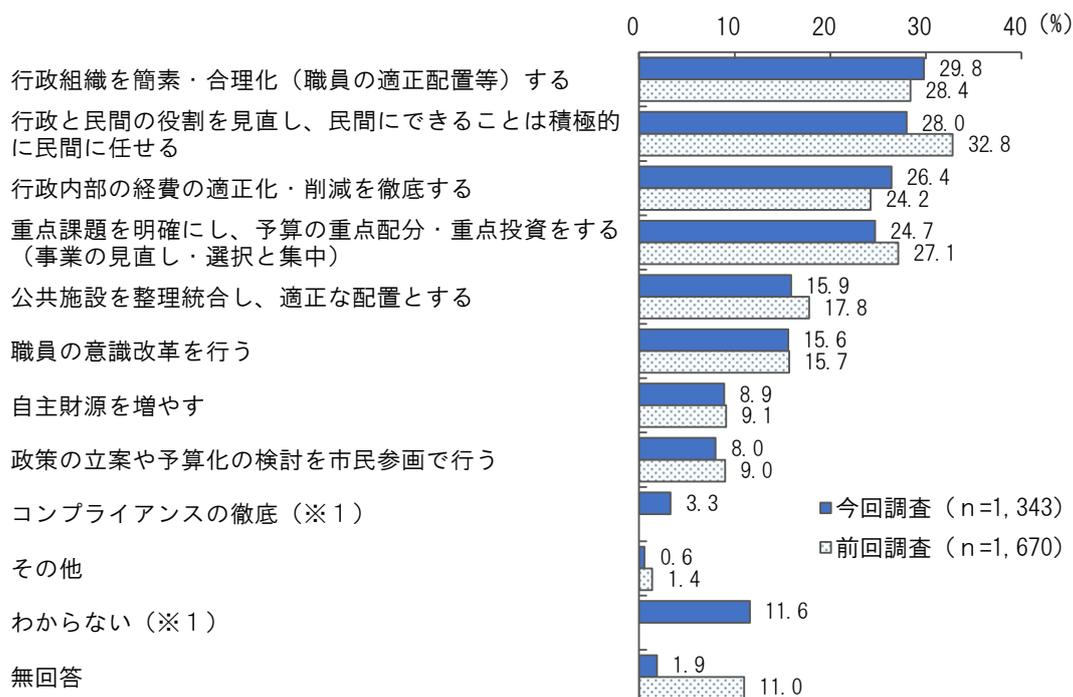
【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」
- ・「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」
- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（29.8%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（28.0%）、「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」（26.4%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が2.2ポイント増加している。
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が4.8ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
 - ・男性では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（31.3%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（29.3%）、「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（27.1%）となっている。
 - ・女性では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（28.8%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（26.6%）、「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」（26.5%）となっている。
- 【年 代 別】**
- ・30歳未満、30歳代、40歳代では「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」が最も多い。
 - ・50歳代、60歳代、70歳以上では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、中泉・今之浦地区では「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（それぞれ29.5%）が最も多い。
 - ・西貝・御厨・南御厨・田原地区、福田地区では「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が最も多い。
 - ・天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」が最も多い。
 - ・竜洋地区では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（それぞれ29.1%）が最も多い。
 - ・富岡・豊田東・池田地区では「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（29.7%）が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数 割合	200人 31.3%	187人 29.3%	173人 27.1%	168人 26.3%	110人 17.2%
女性	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数 割合	197人 28.8%	182人 26.6%	181人 26.5%	155人 22.7%	102人 14.9%

【年代別：上位5位のみ】

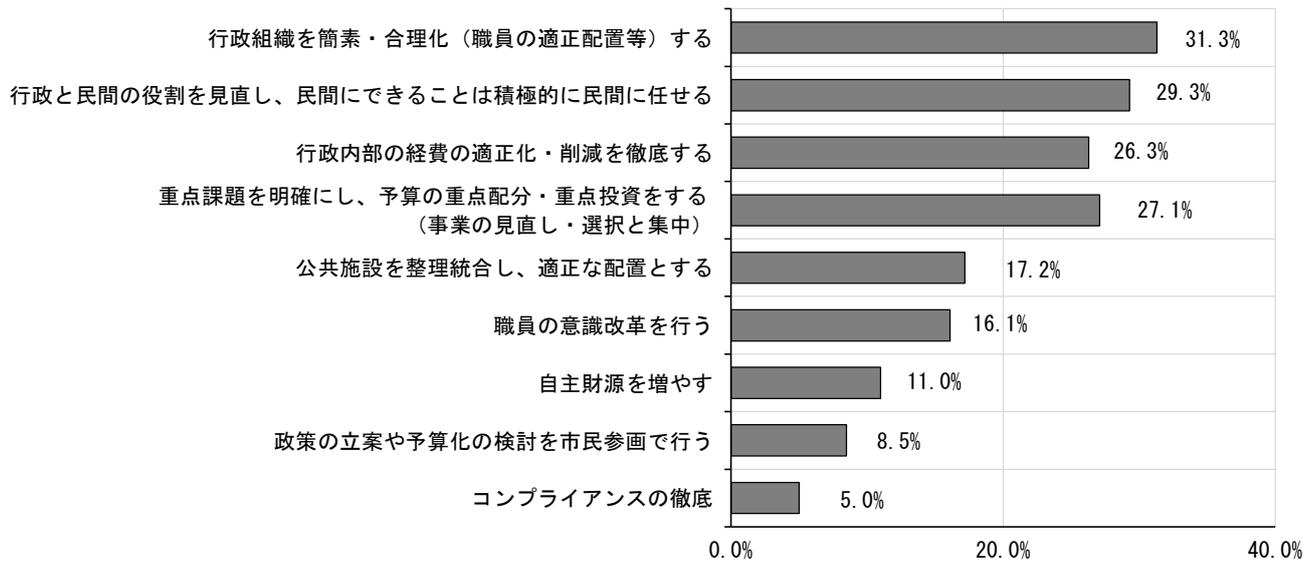
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	・行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する ・行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる		・公共施設を整理統合し、適正な配置とする ・職員の意識改革を行う ・自主財源を増やす
	人数 割合	28人 36.4%	21人 27.3%	18人 23.4%	7人 9.1%	
30歳代	理由	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	・行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる ・行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	・公共施設を整理統合し、適正な配置とする ・自主財源を増やす
	人数 割合	39人 31.2%	37人 29.6%	31人 24.8%	18人 14.4%	
40歳代	理由	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	自主財源を増やす
	人数 割合	54人 30.5%	52人 29.4%	49人 27.7%	47人 26.6%	26人 14.7%
50歳代	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	職員の意識改革を行う
	人数 割合	81人 34.5%	78人 33.2%	54人 23.0%	50人 21.3%	37人 15.7%
60歳代	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	職員の意識改革を行う
	人数 割合	99人 34.7%	85人 29.8%	78人 27.4%	72人 25.3%	53人 18.6%
70歳以上	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数 割合	118人 28.0%	111人 26.3%	100人 23.7%	86人 20.4%	83人 19.7%

【居住地区別：上位5位のみ】

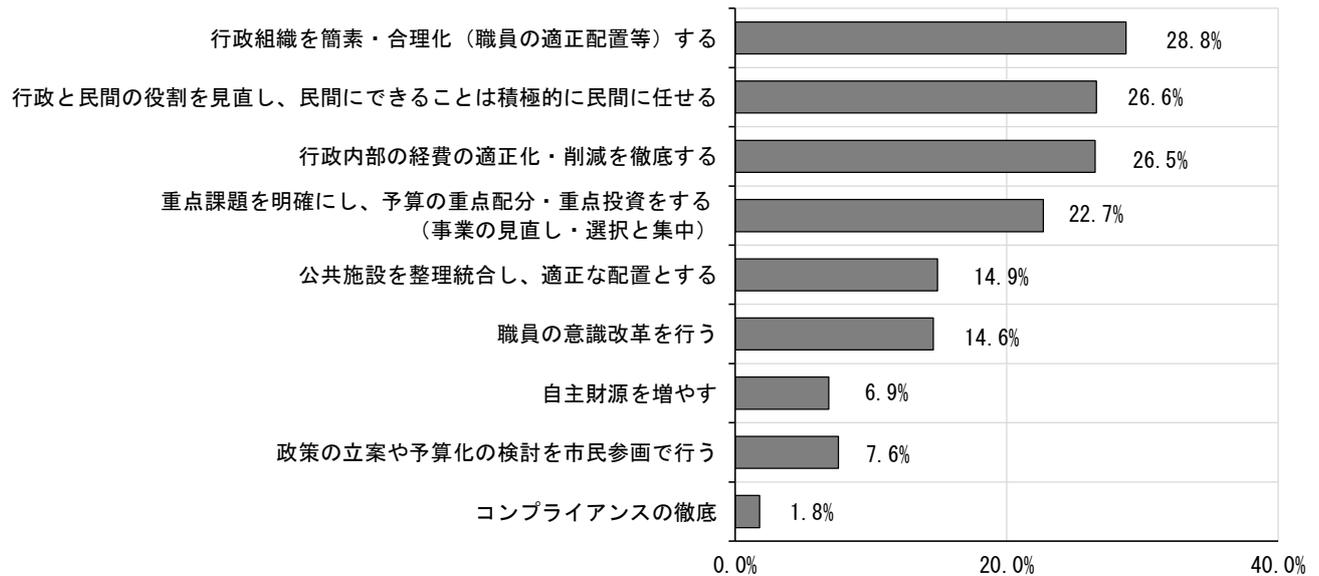
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数	57人	54人	50人	45人	30人
	割合	29.5%	28.0%	25.9%	23.3%	15.5%
中泉・今之浦地区	理由	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数	67人	60人	57人	50人	33人
	割合	29.6%	26.5%	25.2%	22.1%	14.6%
岩田・大藤・向笠地区	理由	・行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる ・重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）		行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	自主財源を増やす
	人数		23人	22人	15人	11人
	割合		29.5%	28.2%	19.2%	14.1%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	・公共施設を整理統合し、適正な配置とする ・職員の意識改革を行う
	人数	46人	45人	42人	36人	20人
	割合	32.6%	31.9%	29.8%	25.5%	14.2%
天竜・長野・於保地区	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	公共施設を整理統合し、適正な配置とする	職員の意識改革を行う
	人数	44人	38人	30人	21人	17人
	割合	38.3%	33.0%	26.1%	18.3%	14.8%
福田地区	理由	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	・公共施設を整理統合し、適正な配置とする ・職員の意識改革を行う
	人数	40人	38人	33人	32人	20人
	割合	32.3%	30.6%	26.6%	25.8%	16.1%
竜洋地区	理由	・行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する ・重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）		行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数		39人	32人	31人	22人
	割合		29.1%	23.9%	23.1%	16.4%
富岡・豊田東・池田地区	理由	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する
	人数	30人	29人	26人	22人	19人
	割合	29.7%	28.7%	25.7%	21.8%	18.8%
井通地区・青城地区	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする
	人数	43人	41人	28人	27人	23人
	割合	36.4%	34.7%	23.7%	22.9%	19.5%
豊岡地区	理由	行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	職員の意識改革を行う	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）
	人数	31人	25人	20人	18人	13人
	割合	38.8%	31.3%	25.0%	22.5%	16.3%

【属性別（性別）】

<男性>

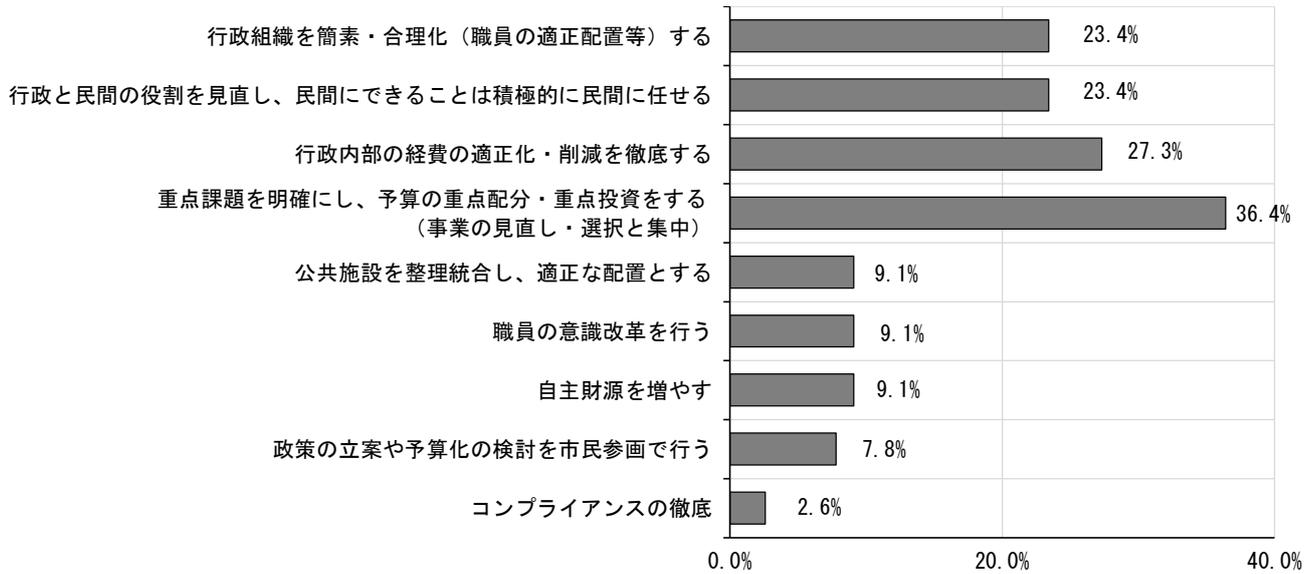


<女性>

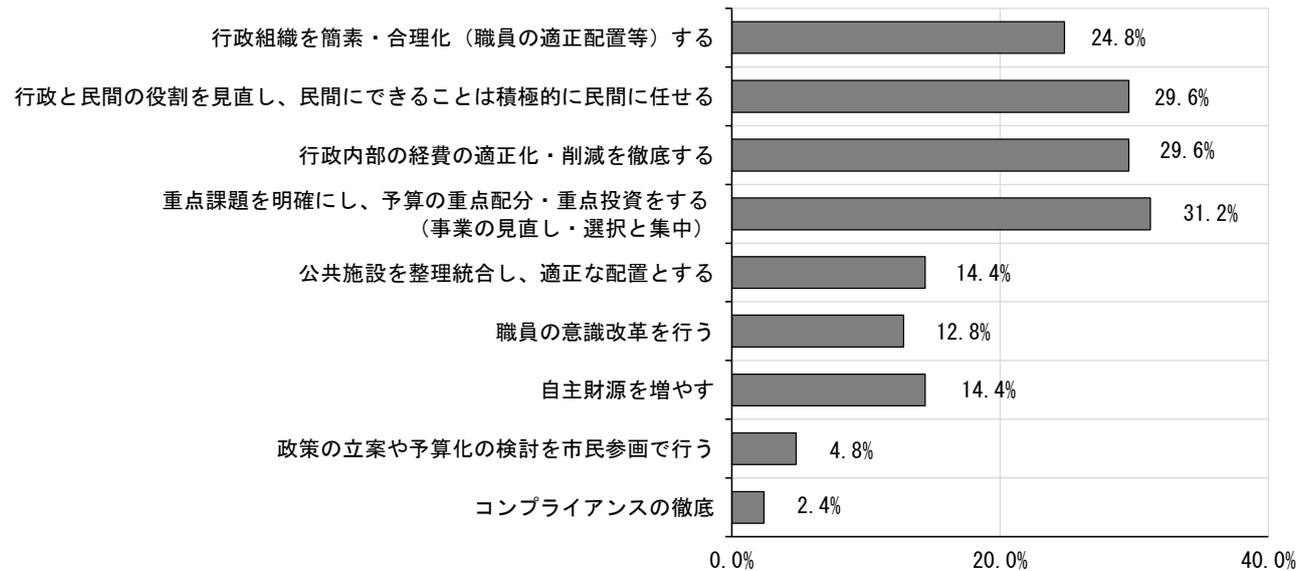


【属性別（年代別）】

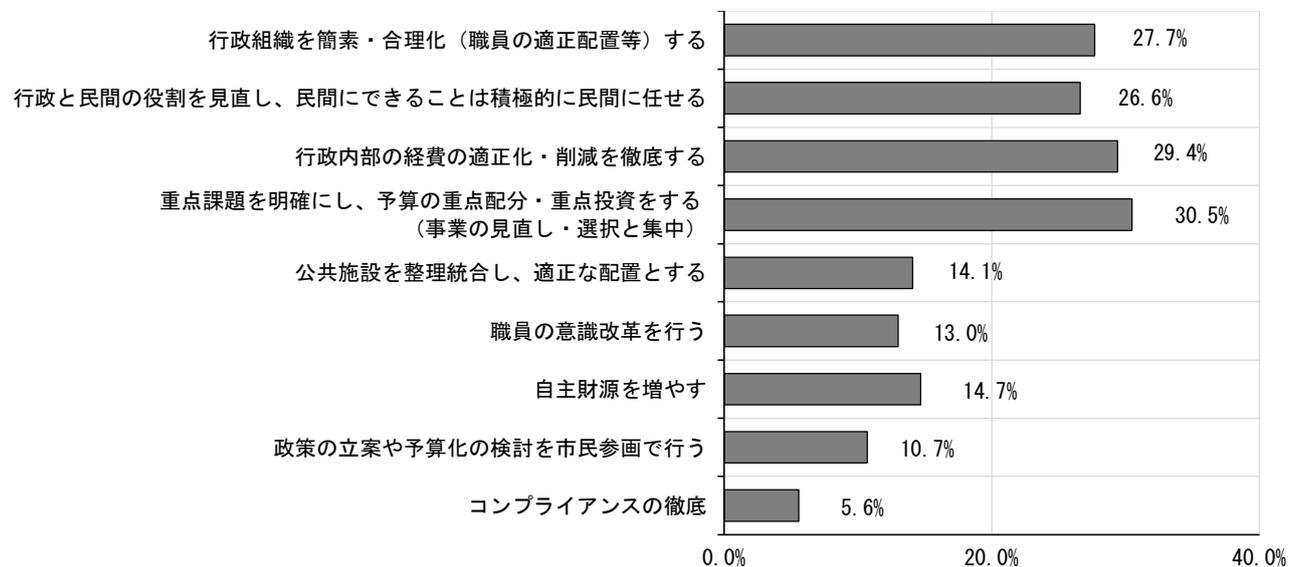
<30 歳未満>



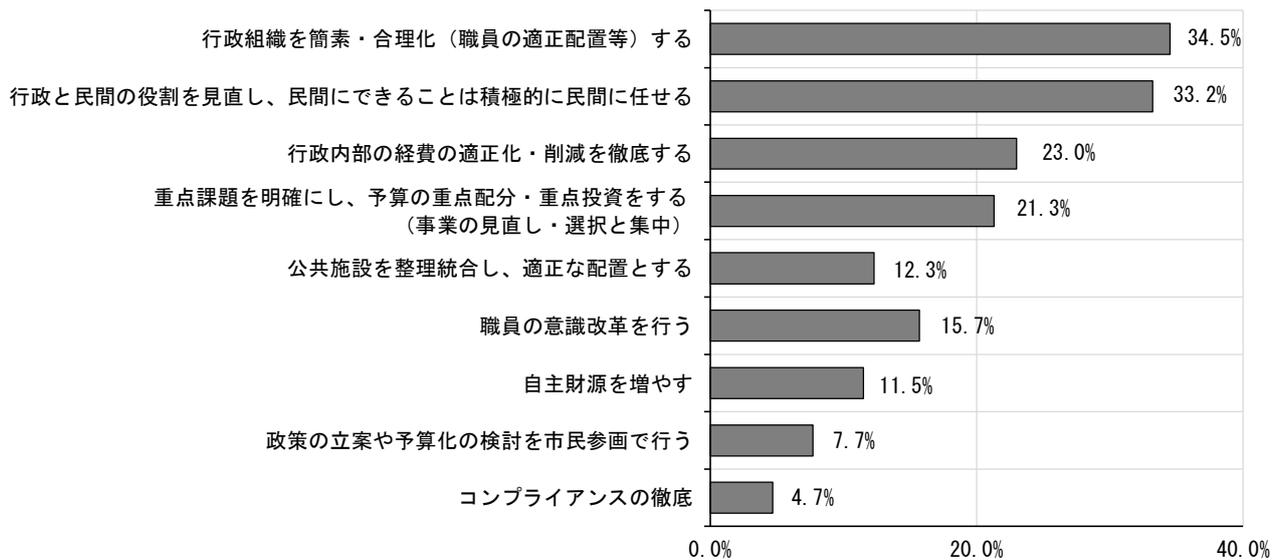
<30 歳代>



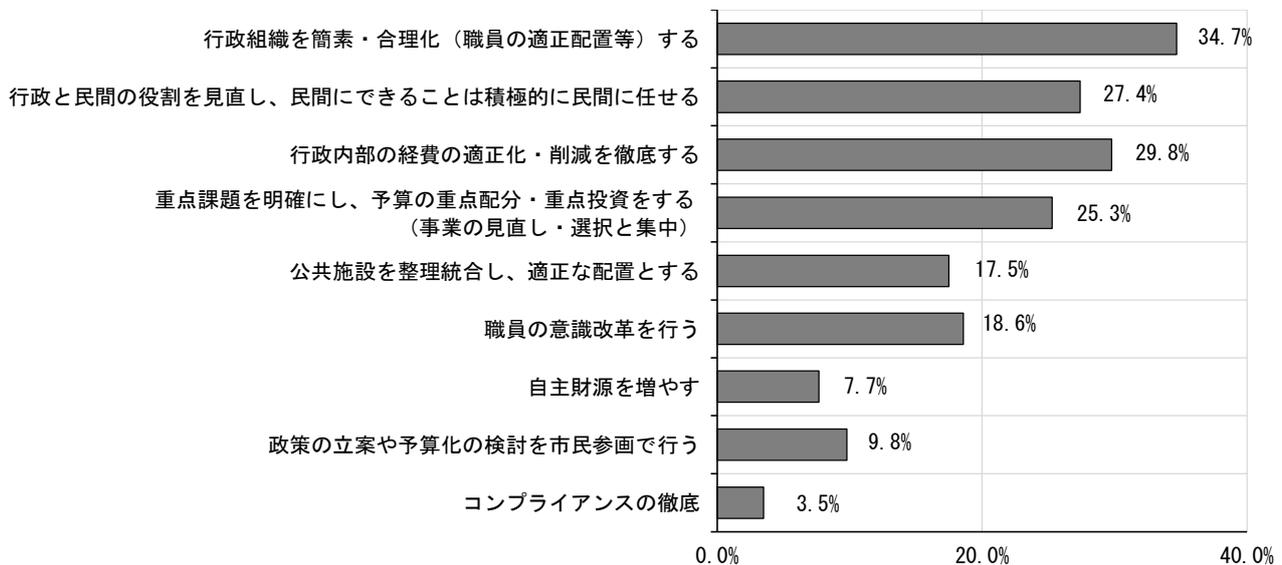
<40 歳代>



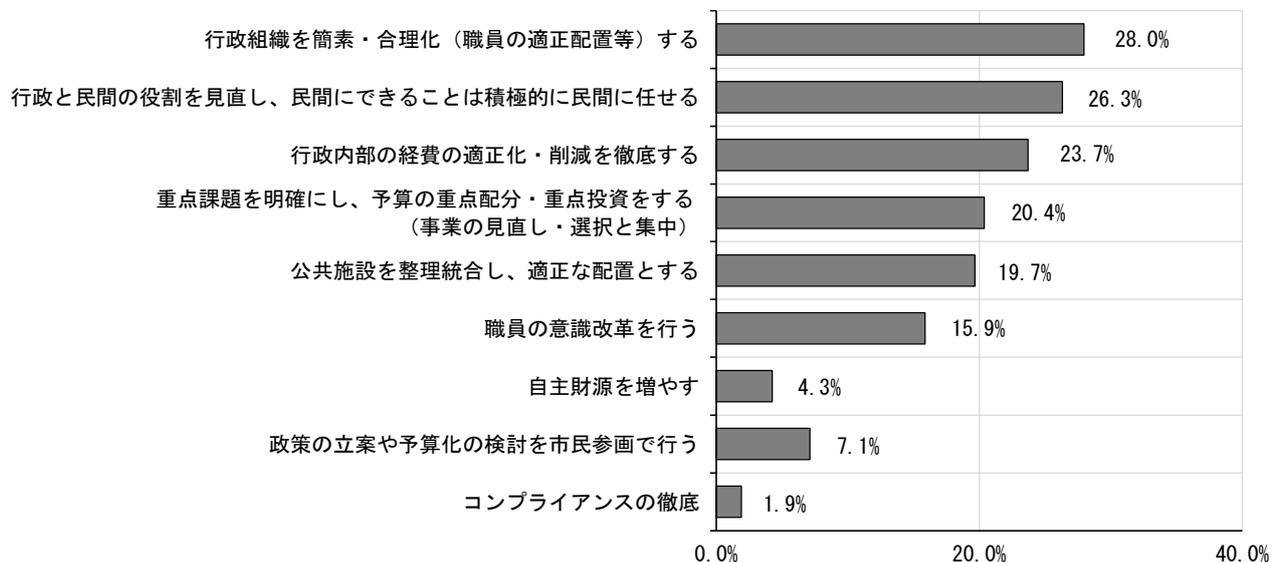
<50 歳代>



<60 歳代>

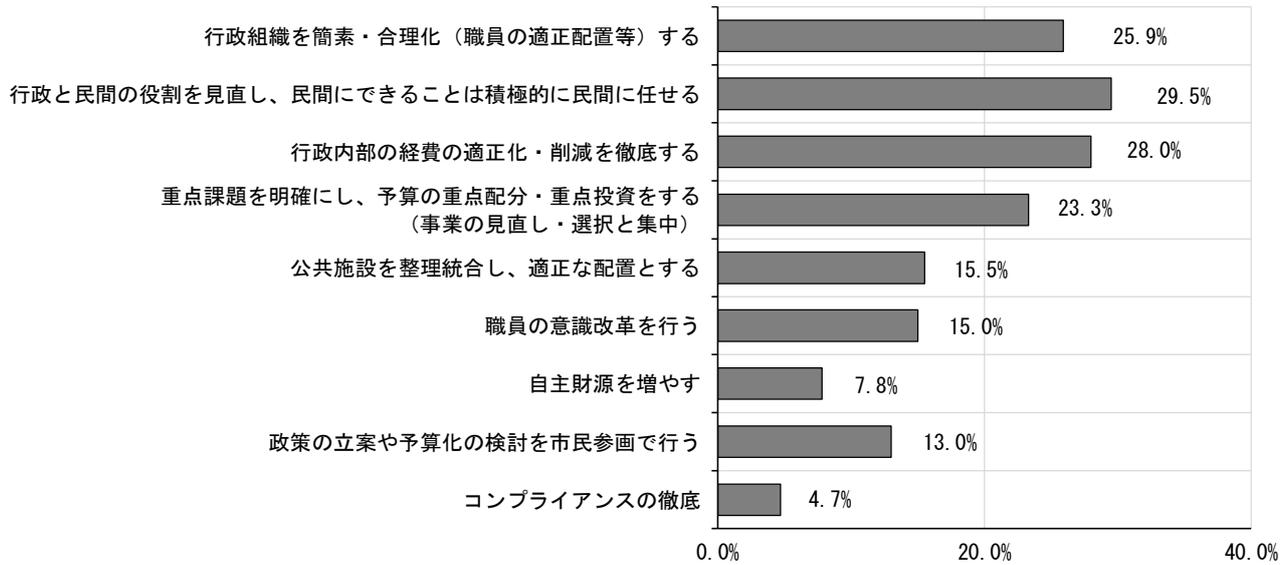


<70 歳以上>

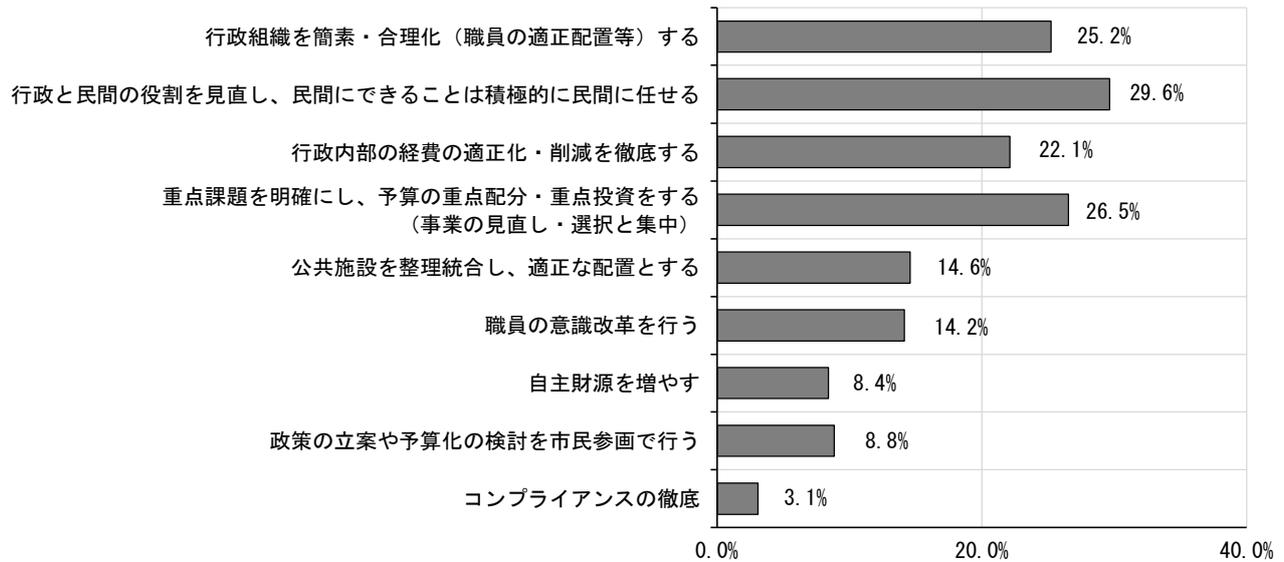


【属性別（居住地区別）】

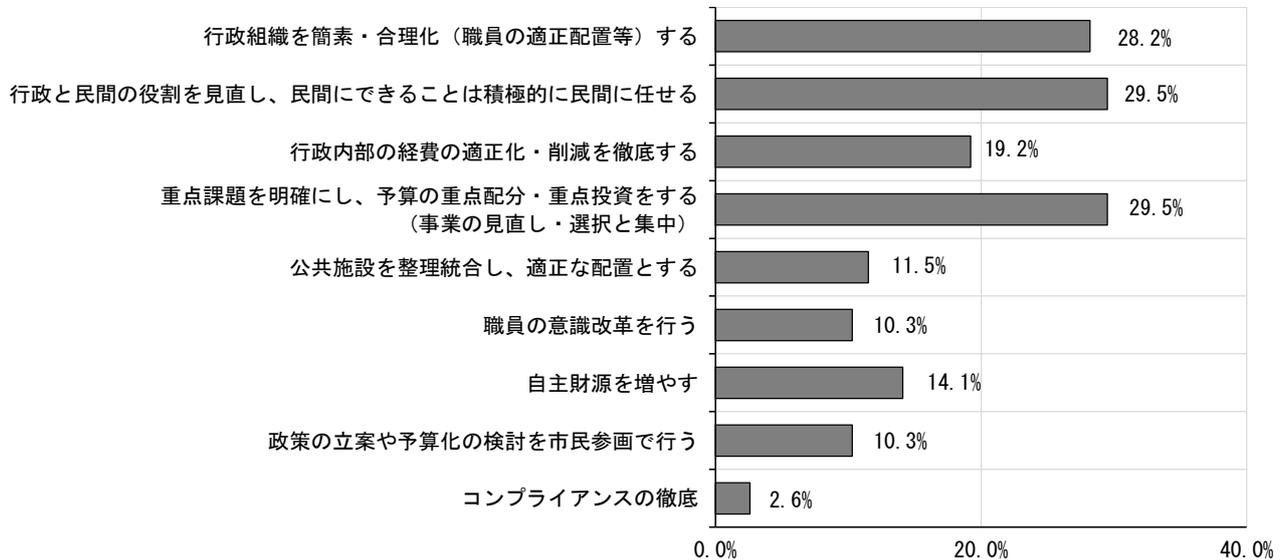
<見付地区>



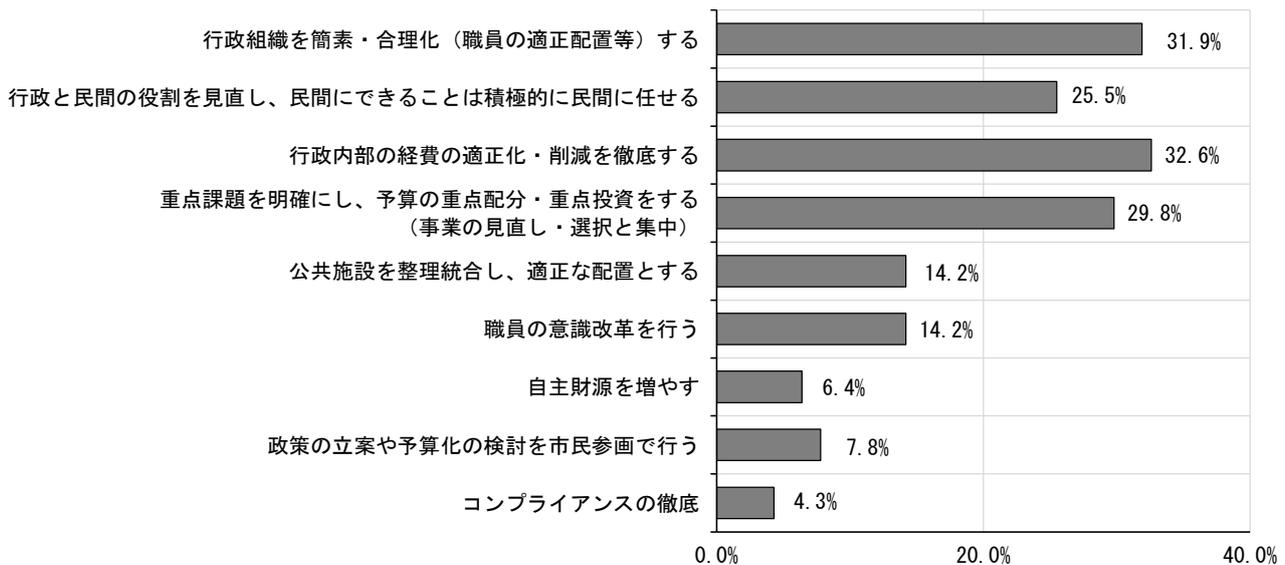
<中泉・今之浦地区>



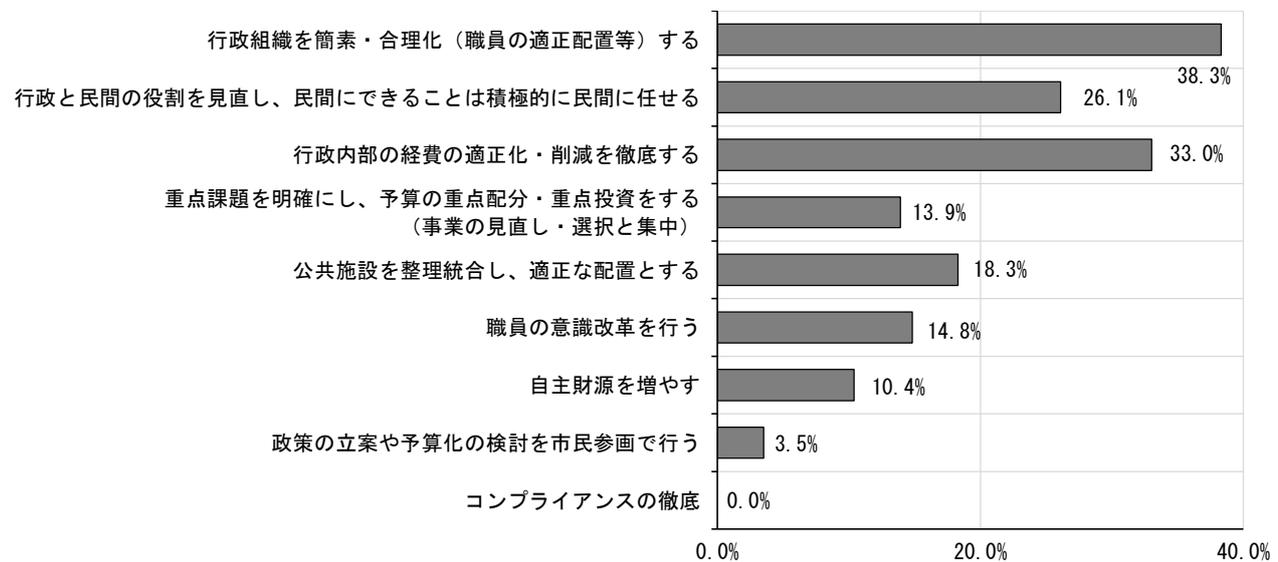
<岩田・大藤・向笠地区>



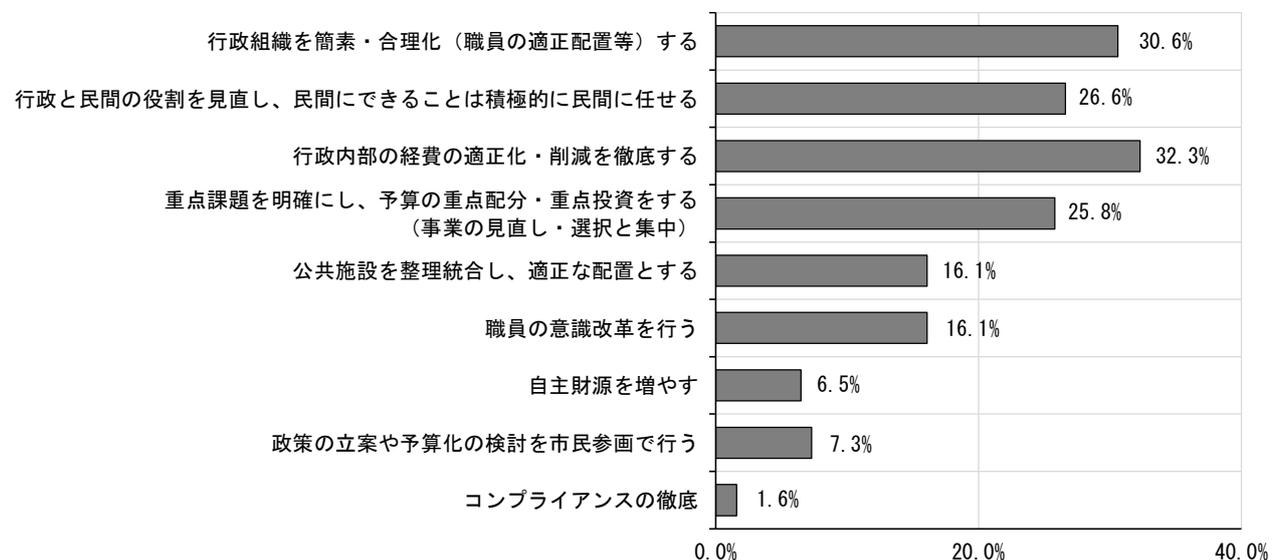
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



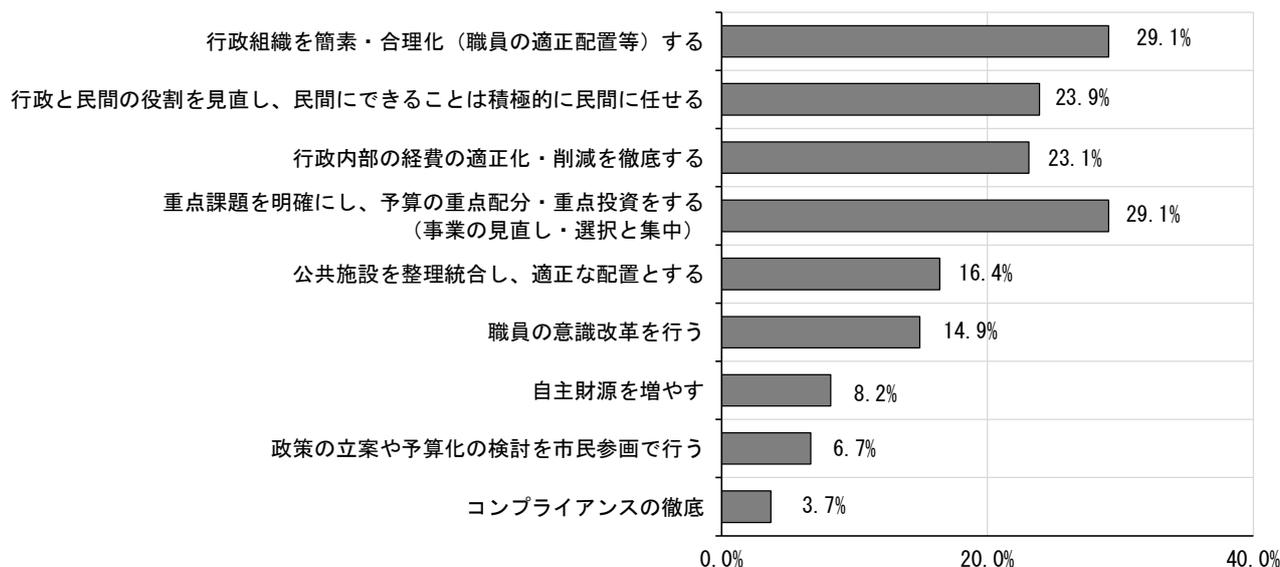
<天竜・長野・於保地区>



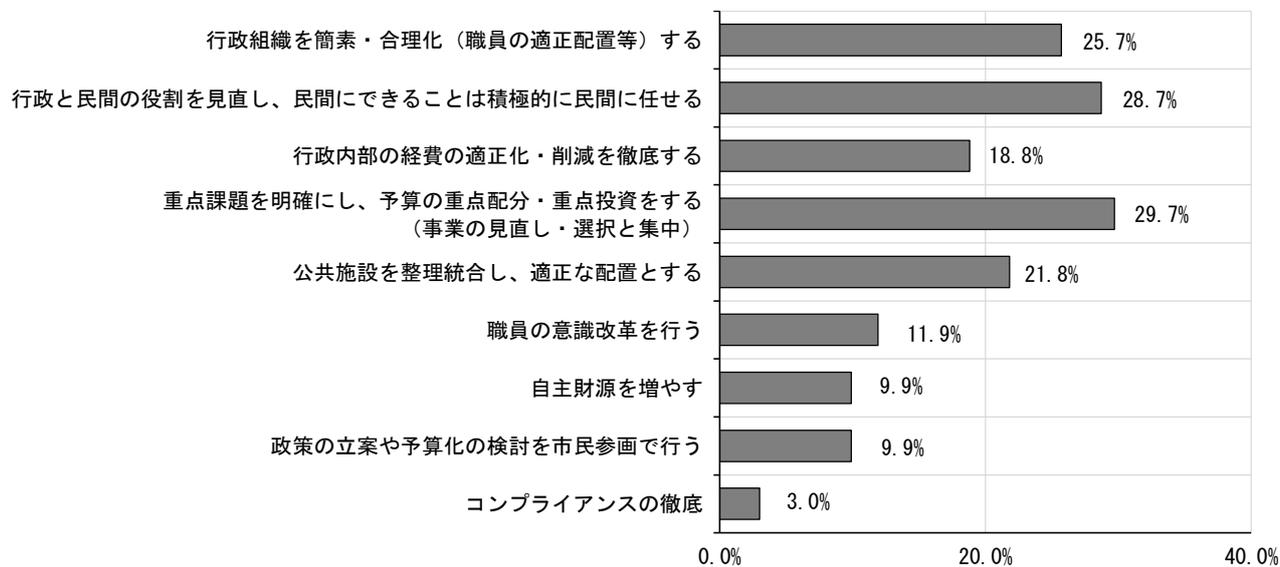
<福田地区>



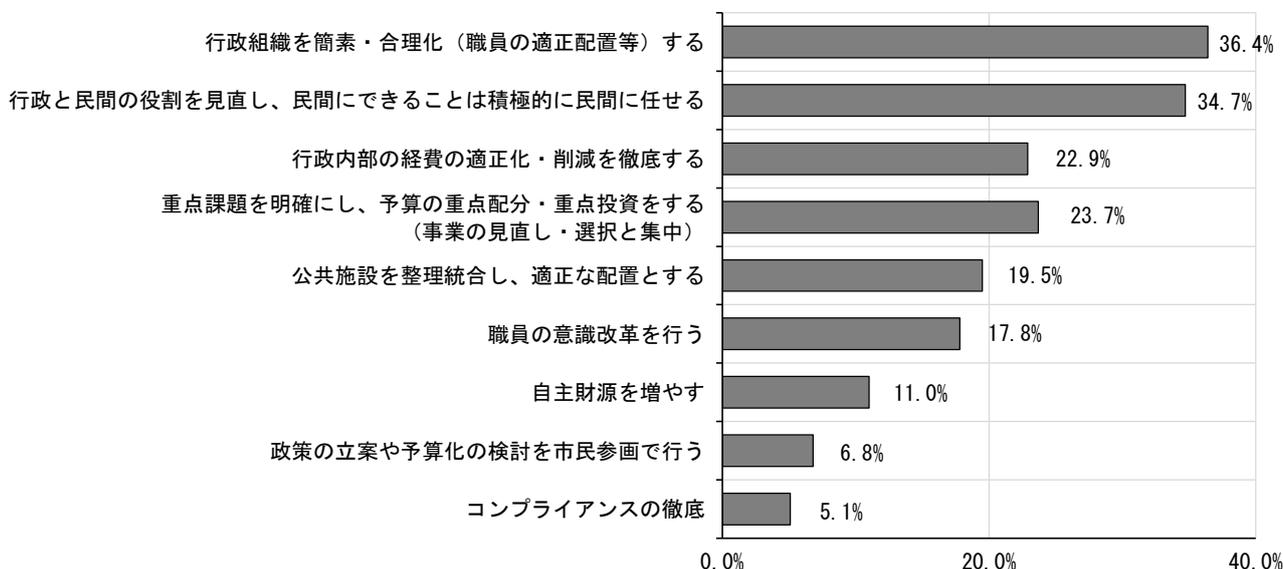
<竜洋地区>



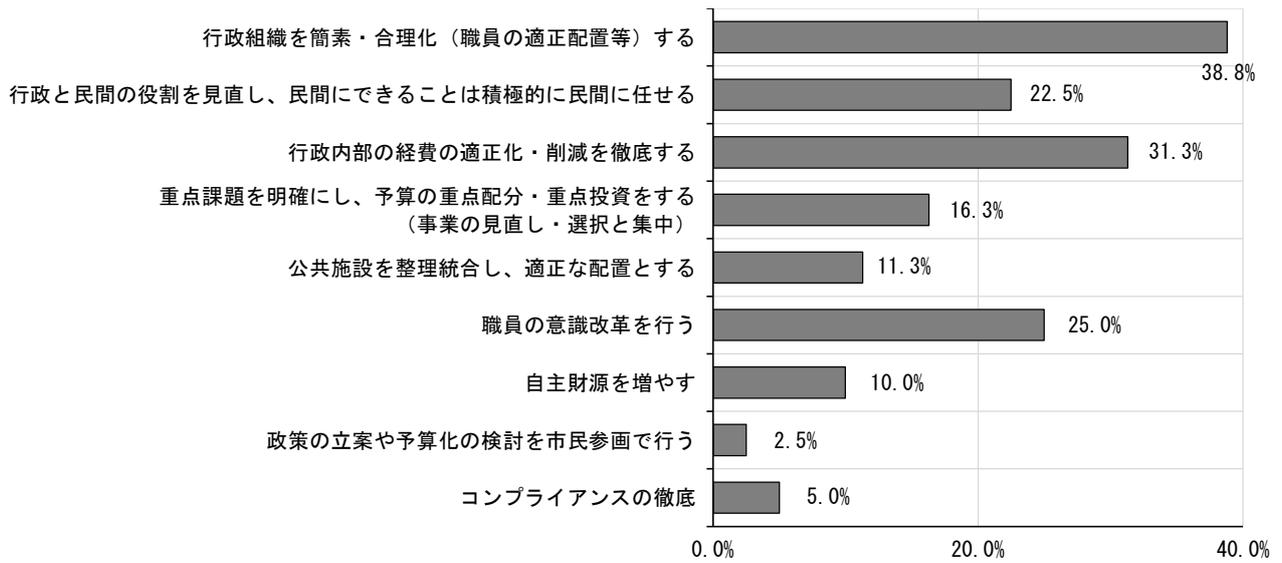
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

9. SDGsの取組みについて

(1) SDGsの認知度

問24 あなたは、SDGsを知っていましたか？ <○印を1つ>

SDGsを『名称を知っていた』※人は約3割

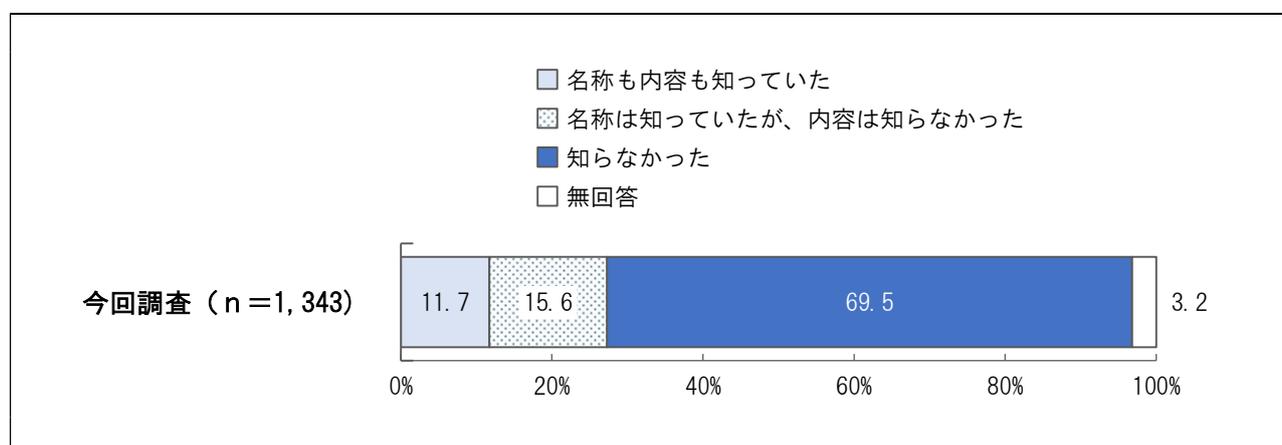
※『名称を知っていた』:「名称も内容も知っていた」+「名称は知っていたが、内容は知らなかった」

■傾向

【性別】SDGsを知っていた人は、男性では約3割、女性では約2割

【年代別】すべて年代で「知らなかった」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「知らなかった」が最も多い



■今回調査の結果

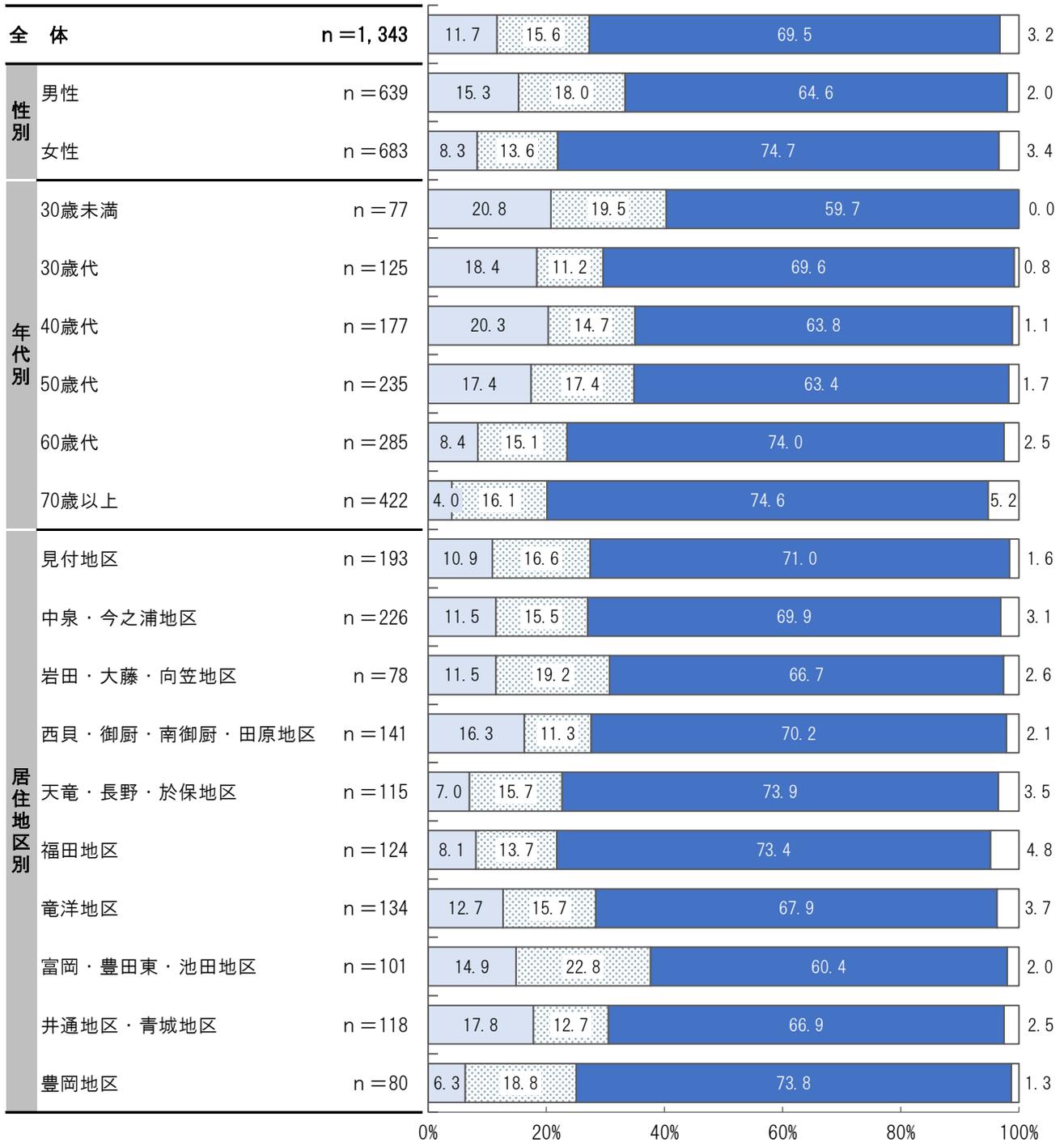
- ・「知らなかった」(69.5%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(15.6%)、「名称も内容も知っていた」(11.7%) となっている。
- ・『名称を知っていた』(「名称も内容も知っていた」+「名称は知っていたが、内容は知らなかった」) は27.3%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「知らなかった」(64.6%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(18.0%)、「名称も内容も知っていた」(15.3%) となっている。また、『名称を知っていた』は33.3%となっている。
 - ・女性では「知らなかった」(74.7%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(13.6%)、「名称も内容も知っていた」(8.3%) となっている。また、『名称を知っていた』は21.9%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「知らなかった」が最も多い。
 - ・『名称を知っていた』は30歳未満(40.3%)が最も多い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「知らなかった」が最も多い。
 - ・『名称を知っていた』は富岡・豊田東・池田地区(37.7%)が最も多い。

【属性別】

- 名称も内容も知っていた
- ▨ 名称は知っていたが、内容は知らなかった
- 知らなかった
- 無回答



(2) SDGsの関心度

(問24で「名称も内容も知っていた」又は「名称は知っていたが、内容は知らなかった」と回答した方のみ)

問25 あなたは、SDGsについてどの程度関心がありますか？ <○印を1つ>

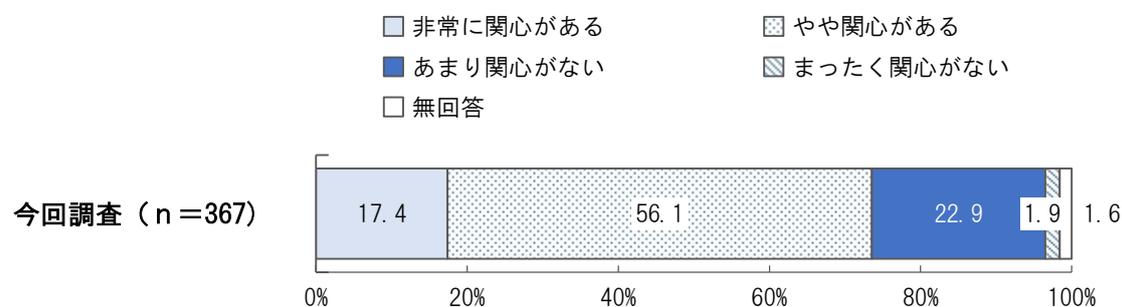
SDGsに『関心がある』(「非常に関心がある」+「やや関心がある」)人は約7割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべて年代で「やや関心がある」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「やや関心がある」が最も多い



■今回調査の結果

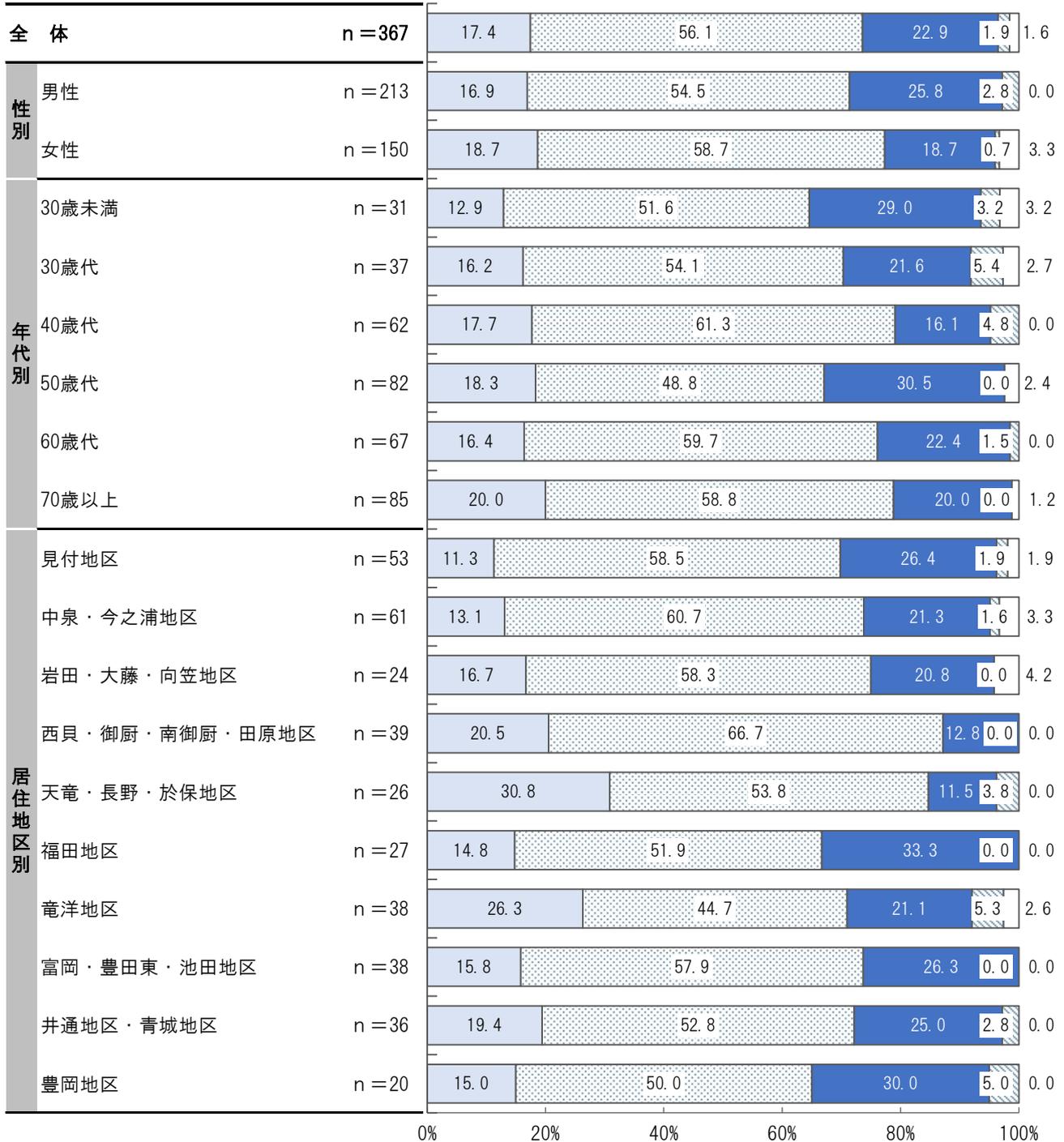
- ・「やや関心がある」(56.1%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(22.9%)、「非常に関心がある」(17.4%)となっている。
- ・『関心がある』(「非常に関心がある」+「やや関心がある」)は73.5%、『関心がない』(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)は24.8%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「やや関心がある」(54.5%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(25.8%)、「非常に関心がある」(16.9%)となっている。また、『関心がある』は71.4%、『関心がない』は28.6%となっている。
 - ・女性では「やや関心がある」(58.7%)が最も多く、次いで「非常に関心がある」「あまり関心がない」(それぞれ18.7%)となっている。また、『関心がある』は77.4%、『関心がない』は19.4%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「やや関心がある」が最も多い。
 - ・『関心がある』は40歳代(79.0%)が最も高い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「やや関心がある」が最も多い。
 - ・『関心がある』は西貝・御厨・南御厨・田原地区(87.2%)が最も高い。

【属性別】

- 非常に関心がある
- やや関心がある
- あまり関心がない
- まったく関心がない
- 無回答



(3) SDGsの17の目標(ゴール)のうち、今後の市政において特に優先すべきもの

問26 SDGsの17の目標(ゴール)のうち、今後の市政において特に優先すべきと思う目標(ゴール)はどれですか? <○印を3つまで>

SDGsの17の目標のうち、今後の市政において優先すべきものは、

- ・「3 すべての人に健康と福祉を」
- ・「11 住み続けられるまちづくりを」
- ・「13 気候変動に具体的な対策を」

■傾向

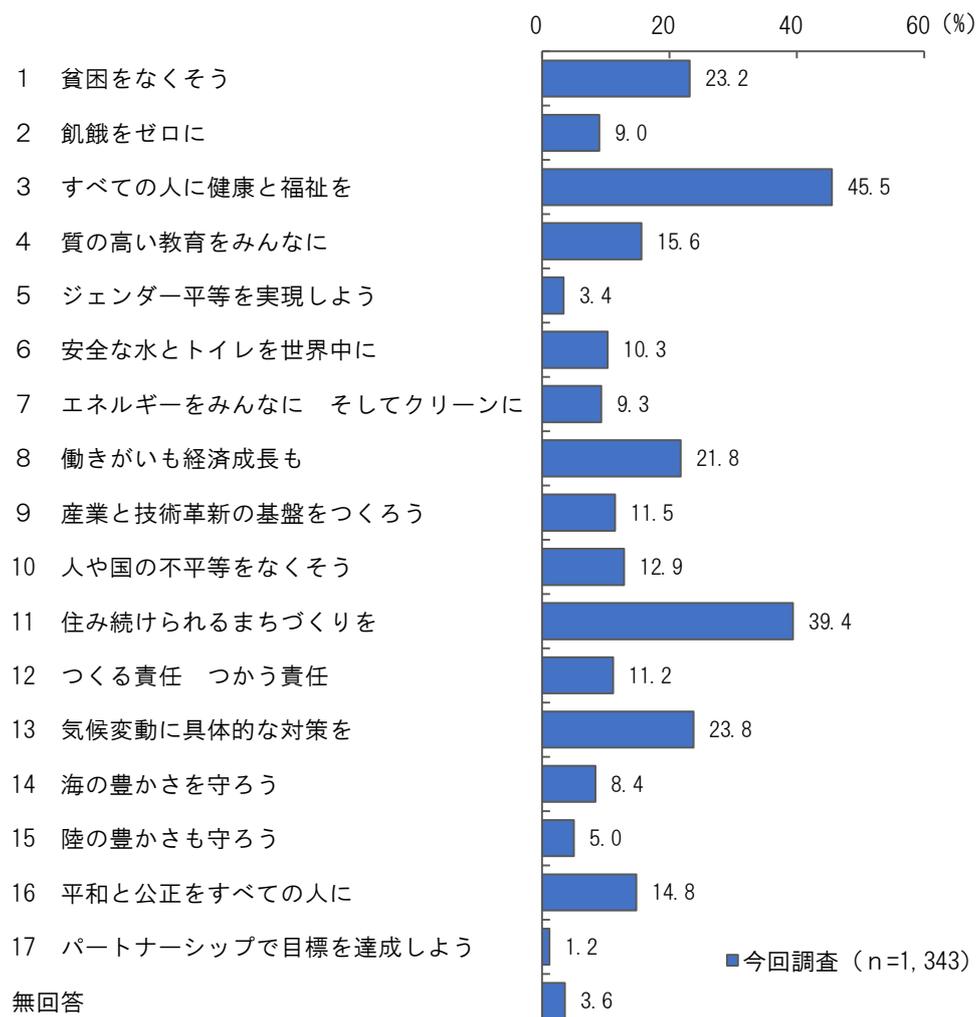
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「住み続けられるまちづくりを」
- ・「すべての人に健康と福祉を」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「住み続けられるまちづくりを」
- ・「すべての人に健康と福祉を」



■今回調査の結果

- ・「すべての人に健康と福祉を」(45.5%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(39.4%)、「気候変動に具体的な対策を」(23.8%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
 - ・順位の違いはあるが、男女とも上位5項目は同じ項目となっている。
 - ・男性では「すべての人に健康と福祉を」(42.6%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(38.8%)、「貧困をなくそう」(23.3%)となっている。
 - ・女性では「すべての人に健康と福祉を」(48.5%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(40.1%)、「気候変動に具体的な対策を」(25.3%)となっている。
- 【年代別】**
 - ・30歳未満、40歳代では「住み続けられるまちづくりを」が最も多い。
 - ・30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「すべての人に健康と福祉を」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・井通地区・青城地区、豊岡地区では「住み続けられるまちづくりを」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「すべての人に健康と福祉を」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対策を	8. 働きがいも経済成長も
	人数	272人	248人	149人	144人	132人
	割合	42.6%	38.8%	23.3%	22.5%	20.7%
女性	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も
	人数	331人	274人	173人	159人	157人
	割合	48.5%	40.1%	25.3%	23.3%	23.0%

【年代別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに 8. 働きがいも経済成長も	1. 貧困をなくそう	
	人数	31人	26人	19人	16人	
	割合	40.3%	33.8%	24.7%	20.8%	
30歳代	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	8. 働きがいも経済成長も	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう
	人数	56人	53人	41人	33人	23人
	割合	44.8%	42.4%	32.8%	26.4%	18.4%
40歳代	理由	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう 4. 質の高い教育をみんなに
	人数	75人	63人	45人	44人	37人
	割合	42.4%	35.6%	25.4%	24.9%	20.9%
50歳代	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	13. 気候変動に具体的な対策を
	人数	117人	95人	60人	57人	55人
	割合	49.8%	40.4%	25.5%	24.3%	23.4%
60歳代	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も
	人数	139人	110人	87人	76人	60人
	割合	48.8%	38.6%	30.5%	26.7%	21.1%
70歳以上	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に
	人数	204人	159人	105人	101人	73人
	割合	48.3%	37.7%	24.9%	23.9%	17.3%

【居住地区別：上位5位のみ】

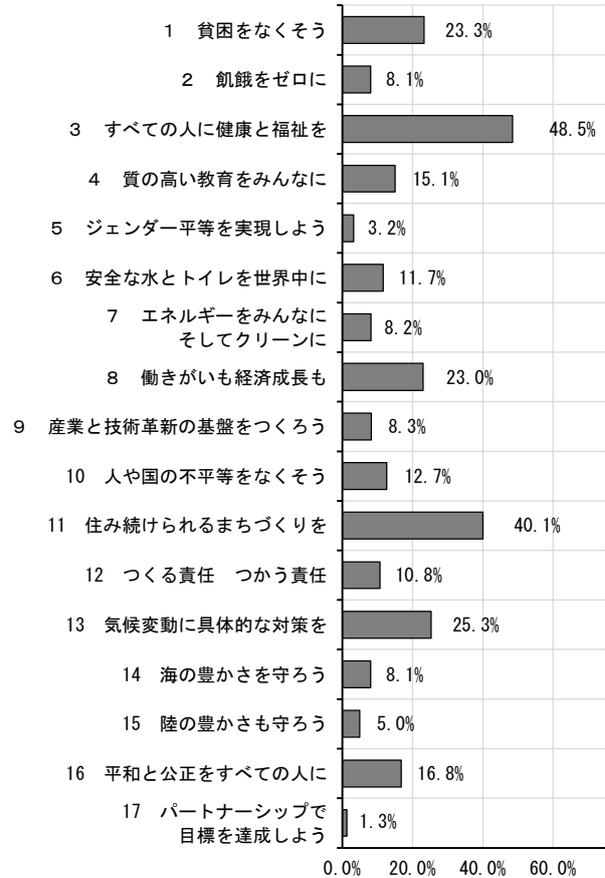
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう 8. 働きがいも経済成長も	
	人数	96人	83人	49人	45人	
	割合	49.7%	43.0%	25.4%	23.3%	
中泉・今之浦地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	13. 気候変動に具体的な対策を
	人数	99人	86人	56人	48人	42人
	割合	43.8%	38.1%	24.8%	21.2%	18.6%
岩田・大藤・向笠地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう 8. 働きがいも経済成長も	
	人数	47人	29人	26人	16人	
	割合	60.3%	37.2%	33.3%	20.5%	
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	8. 働きがいも経済成長も	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対策を
	人数	59人	53人	35人	32人	31人
	割合	41.8%	37.6%	24.8%	22.7%	22.0%
天竜・長野・於保地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	8. 働きがいも経済成長も	1. 貧困をなくそう
	人数	48人	44人	31人	29人	28人
	割合	41.7%	38.3%	27.0%	25.2%	24.3%
福田地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も
	人数	58人	49人	30人	28人	24人
	割合	46.8%	39.5%	24.2%	22.6%	19.4%
竜洋地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	8. 働きがいも経済成長も	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対策を
	人数	59人	56人	31人	29人	27人
	割合	44.0%	41.8%	23.1%	21.6%	20.1%
富岡・豊田東・池田地区	理由	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	4. 質の高い教育をみんなに 8. 働きがいも経済成長も
	人数	47人	35人	27人	24人	21人
	割合	46.5%	34.7%	26.7%	23.8%	20.8%
井通地区・青城地区	理由	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	1. 貧困をなくそう 13. 気候変動に具体的な対策を	
	人数	53人	52人	30人	26人	
	割合	44.9%	44.1%	25.4%	22.0%	
豊岡地区	理由	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	13. 気候変動に具体的な対策を	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 16. 平和と公正をすべての人に
	人数	35人	32人	25人	19人	14人
	割合	43.8%	40.0%	31.3%	23.8%	17.5%

【属性別（性別）】

【男性】

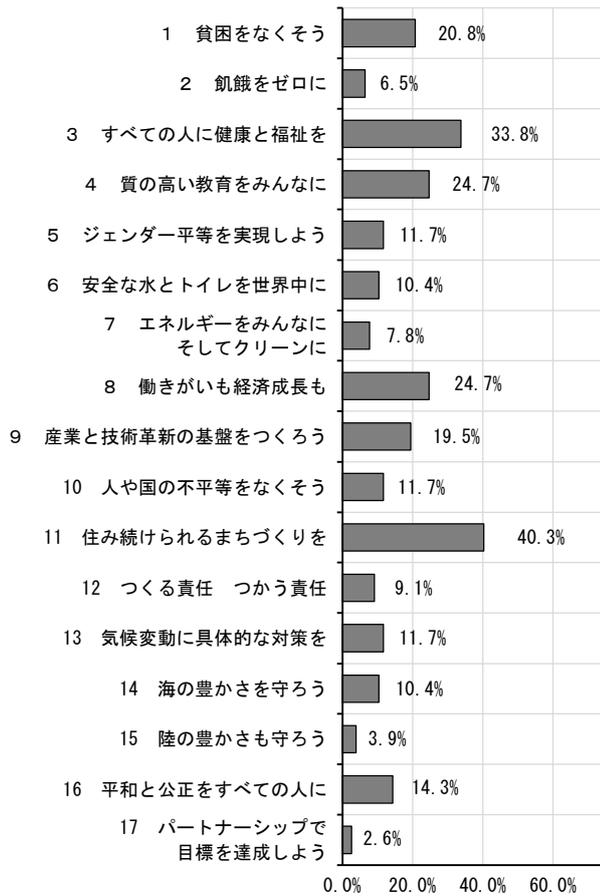


【女性】



【属性別（年代別）】

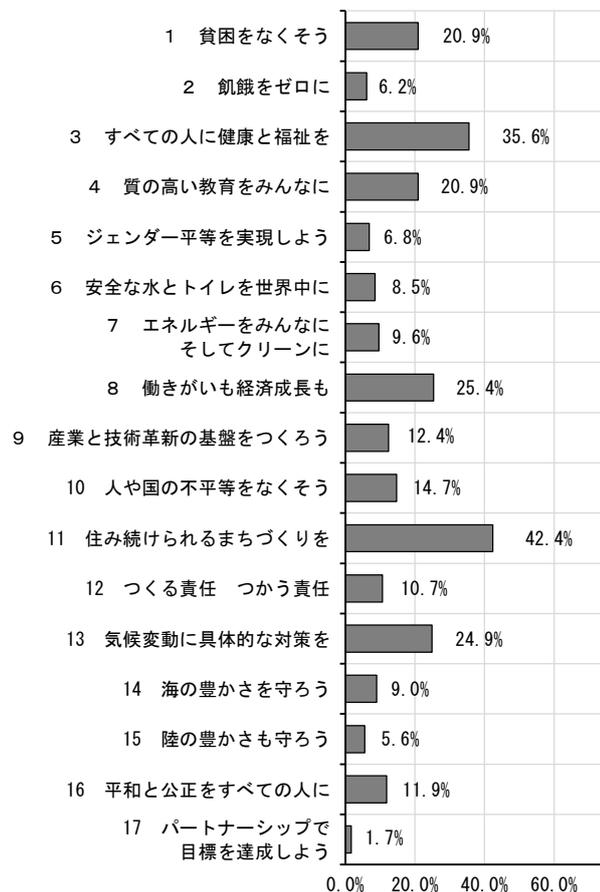
【30 歳未満】



【30 歳代】



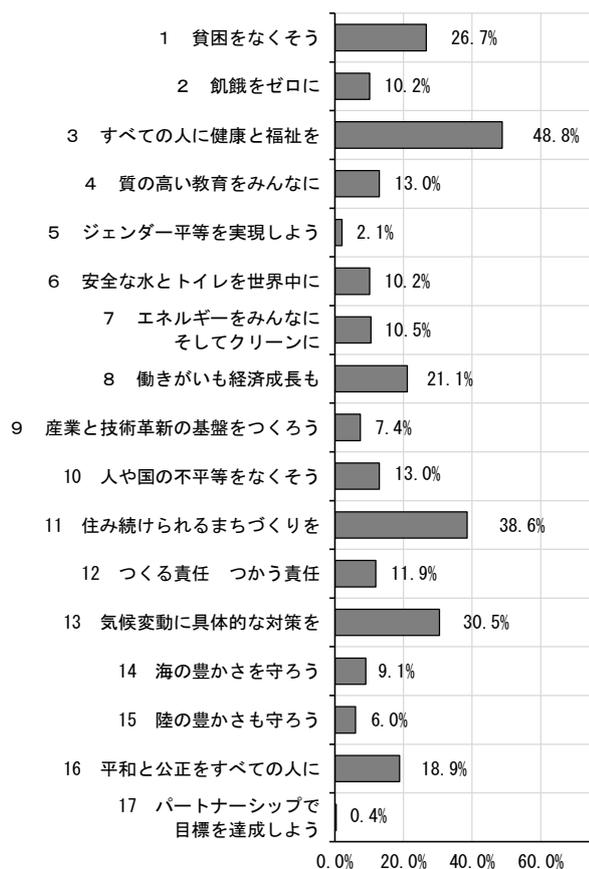
【40 歳代】



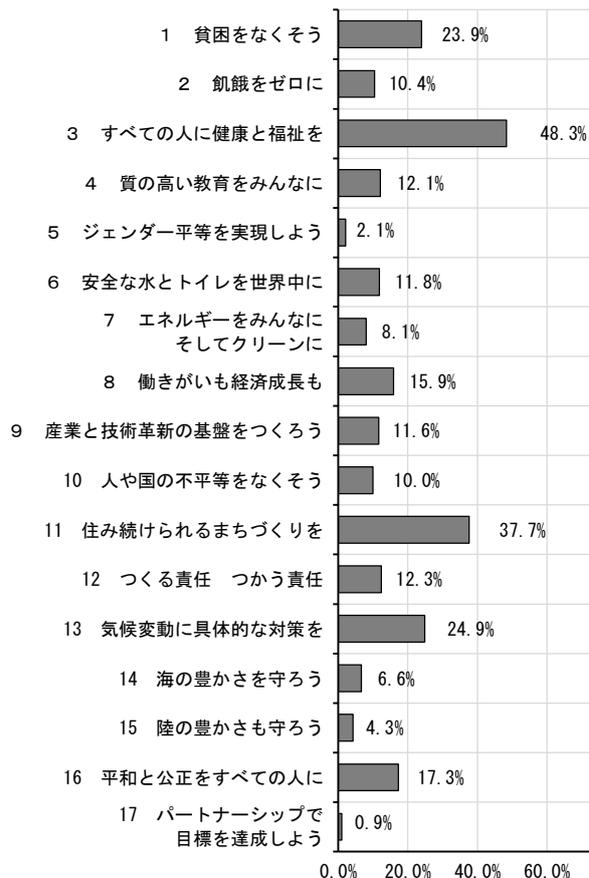
【50 歳代】



【60 歳代】

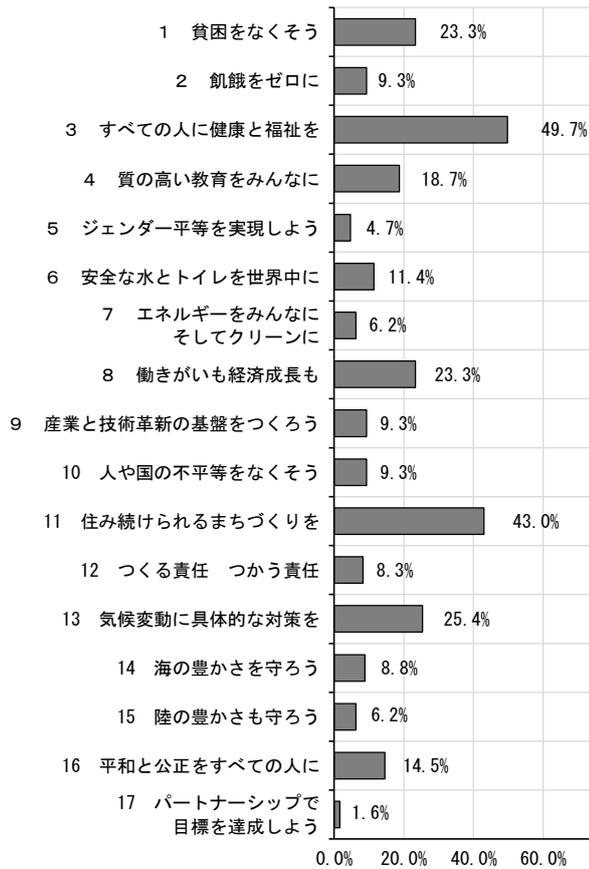


【70 歳以上】

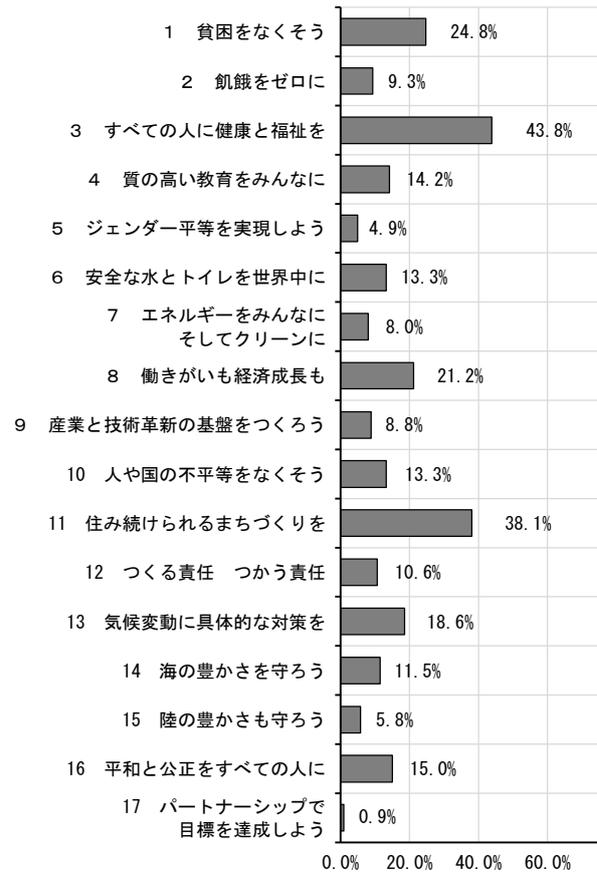


【属性別（居住地区別）】

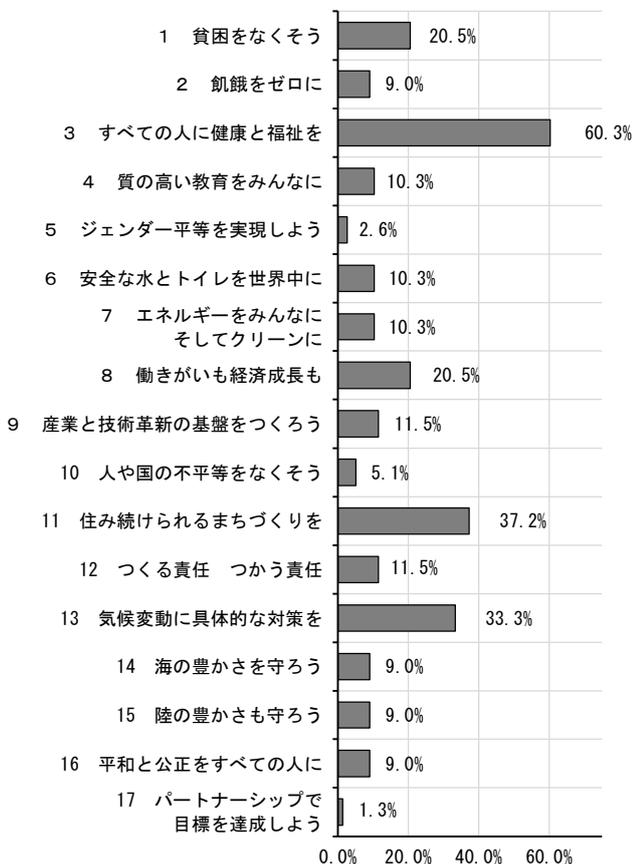
【見付地区】



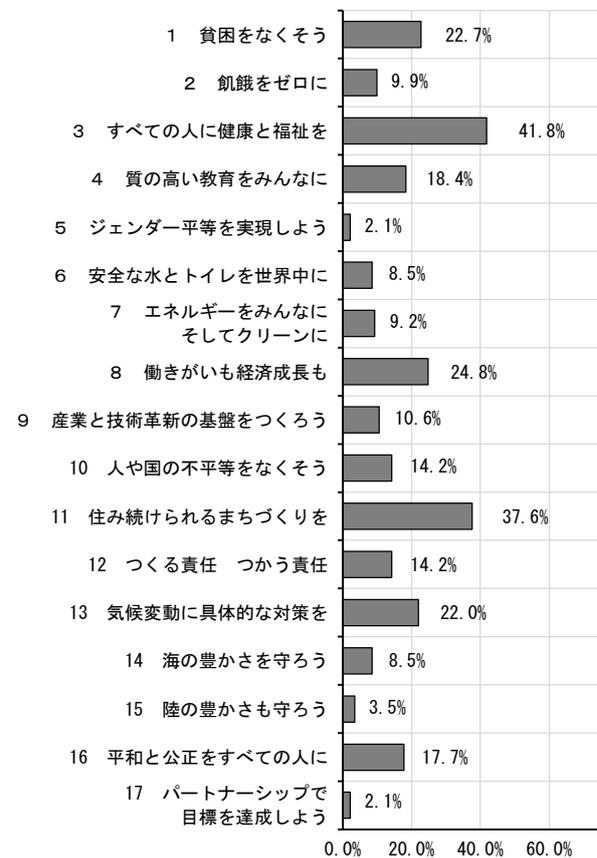
【中泉・今之浦地区】



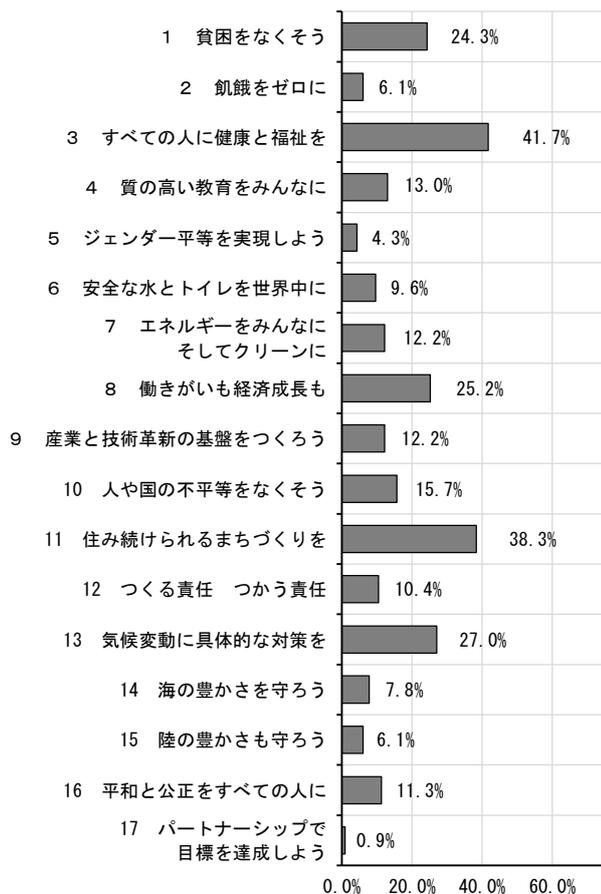
【岩田・大藤・向笠地区】



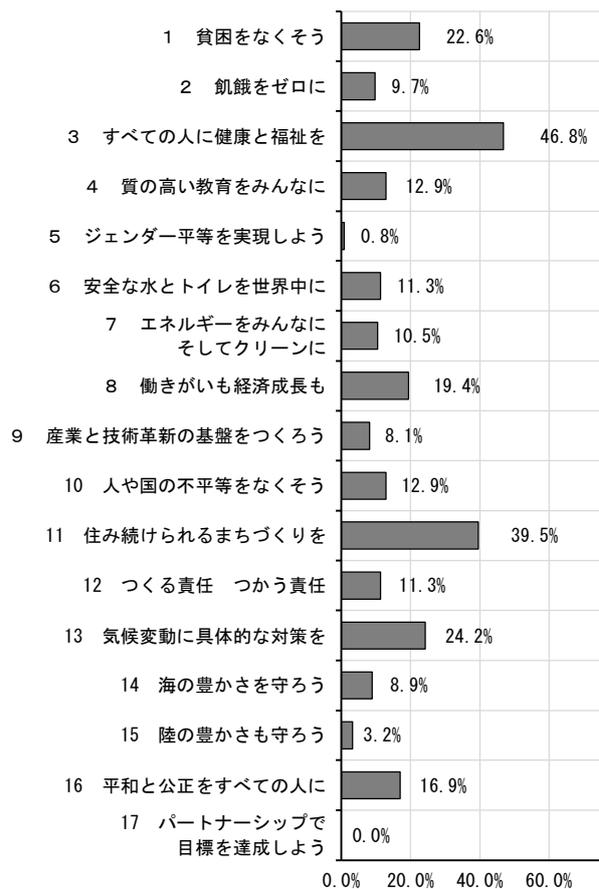
【西貝・御厨・南御厨・田原地区】



【天竜・長野・於保地区】



【福田地区】



【竜洋地区】



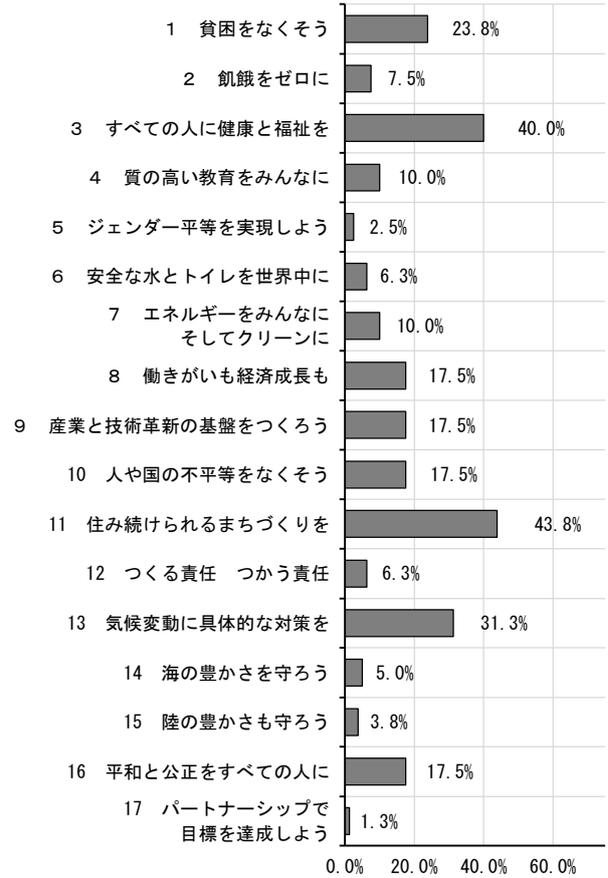
【富岡・豊田東・池田地区】



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



10. 市政への市民参画について

(1) 市政参画の関心度

問 27 あなたは、市政への参画についてどの程度関心がありますか？ <○印を1つ>

市政への参画に『関心がある』※人は約4割

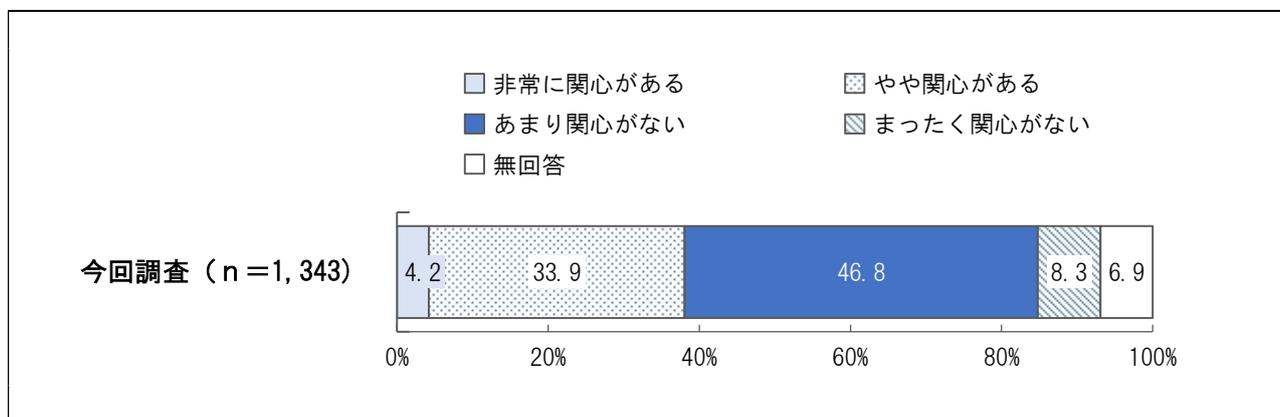
※『関心がある』:「非常に関心がある」+「やや関心がある」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべて年代で「あまり関心がない」が最も多く、『関心がある』は70歳以上が最も多い

【居住地区別】ほとんどの居住地区で「あまり関心がない」が最も多い



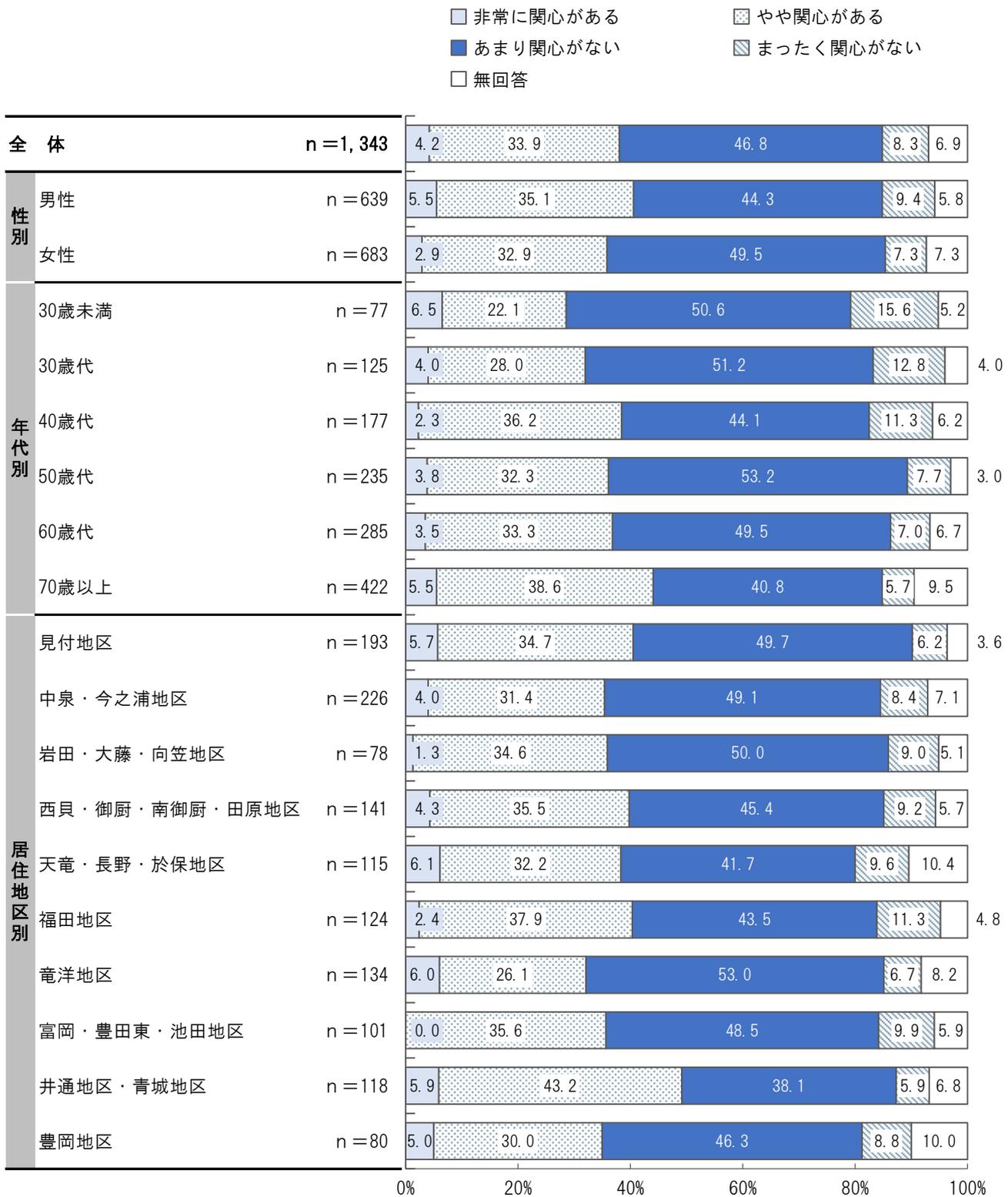
■今回調査の結果

- ・『関心がある』（「非常に関心がある」+「やや関心がある」）は38.1%、『関心がない』（「あまり関心がない」+「まったく関心がない」）は55.1%となっている。
- ・「あまり関心がない」（46.8%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（33.9%）、「まったく関心がない」（8.3%）となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（44.3%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（35.1%）、「まったく関心がない」（9.4%）となっている。また、『関心がある』は40.6%、『関心がない』は53.7%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（49.5%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（32.9%）、「まったく関心がない」（7.3%）となっている。また、『関心がある』は35.8%、『関心がない』は56.8%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、70歳以上（44.1%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」（43.2%）が最も多く、それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（49.1%）となっている。

【属性別】



(2) 市政参画方法別の関心度

問 28 あなたは、以下のような市政への参画に関心がありますか？ <○印をそれぞれ1つ>

①磐田市の計画策定などの説明会やワークショップ（意見交換）、まちづくり懇話会に参加すること

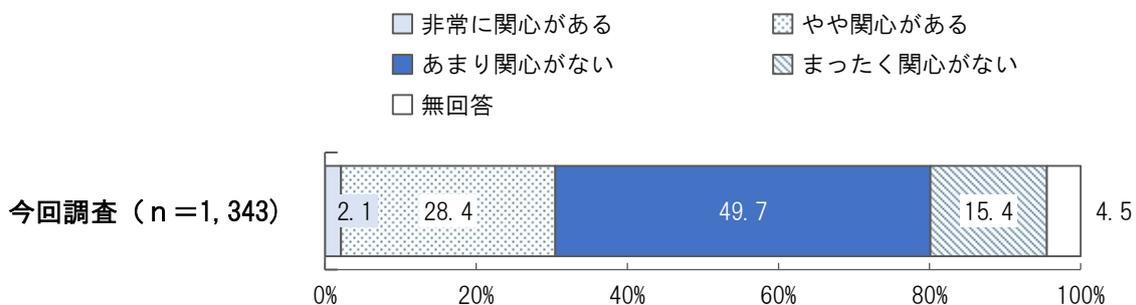
『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約3割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】最も『関心がある』年代は60歳代

【居住地区別】最も『関心がある』居住地区は井通地区・青城地区



■今回調査の結果

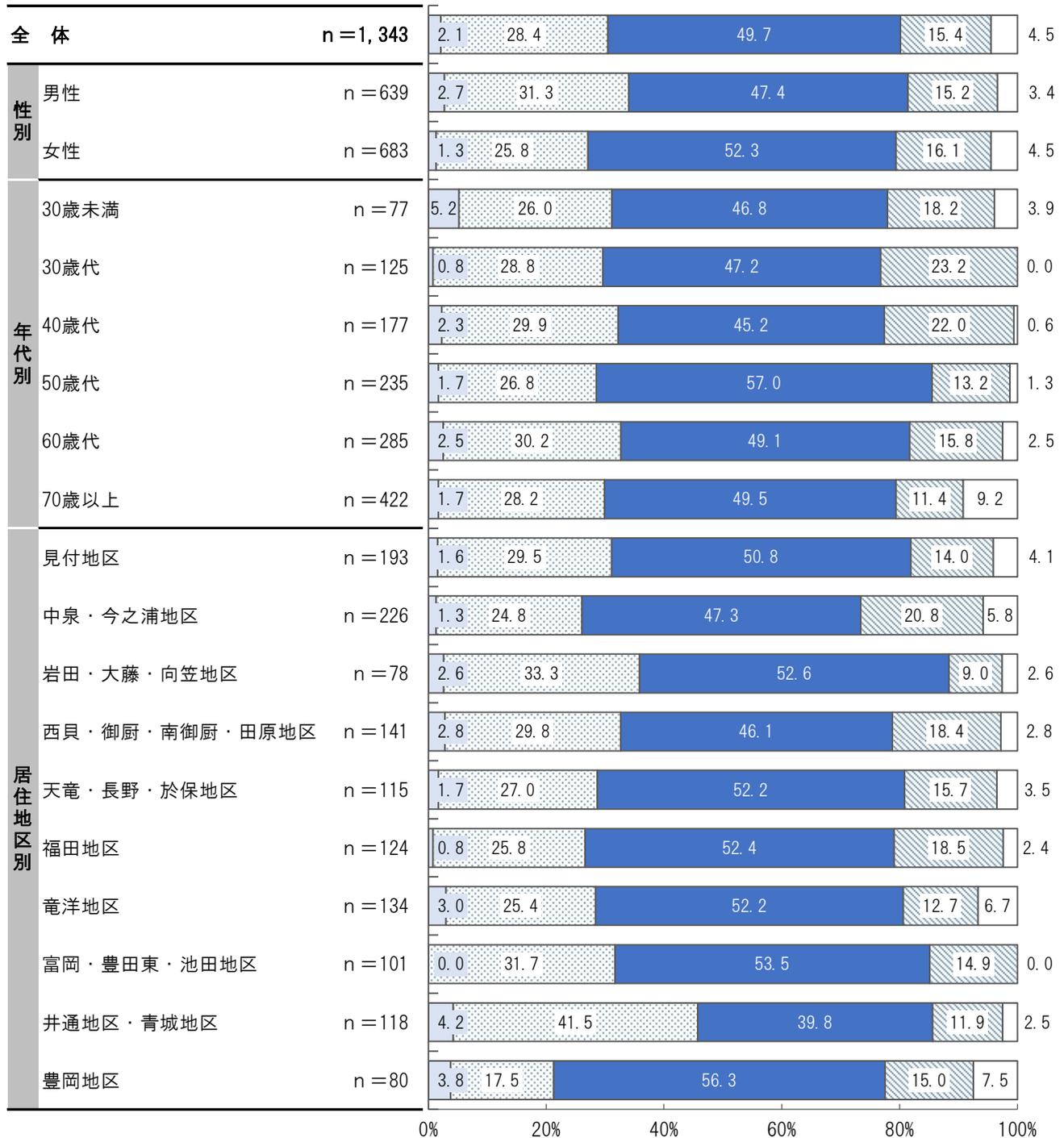
- ・「あまり関心がない」（49.7%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（28.4%）、「まったく関心がない」（15.4%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は30.5%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は65.1%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（47.4%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（31.3%）、「まったく関心がない」（15.2%）となっている。また、『関心がある』は34.0%、『関心がない』は62.6%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（52.3%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（25.8%）、「まったく関心がない」（16.1%）となっている。また、『関心がある』は27.1%、『関心がない』は68.4%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、60歳代（32.7%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」（41.5%）が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（45.7%）となっている。

【属性別】

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- あまり興味がない
- まったく興味がない
- 無回答



②磐田市の審議会などの委員に応募すること

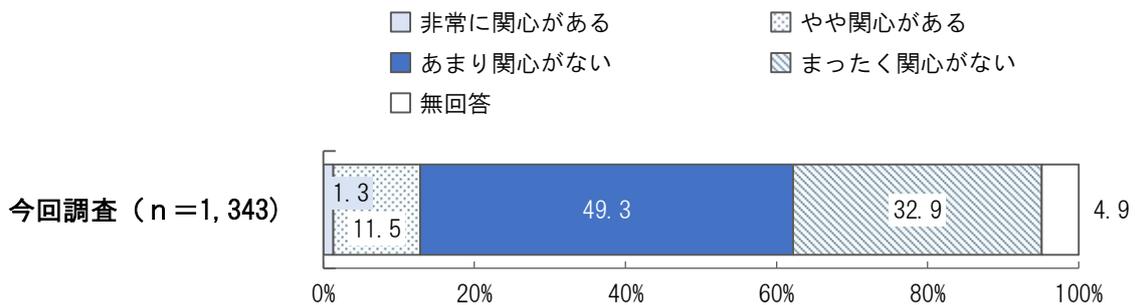
『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約 1 割

■傾向

【性別】『関心がある』人は、男性では約 2 割、女性では約 1 割

【年代別】すべての年代で『関心がある』は 2 割以下

【居住地区別】すべての居住地区で「あまり関心がない」が最も多い



■今回調査の結果

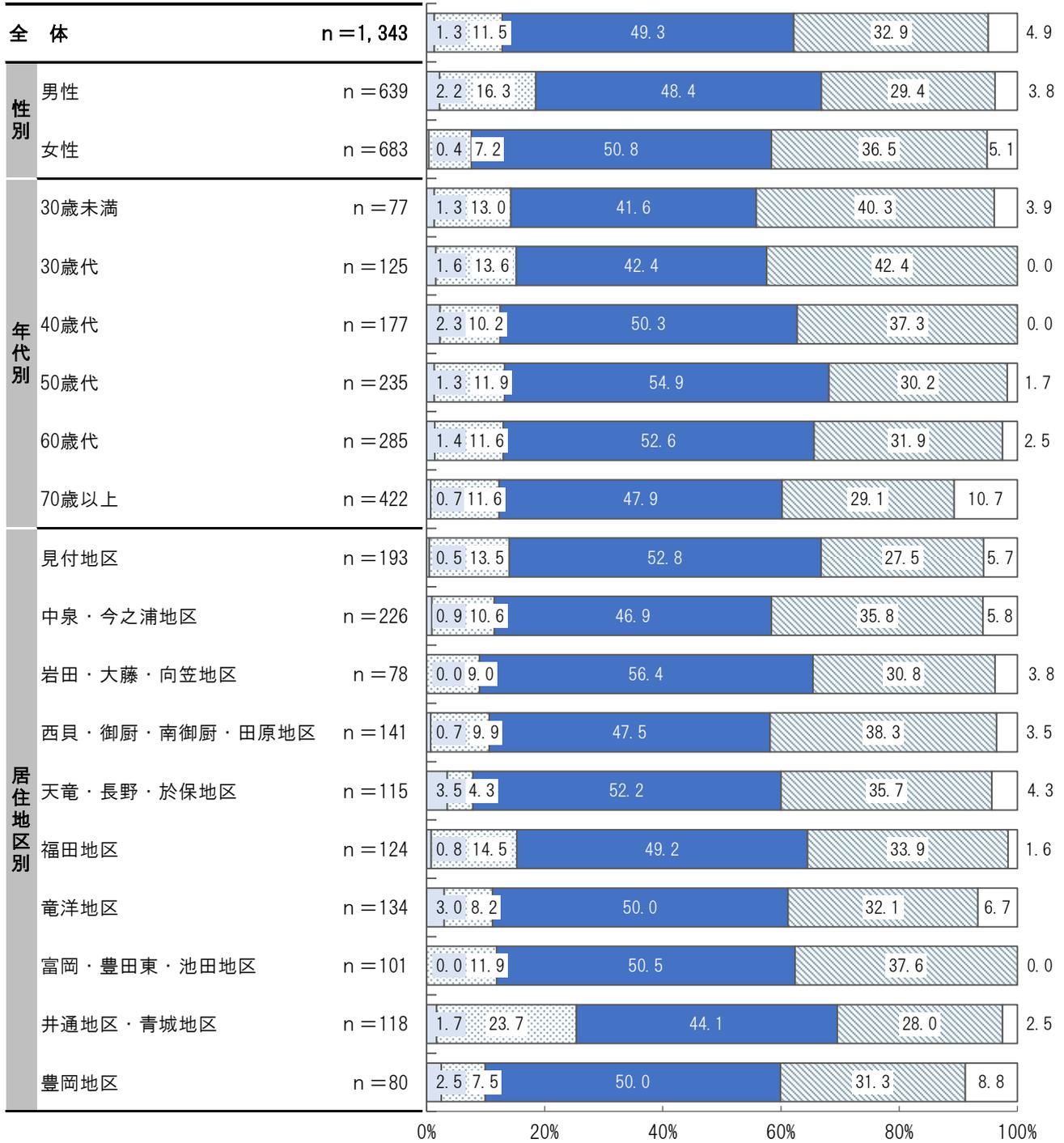
- ・「あまり関心がない」（49.3%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（32.9%）、「やや関心がある」（11.5%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は 12.8%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は 82.2%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（48.4%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（29.4%）、「やや関心がある」（16.3%）となっている。また、『関心がある』は 18.5%、『関心がない』は 77.8%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（50.8%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（36.5%）、「やや関心がある」（7.2%）となっている。また、『関心がある』は 7.6%、『関心がない』は 87.3%となっている。
- 【年代別】
- ・30歳未満、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・30歳代では「あまり関心がない」「まったく関心がない」（それぞれ 42.4%）が最も多い。
 - ・すべての年代で『関心がある』は 2 割以下となっており、最も多い年代は、30歳代（15.2%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（25.4%）となっている。

【属性別】

- 非常に関心がある
- あまり関心がない
- 無回答
- ▨ やや関心がある
- ▩ まったく関心がない



③磐田市の計画策定などに意見（パブリックコメントなど）を提出すること

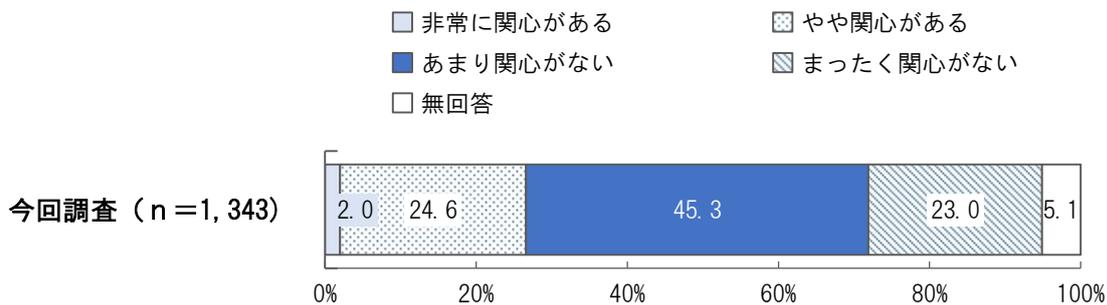
『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約3割

■傾向

【性別】『関心がある』人は、男性では約3割、女性では約2割

【年代別】最も『関心がある』年代は30歳未満

【居住地区別】最も『関心がある』居住地区は井通地区・青城地区



■今回調査の結果

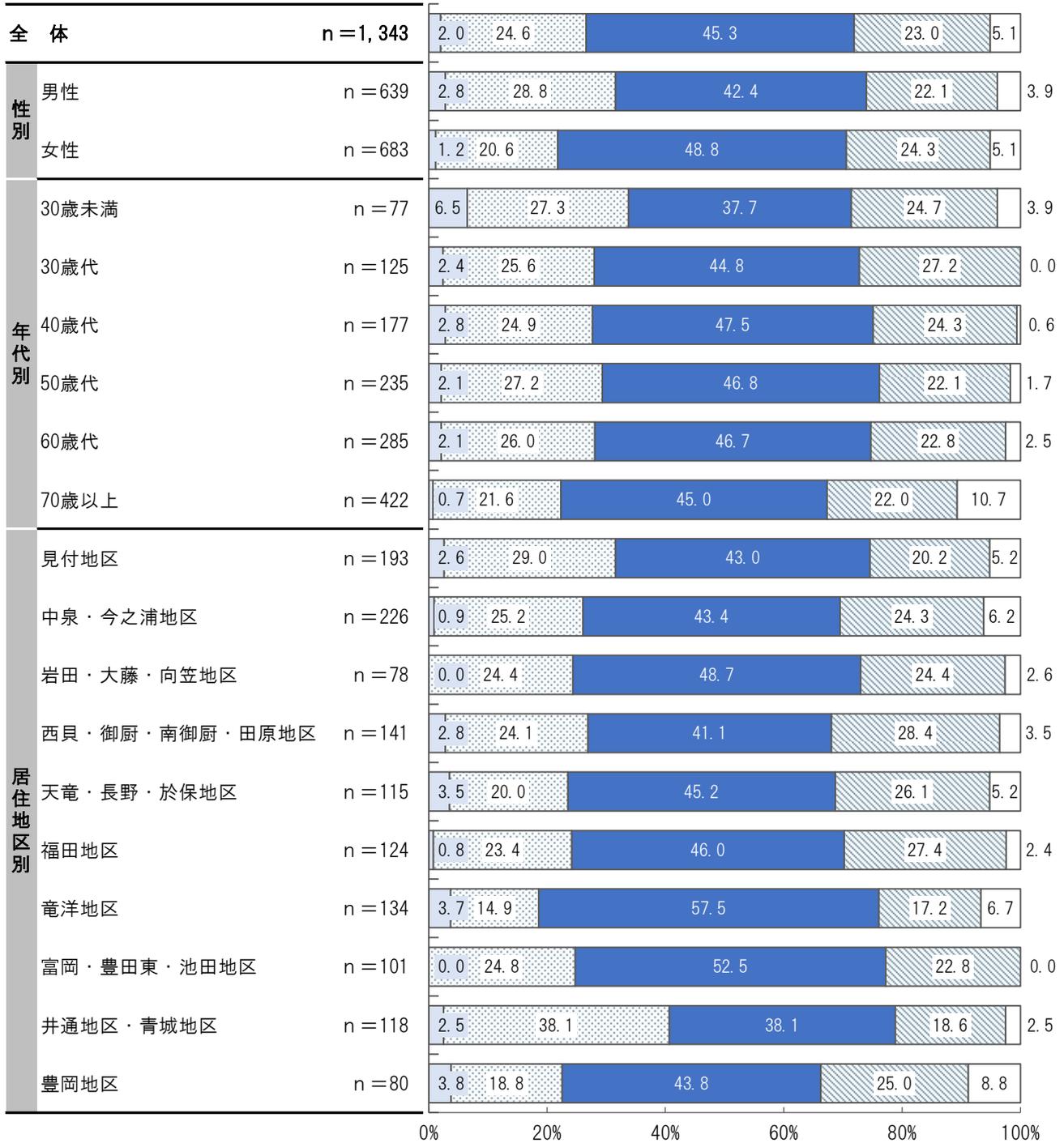
- ・「あまり関心がない」（45.3%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（24.6%）、「まったく関心がない」（23.0%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は26.6%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は68.3%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（42.4%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（28.8%）、「まったく関心がない」（22.1%）となっている。また、『関心がある』は31.6%、『関心がない』は64.5%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（48.8%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（24.3%）、「やや関心がある」（20.6%）となっている。また、『関心がある』は21.8%、『関心がない』は73.1%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、30歳未満（33.8%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」「あまり関心がない」（それぞれ38.1%）が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（40.6%）となっている。

【属性別】

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- あまり興味がない
- まったく興味がない
- 無回答



(3) 市民の市政参画を促すために、特に必要なこと

問 29 市民の市政参画を促すために、特に必要なことは何だと思いませんか？

<○印を2つまで>

市民の市政参画を促すために必要なことは、

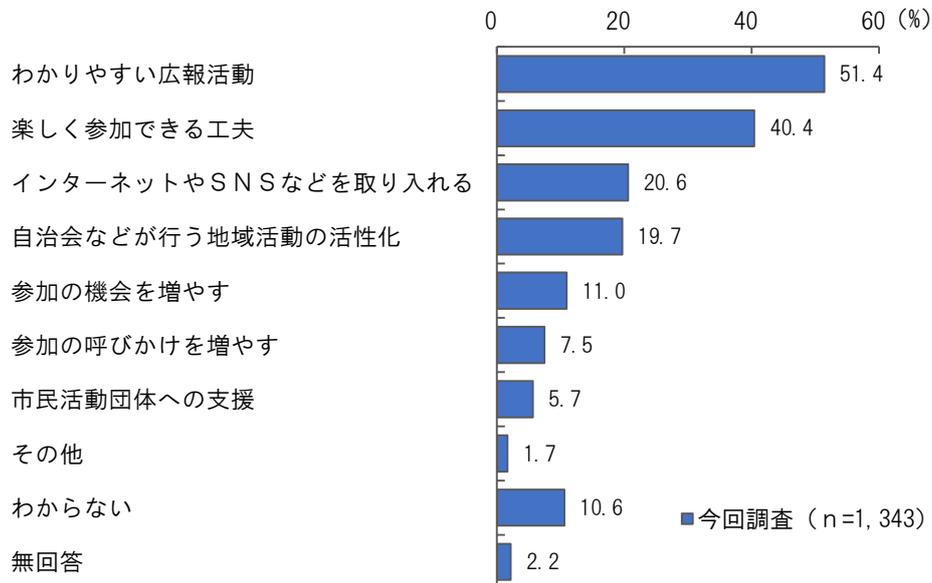
- ・「わかりやすい広報活動」
- ・「楽しく参加できる工夫」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、「わかりやすい広報活動」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、「わかりやすい広報活動」



■今回調査の結果

- ・「わかりやすい広報活動」(51.4%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(40.4%)、「インターネットやSNSなどを取り入れる」(20.6%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「わかりやすい広報活動」(50.5%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(37.7%)、「インターネットやSNSなどを取り入れる」(22.7%)となっている。
 - ・女性では「わかりやすい広報活動」(52.7%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(42.9%)、「自治会などが行う地域活動の活性化」(19.3%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満では「インターネットやSNSなどを取り入れる」(49.4%)が最も多い。
 - ・30歳代では「楽しく参加できる工夫」(52.8%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「わかりやすい広報活動」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・豊岡地区では「楽しく参加できる工夫」(46.3%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「わかりやすい広報活動」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の機会を増やす
	人数	323人	241人	145人	130人	90人
	割合	50.5%	37.7%	22.7%	20.3%	14.1%
女性	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす
	人数	360人	293人	132人	128人	56人
	割合	52.7%	42.9%	19.3%	18.7%	8.2%

【年代別：上位5位のみ】

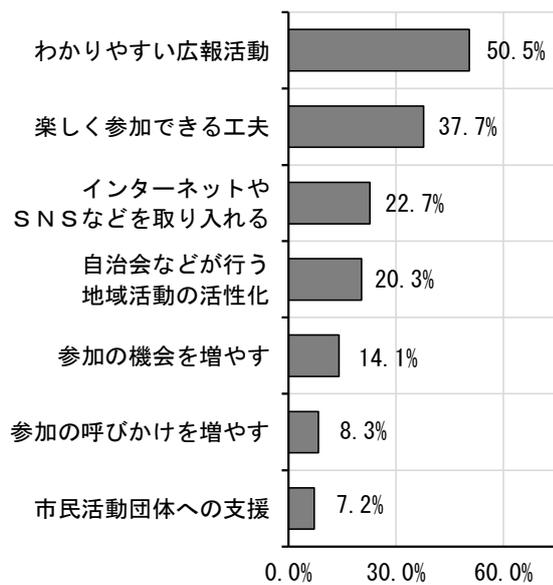
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	インターネットやSNSなどを取り入れる	楽しく参加できる工夫	わかりやすい広報活動	参加の機会を増やす	参加の呼びかけを増やす
	人数	38人	32人	31人	10人	5人
	割合	49.4%	41.6%	40.3%	13.0%	6.5%
30歳代	理由	楽しく参加できる工夫	わかりやすい広報活動	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす	自治会などが行う地域活動の活性化
	人数	66人	57人	45人	23人	9人
	割合	52.8%	45.6%	36.0%	18.4%	7.2%
40歳代	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす	自治会などが行う地域活動の活性化
	人数	87人	76人	64人	20人	17人
	割合	49.2%	42.9%	36.2%	11.3%	9.6%
50歳代	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす	自治会などが行う地域活動の活性化
	人数	124人	79人	52人	36人	26人
	割合	52.8%	33.6%	22.1%	15.3%	11.1%
60歳代	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす
	人数	164人	127人	70人	45人	26人
	割合	57.5%	44.6%	24.6%	15.8%	9.1%
70歳以上	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の呼びかけを増やす	参加の機会を増やす
	人数	219人	153人	135人	37人	32人
	割合	51.9%	36.3%	32.0%	8.8%	7.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

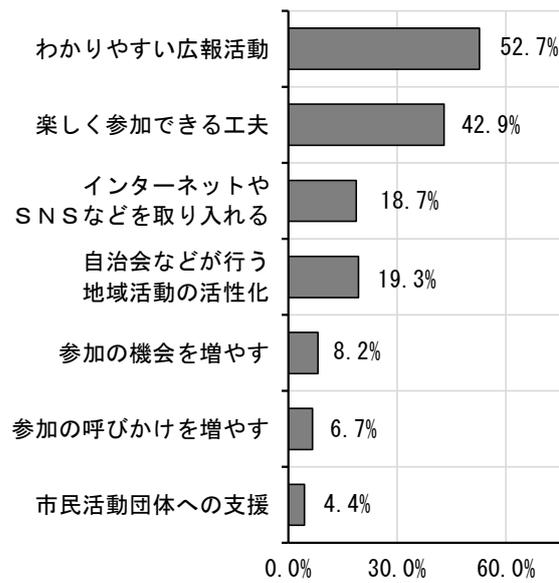
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の機会を増やす
	人数	106人	86人	47人	34人	22人
	割合	54.9%	44.6%	24.4%	17.6%	11.4%
中泉・今之浦地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の機会を増やす
	人数	117人	84人	51人	35人	18人
	割合	51.8%	37.2%	22.6%	15.5%	8.0%
岩田・大藤・向笠地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の機会を増やす	インターネットやSNSなどを取り入れる
	人数	40人	34人	16人	15人	12人
	割合	51.3%	43.6%	20.5%	19.2%	15.4%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	自治会などが行う地域活動の活性化	参加の機会を増やす
	人数	78人	61人	33人	21人	19人
	割合	55.3%	43.3%	23.4%	14.9%	13.5%
天竜・長野・於保地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	インターネットやSNSなどを取り入れる	自治会などが行う地域活動の活性化	・参加の機会を増やす ・参加の呼びかけを増やす
	人数	54人	42人	29人	27人	10人
	割合	47.0%	36.5%	25.2%	23.5%	8.7%
福田地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の呼びかけを増やす
	人数	58人	54人	29人	17人	12人
	割合	46.8%	43.5%	23.4%	13.7%	9.7%
竜洋地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす
	人数	75人	43人	33人	27人	12人
	割合	56.0%	32.1%	24.6%	20.1%	9.0%
富岡・豊田東・池田地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	・参加の機会を増やす ・インターネットやSNSなどを取り入れる		自治会などが行う地域活動の活性化
	人数	55人	39人		17人	12人
	割合	54.5%	38.6%		16.8%	11.9%
井通地区・青城地区	理由	わかりやすい広報活動	楽しく参加できる工夫	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	参加の機会を増やす
	人数	57人	52人	34人	26人	15人
	割合	48.3%	44.1%	28.8%	22.0%	12.7%
豊岡地区	理由	楽しく参加できる工夫	わかりやすい広報活動	自治会などが行う地域活動の活性化	インターネットやSNSなどを取り入れる	市民活動団体への支援
	人数	37人	36人	19人	13人	11人
	割合	46.3%	45.0%	23.8%	16.3%	13.8%

【属性別（性別）】

<男性>

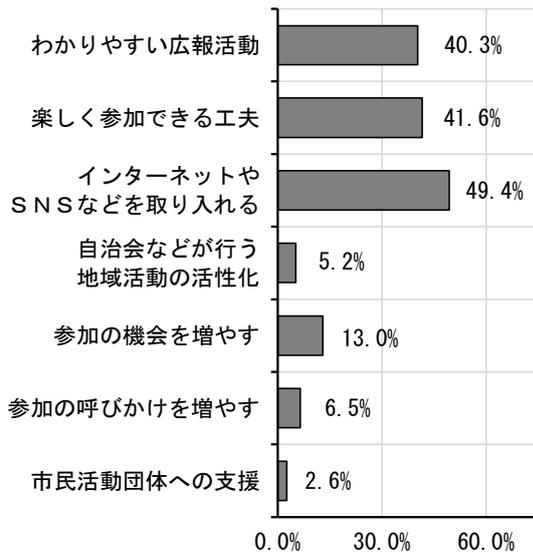


<女性>

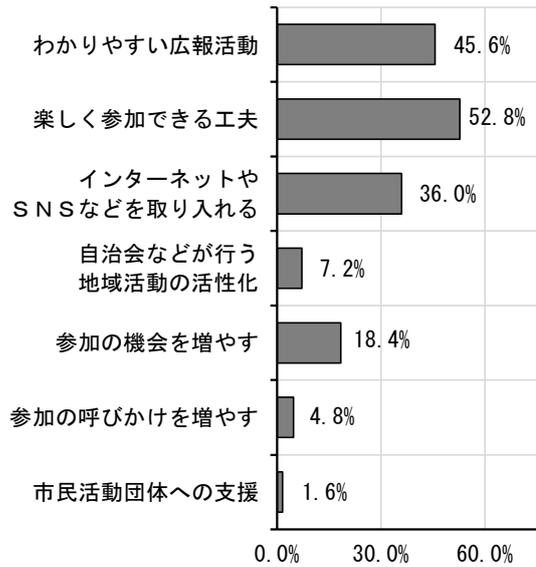


【属性別（年代別）】

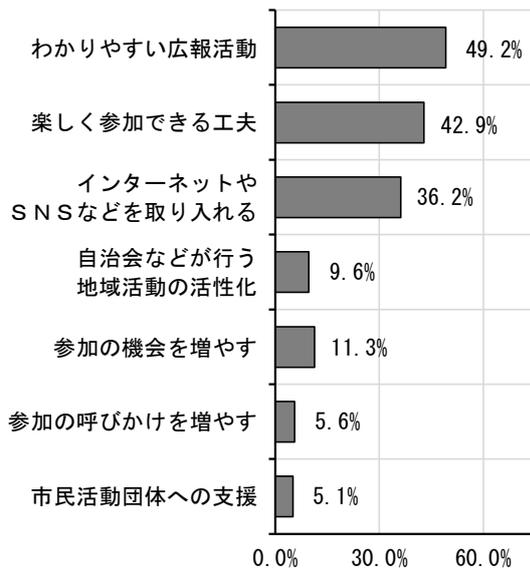
<30 歳未満>



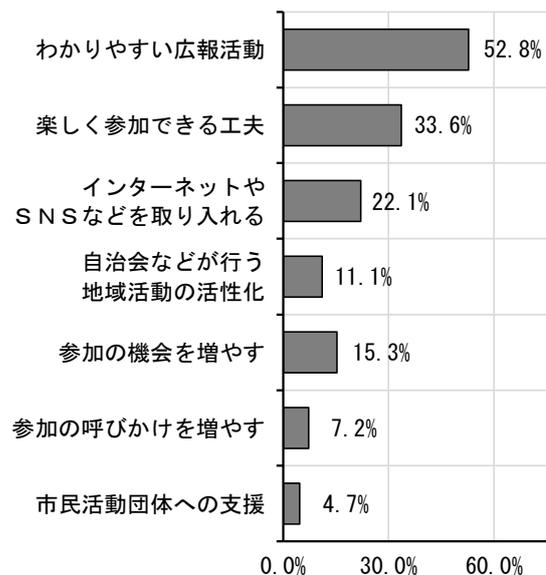
<30 歳代>



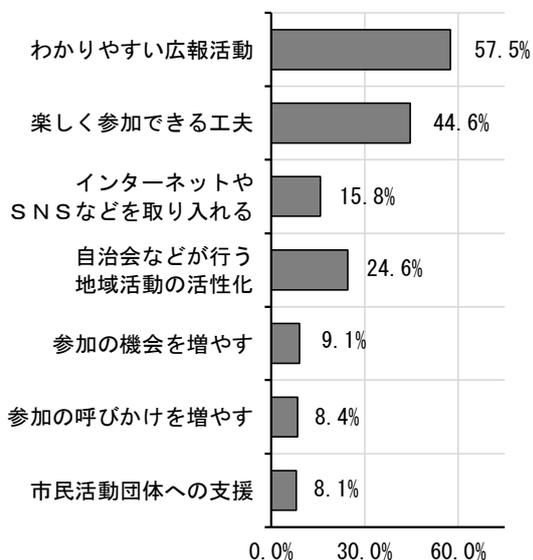
<40 歳代>



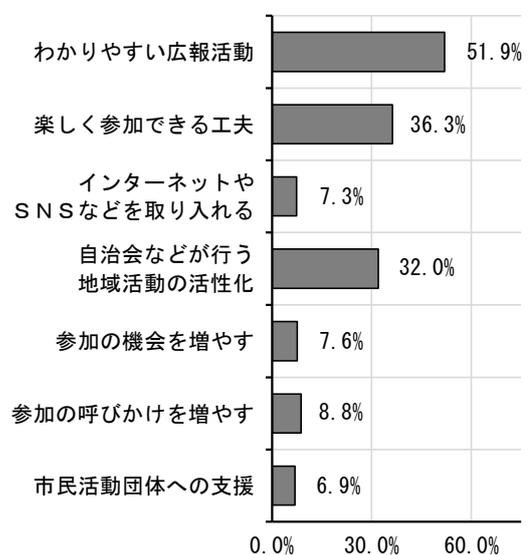
<50 歳代>



<60 歳代>

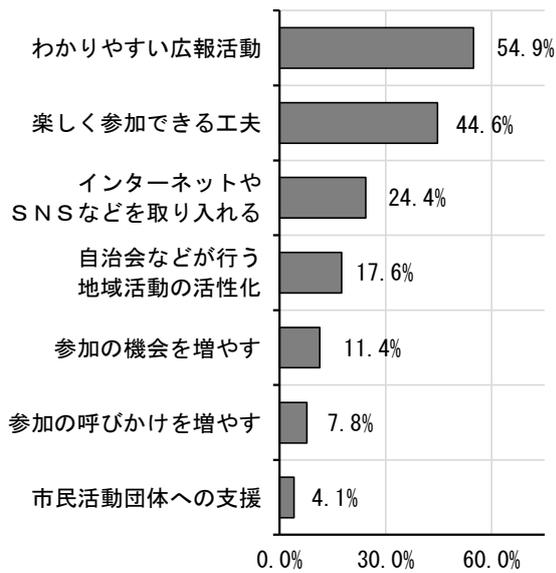


<70 歳以上>

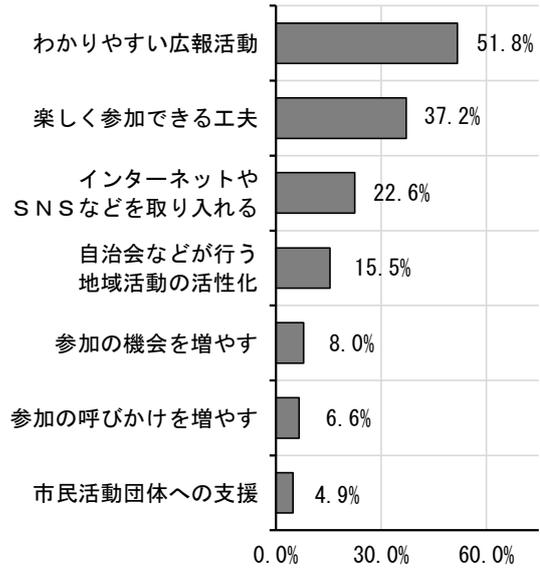


【属性別（居住地区別）】

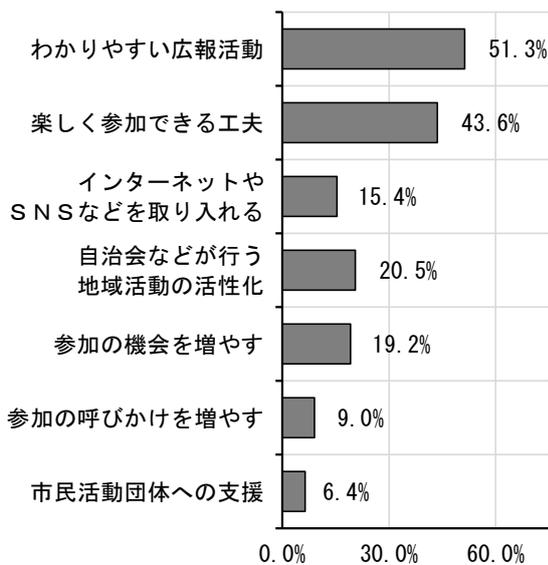
＜見付地区＞



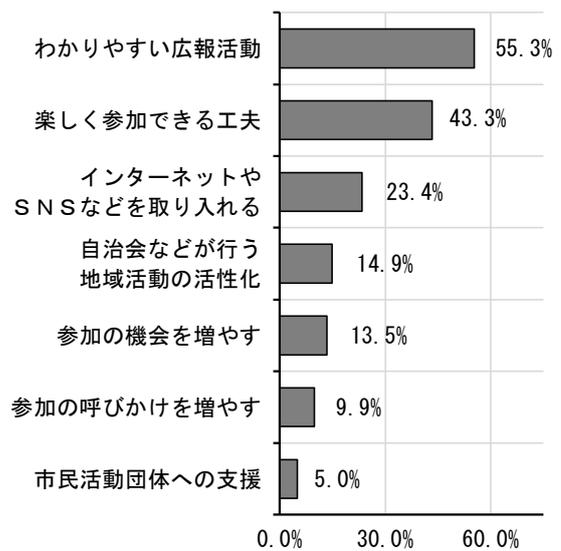
＜中泉・今之浦地区＞



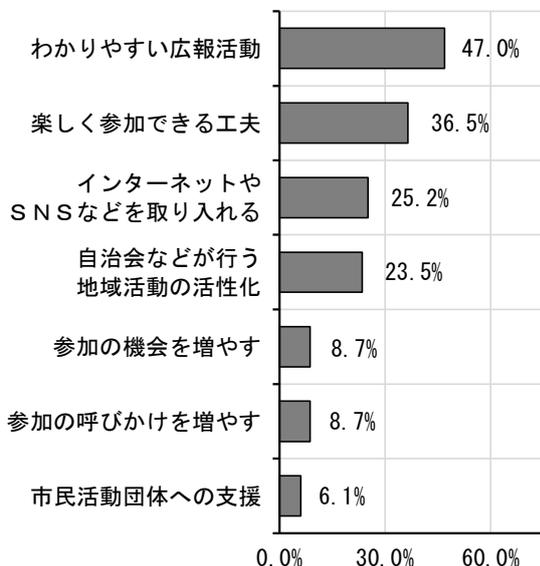
＜岩田・大藤・向笠地区＞



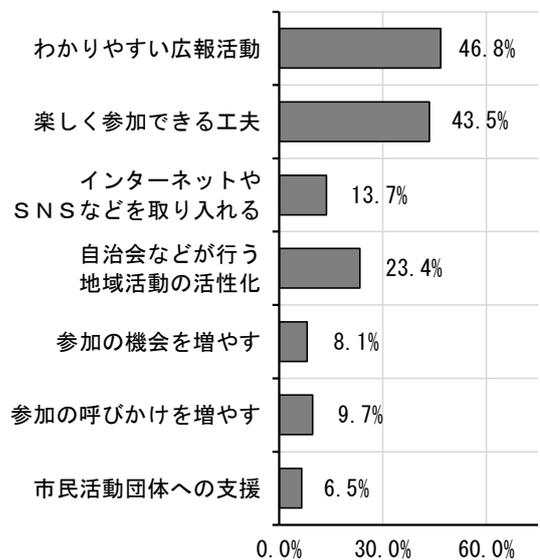
＜西貝・御厨・南御厨・田原地区＞



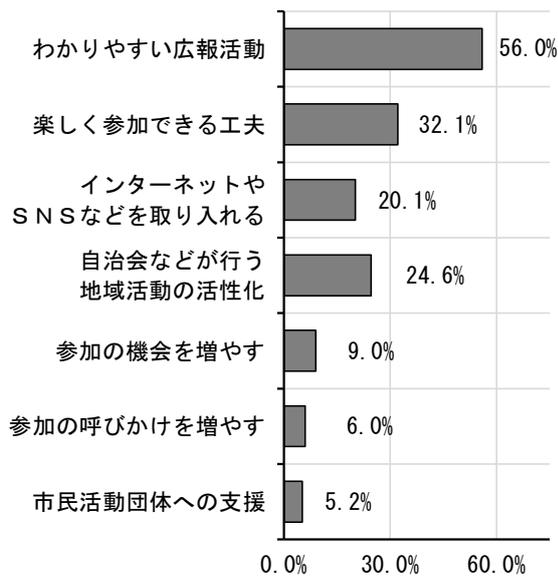
＜天竜・長野・於保地区＞



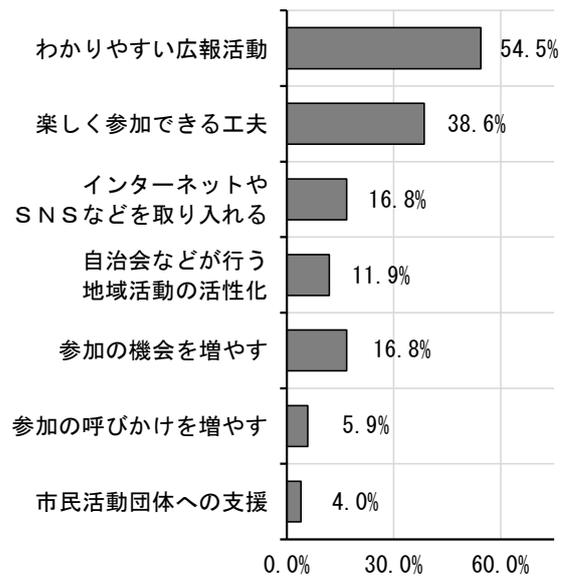
＜福田地区＞



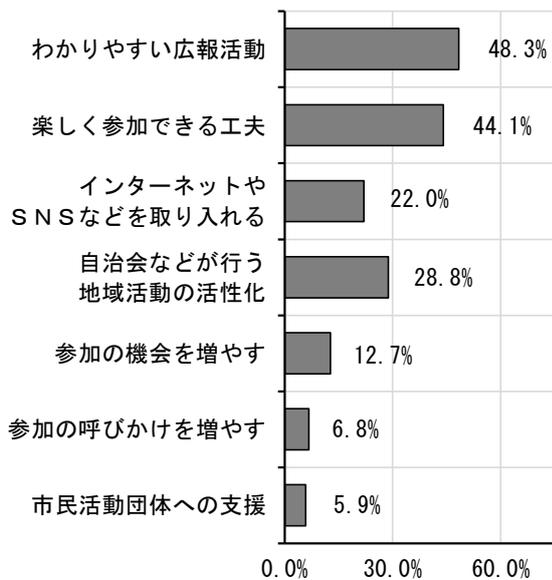
<竜洋地区>



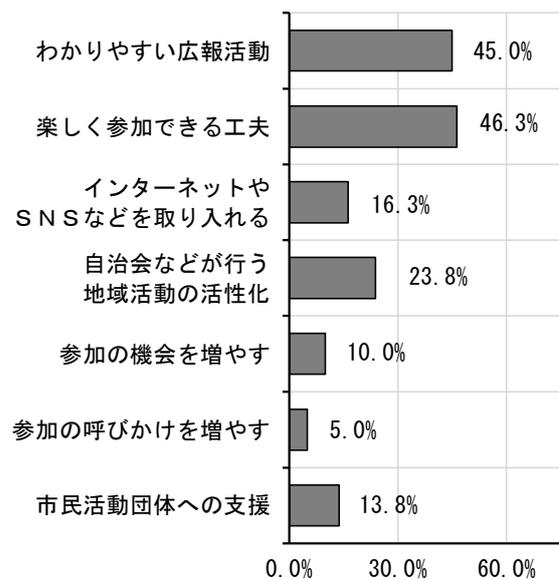
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



11. 新型コロナウイルス感染症について

1) 新型コロナウイルス感染症の影響による家庭の収入の変化状況

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭の収入には変化がありましたか？

<○印を1つ>

家庭の収入が『減少した』※は約4割

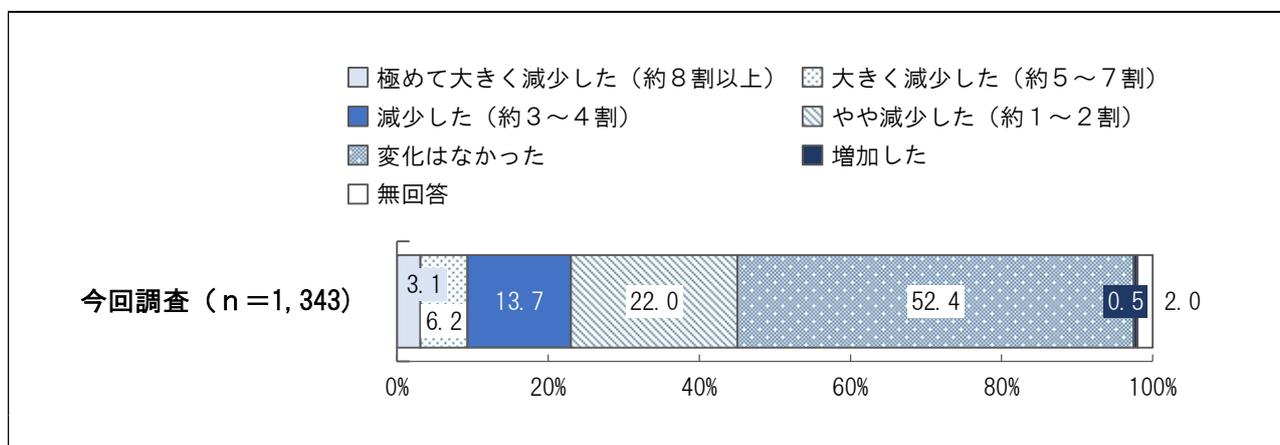
※『減少した』:「極めて大きく減少した(約8割以上)」+「大きく減少した(約5~7割)」
+「減少した(約3~4割)」+「やや減少した(約1~2割)」

■傾向

【性別】『減少した』は男性が多い

【年代別】最も『減少した』が多い年代は、30歳未満

【居住地区別】最も『減少した』が多い居住地区は、天竜・長野・於保地区



■今回調査の結果

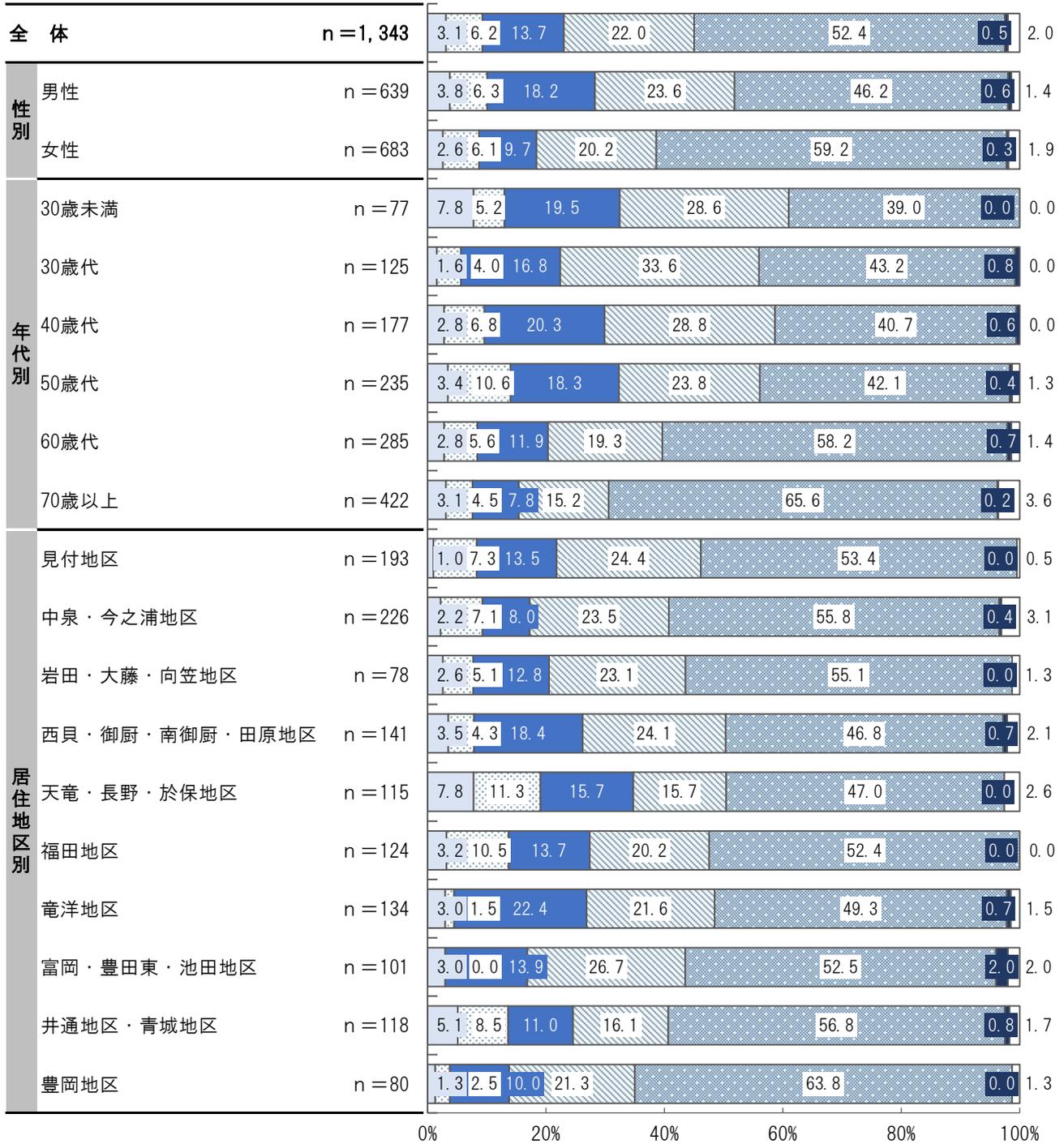
- ・『減少した』(「極めて大きく減少した(約8割以上)」+「大きく減少した(約5~7割)」+「減少した(約3~4割)」+「やや減少した(約1~2割)」)は45.0%となっている。
- ・「変化はなかった」(52.4%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(22.0%)、「減少した(約3~4割)」(13.7%)となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「変化はなかった」(46.2%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(23.6%)、「減少した(約3~4割)」(18.2%)となっている。また、『減少した』は51.9%となっている。
 - ・女性では「変化はなかった」(59.2%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(20.2%)、「減少した(約3~4割)」(9.7%)となっている。また、『減少した』は38.6%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「変化はなかった」が最も多い。
 - ・最も『減少した』が多い年代は、30歳未満(61.1%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「変化はなかった」が最も多い。
 - ・最も『減少した』が多い居住地区は、天竜・長野・於保地区(50.5%)となっている。

【属性別】

- 極めて大きく減少した（約8割以上）
- 大きく減少した（約5～7割）
- 減少した（約3～4割）
- やや減少した（約1～2割）
- 変化はなかった
- 増加した
- 無回答



(2) 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なこと

問 31 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なことは何だと思いますか？ <○印を2つまで>

感染拡大の防止と社会経済活動の維持のためには重要なことは

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」
- ・「感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進」

■傾向

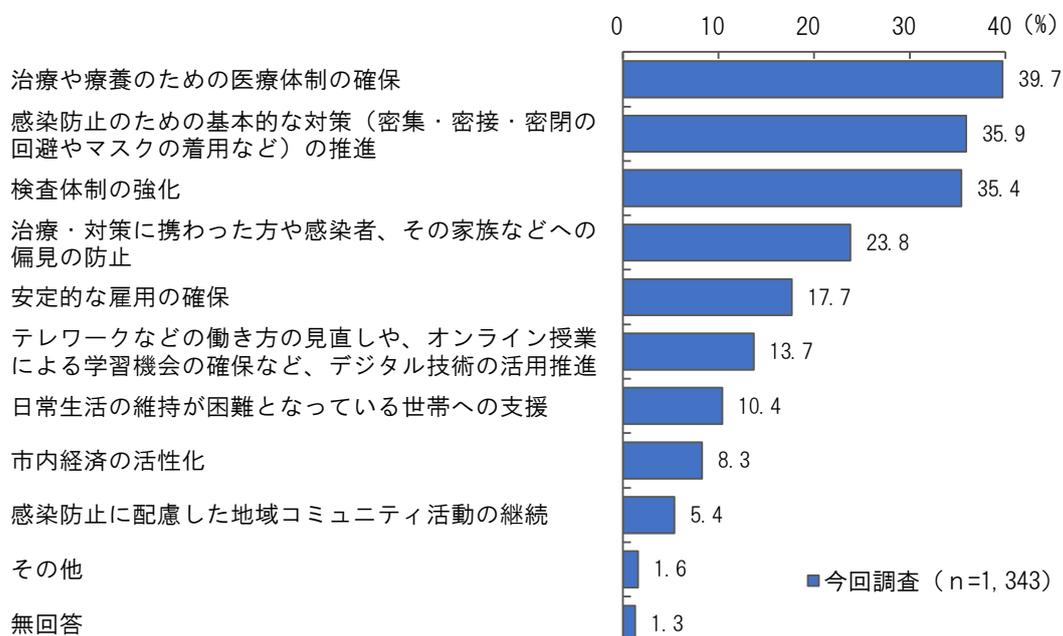
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」
- ・「感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進」



■今回調査の結果

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」(39.7%)が最も多く、次いで「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(35.9%)、「検査体制の強化」(35.4%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「治療や療養のための医療体制の確保」(38.8%)が最も多く、次いで「検査体制の強化」(36.2%)、「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(33.8%)となっている。
 - ・女性では「治療や療養のための医療体制の確保」(40.6%)が最も多く、次いで「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(37.6%)、「検査体制の強化」(34.8%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満では「テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進」(29.9%)が最も多い。
 - ・30歳代では「治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止」(34.4%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代では「治療や療養のための医療体制の確保」が最も多い。
 - ・70歳以上では「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(47.2%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・中泉・今之浦地区、福田地区では「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「検査体制の強化」(47.4%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「治療や療養のための医療体制の確保」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	248人	231人	216人	154人	120人
	割合	38.8%	36.2%	33.8%	24.1%	18.8%
女性	理由	治療や療養のための医療体制の確保	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	277人	257人	238人	163人	115人
	割合	40.6%	37.6%	34.8%	23.9%	16.8%

【年代別：上位5位のみ】

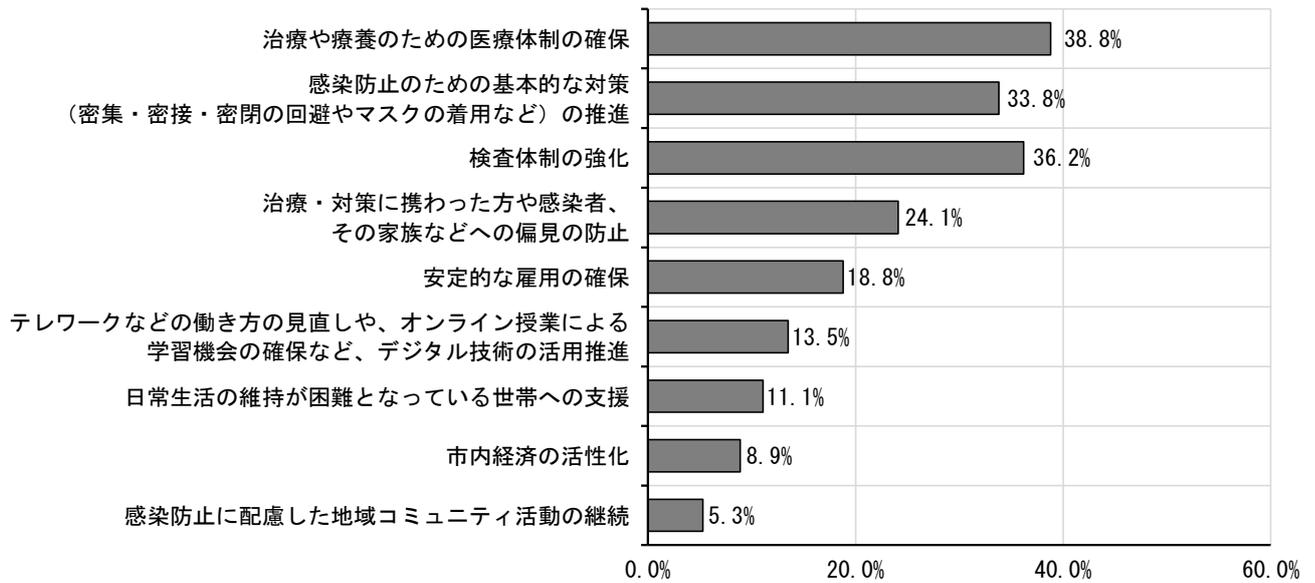
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進	検査体制の強化	治療や療養のための医療体制の確保	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進
	人数	23人	21人	20人	19人	17人
	割合	29.9%	27.3%	26.0%	24.7%	22.1%
30歳代	理由	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	・感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進 ・テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進	治療や療養のための医療体制の確保	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	43人	40人	39人	29人	29人
	割合	34.4%	32.0%	31.2%	23.2%	23.2%
40歳代	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	・安定的な雇用の確保 ・テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進	安定的な雇用の確保
	人数	69人	61人	42人	40人	40人
	割合	39.0%	34.5%	23.7%	22.6%	22.6%
50歳代	理由	治療や療養のための医療体制の確保	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	115人	76人	66人	62人	53人
	割合	48.9%	32.3%	28.1%	26.4%	22.6%
60歳代	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	128人	123人	105人	59人	39人
	割合	44.9%	43.2%	36.8%	20.7%	13.7%
70歳以上	理由	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療や療養のための医療体制の確保	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	199人	168人	152人	92人	59人
	割合	47.2%	39.8%	36.0%	21.8%	14.0%

【居住地区別：上位5位のみ】

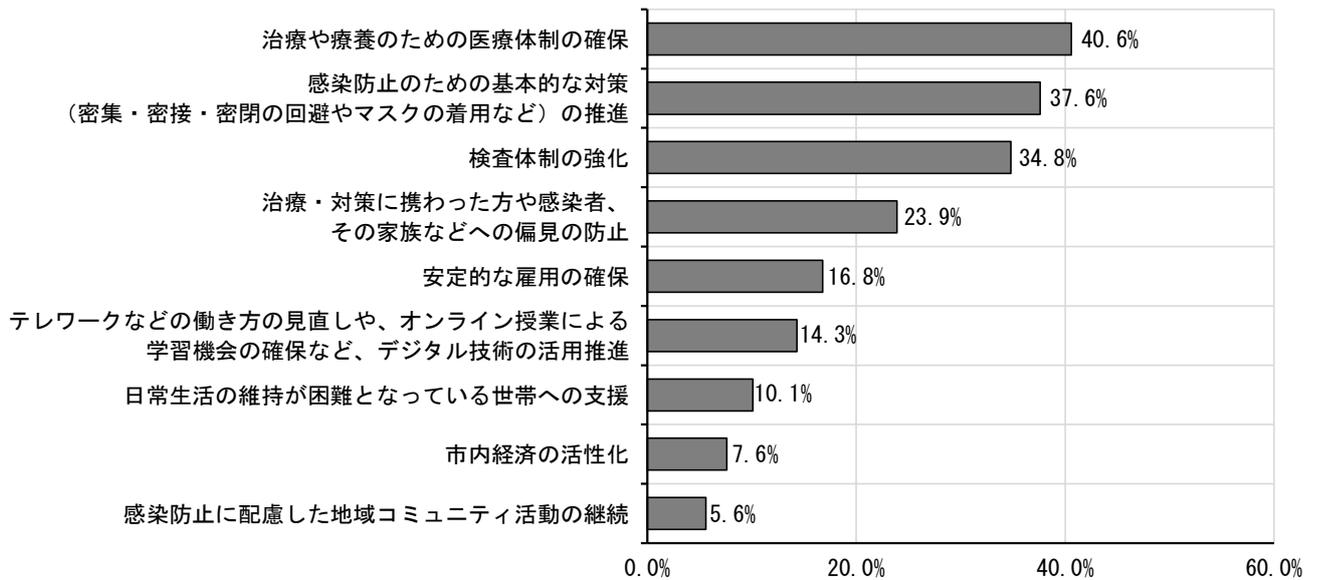
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	80人	62人	59人	46人	41人
	割合	41.5%	32.1%	30.6%	23.8%	21.2%
中泉・今之浦地区	理由	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療や療養のための医療体制の確保	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	86人	83人	82人	56人	36人
	割合	38.1%	36.7%	36.3%	24.8%	15.9%
岩田・大藤・向笠地区	理由	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療や療養のための医療体制の確保	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	37人	33人	32人	13人	11人
	割合	47.4%	42.3%	41.0%	16.7%	14.1%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進
	人数	55人	50人	49人	36人	26人
	割合	39.0%	35.5%	34.8%	25.5%	18.4%
天竜・長野・於保地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	53人	37人	34人	32人	20人
	割合	46.1%	32.2%	29.6%	27.8%	17.4%
福田地区	理由	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	50人	45人	43人	33人	20人
	割合	40.3%	36.3%	34.7%	26.6%	16.1%
竜洋地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	52人	50人	43人	30人	25人
	割合	38.8%	37.3%	32.1%	22.4%	18.7%
富岡・豊田東・池田地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	40人	38人	33人	25人	18人
	割合	39.6%	37.6%	32.7%	24.8%	17.8%
井通地区・青城地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	検査体制の強化	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	安定的な雇用の確保	・テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進 ・治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止
	人数	49人	44人	43人	25人	21人
	割合	41.5%	37.3%	36.4%	21.2%	17.8%
豊岡地区	理由	治療や療養のための医療体制の確保	感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進	検査体制の強化	治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止	安定的な雇用の確保
	人数	35人	34人	27人	20人	14人
	割合	43.8%	42.5%	33.8%	25.0%	17.5%

【属性別（性別）】

<男性>

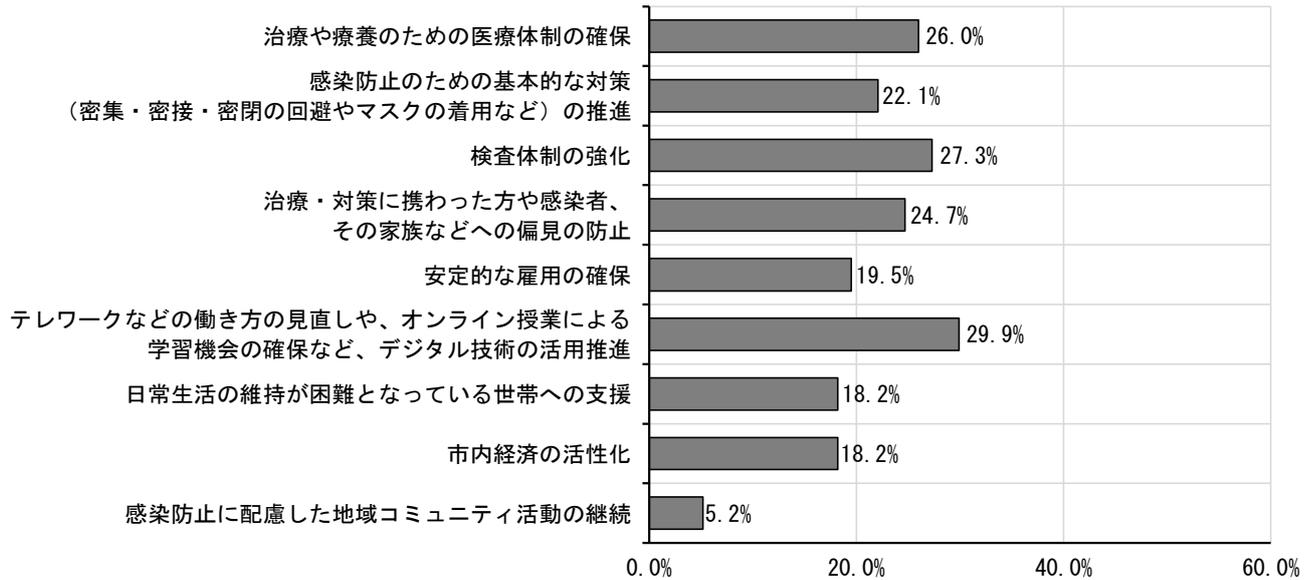


<女性>

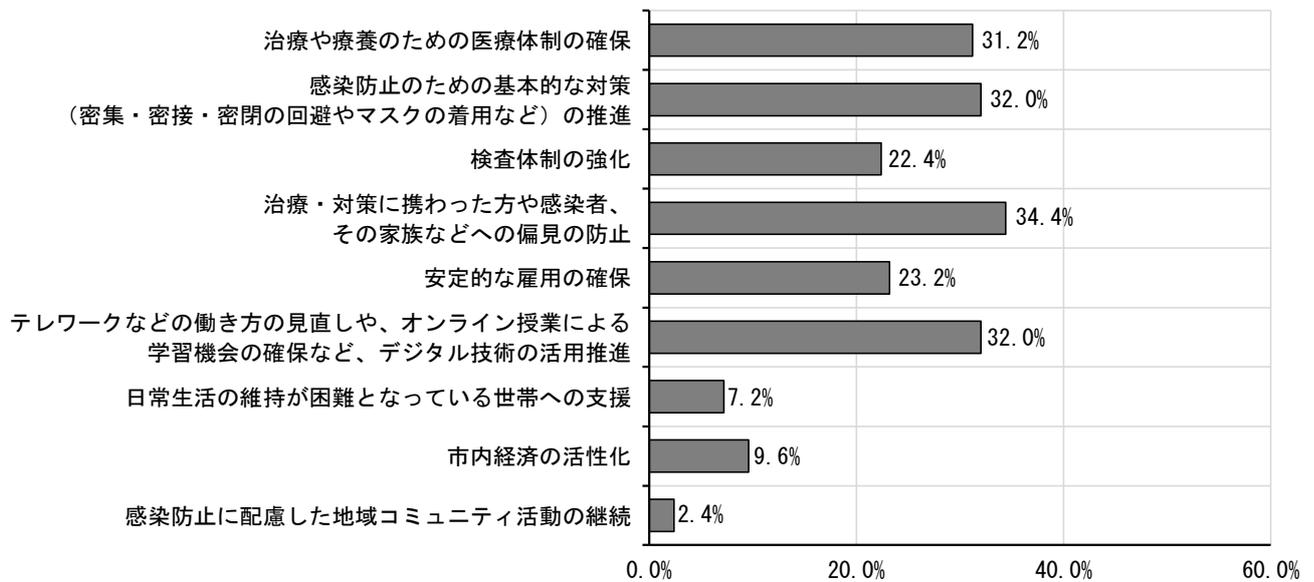


【属性別（年代別）】

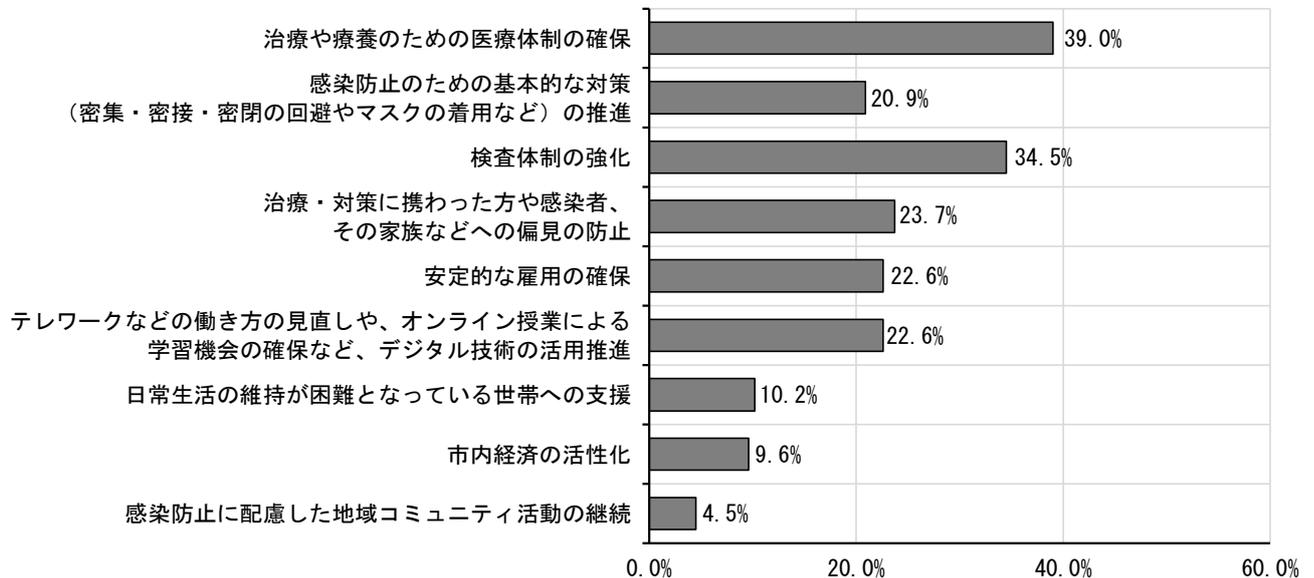
<30 歳未満>



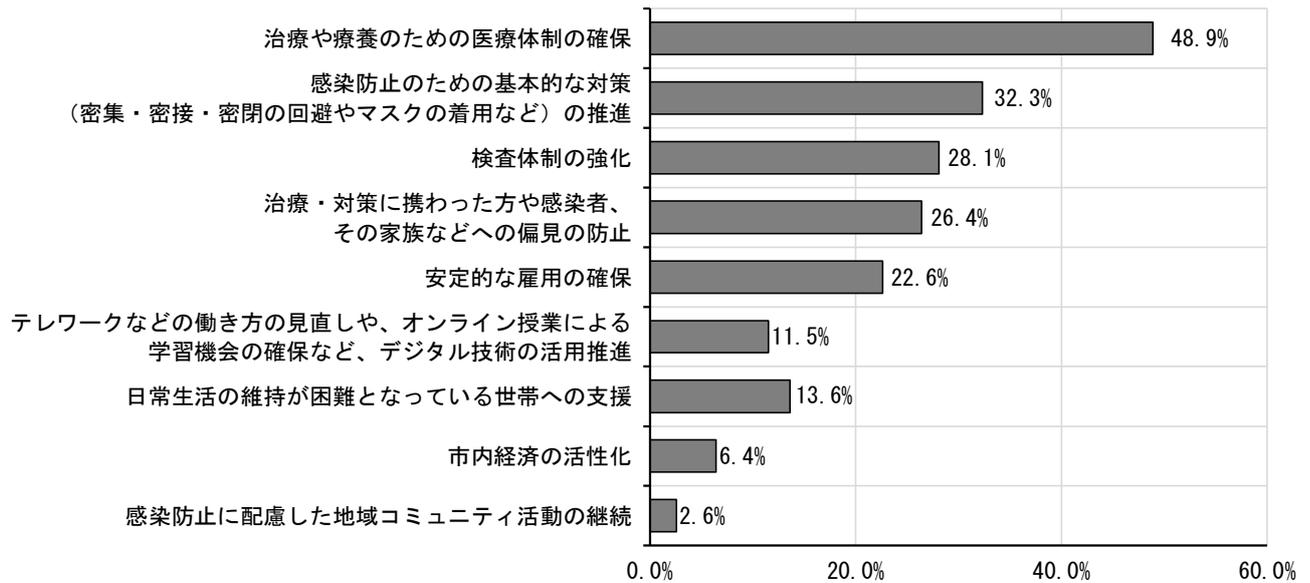
<30 歳代>



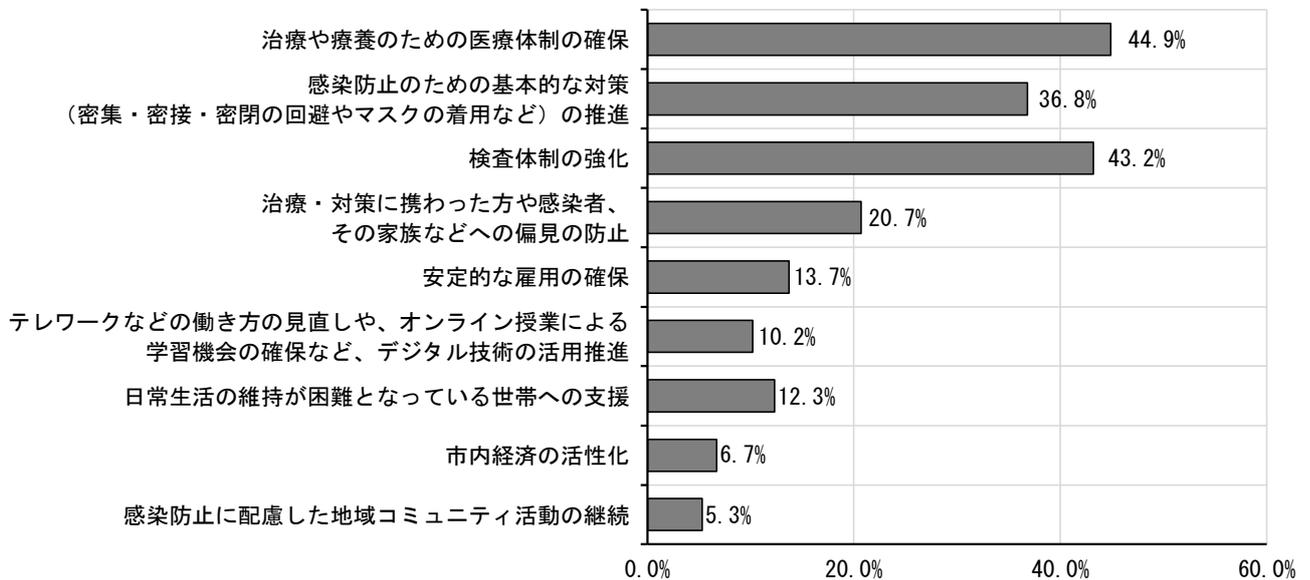
<40 歳代>



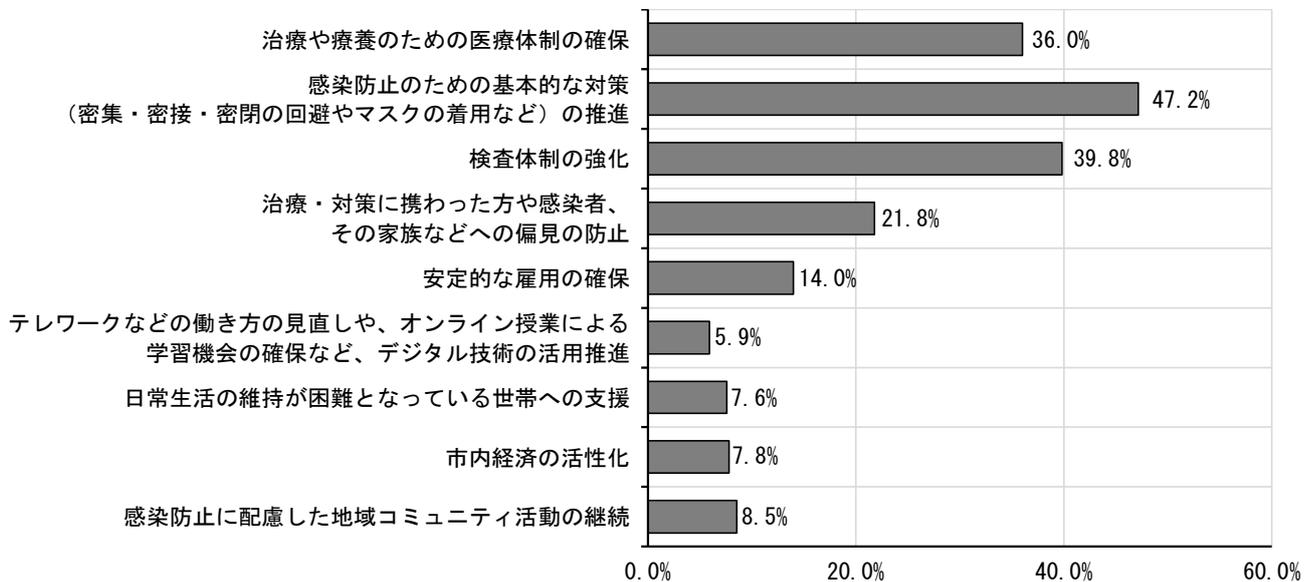
<50 歳代>



<60 歳代>

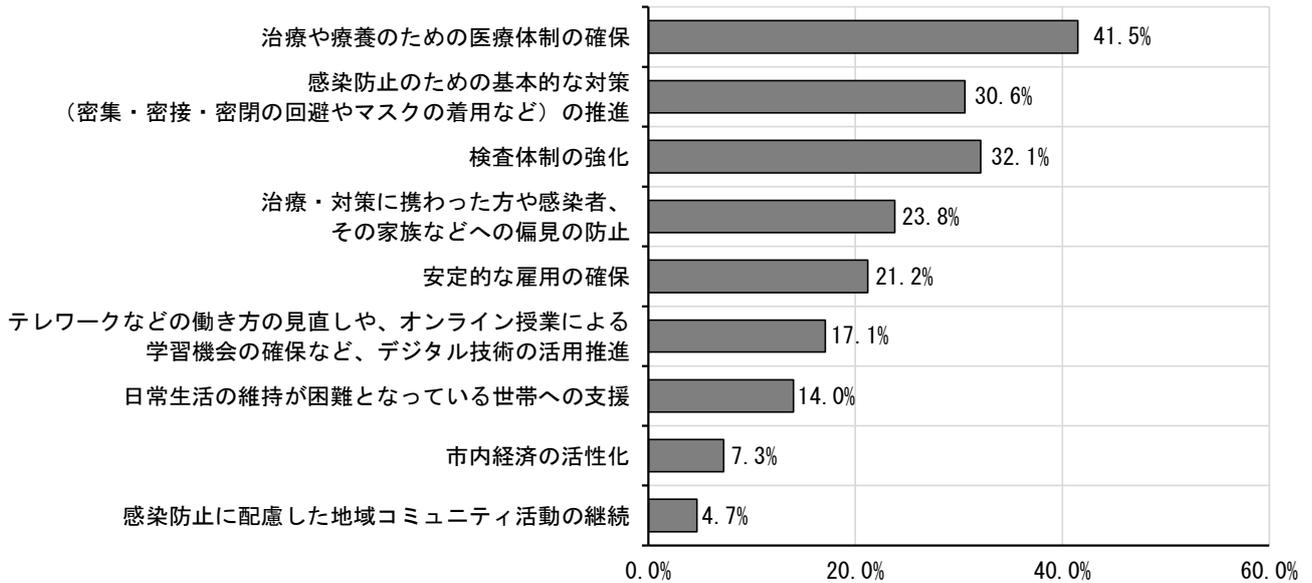


<70 歳以上>

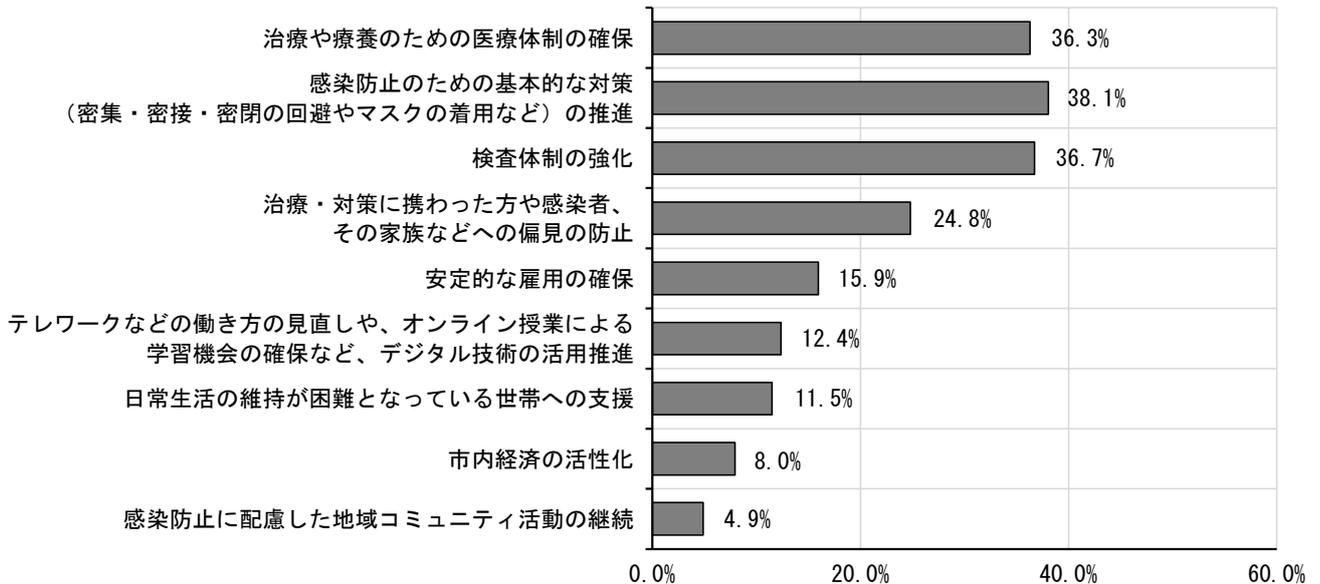


【属性別（居住地区別）】

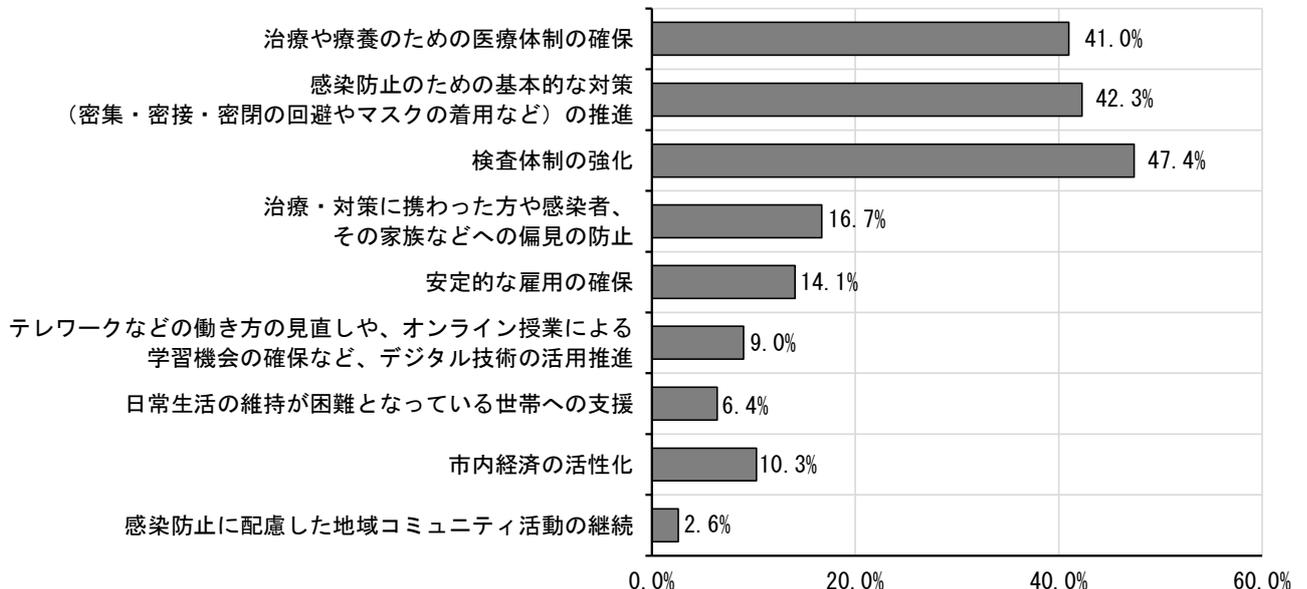
<見付地区>



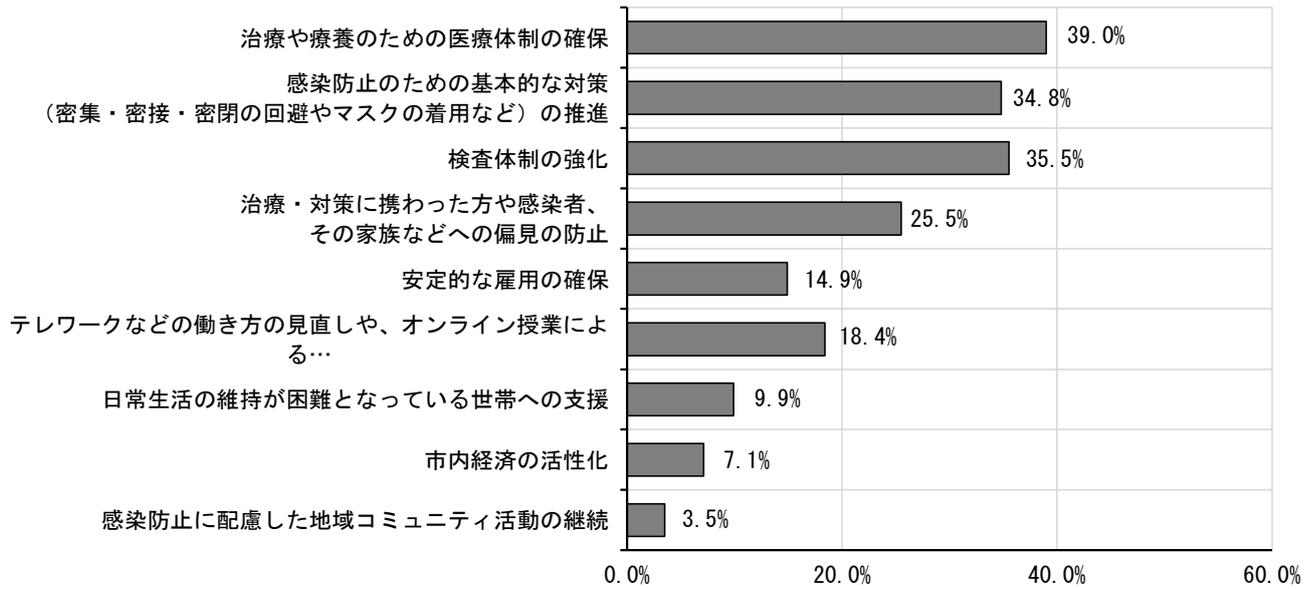
<中泉・今之浦地区>



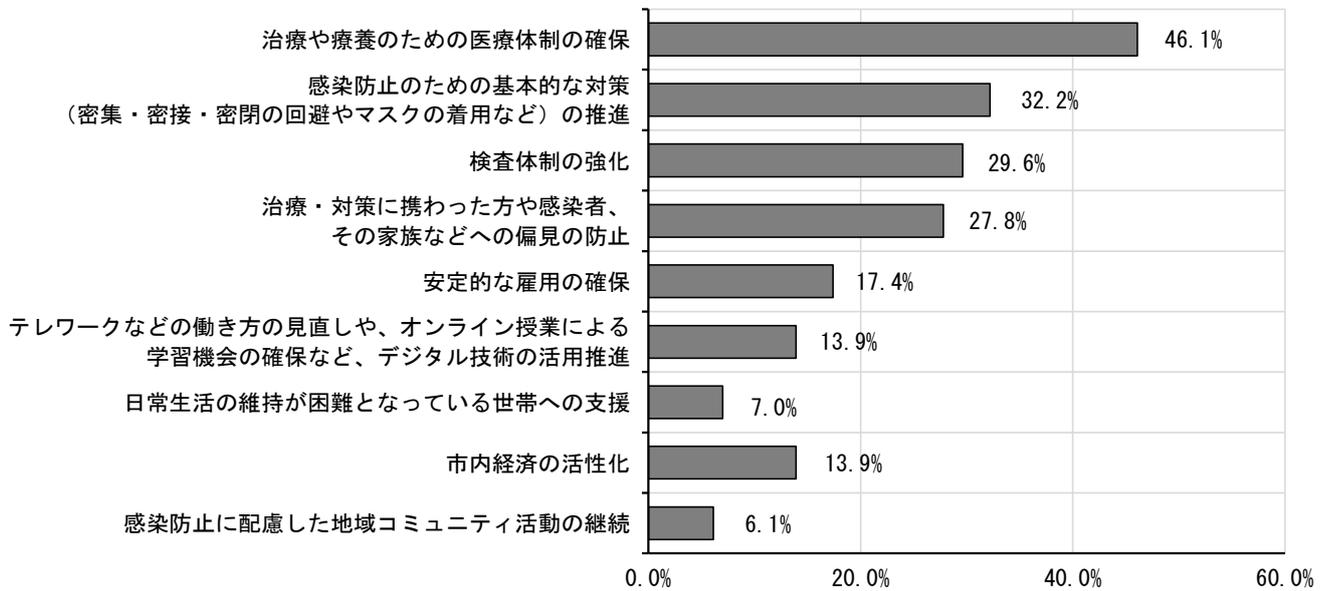
<岩田・大藤・向笠地区>



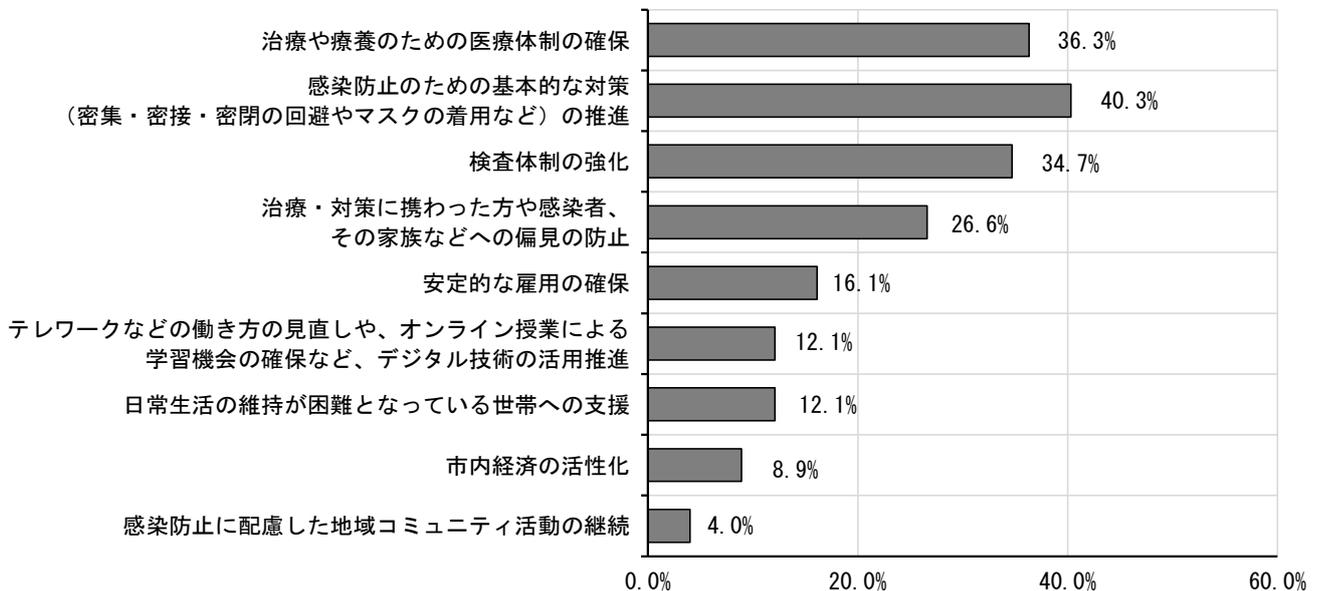
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



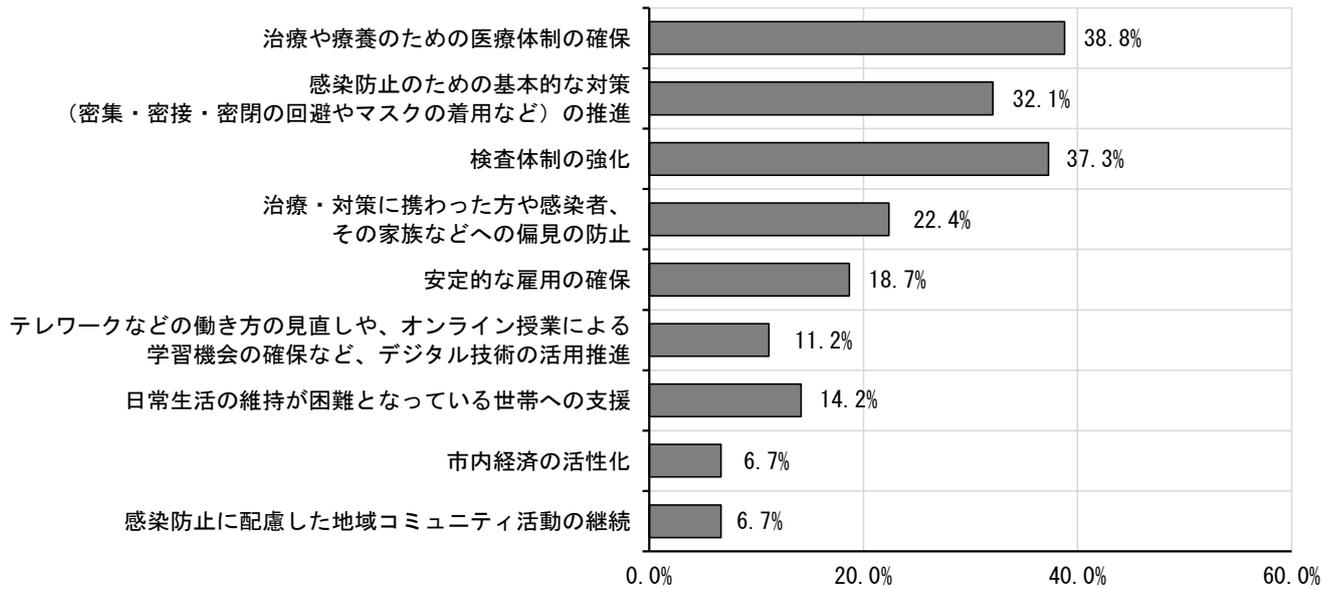
<天竜・長野・於保地区>



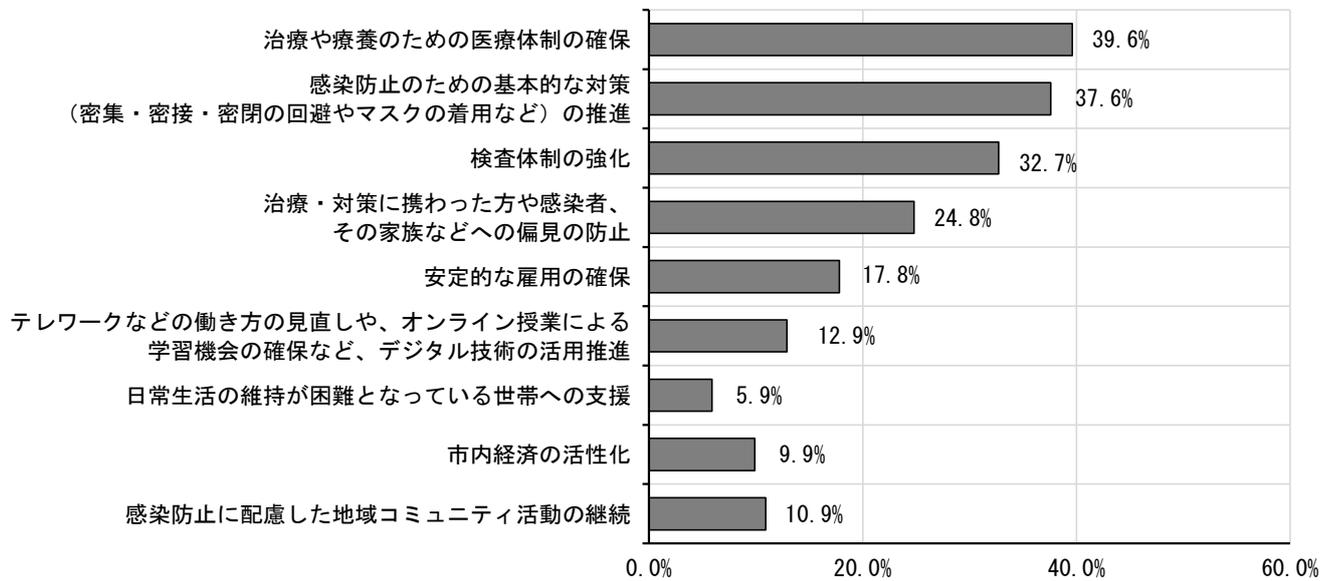
<福田地区>



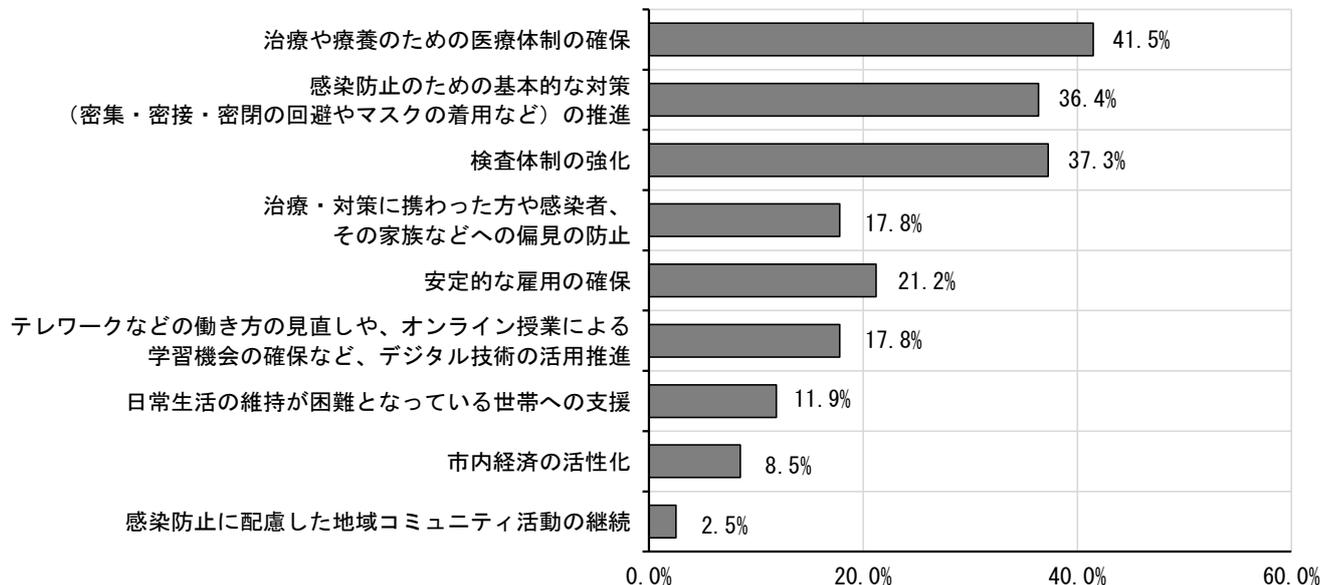
<竜洋地区>



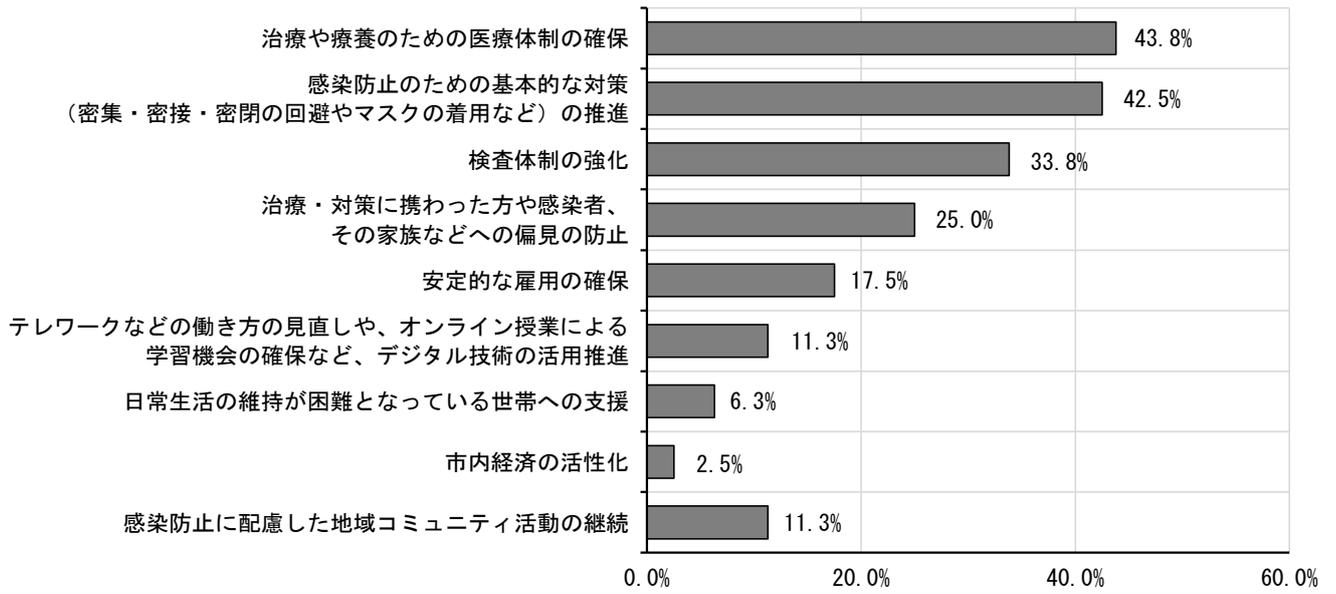
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



IV 調査の結果

～ 共生社会について ～

1. 男女共同参画社会について

(1) 男女の役割を固定的に考えることについての賛否

問 33 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか？ <○印を1つ>

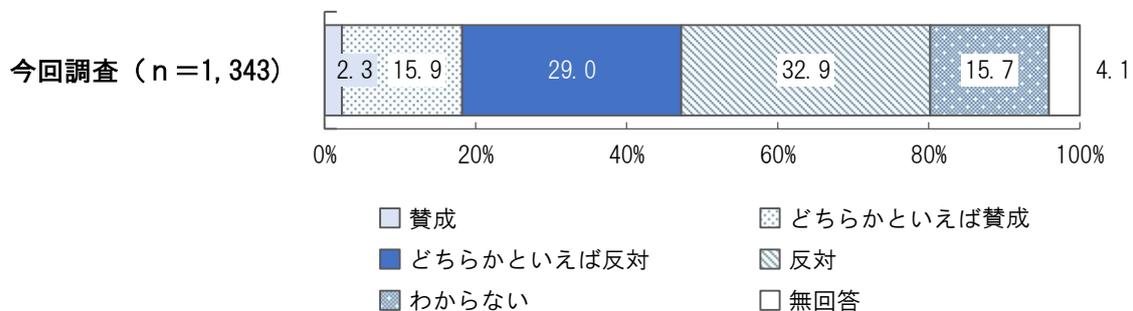
男女の役割を固定的に考えることについて、6割が『反対』

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『反対』が5割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反対』が5割を超えている



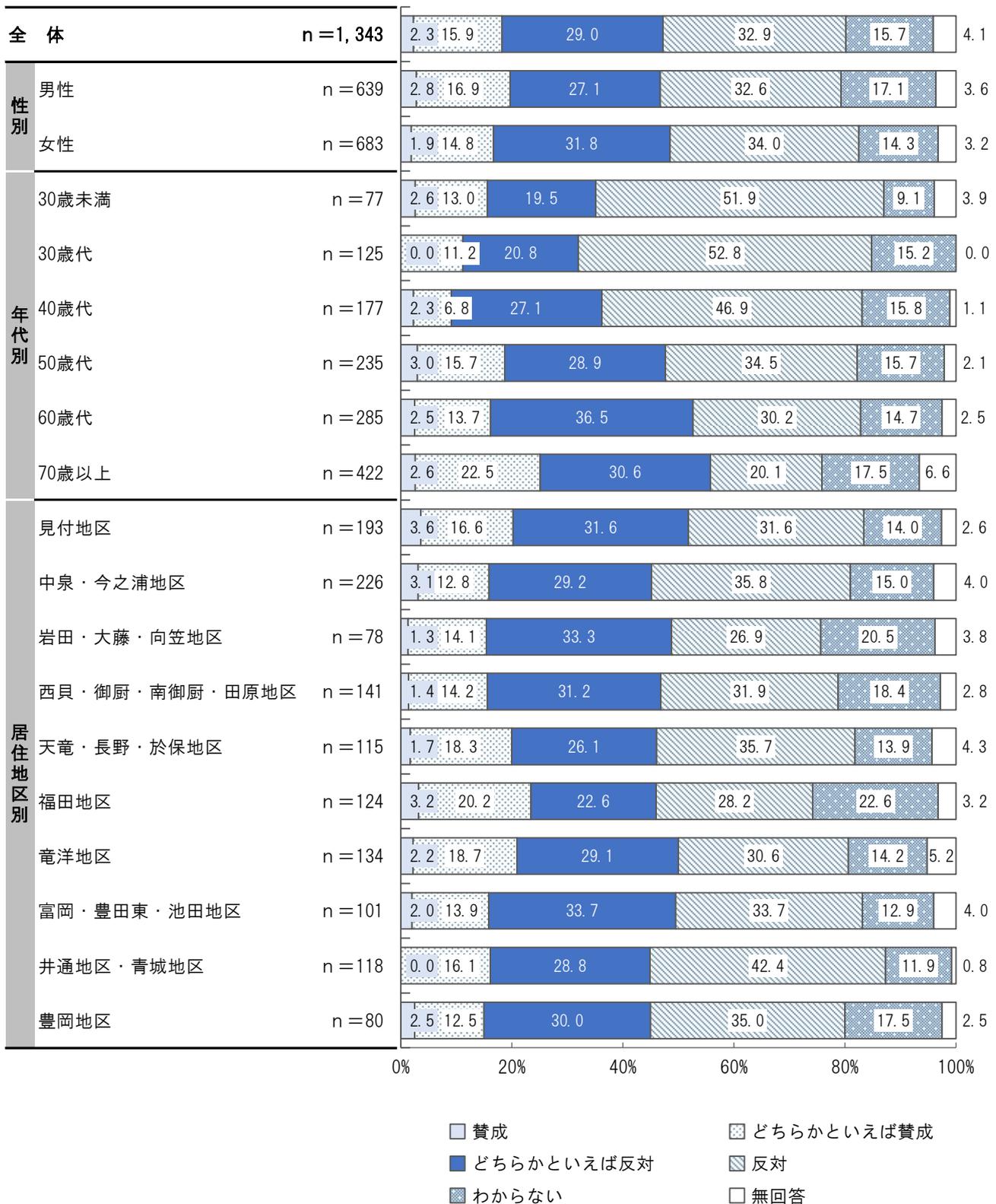
■今回調査の結果

- ・「反対」(32.9%) が最も多く、次いで「どちらかといえば反対」(29.0%)、「どちらかといえば賛成」(15.9%) となっている。
- ・『賛成』(「賛成」+「どちらかといえば賛成」) は 18.2%、『反対』(「どちらかといえば反対」+「反対」) は 61.9% となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「反対」(32.6%) が最も多く、次いで「どちらかといえば反対」(27.1%)、「どちらかといえば賛成」(16.9%) となっている。また、『賛成』は 19.7%、『反対』は 59.7% となっている。
 - ・女性では「反対」(34.0%) が最も多く、次いで「どちらかといえば反対」(31.8%)、「どちらかといえば賛成」(14.8%) となっている。また、『賛成』は 16.7%、『反対』は 65.8% となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で『反対』が5割を超えている。
 - ・『反対』が最も多い年代は40歳代(74.0%)、『賛成』が最も多い年代は70歳以上(25.1%) となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『反対』が5割を超えている。
 - ・『反対』が最も多い居住地区は井通・青城地区(71.2%)、『賛成』が最も多い居住地区は福田地区(23.4%) となっている。

【属性別】



(2) 各分野における女性の意見の反映状況

問 34 あなたは、次のような分野で女性の意見がどの程度反映されていると思いますか？

<○印をそれぞれ1つ>

①市議会などの政治

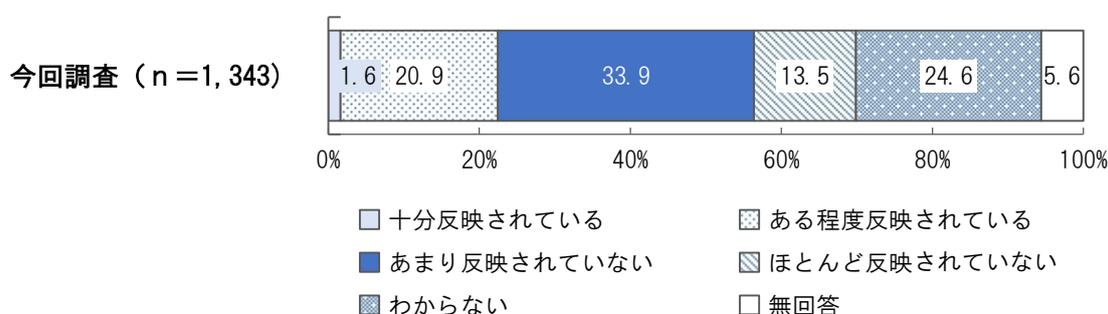
『反映されていない』が約5割

■傾 向

【性 別】『反映されている』は男性が多い

【年 代 別】すべての年代で『反映されていない』が4割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が4割を超えている



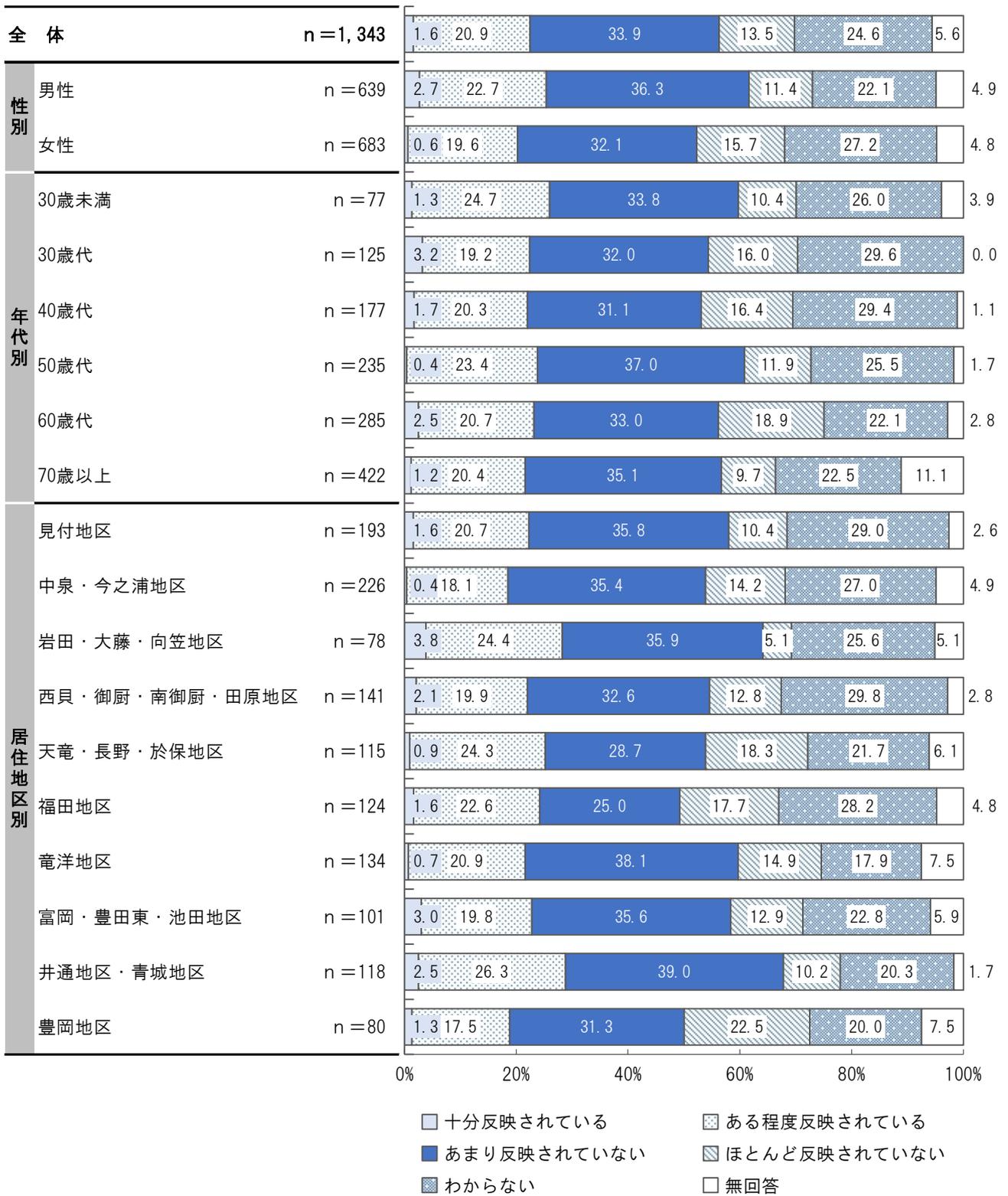
■今回調査の結果

- ・「あまり反映されていない」(33.9%) が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(20.9%)、「ほとんど反映されていない」(13.5%) となっている。一方、「わからない」は24.6%となっている。
- ・『反映されている』(「十分に反映されている」+「ある程度反映されている」)は22.5%、『反映されていない』(「あまり反映されていない」+「ほとんど反映されていない」)は47.4%となっている。

■傾 向

- 【性 別】
- ・『反映されている』は男性が多い。
 - ・男性では「あまり反映されていない」(36.3%) が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(22.7%)、「ほとんど反映されていない」(11.4%) となっている。また、『反映されている』は25.4%、『反映されていない』は47.7%となっている。
 - ・女性では「あまり反映されていない」(32.1%) が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(19.6%)、「ほとんど反映されていない」(15.7%) となっている。また、『反映されている』は20.2%、『反映されていない』は47.8%となっている。
- 【年 代 別】
- ・すべての年代で『反映されていない』が4割を超えている。
 - ・『反映されていない』が最も多い年代は、60歳代(51.9%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『反映されていない』が4割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い居住地区は井通地区・青城地区(28.8%)、『反映されていない』が最も多い居住地区は豊岡地区(53.8%)となっている。

【属性別】



②市などの行政

『反映されていない』が約5割

■傾向

【性別】『反映されている』は男性が多い

【年代別】すべての年代で『反映されていない』が3割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている



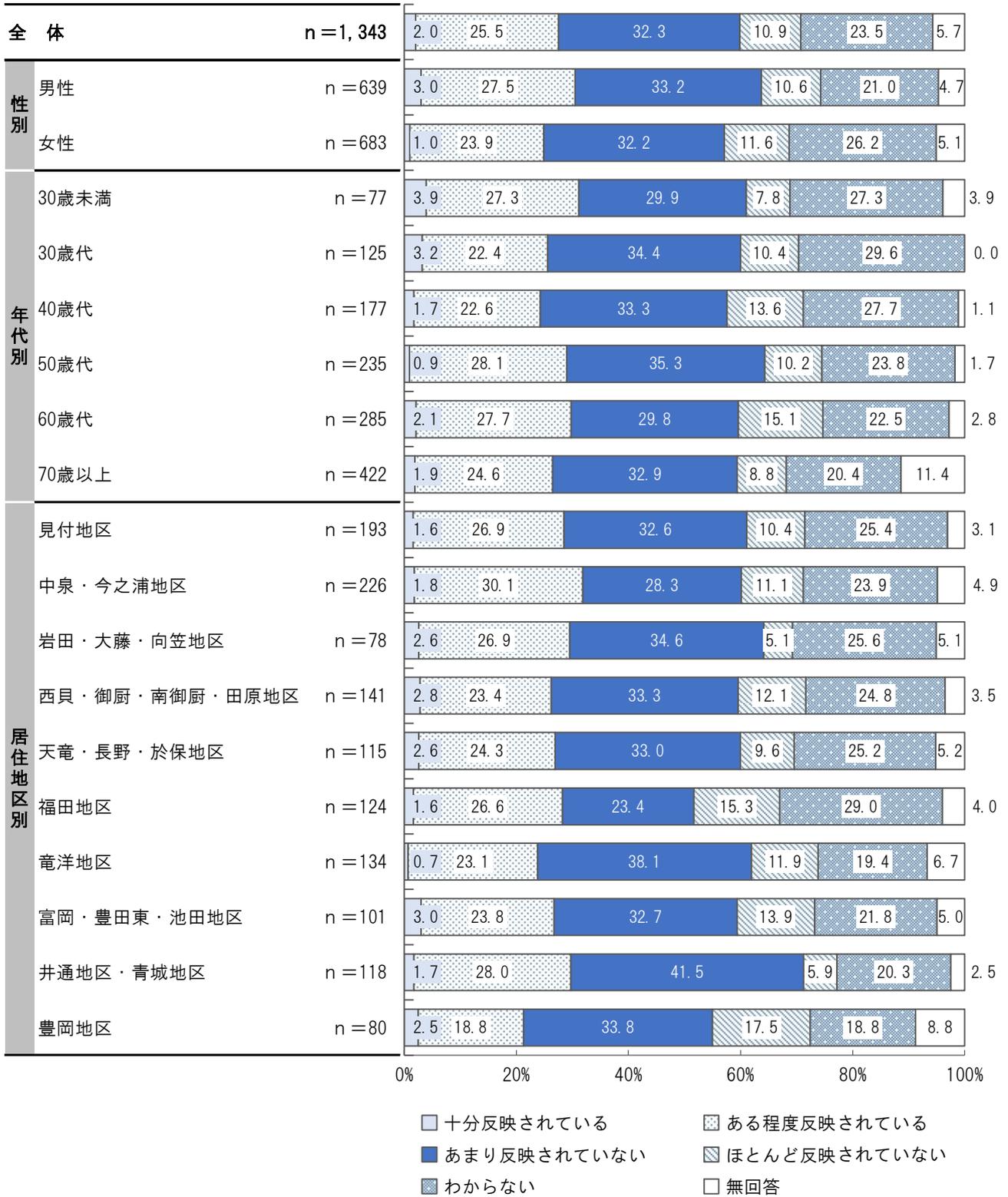
■今回調査の結果

- ・「あまり反映されていない」(32.3%)が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(25.5%)、「ほとんど反映されていない」(10.9%)となっている。一方、「わからない」は23.5%となっている。
- ・『反映されている』(「十分反映されている」+「ある程度反映されている」)は27.5%、『反映されていない』(「あまり反映されていない」+「ほとんど反映されていない」)は43.2%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・『反映されている』は男性が多い
 - ・男性では「あまり反映されていない」(33.2%)が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(27.5%)、「ほとんど反映されていない」(10.6%)となっている。また、『反映されている』は30.5%、『反映されていない』は43.8%となっている。
 - ・女性では「あまり反映されていない」が32.2%と最も多く、次いで「ある程度反映されている」が23.9%、「ほとんど反映されていない」が11.6%となっている。また、『反映されている』は24.9%、『反映されていない』は43.8%となっている。
- 【年代別】
- ・30歳未満を除き、『反映されていない』が4割を超えている。
 - ・『反映されていない』が最も多い年代は、40歳代(46.9%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い居住地区は中泉・今之浦地区(31.9%)、『反映されていない』が最も多い居住地区は豊岡地区(51.3%)となっている。

【属性別】



③企業などの職場

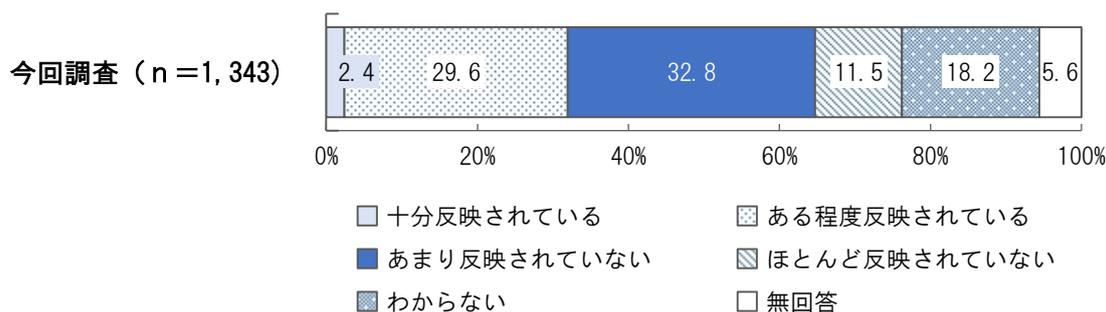
『反映されていない』が約4割

■傾向

【性別】『反映されていない』は男性が多い

【年代別】すべての年代で『反映されていない』が3割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている



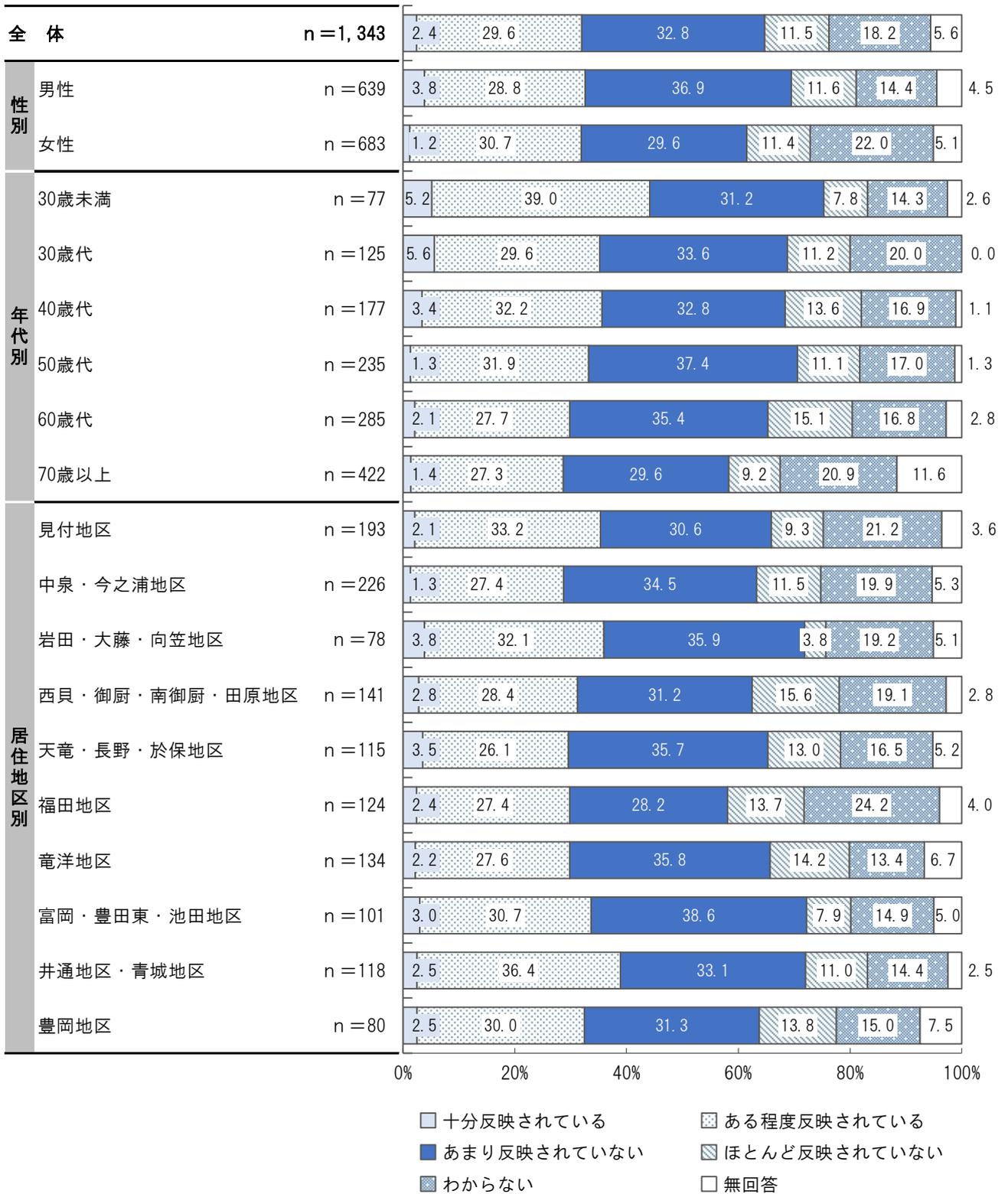
■今回調査の結果

- ・「あまり反映されていない」(32.8%)が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(29.6%)、「ほとんど反映されていない」(11.5%)となっている。一方、「わからない」は18.2%となっている。
- ・『反映されている』(「十分反映されている」+「ある程度反映されている」)は32.0%、『反映されていない』(「あまり反映されていない」+「ほとんど反映されていない」)は44.3%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・『反映されていない』は男性が多い。
 - ・男性では「あまり反映されていない」(36.9%)が最も多く、次いで「ある程度反映されている」(28.8%)、「ほとんど反映されていない」(11.6%)となっている。また、『反映されている』は32.6%、『反映されていない』は48.5%となっている。
 - ・女性では「ある程度反映されている」(30.7%)が最も多く、次いで「あまり反映されていない」(29.6%)、「ほとんど反映されていない」(11.4%)となっている。また、『反映されている』は31.9%、『反映されていない』は41.0%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で『反映されていない』が3割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い年代は30歳未満(44.2%)、『反映されていない』が最も多い年代は60歳代(50.5%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い居住地区は井通地区・青城地区(38.9%)、『反映されていない』が最も多い居住地区は竜洋地区(50.0%)となっている。

【属性別】



④ 地域づくり協議会や自治会、PTAなどの地域

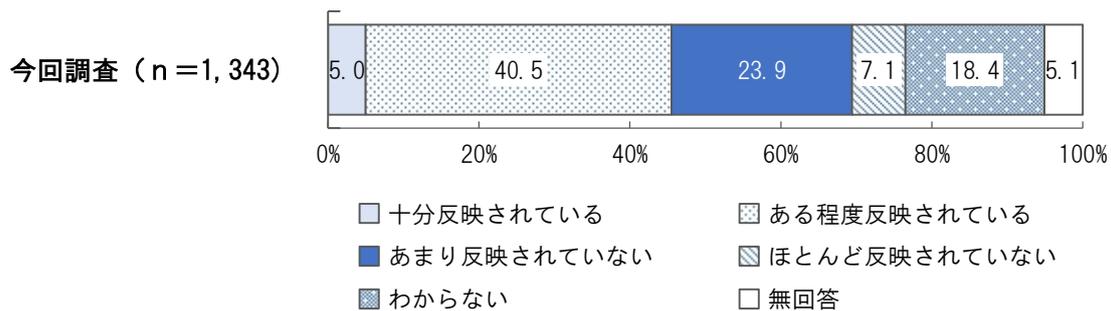
『反映されている』が約5割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『反映されている』が4割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されている』が4割を超えている



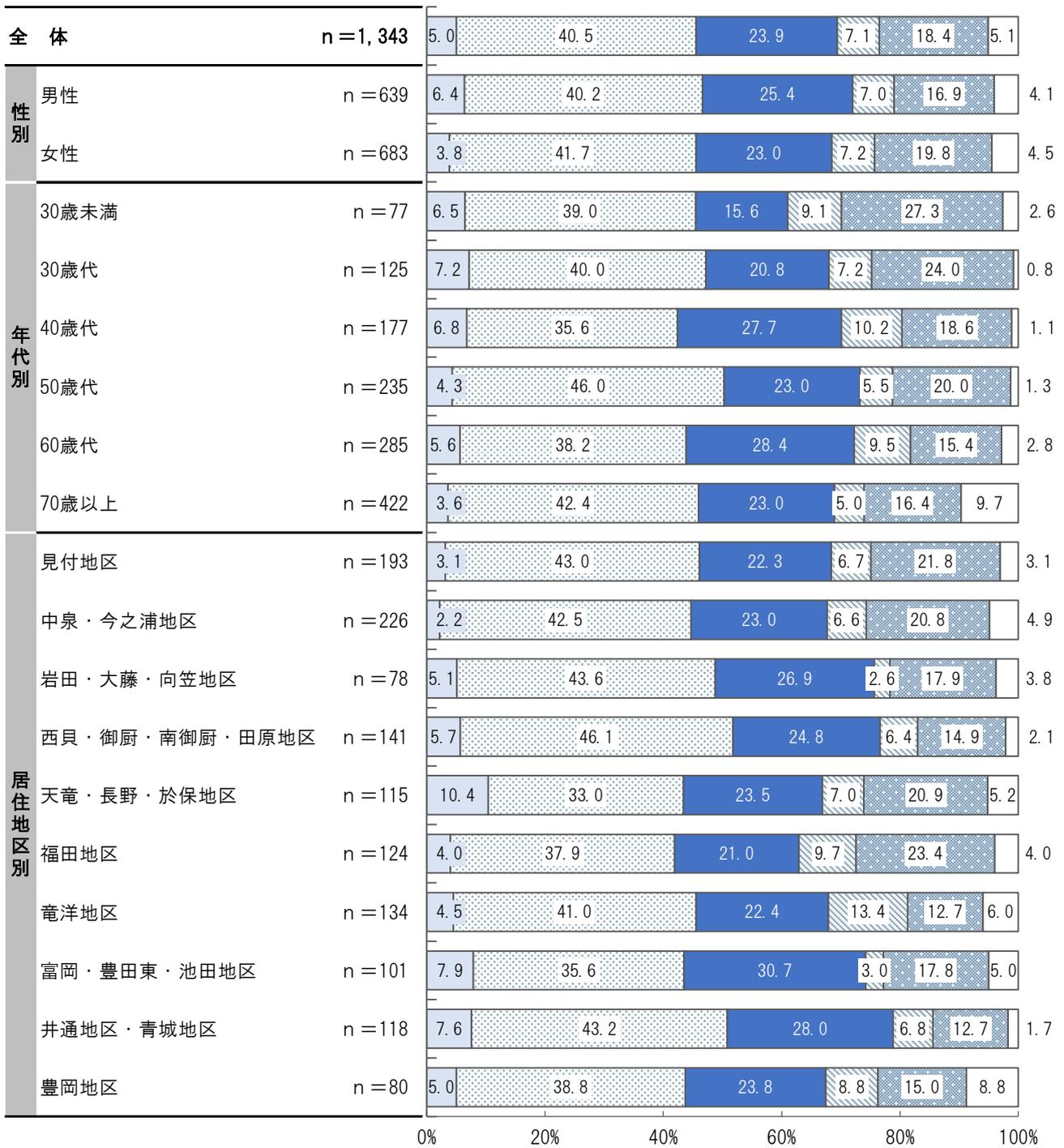
■今回調査の結果

- ・「ある程度反映されている」(40.5%)が最も多く、次いで「あまり反映されていない」(23.9%)、「ほとんど反映されていない」(7.1%)となっている。一方、「わからない」は18.4%となっている。
- ・『反映されている』(「十分反映されている」+「ある程度反映されている」)は45.5%、『反映されていない』(「あまり反映されていない」+「ほとんど反映されていない」)は31.0%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「ある程度反映されている」(40.2%)が最も多く、次いで「あまり反映されていない」(25.4%)、「ほとんど反映されていない」(7.0%)となっている。また、『反映されている』は46.6%、『反映されていない』は32.4%となっている。
 - ・女性では「ある程度反映されている」(41.7%)が最も多く、次いで「あまり反映されていない」(23.0%)、「ほとんど反映されていない」(7.2%)となっている。また、『反映されている』は45.5%、『反映されていない』は30.2%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で『反映されている』が4割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い年代は50歳代(50.3%)、『反映されていない』が最も多い年代は60歳代(37.9%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『反映されている』が4割を超えている。
 - ・『反映されている』が最も多い居住地区は西貝・御厨・南御厨・田原地区(51.8%)、『反映されていない』が最も多い居住地区は井通地区・青城地区(34.8%)となっている。

【属性別】



- 十分反映されている
- あまり反映されていない
- わからない
- ある程度反映されている
- ほとんど反映されていない
- 無回答

(3) 男女ともに活躍していくために、特に必要なこと

問 35 男女ともに家庭生活や地域生活、仕事の場で活躍していくためには、特に必要なことは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

男女ともに活躍していくために必要なことは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」
- ・「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」

■傾 向

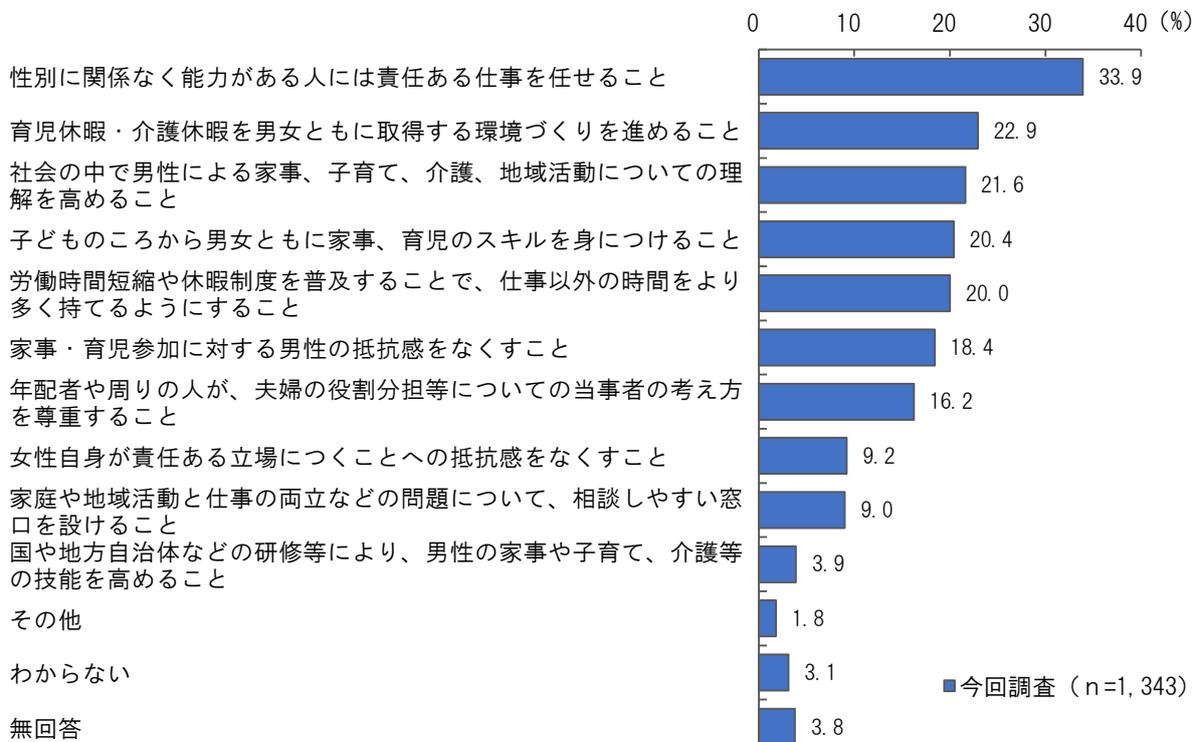
【性別】男女とも「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」が最も多いが、「子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること」は男性は少なく女性が多い

【年代別】複数の年代で最も必要なことは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」
- ・「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」

【居住地区別】複数の居住地区で最も優先すべきものは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」



■今回調査の結果

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」(33.9%)が最も多く、次いで「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」(22.9%)、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること」(21.6%)となっている。

■傾向

- 【性別別】**
 - ・男女とも「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」が最も多いが、「子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること」は、男性(13.8%)は少なく女性(27.1%)が多い。
 - ・男性では「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」(38.5%)が最も多く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(21.8%)、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること」(20.7%)となっている。
 - ・女性では「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」(30.2%)が最も多く、次いで「子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること」(27.1%)、「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」(26.5%)となっている。
- 【年代別】**
 - ・30歳未満、30歳代では「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」(それぞれ30.8%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと
	人数 割合	246人 38.5%	139人 21.8%	132人 20.7%	126人 19.7%	114人 17.8%
女性	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと
	人数 割合	206人 30.2%	185人 27.1%	181人 26.5%	157人 23.0%	133人 19.5%

【年代別：上位5位のみ】

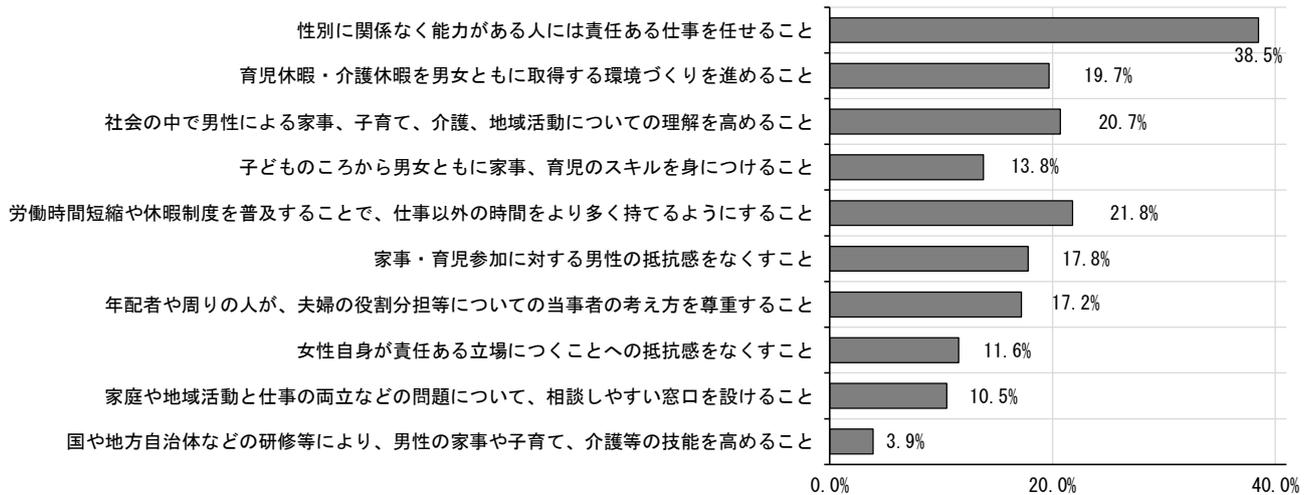
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
	人数 割合	26人 33.8%	24人 31.2%	22人 28.6%	21人 27.3%	15人 19.5%
30歳代	理由	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること
	人数 割合	40人 32.0%	38人 30.4%	37人 29.6%	30人 24.0%	24人 19.2%
40歳代	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること
	人数 割合	59人 33.3%	44人 24.9%	40人 22.6%	38人 21.5%	32人 18.1%
50歳代	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること
	人数 割合	74人 31.5%	63人 26.8%	57人 24.3%	51人 21.7%	49人 20.9%
60歳代	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること
	人数 割合	112人 39.3%	70人 24.6%	64人 22.5%	63人 22.1%	58人 20.4%
70歳以上	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
	人数 割合	148人 35.1%	99人 23.5%	94人 22.3%	75人 17.8%	71人 16.8%

【居住地区別：上位5位のみ】

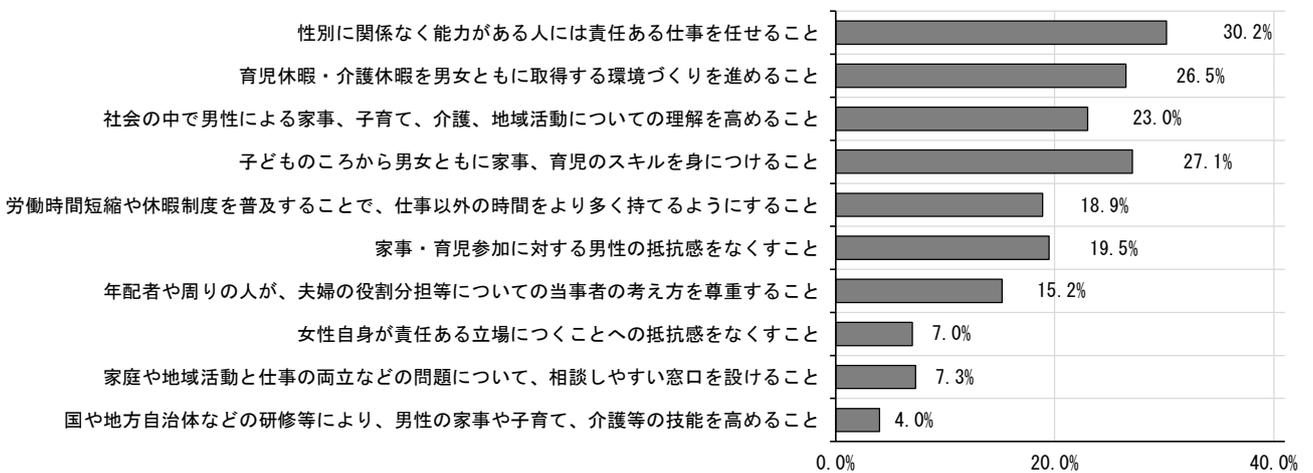
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること
	人数	70人	47人	44人	42人	37人
	割合	36.3%	24.4%	22.8%	21.8%	19.2%
中泉・今之浦地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと
	人数	77人	55人	49人	48人	43人
	割合	34.1%	24.3%	21.7%	21.2%	19.0%
岩田・大藤・向笠地区	理由	・性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること ・育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること		社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	・年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること ・労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	
	人数		24人	19人		15人
	割合		30.8%	24.4%		19.2%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと
	人数	43人	39人	35人	33人	30人
	割合	30.5%	27.7%	24.8%	23.4%	21.3%
天竜・長野・於保地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	・家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと ・子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること		労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
	人数	38人		27人	22人	21人
	割合	33.0%		23.5%	19.1%	18.3%
福田地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	・社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること ・労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること		育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	・家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと ・子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること
	人数	41人		31人	26人	21人
	割合	33.1%		25.0%	21.0%	16.9%
竜洋地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること
	人数	54人	29人	27人	26人	23人
	割合	40.3%	21.6%	20.1%	19.4%	17.2%
富岡・豊田東・池田地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	・社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること ・労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること ・子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること			育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること
	人数	35人			24人	21人
	割合	34.7%			23.8%	20.8%
井通地区・青城地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	・社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること ・労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること		・家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと ・年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
	人数	39人	28人		26人	23人
	割合	33.1%	23.7%		22.0%	19.5%
豊岡地区	理由	性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること	子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること	育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること	家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること
	人数	26人	23人	22人	19人	17人
	割合	32.5%	28.8%	27.5%	23.8%	21.3%

【属性別（性別）】

<男性>

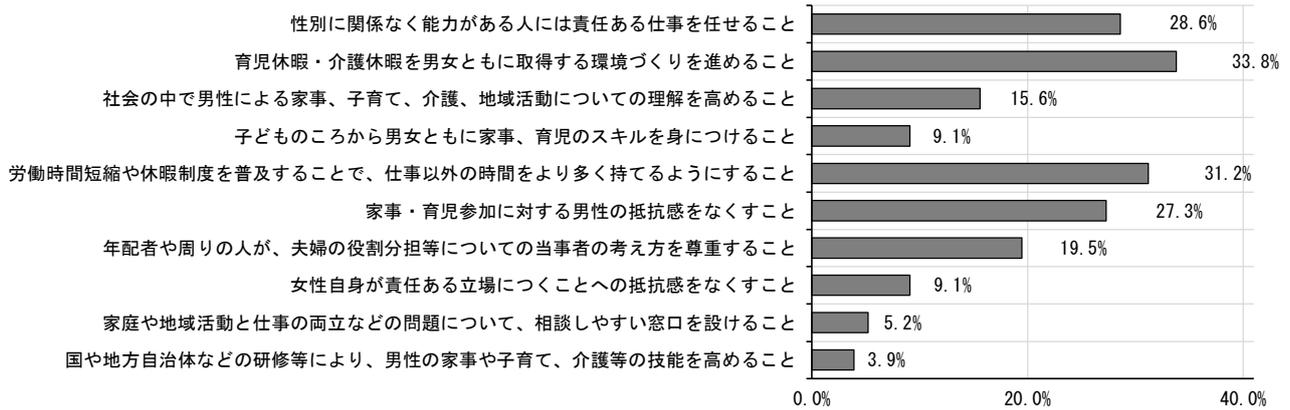


<女性>

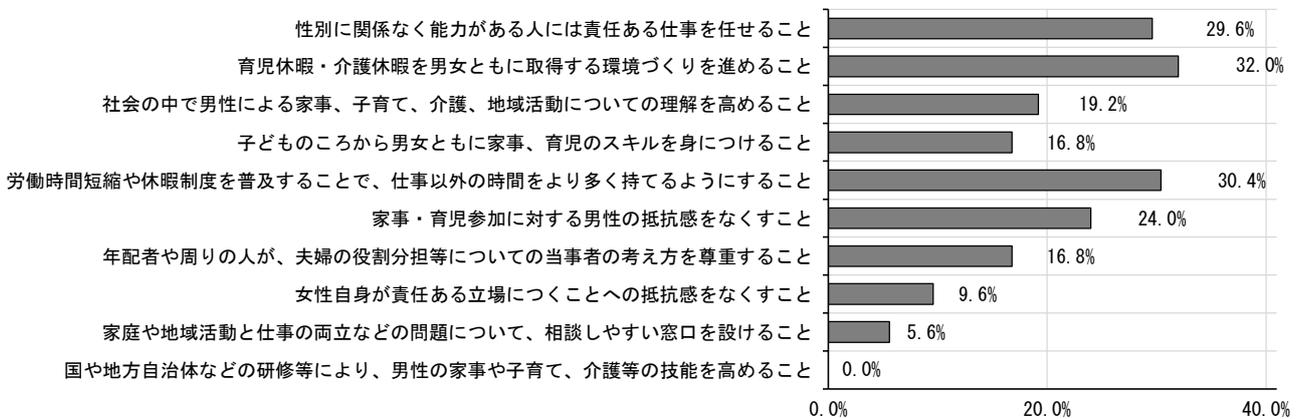


【属性別（年代別）】

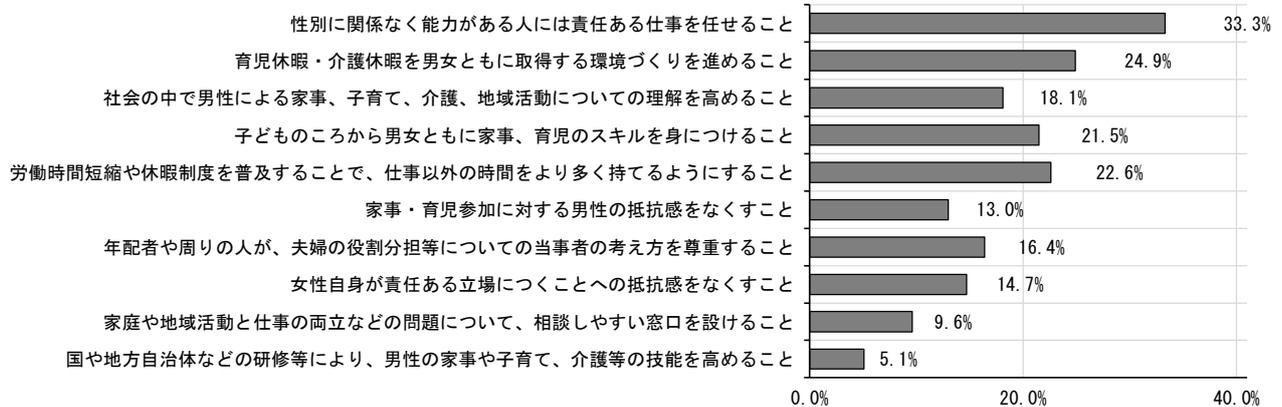
<30 歳未満>



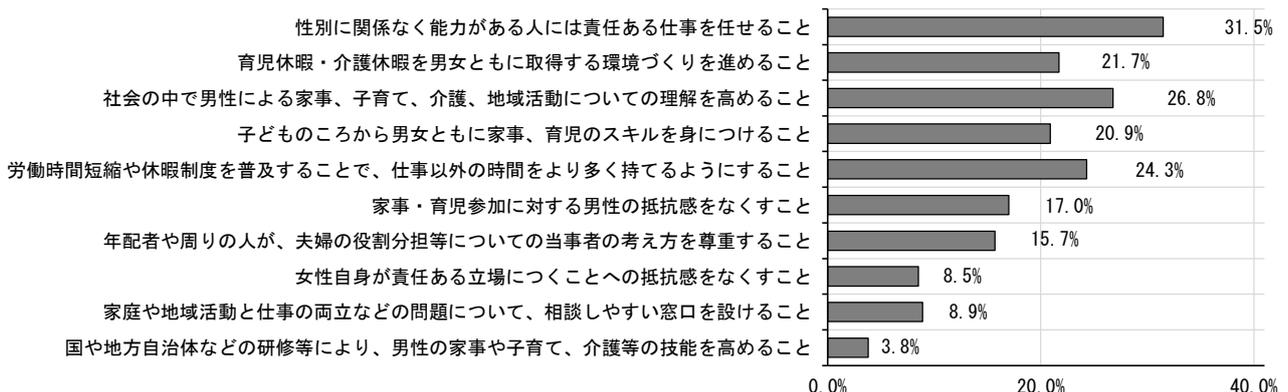
<30 歳代>



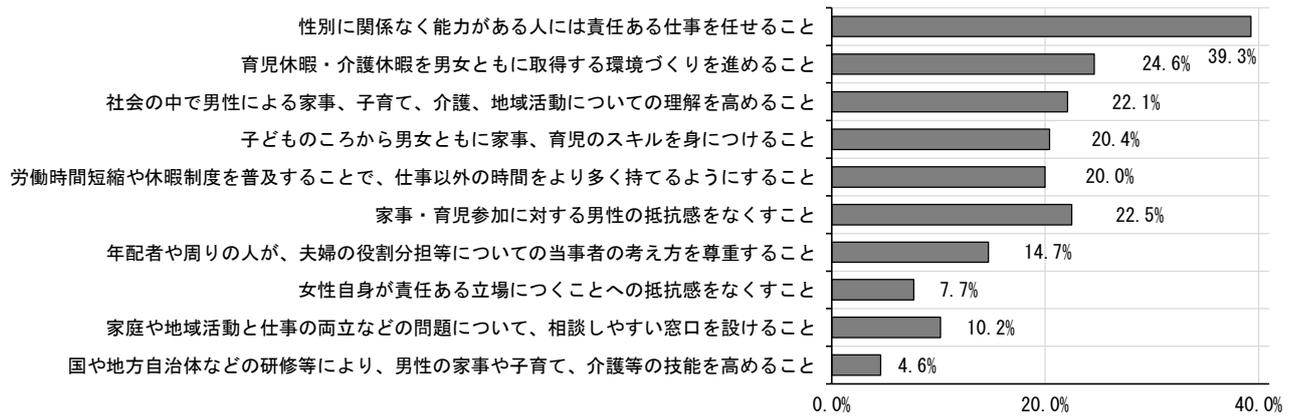
<40 歳代>



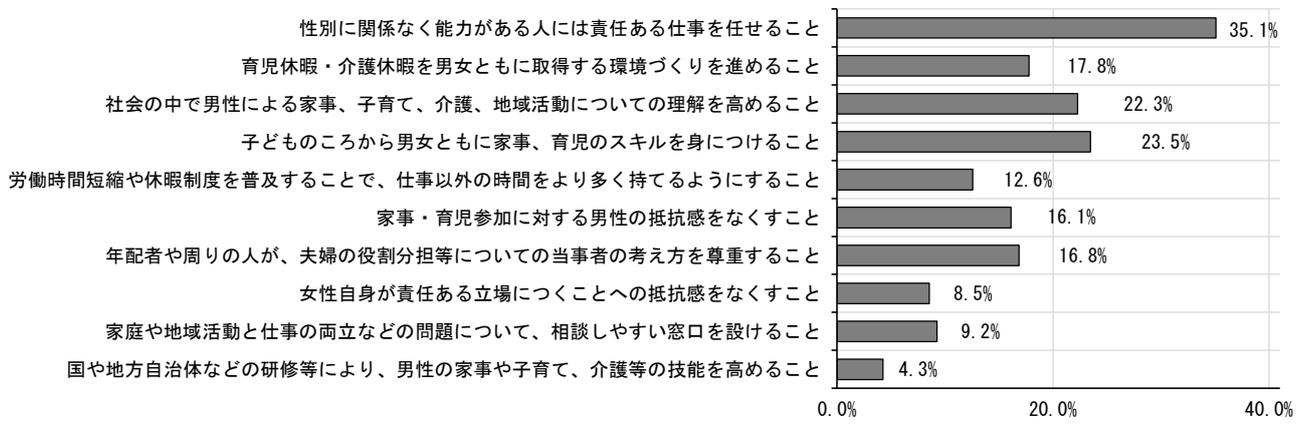
<50 歳代>



<60 歳代>

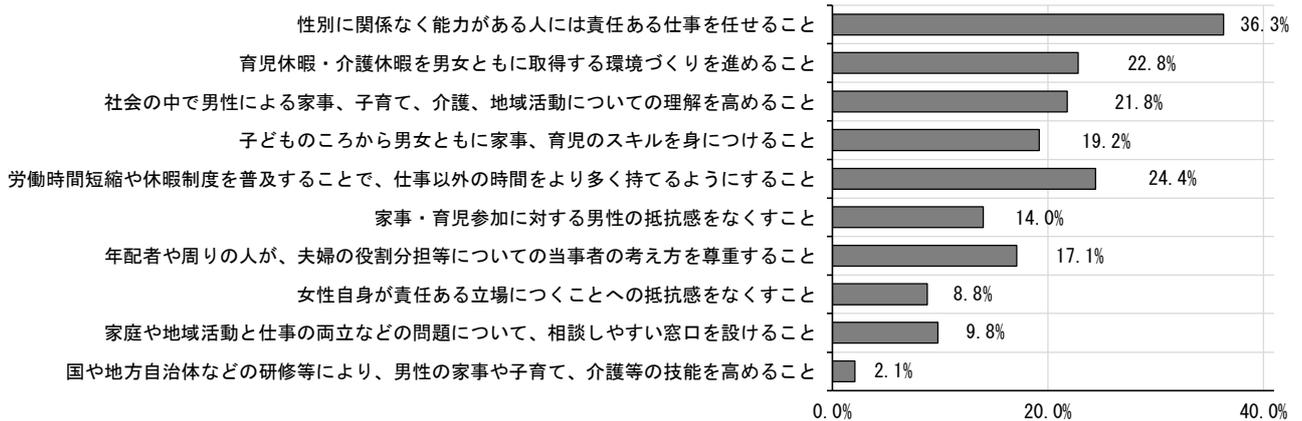


<70 歳以上>

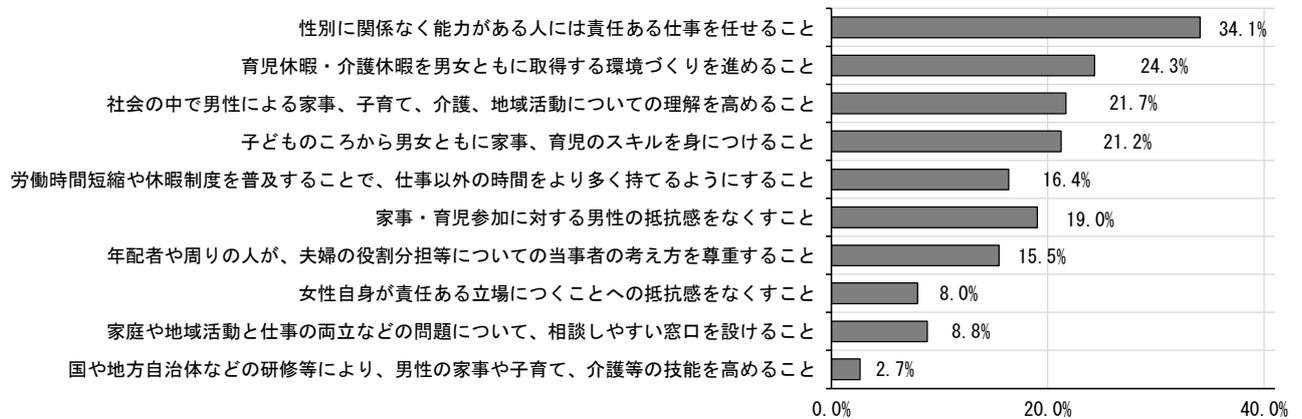


【属性別（居住地区別）】

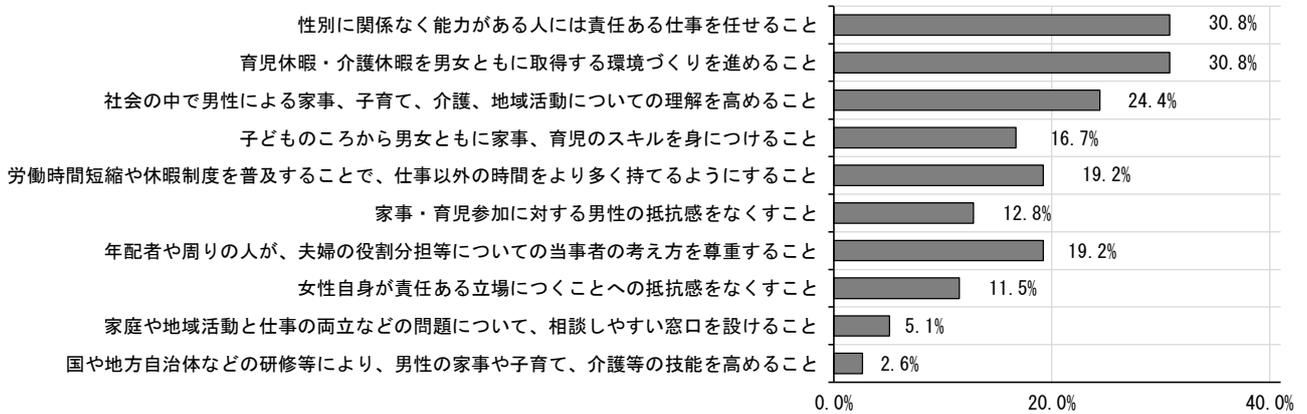
<見付地区>



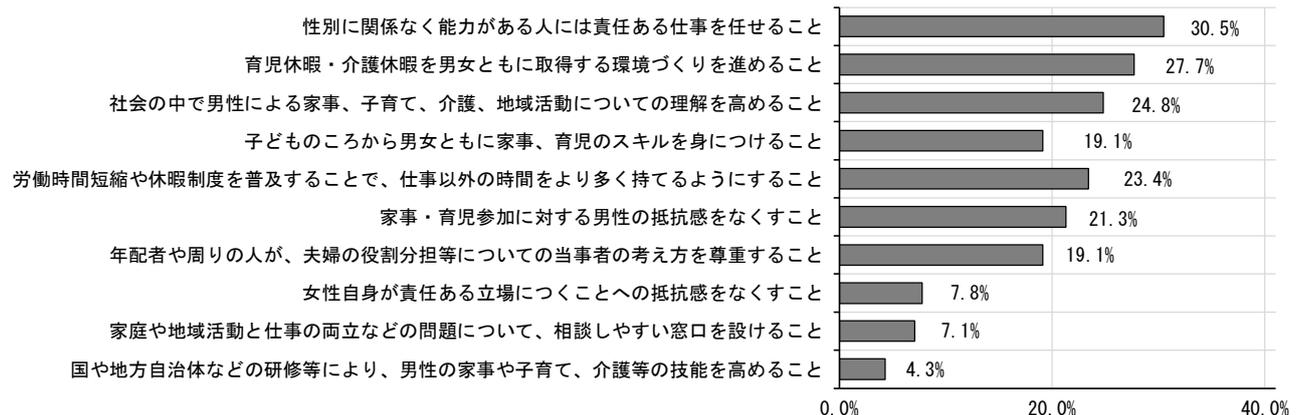
<中泉・今之浦地区>



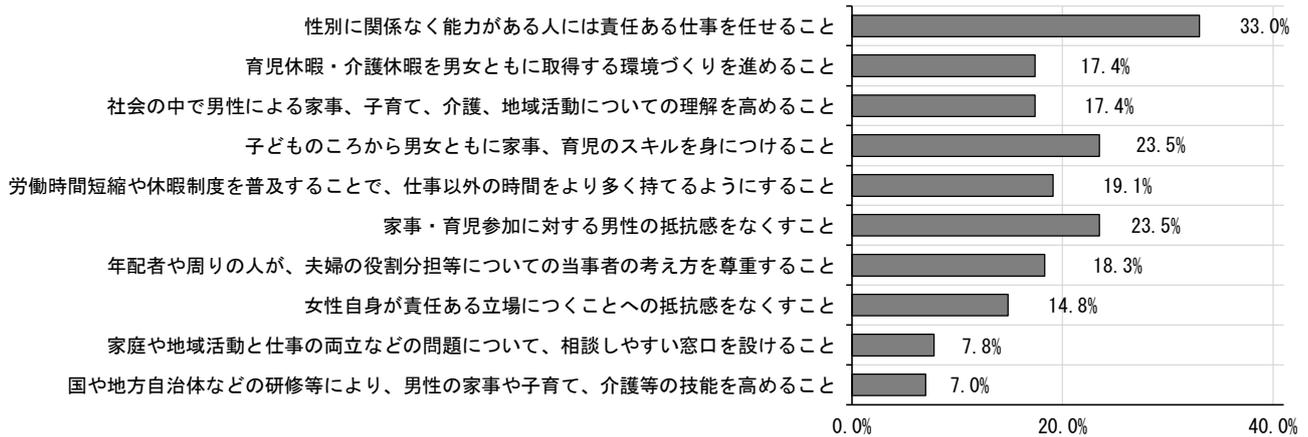
<岩田・大藤・向笠地区>



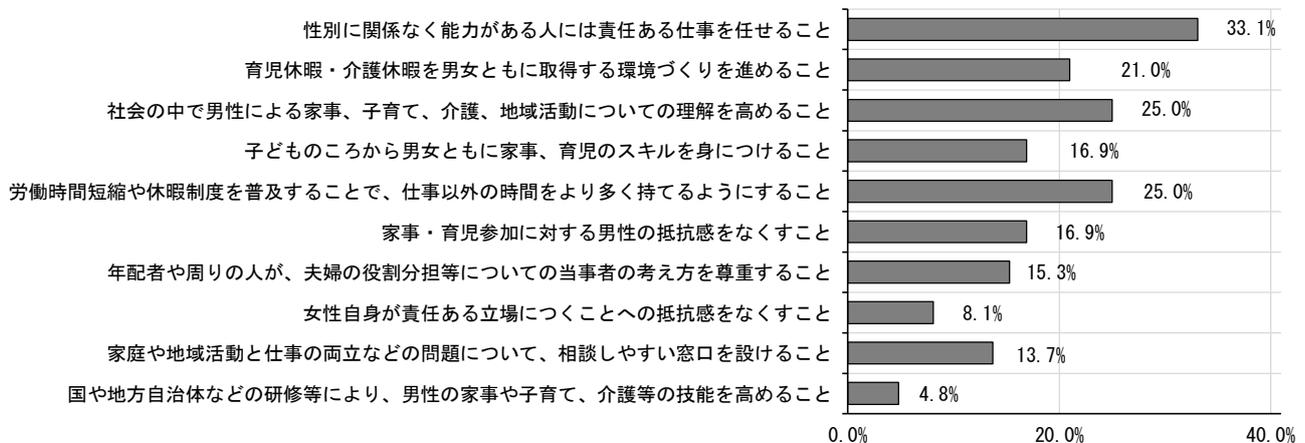
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



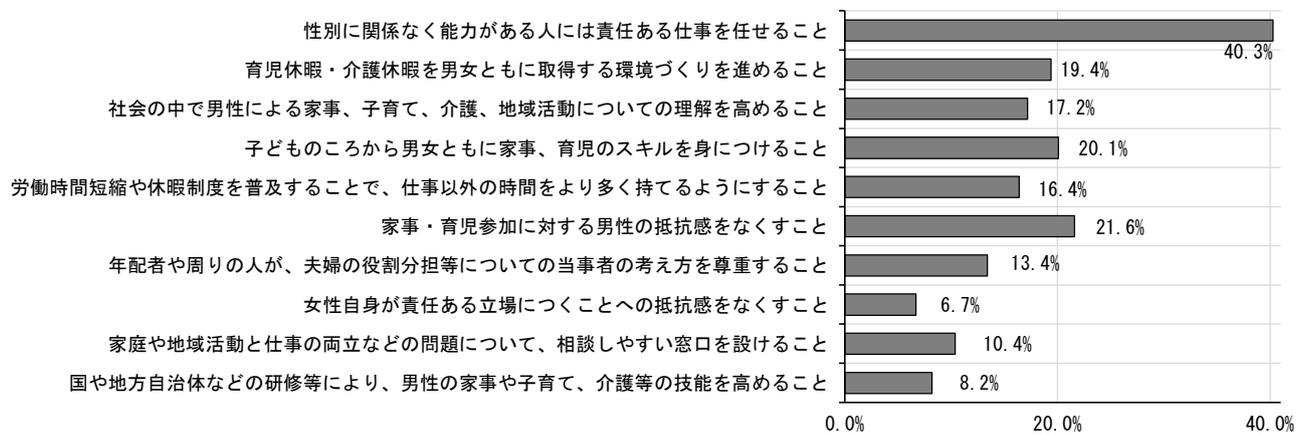
<天竜・長野・於保地区>



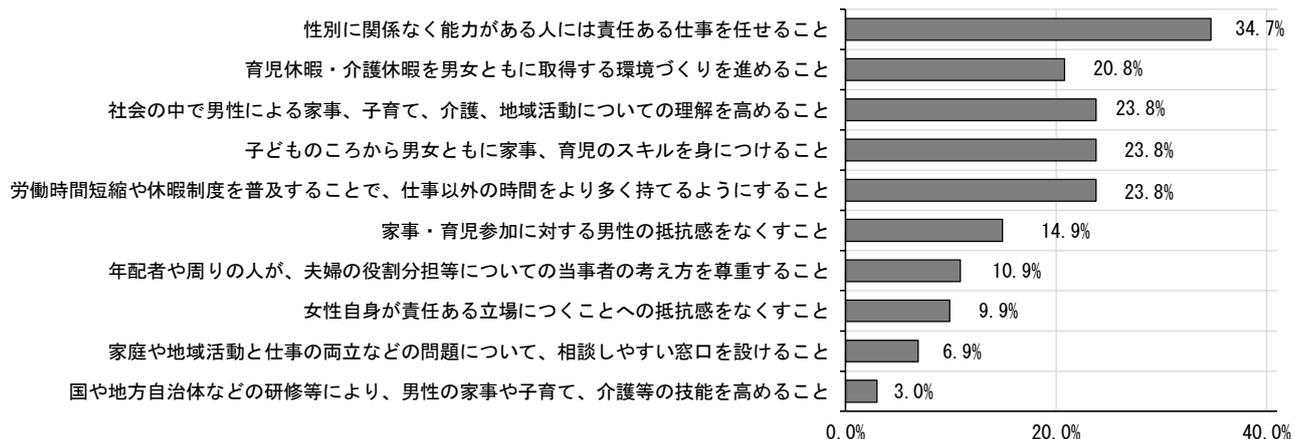
<福田地区>



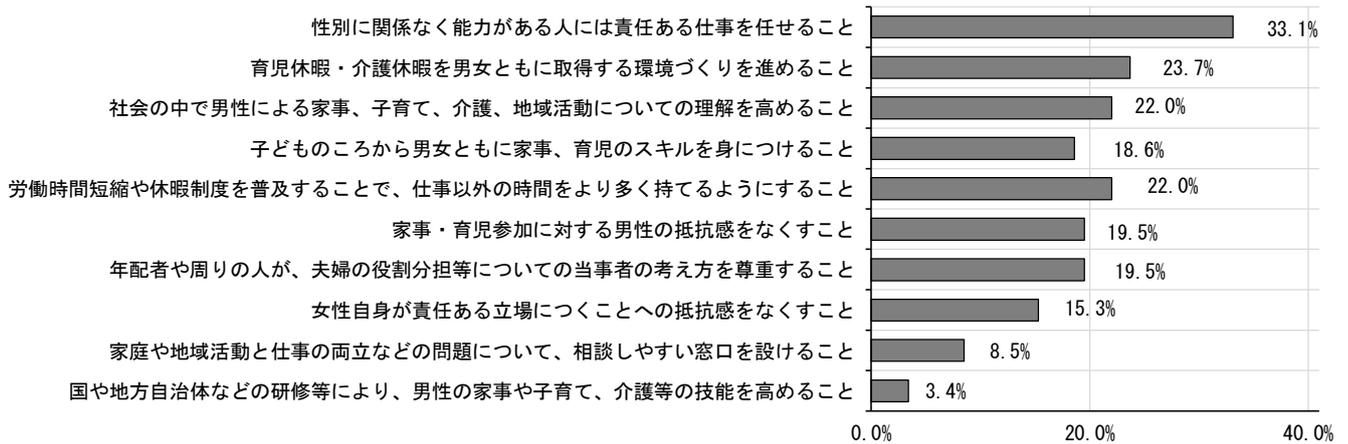
<竜洋地区>



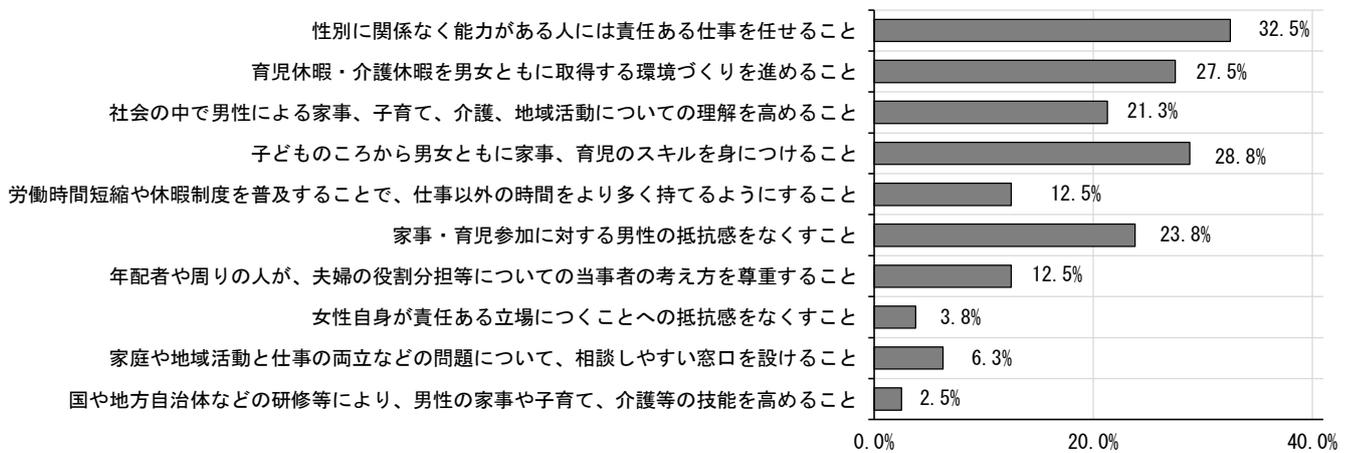
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



2. 多文化共生社会について

(1) 地域で暮らす外国人の増加で予想されること

問 36 地域で暮らす外国人が増えると思うようになりますか？

<該当するものすべてに○印>

地域で暮らす外国人の増加で予想されることは、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」
- ・「地域活動の担い手が増える」

■傾向

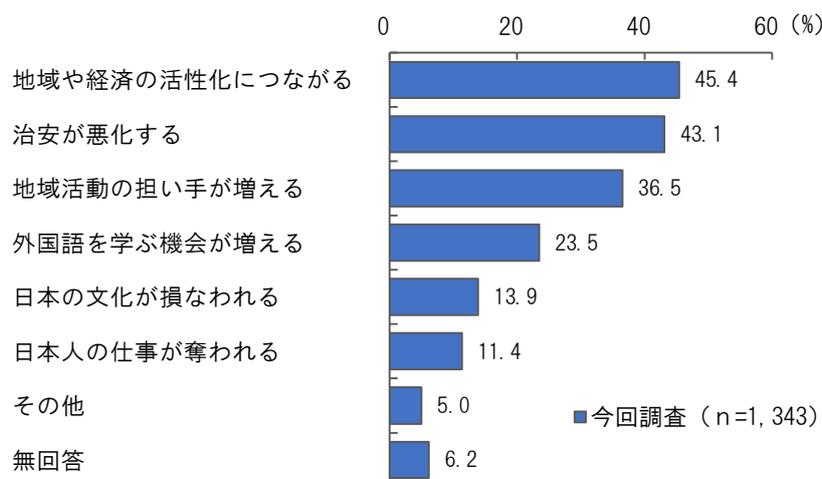
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」



■今回調査の結果

- ・「地域や経済の活性化につながる」(45.4%)が最も多く、次いで「治安が悪化する」(43.1%)、「地域活動の担い手が増える」(36.5%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「治安が悪化する」(48.4%)が最も多く、次いで「地域や経済の活性化につながる」(47.9%)、「地域活動の担い手が増える」(35.1%)となっている。
 - ・女性では「地域や経済の活性化につながる」(43.6%)が最も多く、次いで「治安が悪化する」(39.5%)、「地域活動の担い手が増える」(38.4%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、60歳代、70歳以上では「地域や経済の活性化につながる」が最も多い。
 - ・30歳代、40歳代、50歳代では「治安が悪化する」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・天竜・長野・於保地区では「地域や経済の活性化につながる」「治安が悪化する」(それぞれ47.8%)が最も多い。
 - ・福田地区、竜洋地区では「治安が悪化する」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「地域や経済の活性化につながる」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	309人	306人	224人	134人	100人
	割合	48.4%	47.9%	35.1%	21.0%	15.6%
女性	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	298人	270人	262人	176人	85人
	割合	43.6%	39.5%	38.4%	25.8%	12.4%

【年代別：上位5位のみ】

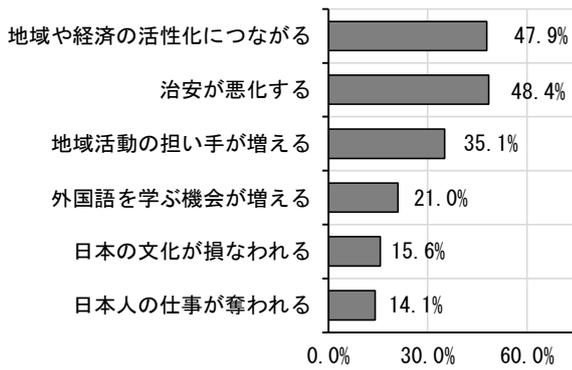
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本人の仕事が奪われる
	人数	44人	36人	29人	20人	8人
	割合	57.1%	46.8%	37.7%	26.0%	10.4%
30歳代	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	・日本の文化が損なわれる ・日本人の仕事が奪われる
	人数	66人	49人	47人	43人	13人
	割合	52.8%	39.2%	37.6%	34.4%	10.4%
40歳代	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	83人	70人	59人	53人	23人
	割合	46.9%	39.5%	33.3%	29.9%	13.0%
50歳代	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	114人	109人	102人	52人	34人
	割合	48.5%	46.4%	43.4%	22.1%	14.5%
60歳代	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	142人	120人	87人	57人	43人
	割合	49.8%	42.1%	30.5%	20.0%	15.1%
70歳以上	理由	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	治安が悪化する	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	192人	163人	158人	87人	70人
	割合	45.5%	38.6%	37.4%	20.6%	16.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

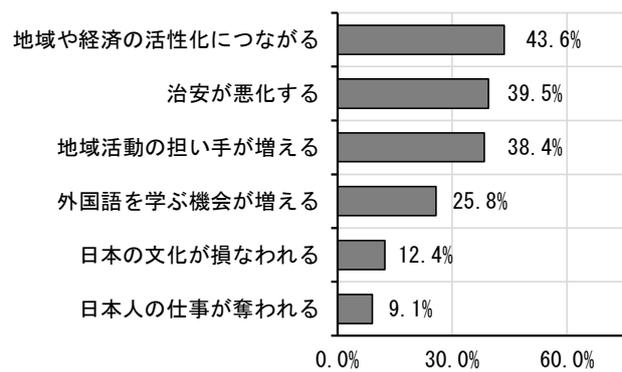
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本人の仕事が奪われる
	人数	90人	80人	68人	5.4人	24人
	割合	46.6%	41.5%	35.2%	28.0%	12.4%
中泉・今之浦地区	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	96人	94人	84人	44人	27人
	割合	42.5%	41.6%	37.2%	19.5%	11.9%
岩田・大藤・向笠地区	理由	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	治安が悪化する	外国語を学ぶ機会が増える	・日本の文化が損なわれる ・日本人の仕事が奪われる
	人数	36人	35人	32人	22人	6人
	割合	46.2%	44.9%	41.0%	28.2%	7.7%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本人の仕事が奪われる
	人数	66人	60人	47人	42人	23人
	割合	46.8%	42.6%	33.3%	29.8%	16.3%
天竜・長野・於保地区	理由	・地域や経済の活性化につながる ・治安が悪化する		地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	55人		43人	28人	14人
	割合	47.8%		37.4%	24.3%	12.2%
福田地区	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	62人	56人	43人	26人	24人
	割合	50.0%	45.2%	34.7%	21.0%	19.4%
竜洋地区	理由	治安が悪化する	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	日本の文化が損なわれる	外国語を学ぶ機会が増える
	人数	58人	49人	43人	26人	22人
	割合	43.3%	36.6%	32.1%	19.4%	16.4%
富岡・豊田東・池田地区	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	52人	48人	40人	20人	14人
	割合	51.5%	47.5%	39.6%	19.8%	13.9%
井通地区・青城地区	理由	地域や経済の活性化につながる	治安が悪化する	地域活動の担い手が増える	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	58人	56人	46人	34人	17人
	割合	49.2%	47.5%	39.0%	28.8%	14.4%
豊岡地区	理由	地域や経済の活性化につながる	地域活動の担い手が増える	治安が悪化する	外国語を学ぶ機会が増える	日本の文化が損なわれる
	人数	45人	35人	29人	18人	11人
	割合	56.3%	43.8%	36.3%	22.5%	13.8%

【属性別（性別）】

<男性>

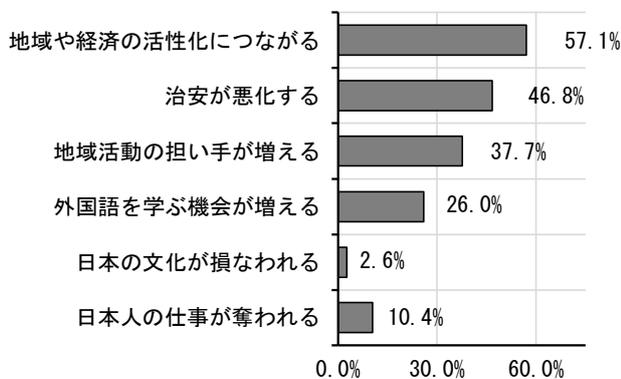


<女性>

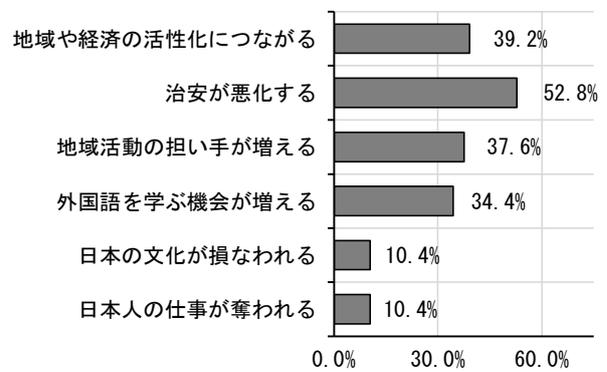


【属性別（年代別）】

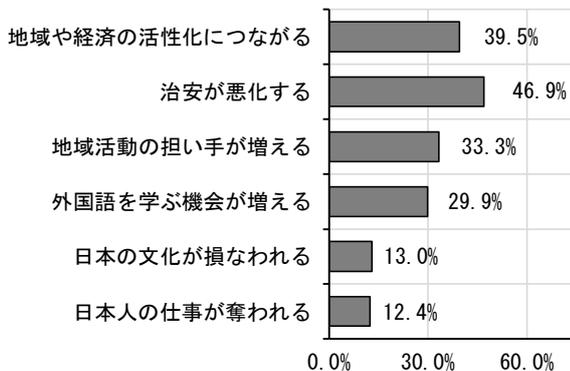
<30歳未満>



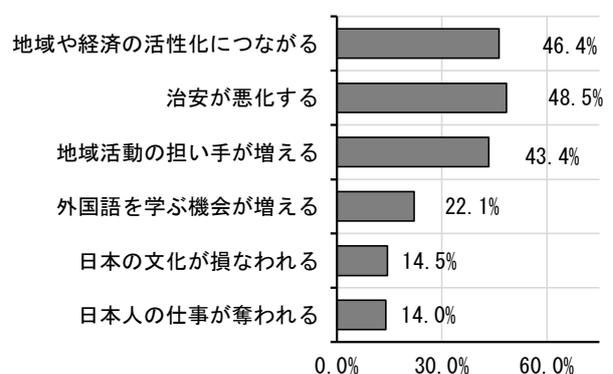
<30歳代>



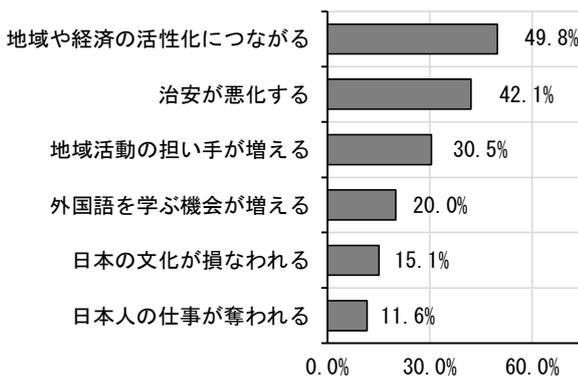
<40歳代>



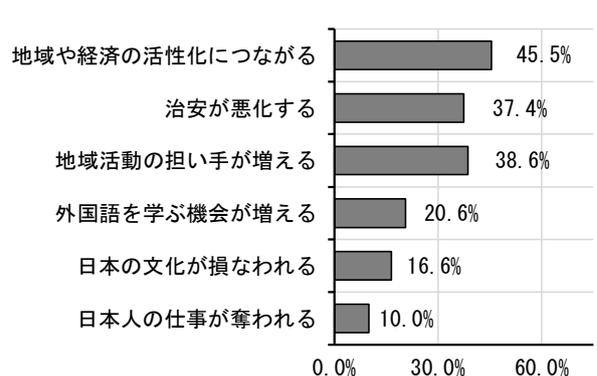
<50歳代>



<60歳代>

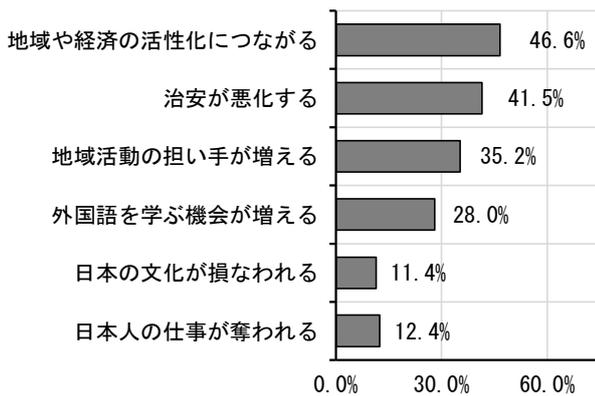


<70歳以上>

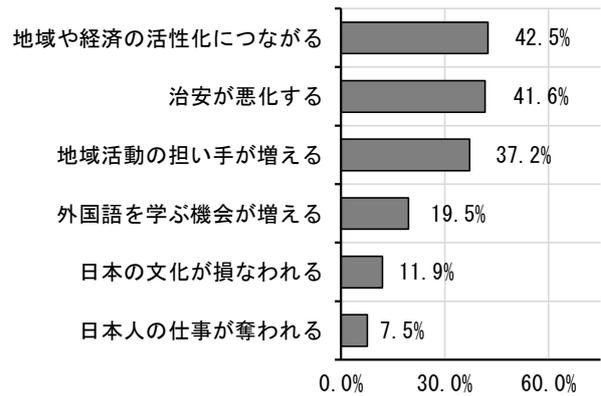


【属性別（居住地区別）】

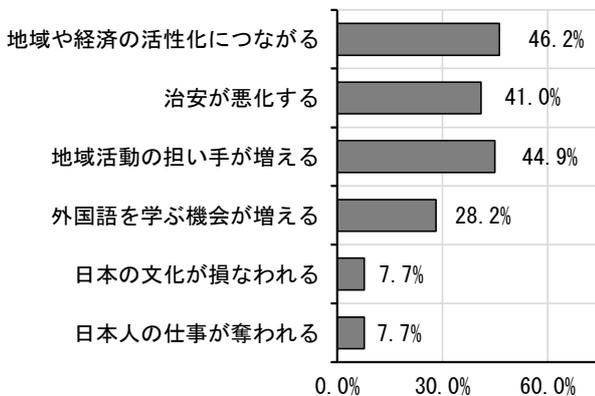
<見付地区>



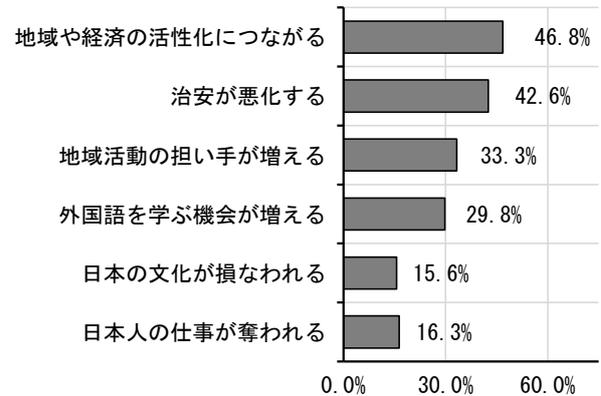
<中泉・今之浦地区>



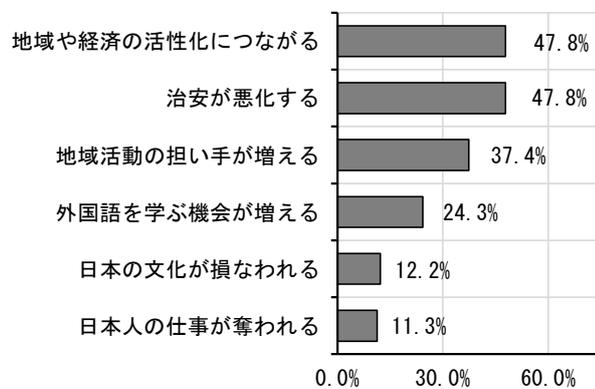
<岩田・大藤・向笠地区>



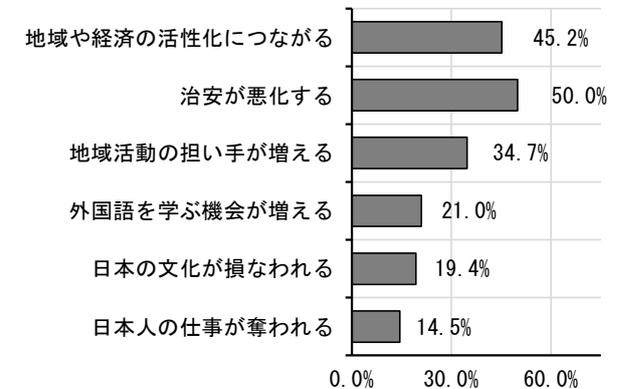
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



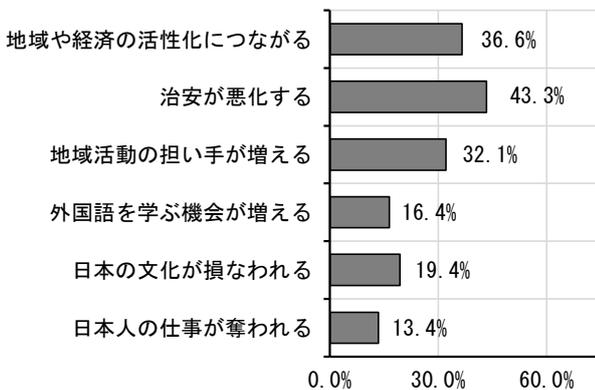
<天竜・長野・於保地区>



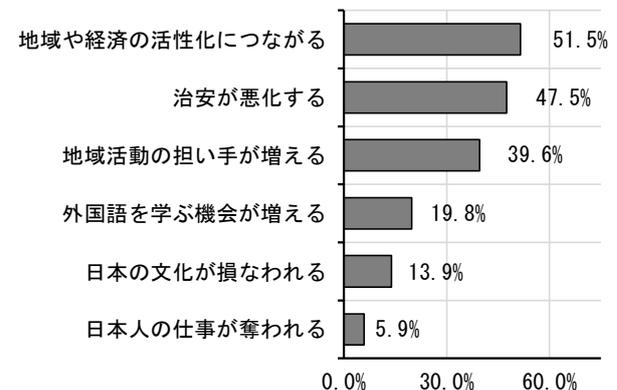
<福田地区>



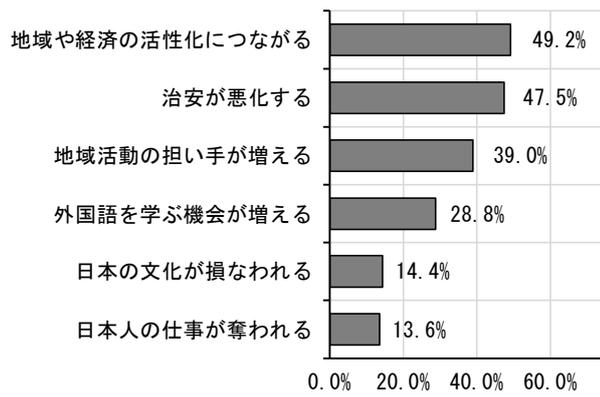
<竜洋地区>



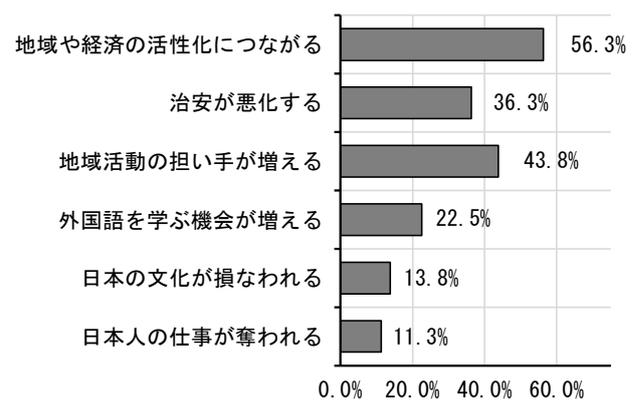
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

(2) 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なこと

問 37 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なことは何だと思いますか？ <該当するものすべてに○印※>

外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために必要なことは、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」
- ・「お互いが日常的にあいさつする」

■傾 向

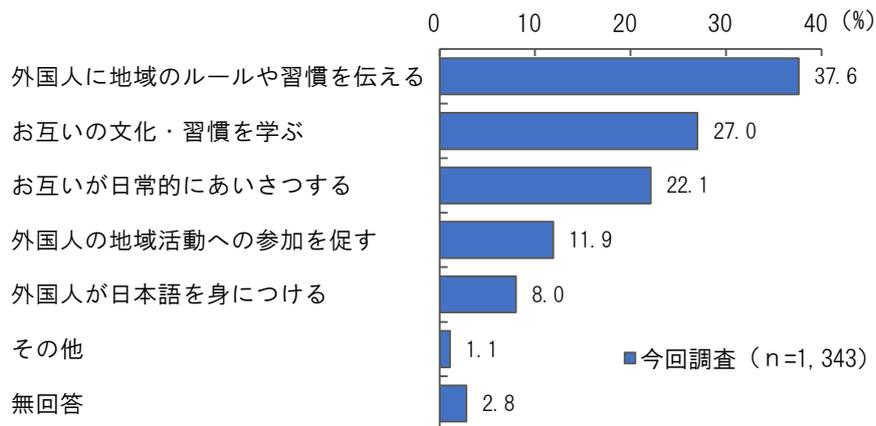
【性 別】 大きな差はない

【年 代 別】 複数の年代で最も多い項目は、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」

【居住地区別】 複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」



※調査票では単数回答としていたが、回答数超過が多くみられたため、複数回答可の設問として集計した。

■今回調査の結果

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」(37.6%)が最も多く、次いで「お互いの文化・習慣を学ぶ」(27.0%)、「お互いが日常的にあいさつする」(22.1%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「外国人に地域のルールや習慣を伝える」(37.9%)が最も多く、次いで「お互いの文化・習慣を学ぶ」(26.8%)、「お互いが日常的にあいさつする」(19.1%)となっている。
 - ・女性では「外国人に地域のルールや習慣を伝える」(38.2%)と最も多く、次いで「お互いの文化・習慣を学ぶ」(27.7%)、「お互いが日常的にあいさつする」(24.9%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、30歳代では「お互いの文化・習慣を学ぶ」が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「外国人に地域のルールや習慣を伝える」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、豊岡地区では「お互いの文化・習慣を学ぶ」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「外国人に地域のルールや習慣を伝える」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	242人	171人	122人	78人	73人
	割合	37.9%	26.8%	19.1%	12.2%	11.4%
女性	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	261人	189人	170人	81人	34人
	割合	38.2%	27.7%	24.9%	11.9%	5.0%

【年代別：上位5位のみ】

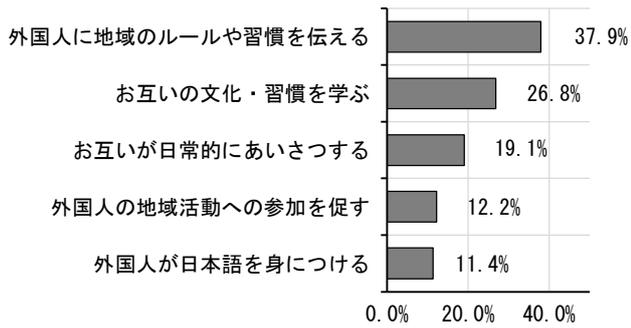
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	外国人が日本語を身につける	外国人の地域活動への参加を促す
	人数	35人	23人	14人	9人	5人
	割合	45.5%	29.9%	18.2%	11.7%	6.5%
30歳代	理由	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	48人	45人	26人	12人	6人
	割合	38.4%	36.0%	20.8%	9.6%	4.8%
40歳代	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	85人	57人	25人	18人	16人
	割合	48.0%	32.2%	14.1%	10.2%	9.0%
50歳代	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	92人	72人	43人	28人	21人
	割合	39.1%	30.6%	18.3%	11.9%	8.9%
60歳代	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	116人	78人	53人	33人	22人
	割合	40.7%	27.4%	18.6%	11.6%	7.7%
70歳以上	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	142人	131人	70人	63人	32人
	割合	33.6%	31.0%	16.6%	14.9%	7.6%

【居住地区別：上位5位のみ】

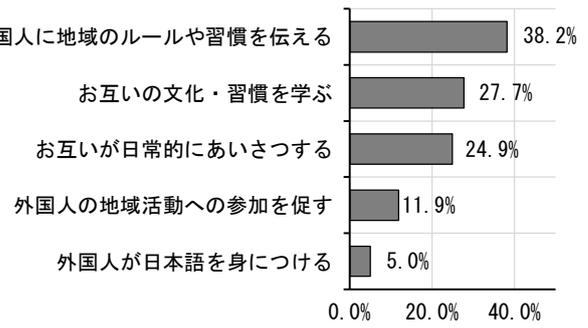
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	65人	64人	35人	20人	14人
	割合	33.7%	33.2%	18.1%	10.4%	7.3%
中泉・今之浦地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	79人	65人	47人	35人	22人
	割合	35.0%	28.8%	20.8%	15.5%	9.7%
岩田・大藤・向笠地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	・お互いが日常的にあいさつする ・お互いの文化・習慣を学ぶ		外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	27人	21人		8人	5人
	割合	34.6%	26.9%		10.3%	6.4%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	54人	40人	29人	21人	10人
	割合	38.3%	28.4%	20.6%	14.9%	7.1%
天竜・長野・於保地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人が日本語を身につける	外国人の地域活動への参加を促す
	人数	38人	33人	28人	12人	11人
	割合	33.0%	28.7%	24.3%	10.4%	9.6%
福田地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	56人	32人	20人	13人	11人
	割合	45.2%	25.8%	16.1%	10.5%	8.9%
竜洋地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	58人	33人	25人	16人	11人
	割合	43.3%	24.6%	18.7%	11.9%	8.2%
富岡・豊田東・池田地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	・お互いが日常的にあいさつする ・お互いの文化・習慣を学ぶ		外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	41人	26人		11人	6人
	割合	40.6%	25.7%		10.9%	5.9%
井通地区・青城地区	理由	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いの文化・習慣を学ぶ	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	56人	30人	28人	14人	7人
	割合	47.5%	25.4%	23.7%	11.9%	5.9%
豊岡地区	理由	お互いの文化・習慣を学ぶ	外国人に地域のルールや習慣を伝える	お互いが日常的にあいさつする	外国人の地域活動への参加を促す	外国人が日本語を身につける
	人数	28人	26人	17人	9人	5人
	割合	35.0%	32.5%	21.3%	11.3%	6.3%

【属性別（性別）】

<男性>

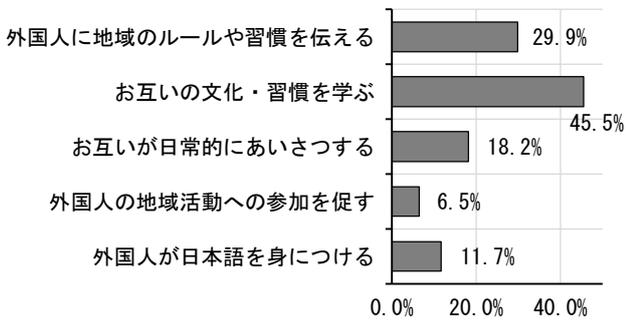


<女性>

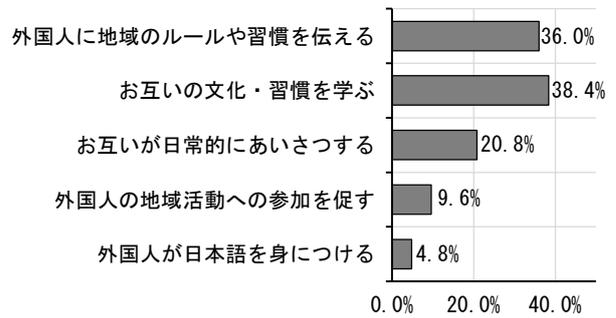


【属性別（年代別）】

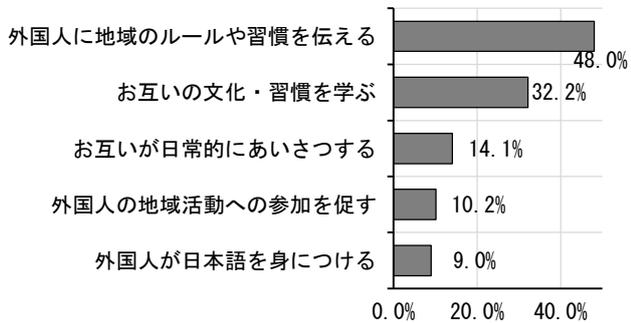
<30歳未満>



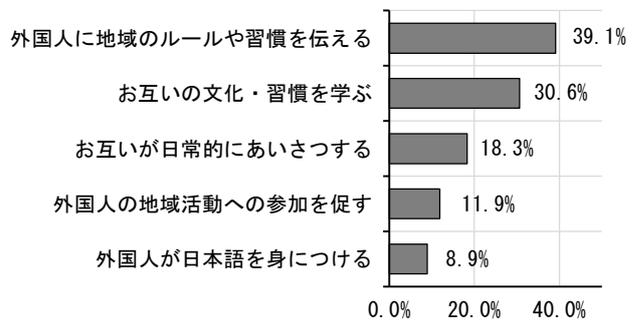
<30歳代>



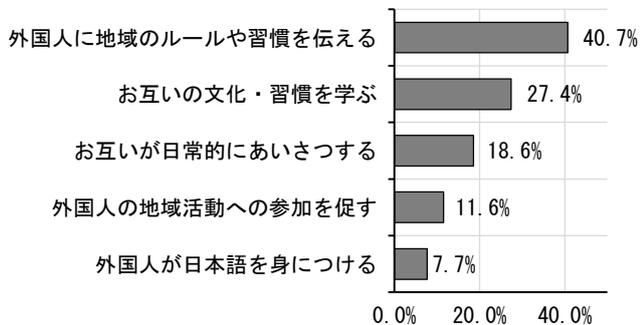
<40歳代>



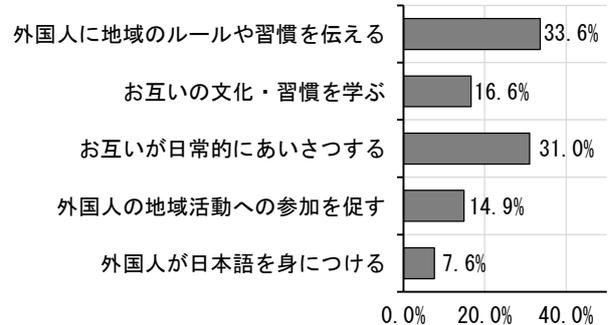
<50歳代>



<60歳代>

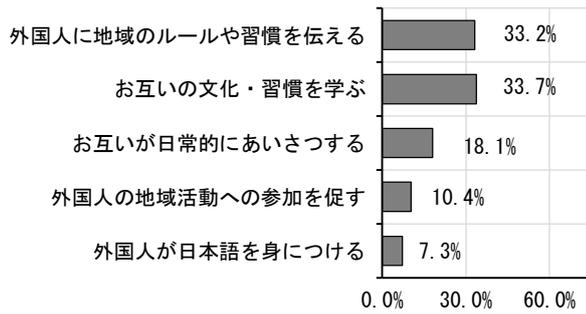


<70歳以上>

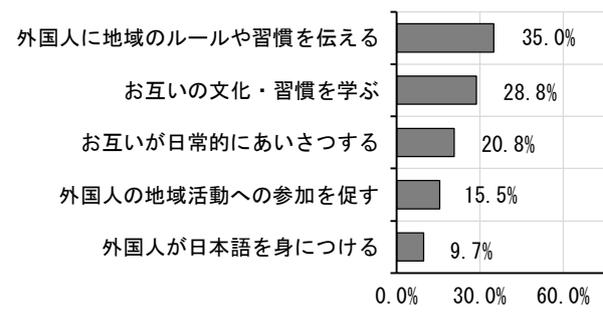


【属性別（居住地区別）】

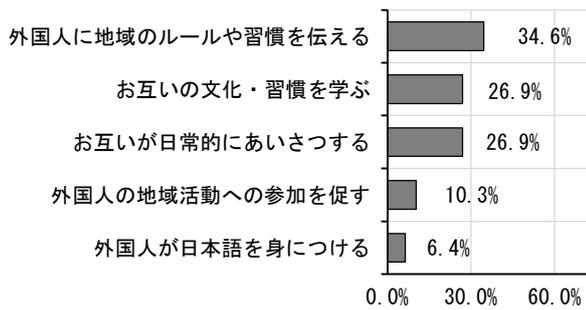
<見付地区>



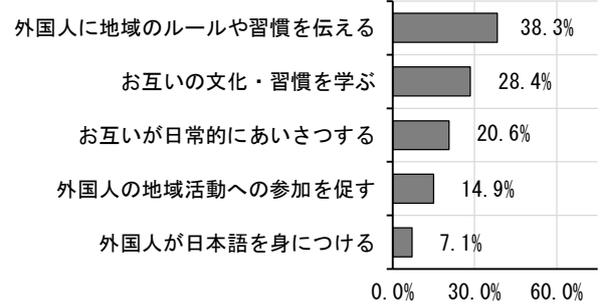
<中泉・今之浦地区>



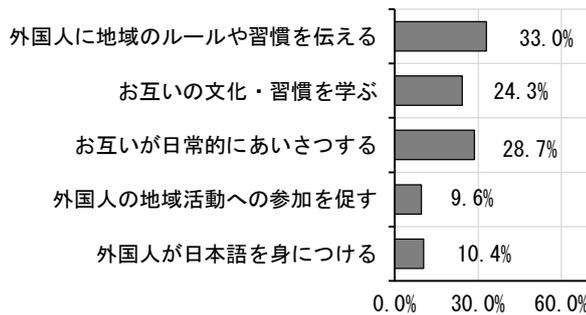
<岩田・大藤・向笠地区>



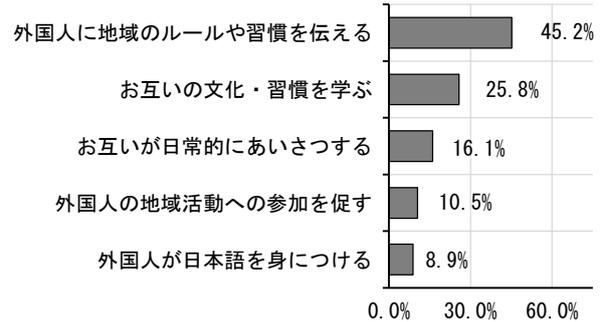
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



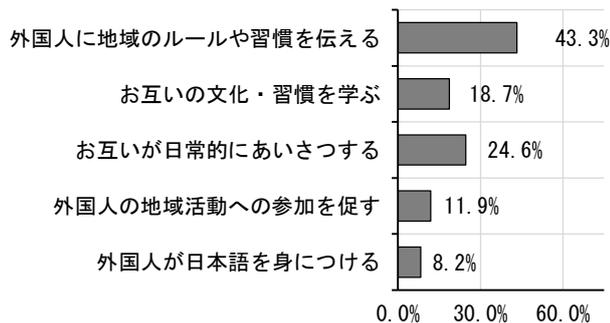
<天竜・長野・於保地区>



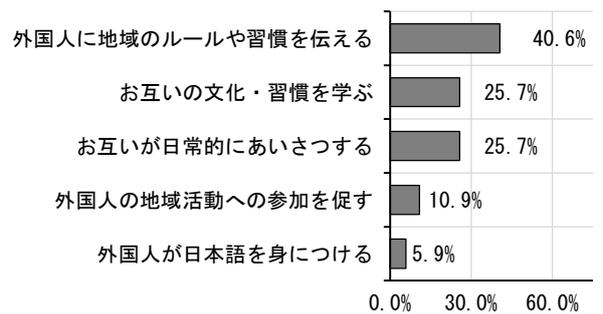
<福田地区>



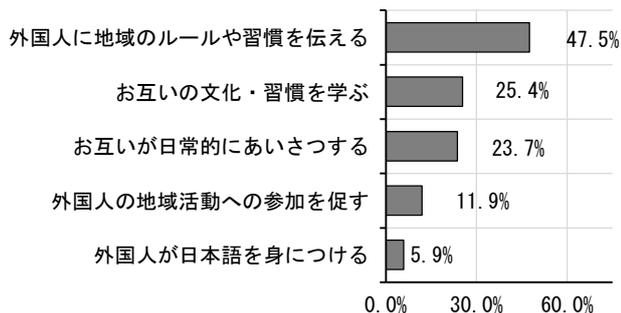
<竜洋地区>



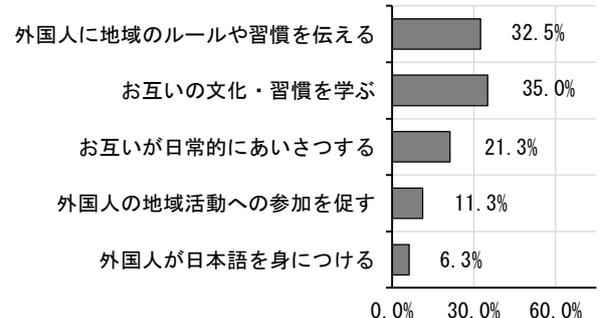
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



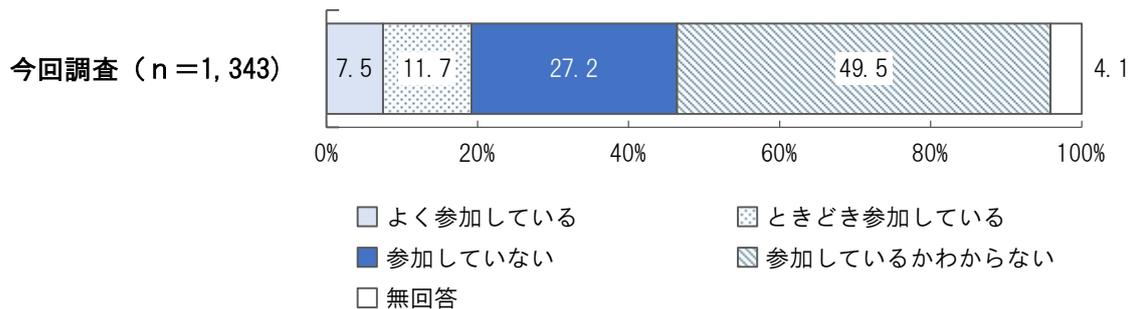
(3) 居住地域における地域活動への外国人住民の参加状況

問 38 あなたが生活している地域では、防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民は参加していますか？ <○印を1つ>

外国人住民が地域活動に『参加している』と回答した人は、約2割

■傾向

【居住地区別】『参加している』は、竜洋地区で多く、豊岡地区で少ない



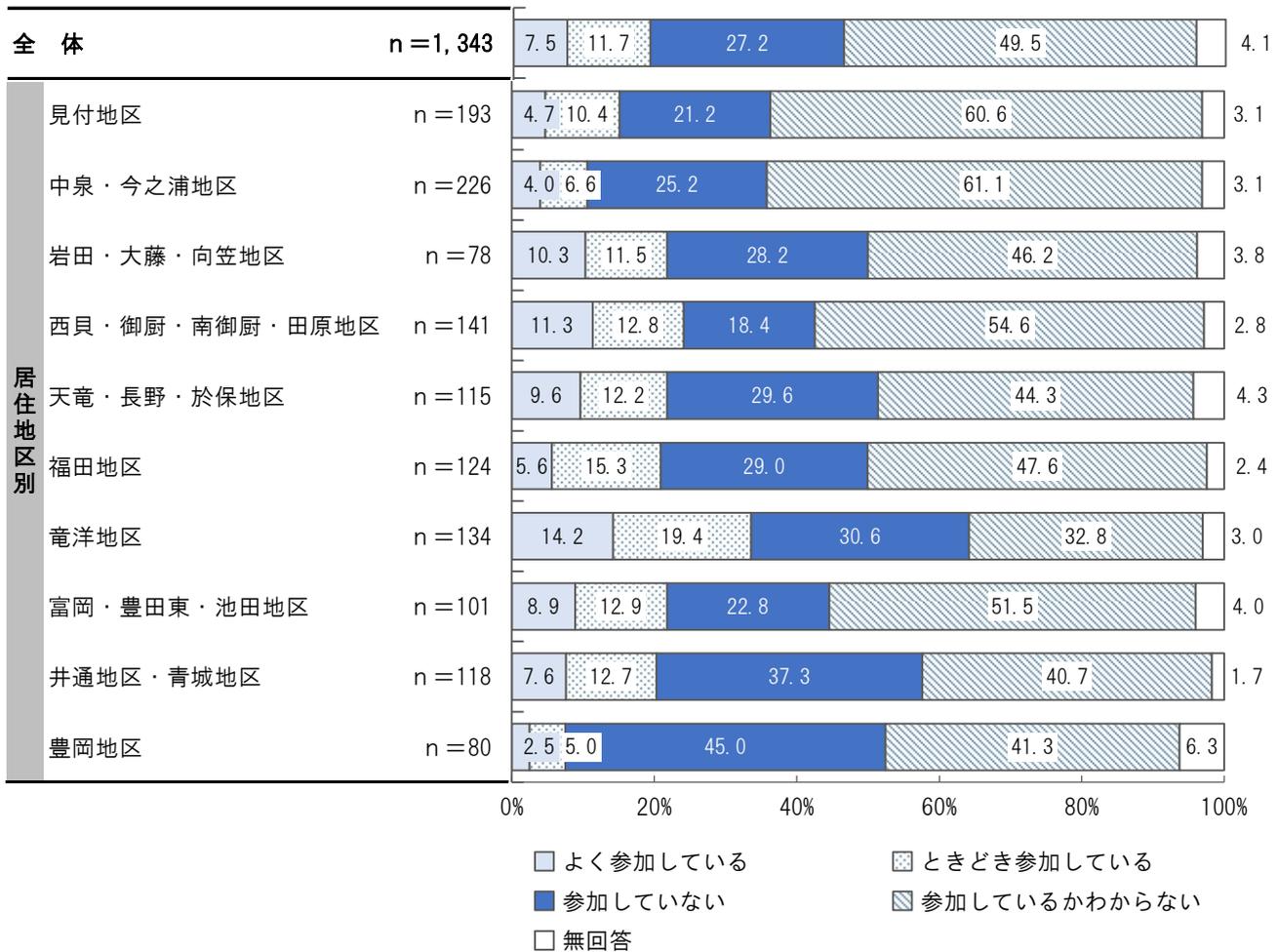
■今回調査の結果

・「参加しているかわからない」(49.5%)が最も多く、次いで「参加していない」(27.2%)、「時々参加している」(11.7%)となっている。また、『参加している』(「よく参加している」+「時々参加している」)は19.2%となっている。

■傾向

【居住地区別】・『参加している』が最も多い居住地区は竜洋地区(33.6%)、「参加していない」が最も多い地区は豊岡地区(45.0%)となっている。

【属性別】



(4) 地域活動への外国人住民の参加を促すために必要なこと

問 39 防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民の参加を促すために必要なことは何だと思えますか？ <該当するものすべてに○印>

外国人住民の参加を促すためには、「外国人に自治会への加入を促す」

■傾向

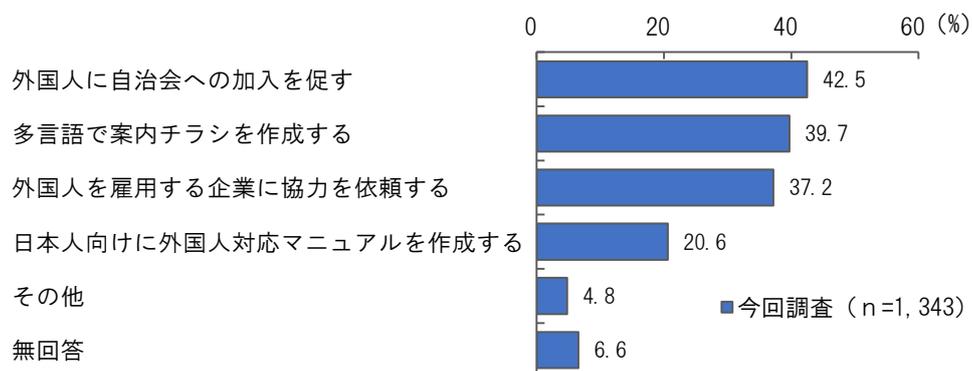
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「外国人に自治会への加入を促す」
- ・「多言語で案内チラシを作成する」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「外国人に自治会への加入を促す」
- ・「多言語で案内チラシを作成する」
- ・「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」



■今回調査の結果

- ・「外国人に自治会への加入を促す」(42.5%)が最も多く、次いで「多言語で案内チラシを作成する」(39.7%)、「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」(37.2%)となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「外国人に自治会への加入を促す」(40.8%)が最も多く、次いで「多言語で案内チラシを作成する」(38.3%)、「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」(36.2%)となっている。
 - ・女性では「外国人に自治会への加入を促す」(44.9%)が最も多く、次いで「多言語で案内チラシを作成する」(41.9%)、「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」(38.4%)となっている。

- 【年代別】
- ・30歳未満、30歳代、50歳代では「多言語で案内チラシを作成する」が最も多い。
 - ・40歳代では「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」(49.2%)が最も多い。
 - ・60歳代、70歳以上では「外国人に自治会への加入を促す」が最も多い。

- 【居住地区別】
- ・見付地区、中泉・今之浦地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、天竜・長野・於保地区では「多言語で案内チラシを作成する」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区、福田地区、竜洋地区、井通地区・青城地区では「外国人に自治会への加入を促す」が最も多い。
 - ・富岡・豊田東・池田地区、豊岡地区では「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」が最も多い。

【性別：上位5位のみ】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	理由	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	261人	245人	231人	148人	37人
	割合	40.8%	38.3%	36.2%	23.2%	5.8%
女性	理由	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	307人	286人	262人	128人	27人
	割合	44.9%	41.9%	38.4%	18.7%	4.0%

【年代別：上位5位のみ】

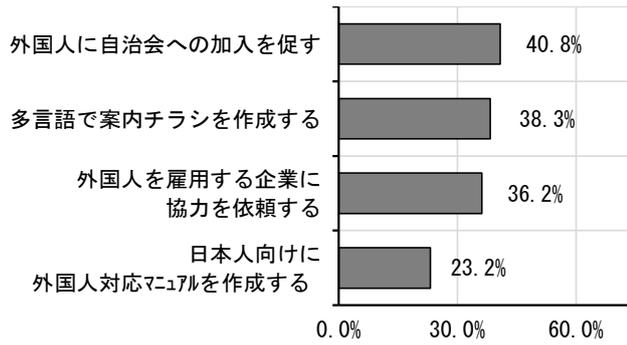
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
30歳未満	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	外国人に自治会への加入を促す ・日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する		その他
	人数	44人	26人	18人	5人	
	割合	57.1%	33.8%	23.4%	6.5%	
30歳代	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	外国人に自治会への加入を促す	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	64人	60人	35人	27人	10人
	割合	51.2%	48.0%	28.0%	21.6%	8.0%
40歳代	理由	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	多言語で案内チラシを作成する	外国人に自治会への加入を促す	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	87人	82人	68人	42人	13人
	割合	49.2%	46.3%	38.4%	23.7%	7.3%
50歳代	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	外国人に自治会への加入を促す	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	101人	95人	91人	48人	23人
	割合	43.0%	40.4%	38.7%	20.4%	9.8%
60歳代	理由	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	138人	119人	99人	54人	8人
	割合	48.4%	41.8%	34.7%	18.9%	2.8%
70歳以上	理由	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	217人	128人	122人	86人	5人
	割合	51.4%	30.3%	28.9%	20.4%	1.2%

【居住地区別：上位5位のみ】

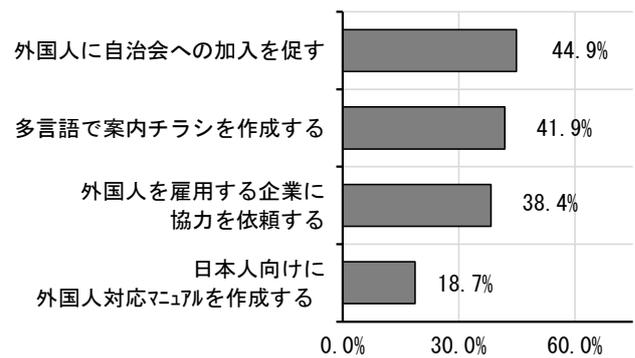
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付地区	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	75人	74人	73人	42人	11人
	割合	38.9%	38.3%	37.8%	21.8%	5.7%
中泉・今之浦地区	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	91人	90人	80人	45人	16人
	割合	40.3%	39.8%	35.4%	19.9%	7.1%
岩田・大藤・向笠地区	理由	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	37人	30人	28人	11人	2人
	割合	47.4%	38.5%	35.9%	14.1%	2.6%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	69人	57人	51人	27人	6人
	割合	48.9%	40.4%	36.2%	19.1%	4.3%
天竜・長野・於保地区	理由	多言語で案内チラシを作成する	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	59人	51人	38人	27人	3人
	割合	51.3%	44.3%	33.0%	23.5%	2.6%
福田地区	理由	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	64人	42人	40人	29人	5人
	割合	51.6%	33.9%	32.3%	23.4%	4.0%
竜洋地区	理由	外国人に自治会への加入を促す	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	66人	53人	50人	32人	9人
	割合	49.3%	39.6%	37.3%	23.9%	6.7%
富岡・豊田東・池田地区	理由	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	46人	41人	40人	19人	5人
	割合	45.5%	40.6%	39.6%	18.8%	5.0%
井通地区・青城地区	理由	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	53人	45人	44人	20人	6人
	割合	44.9%	38.1%	37.3%	16.9%	5.1%
豊岡地区	理由	外国人を雇用する企業に協力を依頼する	外国人に自治会への加入を促す	多言語で案内チラシを作成する	日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する	その他
	人数	35人	31人	30人	21人	1人
	割合	43.8%	38.8%	37.5%	26.3%	1.3%

【属性別（性別）】

<男性>

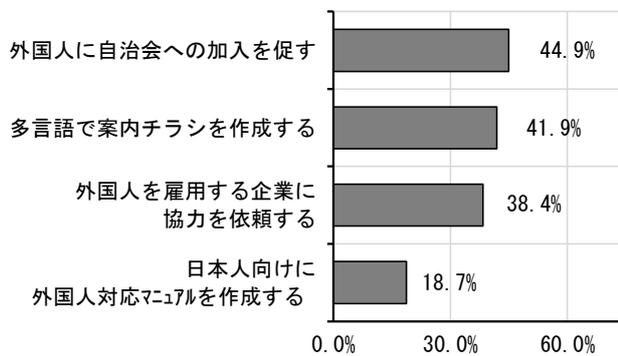


<女性>

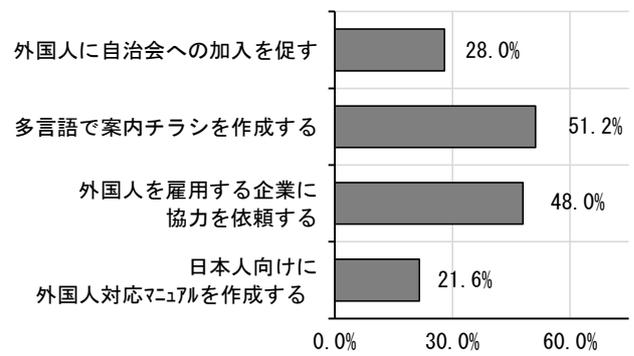


【属性別（年代別）】

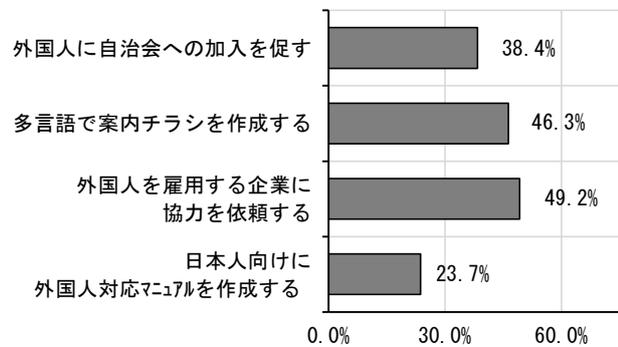
<30歳未満>



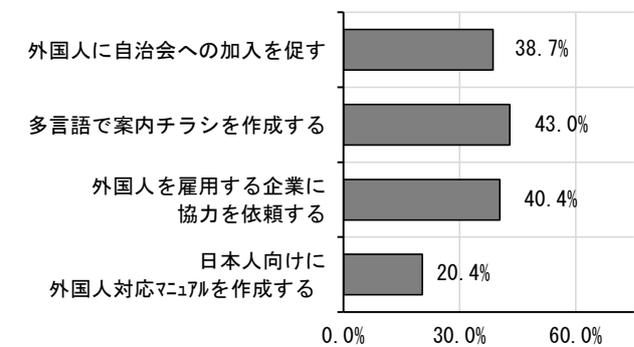
<30歳代>



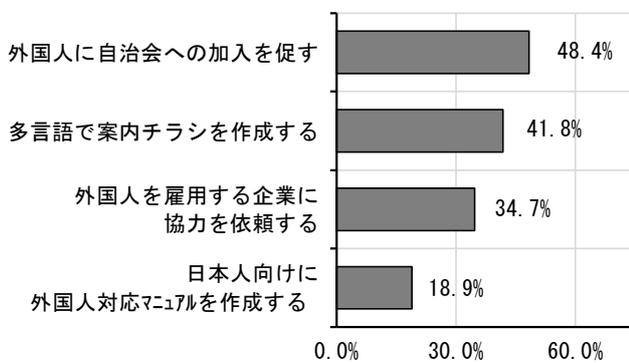
<40歳代>



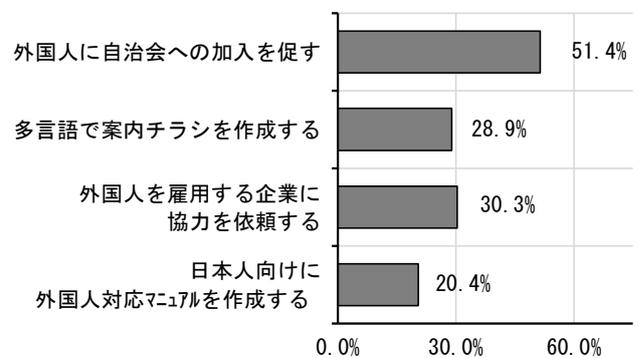
<50歳代>



<60歳代>

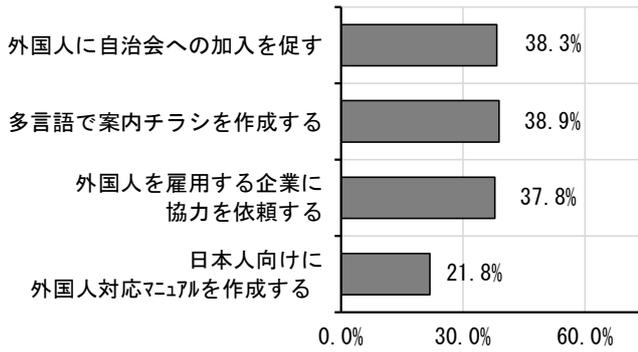


<70歳以上>

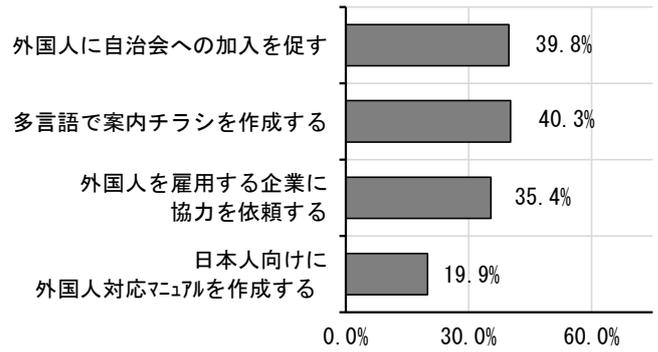


【属性別（居住地区別）】

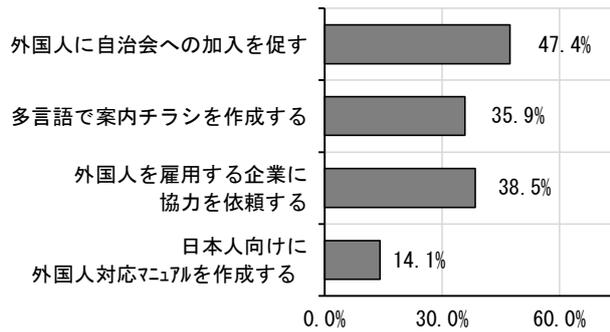
<見付地区>



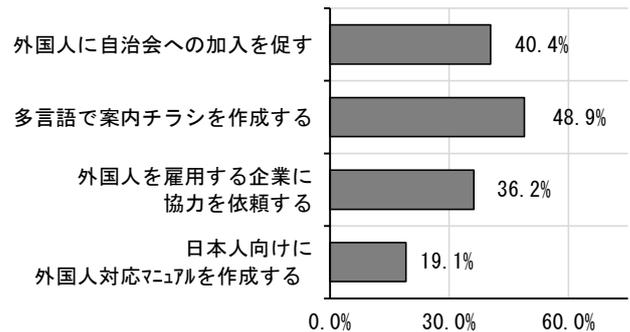
<中泉・今之浦地区>



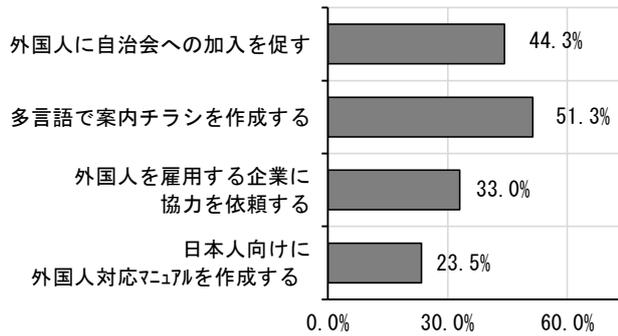
<岩田・大藤・向笠地区>



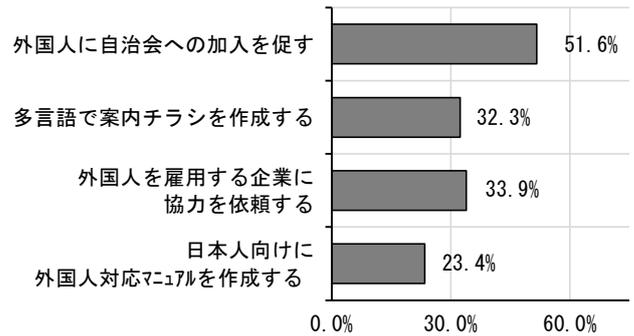
<西貝・御厨・南御厨・田原地区>



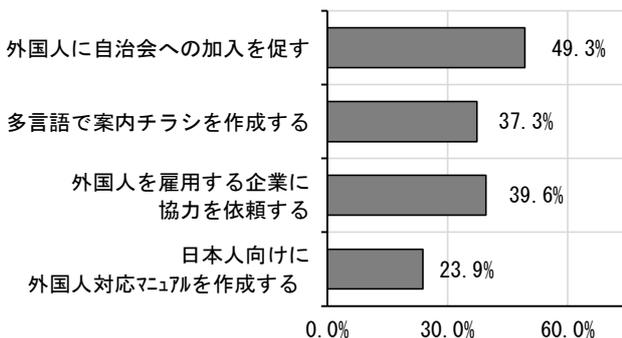
<天竜・長野・於保地区>



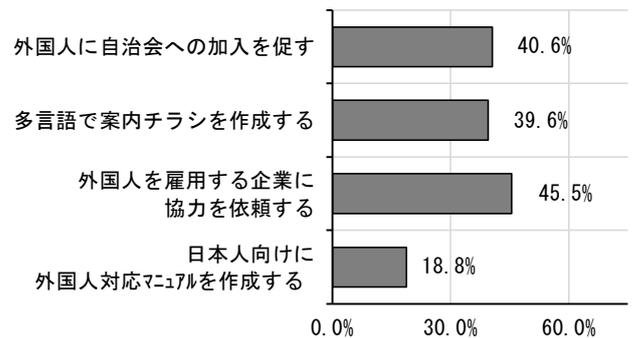
<福田地区>



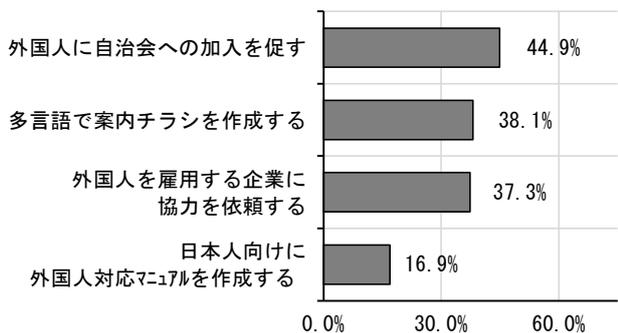
<竜洋地区>



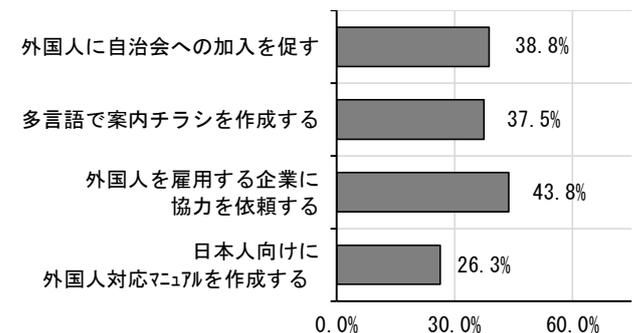
<富岡・豊田東・池田地区>



<井通地区・青城地区>



<豊岡地区>



このページは白紙です

3. セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について

(1) セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の認知度

問 40 あなたは、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていましたか？
<○印を1つ>

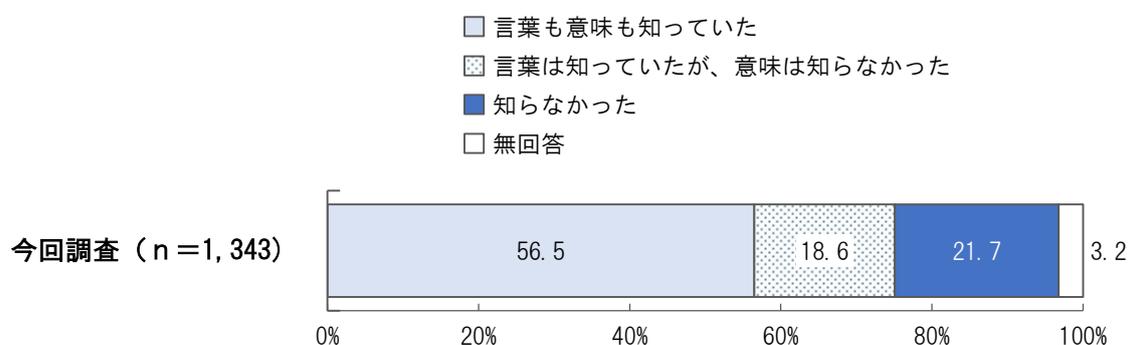
セクシュアルマイノリティという『言葉を知っていた』人は、約8割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『言葉を知っていた』人は6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『言葉を知っていた』人は6割を超えている



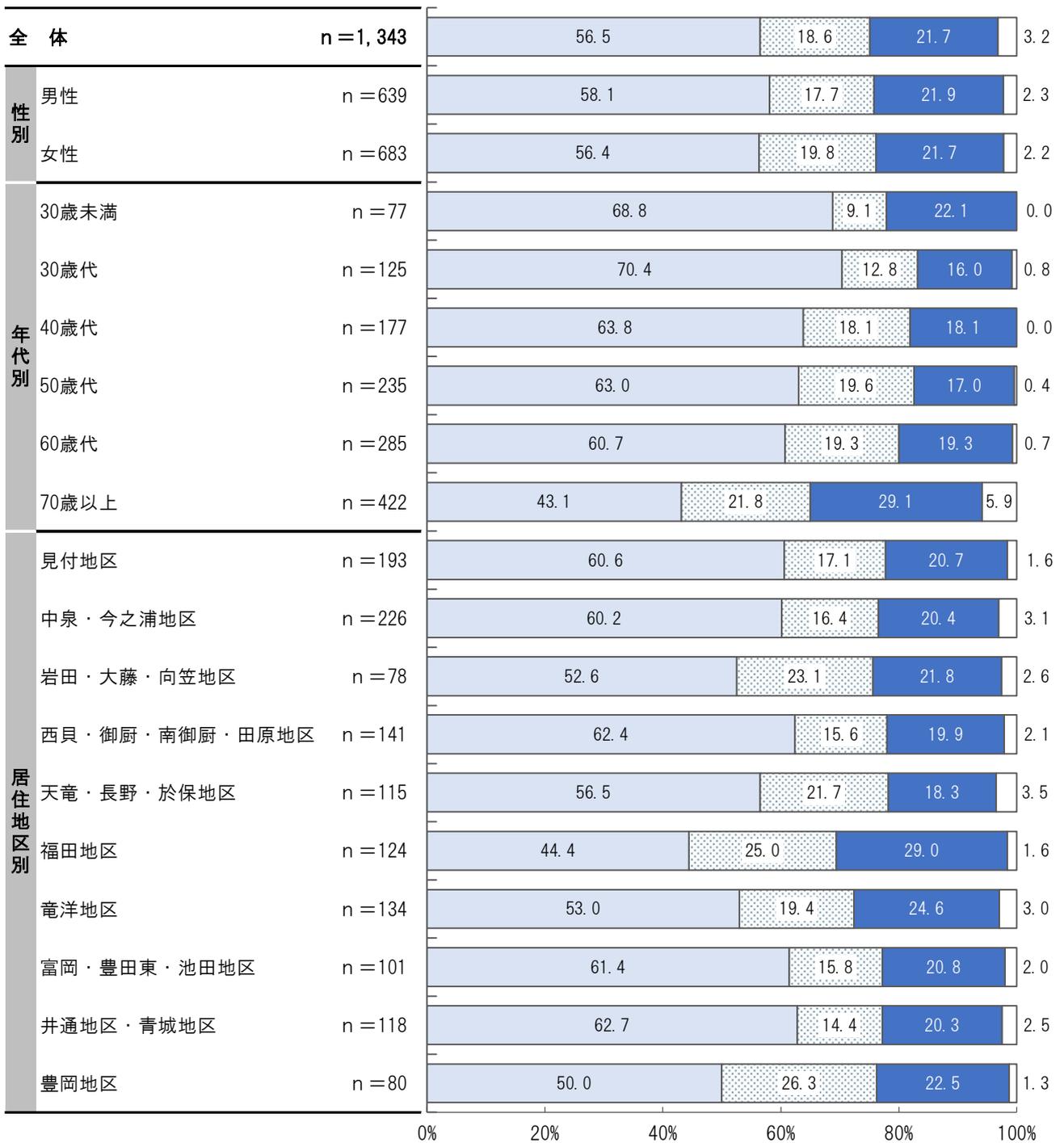
■今回調査の結果

- ・「言葉も意味も知っていた」(56.5%) が最も多く、次いで「知らなかった」(21.7%)、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(18.6%) となっている。また、『言葉を知っていた』(「言葉も意味も知っていた」+「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」) は75.1% となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「言葉も意味も知っていた」(58.1%) が最も多く、次いで「知らなかった」(21.9%)、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(17.7%) となっている。また、『言葉を知っていた』は75.8%となっている。
 - ・女性では「言葉も意味も知っていた」(56.4%) が最も多く、次いで「知らなかった」(21.7%)、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(19.8%) となっている。また、『言葉を知っていた』は76.2%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で『言葉を知っていた』人は6割を超えている。
 - ・『言葉を知っていた』は30歳代(83.2%) が最も多い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で『言葉を知っていた』人は6割を超えている。
 - ・『言葉を知っていた』は天竜・長野・於保地区(78.2%) が最も多い。

【属性別】



- 言葉も意味も知っていた
- ▨ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 知らなかった
- 無回答

(2) 身近な人からセクシュアルマイノリティであると打ち明けられた場合の受け入れ

問 41 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）と言われる方々は、周囲の理解不足や偏見などにより、社会の中で様々な困難に直面しています。あなたは身近な人（家族・友人等）から、セクシュアルマイノリティであると打ち明けられたとき、受け入れることができますか？ <○印を1つ>

身近な人からセクシュアルマイノリティであると打ち明けられた場合、

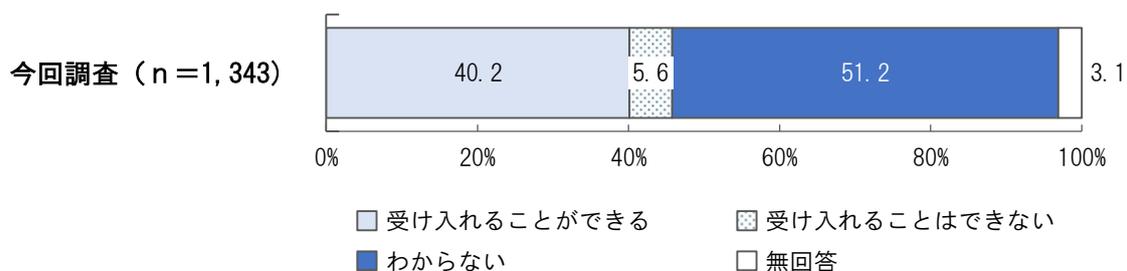
- ・約4割が「受け入れることができる」
- ・約5割が受け入れられるか「わからない」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】若い年代ほど「受け入れることができる」が多い

【居住地区別】すべての居住地区で「わからない」が最も多い



■今回調査の結果

- ・「わからない」(51.2%) が最も多く、次いで「受け入れることができる」(40.2%)、「受け入れることはできない」(5.6%) となっている。

■傾向

【性別】 ・男性では「わからない」(53.8%) が最も多く、次いで「受け入れることができる」(37.4%)、「受け入れることはできない」(6.6%) となっている。

・女性では「わからない」(49.3%) が最も多く、次いで「受け入れることができる」(43.8%)、「受け入れることはできない」(4.7%) となっている。

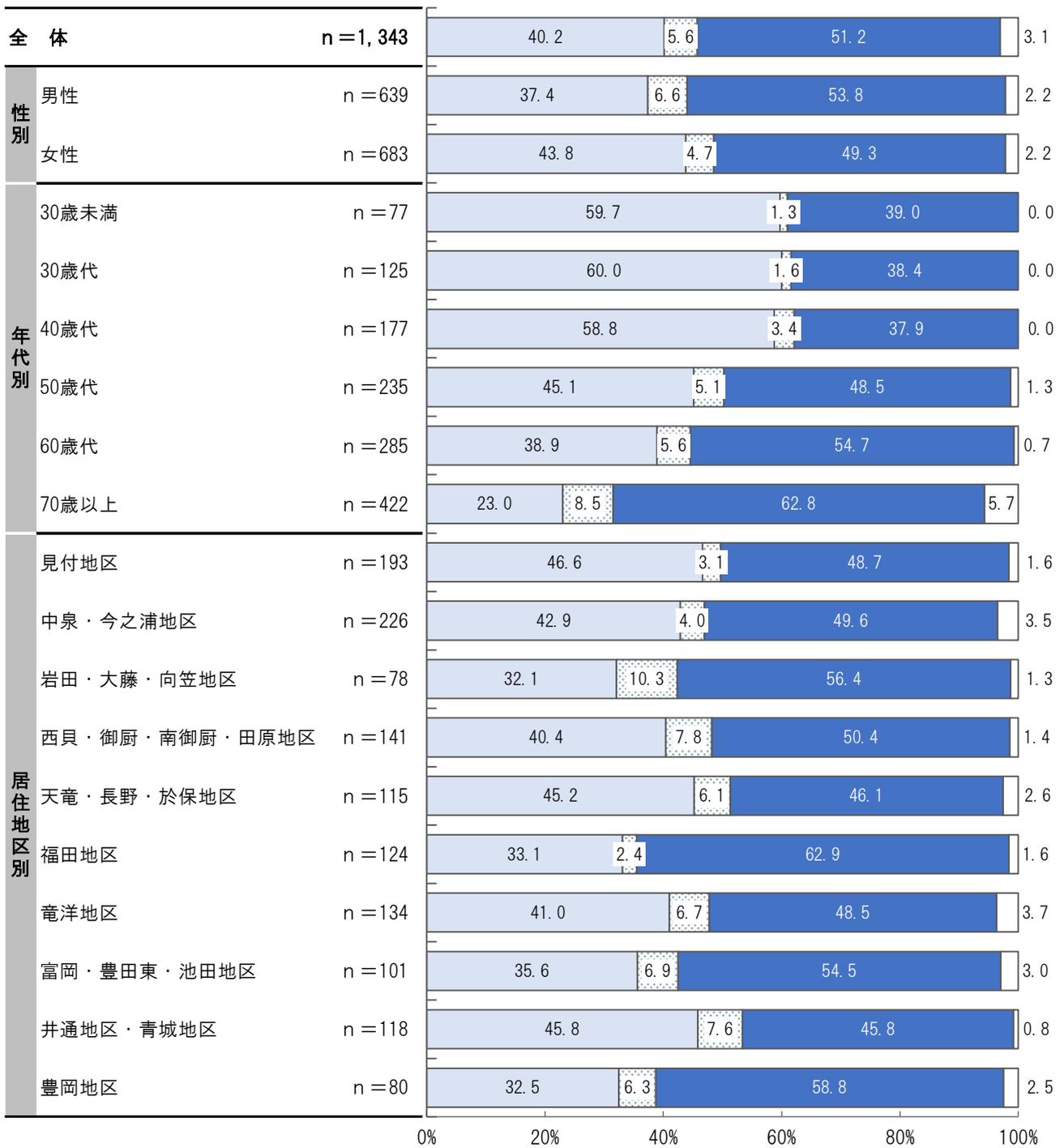
【年代別】 ・若い年代ほど、「受け入れることができる」が多い。

・30歳未満、30歳代、40歳代では「受け入れることができる」が最も多い。

・50歳代、60歳代、70歳以上では「わからない」が最も多い。

【居住地区別】 ・すべての居住地区で「わからない」が最も多い。

【属性別】



受け入れることができる
 受け入れることはできない
 わからない
 無回答

このページは白紙です

V 調査の結果

～ 磐田市のまちづくりについて（自由意見）～

問 32 市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案（アイデア）、磐田市の将来像や夢をお持ちでしたら、ぜひ、お聞かせください。

※自由意見は、分野別に主な意見を掲載しています。複数の分野に該当する意見は、いずれか一つの分野に割り振って掲載しています。なお原則として、回答された文字のまま表示しており、一部、誤字脱字の修正や加筆、個人情報や固有名詞等は削除を行っています。

分野1 産業・雇用・観光・移住定住

元気な農林水産業の育成

- 荒れている農地を利用して農作物の生産・加工・販売まで行ない、地域のブランド化を目指す。磐田の新たなまちづくり、活性化につながるコミュニティの意識を持ち、高齢者福祉を充実させるための国からの財源の確保、ワークスタイルの緩和等、新たなスタイルが必要だと思います。本当のコミュニティ、話し合いが必要です。 (男性、40歳代、井通地区・青城地区)
- 自給率を高めるために農業、漁業の第一次産業に支援を。 (男性、60歳代、見付地区)
- お茶をもっとアピールしたらいいと思う。コンビニでも磐田市の地場産品を置いてもらえばいいと思う。専門のお店に行かなくてもコンビニで買えるから。磐田市情報館だけでなく、地域で買えるようにしてほしい。市政参画のためには、今はコロナウイルスの影響もあるから、インターネットやSNS、リモートを使って、参加する人の年齢を幅広く、大人から子どもまで楽しくできるようにしてほしいと思う。 (女性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- まず、感染症対策は最優先で進めてほしい。今年の天候で農業への影響、食料の確保の心配をしておかなければいけないのでは。もし失業者が多数出る事態になった時、農業でのジョブシフトを促す政策を。個人の希望として、今ノ浦川の土手を車道を渡らずに歩ける遊歩道にできればいいな。アップダウンも階段も大歓迎だ。袋井や掛川と協力して、マスク、消毒液含めた生活基盤を支える産業の誘致。 (男性、50歳代、今之浦地区)
- 豊岡地区です。親の田畑が荒れています。相続の問題とか農地法とか、私の子に相続していくのはとても問題で重要なことです。豊岡地区は田畑が多く、相続者がおらず荒れている所が多々あります。何とかしてほしいです。 (女性、60歳代、豊岡地区)

中小企業等の競争力強化と企業立地の推進

- 企業誘致や教育に力を入れてほしい。子どもというより親の負担を減らすような活動をしてほしい。自治会の活動も実は負担に感じる。メリハリをつけて、やらなくても困らないものは捨てる等見直しが必要。 (男性、30歳代、見付地区)
- 人口の確保・増加が一番重要だと感じます。そのために有効なのは、働く場所があることです。他の地域から働くため、人がやってくる。若者が働くため、磐田を出ていかないことを優先すれば、他のことは後から充実していくと思います。 (男性、40歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 市内企業等に支援し、都市に負けない魅力を持たせないと県外に出た子ども達が帰ってこない。 (男性、60歳代、福田地区)

- このところ、子どもを見ない。見渡せば、高齢者と単身中高年者。10年後は、空き家だらけになるのでは。働く所があれば人が住み、子どもが増える。人が増えれば財政も潤い、様々な政策に費用を投入できる。子どもを産み育てる環境を他所よりも充実させ、移住させる。今、お金を投入すべきなのはこの2点。思い切った政策を。全国区でのメディアが取り上げるようなインパクトが重要。法人市民税の免除や不妊治療費の補助、給食費免除等、市にそれだけの財力があればですが。
(女性、50歳代、福田地区)
- いい市にするには財政が第一。人口増、税収増のために企業誘致に協力してほしい。高度成長期ではなく難しいが、他市に遅れを取っている気がする。文化、歴史保存等後回しにされるが、市の誇りであり財産なので、お金もかけて継承したい。
(男性、60歳代、中泉地区)

交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化

- 市内だけでなく、浜松市等周辺の市町との連携を強めるべきだと思う。特に浜松市は通勤や通学で往来が多いので、両市で共通に使える商品券等が充実すればより交流が活発になり、発展に寄与すると思う。ただ、天竜川にかかる橋はいずれも渋滞がひどいので、より円滑に移動できるように改善が必要。
(男性、20歳代、井通地区・青城地区)
- 駅前に大きな商業施設があるといい。
(男性、40歳代、福田地区)
- 駅前をとにかく発展させてほしい。
(男性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- JR磐田駅前商店街の活性化をお願いする。
(男性、50歳代、見付地区)
- 自分は買い物は浜松や袋井ですることが多く、もう少し磐田で買い物ができるように店がほしい。
(男性、50歳代、見付地区)
- 駅スーパーの交通の不便と自宅から駅までの距離が長く、時間がかかりかかった。スーパーを増やしてほしい。
(男性、50歳代、見付地区)
- 駅前のシャッター街におしゃれなカフェやお店を作り、活性化させてほしい。高校生や社会人等、駅を利用する人が多いのもったいない。そのためにはパーキングも必要だし、車を使わずおしゃれなバスや二輪で人を輸送するのはどうか。公共交通が少ないので免許を返納できない人も多いので、そこも対応できればいいと思う。子どもの塾や習いごとの送迎も大変なので、そこも使えたらいいな。安くて安全。
(男性、50歳代、天竜・長野・於保地区)
- 60歳程度までの男性人口の多い磐田市では、20年後は男性の独居老人が増えることが予想されます。男性労働者が多く、女性の職場が少ないことが原因と推測されますが、女性人口を増やすよう、商業の発展を図る政策も必要と考えます。
(男性、50歳代、福田地区)
- 商業施設をもっと多くしてほしい。南部方面にららぽーと並みの施設がほしい。
(男性、50歳代、竜洋地区)
- 中泉地区の衰退が著しい。町の活性化を望む。
(男性、70歳代、見付地区)
- 駅前の商店街が、以前に比べてかなり衰退しているのが気になる。磐田市の中心とも言える駅前を、しっぺいの像に頼るのではなく、人が力を出して活性化させる必要があると思う。
(女性、20歳代、福田地区)

- 小さな頃によく買い物に行っていたパン屋さんが2軒ほど、大人になる頃には閉まってしまい、それから新しいお店ができてきている様子もこの辺ではありません。小さなことかもしれませんが、人の暮らしと心をそんなお店の一つ一つが豊かにしてくれているように感じます。地元の小さな商店、お店を私は応援したいし、もっと新しいお店が街に増えてほしいです。磐田市がもっと魅力的になると信じます。
(女性、30歳代、見付地区)
- 御厨駅前の北側にコンビニがあると、ビジネスマンが利用すると思います。何年か前に同じようなアンケートが送られてきて、やってほしいこと等でミュージカル、文化的舞台に丸を付けた覚えがあります。その後、劇団四季が来たり、有名な能狂言をやったりして「反映されているな」とうれしく思いました。駅前におしゃれなパン屋ができたのもうれしいです。
(女性、30歳代、中泉地区)
- 駅前をもっと活性化させるため、商店等人が集まる所を増やしたり、誘致したりした方がいいと思う。駅前で利用できるような店がなく、夜は誰も歩いていないような状態でとても駅前とは思えない。オフィス等あっても人は集まらないと思う。
(女性、30歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 娯楽施設があまりにも少なすぎる。老人に対しての補助があまりにも少なく、規制が厳しい。
(女性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- ジュビロードの商店街の充実・活性化。未就学児以外の遊べる公園等。
(女性、50歳代、中泉地区)
- 10数年前に磐田に着いた時、正直駅前に何も無いのにびっくりしました。買い物しようにも店はなく、時間つぶしができず。ジュビロ磐田が有名でしたので、盛えている所なのかなと思っていました。夜に宴会をする時は袋井に、買い物は浜松へとなくなってしまっているのが現状です。
(女性、60歳代、見付地区)
- 磐田全体の商業を活発にしてほしい。商店街を歩きながら散歩できるまちづくりを。
(女性、60歳代、中泉地区)
- 特に磐田駅前・周辺の活性化をお願いしたいです。例えば、駅前図書室でも貸し出しの受付ができるとか、高齢者が車に乗らなくても用が足せるような場所を提供してほしいです。中泉地区在住者のお願いです。
(女性、70歳代、中泉地区)
- 駅前通り、ジュビロードの活性化、駐車場の確保。
(女性、70歳代、井通地区・青城地区)
- 御厨駅周辺の住宅地の整備や商業施設の誘致を積極的に進め、ジュビロスタジアムまでの導線でファンがお金を落としやすくするようにしてほしい。自動運転ゴルフカートを公共交通として導入し、市民の交通利便性向上と共に先進的なまちづくりの姿勢をアピールする。
(男性、20歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- コロナ収束の時には、広い場所を利用した磐田ロックフェスティバルや軽トラ市がすごくいいと思います。いつも行っていました。しっぺいは他県にもファンがいます！
(男性、50歳代、福田地区)
- 観光施設を充実させ、観光客をたくさん呼べるようにする。
(男性、50歳代、竜洋地区)
- 軽トラ市の中止をなくし、日程変更して。
(男性、60歳代、見付地区)
- 浜松等がやっている若者等のイベント、例えばダンス等、このような催し物を駅前とか今之浦公園とかで若者のためのイベントとして行なったらどうでしょうか。
(男性、60歳代、天竜・長野・於保地区)

- 私は磐田出身ではないですが、磐田が好きです。人も優しいし、住みやすいです。しかし、友人を招待する際に「磐田は何もないけど」と言ってしまいます。おしゃれなカフェが隣接している素敵な公園とかほしいです。建設中の今之浦公園がそうなることを願っています。子どもから大人まで見て体験して楽しめる、学べる施設があるといいですね。

(女性、30歳代、中泉地区)

- 以前、三島市に観光に行ったら、駅前の商店街がおしゃれで感銘を受けました。磐田市もジュビロードに雑貨屋やカフェ等の若者向けのお店が増えることで観光客が増え、活性化されるのではないかと思います。

(女性、30歳代、今之浦地区)

- サッカーやラグビー観戦のために磐田市を訪れる人は少なくないが、その人達を商店街や磐田市観光に誘導する力が足りない。地域経済活性化の工夫が足りない。市内に高校が5校もあるのに若い力の活用ができていない。進学のため、磐田市を離れると戻ってこないのも、企業に高卒就職の働きかけを市として行なっていけるといい。

(女性、40歳代、見付地区)

- 東京から浜松へ移り、現在は磐田に住んでおります。他県や他都市から見た時の磐田市は、浜松の隣、サッカーで有名ぐらいです。高齢化社会に向けて、街に人を取り巻く場所は商店街だと思います。東京の屋根付のアーケードがある武蔵小山等、年齢問わず休日になると人が集まります。年を取っても自分で見て歩く大切さ、楽しさが人には必要です。磐田にしかないアーケードを作ってください。そこで磐田の地のものをアピールしてください。駅前はとてもさみしいです。屋根付アーケード、駐車場をお願いします。

(女性、40歳代、中泉地区)

- 磐田市は11地区あります。自分が住んでいる以外の地区に興味がなかったり、知らなかったりする方々が結構います。地区の合併、もしくは地区の特色を集めて磐田市を盛る。しっぺいはどうしても見付のイメージが強いです。他の地区にもしっぺいに続くキャラクターがいて、東西南北から磐田市を盛り上げ、支えてくれたらと思います。南北をつなぐ大きな道路もあるといいです。

(女性、50歳代、見付地区)

- 新しくできた御厨駅に磐田市の特産品が並ぶ市場や特産品を使った食事が提供できるカフェがあったり、例えば市内企業の新しいモビリティが体験できたり、スポーツ観戦や仕事で訪れた人々に特産品、豊かな自然、産業等、磐田市のいいところを発信できる場ができたと思う。もちろん仕事帰りの人が利用できる、地元の人々が交流できる場になったら素敵です。

(女性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- しっぺいグッズの強化。もっと購入しやすく、生活で使えるものを。(女性、50歳代、福田地区)
- 市の顔となる磐田駅前の活性化は重要だと思います。市の広報活動についての質問がありましたが、SNS等、どんな手段を使用しても肝心の駅前に活気がなければ全てが真実味に欠けるように思います。豊かな暮らし、街はどんな時代の人でも動きやすく、活動しやすいことだと思います。駅前からつながっていく人、ものの流れを再確認していただきたいと思います。郊外に施設があります。年を取ったり、体が不自由になったりした時、利用できるのでしょうか。

(女性、50歳代、井通地区・青城地区)

- 他県、他市より友人達が来た時、市内を案内したり食事をしたり、買い物をしたりする所がありません。特に特産物の買い物をする所が少なく、おみやげに困ります。交通の便も悪く、楽しく過ごせる所がありません。「磐田市の中心地は？食事処は？」と聞かれ、困ってしまいます。その点、森町は日本一に特産物が豊富で景勝地や食事処もあり、楽しくて仕方ありません。町民の知恵がいっぱいです。見習いましょう。
(女性、70歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 中央だけが盛り上がり、発展するのではなく、全市、隅々まで行き届いた整備や支援があってこそ、住みやすい場所となります。移住を促すきっかけにもなります。市外の方々に自信を持って、いい所だと言える市になるよう、細かなことにも目を向けて、市民の声に伝えていただけたらと思います。
(女性、60歳代、豊岡地区)
- 市民会館の移転、誠に残念です。中泉の街を昭和の時代のように明るく、人の往来のある街にしたい。現在の駅前、砂漠のようです。跡地は、市民の集える場所にしてください。
(女性、70歳代、中泉地区)
- 今はジュビロードがさみしい気がするので、せつかくジュビロがあるのでジュビロードも活気づいてほしい。または、御厨駅からスタジアムまでの道が大宮のオレンジロードみたいにもっとジュビロ押しになればと思う。新幹線から見えるしっぺいの看板「いつも応援しているよ。みんなありがとう。必ず明日があるからね」に癒されます。あんな感じで磐田市から新幹線に乗っている疲れた方とか頑張っている方にメッセージを送り、通過するだけでもハッピーになって、コロナが終息したら磐田に来たくなるような市になればと思う。
(女性、40歳代、今之浦地区)
- 淡水魚でもいいので小さな水族館、小動物でもいいので動物園、美術館があったらうれしい。
(女性、50歳代、見付地区)
- 防波堤もできてきたので、海や灯台、キャンプ場、公園を活かした若者や家族向けの施設を作ってほしい。または、イベントを積極的に開催してもらいたい。磐田市沿岸部の活性化をして、市外の人にも勧められる磐田市になってほしい。
(女性、30歳代、竜洋地区)
- 他県からの入口の磐田インターがとても残念に思う。ジュビロの看板も見えないくらいの草や木ですっきりしていない。見付の街並みも素敵だけど、草が多い等とても残念です。放送についてですが、全く聞き取れず、携帯を持っている人には全員登録をお願いすべきではないか。今後の災害のためにも、手厚い、安心して暮らせる磐田であってほしい。私はホットラインに登録しております。
(女性、50歳代、見付地区)
- 新駅を作ったり、市民文化会館を豊田町に移したり、小・中学校、高校や市役所、国分寺跡等が磐田駅を中心にあるのに、磐田駅やジュビロード近辺をないがしろにし過ぎる。市民文化会館は土地や地盤を改良したり、強化したりして元の場所になぜ作らなかったのか。納得のいく説明がなかったのではないかな。中泉地区の活性化を望んでいる。
(女性、50歳代、中泉地区)
- 今、私が住んでいる所は田と畑ばかりです。日常に必要なお店がないから、例えば電化製品とかお花屋さんとか、ともかく憩いの場がほしいです。道路の脇等にお花を植えたらいいと思います。お花は人の心に豊かにしますから。
(女性、70歳代、竜洋地区)
- 市民の皆さんが明るく誰でも寄ってこられる街にしたいなと思います。安心して歩ける歩行者道路がもっとほしいです。
(女性、70歳代、井通地区・青城地区)

- 磐田の街にはあまりにも活気がなさすぎます。まちづくりのプロに協力をお願いするのもいいのではないのでしょうか。 (女性、80歳以上、中泉地区)

ブランド力の強化とシティプロモーションの推進

- 旅行で他地域へ行き、「磐田市から来た」と言っても知らない人が多い。「静岡県」と言うと、静岡市か浜松市くらいしか知られていない。もっと知名度を上げる取り組みを積極的にしたらどうか。思い当たる名産品とか地域を代表する何かが足りないと思う。磐田市は気候的にも恵まれ、災害も少なく、暮らしやすい土地であり、もっとPRをし、売り込む必要があると思います。人口減少の昨今、定住を促進する取り組みをする必要があると思います。 (男性、70歳代、井通地区・青城地区)
- 磐田はスポーツが強いイメージがあるので、その強みを活かしつつ、磐田ならではのB級グルメ的なものを広めていければ、もっとたくさんの方々に知ってもらえると思います。 (女性、20歳代、中泉地区)
- 私は都市部出身で約10年前に磐田に来て、磐田が好きになり、転勤族ですがこの度家を持ちました。大都市圏の中間地点であり、3大都市との距離がほどよい地の利点を活かして、通過地点ではなく、目的地としてももらえるように知名度を上げてほしい。しっぺいをもっと活用してもいいし、ヤマハジュビロ、卓球の著名人、出身俳優等、磐田を愛する人達に磐田をアピールしてもらいたいと思う。次女を出産後、産後うつで八方塞がりのところを行政に助けをいただき、今日があります。心から感謝しております。 (女性、30歳代、見付地区)
- 色々と磐田には特徴があると思うのですが、アピールにしても中途半端な気がします。ジュビロにしても特産物にしても、どれか1つ特化して、弾けていいのではないかと思います。思い切りが大事！そこが成功すれば、他のものも後からついてくる気がします。言うのは簡単ですが。広大な土地もあるので、農作物をもっともっとアピールして、働き手を増やす。気候もよく、災害も少ないので将来、農業は強い。奇抜なアイデア。 (女性、50歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 磐田市出身のオリンピック選手や芸能人等、有名人がせっかくいるのもっと人集めのできる市であってほしい。 (女性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 磐田市に住んで35年ほどになりますが、気候的にも大変住みやすい街で、全国のニュース等を見る度に磐田市民でよかったと思っています。歩いてみると、とても歴史があり、そこここに小さな公園やお寺があります。もう年齢がいますが、桜の花やお寺の写真を写して回りたいという夢があります。その辺をアピールしてほしいと思います。 (女性、70歳代、見付地区)
- 磐田駅南の開発として、農家が高齢化していますので、水田は貴重ですがまず休耕田を利用して大池を中心に公園・商店駐車をすれば、駅も近いし集客できると思います。県外からも「行ってみたい！」と思わせるような魅力的なゾーンができたなら磐田の知名度はアップします。 (女性、80歳以上、中泉地区)
- ツイッター、インスタでの発信はマストであると思う。 (男性、20歳代、居住地区無回答)
- くまモン、ぐんまちゃんのようにしっぺいくんをもっと全国に発信して、「しっぺいくん=磐田市」の認知を広げていく。 (男性、40歳代、見付地区)

- 「いわた市」に改名し高齢者、子どもにやさしい街、また環境にやさしい街等々、やさしいイメージを計画し、袋井、掛川、浜松等の他の近くの街と異なるまちづくりを計画してみれば。
(男性、50歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- まちづくりについてはではないが、市のホームページが見にくい。基本的な事項は問題ないが、直近のニュースやお知らせが充実した内容も載せてほしい。探せない。(男性、70歳代、今之浦地区)
- 市の同報無線の内容をホームページから見るのがよくあるのですが、今の市のホームページではどうやって見たらいいのか少し分かりにくいように思います。(女性、40歳代、天竜・長野・於保地区)

移住・定住の推進

- 県内には高校卒業後の進学先が少なく、県外へ出て行く学生が多いため、Uターン就職を促す対策は重要だと思います。奨学金の補助金制度はよかったです。道路の危険箇所等、市民の要望は可能な限り、直ちに対応してほしいです。
(女性、20歳代、見付地区)
- 人口減少には、成人した人達に出会いの場をたくさん設ける。それで少しは豊かになると思います。
(男性、40歳代、中泉地区)
- 東京一極集中是正のためにも、他都府県からの移住定住の推進を大きく進めていくこと。
(男性、70歳代、井通地区・青城地区)
- 税収とも関係することですが、移住、定住の推進と空き家の再利用が豊かなまちづくりに欠かせないことだと思われます。市議会でも真剣に検討する必要があると思われます。
(男性、80歳以上、見付地区)
- 定住支援の強化が大切。
(女性、20歳代、見付地区)
- 子どもを増やす。AI、インターネットの技術者を都市から呼び、定住させる。
(男性、60歳代、中泉地区)
- 耕作放棄地等の空き地を安く買取り、庭付き一戸建てを子育て世帯へ格安で販売し、将来へ繋がる市民を増やす。
(女性、70歳代、竜洋地区)
- 一戸建て新築する人への支援。組合に加入せず、農家として生計を立てていける体制。
(女性、20歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 散歩していると空き家や空き地が目立つ。移住希望者に利用してもらったり、ワークショップに利用できたりしないだろうか。空き家や空き地は草ボーボーで野良猫の住み家である。自治会が「何とかして」と言っても市行政はほったらかしである。これでは住みよい磐田市とは言えません。
(女性、60歳代、井通地区・青城地区)
- 若い世代が住みやすいまちづくり。
(女性、60歳代、中泉地区)

コミュニティと市民活動の活性化

- 磐田市には、豊かな歴史・文化、市民活動、ボランティア活動団体、企業や社会福祉法人等の民間団体による充実した取り組みが数多くあると思います。地域づくり協議会の仕組みや交流センターの充実、市社協や市民活動センターによる地域支援の力もあります。それらの創意工夫にあふれた取り組みや事業を市役所として支援していただけたらと思います。市民の豊かな暮らしの姿は、市民が自ら描き、動くべきだと思います。熱意や思いがある市民や団体や地域の背中を後押ししていただける市政であることを願います。
(男性、40歳代、井通地区・青城地区)
- 実際に役員を経験したわけではないので分かりませんが、自治会活動の役員の負担が大きすぎる印象があります。市役所からの自治会への様々な連絡や自治会会合で新年のあいさつに議員が来ることにも違和感があります。新しいことに取り組むだけでなく、これまでやってきたことをやめることによっても市民の負担を減らし、結果、市民の主体的な活動ができる余裕を与えられるのではないのでしょうか。
(男性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- インターネットでコミュニティサイトを作ってほしい。
(男性、50歳代、今之浦地区)
- 市民の自立ができたらいいと思います。
(男性、50歳代、福田地区)
- 住みたくなるまちづくり。参加型市民。未来の子ども達にいい街を望む。
(男性、70歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 自分のため、人のため、まずは自分が決められたルールに協力して頑張る。コロナ問題は、今は一人ひとりが我慢する気持ちが大切で、皆にも呼びかけて前に進みたい。
(男性、70歳代、豊岡地区)
- 園を含む学校、サロン、老人施設、会社同士の交流を増やし、互いに実のある関わり、情報交換ができる市。
(女性、20歳代、井通地区・青城地区)
- アパート住まいだと自治会やイベントに参加できない。いつも外部の人、近隣の人々と絆以前の問題。市のために何かと思ってもその機会すら与えてもらえない。
(女性、30歳代、竜洋地区)
- 自治会活動に参加する人がいつも決まった人達ばかりなので、もっと多くの人に参加してもらい、顔見知りになれるといいと思う。近代化しすぎず、自然や農地が多く残る地でありたい。
(女性、40歳代、今之浦地区)
- アパートやマンションに住んでいて自治会費も支払っているが、広報いわた等必要なものが来ません。そのため、磐田について知ることができない方がいると思います。自治会費は何に使われているのでしょうか。お金を支払う、必要があるのか疑問です。月1,000円近く支払い、無駄なように思います。負担です。明確にすると共に、確実に全世帯に同じサービスをしてほしいと思います。
(女性、40歳代、井通地区・青城地区)
- シフト制の仕事をしているため、ごみ捨ての時間帯が短くて困ります。せめて、前日の夕方から翌朝8時まで延ばしていただけると助かります。自治体によっても異なると思いますが、直接言えないので意見させていただきます。
(女性、40歳代、豊岡地区)

- 以前は、地域に子ども会や婦人会等の組織があり、住民同士の交流が図られていたと思います。しかし、核家族化や共働きが当たり前になるにつれ、地域活動への参加が難しくなり、交流を図りにくくなっています。退職後も、時間にゆとりができて地域のことから分からないため、地域の中に入っていくのが難しいです。防災のことを考えるとこれではいけないと思うのですが、思っているだけです。
(女性、60歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 少子化と共に一気に進む高齢化社会。私の住む地域でも空き家やひとり世帯が増加しています。小さな街の中で地域の人とほどよい距離感を持ちながらお互いに協力し合い安心して暮らしていける、そんな将来を願います。
(女性、60歳代、井通地区・青城地区)
- 自治会、交流センター管内での意見や提案で、特に多かった事項を知らせる機会を増やす。
(女性、70歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 年齢を越えて交流する場が少ない。私は高齢者ですが、若い方が楽しく明るく生活できる街になってほしいと思っています。市の取り組んでいる新しい文化施設や公園作りに期待をしています。安定した収入が得られる企業があることがいいと思っています。
(女性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 地域活動に参加できるよう、順番で、一人ではなく複数で参加し、大勢で知ることが大事かなと思います。重い腰を上げるように！
(女性、70歳代、井通地区・青城地区)
- 路線バス廃止等により、高齢者にとっては歩いて行ける範囲の活動となり、地区の交流センターの役割がより重要となってくるように思います。(女性、80歳以上、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 大人一人ひとりが変わること。様々な活動の場で差別、目に見えない弱者に対するいじめを行わないこと！市のリーダーとなる。市役所、教育者、その他公務員の様々な本物のリーダー、指導者の方が増えたら素晴らしい磐田市になると思います。手本となる大人を！
(男性、50歳代、井通地区・青城地区)
- コミュニケーションを取ることが大切だと思います。デマンドタクシーが大変便利だと思いますが、地区毎になっていますので、「医療関係だけでも市内利用できるよ」といいう声を耳にしますので検討をよろしくお願いいたします。(女性、70歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 空き地を利用して、子どもと高齢者がふれあえる場があればいいと思う。
(女性、60歳代、福田地区)

スポーツの振興

- サッカーやラグビーのジュビロという国内トップリーグに所属しているチームがあり、市民のスポーツに触れる機会だけでなく、他地域の方の来訪の機会にもなっているので、スタジアム周辺での飲食店環境の充実も図っていったほうがいいのかと思う。
(男性、30歳代、中泉地区)
- ジュビロ磐田にもっと力を入れて、磐田の名前を売る！磐田の名前を売るには最も早い方法！しかし、他チームサポーターが磐田に来て観光する所がなく、「本当に田舎だという印象だ」と言って帰って行くので、やはり中東遠地区の観光マップは必要だと思う。
(男性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- 皆で楽しめるスタジアムの建設。障がい者の交流の機会を増やす。 (男性、60歳代、福田地区)
- 大きな大会を開催することができる駐車場を備えた体育館も作り、各種県大会、全国大会を誘致。また、アウトドア体験やレジャー環境を整えて、運営会社と協力して誘致し、若者を呼び込み活気ある磐田市のイメージを作り上げる。 (男性、60歳代、竜洋地区)
- スポーツ交流の里ゆめりあをもっと市民にも市外の人達にも利用してもらい、活用してほしい。災害の少ない安全な土地を全国に広めてほしい。素直に意見を言える環境を作る。スポーツ等で世界的に活躍されている方々をもっともっと宣伝、後押ししてほしい。いい所でもあるのかもしれないが、まだまだ閉鎖的な土地柄のように思います。 (女性、60歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- ゆめりあ競技場の有効活用。スポーツやイベント等、もっと増やしたらいいと思う。駅前の駐車場が少ないので、軽トラ市や駅の近くの店に行けない。ららぽーと磐田の近くにもっと他の施設ができれば、お互いに集客効果が上がると思う。 (女性、60歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- ジュビロ磐田の選手の方々と交流を子どものみならず、一般市民もできると大人の方々も楽しみが増していいと思います。 (女性、60歳代、竜洋地区)
- 色々なスポーツができる場所がほしい。最近で言うと、スケボー等。
(性別無回答、年代無回答、居住地区無回答)

文化の振興と歴史遺産の整備、活用

- ものやお金の追究は誰もが欠かせませんが、やはり心の豊かさ、精神的な豊かさがあるこそ、真に豊かな街、一流の街となります。磐田市はまだその面で十分とは言えません。文化的な場、機会がもう少し増えることも期待しています。 (男性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 市民文化会館がどうして豊田地区に移転することになったのか、今でも釈然としません。多くの市民の声を聞いたのでしょうか。本来、駅にも近く、もっと交通の便のいい所にあるべき施設です。不透明な流れでこれからもまちづくりがされていくのではないかと懸念しています。
(男性、70歳代、見付地区)
- 私は歌が好きですので、磐田市の力でのど自慢大会のようなものを考えてほしいです。
(男性、70歳代、中泉地区)
- 市民文化会館を再建するとのことだが、多目的であろうから大した音響は期待できない。目的を絞って、世界に冠たる音楽堂を建て、世界中の音楽家が演奏会、録音をしたいと希望するならば、磐田の名は世界中に広まる。
(男性、70歳代、天竜・長野・於保地区)
- 周辺の自治体に比べて、文化活動が貧弱。観光も見るとべきものがない。掛川、袋井、天竜、森のような観光がない。美術館、寺院、城等、他県から訪れる人を案内する所もなし。文化都市として考えるべき。ジュビロだけではサッカー好きな人のみ。美術館、茶室を作ってほしい。
(女性、70歳代、見付地区)
- 新市民文化会館の完成を期待しています。 (女性、70歳代、富岡・豊田東・池田地区)

- 今、古墳ブームもあるので、現存する古墳を整備したりできればと思う。今、磐田市に残っているか分からないが、珍しい前方後方墳があったはず。個数もかなり多いので、役に立てばいいのかと。
(男性、50歳代、中泉地区)
- 国分寺七重の塔の復元。
(男性、60歳代、天竜・長野・於保地区)
- 東海道の見付宿という歴史的な地区があるのに、活性されていないのがもったいないと思います。埼玉の川越に出かけた時に、磐田もこんな風な街並みになり、観光客で賑わうといいなと思いました。立地条件も違い、素人が考えるほど容易なことではないと思いますが、歴史が活かせる見付通りになるといいなと思います。
(女性、50歳代、天竜・長野・於保地区)

学習機会の充実

- 磐田市学習交流センターは素晴らしいと思います。今後も世代を問わず市民が学習等に自由に取り組める場を提供していただけるとありがたいです。
(男性、20歳代、中泉地区)

共生社会の確立

- 自治会に入っていようがいまいが、税金を納めている一市民として、誹謗中傷なく住める社会になってほしい。
(男性、50歳代、見付地区)
- 市民のモラル、マナーが向上し、他人にやさしい市民社会の形成。労力を使わずに暮らせる暮らしやすい社会。
(男性、50歳代、豊岡地区)
- 外国人に対して、中学の夜間学校を開設してほしい。そうすれば、磐田市にとっても必ず利益になる。ほとんどの在住外国人は日本に定住することを願っている。そうすれば、有能な良識ある外国人が県外からも集まってくる。もう外国人は立派なマンパワーとなっており、その底上げをすれば、人口減も止められると思う。磐田市職員は余裕があると感じる。あまり仕事に追われているという姿を見たことがないので。
(男性、50歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 外国人も納税者であるから、彼らのためになることをもっとすべき。自治会を上手に活用して、地域の一員となるようにすべき。
(男性、60歳代、天竜・長野・於保地区)
- 少子高齢化のもととなっているのは女性が働きづらい税制にあると思う。男性に仕事が偏るのではなく、共働き世帯が税制面でも優遇されれば、女性はより積極的に社会に出て、男性は働き方を見直し、家庭での役割も担うようになる。税金という痛みをより多くの働き手で分けあう必要がある。健康な大人は無理せず働き、納税するという社会を作るために市政も積極的に動いてほしい。
(女性、40歳代、中泉地区)
- 今はコロナに対する対策を実施してほしい。感染者に対する差別や攻撃が起こらないような環境を作るべきだと思う。無症状、軽度の人の受け入れ先を作ることや感染者への攻撃は犯罪であることを大きく取り上げ、呼びかける等、警察のパトロールを強化したり、相談窓口を用意したりする。
(男性、20歳代、今之浦地区)

子ども・子育て支援の充実

- 県外から磐田に来て20数年経っています。私自身、とても住みやすく感じております。子どももこの磐田で育っています。子ども達の世代になった時に磐田に住み続けたいと思うように、子育ての充実、雇用、安全対策に力を入れ、対応していただければと感じます。人を呼び寄せることのできる新しい形のフェスティバル等住民が楽しめるまちづくり、若い世代の人達の発想をたくさん取り入れてほしいです。
(男性、50歳代、見付地区)
- 秋田県の少子化対策に習い、磐田市も子どもを産み育てることへ最大限注力すべき。秋田は学力も日本一であり、子育てをするにはとても魅力的だと思う。未来を担う子どもへもっと金を使ってほしい。絶対、数年後に見返りのある投資になる。財政的、治安的、文化的にもメリットしかない。全国に先がけ、磐田市がスタートダッシュをかけることを期待している。
(男性、20歳代、見付地区)
- 北部の小学生が少なくなりました。
(男性、40歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 子育て世代の若い市民を増やすことが必要。安心安全な子育てシステムの構築。将来性のある企業、ベンチャーを引き入れやすい条件を構築し、特に若い人の生活基盤を確立する。子どもの増加しやすい補助システム。
(男性、60歳代、井通地区・青城地区)
- 不妊治療補助事業の見直しをお願いいたします。高所得者への見返りがなさすぎます。年収1,000万あってもほぼ税金でなくなり、市の補助を受けようとしても受けられません。これでは高額納税している意味がありません。低所得になって、税金で色々な補助を受ける方が得に思えます。Uターン就職をした方への一部補助は良いと思いますが、30代等に限定したUターン就職にも何かしら補助のようなものがあるのもいいと思います。30代になると仕事面で即戦力になったり、子育て世代になったりするので、家を建て、住み続けやすくなるのではないのでしょうか。
(女性、20歳代、見付地区)
- 子ども達も皆住みやすく、あたたかい住環境であれば十分です。
(女性、30歳代、見付地区)
- 私はシングルマザーですが、生活費がすごく大変です。母子家庭が大変なことは理解されていないように思います。支援がもっとほしいです。
(女性、30歳代、竜洋地区)
- 磐田市の将来の担い手である子ども達を育てている世帯を支援する市政であってほしいと思います。コロナウイルス感染症緊急経済対策としての臨時特別給付金、とてもありがたかった。給付金に限らず、子どもの人数に比例し、手厚い支援となるような制度や対策が多くあると子どもを産みやすく育てやすくなり、出生率も上がるのでは。働く女性として、放課後児童クラブの終了時刻がもう少し遅いとありがたいです。
(女性、40歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 今の時代、初婚年齢率が上昇していて、女性が社会進出しているのに地方自治体の不妊治療に対する考え方が昭和だと思います。年齢に対する条件の縛りがありすぎると思う。磐田市の将来は子ども達にあると思います。子ども達が大人になった時に、地元が好きになれる地域作りが大切だと思います。
(女性、40歳代、竜洋地区)
- 子育て支援の充実が大事だと思います。若い人達が住まない限り、人口流出・減少、空き家問題は解決しません。
(女性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)

- 子どもや若者の人口が多くなるようにいつも願っていますが、難しいです。これからは若い人達のためにお金を使ってください。高齢者にはほどほどでいいです。70歳より。
(女性、70歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 保育園の職員の給与を市でサポートし、安定した運営を市でサポートしてほしい。老人福祉施設もしかり。テレワーク等活用して、研修等場所を確保することで金がかかるような事業のコストをカットする。
(女性、20歳代、見付地区)
- 老人への対策ばかりでなく、将来ある子ども達がこの先幸せに暮らしていけるような社会作りをする市政であってほしいと思います。
(女性、40歳代、福田地区)

特色ある教育の推進

- 実体験情報等からですが、磐田市の中でも地域によっては様々で、昔から住んでいる人と新規に家を建てその地域に住み始めた人との考え方、共同作業のあり方等に温度差があり、住みにくさを感じる地域もある。国際社会にもなりつつある磐田市においては、広い心を持つ、豊かな人間性を育てられる教育をしてほしいと思っています。
(女性、70歳代、福田地区)
- 現在の磐田市はバランスは悪くないが、「だから磐田市」という全国的に抜きん出た特色がない。何か1つそれを作りあげられればと思う。例えば、子育て施設、環境整備や学校教育強化による学力向上（全国レベルまで押上げ）等、若い家庭が子どもの将来を考えて「だから磐田に住みたい」と思ってくれる特色がほしい。若手人口の増加が将来の市の基盤強化につながると思う。
(男性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 小中学校の立地が市の場合、利便がない。バランスのいい立地が必要ではないでしょうか。小中一貫構想も悪くはないですが、そうすることにより通学に不便が生じ、廃校となり、故郷である地元への愛着が薄れるのではないのでしょうか。
(男性、60歳代、見付地区)

子ども・若者の健全育成

- 共働きで祝日休みはないため、保育園や学童保育は祝日も開所してほしい。学童保育の利用条件の変更をしてほしい。低学年の間は16時まででなく、15時までの勤務でも利用できるようにしてもらいたい。同居・同一敷地内だからといって、必ずしも祖父母と協力的に子育てしているわけではない。祖父母の就労証明は不要だと思う。
(男性、30歳代、天竜・長野・於保地区)
- 各自治体の集会所で高齢者等のボランティアによる地域の小学生を対象とした放課後児童クラブ（寺子屋）があると良いと思う。子どもが放課後、地域内で安心して過ごせる場所があれば、親としては非常に安心。地域に育ててもらった子どもは、大人になって磐田に戻ってくると思います。高齢者の生きがいにもつながると思います。
(女性、40歳代、見付地区)

地域福祉の推進

- 税金が高くなっても、子育て世代、高齢者世帯への医療等の生活支援。ひとり親世帯への支援の充実。実家暮らしでも、手当等、同居家族の収入関係なしにしてほしい。（女性、20歳代、中泉地区）
- 少子高齢化に対応した市、社会的弱者にきめ細かくあたたかく救済・支援する市を望みます。その上でスポーツ、文化、食等、磐田市の魅力を発信していけばいいと思います。まず「人」です。人を大事にするのが基本です。コロナ禍で色々なことがあぶり出されたと思います。教訓とすべきです。感染対策、災害対策等、基本をしっかりやることを望みます。
(男性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 高齢者や障がい者、子ども等社会的弱者に十分配慮したまちづくりを実現していってほしい。
(男性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 高齢者、障がい者の不安を取り除く市政であってほしいと思います。気軽に相談できる人の育成等。例えば、民生委員さんや福祉委員さんの人選。やってくれる人がいないから、やってくれるなら誰でもいいではなく、安心して相談できる人選をお願いします。（女性、70歳代、見付地区）
- コロナについては、誰もが困ったと思っているが、現場で子どもや老人、病人等の大勢の弱者と日々接している方々のご苦労は大変なものと思います。会社や企業も同様と思いますが、大人だけとか対策がその人に理解できるので弱者とは違う配慮でいいと思います。上記の弱者に携わっている人々が働きやすいように、施設や人的で面でも力を与えてください。農産物、山の資源、海の資源、周囲の景色を大事にする気持ちを持って、磐田市民が生活していくことが市の一番の在り方だと思います。まずは、住、食、衣の順で市政を行なってほしいと思います。
(女性、70歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 私の住んでいる所には店やコンビニが1軒もなく、車のない老人には不便極まりなく思っています。スーパーが1軒ほしいと思っています。（女性、70歳代、福田地区）

高齢者福祉の充実

- 市民病院の救急受け入れについて。最近、高齢者世帯が増えており、かつ老老介護の世帯も多い中、認知症の介護をしていた介護者が倒れ、救急車を要請し救急搬送となる際、認知症の配偶者が1人で自宅に残されるといったケースがあります。市全体で支えていくとするならば、コロナの場合は別として、介護者と共に認知症の配偶者も救急車に乗せて、一旦病院で保護する措置ができると思います。その後はケアマネジャー、家族等に連絡し、連絡を受けた者が対応をするといった素早い対応ができる市民に優しい医療体制なのでは。（女性、50歳代、福田地区）
- 自宅を開放し、憩いの場所を提供して認知症予防に努めたい。（女性、60歳代、福田地区）
- 高齢者になっても生活しやすい街。（男性、50歳代、天竜・長野・於保地区）
- 高齢者が増え、車椅子の利用者が増えることが予測されるので、車椅子介助の方法を載せたパンフレットを各家庭に配布する。介助している動画を配信する。デマンドタクシーの運行範囲に磐田駅、御厨駅を含め、電車を利用しやすくする。（男性、60歳代、中泉地区）

- 住宅型有料老人ホームの建設、関連企業の誘致。 (男性、60歳代、福田地区)
- 高齢化社会に伴い、住みやすい生活環境を考える。交通網の整備。 (男性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 少子高齢化に向けて、介護老人への支援、援助、協力の拡充。ごみ捨て等の公的支援が必要。月に1回程度、引き取りに来てほしい。弱者救済、支援が必要。アンケート、ご苦労様です。少しでも磐田市が暮らしやすくなるといいです。 (男性、70歳代、天竜・長野・於保地区)
- ひとり暮らしの高齢者の生活支援をお願いします。 (男性、70歳代、竜洋地区)
- 老後の施設の整備。 (男性、80歳以上、福田地区)
- 以前、磐田市内の実家に住んでいた時、同居している祖母の紙おむつ券を利用させてもらいとても助かっていたが、家族の所得が少し増えただけでおむつ券全てが補助されなくなってしまい、辛かった。所得に応じて、券の枚数が決まる等していただけるととても助かる。おむつは毎日使用し、消耗品なのでとても大変。浜松に住んでいる知人に「磐田はしっぺいくんに力を入れていてすごい」と言われる。 (女性、30歳代、竜洋地区)
- 高齢者福祉をもっと充実させてほしい。 (女性、40歳代、福田地区)
- 高齢貧困にならない支援制度があるとうれしいです。65歳まで働き続け、市民税も支払って、年金だけではとても暮らしていけない状況が迫っています。 (女性、50歳代、竜洋地区)
- 今、コロナウイルスで外出を控えているひとり暮らしのお年寄りの人が心配です。いつ終息していくか、先の見えない状況です。不安を抱えています。そのような方々に支援を考えていただきたく思っています。 (女性、60歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

障がい児者福祉の充実

- 障がいのある人にも住みやすい環境、まちづくりをお願いします。 (女性、40歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

地域医療体制の充実

- 診療所に勤めております。医療物資の品薄が続く中、県やジュピロさんからマスク、フェイスシールド、消毒液等の御寄付、本当に感謝いたします。診療所はコロナ患者を受け入れていないとは言え、疑いのある患者さん達に対してもできる装備、対策を取り、当院長は日々使命感を持って治療にあたっております。これは他の診療所も同様かと思えます。磐田市は幸いにも現時点で感染爆発は起こっておりませんが、今後、感染者への偏見やウイルスに対する過度な恐れ、もしくは安易な判断が防止できるよう、県や近隣地域と連携していただき、市としての情報提供を継続していただけるよう何卒よろしくお願ひいたします。コロナ禍における市としての対応、いつも感謝しております。ありがとうございます。色々生意気な書き方ですみません。「頑張っています！感謝しています！」とお伝えしたくて。 (女性、40歳代、福田地区)

分野5 防災・消防・安全安心

危機管理・防災対策の推進

- オートキャンプ、キャンプ場の整備、総合公園の整備、災害時に利用ができるようにする！
(男性、40歳代、豊岡地区)
- 同報無線が聞きづらいので、有料でも無線の端末機を配布してほしい。(男性、60歳代、見付地区)
- 新型コロナウイルス等の感染によるパンデミック、東南海トラフ地震による津波、集中豪雨による水害等の対策を充実させ、安心して生活基盤を築くことができるまちづくり。周辺自治体に流されないトップの判断、早期の決断が不可欠です。
(男性、60歳代、福田地区)
- 防潮堤建設は県や国に任せっぱなしにしないで、磐田市自ら行動し、県や国を動かしていく。市職員の気概が足りない。
(男性、60歳代、竜洋地区)
- 市の人口を増やす。災害に強い安心安全な街。医療の充実。子どもや老人や障がい者の負担のない税金の安い街。
(男性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 豊岡地区がある磐田市北部は取り残されている。川床が埋まってすぐ災害が起きるため、河川の改修が必要。イノシシに田畑を荒らされ放題。
(男性、80歳以上、豊岡地区)
- 年1回の引取訓練等、小学校の地震に対する備えが甘すぎる。
(女性、40歳代、竜洋地区)
- 災害に強い安心した市になるために、農地から宅地の転用の制度を検討して、浸水、土砂災害の少ない農地にする。多目的ホールを地区に作る。災害時はそこへ避難できるように、多目的ホールは太陽光発電、蓄電、貯水タンク、災害時必要物品を保管する。以前、台風にて中学校の体育館に避難しましたが、トイレが少なく、暑くて床が硬くて、高齢者が早めに避難する気持ちになれないです。空振りであっても、早めに避難したい環境が必要です。多目的ホールは自治会管理で運営し、自動運転の車も活用できるといいです。多目的ホールには、子育て、介護、就労、産業等、何でも相談できる窓口があって、市民が孤立しないようになればいいと思います。
(女性、50歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 地震、津波が怖いなどと思って生活しているので、ちゃんと安心したい。訓練に参加していても不安だから。バスの路線を増やしてほしい
(女性、50歳代、福田地区)
- 避難場所にペットを同伴できるようにしていただきたい。
(女性、60歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 災害の時に避難場所に行くには徒歩で25分以上かかります。せめて徒歩で5分～10分くらいの所に避難タワーを設置してください。お願いいたします。
(女性、60歳代、福田地区)
- 磐田市は温暖な気候で暮らしやすいですが、近年各地で豪雨による甚大な被害が起きています。「天竜川も氾濫するのでは」ととても心配になります。火事や地震の防災訓練は何度もやっておりますが、洪水が起きそうな時のための訓練も必要かなと思います。(女性、60歳代、井通地区・青城地区)
- 同報無線放送の緊急速報が聞き取りにくく、よく分からないので、どこにいても内容がよく分かるように、聞き取れるようにしてほしい。
(女性、70歳代、中泉地区)

- 災害が多い中、これからどうやっていくかを知らせてほしい。海に近い所、川に近い所を災害がないうちに早くどのようにするのか考えてもらった方が。財政が厳しいと言うが、もっと計画して、高台等いい所をもっと適切に使った方がいいかなと思います。 (女性、70歳代、中泉地区)
- 各地で大雨による災害が増えています。そして思うことは、災害の起きた地形をよく見ると、起きるべくして起きたと感ずることが多くあります。磐田でも地盤の悪い所や崩れそうな所にも家を建てており、大雨や大地震が来れば被害が大きくなりそうです。ハザードマップが作られていても活用されていないのでは。個人の自由に任せていたらだめです。大きな見地から、開発すべきではない所は開発しないというのが本当の有効な土地利用だと思います。行政の力で区分を設けてほしいです。 (女性、70歳代、中泉地区)
- セクシュアルマイノリティのようなことよりも今は何が大切か。自然災害やコロナウイルスのこと、人の命に関わることをもっと真剣に考えて、磐田市民の命を守ることが大切なことではないですか。 (女性、70歳代、井通地区・青城地区)
- 今回の新型コロナウイルス感染症の拡大の時に思いましたが、市民にとって必要な対策や支援を早い段階で提供できるような市になってほしいと思いました。 (男性、20歳代、今之浦地区)
- 市民の命を大切に思う計画をして、第一にしてほしい。 (男性、60歳代、福田地区)

消防・救急体制の充実

- 今之浦の消防署を磐田病院の方の高台へ移転してほしい。災害があつたら、守ってくれる消防が一番先に機能不全に陥ると思うから。市民文化会館の移転により先に考える問題だと思う。 (女性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

市民生活の安全・安心の確保

- 人生の最期の時まで安心して暮らしていけるような対策、多様なことを相談しやすい窓口や環境の整備をしていただきたい。単身者や母子家庭等、どのような立場の人でも暮らしやすい環境を作る。 (女性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)

計画的な土地利用の推進

- 20～30年前、「西の豊田町、東の函南町」と発展活性化地域としての対比の言葉を聞いたように思いますが、豊田地域の息切れを感じます。函南、長泉、清水地域は大きな産業を聞かないですが、東京、三島、沼津とのベッドタウンとして伸びていると見えます。学び、参考となる面があるのではと思います。磐田市を見ましても、三方原のテクノ、半田地区の住宅地としての展開、袋井の山梨地区もしかりです。東名ICや新東名のスマートICを含んだ地域について、方向性は計画されていると思いますが、磐田市を含めた南北の動線施策は？旧1号線とクロスする新通り・岩井・三ヶ野・一言の南北道交差点の早目のスムーズな流れとなる対応が望まれると思います。

(男性、70歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 御厨駅近辺の市街地化。

(男性、20歳代、中泉地区)
- 新たに土地を開拓するのではなく、今ある土地、建物、舗装地を活用する。自然や景観を重視し、歩きやすい街を作る。大きな公園とその周辺にお店を構えて集客する。

(男性、40歳代、井通地区・青城地区)
- 良くも悪くも普通な街。歴史的、文化的、街並み、祭り、他の遠州地区と比べると、圧倒的に何もない。ジュビロードも死んでしまっている。古き良き街並み再建を望みます。

(男性、50歳代、井通地区・青城地区)
- 農地の転用。

(男性、60歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 御厨駅周辺は自然の雰囲気を残し、アパートや雑居ビル等は建設禁止とする。

(男性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 市街化調整区域の見直しをしてほしい。年寄りばかりで農業できない。(女性、60歳代、豊岡地区)
- 都市計画について、ある一定の街とか整備されていますが、何年も手も付けられず、忘れられている場所もあることも理解してほしいです。市内のあらゆる所に目を向け、考えてほしいです。

(女性、70歳代、中泉地区)
- 小規模農地が有効利用されず、高齢化で管理も困難です。民間の会社から、余剰農地の問い合わせが来ます。農地の利用方法を検討してほしい。

(女性、70歳代、豊岡地区)
- 家賃や光熱費が安ければ、収入が低くても豊かに暮らせると思う。まずは土地代を安くするところから。

(男性、30歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 浜松市の縁辺集落の考え方のような相続農地の有効活用。(女性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 磐田市の北の方は何もない。もっと田舎の方にも目を向けてほしいです。

(性別無回答、年代無回答、居住地区無回答)
- 暮らしを豊かにするためにとは違うかも知れないが、旧磐田市だけではなく、旧磐田郡のこともちゃんと考えてほしい。考えられているのか正直見えてこない。このアンケートでもそれを感じる。

(女性、40歳代、井通地区・青城地区)

公共交通体系と道路網の整備

- 渋滞にうんざりしている。森岡 I C から竜洋方向へ行く途中の県道413号線と県道262号線が合流する所の渋滞を解消してほしい。(男性、20歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 交通面でのお願いとして、市で管轄している(?)道路の車線等の整備があまりできていない気がして、危ない気がするので舗装をよろしくお願いします。(男性、20歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 渋滞を少しでも減らしてほしい。大きな企業の周りは車が多く、乱暴な運転が目立ち、危険になっている。自転車のルールの徹底した指導が必要だ。(男性、30歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 道路環境を凸凹の少ないものに改善したり、道路幅を拡幅したりして住みやすさを向上させる。これにより、住みやすいという印象を持ってもらう。新規移住者のための住宅区画整備を実施し、古くからの地域行事やしきたりに縛られない、自由な住環境を提供することにより、若い層の市内定着を促進させる。(男性、30歳代、天竜・長野・於保地区)
- 高齢化社会になるにつれて、バスのルート削減が多くなっている。代替えとしてタクシー利用の促進も図られているが、利用にあたっては「不便」、「使いづらい」との話もある。公共交通は赤字もやむを得ないと割り切って、福田、竜洋、豊田、豊岡の各地域から磐田駅、御厨駅を経由した市立総合病院のバスルートの確保は必要と考える。マイカー利用者も高齢者になれば免許返納も出てくる。法律の壁があるかもしれないが、タクシー利用も融通を利かせるような方向にしていってほしい。(男性、40歳代、見付地区)
- 掛塚橋の整備。(男性、50歳代、竜洋地区)
- ①歩道を整備すること。朝・夕に散歩する人が増えています。より整備が必要。②自転車道を整備すること。自転車が安心して走れるようになっていません。(男性、60歳代、竜洋地区)
- 特に北部、南部区内の公共交通体系と道路網の整備の強化。文化の振興を歴史遺産の整備活用、他地域への広報活動に期待します。(男性、60歳代、豊岡地区)
- バス運行路線がなくなり、公共機関へ行くにも不自由。磐田市南部の岡田の救急病院の利用できる内容が分からない。(男性、70歳代、天竜・長野・於保地区)
- 高齢者が増え、免許返納する人も増えると思うが、交通が不便で買い物や通院が大変困難。タクシーは高額で、デマンド型乗合タクシーも竜洋地区から磐田の開業医へは行けない。75歳以上は無料のスーパーや医療機関への循環バス等があれば、免許返納もしやすいと思う。竜洋地区から磐田主要地区へ行く交通手段がない。自分が将来免許返納を考える年齢になった時、今の環境ではとても生活できない。独居では特に無理。(女性、40歳代、竜洋地区)
- 道路を直す所は毎回同じ所ばかり。場所としては見付の通り。道の補修は全地域を確認してからにしてほしい。私の通る道はアスファルトが取れ、穴が開いている所が多い。車も自転車も危険である。よく見てほしい。交通量も多い所は歩道を作ってほしい。(女性、50歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 公共交通機関の利用が不便なこと以外は、住みやすく良い街だと思います。(女性、50歳代、井通地区・青城地区)

- 交通手段の不足。将来、住み続けられるか不安。子どもに頼りたくないが、交通の不便が大きく、年を取ったら自由に身動きが取れない。今の乗合タクシーをもっと気軽に使える、他の手段はないのでしょうか？高齢になったら、今いる場所は住みにくいです。（女性、50歳代、豊岡地区）
- 公共交通機関（特にバス）が前に比べて少なくなった気がします。バス自体をもう少し小さくして、街に出る機会があればと思います。自分自身は運転できますので今現在は問題ありませんが、いずれ来る体の老化（運転できなくなること）に対しての不安があります。（女性、60歳代、見付地区）
- 高齢者もしくは交通手段がない方の病院や買い物の際の移動等について、バス等の運行が減り、困っている。運行がないため、負のスパイラルが発生している。自分ももっと年を取り、車の免許を返納した後はどのように行動するのか、不安である。（女性、60歳代、福田地区）
- 核家族が増えているため、子育て、年を取ってからの交通手段等、それぞれの年代での不安があると思います。日常の生活に追われ、磐田市のまちづくり等考えることもなかったように思います。関心がないといえばそうなのでしょうか。市民としての意識が薄いことを自覚しました。（女性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区）
- 健康のためにも散歩している方を多く見かけます。磐田市は歩道を広くとってある所が多くあり、素晴らしいと思っています。これからも安全で、安心して市民がウォーキングできるよう、街路樹や歩道の整備をお願いします。（女性、60歳代、井通地区・青城地区）
- 運転免許証を返納した後の交通手段がないので不便です。訪問客を案内して楽しむ、よく整備された公園や場所がないのでさみしいです。グラウンドゴルフ等、老人が利用できる公園が少ないと思います。（女性、70歳代、見付地区）
- 県営住宅に住んでいる者ですが、今年9月末で遠鉄バスが通らなくなるので、これから買い物に行くためにどうしようと悩んでいます。70歳を過ぎた頃に免許を返納しましたので、これから先のことを思うとどうしようと困っています。せめて小型のバスでもいいので、1日2回午前午後にお願いしたいと思っています。よろしく願いいたします。（女性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- 長野地区に住んでいるが、駅北よりサービスを受けていないと思う。バスはなく、医療も少なく、スーパーもなし、道路はガタガタで危ない。なぜか狭い道路の方が舗装されていて、農家にばかり手厚い。商業活動している者には冷たいと思う。南部は農家ばかりではありませんよ。下水道も当分完備されないようで。（女性、70歳代、天竜・長野・於保地区）
- あちこちの路線バスが廃止になり、いつも行く銀行やスーパーの買い物はデマンドタクシーが行かないので不便。高いタクシー代でいつも行っている他の地区には、使っている銀行やスーパーがあるのに。スーパーや医院、銀行も他の地区からもデマンドタクシーが使えるようになればいい。スーパーも医院や銀行も近くにあるので使用させてほしいです。金額はそう変わりないですよ。普通のタクシーは高いです。（女性、70歳代、天竜・長野・於保地区）
- 出歩くことに不自由を感じている者として、近くでの買い物や通院する上で交通の充実を願うものであり、身勝手なことと思いますが、1人で行動できる間の移動手段が整えられていたらと考えております。子どもから高齢者まで元気に暮らせる街を望んでおります。（女性、70歳代、竜洋地区）

- お願いします。年々生活が不便になり、暮らしづらくなっていくようです。特に年配者、車のない人。路線バス東新町線、西貝で中止の件、医者、買い物等で皆さん困っています。今まで通りで願います。申し込み時間を1時間ごとにする、行き先を追加する等、デマンドタクシーの充実を。（女性、80歳以上、西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- 高齢者の自動車免許返納を推進し、その代わりに公共交通を充実させる。磐田駅へのアクセスを確保し、商店街を活性化させ、文化的施設もさらに充実させる。
(性別無回答、20歳代、井通地区・青城地区)

良好な住環境の整備

- 安久路川の近くをよく散歩しているのですが、ガードレールがないために幼い子どもが何度も足を踏み外して安久路川に落ちそうになりました。大雨等で川の水が増えている時に落ちると、けがだけでなく命の危険にさらされるかもしれないので、早くガードレールを設置してほしいです。近くに安久路公園もあり、幼い子どもがたくさん歩く場所なので、ご検討のほどよろしく願いいたします。
(男性、30歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 新しい家、店、会社等も増えていますが、外で安全に子ども達が遊べる場所も必要だと思います。公園でもいいですが、自宅から遠い所だと車移動になることが多いので、駐車スペースがあると助かります。街路樹も増やしていくと木陰等ができ、自然にふれあう機会が増えると思います。
(女性、40歳代、天竜・長野・於保地区)
- きれいな街並みを整備することが、市民の暮らしやすさ・幸福感に直結すると考えます。浜松市の大平台は理想の環境と感じました。道路・歩道の拡幅や緑の整備から建物による圧迫感の低減、子どもがどこでも遊べる安心感から自ずと地域のコミュニティが形成される。磐田市の街並みは古いままの所が多いと感じます。道が細く、建物が密集しがち。
(男性、20歳代、見付地区)
- IT基盤を強化していただきたい。
(男性、40歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 都市ガスの推進、不妊治療も含む妊娠、出産、子育て時の助成金の増加。
(女性、20歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 電車で浜松等から帰ってくると、駅がきれいだし、駅を出た空間もホッとして好きです。なぜかとても落ち着きます。自然に恵まれ、歴史に恵まれ、とても安心して住みやすい磐田で誇りに思っています。これから何年経っても、色々な面できれいな磐田であってほしいと思います。
(女性、50歳代、今之浦地区)
- 今之浦市有地の公園整備工事が進められていると思いますが、長年放置されてきた土地だけに、単に広い公園で終わるのではなく、魅力ある公園にしていきたいと思います。衣食住が足りて、なおかつ人が充実度を感じるのは、文化度の高さだと思います。文化的水準の高い所に人は集うと思います。元市民文化会館跡地も含め、ポリシーのある施設を目指していただきたいです。
(女性、60歳代、見付地区)
- 例として、公園には大きな木がなく、夏に涼しさを感じない。もっと市民が楽に過ごせる場所がほしい。
(女性、70歳代、竜洋地区)

- ここに書いていいかわかりませんが、地域にある公園が大きくて、草刈りにはとても悩みます。70歳で持病があり障がい者ですが、高齢とまではいかないので参加しています。公園関係は何とか市の方でお願いできませんか。後で寝込んだりします。(女性、70歳代、中泉地区)

水道水の安定供給と下水道の整備

- 私の住む地域はまだ下水道の整備、側溝、道路状態も相当悪く、取り残されたような気がします。もっとバランスの取れた住みよい生活のできる街にさせていただけるよう希望します。(男性、60歳代、井通地区・青城地区)

環境にやさしい社会の確立

- 私の子どもの頃に比べて、自然がなくなってきました。もっともっと子ども達が蝉取り、魚つかみ等できたらいいな。今之浦公園がどう変わるのか、期待しています。(女性、70歳代、見付地区)
- 公園や緑地に大きな花が咲く、大きくなる木を植える。何年か後、大木に大きな花が咲く、つつじが咲く、桜が咲く。大木の大きな花木の名前は分からない。郊外には植える所がいっぱいあるよ！(女性、70歳代、見付地区)
- 今、プラごみによる海洋汚染が深刻な事態となっており、我が家ではプラごみを少しずつ減らすため、できることから取り組んでおります。外国ではプラゴミを減らす活動は国レベルでスタンダードになっていますが、日本の意識は大変低いと感じています。インターネットで様々なプラごみ対策が挙げられています。そういったものの中から、誰にでもできそうなものを取り上げて広報等に載せることで、多くの人がプラごみを減らす活動を始めるきっかけになったらうれしいです。プラごみ削減は海洋汚染改善だけでなく、家計にも優しく、そして街の美しさにもつながります。磐田市が持続可能な社会を作るお手本として静岡県を引っ張って行ってほしいです。(男性、30歳代、井通地区・青城地区)
- 市民の暮らしだけを優先するのではなく、再生エネルギー利用拡大等、自然環境に大きく配慮し、自然との共存モデルシティとして注目され、その動きを全国に発信できるような市。環境破壊という言葉はかなり前から言われ続けているものの、その対策は日本ではあまり耳にしないように思う。個人の力では大きな動きにつなげるのはなかなか困難だと思うので、市のまちづくりで推進してもらえたらと思います。(男性、40歳代、岩田・大藤・向笠地区)
- 昨年より森林が削られ、整備されて少なくなってきた。茶畑や水田も減っている。緑地化事業を増やし、森林公園のようなネイチャーワールドを作ってほしい。磐田のシンボルであるトンボの保護を強化して、予算も増やしてほしい。トンボが年々見られなくなっている。フラワーパークのような花々を四季を通じて楽しめる公園を造成してほしい。新型コロナウイルスの流行で、外出自粛により県外に行けない。今回のコロナ禍で自然や植物、生物のありがたさがよく分かった。家庭ではなく、市内でもっと見て触って癒されたい！(女性、50歳代、見付地区)

- 街中の歩道の街路樹の剪定のことだけれど、夏になってもあまり枝が伸びず、道路に影を落とすこともなく、道行く人は暑さでたまらない。もっと緑の多い磐田の街並みにならないかと長年思っています。年配者や若者の散歩や乳母車で赤ちゃん、とてもじゃないけれど暑さでたまりません。冬の落葉や車の迷惑になるということかもしれないけれど、各地で緑の多い街並みもあります。磐田市もそうあってほしい。「あの道は散歩するのにいいね!」と言われるようになることが長年の夢です。
(女性、70歳代、見付地区)
- 先日、新聞で市長さんが山を自然に戻すような取り組みをされていることを知りました。皆、思っただけでもどうしたらいいか分かりませんでした。素晴らしいことだと思います。自然な山に戻し、きれいな水を蓄えて、実のなる木も植えて、動物達も守ってください。そうすれば人里に来ることもなくなり、山で生活できるようになると思います。保育や水道等、本当に大切なことはどんな時でも民間に移すことはやめた方がいいと思います。どうかこれだけは安全、安心を守るためによりしくお願いします。特別な病院を作り、一般の病院と別の場所の方が皆安心だと思います。やはりお母さんがしっかりとお子さんを抱きしめて、立派な子に育てるのではなく、やさしくて毎日を楽しむことができる子に育ててほしいです。お父さんはしっかりとお母さんを助けてほしいです。今、コロナで大変な時です。小児科の先生方が暑い時は小さい子どもさんは熱中症になりやすく危ないので、マスクを外すように大人が気を付けてと言われていています。街中でもこんな小さい子に暑いのに大丈夫かと心配で声をかけたくくなります。でも、個人では言えません。何か市の方からお子様を守るために何かいい方法でマスクを外すように教えてあげることができないのでしょうか。連日35℃近くの暑い日です。どうぞ子どもさんを守ってください。よろしくお願い致します。(女性、80歳以上、見付地区)

快適な生活環境の確保

- 磐田市全体で町のごみ拾いを定期的に行なう。「磐田に住んだらこんなメリットあるよ」というのが丸分かりできるガイドブックみたいのがあるといい。ごみ捨てのルールがいまいち分かりづらい。ジュビロが強くなるようにもっと資金面や広報等やってほしい。
(男性、30歳代、天竜・長野・於保地区)
- 街中の道路の至る所に雑草や道路にはみ出た雑木、ごみの散乱が見られる。浜松や掛川にはあまり見られない。道路の標識や消えかかった横断歩道、停止線が多い。車が脱輪しそうな危険な路肩が多い。見えにくいカーブミラーが多い。市内の道路整備が疎かになっているので、力を入れていただきたい。
(男性、50歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 磐田市に引っ越してきた時はごみ出しでうつになってしまいました。それに比べ、今は出しやすくなりました。ありがとうございます。
(女性、60歳代、見付地区)
- 豊岡村の時代は、家の裏の側溝を何年かに一度清掃してくれた。市になってからは、申請しても予算がないとのことで行なってもらえなくなりました。市になって、豊岡地区の予算は減っているのでしょうか。
(女性、60歳代、豊岡地区)

- ごみのない街にしてほしい。自宅や田畑にごみを捨てられる。たばこ、ライター、マスク、乾電池、おもちゃ、パンの袋や空き缶、コーヒーカップ、お弁当のパック等、あらゆるごみを投げ込まれます。県道沿いにあるからでしょうか。近くの公園もごみだらけです。シルバー人材(?)の方が草を刈ると、草に隠れていたごみがたくさん出てきてびっくりしました。拾っていただけたらうれしかったです。こんなごみだらけの街はいやです。何とかしてください。散歩でごみ拾いとかどうか。散歩やウォーキングをしている人をたくさん見かけます。散歩の途中でごみを拾ってもらって、市役所や支所、交流センター等に分別ゴミ箱を置いて散歩中に拾ったごみを入れてもらう。拾ってくれた人には「ありがとう」とそこにいる職員の方は必ず言う。感謝の言葉をかけられたらうれしいと思います。子ども達にも拾って入れてもらったら、将来ごみをポイと捨てない大人になってくれるかも。ごみゼロ、ゼロイワタの歌を作って歌うとか、「ごみゼロイワター」と大きな声で歌いたいです。

(女性、60歳代、豊岡地区)
- いつも思うが、年2回くらい見付旧道と外路道の草取りをするが、その周りの草を取ってほしい。また、道に面している人は草を取ってほしい。「自分には関係がない」と思っているかも。店の前が草でいっぱいでは私はいやな思いをしている。いつもきれいな歩道になってほしい。

(女性、70歳代、見付地区)
- 防犯カメラを取り付け、運送会社等の事業者の周りの側溝の掃除をするように。今ノ浦川の土手の草刈りを年2回ですが、草が生えたらすぐ刈るようにしてください。ものを落として行く人が多いので。

(女性、70歳代、今之浦地区)

効率的・効果的な行政運営の推進

- 今は何でも「スマホで」、「パソコンで」とインターネットの環境と知識がなければ受け取れない情報が増えている。高齢のひとり暮らしの方等が住みにくい街になっているようで悲しく思う。誰もが等しく情報を得られるような仕組みを考えられればと思う。助けてほしい人と助けてあげたい人のコーディネートがうまくできていないと思う。赤ちゃんから高齢者までうまく結び付けられるコミュニティを市内の細部に渡って作ることができたらとても素晴らしいと思う。（女性、50歳代、中泉地区）
- 日常で感じた不満やいいと思った点を気軽に打ち上げられる仕組みがあるといいと思います。すべにあるならば、もっとアピール等する。（男性、20歳代、見付地区）
- インターネット環境を利用した、窓口の事前予約システムがあればさらにいいと思います。（男性、20歳代、中泉地区）
- マイナンバーを登録し所得証明を取ったのに、データが反映されるのが遅く、証明書が事務で求めていたものではなかったので利用できなかった。何のためのマイナンバーなのか。コンビニで使えなければ、結局平日に休みを取り、市役所に行って証明をもらわなければならないので意味がない。コンビニでの申請費用も2回分、無駄になった。とにかくデータの反映が遅すぎる！（男性、30歳代、見付地区）
- 各個人が自らの生活を豊かにする行動を繰り返していくことが大事だと考えます。市はそのサポートの充実という一番の基本が改めて重要だと受け止め、その手助けをすることに焦点を当ててもらえればと思います。（男性、30歳代、中泉地区）
- 新型コロナウイルスの影響は、法人にも個人にも大きなものとなっています。国からの助成金等により、事業、家庭の消費についての支援がありました。資金繰りについて余裕ができたことは事実ですが、正直、事業も家計も財政状況は厳しいことには変わりありません。磐田市として、独自支援策を検討した方が他県、他市にもアピールとなり、今後の磐田市の発展に繋がると思います。（男性、30歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- 年表記を元号から西暦へグローバル対応に変えられないものか。今は令和になったばかりで問題ないが、数年すると今が何年なのか分からなくなる。平成時代は都度計算しないと今が何年なのか分からなかった。（男性、40歳代、中泉地区）
- インターネットやSNSを有効活用し、市民やそれ以外の方達から広く意見や提案を受け入れられる仕組み・制度の構築をし、その提案を職員の課題として与え、課題に取り組み、一つ一つ解決していく活動が大事だと考えます。企画や課題を外部委託するのではなく、自ら考え、体を動かして実現していくという取り組みをしている姿を市民が見ることで、市政と市民の一体感が高まっていくものだと考えます。自分達は机に座っているだけで動かないのでは、市民の関心を得られるものではありません。また市民や職員からの意見や提案でいいものがあつた時は、市民表彰制度を作る等して評価、承認することも同じく大事なことと考えます。（男性、40歳代、竜洋地区）

- 磐田市以外の「人、もの、金」を活用する。川勝知事、隣接首長を磐田市長が招き、公開懇談を開催し、市長の魅力化を通じ、帰属意識を醸成させる。県西部合同庁舎の機能を活用し、総合防災訓練の会場を提供し、市民を参加体験させ、行政に参画させることで市行政力を通じ、市民のモチベーションを高揚させる。 (男性、50歳代、見付地区)
- 少数意見の尊重もいいが、常識の範囲にしないと市政・県政・国政までおかしな論調になるのが今の日本。損得より正しい仕事、あるべき姿をもたないといけない！ (男性、50歳代、見付地区)
- 人口20万人以上を目標に。 (男性、50歳代、中泉地区)
- 行政の行なうことが分かりにくい。常に情報をスムーズに開示し、情報提供を行なう。 (男性、50歳代、豊岡地区)
- 磐田市のイメージと言えば、サッカーのジュビロ磐田やラグビーの印象が県外者に強い。県内外の市町村でも同じことが言えますか。他県内問わず他市町村のいい所に積極的に取り入れて活性化していただきたい。誰でも分かりやすい市政運営を心がけていただきたい。市民目線の対応に心がけていただきたい。 (男性、60歳代、天竜・長野・於保地区)
- インターネットやSNS等、デジタルの活用と言われていますが、これから高齢化が進む中、誰にでも使いこなすことができる社会を磐田市には期待しています。 (男性、60歳代、豊岡地区)
- 今まで決定した事柄が多々あるとは思いますが、今後いつまでこのような社会経済が続くのか分かりません。再度、見守り、見直すという決定をしてもいいと思います。それが今後、将来の暮らしを豊かにしていくと思います。特に箱もの関係。 (女性、40歳代、見付地区)
- 保守的であることは悪いことではないと思いますが、柔軟性を持った対応、スピード感も必要だと思います。 (女性、40歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 昨年、家族を亡くしましたが、手続きが分かりにくく、大変でした。浜松市ではHPで「おみとりガイド」という手続きに必要な情報をダウンロードできたり、他の市でも1つの窓口に行けば全てが済むような取り組みをしたりしています。磐田市でもそのような取り組みを是非していただきたいです。 (女性、40歳代、竜洋地区)
- 国や大手マスコミに迎合しない、地道で独自の施策を行なってほしい。また、そのような人材の投入。 (女性、40歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 税金の負担を少なくする。 (女性、50歳代、豊岡地区)
- 何事にも事務的なことではありません。少し広い視野を持って行動してもらいたい！ (女性、60歳代、天竜・長野・於保地区)
- 市民が安心、安全、心豊かな生活を送るためには、行政の役割は大きいと思う。合理化、簡素化、財政引き締めで囚われて、市民の要望と掛け離れた政策にならないようお願いしたい。また、コンプライアンスを重視し、ミスや不祥事のない市政を望む。 (女性、60歳代、天竜・長野・於保地区)
- 市政に関わる皆さまに感謝しております。市民の皆さまの向上こそが夢を作り上げるのだと思っています。意識改革あるのみです。今回の調査に回答させていただき、誠にありがとうございました。 (女性、60歳代、福田地区)

- 新型コロナウイルスについてですが、大きいイベント・サークルは当然ですが、地域の小さい集まりでも磐田市独自でしっかり方向性を示してほしいです。人数や流行先から市内に人が入ってこない等、少しでも感染を防げたらと思います。 (女性、60歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- 今のご時世、パソコンやスマホ等で色々な情報を取り入れられていますが、持っていない方々もいると思います。しかし、何かと「インターネットのホームページやSNSで情報を活用してください」等ばかりです。私は持っていないのでいつも腹立たしい思いをしていますし、横文字が多すぎます。日本人なら日本語をしっかりと話すべきではないですか。 (女性、60歳代、井通地区・青城地区)
- 職員が机上でパソコンを開いているのですが、本当にちゃんと仕事をしているのかと思う時があります。支所の職員の数は減っているのに、本所にあれだけの人数は必要ないと思う。同じように減らしてはどうですか。 (女性、60歳代、豊岡地区)
- 効率的・効果的な行政運営の推進。 (女性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 職員が一人ひとり自分の仕事をしっかりとすることが大事だと思います。工事中の柵が3月からずっと置いてある公園もあります。住みたくなる街にするのは、市民もそうですが、職員もそう思うかが大切だと思います。 (女性、70歳代、福田地区)
- 分かりやすい広報、情報公開を続けてほしい。縁の下の力持ちとして目立たないボランティア的な活動に市民の意識が向くこと。心理面も含めた青少年の教育を励ましと共に。「自分達だけよければ」という利己主義が強くなっている若い人達は将来、平和・公正な社会に向けての環境（メディア等は浮ついた派手さが目立つ）にも注意を向けるように仕向けてほしい。 (女性、80歳以上、中泉地区)
- 夢のある町に。 (男性、60歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 総合力ナンバーワンの街が必要か分からない。市民が平等に満足する磐田市にしてもらいたい。 (男性、60歳代、福田地区)
- 人間一人ひとり信じ合える社会を目指して、何でもありの時代は考え直す時期だと思います。バブル時代に成長した、現在は親になっていたり、社会政策に携わっていたりする人達は、自由は求めるが責任はそっちのけ。ものが溢れる中、どういうものが大切か。例えば、野菜の本当の味。栄養がほとんどない。人口減少に合わせ、ものも大量からいいもの（本物）を！よろしくお願いします。 (女性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- 幸福度の高い市としてベスト3に入れるような磐田になるよう、公私一体となって努力し、子ども達へ引き継げるといいですね。 (女性、70歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- コロナの影響で色々なことに変革が起きます。多くのことに先見の明を持って取り組んでほしい。テレワークのやりやすい環境作り。海外からの移住者受け入れ、労働、交流、言語対応。IT機器を取り入れたまちづくり。福祉設備、労働者、労働環境、給与の充実。海外姉妹校等を使った教育の国際交流。お金の教育、投資、英語以外の言語等、実社会で役立つ独自教育。今後、結果が出る人への支援。卓球はすでに結果が出たので、継続的支援は必要だが積極的支援は必要ない。先日、有名Y o u T u b e rに勝利した格闘家は所属ジムが磐田市内にある。これから伸びる、スポーツ選手や企業家等に支援した方が助かるし、市のアピールにもなる。(男性、30歳代、井通地区・青城地区)
- このアンケートについて。問いが多すぎて、見て回答する気が失せます。もう少しシンプルにならないか、検討を。私がもう意欲がないのか。分からない内容が多すぎでした。ご苦労様です。
(男性、70歳代、竜洋地区)
- もうすぐ喜寿を迎えるひとり暮らしの女性です。市政についての関心は、今まで一切なく過ごしてきました。ご近所の皆さんと楽しく毎日を過ごし、穏やかな生活です。この意識調査のおかげで老人でも考えなくてはならないことがたくさんあると思いました。今後は、市の広報をしっかりと読ませていただきます。
(男性、70歳代、富岡・豊田東・池田地区)
- こちらの意識調査等、市民に協力を求める書面において、回答率を増やすためにQRコードを送付いただき、W e b回答可能にさせていただきたいです。回答者の手間も省かれ、また郵便コストの削減や配達員の負担も軽減されるかと思えます。W e b回答が不可であるご家庭に關しましては、QRコード送付と同時にW e b回答不可であると返信できるようにし、後日こういった書面を対象のご家庭に送付し、回答いただけるようになればなと思いました。
(女性、30歳代、西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- かなり面倒なアンケートだったと思います。費用もかかっていると思うので、有意義な使われ方をしていただけるといいと思います。次回はW e b回答も加えられてはいかがでしょうか。
(女性、50歳代、中泉地区)

持続可能な財政基盤の確立

- 天神社、府八幡宮に代表される山紫水明な故郷であると思っているし、そうであり続けてほしいと考えています。温故知新の例にならい、新しい生活様式にチャレンジして行くべきだと考えます。そのためには財源獲得、行政組織のスリム化、高齢者等の活用を積極的に行なうべきだと思います。
(男性、70歳代、見付地区)
- 地方財政はコロナウイルスの影響で短期的に回復は困難だと思う。市は市民に十分説明して、今後税収の低下を考え、自力解決するように指導することが望ましい。無駄な施設は即刻廃止にして、不況を乗り切る方策をお願いします。
(男性、80歳以上、竜洋地区)

機動的な組織体制の構築と人材の育成

- 市職員は中途採用を多くし、ファシリティを活用できる人材を多く確保し、磐田市の資源をより活かせる組織に変革する必要がある。浜松市がファシリティを活用できている行政だと思われる。
(男性、50歳代、豊岡地区)
- コロナの影響で各地で今まで行なってきたイベントや催し物、また地域での行事等が全て中止等になっているので、市の職員及び関係者の給与も下げざるを得ないと思います。また、この状況が長引くことを考えると、今のうちに現在の職員や関係者の人数は半分以下でも進めて行くことができるはず。税金や余分な経費が抑えられ、市民の生活や負担が今までよりはよくなると思われま
す。
(男性、60歳代、豊岡地区)

VI 調査票

令和2年度（2020年度）

磐田市市民意識調査

《回答ご記入上の注意》

1. **宛名の方ご本人**が回答をご記入ください。
2. 事情により、ご本人様がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。
3. 調査票や返信用封筒（切手不要）にお名前を書いていただく必要はありません。
無記名でお答えいただきますので、どなたがお答えしたかわからないようになっています。
4. お答えいただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。
5. 回答は回答欄の番号に○印を、また（ ）内には具体的にお書きください。
6. この調査票は、**両面印刷**になっています。記入漏れのないようご注意ください。
7. 市民の皆様のお考えを行政に反映させるため、できる限り、すべての質問項目に回答していただきますよう、お願いいたします。
8. なお、問4・問24～26・問40～41をご回答の際には、別添資料を併せてご覧ください。
9. 回答の記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、**8月11日（火）**
までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにお近くのポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】 磐田市企画部秘書政策課 政策・行革推進グループ

〒438-8650 磐田市国府台3番地1

電話：0538-37-4805

FAX：0538-36-8954

E-mail:kikaku@city.iwata.lg.jp

第1章 磐田市のまちづくりについて

1 磐田市の取り組みについてお聞きします。

問1 市政全般についてどの程度満足していますか？〈○印を1つ〉

- | | | | |
|------|--------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 |
|------|--------|--------|------|

問2 市役所の仕事ぶりについてどの程度満足していますか？〈○印を1つ〉

- | | | | |
|------|--------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 |
|------|--------|--------|------|

問3は、問2で「3 やや不満」又は「4 不満」とお答えの方にお聞きします。←

問3 その一番の理由は何ですか？〈○印を1つ〉

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 職員の対応や態度が悪い | 2 仕事が遅い・待たされる |
| 3 利用時間が不便である | 4 仕事が縦割りである |
| 5 手続きがわかりにくい | 6 職員にコスト意識がない |
| 7 仕事のやり方に柔軟性がない | 8 職員の責任感が足りない |
| 9 その他() | |

次ページに続きます。→

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？記入例を参考に、それぞれ最も近いものを選んで○をつけてください。〈○印をそれぞれ1つ〉

※基本施策の主な内容は、別添資料（1～4ページ）をご参照ください。

分野	最も近いものに○印を1つずつ⇒ 基本施策	満足度				重要度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
例	例 ○○○○○の推進	1	②	3	4	①	2	3	4
産業・雇用・観光・移住定住	① 元気な農林水産業の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 産業を担う人材の育成・就労の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 移住・定住の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
自治・スポーツ・文化・歴史・共生	⑦ コミュニティと市民活動の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧ スポーツの振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨ 文化の振興と歴史遺産の整備、活用	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩ 学習機会の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑪ 共生社会の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
子育て・教育	⑫ 子ども・子育て支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑬ 特色ある教育の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑭ 子ども・若者の健全育成	1	2	3	4	1	2	3	4

分野	最も近いものに○印を1つずつ⇒ 基本施策	満足度				重要度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
健康・福祉	⑮ 地域福祉の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑯ 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑰ 障がい児者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑱ 健康づくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑲ 地域医療体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
防災・消防・安全安心	⑳ 危機管理・防災対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉑ 消防・救急体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉒ 市民生活の安全・安心の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
都市基盤・環境	㉓ 計画的な土地利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉔ 公共交通体系と道路網の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉕ 良好な住環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉖ 水道水の安定供給と下水道の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉗ 環境にやさしい社会の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉘ 快適な生活環境の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
行財政改革	㉙ 効率的・効果的な行政運営の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉚ 持続可能な財政基盤の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉛ 機動的な組織体制の構築と人材の育成	1	2	3	4	1	2	3	4

問5 問4の①から⑩の取り組みのうち、今後、特に重要であると思うもの、優先すべきものはどれですか？5つまで選んで、優先度の高い順にその取り組みの番号を記入してください。

優先度	← 高い → 低い				
番号					

問6 日本全体が人口減少局面を迎えているなか、磐田市では、2060年（令和42年）に総人口13万6千人を確保することを目指しています。（※2020年3月末人口：16万9,673人）問4の①から⑩の取り組みのうち、人口減少問題に対して特に重要だと思うものはどれですか？5つまで選んで、その取り組みの番号を記入してください。

番号					
----	--	--	--	--	--

2 まちへの想いについてお聞きします。

問7 あなたは磐田市に愛着や親しみを感じていますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 おおいに感じている | 2 少し感じている |
| 3 あまり感じていない | 4 まったく感じていない |

問8 磐田市が最も誇れるもの、あるいは磐田市を最も象徴するものは何だと思えますか？

〈○印を1つ〉

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史遺産 | 2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 |
| 3 山や森などの森林資源 | 4 桶ヶ谷沼などの自然環境 |
| 5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 | 6 メロンやお茶、シラスなどの特産品 |
| 7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化 | |
| 8 ジュピロ磐田などのスポーツ資源 | 9 住んでいる人や出身者などの人 |
| 10 その他（ | ） |
| 11 特にない | |

問9 これからも磐田市に住み続けたいと思えますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 2 当分の間、住み続けたい |
| 3 できれば市外に転出したい | 4 市外へ転出したい |

問10 磐田市は暮らしやすいと思えますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 暮らしやすい | 2 どちらかといえば暮らしやすい |
| 3 どちらかといえば暮らしにくい | 4 暮らしにくい |

問 11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？

<「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで>

	暮らしやすいところ (○印を3つまで)	暮らしにくいところ (○印を3つまで)
① 公共交通機関が	充実しているから	不十分であるから
② 医療サービスが	充実しているから	不十分であるから
③ 福祉サービスの水準が	高いから	低いから
④ 子育ての環境が	整っているから	整っていないから
⑤ 子どもの教育環境が	充実しているから	不十分であるから
⑥ 公園などの憩いの場が	豊富であるから	乏しいから
⑦ 文化活動を行う場が	豊富であるから	乏しいから
⑧ スポーツをする場が	豊富であるから	乏しいから
⑨ 街並みが	美しいから	美しくないから
⑩ 娯楽施設が	充実しているから	不十分であるから
⑪ 働く場所が	多いから	少ないから
⑫ 住まいの環境が	良好であるから	良好でないから
⑬ 近隣の人々とのきずなが	強いから	弱いから
⑭ 災害が	少ないから	多いから
⑮ 公害が	少ないから	多いから
⑯ 上下水道が	整備されているから	整備されていないから
⑰ その他	[]	[]

問 15 は、問 13 で地域活動に「10 参加していない」と答えた方にお聞きします。

問 15 あなたが、地域活動に参加していない主な理由は何ですか？〈○印を1つ〉

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 活動の情報（回覧板など）がないから | 2 活動の日程が合わないから |
| 3 一人では参加しづらいから | 4 活動時間が長いから |
| 5 人間関係が面倒だから | 6 興味がある活動がないから |
| 7 活動の必要性を感じていないから | |
| 8 仕事をしているため参加する時間がないから | |
| 9 その他（ | ） |

全員にお聞きします。

問 16 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきものは何だと思えますか？

〈○印を2つまで〉

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1 活動機会の情報提供 | 2 相談窓口の充実 |
| 3 リーダーの育成や研修 | 4 小・中学校と地域との連携 |
| 5 交流センターの使いやすさ | 6 交流センターの整備 |
| 7 活動に対する補助金・助成金 | 8 地域づくり協議会 ^{※1} 等組織の育成・強化 |
| 9 組織・団体をつなぐ連絡体制 | 10 その他（ |
| 11 わからない | ） |

※1 地域の連携体制や団体・活動の見直しなど、地域課題への対応策を考える組織

5 福祉についてお聞きします。

問 17 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきものは何だと思えますか？〈○印を2つまで〉

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 ボランティアなどの参加の促進や支援 | |
| 2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 | |
| 3 身近なところでの相談窓口の充実 | |
| 4 在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実 | |
| 5 保健福祉医療に関する情報提供や制度案内の充実 | |
| 6 専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実 | |
| 7 高齢者や障がいのある方の入所施設の充実 | 8 学校での福祉や保健に関する教育の充実 |
| 9 保育サービスなどの子育て支援の充実 | 10 低所得者福祉の充実 |
| 11 道路・商店・病院・公共交通機関などのバリアフリー化 | |
| 12 介護予防教室などの健康の維持・増進 | 13 高齢者の生きがいづくり |
| 14 子どもと触れ合うなど、世代間交流の促進 | 15 公共交通など移動手段の確保 |
| 16 その他（ | ） 17 わからない |

6 子育て・教育についてお聞きします。

問 18 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきものは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

- 1 幼稚園や保育園、こども園などの施設整備
- 2 延長保育、一時保育などの保育サービスの充実
- 3 子育てに関する情報提供や相談体制の充実
- 4 健康診査や家庭訪問などの母子保健対策の充実
- 5 放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
- 6 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備
- 7 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化
- 8 子どもを持つ親同士が交流できる機会の充実
- 9 子育て家庭に対する経済的な支援
- 10 手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備
- 11 産科・小児科医療の充実
- 12 子どもの発達支援対策の充実
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問 19 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきものは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

- 1 地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
- 2 健やかでたくましい心身の育成
- 3 いじめを未然防止する「心の教育」の充実
- 4 小中一貫教育の充実
- 5 「確かな学力」^{※1}の育成
- 6 ふるさどについて学ぶ機会の充実
- 7 一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実
- 8 教師の指導力の向上
- 9 学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実
- 10 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
- 11 1クラス 35 人以下とする少人数学級制の推進^{※2}
- 12 その他 ()
- 13 わからない

※1 学習する意欲・学習に必要な技能・自分で考えていく力等を総合した力

※2 磐田市では平成 21 年度から小中学校の全学年で少人数学級を実施

7 広報・広聴についてお聞きします。

問20 磐田市では、市の行事や行政サービスなどをお知らせするために、様々な広報活動を行っています。あなたは、普段、市からの情報を何を通じて得ていますか？

＜該当するものすべてに○印＞

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 広報いわた | 2 磐田市ホームページ |
| 3 議会だより「いわた羅針盤」 | 4 いわたホットライン ^{※1} |
| 5 磐田市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）など | |
| 6 自治会などの回覧板、掲示板 | 7 市の発行するパンフレットやチラシ |
| 8 磐田市情報館 ^{※2} | 9 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース |
| 10 SBSラジオ「磐田市情報館発！磐田情報局」 ^{※3} | |
| 11 公共掲示板（駅掲示板・デジタルサイネージ ^{※4} など） | |
| 12 知人・友人から | 13 市議会議員や市役所職員から |
| 14 民生委員や自治会から | 15 市の窓口や電話などでの問い合わせ |
| 16 その他（ | 17 特に情報は得ていない |

※1 携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、防犯や子育て、イベント、同報無線放送内容など利用者が希望する項目を選択、登録することで、リアルタイムに情報を受け取れるサービス

※2 「ららぽーと磐田」内にある観光や産業をはじめとした市内の各種情報発信拠点

※3 SBSラジオ放送を活用し、「商工」「観光」など磐田市の旬な情報を毎週金曜日に発信

※4 近くにいる人や通りすがりの人に案内情報や広告などを表示する装置で、看板やポスターなどを電子化したもの

問21 磐田市の魅力を全国に発信していくために、どのようなことが特に有効だと思いますか？

＜○印を2つまで＞

- | |
|---|
| 1 インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化 |
| 2 様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信 |
| 3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 |
| 4 民間と連携した情報の発信 |
| 5 近隣自治体と連携した広域的な情報発信の推進 |
| 6 磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開 |
| 7 イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開 |
| 8 都心部などへの情報発信拠点（アンテナショップ ^{※1} など）の整備 |
| 9 観光パンフレット・マップの充実 |
| 10 地域ブランドの開発と売り込み（支援） |
| 11 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 |
| 12 フィルムコミッション ^{※2} による撮影誘致 |
| 13 その他（ |
| 14 わからない |

※1 地方自治体が東京・大阪などの繁華街で地元の特産品などを販売する店（サテライトショップなどとも言う）

※2 映画、テレビドラマ、コマーシャル等のロケーションの誘致と受入れ体制を整えた組織

8 行政運営についてお聞きします。

問22 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、今までの行政サービスをすべて同じ水準で維持することは難しい状況です。このような時代を迎え、これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についてどう思いますか？<○印を1つ>

- 1 行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない
- 2 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担(例：公共施設利用料金等)が増えることはやむをえない
- 3 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問23 磐田市においても行財政改革を推進し、効率的な行政運営に努めているところですが、今後さらに進めなければならないことは何だと思えますか？<○印を2つまで>

- 1 行政組織を簡素・合理化(職員の適正配置等)する
- 2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする
- 3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる
- 4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中)
- 5 職員の意識改革を行う
- 6 行政内部の経費の適正化・削減を徹底する
- 7 政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う
- 8 自主財源を増やす
- 9 コンプライアンスの徹底
- 10 その他 ()
- 11 わからない

9 SDGsの取り組みについてお聞きします。

※SDGsについては、別添資料（5ページ）をご参照ください。

問24 あなたは、SDGsを知っていましたか？〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 名称も内容も知っていた | 2 名称は知っていたが、内容は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

→問25は、問24で「1 名称も内容も知っていた」又は「2 名称は知っていたが、内容は知らなかった」とお答えの方にお聞きします。

問25 あなたは、SDGsについてどの程度関心がありますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

全員にお聞きします。

問26 SDGsの17の目標（ゴール）のうち、今後の市政において特に優先すべきと思う目標（ゴール）はどれですか？別添資料5ページの「SDGsの17の目標（ゴール）一覧」から特に優先すべきと思うものを選んで、その目標（ゴール）の番号に○をつけてください。

〈○印を3つまで〉

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナリシップで目標を達成しよう | |

11 新型コロナウイルス感染症についてお聞きします。

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭の収入には変化がありましたか？

<○印を1つ>

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 極めて大きく減少した (約8割以上) | 2 大きく減少した (約5～7割) |
| 3 減少した (約3～4割) | 4 やや減少した (約1～2割) |
| 5 変化はなかった | 6 増加した |

問 31 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なことは何だと思えますか？<○印を2つまで>

- | |
|--|
| 1 市内経済の活性化 |
| 2 安定的な雇用の確保 |
| 3 感染防止のための基本的な対策 (密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など) の推進 |
| 4 テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進 |
| 5 治療や療養のための医療体制の確保 |
| 6 検査体制の強化 |
| 7 日常生活の維持が困難となっている世帯への支援 |
| 8 感染防止に配慮した地域コミュニティ活動の継続 |
| 9 治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止 |
| 10 その他 () |

12 磐田市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください。

問 32 市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案 (アイデア)、磐田市の将来像や夢をお持ちでしたら、ぜひ、お聞かせください。

第2章 共生社会について

13 男女共同参画社会についてお聞きします。

問33 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

問34 あなたは、次のような分野で女性の意見がどの程度反映されていると思いますか？記入例を参考に、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。〈○印をそれぞれ1つ〉

分野	選択肢	十分反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	ほとんど反映されていない	わからない
例	○○○○などの場	1	②	3	4	5
①	市議会などの政治	1	2	3	4	5
②	市などの行政	1	2	3	4	5
③	企業などの職場	1	2	3	4	5
④	地域づくり協議会や自治会、PTAなどの地域	1	2	3	4	5

問35 男女ともに家庭生活や地域生活、仕事の場で活躍していくためには、特に必要なことは何だと思えますか？〈○印を2つまで〉

- | |
|--|
| 1 家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと |
| 2 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること |
| 3 社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること |
| 4 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること |
| 5 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること |
| 6 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設けること |
| 7 性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること |
| 8 女性自身が責任ある立場につくことへの抵抗感をなくすこと |
| 9 育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること |
| 10 子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること |
| 11 その他 () |
| 12 わからない |

14 多文化共生社会についてお聞きします。

問36 地域で暮らす外国人が増えるとうなると思われますか？<該当するものすべてに○印>

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 地域活動の担い手が増える | 2 地域や経済の活性化につながる |
| 3 外国語を学ぶ機会が増える | 4 日本の文化が損なわれる |
| 5 日本人の仕事が奪われる | 6 治安が悪化する |
| 7 その他 () | |

問37 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なことは何だと思えますか？<○印を1つ>

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 お互いが日常的にあいさつする | 2 外国人の地域活動への参加を促す |
| 3 外国人が日本語を身につける | 4 外国人に地域のルールや習慣を伝える |
| 5 お互いの文化・習慣を学ぶ | 6 その他 () |

問38 あなたが生活している地域では、防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民は参加していますか？<○印を1つ>

- | | |
|------------|----------------|
| 1 よく参加している | 2 ときどき参加している |
| 3 参加していない | 4 参加しているかわからない |

問39 防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民の参加を促すために必要なことは何だと思えますか？<該当するものすべてに○印>

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 外国人に自治会への加入を促す | 2 多言語で案内チラシを作成する |
| 3 日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する | |
| 4 外国人を雇用する企業に協力を依頼する | 5 その他 () |

15 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）についてお聞きします。

※セクシュアルマイノリティについては、別添資料（6ページ）をご参照ください。

問40 あなたは、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていましたか？<○印を1つ>

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問41 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）と言われる方々は、周囲の理解不足や偏見などにより、社会の中で様々な困難に直面しています。あなたは身近な人（家族・友人等）から、セクシュアルマイノリティであると打ち明けられたとき、受け入れることができますか？<○印を1つ>

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1 受け入れることができる | 2 受け入れることはできない | 3 わからない |
|---------------|----------------|---------|

第3章 回答者ご自身について

16 最後に、あなた（回答者）ご自身についてお聞きします。

問42 あなたの性別をお答えください。〈○印を1つ〉

- | |
|------|
| 1 男性 |
| 2 女性 |

問43 あなたの年齢をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80歳以上 | |

問44 あなたの職業をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 勤め人（会社員・公務員・団体職員） | 2 会社・団体の役員 |
| 3 農林漁業の自営業 | 4 商・工・サービス業等の自営業 |
| 5 自由業・専門的職業（開業医、弁護士、芸術家等） | |
| 6 パート・アルバイト | 7 学生 |
| 8 専業主婦（夫） | 9 無職 |
| 10 その他（ | ） |

問45 あなたの主な通勤・通学先をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | | |
|--------|--------------|--------------|----|
| 1 自宅 | 2 磐田市内（自宅以外） | 3 浜松市（ | 区） |
| 4 袋井市 | 5 森町 | 6 掛川市 | |
| 7 その他（ | ） | 8 通勤・通学していない | |

問46 ご家族の構成をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|---|
| 1 単身（ひとり暮らし） | 2 一世代（夫婦のみ） | |
| 3 二世世代（親と子） | 4 三世世代（親と子と孫） | |
| 5 兄弟姉妹 | 6 その他（ | ） |

問47は、問46で「3 二世世代（親と子）」～「6 その他」とお答えの方にお聞きします。

問47 同居のご家族に次のような方はいますか。当てはまるものをお答えください。

〈該当するものすべてに○印〉

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 1 未就学児 | 2 小学生 | 3 中学生 |
| 4 中学生以下の者はいない | | |

問 48 あなたのお住まいの地区をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 見付地区 | 2 中泉地区 |
| 3 今之浦地区 | 4 岩田・大藤・向笠地区 |
| 5 西貝・御厨・南御厨・田原地区 | 6 天竜・長野・於保地区 |
| 7 福田地区 | 8 竜洋地区 |
| 9 富岡・豊田東・池田地区（豊田中学校区） | 10 井通地区・青城地区（豊田南中学校区） |
| 11 豊岡地区 | |
| 12 わからない（具体的な地名をご記入ください： _____） | |

問 49 あなたのお住まいの形態をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|----------------|---------|-------------|
| 1 持家 | 2 借家・借間 | 3 社宅・官舎・寮など |
| 4 その他（ _____ ） | | |

問 50 あなたの磐田市にお住まいの年数をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1 2年未満 | 2 2年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上 | |

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

8月11日（火）までに、返信用封筒に入れ、

切手を貼らずに、お近くのポストにご投函ください。

令和2年度（2020年度）

磐田市市民意識調査

資 料

調査票にご回答いただく際の参考資料として、ご覧ください。

－ 目 次 －

1. 問4 基本施策の主な内容 **1 ページ**

調査票2～3ページ 問4

2. 「9 SDGsの取り組みについて」 **5 ページ**

調査票 11 ページ 問 24～問 26

3. 「15 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について」 **6 ページ**

調査票 15 ページ 問 40・問 41

※ご回答が終わりましたら、この資料は返送せず、お手元にて保管ください。

1. 問4 基本施策の主な内容

(調査票2～3ページ 問4)

分野	基本施策	主な内容
産業・雇用・観光・移住・定住	1 元気な農林水産業の育成	・次世代型農水産業などに参入する企業への支援 ・耕作放棄地 [※] 解消への支援及び抑止対策の促進 ※耕作の目的で使われておらず、引き続き使われる見込みのない農地
	2 中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	・事業継承をする中小企業等への支援 ・工場等の新增設を行う企業への支援や企業誘致の推進
	3 産業を担う人材の育成・就労の支援	・求職者へ就職支援に関する情報を提供 ・UIターン就職の促進(首都圏などで合同企業説明会や面接会等の開催)
	4 交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化	・軽トラ市の開催支援 ・磐田まちめぐりゼミナール [※] の開催 ※商店主が講師となり、お店の専門的な知識や情報、コツを無料で受講者に伝える講座
	5 ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	・インスタグラムなどSNS [※] を活用した市の魅力発信 ・「しっぺい」を活用した市内外でのPR活動 ※インターネットを介して人間関係を構築できるスマホやパソコン用のWebサービスの総称
	6 移住・定住の推進	・小中学生向けの就労・起業啓発事業の実施 ・Uターン就職をした方への奨学金返済の一部補助
自治・スポーツ・文化・歴史・共生	7 コミュニティと市民活動の活性化	・地域づくり協議会 [※] の設置・支援 ・自治会活動や自治会公会堂整備などへの支援 ※地域の連携体制や団体・活動の見直しなど、地域課題への対応策を考える組織
	8 スポーツの振興	・2つのジュビロ(サッカー・ラグビー)を活かした事業の実施や各種大会やイベントの誘致・開催支援 ・既存のスポーツ施設の計画的な改修・修繕の実施
	9 文化の振興と歴史遺産の整備、活用	・文化芸術鑑賞会(展示会やコンサートなど)の開催や文化芸術活動への支援 ・遠江国分寺跡の整備事業の推進

分野	基本施策	主な内容
自治・スポーツ・文化・歴史・共生	10 学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター講座の開催や学びの庭・学びの師・学びの友^{※1}の発行 ・地域資料のデジタル化や電子書籍サービス^{※2}の推進 <p>※1：生涯学習関連の情報誌 ※2：デジタルデータで作成される出版物（電子書籍）を、検索・貸出・返却・閲覧できるサービス</p>
	11 共生社会の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民への情報提供や外国人情報窓口^{※1}の設置 ・男女共同参画やLGBT^{※2}に関する講座や講演会の開催 <p>※1：外国人の生活相談又生活に関する情報等を常駐するスタッフが多言語で対応する窓口 ※2：レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシュアル（B）、トランスジェンダー（T）の頭文字をとった性的少数者の総称</p>
子育て・教育	12 子ども・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談機能を備えた「ひと・ほんの庭にこっと」の開設・運営 ・保育枠確保に向けた施設整備への支援
	13 特色ある教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区単位での小中一貫教育[※]の推進 ・小中学生の広島平和記念式典への派遣や、中学生の海外派遣の実施など、体験を重視する教育の推進 <p>※小学校と中学校の教育課程を調整し、一貫性をもたせた体系的な教育方式</p>
	14 子ども・若者の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ[※]の拡充(対象者6年生まで)や民間児童クラブへの運営補助 ・子どもから若者までのあらゆる相談に対応する「こども・若者相談センター」の設置 <p>※児童に対し、放課後や長期休業中に保護者に代わって育成支援を行う施設</p>
健康・福祉	15 地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ボランティア活動への支援 ・生活困窮者の就労を含めた相談窓口の設置など、自立に向けた相談体制の充実
	16 高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者在宅福祉サービス(在宅介護手当、タクシー券、紙おむつ券助成等)の実施 ・高齢者相談・支援体制(地域包括支援センター[※]など)の拡充 <p>※高齢者およびその家族からの相談の受付や、高齢者の見守り、心身の状態にあわせた支援を行う高齢者の総合的な相談・サービスの拠点</p>

分野	基本施策	主な内容
健康・福祉	17 障がい児者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方の各種相談や情報提供などを行う障害者相談支援センターの設置 ・障がい者福祉施設整備への支援
	18 健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査[*]やがん等の検診事業の実施 ・健康講座や健康相談を行う「まちの保健室」事業の実施 ※心筋梗塞や脳血管疾患、糖尿病等、生活習慣病の要因となるメタボリックシンドロームに着目した健康診断
	19 地域医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市立総合病院の施設・設備の充実など、機能強化の推進 ・救命救急センターと急患センターの連携による救急医療体制の強化
防災・消防・安全安心	20 危機管理・防災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模停電対策事業や海岸堤防整備事業の推進 ・木造住宅の耐震化への支援や耐震シェルター[*]設置補助など、家庭における防災対策の推進 ※地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースなど一定の空間を守ってくれる装置
	21 消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の組織強化(団員確保や装備の充実など) ・消防車両や資機材の整備及び貯水槽の耐震化の推進
	22 市民生活の安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置など、地域の防犯活動への支援 ・子どもや高齢者を対象とした交通安全教室の実施
都市基盤・環境	23 計画的な土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・駅・インターチェンジ・幹線道路・区画整理・公園などの計画的な整備の推進 ・磐田市景観計画[*]に基づく良好な景観形成への誘導 ※景観法に基づく良好な景観形成を維持するための計画
	24 公共交通体系と道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路や生活道路、通学路の整備 ・JR御厨駅の設置や新東名スマートインターチェンジ[*]の設置の推進、デマンド型乗合タクシーの運行充実など公共交通・交通拠点の整備・充実 ※高速道路の本線上などに設置されているETC専用のインターチェンジ(IC)のこと
	25 良好な住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・今之浦市有地・今之浦公園整備事業の推進 ・空き家の除却への支援や中古建物リフォーム補助制度の実施など、空き家対策事業の推進

分野	基本施策	主な内容
都市基盤・環境	26 水道水の安定供給と下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水・断水事故等を軽減するための老朽管の更新や管路の耐震化の推進 ・既設の上下水道施設の計画的な維持管理と長寿命化の推進
	27 環境にやさしい社会の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者のエコアクション 21 認証取得に対する支援 ・アース・キッズ事業[※]の実施や市民・団体が行う環境保全活動への支援 <p>※子どもたちがリーダーとなって、家庭で地球温暖化防止に取り組む実践型教育プログラムのこと</p>
	28 快適な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄対策の推進 ・多様化する墓地需要に対応するため、駒場霊園内に「合葬墓^{※1}」と「芝生区画^{※2}」を整備 <p>※1：永年合葬式の納骨施設 ※2：全面芝生の洋風墓地で、カロート（納骨スペース）が地中に設置しており、その上に墓石を建てる区画</p>
行財政改革	29 効率的・効果的な行政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画を推進するため、市長と市政を語る会や訪問市長室[※]の実施 ・ホームページの改善や電子申請による行政手続きの簡素化の推進 <p>※市長が市内で活動する個人や市民団体、企業等を訪問し、現場を実際に見て、皆さんの声を聞くことで今後の市政に活かすための活動</p>
	30 持続可能な財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税制度[※]の活用や有料広告等の収入による自主財源の確保 ・利用可能性のない遊休未利用地の売却 <p>※自分の意志で応援したい自治体（都道府県・市区町村）を選んで寄附できる制度</p>
	31 機動的な組織体制の構築と人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直しや適材適所の人員配置の実施 ・人事活用制度を活用した人材の育成や研修などの実施による職員の資質向上

2. 「9 SDGsの取り組みについて」

(調査票 11 ページ 問 24～問 26)

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは・・・

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。

2015 年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された2016 年から2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。

【SDGsの17の目標(ゴール)一覧】

	1. 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		10. 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する
	2. 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		11. 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		12. つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する
	4. 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する		13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女性の能力強化を行う		14. 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	6. 安全な水とトイレを世界中に 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		15. 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	8. 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する		17. パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		

(出典：総務省ホームページ)

3. 「15 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について」

(調査票 15 ページ 問 40・問 41)

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)とは…

どのような性別の人を好きになるかという「性的指向」や、自分の性をどのように認識しているのかという「性自認」に関して、少数者である方たちを表す言葉。

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)である人々を総称する言葉の一つとして、「LGBT」と表現される場合もあります。

頭文字	意味
L(レズビアン)	女性の同性愛者 (心の性が女性で恋愛対象も女性)
G(ゲイ)	男性の同性愛者 (心の性が男性で恋愛対象も男性)
B(バイセクシュアル)	両性愛者 (恋愛対象が女性にも男性にも向いている)
T(トランスジェンダー)	「身体の性」と「心の性」が一致しないため、「身体の性」に違和感を持つ人

(出典：総務省ホームページ)

このページは白紙です

令和2年度（2020年度）
磐田市市民意識調査 調査結果報告書

発行 令和3年3月
編集 磐田市 企画部 秘書政策課 政策・行革推進グループ
〒438-8650 磐田市国府台3番地1
TEL 0538-37-4805 / FAX 0538-36-8954